やっちゃうぞ、バカヤロー!!
全日本・小島聡本誌初登場!!
2002 49
紙のプロレス
RADICAL
この夏に向けて、期待高まる
マット界の動向をスーパーキャッチ!!
ミルコvs
シウバ戦の
向こう側
今号もやるぞ、WWF大特集
『レッスル・マニア18』
現地体験座談会
小川直也、WWF首脳陣
との密会写真大公開!!
WWFと日本の純プロを見つめ直す
アストロ座談会ボッ発!!
大好評! 今号もまた吠えます
ウォーリー山口
マット界
灼熱の
噂!!
PRIDEvsK−1!!
UFO自主興行!!
ヒクソン出陣!!
究極の格闘技大戦争
ボッ発!!
究極の異種喧嘩試合――菊田戦ド直前!!
燃えたぎる思い&怒りを激白!!
アレクサンダー大塚
遂にPRIDE見参! アレクを迎え撃つ
菊田早苗とは何者か?
デビュー戦快勝! 和田最強伝説を語り尽くす!
高山善廣×金原弘光
×和田良覚
ビバ、8年ぶりの再会! スペシャル対談
CIMA
×ドス・カラスJr.
燃えよ、純プロレス!
本誌はZERO−ONEを
全面支持します!!
橋本真也
3・1、ロックと
ジェリコが
お互いに撮り合った
あの写真を
プレゼント!
総合or純プロor女子、凄玉&スゴ企画続々登場!
髙阪剛／マルコ・ファス／
ミスター高橋、リングに登場／
語ろう、ビバ、メヒコ!／
追跡!! 女子格闘技／小畑千代
紙のプロレス RADICAL
2002 NO.49
闘いの夏!! マット界、灼熱の噂!!
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体838円＋税

PRIDEvsK-1!! UFO自主興行!!
ヒクソン出陣!! 燃える純プロレス!!
究極の格闘大戦ボッ発!!
マット界
灼熱の
噂

大　いきなりだけど、春から夏、秋にかけてマット界が沸騰しそうだね。なんかいろんな噂が飛びまくってるし、実際にいろんな動きがあるしね。今日は、そのへんを業界事情に詳しい皆さんに集まってもらってブチまけてもらおうかなぁと。

中　4・21広島のK—1には、シュルトとシウバの同門の選手が乗り込んだけど、それを序章として、4・28『PRIDE．20』から「PRIDE vs K—1」が本格開戦するね。

大　特別ルールにせよ、いきなり総合のフィールドでミルコvsシウバが実現するっていうのは凄いよね。これが発表されたときは、関係者も含めて、もの凄いイレギュラーを起こしたでしょ。

小　チケットは空恐ろしい勢いで売れたみたいですけどね。

大　うん。ミルコvsシウバは試合としてもスリリングだけど、それ単体で見るよりも、やっぱりその向こう側にあるものを見ていったほうが、より興味が湧いてくるね。

中　夏に予定されてる「PRIDE vs K—1」を見据えてってことね。昨年大みそかの「猪木軍vsK—1」は、TBS、『PRIDE』、K—1が連携して行ったわけだけど、大まかに言うと、夏に開催が噂される「PRIDE vs K—1」全面戦争は、そのイベントからの流れというか発展型だね。

小　「猪木軍vsK—1」は、視聴率を取るのが1年のうちで一番難しいと言われる時間帯で、14・9％という平均視聴率を弾き出しましたけど、その立て役者の猪木さんは今回は絡まないんですか？

大　いや、アントン総帥は、ほら、午後もちゃんと動く「永久エネルギー」の開発に忙しいから（笑）。本人が「プロレスに興味ない」って言ってるし、「猪木軍vsK—1」第2弾をやるっていうモードに入ってないでしょう。

小　でも、猪木さんは2月くらいに「猪木軍vsグレイシー」というのを口にしましたよね。ここにきて（4月）17日にヒクソンまで来日したし、何か匂いませんか？

大　その「猪木軍vsグレイシー」っていうのは猪木さんの、“どうしてもサービス精神が旺盛なので”ってところから出たもんなんだろうけど、確かに8月にUFOの自主興行があるという噂もあるんだ。それは後でまた話すけど、そっちも面白く転がっていく可能性がある。だけど、それはTBS絡みの夏のビッグイベントとは別の話。そっちはあくまで「PRIDE vs K—1」が主軸になる。

中　8月に国立競技場という話が出てるね。よくプロレスで国立競技場で開催かっていう話になると、10万人興行になるっていう言い方をされるけど、実際キャパ的にはそこまでいかないんだよ。確実に6万人興行にはなるけど。

大　これは試合的には「PRIDE vs K—1」の全面戦争だけど、興行的には『PRIDE』とK—1の合同興行で、それをTBSが放映する。そのプロジェクトは動いてるし、そうなる可能性は高いよ。

小　でも国立競技場はアマチュアにしか貸さないし、ホントに夏に使えるんですか？

大　「初」っていうとこにも付加価値が付くから、いろんなコネクションを使って実現まで持っていくんじゃないか。他にも候補地として、ワールドカップの決勝でも使われる横浜国際総合競技場という話も伝わってきてるけどね。

中　でも、それは俺、調べたんだけど、その時期は横浜国際総合競技場は使えないんだよ。ワールドカップ後に改修工事に入るらしいから。だから俺は個人的に「PRIDE vs K—1」の全面対抗戦は、8月上旬に国立競技場で開催という線でカタいと見てる。

大　ホントは、8月11日にTBSの27時間テレビだっけ？　それがあるからその日に生中継するって話もあった。それはK—1の興行。で、その1週間前の8月4日には『PRIDE』の興行として、「PRIDE vs K—1」を2分割して行うっていうプランもあったんだよ。でも、いまは8月上旬に一発デカイやつをっていう線が大きいだろうね。これ次第で、1月に発表した『PRIDE』の年間スケジュールも見直しされるだろうし。いい意味での軌道修正を強いられていくでしょう。

小　き、軌道修正っていえば、石井館長の例の件は影響ないんですか？

sK—1

よ

立競技場？

秀彦獲得へ、ロシア勢参戦も——

マット界灼熱の噂

大　ああ、一部週刊誌と新聞を賑わした話題ね。

中　マット界のイメージ的にはマイナス要素はあるだろうし、場合によっては「PRIDE vs K―1」も、それこそ大きく軌道修正を強いられる可能性もあるよな。でも石井館長は、いまやマット界にはなくてはならない存在だし、それに関してはよからぬ方向に転ばないことを願うのみだね。

小　でも「PRIDE vs K―1」は、K―1側にしても、ハント、バンナ、アーツ、ベルナルド、4・28にも出るボブ・サップ、今回出れなかったサム・グレコ、場合によってはフィリョ、それから秘密兵器も含めてまだまだタマは腐るほどいますよね。これが総合のフィールドに攻めてきたら、たいへんなことになりますよ。

中　今回のミルコvsシウバの結果次第で局面は変わってくるだろうね。ミルコが勝てば、それこそ前号にもあったようにサクの復帰戦の相手がミルコになる可能性もあるわけでしょ。

大　いずれにしろ、ミルコはいいタマだよ。シウバに勝てば更にハクが付くし、そのミルコにサクが復帰戦でぶつかるとなれば、これはドキドキするよね。8月の「PRIDE vs K―1」の目玉になる。体重の問題とかサクの復調ぶりとか、クリアすべき問題はあるし、決まったわけじゃないけどね。

中　サクじゃなくても、『PRIDE』勢はミルコの首に鈴を着けに行きたくなるだろうしね。藤田の復帰&リベンジ戦という目も出てくるわけだし。逆にシウバがミルコを破れば、サクが夏以降にシウバに「3度目の正直」を挑むときにもハクが付く。K―1勢もシウバの首を狙うだろうしね。どう転んでいくかわからないところも含めて面白い（笑）。

大　スピード感があるよね。プロレスは毎日のようにストーリーが微妙に変化するけど、展開はゆったりでしょ。でも、『PRIDE』とかは、プロレスファンがもはや付いていけないくらいのスピード感で展開していく。だから、プロレスのゆったり感と『PRIDE』周辺のスピード感溢れる展開。両方楽しめばいいと思うんだよ。どう転ぶかわかんないにせよ、夏をひとつの頂点として、「PRIDE vs K―1」はナチュラル・アングル的に繋がっていくだろうしね。

中　「PRIDE vs K―1」は年末にも繋がるプランもあるらしいからね。

●

小　その「PRIDE vs K―1」ばかりに目を奪われがちだけど、『PRIDE』そのものの動向も実に気になりますよね。そんなときに、締め切り間際にビッグ・ニュースが飛び込んできましたね。

中　吉田秀彦ね。『PRIDE』が獲得を狙ってるっていう報道もあるし、UFO、新日本も含めた争奪戦になってるっていう話もバンバン出てる。『コン格』あたりが「超大物Xが『PRIDE』に参戦」と3月から煽ってたけど、吉田は（4月）29日の全日本選手権で柔道から引退。明大の監督からも勇退が決まってるでしょ。じゃあ今後はどうなるんだっていうことで、マット界もマスコミもズッと注目してたわけだよね。

小　吉田はなにせ、92年バルセロナ・オリンピックの柔道金メダリストですからね。どこだってノドから手が出るほど欲しい逸材中の逸材ですよ。五輪の柔道金メダリストの転向は、プロレスならアントン・ヘーシンク、ウィリエム・ルスカ、リングスならオーちゃんを銀メダリストに甘んじさせたダビッド・ハハレイシビリ。外国人ならいますけど、日本人はいないですからね。

中　キミ、そういうことはスイスイ出てくるね（笑）。

小　力道山とやった「木村の前に木村なし、木村の後に木村なし」と言われた伝説の木村政彦（故人）、それから坂口征二（新日本プロレス会長）でさえ全日本選手権覇者止まりですから……全日本選手権止まりなんて言ったら失礼ですけど。

大　それは失礼すぎる（笑）。

小　で、実績では一番の小川直也が世界選手権優勝4回、全日本選手権7回優勝、でも五輪では金を取れなかった。吉田は国内の実績では小川に負けるけど、金メダリストだし、小川には94年には全日本選手権で判定ながら土をつけて、6連覇を阻んでますからね。

PRIDEvsK
幻魔大戦は、
真夏に国立競

そして『PRIDE』は、吉田秀彦

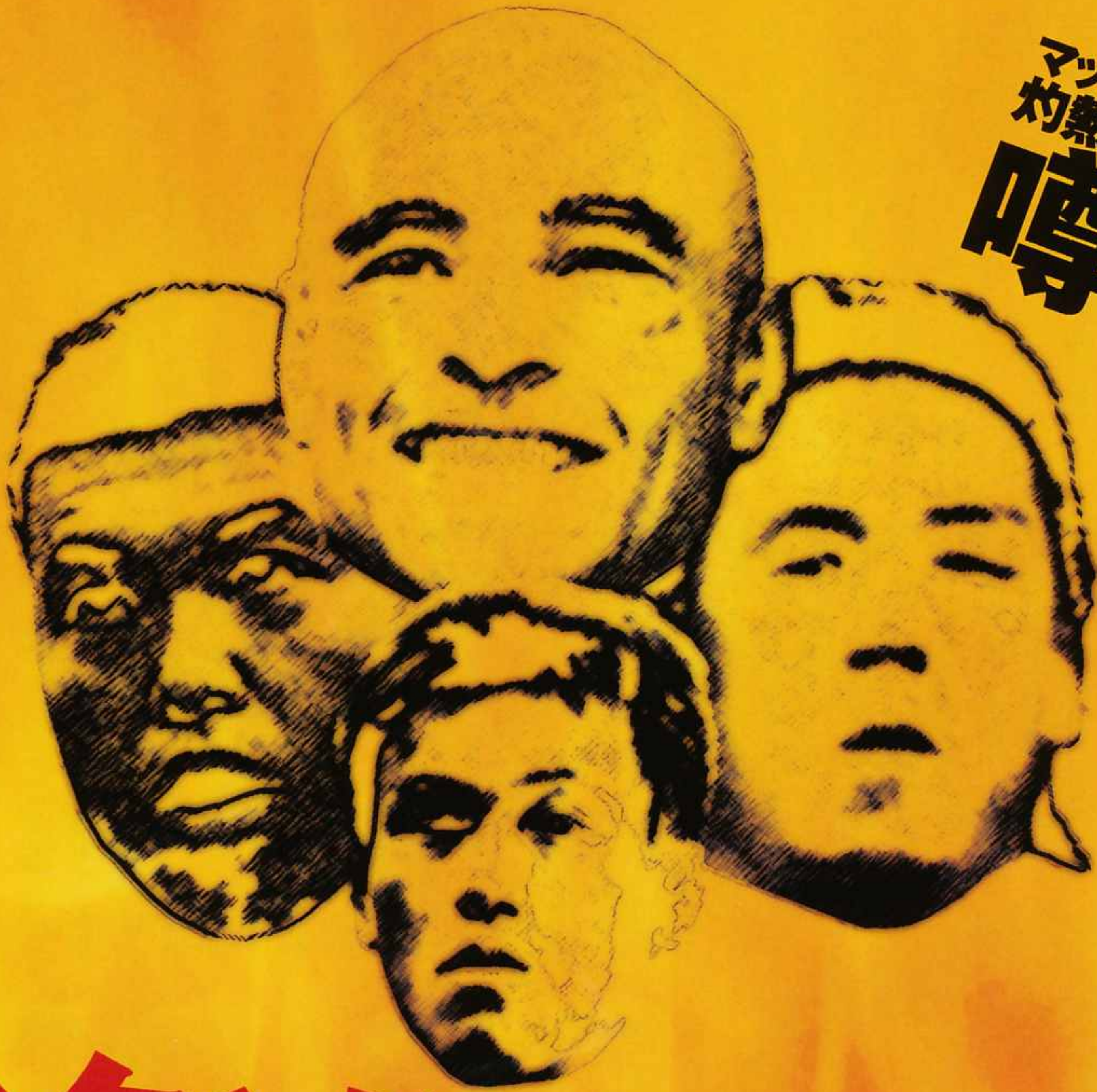
中　吉田本人は、いまこの時点では「どこからもオファーはない」とプロ転向説に対しては否定してるよね。いまは29日の全日本選手権1本に絞りたい、こういう話が出ること自体迷惑って感じ。決してプロ転向を否定しているわけじゃないし、18日には「全日本選手権が終わったらゆっくり考える」っていうコメントも出してるけどね。獲得競争では『PRIDE』が一歩リードっていう報道が多いけど、実際にはどうなんだろうね？

小　DSEの森下社長が「『プロ転向を条件に交渉を開始したい』と明言した」と報道したとこもあったけど、森下社長は正式にオファーを出したわけじゃないと困惑気味ですね。サク、藤田がケガで欠場してるし、『PRIDE』にしても日本人のビッグネームが欲しいのは当然だろうけど、「吉田選手にプロ転向の気持ちがあるならば、全日本選手権後に交渉を開始したい」「タイミングと両者の気持ちが合えば誠意を持ってテーブルに着きたい」ってことらしいです。

大　吉田は引退した後、「吉田道場」を設立するらしい。これは柔道の道場なんだけど、ここがキーポイントになってくると思うね。

小　ちびっ子たちに柔道を教えたいということですよね。

大　そうなったら一線級も指導していくでしょう。道場を運営していく上では、経済的基盤が大事になってくるから、プロに転向する可能性は大いにあ

マット界灼熱の噂

ヒクソンが年内に日本で大復活!!

対戦相手に小川、長州再浮上！そして夏にUFO自主興行が――

るって報道してた記事もあった。それは的を得てる気がする。本人にもプロ転向の意志はあるとみるね、俺は。吉田レベルの選手だと大きなお金が動くはずだし、資金的面から見ても『PRIDE』が一歩リードしてるっていうのは間違ってないと思うな。

中 でも、明大の先輩・坂口会長がいる新日本だって、シドニー五輪後からリングに上げたい意向はたっぷりあったわけだし。吉田は蝶野とも親交がある。さらに藤波社長が「道場設立を全面的にバックアップしてもいい」とまで言って、獲得に名乗りを挙げてるわけでしょ。

小 しかも吉田は去年の2月には、アトラクション的だとはいえ、FMWのリングに上がってプロレスラーを投げ飛ばしてるわけですから（笑）、プロレスには興味はあるでしょうしね。プロレス入りも十分あり得る話なんじゃないですか？

中 これまた明大繋がりの小川がいるUFOの目だってないわけじゃない。いくら柔道時代に犬猿の仲だって言われたからって、小川が明大に練習に行くときは顔を合わせてるわけだから、そこで話が発展しないとも限らないでしょう。UFOサイドだって、「人材的にはゼヒ欲しい」って言ってるわけだし。

大 いや、要は、本人がどっちの方向に進みたいかってことでしょ。関係者には「プロレスをやる気はない。もしやるなら総合格闘技」と語ってるらしいから、俺はやっぱり『PRIDE』が金銭面でも方向的にも一番近いと思う。例えば道場で『PRIDE』に上がる選手を養成していくっていうことになれば、お互い利害は一致するだろうからね。

中 それに、プロレスだと入団しなければならないから、道場をやりながらっていうわけにはいかなくなるか。

小 いまこの段階でも、伝統や格式を重んじる全柔連的には、大事な全日本選手権前にプロ転向の話が出るなんてもってのほかっていう雰囲気もありますよね。水面下では反発の声も上がってるようだし。

大 そこだよね。昔、坂口会長がプロレス入りするときでも大騒動だったでしょう。もう、プロレス界と柔道界が抜き差しならない局面まで行っちゃった。今回、どこが動いてるにせよ、そういう事態は当然避けたいだろうからね。吉田自身だって道場を設立して、今後も柔道と関わっていくわけだから。いずれにしろ、いろんなことが表面化してくるのは29日の全日本選手権後だろうね。

小 これで一気に全日本選手権には注目が集まりますね（笑）。

大 おそらく5月の中旬から下旬には大きな動きがあるでしょう。

中 でも、もし『PRIDE』に上がることになったら、8月の『PRIDE vs K―1』のスペシャルマッチで吉田のデビュー戦ということもありえるよね！

小 舞台的にはもってこいですよね。も凄い話題を呼びますよ。ヘタしたら『PRIDE vs K―1』を食っちゃうかもしれない。もうすでに、シウバ戦、桜庭戦、ヒクソン戦だなんて飛ばしてるところもありますからね。

大 そういった大きな話題に挟まれる格好になるね、6月の『PRIDE』は。いまのところ23日にさいたまスーパーアリーナ開催が有力だけどね。

小 ワールドカップもあるし、時期的には大変ですよね（笑）。

大 でも！ リングス・ロシア勢がここに出場するんじゃないかって噂も出てるんだよ。

小 ゲ！ ホントですかっ!? 前田総帥が許可したんですか？

中 前田総帥は、ヒョードルをUFCに出すっていう話をしてたよね。

大 いや、『PRIDE』に出たいっていうのは、ロシア側の意向らしいんだよ。実際、ミーシャも5・6の『プレミアム・チャレンジ』に出場するけど、選手の総元締め的なパコージンさんは、とにかく選手が活躍できる場所を探してるっていう話だよ。

中 実際にはリングスとの選手契約は切れてるわけだから、元リングス・ロシアっていう言い方のほうがいいかもしれない。

小 元チャイナみたいですね（笑）。

中 前田総帥も「選手にも生活があるし、キチンとした契約ができるんなら、『PRIDE』なりなんなりに出るのもいいと思ってる」って言ってるし、もしそれが実現したら驚天動地だね。

大 ヒョードル、グロム・ザザ、ヴォルク・アターエフ、コーチキン・ユーリー、ラバザノフ・アフメッド、タリエル＆アミランのビターゼ兄弟、それから大御所のヴォルク・ハン、アンドレィ・コピィロフ。ミーシャもいるし、ヴァラビーチェスもいる。もしこういった強者たちが『PRIDE』のリングに上がったら、勢力地図は大きく変わっていくでしょ。

小 前田さんは許可しますかね？

大 パコージンは、前田日明も協力している『プレミアム・チャレンジ』の前後に来日するから、そのときに前田日明とロシア勢の今後について話し合いを持つ可能性はあるね。リングスを“精算”してから、まだ深い話し合いはできてないから、そのときにテーブルに着く可能性は大だよ。

小 そのときに扉は開かれるかもしれないと。

大 6月の『PRIDE』に関しては、あとは田村の動向がどうなるかだろうね。

小 元リングス勢は、団体がなくなってもマット界の中心にいますねぇ。

●

中 さっき、UFOの自主興行っていう話が出たけど、8月に、それも「PRIDE vs K―1」と同時期に千葉ロッテマリンスタジアムを押さえたっていう話を聞いたけど、ホントなの？

小 なんせUFOだけあって、未確認飛行情報が多すぎますからね（笑）。

大 俺がテレビ局の関係者から聞いた

[座談会出席者]

大 「紙プロ」編集部の誰かという気がしないでもないが、そうでもない気もする。いや、全然違う気がしてきた。

中 業界に強力な情報網を張り巡らせている事情通。この人に聞けば、業界周辺のことはわからないことはないという地獄耳。

小 まだキャリアは浅いが、そのフットワークの軽さ、取材力には定評があり、データにも強い。「小」でもShow氏とは全く関係ない。

のは、8月8日に東京ドームだって話だよ。もちろんTBSとは別の局だし、日時もまだ暫定的らしいけど。

小 いったい何をやるつもりなんですか、UFOは！ ま、まさかヒ、ヒクソン！

大 いやぁ、それもありえない話じゃないんだよなぁ。ヒクソンは（4月）17日に自分の写真集のプロモーションのために来日したんだけど、引退説を否定して「年内に1度、日本で試合をやる」って言ってるからね。

小 相手や日時は限定してないですけど、今回の来日は復帰戦に向けての舞台&相手選びっていう目的もありますよね。まさかそのUFOの自主興行で、小川vsヒクソンが電撃決定っていうことになるんですか？ そうなったら「PRIDE vs K—1」もウカウカしてられないですね。

中 でもヒクソンとの優先交渉権を持つのは『コロシアム』でしょ。

大 その『コロシアム』が10月か11月にあるっていう話もあるんだよ（笑）。

小 ウヒャ～。そうなると、ヒクソンの相手はパンクラス勢ですか？

中 たしかに今回ヒクソンは写真集のプロモーションで来てるんだけど、来日を実質コーディネートしたのは『コロシアム』をスポンサードしたSの関連会社のSPらしいんだよ。そう考えると、秋の『コロシアム』でヒクソンvs近藤、ヒクソンvs菊田というのは現実的かもしれない。

大 いや、でも実際にヒクソンの超高額なギャラを考えると、テレビ局が付かないと無理でしょ。そのためにはスポンサーを納得させられるマッチメイクじゃないと。ヒクソンvs近藤、ヒクソンvs菊田でペイできるとは考えられないんだよ。知名度的に。

小 パンクラスの番組がテレ東で4月から始まったし、テレ東が再度『コロシアム』をやるっていう線もありえますよね。そうなると、パンクラス勢相手が有力ですよ。

中 でもそこで匂うのが新日本を退社した永島勝司さんですよ。

小 え、あの永島さんですか？

中 去年1回、長州vsヒクソンが決まりかけたでしょ。長州にしても新日本退団という火種は消えてないわけだし、永島のオヤジが『コロシアム』と手を組んで、再度長州vsヒクソンを画策してもおかしくはないでしょ。実際、去年永島のオヤジは『コロシアム』関係者と頻繁に会ってたからね。

大 確かにそっちのほうが、ビジネス的には可能性がありそうだね。長州の起死回生の一発っていうのはありえなくない。でも、やっぱり不気味なのはUFOだよ。UFOの社長は実力者だし、ヒクソンを呼べるとしたら、この人くらいしかいないんじゃないか。『コロシアム』関係者がどれだけヒクソンサイドとパイプを持ってようと、メジャーのテレビ局を動かす力では歯が立たないだろうからね。

中 そのUFO社長と、ノゲイラをマネージメントしてる会社とはパイプもあるし、8月は小川vsノゲイラっていう線もありえるでしょ。ノゲイラvs橋本とか。

小 ノ、ノゲイラvsは、破壊王！ み、見たい！ 小川vsヒクソンとのWメインだったら、めちゃ見たいですよ！

大 でもノゲイラは『PRIDE』との契約があるからね。ノゲイラvs橋本は見たすぎるけど（笑）。

小 でもですね、さっきからはしゃぎっぱなしのくせに話をひっくり返しますけど、そのUFOの自主興行は、ガチンコ興行なのかプロレス興行なのか、それすらも決まってないっていうことも聞きましたよ。

中 ハハハハ。未確認飛行団体だからありえるな。でも、やるからには、どっちにしても成功に導くプランがあるんだろうから。

小 いま現実的に猪木さんとUFOの関係ってどうなってるんですか？

中 つい先日、猪木さんは「UFOってなんで付けたの？ なんの略？」って、UFOに近い人間に聞いたらしいけどね（笑）。

大 ブワハハハ。自分で付けたんだろって（笑）。でもどうする、そんなこと言いながら「PRIDE vs K—1」も、UFO自主興行も、長州vsヒクソンも、すべてがアントン総帥の仕掛けだったりしたら（笑）。全部を引っかき回しちまえって。

中 ありえないこともないと思えるところが凄いね、猪木さんは（笑）。

大 でも、さすがに5・2の新日本・

純プロレスも燃え上がる!!

OH砲新日参戦！ 全日・地上波放映！ ZERO—ONE地方発世界！

東京ドームでは猪木さんの力より、現場の蝶野たちの意見が通ってるね。ちょこちょこ現場介入してくるにせよ。

中 蝶野vs三沢を発表してから、チケットが30分で5千枚売れたとか。苦戦しているように見えたけど、ここにきて盛り返してきてる。

大 いや、純プロレス自体が盛り返してきてるよね。やっぱり「プロ格」路線じゃなくなったのが大きいんだろうな。新日本はまだ路線的に揺れてるけど。「プロ格」はもう、『PRIDE』とかに完全に移植しちゃうべきだよ。

中 小川、橋本のOH砲の5・2電撃参戦っていう話も、ここにきていい方向に煮詰まってきたみたいだし、蝶野が踏ん張って、なんとか30周年を成功させようとしてるよね。

小 いま（4月）20日の朝方ですけど、たぶんここ2〜3日中に発表されるでしょうね、小川&橋本の参戦が。

中 小川と橋本の場合、ホントどう転ぶかわからないからね。刻一刻変わるから（笑）。でも破壊王は大忙しだね。5・2に出たら。4月下旬から西日本をサーキットして回って、5・3は松山でOH砲を地方で初結成させて、5・5には川崎球場の「冬木引退記念&WEW旗揚げ興行」で大仁田とやるんでしょ。

大 ああ、その冬木は大腸ガンの摘出はうまくいったようだね。18日に横浜市内の病院で7時間半に及ぶ手術を受けて、無事成功したらしい。

小 よかったですね〜。

大 術後の経過もいまのところ順調で、なにもなければ約2週間で退院できる見込みらしいよ。手術後は理不尽大王ぶりを早くも発揮して「寒い！ 痛い！」とブツブツ言ってたらしいけどね（笑）。この調子なら5・5には公約通り姿を見せてくれるかもしれない。

中 やっぱりあの男には病気は似合わないよ。もっとわがままぶりを見たくなるから不思議だね。

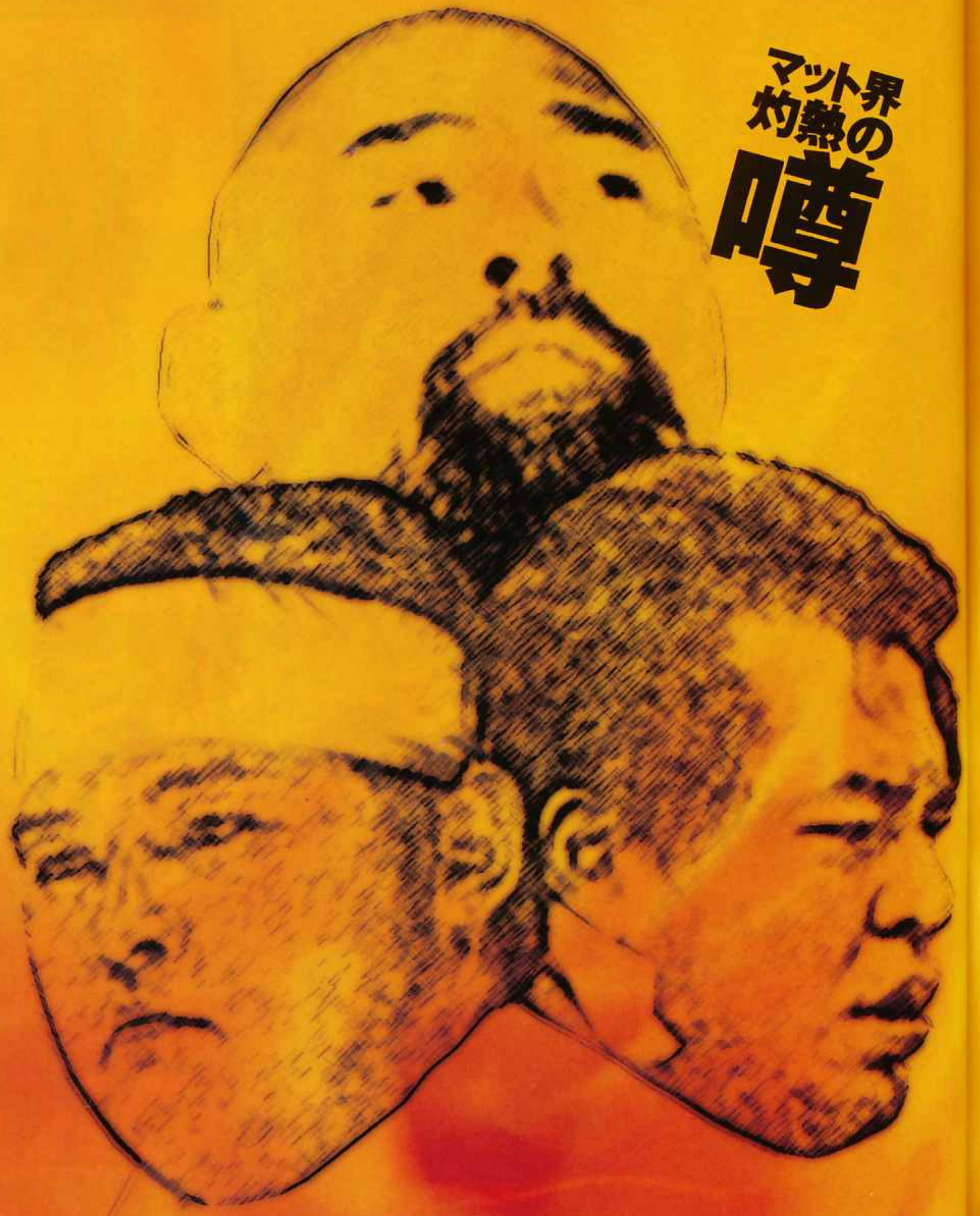
大 それと、純プロでは、全日本に地上波が付くっていう噂もあるね。いま某局と交渉中らしい。ノアや新日本を放映してるところとは違う局だけど。

中 いや、そういう話が出るのも頷けるよ。いまの全日本には勢いがある。

小 っていうか、なんかいつのまにか、純プロ全体に勢いがついてきてますよね。

大 やっぱり、それぞれ団体のカラーは微妙に違っても、「純プロレス」ってハッキリ打ち出してるのがいいんだろうね。いずれまた格闘技と純プロレスは交わることが絶対あると思うんだよ、日本の場合。でもいまはお互いがハッキリ色分けして、やるべきことをやっていく時期なんだろうね。

小 総合なら総合、プロレスならプロレスで、お互い突き詰めていくってことですね。

大 総合なら『PRIDE』、プロレスならWWFっていう、いいビジネス・モデルがあるわけだからさ。だから、「純プロレス」も、「純K—1」も、「純総合格闘技」も、それぞれが盛り上がっていけばいいよね。いまはそれぞれが特化していく時期でしょう。その全部が「プロレス」でしょ（笑）。

小 じゃあ、そういうなかで、「PRIDE vs K—1」みたいなものをどういう位置づけで見ていけばいいんですかね、これから。

大 「疑惑の総合商社」っていうのがちょっと前に流行ったけど、「格闘の総合商社」みたいな感じでいいんじゃない？（笑）。「格闘の総合デパート」でもいいけど。ふだんは専門店で買い物してればいいんだけど、やっぱり「総合デパート」にはあってもらわなきゃ困るっていうか。だから、新しい時代の「格闘総合デパート」ですよ……って、話がややこしくなりそうだからやめよう（笑）。

中 でもホントに、いま話してたどこからも目が離せなくなってきたね。

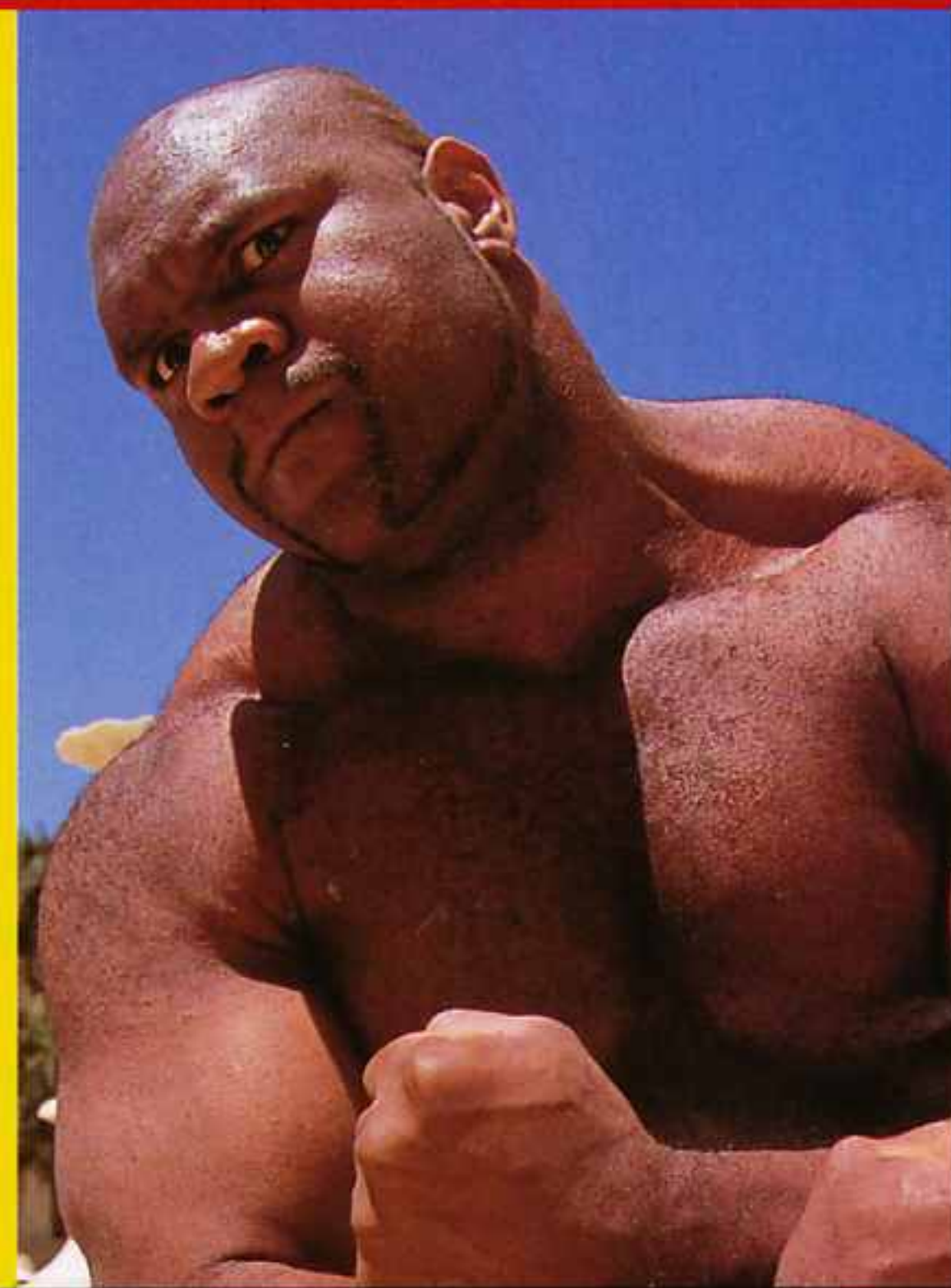
小 今年は面白くなりそうですね！

ガイジン天国『PRIDE』で愛国心を燃やせ！
日本人なら日本人の応援をしろ！

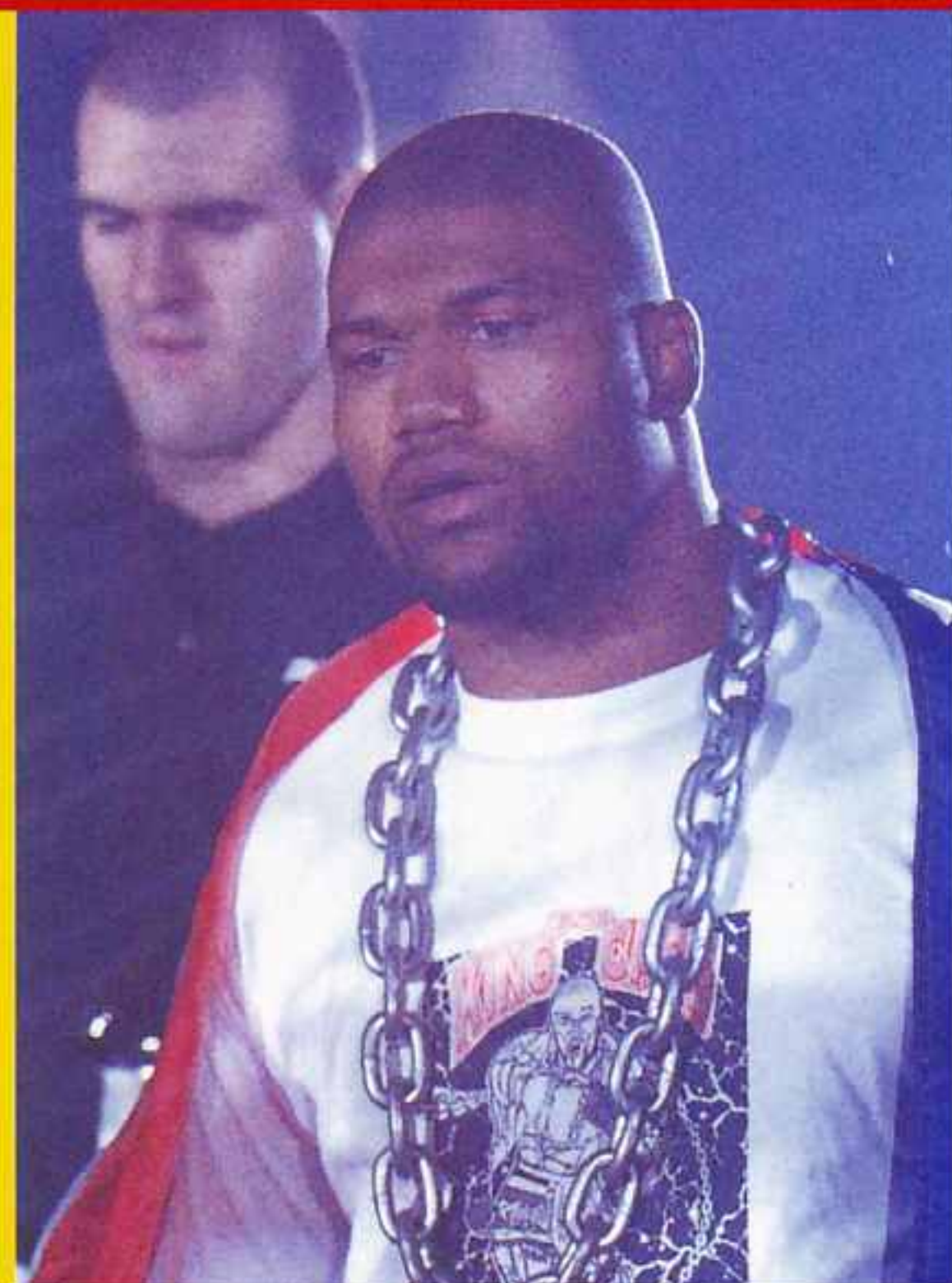
（by破壊王）

山本憲尚（高田道場） vs ボブ・サップ（フリー）

噂のサップが遂に登場！

『PRIDE』vsK－1の枠にとらわれない異色カードが実現！　K－1の秘密兵器と言われる元WCWレスラー、ボブ・サップが、高田道場の秘密兵器、元リングスのヤマノリと激突だ！　2メートル5センチ、160キロという巨体に加え身体能力も凄まじいという噂のサップ。前回のノルキヤ戦に続きドデカい怪物が相手となるヤマノリだが、ここは“イッキシンテン”なぎ倒してほしい！

佐竹雅昭（怪獣王国） vs クイントン“ランペイジ”ジャクソン（チーム・イハ）

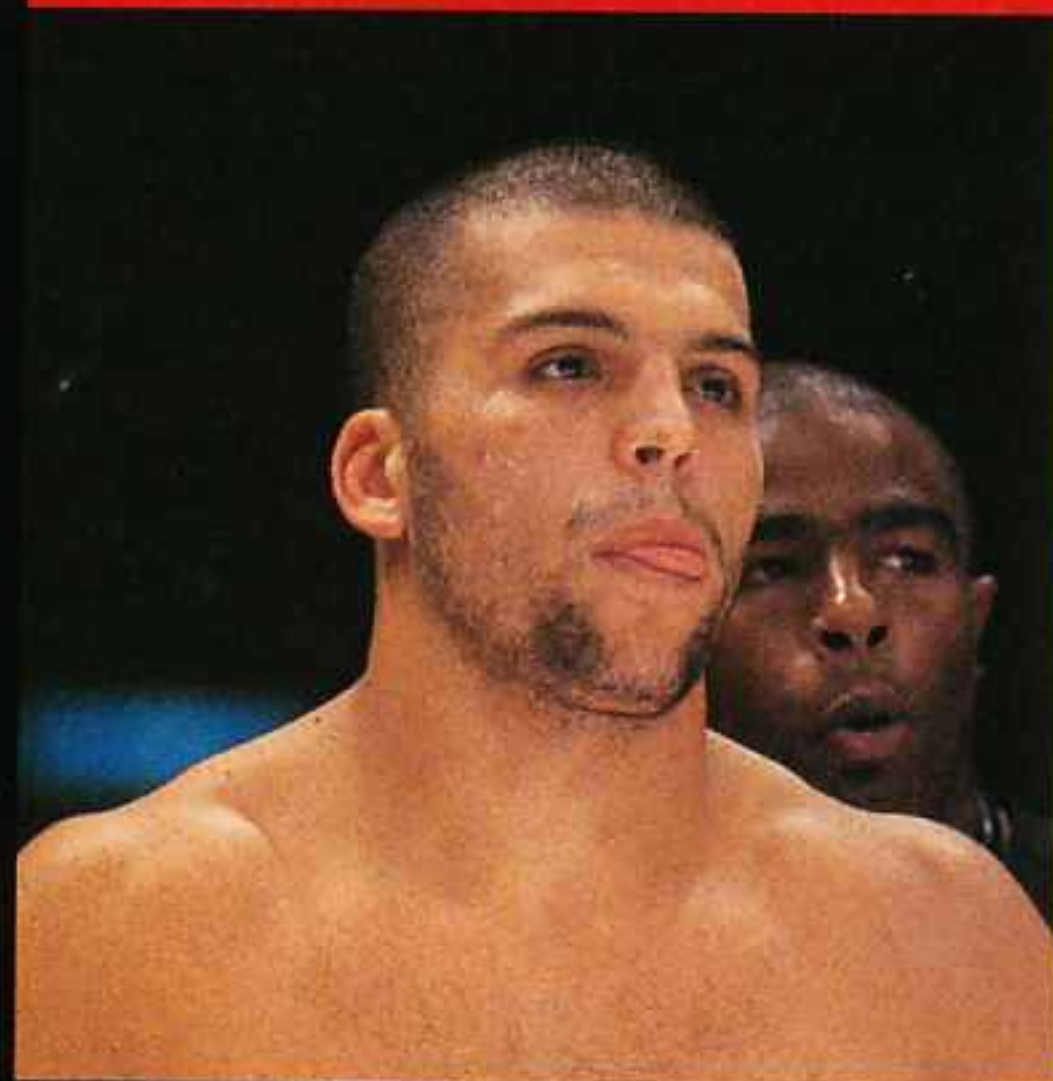
暴走ホームレスが佐竹を襲う！

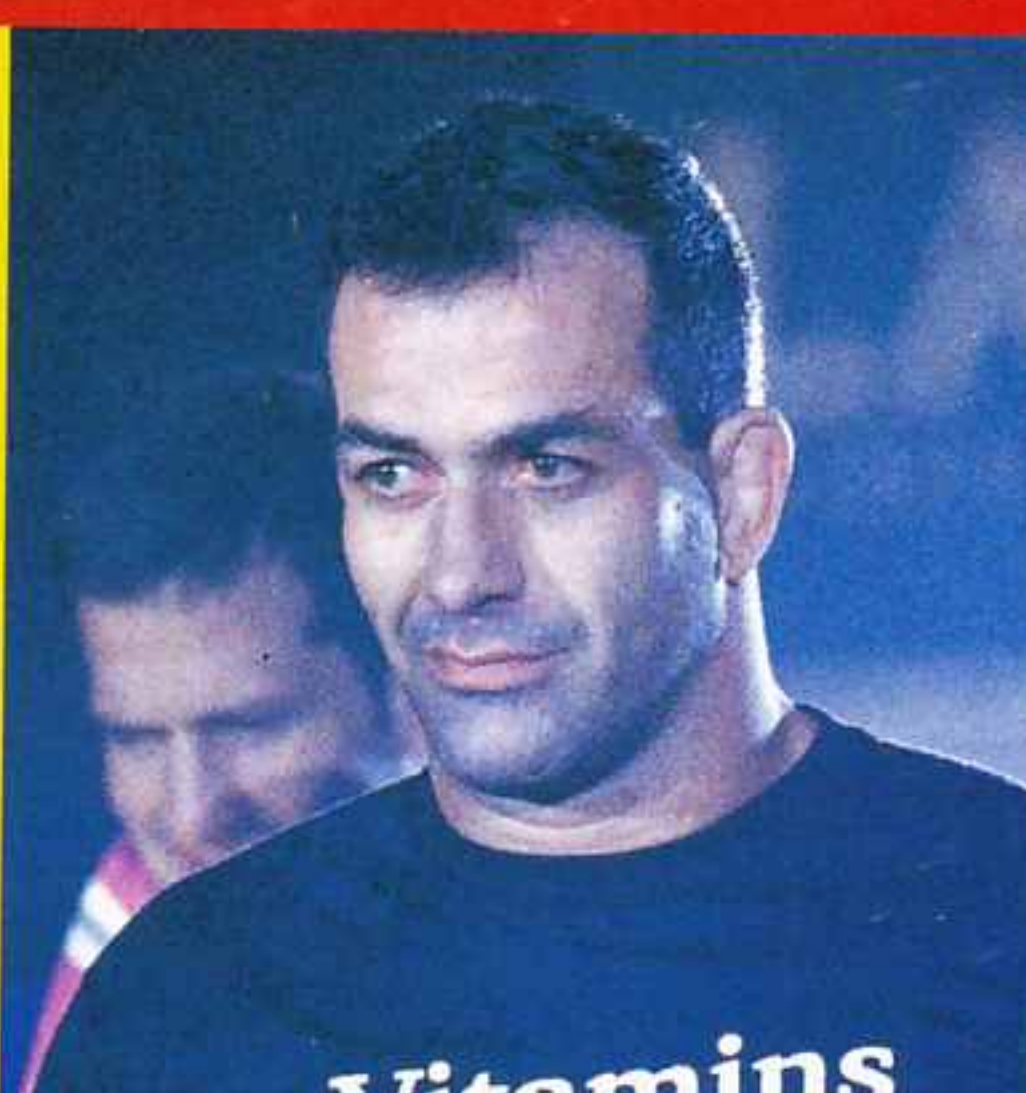
ミドル級転向も噂される佐竹の相手は“暴走ホームレス”ランペイジとなった。サクを始め、アレク、石川社長、松井など、勝敗はともかく日本人ファイターをその怪力で圧倒してきたランペイジ。そのパワーは脅威だが、佐竹はK－1や『PRIDE』においてヘビー級の恐竜たちと渡り合ってきただけに、鮮やかに封じる展開も予想できる。久々に闘志天翔なるか!?

注目カードはミルコvsシウバ、アレクvs菊田だけじゃない！

PRIDE.20

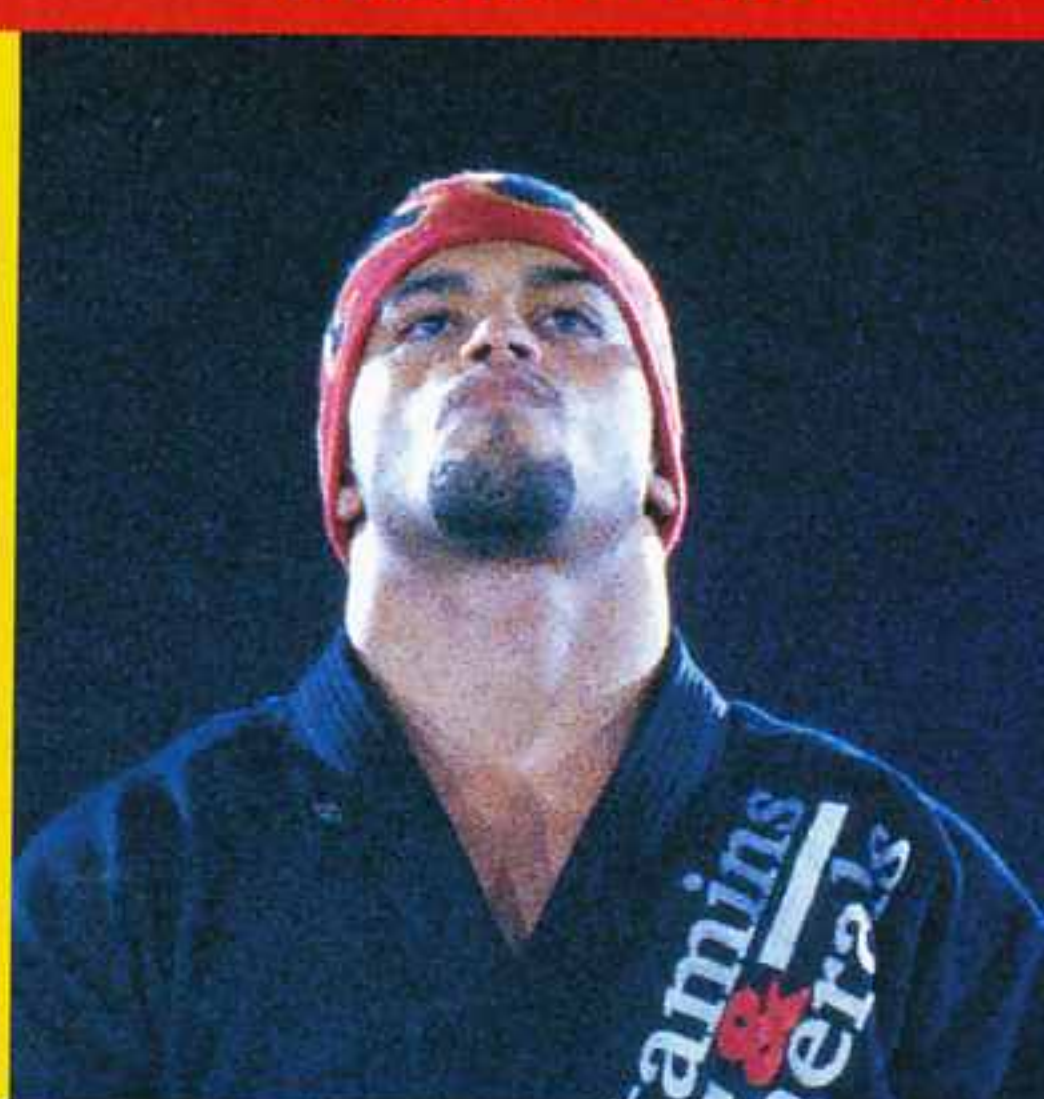
4・28YOKOHAMA

4月28日は『PRIDE』占領記念日となるのか!?
本格始動！ブラジリアン・トップチーム

ムリーロ・ニンジャ（シュート・ボクセ） vs マリオ・スペーヒー（ブラジリアン・トップチーム）

血塗れの軍団抗争勃発か!?

潰し合いの血戦開始！　同じブラジルより『ＰＲＩＤＥ』を席巻中のブラジリアン・トップチームとシュートボクセが遂に激突をはたす！　日本滞在中のホテルのロビーで乱闘寸前とまでなったとの噂もある犬猿の仲の両陣営。このマリオとニンジャの一戦は、『ＰＲＩＤＥ』vsＫ―１を超える殺伐とした試合になることだろう。

ダン・ヘンダーソン（チーム・クエスト） vs ヒカルド・アローナ（ブラジリアン・トップチーム）

世界が見守る超実力派対決

アブダビ王子も注目すること必至！　ヘンダーソンvsアローナは、一部マニアからは「ミドル級実力ＮＯ．１決定戦」の声も挙がる好カード。両者共、優れたトータルファイターだけに軍配の行方は予想もつかない。が、どちらが勝負を制するにしても、今後シウバの牙城を揺るがすことのは間違いない。『PRIDE』ミドル級のベルトに王手を掛けるのはどっちだ!?

今村雄介（高田道場） vs ホジェリオ"ミノトゥロ"ノゲイラ（ブラジリアン・トップチーム）

兄に続くか!? ノゲイラ弟、見参！

あの"ミノタウロ"ノゲイラの双子弟が『ＰＲＩＤＥ』初見参！　双子だけに兄そっくりな風貌のホジェリオは、昨年8月の『ＤＥＥＰ』藤井克久戦では腕十字で激勝！　極めの力も兄同様のところを見せつけた。兄弟揃って『ＰＲＩＤＥ』マットを席巻なるか!?　対するのは先日の『THE BEST』でジョーサンを破った高田道場の今村雄介。アマレス全日本選手権を制したこともある実力者だ。

遂に開催回数20回達成！成人おめでとう！
4・28（日）『PRIDE.20』
横浜アリーナ　15:00開場　17:00開始

【チケット料金】
VIP席￥100,000　RRS席￥25,000
スタンドS席￥15,000円　スタンドA席￥7,000
【会場アクセス】JR新横浜駅、地下鉄新横浜駅より徒歩5分
【お問い合わせ】ドリームステージエンターテインメントTEL.03-5775-5700

残念！アイブルvsグレコの野獣決戦は中止！

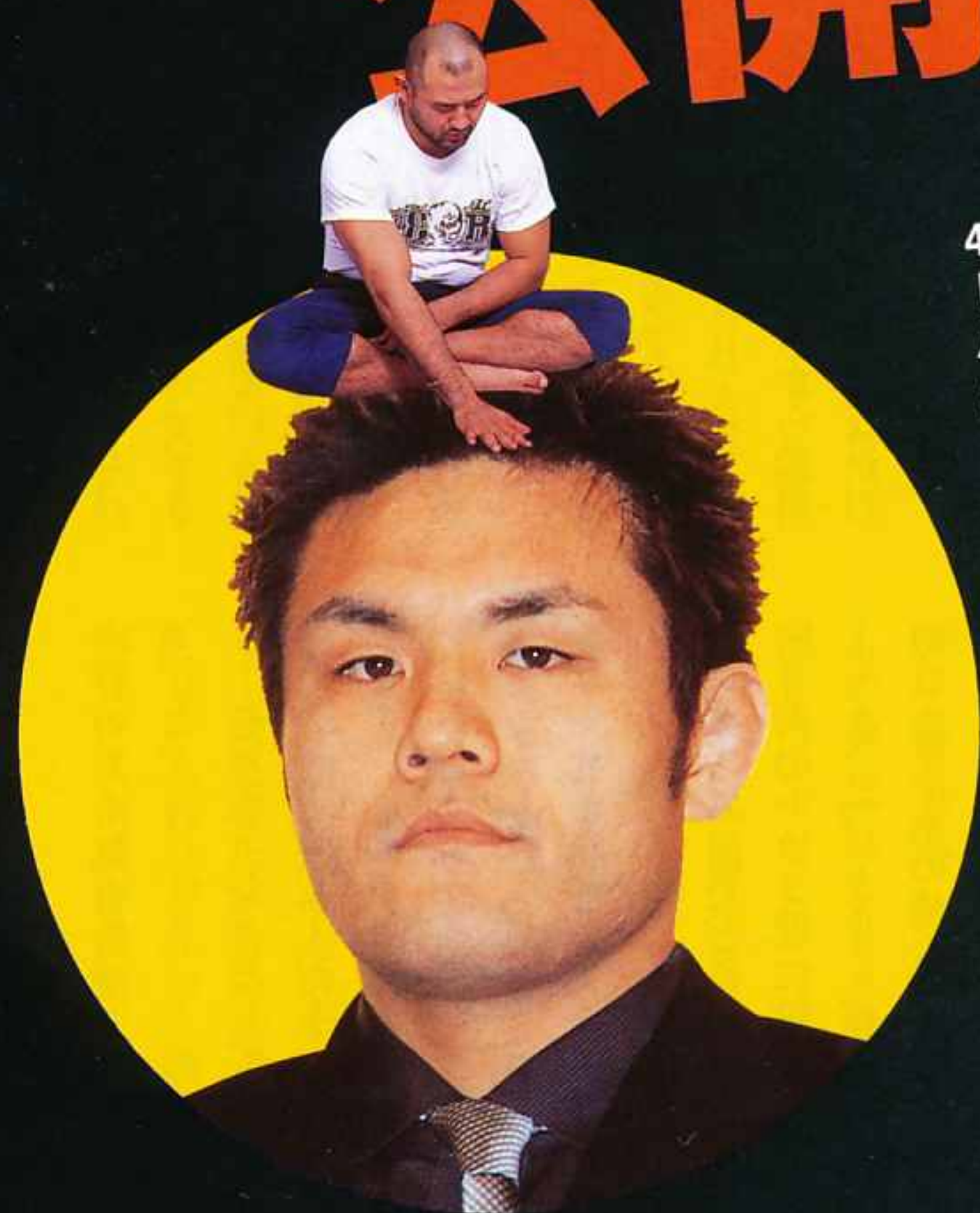
『ＰＲＩＤＥ』vsＫ―１として注目されていたギルバート・アイブルvsサム・グレコの一戦は、両者が負傷という事態になったため中止となった。総合では打撃のスペシャリスト（Notサミング）として名高いアイブルと、昨年の大みそか「猪木ボンバイエ」でバーリトゥード初挑戦とは思えない動きを見せていたグレコとの対決だっただけに激闘が期待されていたが……。次の舞台での激突を期待したい。

いったいこのドキドキ
ヒリヒリ感はなんなんだ!?

ンダー大塚

4・28『PRIDE.20』〜横アリの裏メイン、菊田早苗戦決定!

「嫌いだから、ブチのめして、ブチ殺す!!」アレク、絶賛沸騰中!!

生まれて初めての"公開喧嘩"宣言!!

4・28横浜——とうとうパンクラス勢が『PRIDE』に攻め込んでくる。しかも、いきなり実力者登場、「寝技世界一」菊田早苗の参戦だ。パンクラスに所属していない頃、『PRIDE』に参戦経験のある菊田はホイス、シウバ、ヘンゾに対戦表明をしていたが、『PRIDE』初出陣を前に交渉は難航。横浜決戦の約2週間前にようやく対戦相手が決まった。その名はアレクサンダー大塚! いまや『PRIDEの番人・ジャパニーズ版』と化した感のあるアレクだが、今回は"門番"としての登場ではない。カード決定までの難産ぶりだけではなく、アレクには菊田に対する憎悪に近い感情があるようだ。4・11の対戦発表会見で「パンクラスは素晴らしい団体だけど、(菊田は)個人的に嫌い! ブチのめして、ブチ殺してやりたい!」とブチブチとブチまけたアレク。はたしてその"菊田嫌い"の根っこにあるものはなんなのか? 会見後、菊田の控え室まで乗り込み『JUST BRING IT!』と挑発までカマしたアレクを、その当日、あらためて直撃した。そしてこのアレクの怒りは、下馬評の「菊田、圧倒的有利」をひっくり返せるか? どうなる、ドキドキヒリヒリの4・28アレクvs菊田戦!

聞き手/山口日昇 撮影/森"モーリー"鷹博 designed by hisa (Two Three)

アレクサン

——ズバリ言って、記者会見（囲み記事参照）であそこまで言ったのは、いままでないんじゃない？

アレク　こういう気持ちで会見に臨んだのはないっていうか、ここまで相手にリスペクトなく試合に臨むのが初めてかもしれないです。

——あ、リスペクトがない！

アレク　会見でも言った通り、パンクラスという団体に対しては、素晴らしい団体だと思ってますけどね。

——その会見では、菊田選手の〝生い立ち〟にまで言及してましたね（笑）。

アレク　いや、生い立ちっていうのは言葉の使い方を間違えましたね。んむはぁ。この業界における彼の生き方というか、流れっていう部分が嫌いなんですよね……本当にブチのめしたい！

——その思いが会見で、「個人的に嫌い」と言わせたと。

アレク　はい。ボクもハッキリ100％、自分の耳で聞いたわけじゃないですけど、この業界に入るまでの流れ、プロレス団体の新弟子をやって逃げてっていうことを噂で聞いたんですよ。本人的には逃げたのか、見切りをつけて辞めたのかわからないですけど、それにしても、1度ならず2度3度っていう話を聞いたんで。

——新日本、Uインターの練習生だったんですよね、菊田選手は。

アレク　そもそもプロレスが好きだったはずの人間なのに、いまに至るまでプロレス業界・プロレスラーに対してもバカにしてる部分が大いにボクの耳に入ってきましたから。それプラス、バカにしているにも関わらず、プロレス業界でメシを喰ってるっていうのが気に入らないですね。

——パンクラスは一応プロレス団体って名乗ってますからね。

アレク　会見の時には言わなかったんですけど、しかも、自分の周りの金魚のフンみたいな奴らまで『パンクラス・GRABAKA』とかいって、少なからずパンクラスから給料貰ってるわけじゃないですか。あ、少なからずって言ったら失礼か……。

——ガハハハハ！　多いか少ないかはわかりませんけどね（笑）。

アレク　そういう部分で、自分以外の人間までこの業界でお世話になるような形を取ってるのに、それがこの業界をあれこれ言うのは許せないですね。それに、尾崎社長も会見で言ってた通り、プロである以上、面白い試合、内容のある試合をやるべきなんじゃないかなぁ、と。

——じゃあアレクとしては菊田選手の試合は面白くなく映るんだ？

アレク　あんまり見たことないんですけど……んむはぁ。

——ガハハハハ！　見たことない‼　思いきり失礼な話だなぁ（笑）。

アレク　で～も、1回か2回はありますよぉ。リングスに出たときの田中稔戦ではボクが田中さんのセコンドに付いたから。

——あ、『バトル・ジェネシス』（97・10・14）。確かあの後も「いやぁ、ルチャのチャンピオンに勝っちゃいましたよ！　ハッハッハッハ‼」と言って、バト勢のヒートを買ったこともありましたね。

アレク　そうだ！　そういうことも言ってましたね。思い出してムカついてきた。

——ちょうど、稔選手が何かのチャンピオンだったときだ。

アレク　UWAのミドル級ですね（笑）。あれ？　インディペンデント・ワールドかな……？

——いや、UWA。どっちでもいいんだけど……ってよくないか。これじゃ俺の方がよっぽどプロレスをバカにしてるな（笑）。

アレク　んむはぁ。でも確実にどっちかです。

——で、その件はその後収まったんだけど、天山（広吉）・小島（聡）選手に対して「見せ方はウマイと思うけど、それだけであれだけ客を集めちゃう。ロクな死に方しないんじゃないか」とか強烈なこと言って、業界に大波紋を起こしたことがあるんですよ。

アレク　ああ～、いろいろあるんですね、ボクの知らないところでも。な～んか他にもたくさんありましたよね？

——ウチの雑誌でも「ロープに振ったりしてる人間は格闘家と名乗るな」とか、プロレス

4・11——アレク、不穏な怒り爆発会見再録

4月11日、『PRIDE．20』に関する会見が都内ホテルで行われ、アレクvs菊田戦を始め、追加4カードが発表された。この日の出席者は森下直人・DSE社長、尾崎充実・パンクラス社長、そしてアレク、菊田両選手の4名。

会見はまず、森下社長、尾崎社長が挨拶。両者ともに菊田の対戦相手の交渉が難航したことを明かし、ようやく相手が決定、パンクラスが『PRIDE』のリングに上がるという〝難産〟を終えたことに対する安堵の報告から始まった。

ここで印象的だったのは尾崎社長の力強い宣言だった。「パンクラスも全方位外交を謳って3年ですが、これを機に『PRIDE』のリングをかき回してやりたいと思います！（キッパリ）。森下社長がおっしゃいました通り、これがスタートとなります！（再びキッパリ）」と、尾崎社長は、『PRIDE』に乗り込む意気込みをサッパリと語った。

そしてこの後、アレク、菊田両選手が対戦への意気込みを語ることになるわけだが、ここでアレクが一気にヒート！　不穏な空気が会場に流れ始めた。

アレク　（不機嫌そうに）今回、急遽この試合が決定しまして、森下社長がおっしゃっていたように、いい試合ができればなっていうのはあります。それにパンクラスには、引退されましたが船木（誠勝）選手をはじめ、鈴木（みのる）選手など素晴らしい選手がたくさんいらっしゃるというのは、ボクも重々承知しています。ですけど、このカードに関してだけは難航と言ったところで、正直、ボクの方においては全く向こう側からの対戦要求で、しかも何度かオファーというか、お話し合いがあった中で、体重を何キロにするかとかで待たされたりとか、そういうことがありましたので、ハッキリ言うと、あんまり面白くない部分が十分あります。森下社長のおっしゃる部分の〝いい試合〟ができるかどうかは、ハッキリ言ってボクの中でもわかりませんが、まあ、できる限りのことを試合で出していきたいなと思います。パンクラスさんに対しては、本当に素晴らしい団体だと思ってます。ただひと言、ハッキリ言って菊田選手は個人的に嫌いなもので、そこの部分だけを出して、今回の試合は〝『PRIDE』代表〟とか〝プロレス代表〟とかいうものを差し置いて、ボク、いち個人的なもので闘いたいなと思っ

に対して「人間的にちょっとバカにした商売。ボクは認められない」と言ったりもしてましたね。そういう発言も、自分で原稿チェックを何回もしたにも関わらず、あとで「あれは『紙プロ』が勝手に書いた」って言い回ってたというし(笑)。

アレク　ああ、そうだ。そういうところも気に入らないんですよ。あとでコソコソ言い訳するなよって感じですね。

――いま、菊田選手がプロレスに対してどう思ってるのかわからないけど、そういうことが、巡り巡ってアレクの頭の中にインプットされてたんでしょうね。

アレク　は〜い。

――ちょうど菊田選手がそういう発言をしていた絶頂のころに、アレクのマルコ(・ファス)戦があったから、プロレスラーの底力を見せてほしいと、ウチは大々的にアレクに乗ったんだよね。

アレク　ああ、マルコ戦の1年くらい前でしたよね、彼が田中さんとやったのも。

――その頃と状況はだいぶ違ってはいるけど、それでもアレクは、去年も「菊田選手とだったら闘いたい」って言ってましたよね?

アレク　去年の9月の美濃輪(育久)戦への一連の流れで、GRABAKAがパンクラス本隊に対してバカにしてる部分があって、闘いたいっていうより、そのときは試合云々じゃなくて、ブチ殺したいなっていうか、そういうふうに思いましたね!

――ア、アレク……あ、熱いなぁ、今日は。そのときは、なんでそこまでテンションが上がったの?

アレク　いままでのことを踏まえて、コメントのひと言ひと言!　態度!　面構え!　全てですね!!

――要は、馬が合わないってこと?

アレク　(ハッとして)そうかもしれない。それにボクは個人的に美濃輪選手が好きだから。雑誌の記事とか見てると凄い頑張ってるし、本人のインタビューでも「プロレスラーの魂を手に闘う」みたいなことを言ってるし、

プロレス団体の新弟子をやって1度ならず2度3度と逃げ出しといて……

ボクは試合を全部見たことはないんですけど、記事や写真からもそういう気持ちが凄く伝わってくるものがありますから。

――アレク選手のスタンスに近いものを美濃輪選手に感じるの?

アレク　そうですね。だから、菊田と対戦が決まったときに「ゼヒとも(美濃輪に)勝ってほしい」って思ってたのが負けちゃって。内容は面白かったっていうのを聞いたけど、残念な結果に終わっちゃって。その試合の次からパンクラスとGRABAKAの対抗戦みたいな流れになったんだけど、それも負けちゃって。その次に近藤選手が出てきて、ようやく郷野(聡寛)選手を病院送りにした。それでスッキリして、ボクの頭の中から、GRABAKAっていうか菊田早苗っていう存在はちょっと消えてたんです。

――じゃあ、美濃輪選手と対戦する前後の、菊田選手のコメントにもムカついてた?

アレク　はい、思いきり!!

――その中でなにか憶えているのはあります?

アレク　(即座に)ないです!　で〜も、ムカつく!

――ダーッハッハ!!　ないけどムカつく!!　要は、馬が合わないってことですね(笑)。

アレク　だから、そのときはホント、「できるものならパンクラス側に入ってでもボクも参加したい。ゼヒ勝ってほしい」って、日高(郁人)から伊藤(崇文)選手に伝えてもらったこともあるくらいですからね。

――へぇ〜、それくらいGRABAKAを敵視してるんだ。

アレク　そうですね。そういう意味では、ボクにとってGRABAKAというのは凄くいい存在だと思うんですよ。

――会見では試合の体重について言ってたでしょ。あれはどういう経緯だったんですか?

アレク　ボクが最初にDSEから話を聞いた

ております。よろしくお願いします。

菊田　えー、今日はたくさんの方々にお集まりいただきましてありがとうございます。いろいろな方々の力によって、また『PRIDE』に参戦できることをとても嬉しく思っております。(苦笑しながら)いま、大塚選手の方から、いろいろわけのわからない話がいっぱいありましたけど、あんまりなんかよくわからないので、ボクとしてはもうブチのめすしかないんで、試合の結果を見てもらえればいいかなと思っております。以上です。

アレクの挑発に対して、菊田はクールを装うが、内心はかなり熱くなってるようにも見えた。ここで会見は、マスコミからの質疑応答に移る。

――オファーがあってからの保留(期間)であるとか、体重に関しての条件付けなどについてと、「個人的に嫌いだ」という理由は?

アレク　ボクは一方的に言われたものに対してほとんど即答という形で返事を返したのに、向こうの返事待ちの状況ばっかりでした。まず最初に言われたのが「ミドルで」ということだったんで、〃『PRIDE』のリングにおけるミドル=93キロ〃というのしかボクの中で……その重さしか出てこなかったもので、「それだったらいいです」と言ったところ、90キロだの92キロだという、そういう1キロ2キロのチマチマした女々しい部分だけで、1週間とは言わないですけど、ボクも他のことで予定が立っていたものをそういうふうになったもので、なんか「イヤだなぁ」と思いました。あと、「個人的に嫌いだ」という部分に関しましては、ここに至るまでの彼の生い立ちというか流れですね。そこに関しても気に食わないなど。先ほども言ったように、ボクの個人的な、そこの嫌いな部分だけを相手にぶつけて、ブチのめして、ブチ殺してやりたいですね!

会見でのアレクがここまで怒りを込めたテンションで、「ブチのめす」「ブチ殺す」という言葉を吐くのは非常に珍しい。マスコミ陣の間にも、〃なにかいつもと違う〃という雰囲気が漂い始めた。

この後、森下、尾崎両社長から、菊田の相手が最終的にアレクに決まった経緯が語られた。パンクラス・サイドとしては、第1がホイス(・グレイシー)、第2が(ヴァンダレイ・)シウバという希望を出していたが、今回はタイミングの問題、微妙な部分で条件が合わなかったという。

それ以降、様々な選手の名前が出てきたものの交渉

のは、菊田選手とミドルでやってほしいってことだったんですよ。

――『PRIDE』の場合、ミドルって93キロまでですよね。

アレク　そう！　ボクはもうそれしか頭になかったもんだから、「93キロかぁ、ハイ、いいですよ」って言った。それを向こうに返した。で、この話はどこまで正確かわかんないけど、ボクが聞いた中では、そのあと90キロまで落とせとか、最終的には、な〜んか92キロにはならないかとか、ネチネチとこだわってたらしいですね。量り売りじゃあるまいし。

――肉の量り売り（笑）。それで会見で「1〜2キロのことでネチネチと女々しいことを言わないでほしい」とアレクは言ったわけだ。

アレク　そんなもん、プロフィールもあるわけだし、ボクの体重も最初からわかってるわけじゃないですか。しかもそんな2〜3週間前の間際で決まった試合なのに、そんなことまで言うんならボクを指名しなくたっていいじゃんっていう。そこまでして『PRIDE』に出たいんだったら、その辺も自分で加味して出れば？って。菊田本人がどこまでこの体重問題に関わってたかわかんないですけど、それにしたって、交渉役の尾崎社長の言葉は菊田の言葉と同じじゃないですか。始めから自分の体重に近い人間とやりたいって言ってて、それが合わない。だったら、体重云々とかそこまでして『PRIDE』に出なくてもいいんじゃないかって感じですよね。

――逆に会見では、尾崎社長に「やるって決めたんだから体重のことは、ウダウダ言わないでほしい」って言われちゃいましたね（笑）。

アレク　はぁい。でも、そう言うってことは、（体重のことを）きっと言ってたからじゃないですか。

――尾崎社長にそう言われたことに対しては腹は立たなかった？

アレク　この一件がなければ尾崎社長は凄くいい人だと思ってます。ボク、別に尾崎社長に対しては、いまも何もないですね。上に立つ社長としてそういうことを言わなきゃならないというイヤな部分も背負って、菊田の代わりにコメントしないといけない立場だってわかってるんで。

――菊田選手本人は、会見後、記者陣に囲まれたとき、その“減量要求疑惑”については「そういうのにこだわってる小ささも、小さいかなって感じ」とクールでしたね。

アレク　……馬が合わない。その小さいヤツのケツの穴はおまえのケツの穴より大きいゾ、と！……んむはぁ。

Alexander Otsuka

99・11・21『PRIDE.8』（有明コロシアム）。アレクvsヘンゾ戦。サクがホイラーを撃破したこの日、もうひとつの“グレイシーとの名勝負”を演じたアレク。1年前に菊田を破ったヘンゾを相手に、パーマンマスクを片手に入場。4度もタックルを取り、完璧に極まってたはずの十字を脱出し、実にスペクタルな展開の末、グレイシーの奥深さを引き出した。判定で敗れたが、誰もが賞賛の声を贈った

01・12・23『PRIDE.18』（福岡マリンメッセ）。アレクvsヴァンダレイ・シウバ戦。その底力とは反比例して、『PRIDE』ではしばらく不振が続いたアレク。しかしPRIDEミドル級王者＆日本人の最大の敵・シウバとの対戦権をゲット！　圧倒的不利の声が囁かれる中、「シウバvs日本人の中ではベストバウト」と一部で絶賛される試合を披露。復活への助走を見せた。真の復活は4・28か？

――会見で菊田選手を見た印象は？

アレク　1回も顔を見てないんでわかんないです！（キッパリ）。

――じゃ、体型を見て、組みやすそうだとか、組みにくそうだとかの感想もない？

アレク　体型？……スーツ着てたのはわかりました！

――ガハハハ。それくらいは誰でもわかりますね（笑）。

アレク　ボクもああいう会見の席には、いつもだったらスーツ着て出るんですけど、バカらしくて（サラリと）。家を出ていくとき、カミさんに言われましたよ。「記者会見なのにスーツ着てかないの？」って。

――「スーツを着るまでもない!!」（笑）。

アレク　せっかく写真撮ってもらうんだから、ボクも一応ピシッと格好良くキメたいな、とは思うんですけどね。んむはぁ。

――今回はパーマンのマスク持ってきたりとか、腹話術やったりとか、そういうのもなかったもんね（笑）。会見での写真撮影のとき、隣に並んだ菊田選手から威圧感とかは感じなかった？

アレク　「コイツ、やだなぁ〜」って感じは伝わってきましたね。それプラス、「ホザいてろよ！　リング上で見せてやる」「バカにしやがって」「それ以上にこっちはお前のことをバカにしてんだからな」っていうようなムードはヒシヒシと伝わってきました。

――『PRIDE』で対日本人というと、高田延彦戦以来だけど、あの試合はお互いがどれだけ分かり合えるかっていうのがひとつのテーマだった。今回は？

アレク　まったく、わかり合いたいとかは思わないですね。

――だからこそ、観る方としては異常にワクワクヒヤヒヤするんですよね。

アレク　でも今回だけは、試合を観たらつま

は難航。そして話し合いの中で森下、尾崎両社長の一致した一番重要なポイントは「プロとして面白い試合になるマッチメイク」。そういった流れの中から最終的にアレクvs菊田戦が決まったという。

そしてその後、マスコミの質問は、再びアレクと菊田に向いていった。

――菊田選手の格闘家としての流れ、生い立ちが気に食わないとおっしゃいましたが、具体的にどういうことでしょうか？

アレク　詳しくは知らないんですけれども、ボクの知っている限り、（菊田は）2つか3つの団体ですかね、とにかく1度プロレス界に足を踏み込んで、その足跡を残した。いまのプロレスラーも、ファンから上がってきてプロレスラーになった選手も多いと思うんですよ。ボク自身はプロレスをあんまり見ずにプロレスラーになって、それでもこの業界なり自分自身のプロレスラーとしてのプライドもあるし、自分自身のプロレスを愛しています。なのに彼は……多分ファンだったと思うんですよ、プロレスの団体に関わってきたということは。それがこの業界で生きていながらプロレスをバカにしている、愛せないというところが気に食わない部分ですかね。

【アレクの発言を受けて菊田がマイクを取る】

菊田　そ〜うですねぇ、まぁ人それぞれですからねぇ（苦笑）。好きな人は好きで、嫌いな人は嫌いでいいと思うんですけど、ボクもちょっとそういういろんなことあったもんで、もう10年とか前の話なんで、あんまり興味ないというかですね……まぁわかりました！（苦笑）。意見しようがないと言うか、そんな感じです。

――契約体重というのはあるんでしょうか？

森下社長　基本的には『PRIDE』ルールにおいて「ミドルで」ということです。

――アレク選手の発言を聞いていると、菊田選手が体格差を気にして、細かく条件を付けてきたように感じられたのですが。

菊田　体重に関して言えば、いま90キロない状態なんで、最初ホイスというのがありまして、彼も体重のことかを言ってきたりしてですね、尾崎社長の方に「なるべく自分の体重と合わせた選手とやりたい」っていうのは伝えてありました。その後の交渉は全部尾崎社長に任せているので、ボクからは何もないんですけど。

尾崎社長　体重に関しては、なるべく同じくらいのウエイトで、例えばウチの菊田の対戦相手がもうちょっと軽い場合は、おそらくそっちに合わせるということになる

んないかもしれない。今回だけは正直、「楽しみに観てください」とは言い切れないですね。面白い試合よりも、ブチのめすっていうことしか考えてないですから！（キッパリ）。

——その気持ちがわかれば、結果的につまらない試合になっても問題ないんじゃないですか。観る方のテーマとしては、アレク選手がどれくらいのモチベーションでリングに上がってくるかっていうのを見たいわけだから。

アレク そうですね。

——逆に言えば、菊田側、パンクラスやGRABAKAのファンからしてみると「あんなプロレス野郎はブッ潰せ！ キュッと極めてやれ!!」って思ってるわけでしょ（笑）。

アレク 思ってるんでしょうねぇぇぇ。「なにホザいてんだ！」って思ってるんじゃないですか。「まぐれでマルコ（・ファス）に勝って、その後、結果も出さずにいいとこまで行って、この世界でなにやってんの？」みたいに思ってるでしょうねぇ。

——言いにくいことを全部言ってくれてありがとうございます（笑）。でも、向こうがそう思ってくれた方が断然面白い！

アレク はい。むしろそれをドンドン表に出してもらいたいです。

——今日の会見でも菊田選手は実にクールだったね。アレクが発言すると「何を言ってるんだろう、この人は」って感じだった（笑）。

アレク そういうところが嫌いなんですよね。そういうところ"も"だ。だったらそんな記者会見するような競技に出なきゃいいじゃないですか、別に。

——"記者会見するような競技"？（笑）。

肉の量り売りじゃあるまいし、1キロ2キロって、チマチマと……

アレク 競技っていうか、そういうプロの場に来ずに、普通に参加費払って参加する競技だけやってればいいじゃないですか。それで優勝して満足してればいいのに。

——飛ばすなぁ。アレクが会見で「ボク自身はプロレスをあんまり見ずにプロレスラーになったけど、プロレスラーとしてのプライドもあるし、プロレスを愛してます。でも（菊田は）プロレスが好きだったはずなのに、プロレスをバカにしてる」みたいなことを言った。それに対して菊田選手は「まぁ人それぞれですからねぇ」って薄ら笑いを浮かべて困惑してましたね（笑）。

アレク だから、人それぞれだろうけど、そんな別れた女の悪口を言うような女々しいことはするなよってことです！ 黙ってりゃいいんですよ!! プロレスに対する悪口もなくて、行動だけでいまの地位を築いたら、凄いなって、ボクもスタンディング・オベーションを送りますよ。

——立ち上がりますか！（笑）。菊田選手はプロレスとつき合いたかったんだけど、プロレスとつき合えなかったっていうような気持ちなんですかね。

アレク ああ、そうですね。逆を言えば、ボクがそういうふうに捉えてるんですけどね。

——別れるもなにもプロレスとはまだつき合ってないんだと思うけどね（笑）。

アレク （鬼の首を取ったように）彼は奥手なんですねぇ。……ってことは、まだ童貞ですか？（笑）。

——プロレス童貞でしょうね（笑）。プロレスとシッカリつき合ってないから悪口と取られるようなことを言うんでしょうね。もしシッカリ向き合って、相手の良さも少しはわかってたりしたら、別れた後に必要以上には言わないでしょうしね。

アレク じゃあ、踏み込んだ部分で、どんなことがあったのか知りたいですよね。プロレスっていう"女"に何をされたのか（笑）。それを知ればボクもここまで嫌いにならないかもしれない。むしろ凄く好きになるかもしれない。まぁ、それもいまとなったら知りたいとも思わないですけどね！（キッパリ）。

——そういえば、会見ではクールだった菊田選手も、さすがに会見後のコメントでは「ブっ殺してやろうかなと思えたんでよかった」

01・9・30パンクラス（横浜文化体育館）。菊田vs 美濃輪育久戦。GRABAKAの大将として、パンクラス本隊の切り込み隊長・美濃輪を迎え撃った菊田。菊田の蹴りで美濃輪が目尻を切り、残念なドクター・ストップ決着。しかし振り返ると、菊田は盤石の強さを見せていた。まさに立ってよし、寝てよし、上よし、下よしの四拍子揃ったファイターだ。この牙城をアレクはどうやって崩すのか？

98・3・15『PRIDE.2』（横浜アリーナ）菊田vsヘンゾ・グレイシー戦。PRIDE草創期。佐野vsホイラーという異次元対決があったこの日、菊田はヘンゾと50分以上のハイレベルな"膠着試合"を展開。別の意味で観客を異次元へと誘いこんだ末に敗れた。その後、アレクがマルコを破った『PRIDE.4』にも登場。松井駿介（現・大二郎）と引き分けた。菊田にとって『PRIDE』は鬼門なのか？

と思うんですけども、大塚選手がどうのこうのじゃなくて、もともと同じくらいの体重と考えていました。そういう意味で考えただけで、大塚選手がいまお話したように細かいゴチャゴチャしたことというのはボクらとしてはあんまりないんですよね。結局93キロという体重でこちらはOKしてますんで、体重のことでグダグダ言うのは止めてほしいなと思います！ 大塚選手はいまの体重がおそらく96～97キロですか？ それを80キロ台にしろとは言ってませんので、それでウチの方が何回も言ったとかそういうんじゃなくて、もう受けたんだからグダグダ言わないでほしいです。

アレクが投げかけた"減量要求疑惑"に対して、尾崎社長は、最終的に『PRIDE』のミドルに合わせたのだから、この話題を持ち出すな、とピシャリ。アレクにとっては交渉過程そのものが腹に据えかね、尾崎社長にとっては交渉過程を明かされたのが腹に据えかねたようだ。

——お互いのファイトスタイルをどのように受けとめて、自分ではどのように闘っていこうと考えているんでしょうか？

アレク プロフェッショナルなんで、いい試合、面白い試合、内容のある試合をやるというのは、森下社長が『PRIDE』をやられてから言い続けてきた通りだと思います。ボク自身はそれを心懸けているんですけど、対戦相手である菊田選手は、ボクから見てハッキリ言って面白い試合は出来ないんじゃないかなぁと。そういう意味で、向こうの土壌にならないようにしたいなと思います。

菊田 ボクも当然面白い試合にしていきたいなというのはありまして、大塚選手に関して言えば、凄く粘り強いイメージがあるので簡単にはいかないなというのはありますんで、どれ位の時間になるかは闘ってないからわからないですけど、面白くジワジワとやっていきたいと思います（薄笑い）。

お互いがお互いのスタイルで嫌み&挑発を言い合うという思わぬ展開となったこの日だったが、この後4者での記念撮影、そして静かに火花が散ったアレク、菊田2人による記念撮影を最後に会見は終了した。

しかし、この後とんでもないことが起こった！ アレクが菊田の控え室を急襲！ ロック様ばりに『JUST BRING IT！』（かかってこい！）と菊田を手招きしたのだ。

と言ってましたね。

アレク ああ、ホントですか！　やっぱり……馬が……合わない。

――やっぱり（笑）。でも、馬が合わない同士が闘うのは、格闘技の原点のひとつですよね。

アレク そうですよね。相手をブッ殺してやりたいとか、ブチのめしてやりたいっていう気持ちがあるから闘うわけですからね。それに、記者会見の中で「そうやっていろいろ言ってるけど、試合の結果を出して黙らせる」って言ってたじゃないですか。そんなもん、腕十字やスリーパーなんかで負けたって、ボクはウンともスンとも言わないですからね。

――ウンともスンとも言わない（笑）。

アレク ただ、それが卍固めとかコブラツイストとかのプロレス技で、ボクが負けることがあれば、グゥの音くらいはちょこっと出るかもしれないですけど。

――"グゥの音"の"グ"くらいは出る（笑）。

アレク それぐらいやってみろ！っていう感じですね。

――熱いぞ、アレク！（笑）。ところで、会見のあと、（菊田の）控室まで乗り込んで行ったらしいですね。ホント、いつになくテンション高いよねぇ。

アレク ボクが勝手に感じてるだけなんだけど、写真撮ってるときも、（菊田の）内からなんとなく出てくるものを感じたんで。あとからでもコメント出すくらいだったら、せっかく記者会見やってんだから、その場で言やぁいいじゃんって！　そういう部分で、やるんならやってやるよ、かかって来いと。『JUST　BRING　IT！』っていう感じですね（笑）。

――自然にそういう気持ちが沸き上がってくるっていうのは面白いですよね。

アレク 結果、試合終わってみて「面白かった」って思ってもらえるといいんですけどね。

――「ブチのめしてやる」っていうモチベーション同士がぶつかり合って、それが結果的に面白かったら、それは極上のエンターテインメントですよ！　でも単に対日本人というだけじゃ、そこまでの憎悪は出てこないよね。

アレク そうですね。そういうのは、普段から別にガイジンにだってないです。

――じゃあ、対日本人っていう気負いは全然ないんだ。

アレク はい。むしろガイジンみたい。異国というか、別世界の人。

――その菊田選手に対する憎悪の根っこにあるものは何なんだろうなぁ（笑）。単純にプロレスをバカにしてるからってだけじゃないでしょ。

アレク でも、根本はそこですねぇ。根本はそこで、プラスαで、凄いいっぱい何かがあるんだと思います。もう……ブチのめしたい！

――会見で「『PRIDE』を背負うとかプロレスラー代表としてとかは今回は差し置いて、個人としての闘いをする」って言ってたでしょ。

アレク 観る側はどうしても『PRIDE』対パンクラスみたいな部分で見る部分はあるとは思うんですよ。そう観てもらってもいいんだけど、ボクのモチベーション的には個人的な闘いをやるしかないっていうか、もう、そこしか沸いてこないんです。

――今回は、『PRIDE』を代表してとかプロレスラーを代表してっていうより、「個人的にアイツが嫌い」っていうモチベーションの方が、なぜかスンナリくるんですよね。「アイツはプロレスをバカにしてるから嫌いだ」とかは確かに動機としてはわかるんだけど、「なんかアイツは強いんだろうけど、イケ好かないなぁ」というモチベーションのほうがスンナリくる（笑）。

アレク 多かれ少なかれ、（菊田に対して）そう思ってるファンがいるとすれば、そのファンの気持ちは背負うつもりです。

Alexander Otsuka

会見後、静かに煮えたぎるアレクのコメント

『PRIDE』の会見で乱闘というと、約2年半前に、小川直也が高田延彦に菊の花束を投げつけたことがまっ先に思い出されるが、この日も"あわや乱闘か？"という雰囲気にマスコミ陣＆関係者の間には、一瞬緊張が走った。

しかし、寸前のところでお互い深入りせずに乱闘は回避された。が、4・28に向けて、すでに両者臨戦態勢という雰囲気はプンプンだった。

――さっき、菊田選手の控え室で何があったんですか？

アレク いやいや、「リング上でね」って話を（笑）。

――菊田選手のリアクションは？

アレク 苦虫噛み潰したような顔してましたよ。

――試合のオファーはいつ頃でした？

アレク 今回（『PRIDE・20』）はないと思っていたんですけど、急に話を振られて。1週間ほどやりとりをしていて、今日に至るという感じですね。ボクは逆に体重にはあまりこだわりはないんですけど、体重に関してでも、最初からボクの体重は表記されてるわけですから、それでボクをチョイスしたんなら、それでもう始めからやれよ、という感じですね。それだったら始めから選ぶなど。他の選手を選ぶなり、『PRIDE』に出てこないなりすればいい話だし。だったら例えば美濃輪選手はもっと体重違うんでしょうけど、彼の方が体重的に不利になるかもしれないけど、そっちの方が面白いし、ボクも楽しいですよね。

――菊田選手との確執はいつ頃から？

アレク 確執って、向こうは何もないでしょう。ボクが勝手に嫌いなだけです！　いつ頃かちょっとわからないですけど。そうだ、パトラーツ時代にリングスの後楽園ホールで一度、田中（稔）選手がやったときに、そのときには明らかにボクは嫌いでしたね。それは確実。

――オファーはいつ頃？　間際になって急遽指名されたことへの不快感はあります？

アレク それは別にないですね。ボクの名前が出た後に、「ミドルならボクもいいですよ」って答えた。『PRIDE』のミドルは（リミットが）93キロってわかってるのに、なんでそこで92キロと言ってくるのか。そんな1キロであーだこーだ言うんならボクはいいですって断ったんですけど、「いや、そんな結果をすぐ出さなくても」とかそんな感じでした。

――菊田選手は寝技で世界一と言われてますけど。

アレク 戦績とか数字で見ればそれは凄いかもしれないですけど、プロ

――言っとかないとフェアじゃないから言っとくけど、菊田選手に対して「なぁ～んかイケ好かないなぁ」っていうのは、正直言ってボクの中にもあるんですよ（笑）。菊田選手は強いし実績も残してる素晴らしい選手だというのを前提としてね。

アレク　んむはぁ。ボクもいま、本人がどういう思いでいるのかはわからないけど、プロレスに対しての過去の部分を自分で納得させるというか、消し去るということを、ある意味で励みにして築いてきたところがあるのかもしれない。そうやってきたことの素晴らしさはわかるんですよ。

――格闘技マニアが「菊田最高！」「菊田最強！」って言う気持ちもわかりますよね。

アレク　それは認めます。それは認めるけど……。（力強く）嫌いですッ!!

（菊田は）ガイジンみたい。……異国の人っていうか、別世界の人

――いいぞ、アレク！（笑）。お互い譲れないものを持っている者同士が闘うというのは、イメージの中のプロレスの原点であり、格闘技の原点ですよ。

アレク　そうですよね。

――今度の『PRIDE』はいろんな観点から見れるカードが揃ってるけど、アレクvs菊田は、そういう部分を強く感じさせてくれるっていう部分で異質ですよね。今回の『PRIDE』の裏メインですよ！

アレク　でも、今回に限っては「オイシイ」とかの思いはホントにないですね。

――負けたらどうしようとかそういう気持ちは？

アレク　全くないです！（キッパリ）。

――負けたら負けたでいいやって感じ？

アレク　（コクンと頷き）もし負けても、できるものなら、またなんかしらの形で、勝ち負けよりもブチのめしたい。始めからそう言ったら、また向こうがこれ読んだときに「言い訳作りだ」って思うかもしれないけど、それぐらい……嫌い!!

――じゃあ、たとえ勝ったところで、ブチのめせなかったらアレク選手の勝ちにはならない？

アレク　（コクンと頷き）はい。だから会見の後、テレビのインタビューがあって、そのときのインタビュアーの人から聞いたんですけど、「向こうはプロレスと『PRIDE』の二足のワラジを履いてて、負けても言い訳できる場所がある。プロレスラーとして帰る場所があるからいいけど、自分は勝たないといけない」みたいに菊田が言ってたって言うんですよ。あと、この試合はボク（アレク）の方がリスクが大きいとか。そ～んなの全く関係ないですね。

――その「帰る場所があるからいい」っていう意見に対してはどう思います？

アレク　それは勝手な思い込み。ボクにしたって、帰れる場所があるからいいって言われたところで、この2年くらい……ねぇ！

――帰る場所ないよね？（笑）。

アレク　はぁい。実質は帰る場所はなかったわけですから。

――いまや帰るべき団体の事務所が串焼き屋になっちゃったし（笑）。

アレク　それにNK（昨年10・14）でランペイジ（・ジャクソン）とやって負けて、11月のドームは出なかったけど、急遽福岡でシウバ戦が組まれて「なんでお前が出れるんだ」って言われたり。

――「なんでアレクばっかりチャンスを与えられるんだ」っていうふうに思った人はいるでしょうね。

アレク　そうですね。

としては認めないですね。それでいてプロレスのリングに上がってるんですからね。そんな90何キロって細かい数字で契約してやるんだったら、「体重オーバーしたら負けですよ」って制約のある、そういう大会でやって（『PRIDE』には）出なくていいじゃないですか。

会見後、終始余裕&薄ら笑いの菊田のコメント

――いまの心境はいかがですか？

菊田　まぁ、面白いですよね。向こうもそうなんでしょうけど、ボクもモチベーションが（上がらなくて）なかなか大変な部分があったんですけど。今日、記者会見で「コイツ、ちょっとブッ殺してやろうかな」って、フハハハハハ！　思ったんでよかったです。

――今日（会見を）やって面白くなかったと。

菊田　ありましたね。そんだけ言ってるからには、面白いことを、ボクを十字かなんかで一本取るくらいのことをやってほしいなと思いますけどね。

――菊田さんとしてはどんな闘いを？

菊田　ボクはせっかく『PRIDE』ルールなんで、ガンガン膝を出していきたいなぁと。

――じゃあ一本よりKOとかを狙う。

菊田　でも粘り強いから、なかなかそれでは無理だと思うんで、最終的には関節極めたいと思ってます。

――アレク戦っていうプランが出てきた後に何キロでっていう話をされたんですか？

菊田　あ～れは大した問題じゃないと思うんですけど。いまだって（アレクは）97キロとかあるんじゃないですかね。もともとボクは90キロ以下でやろうっていうのがあったんで。だからそれでヘンゾなりホイスなり、まぁいろいろと。シウバっていうのはまた特別ですからね。

――それは例外として。

菊田　例外として。他の選手に関しては、体重を合わせてやいたいっていうのがあったんで、だからそれは別に「落とせ落とせ」っていうか落ちなかったら別にそれでいいし、別に無理してやんなくても……（苦笑）。こっちが何もない中でアレク選手を指名したんじゃなくて、多分（アレクは）その辺がわかってないと思うんですけど、DSEさんの方からちゃんときたんで「じゃあやります。体重は合うんですか？」というような話をしたんですよ。

――体重を90キロにしてくれとかっていう話をしたんですか？

菊田　まぁ、90キロっていうのは……。

尾崎社長　（割り込み気味に）その辺、菊田はあんま

—その部分は、もうなにを言われてもいいわけですね。

アレク　ええ、ボクは運がいいだけです!!（アッサリ）。

—月並みだけど、運も実力のうちですからね。確かに帰る場所っていったら、現状ではアレク選手の方がないですよね（笑）。

アレク　はぁい（タメ息）。だから、あとは結果と内容で、ファンに納得してもらえるかどうかに行き当たると思うんですよね。

—当分の間は、『PRIDE』で結果を出すまでプロレスはやらないって決めてるわけだしね。

アレク　はぁい。

—『PRIDE』の中で、どういう結果を出せたらプロレスをやろうと思ってるんですか?

アレク　ところがそう言ったものの、自分でこれがよくわからないんですよ（笑）。こう言うと逃げてるように取られるかもしれないけど、とにかくいまの『PRIDE』の状況においても、やっぱりボクの中での〝プロフェッショナル観〟は結果だけではないと思ってる。結果も当然大事で、誰しも試合に出る時点で結果を出したい。でも、結果を出したからボクが満足できるかっていったらできないと思うんですよね。そこの部分で「これが」っていうのはハッキリとは言えないんですよ。でも、その中で言えることは、ボクはやっぱりプロレスが一番好きなんで、自分の中で納得できる結果なり内容が出せれば、早くプロレスに帰りたいですね。

—いま言ったプロレスっていうのは、エンターテインメントと打ち出したプロレスなんだろうけど、アレクの「ブチのめしてやりたい」「ブチ殺してやりたい」っていうモチベーションの中にこそ、イメージの中の「プロレス」の原点があると思うんですよね。そう考えていくと、アレク選手がいまやってることが「プロレス」でいいんじゃないの?って感じはするんですけどね。

アレク　ああ、なるほどぉ。そういえば最近は、そういうプロレスがどうだとか、プロレスが何だとかっていう定義に関して考えたことが、あんまりなかったですねぇ。でも、振り返ってみれば、自分のやってることが自分の「プロレス」だっていうふうに前から言ってた気がするんですよね。だから、ボクに限らず、人それぞれの「プロレス」があると思うんですけど。

—人の数だけプロレスがある、と（笑）。プロレスに帰りたいっていっても、おそらく去年1年間、アレクが末期のバトラーツでやってたプロレスは「プロレス」じゃなかったでしょう（笑）。

アレク　（伏し目がちに）はぁ、そうですねぇ……ああいう環境に帰れって言われたら、ちょっとイヤですからねぇ。

菊田が嫌いな人を集めて座談会をやりたいです。んむはぁ

Alexander Otsuka

—結果は出なかったにしても、去年でいえば、むしろシウバ戦の方がアレク選手にとっての「プロレス」だったんじゃない?

アレク　ここ1～2年は、あのバトラーツという枠の中にいたからそうなっちゃった。こう言ったらなんですけど、それがヨソだったら、また変わってたかもしれないんですよね。自分がその枠の中で目標を見出せないし、やってて楽しくないから、他に見えるものっていったら『PRIDE』しかなかった。プラス、やっぱり自分自身がそこでやりたかった。（力を込めて）そういう次元からして、帰る場所がどうだ、負けてもリスクがあるだないだとか、そう考えるところがバカですよね!

—バカとまで言う!　子供みたいだな（笑）。

アレク　でも、ハッキリ言って〝見せ物〟なんだから、大人の喧嘩をしてもつまらないですよね。例えそれが大人の喧嘩だったとしても、街でやってる酔っ払いの大人の喧嘩だったら人が集まる。それと同じだなぁと思って。いまはボクはそれをしたいんですよ!

—なんでドキドキするか謎が解けた!　だからボクの中では、アレク選手が初めて人前で仕掛ける喧嘩ってイメージなんですよね。

アレク　（ハッとして）そういえばボク……喧嘩したことがないんですよ。

—ズコッ!　だから今回ボクなんかは、妙にヒリヒリするのかもしれない。

アレク　（嬉しそうに）うわぁ～、初めてやる喧嘩が何万人もいるところでできるんですねぇ!

—しかも自分の嫌いな相手とできるんだから、こんなラッキーなことはない!（笑）。

アレク　しかも酔っ払った勢いとかじゃなくて（笑）。

—喧嘩したくない相手とやらされるわけじゃないし（笑）。

アレク　（つぶやくように）ああ～……だい

り知らないんですよね。

菊田　そう（笑）。わかんないんですけど、90キロならそれでいいかなって思ったんですけど、最終的には『PRIDE』の93キロっていうのがあるんで、「じゃあ93でやりましょう」ってそれだけの話です。だからなんにも別に……よくわかんないですけど。

尾崎社長　いや、だから記者会見で言ったように、大塚選手がどうこうっていうんじゃなくて、もともと体重は90キロくらいの選手がいいねって話だったわけですよ。ああいうふうに言われると、パンクラスが体重でグチャグチャ言ってる印象持たれちゃうしね。

菊田　やるんだったらやるで、それでいいんじゃないですか。

—最初の条件に合うかどうかってことを確認した。

菊田　そうですそうです。

—生き様を否定されましたが（笑）。

菊田　ボクの生き様は、やっぱりプロレス出身の人が見ると嫌いなんじゃないですかね（笑）。嫌いだと思いますよ～。それはまぁどうでもいいっちゃ、どうでもいいんですけどね。そういうのにこだわってる小ささも、小さいかなって感じがします。いまは失敗しようが、なんか言おうが、どうなろうが、頑張って上の舞台に上がってやれればいいと思ってるんで。「おまえは逃げ出したからなんとかだろう」とか、そういうのはどうでもいい話かな。フハハハ。

—菊田さんにとって、昔の話はどうでもいい?

菊田　（昔の話を）言うのは勝手なんですけど、それについてホント正直言ってなんにもないですよね。なんにも言いようがねぇっていうかね、「はぁ、わかりました。どうもありがとう」って感じですかね。フハハハ。

—普段は普通のプロレスやったりしながらバーリ・トゥードに出てるアレク選手には、余計に負けられないっていうのはあります?

菊田　そうですね、負けられないは負けられないですけどね。負けるつもりは始めからない。どれを取っても問題はないと思いますけどね。

—他の選手を希望していて最終的にアレクサンダー大塚選手に落ち着いたっていうことに関しては?

菊田　そのことに関しては、ヘンゾとかいろいろあったんですけど、どういう状況で無くなったかはわからないですけど、時間もないところで、この4月（の『PRIDE参戦』）は流れるのかっていうとこで、大塚選手もそういう意味では急だったとは思うんですよ。でも、好き嫌いを言わせてもらえば、ボクもあんま（アレクを）好きじゃないです!

ぶヤル気が出てきました！

——あ？　ヤル気なかったのかよ！（笑）。

アレク　んむはぁ。正直、今日に至るまでの経過からしたら、かったるいなぁって。横浜では生まれて初めての喧嘩を公開で仕掛けます！

——アレク選手の本性が見れたりしたら、実にお得ですよね。

アレク　それを全開で出せるようにしたいですね。この調子だと自然と出てくると思います。そうだ！　さっきのテレビのインタビューでも、自分のやりたいようにイニシアチブ取ろうとして動かずに、相手に合わせてグラウンドでゴロゴロ芋虫ごっこしてつまらない試合やったとしても、逆の意味で面白いかなぁって。そんなことしゃべったんだ。

——ダハハハ。〝キミが普段やってる試合はこんなにつまらない試合なんだよ〟っていうのを逆にファンに見せてやりたいということ？

アレク　（ギラリと目を光らせて）しかも大勢の前で！　どういう形であれ、恥を掻かせてやります。

——アレクは中学とか高校時代に喧嘩したことはなかったんですか？

アレク　ないです！（キッパリ）。

——ないの？　大人になってからは？

アレク　大人になってからもないですねぇ。コイツとはやりたいって思ったことはありますよ。喧嘩というか、それもブチのめしたいっていう気持ちを抱いたっていうか。

——そのアレクが公の場で初めて喧嘩に臨むっていうのが面白いなぁ。

アレク　喧嘩したことないから、逆にそういうときに手が出ないかもしれないですね。

——あら。喧嘩馴れしてないから（笑）。でもマルコ戦とかシウバ戦を見たら、喧嘩馴れしてないとは思えないですけどね。アレクが『ＰＲＩＤＥ』で光ってる試合って喧嘩心が出たときですよ。喧嘩心っていうか、なんか眠ってる本能が出たときでしょ。

アレク　あぁ～、そう言われればそうですねぇ。ボブチャンチン戦にしても、パンチの練習なんか大してしてもいないのに。

——ジェロム・レ・バンナの「ブチ壊してやる」とかのわかりやすい本能じゃなくて、アレクの本能ってわかりにくいんだよね（笑）。誰彼かまわずブチのめすっていう感じでもないし。

アレク　そうですねぇ。一応競技に乗っ取った中においての喧嘩心というか。

——どっちかっていうとアレク選手は受け身でしょ。殴られても殴られても前に出て行くとか、普通ならタップするところをタップしないとか。

アレク　確かに受け身ですね。

——いや、だからアレクは変ですよ、相当（笑）。ボブチャンチン戦でも、普通の選手なら立ってられないような感覚なのに平気な顔してたりとか、ヘンゾ戦にしてもあの逆十字は普通だったらタップしてるでしょう。

アレク　ああ～、そぉうですねぇ。（他人事のように）そういえば痛かったです。

——でしょ！（笑）。そう考えるとアレクサンダー大塚の本能の出方っていうのは変わってるよね。やっぱり〝情念〟を感じます（笑）。

アレク　だから社長（石川雄規）とボクは馬が合ってたんですね（笑）。

——ホント溜めて溜めて一気に出す感じは〝情念〟そのものだもんなぁ。

アレク　そう考えると、この2年くらいは溜めどきだったんですかね。

——だと思いますけどね。

アレク　（朗らかに）そう考えると報われますねぇ。この2年がこの菊田戦のために溜め込まれていたのかと思うと。これが発散の場かと思うとワクワクしますね。

——菊田戦のために溜めてたってわけじゃないんだろうけどね。だって菊田戦はあくまで通過点だ、くらい言ってもらわないと（笑）。

アレク　んむはぁ。自分で言って墓穴を掘っちゃいました（笑）。

——これを目標にされたらたまったもんじゃない。って言って菊田側とＧＲＡＢＡＫＡファンをヒートさせたほうが面白いですよ（笑）。

アレク　そうですね（笑）。この業界をナメて天狗になってるんだったら、その鼻っ柱はボクが折ってやります！

——菊田選手には〝寝技世界一〟という称号が付いていて、実際にアブダビ・コンバットで優勝もした。脅威は感じない？

アレク　感じないですねぇ。

——グラウンドに入ったら危険という感覚は？

アレク　そんなにないですねぇ。ボクもしつこいですから。

——確かにアブダビになると競技がもう違うからなぁ。サイド取ったらセコンドが「よーしやったやった！」ってなる。ポイント制ですからね。

アレク　根本からしたらそこですよ！　そういうのが好きだったら、そういうのやってた

——菊田選手から見て、アレク選手を認めている部分は？

菊田　いままでの闘いを見てわかる通り、まぁ強いですよね。やっぱり強いからやってもいいかなっていうのは当然ありましたよね。みんなもそう思ってるんじゃないですかね。例えば違うプロレスラーで実力のない人だったら「ええっ？」って思う人はいると思うんで。

——リスクが高い試合だと思うんですけど。

菊田　別にリスクはないですよ。勝つっていうのは当然のことなんで、負ければそうでしょうけど。リスクっていうのは、どの選手に負けてもそれはあるんで、逆に大塚選手の方がリスクはあるんじゃないですかね。外人とやって負ける分には別にいいと思うんですよ。でも、日本人とやって負けたときにあのままじゃいつまで続くのかなぁって。強い外人とやってる分にはそんなに落ちることもないと思うんで、日本人ってなったときにはそういうリスクは感じてると思いますけど。

——全く同じことが菊田選手にも当てはまるんですよね？

菊田　イテテテテッ！　ちょっとちょっと、つったつったつった!!（突然足がつった菊田）。……ヤバイ縁起が悪いなぁ（苦笑）。

——パンクラスのタイトルまで取って他のところの日本人に負けたら。

菊田　しかも大塚選手（笑）。でもそれは大丈夫ですよ。

——勝つから大丈夫と。

菊田　うん。大丈夫ッス！　ボクは簡単にバンバンバンって極めて勝てるとは思ってないです。見てわかる通り、（アレクは）粘ると思うんですよ。ただボクがどんな状況になろうが、すぐポジション入れ替える自信はあるし、自分には打撃は絶対当たらないと思うし、そういう意味で何ラウンドになるかわからないけども、圧倒できて、その中で隙がひとつできて勝てればいいと思ってるんで。それまでは散々盛り上げてもらって、最後にボクが勝ってて、そういう感じですね。フハハハ。まぁ、ガードからパンチくらいはくるかもしれないですよ。でも効かせるようには打てないですね。

アレクは菊田が嫌いだそうだが、菊田も実はアレクを嫌いだった。4・28は大人の喧嘩ではなく、子どもの喧嘩になるのか？　実力者・菊田の余裕&自信をアレクはどうやってグラつかせるつもりなのか？　決戦は目の前だ！

らいいじゃんっていう（切り捨てるように）。何キロから何キロの間で出場しなさいみたいな、きちんと枠にはめられたところだけでやってればいいんですよ。

——アレクはやっぱりそういうの嫌いなんだ。

アレク　（実にイヤそうな顔で）嫌い。……いま凄い顔に出てたかもしれない。

——実によく出てましたね！（笑）。競技は嫌い？

アレク　いや、競技をやること自体は好きです。人が嫌いなだけで。マラソンのアンデルセンとか、そういう「プロ」と冠がつかない人でも感動させられるエネルギーを持ち合わせてるんだから、プロの人間がそういうエネルギーを見せようと努力しないでどうするんだろうって感じですね。

——う〜ん、これは菊田選手を応援する人も力が入るだろうなぁ。両サイドから面白いですよ。

アレク　そうでしょうね。でもそれには向こうがもっと煮えたぎるようなコメントを出してくれないと。

——そういうことを言うのも、相手の土俵に入るからイヤっていうのがあるんじゃないんですか？「そんなことやってたまるか！」っていう。

アレク　それをさせないとダメですよね。パンクラスに練習に行こうかな（笑）。実はこないだテレビの仕事で鈴木（みのる）さんと会ったんですよ。で、「いまどこで練習してるの？」って話になって「もしあれだったら今度ウチにも練習に来れば？」って言ってくださって。そういうことがあったもんで、"行こうかなぁ"とちょっと思ってたところだったんですよ（笑）。

——じゃあ美濃輪選手にセコンドに付いてもらう？（笑）。

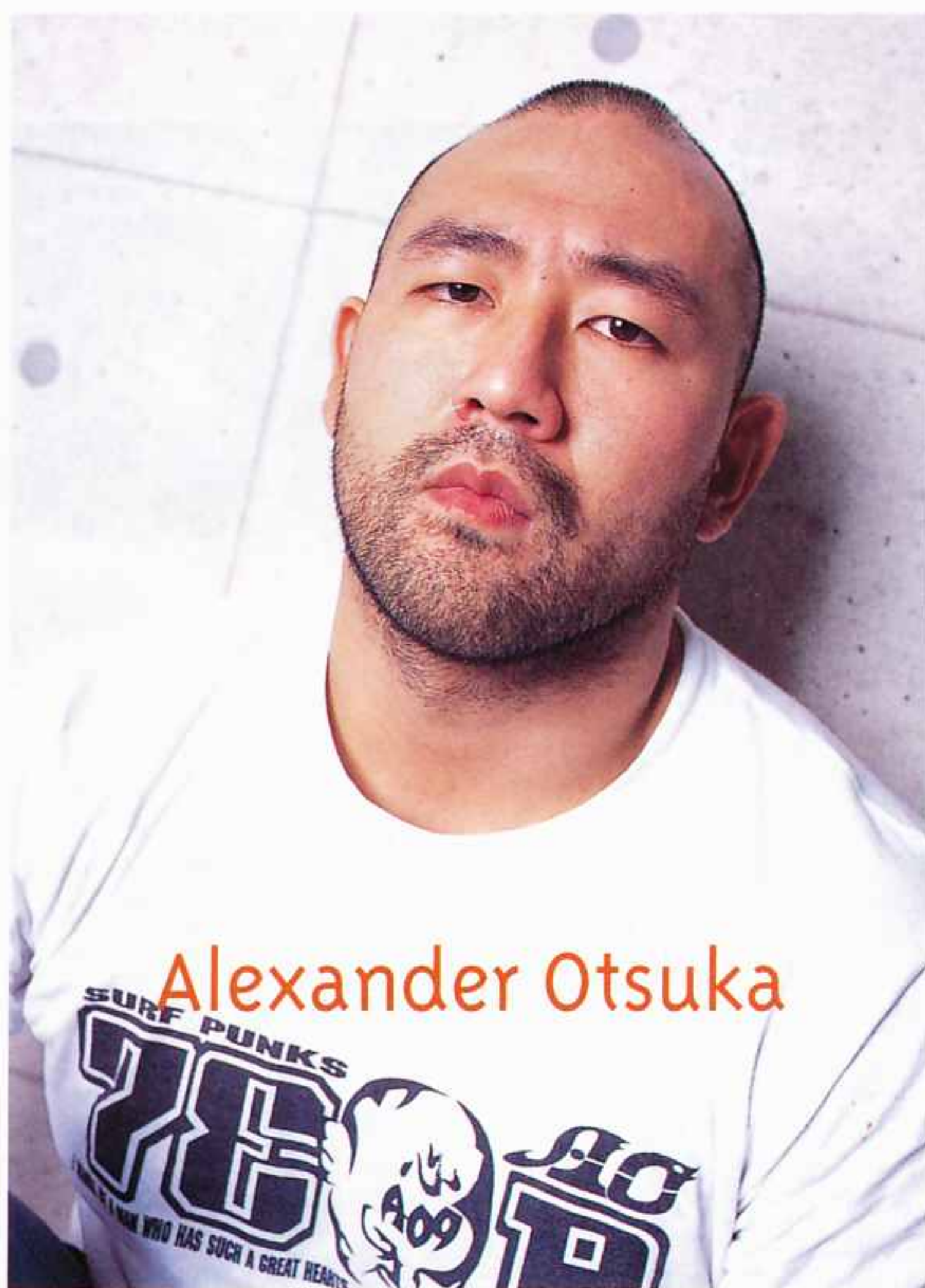
アレク　（真顔で）ああ、いいですね！　もし付いてくれるんであれば。

——何でだよ！（笑）。

アレク　美濃輪選手がどこまで菊田のことを嫌いかわからないから、それは望めないかもしれないですけど、もし嫌いであれば"セコンド求む"って感じですね。んむはぁ。

——いやぁ、この一戦がが然楽しみになってきたなぁ。でも、こんなに急に決まって調整は大丈夫なんですか？

アレク　いままでにないくらい、この2ヶ月はコンスタントに練習してたもんで、いまはその疲れがドッと出てる状態ですけど、まぁ、大丈夫です！

——頼もしい。最後に菊田戦に関して言い残したことはないですか？

アレク　菊田が嫌いな人を集めて座談会をやりたいですね。んむはぁ。

——ガーッハッハッハッハ！　なぜだ!?

アレク　一つのテーマで同じ人同士が集まると、凄いエネルギーが沸いてきたりしますから。んむはぁ（笑）。

——じゃあ『アレクが嫌いな人座談会』は『格通』でやってもらいましょう！

アレク　それを読み比べしてもらう（笑）。ボクのほうは読んでももらえないですかね？　でも、冗談はともかく、今度の試合は必ずブチのめして、ブチ殺します！

——は、はい。わかりました!!　実に期待してます!!

【4月11日／青山・『季菜』にて収録】

Alexander Otsuka

■そういうわけで、いつになくアレクが煮えたぎっている。もちろん、パンクラスファン&格闘技マニアは菊田に全幅の信頼を寄せているだろう。しかし、ふだんはおとなしいアレクが、実力者の菊田相手にここまで吠えまくったのだから、ここでそんなアレクに乗らなかったら『紙プロ』の名がすたる！　頑張れ、菊田！……あれ？　ちがった？　頑張れ、アレク！　いっちゃってくれ、アレク！

本文中にある通り、生まれて初めて"公開喧嘩"を仕掛けるアレクのモチベーションと、『PRIDE』を掻き回しにくるパンクラスのトップの力が火花を散らす！

血湧き肉踊り、ドキドキヒリヒリの決戦まで、あと数秒だ！　んむはぁ。

『PRIDE』史上最大級! 因縁の日本人対決ド直前!!

プロレス嫌い?

寝技世界一?

アレクの"怒り"を引き出した

菊田早苗とは何者か?

間近に迫った『PRIDE.20』の裏メインともいえる菊田vsアレク戦。
菊田に対するアレクの"嫌い"光線は、もとはと言えばすべて『紙プロ(R.12)』から始まっているのだ。
当時のインタビューでは"プロレス"嫌いを必用以上にアピールしていた菊田。
何度かプロレスからフラれた経験を持つ菊田は、その後、強さを全面に打ち出しアブダビで優勝、
パンクラスでも王者に輝くなど格闘家として実績を積み重ねてきた。
アレクの怒りを引き出した男・菊田早苗とは何者か?

文/編集部

designed by matsu(Two three)

今回のアレク戦は、過去にプロレスを否定した"自分"からの逆襲である!!

菊田早苗を考えるときに、必ず持ち出されるのは『紙プロ』NO.12（98年10月号）における問題発言だろう。最近はすっかり影を潜めた菊田の毒舌ぶりが全開となった"あのインタビュー"である。

「（プロレスは）ファンを裏切ってると思いますよ。ファンは真剣に見に来てる人がいるんで。人間的にちょっとバカにした商売じゃないかなってボクは認められないです、そこは」

プロレス界に対して、過激な発言の絨毯爆撃となったこのインタビュー。数々のレスラーが大激怒し、大きな問題に発展した。

「小島、天山は試合の見せ方は上手いと思いますけどね。それだけであれだけのお客を集めちゃうじゃないですか。ロクな死に方しないんじゃないかな」

そこまで言われたら、そりゃプロレス界が菊田に怒るのは当然といえば当然。怒らせただけならまだしも、ほとぼりが醒めかけた頃に『ゴング格闘技 1999年3月号』では、こんなことを言い出すから始末が悪いのだ。「そういえば昨年はプロレスラーに対してロクな死に方をしない、と発言したのが話題になりましたね」という質問に対して、菊田がこう答えている。

「何も言ってないですよ。そこに出た選手のことについては。それは書いてもらいたいんですけど」

自分のケツを自分で拭けなくなると、「あいつが勝手に俺のケツにウンコつけたんですよ!」と言ってるようなものであろう。当時、菊田の記事を担当した本誌・チョロは、菊田の原稿チェックを何度も受けているのに? おかしなことを言うなぁと思っていたら……今度は『バーリトゥード最前線からの証言』（ローリングストーン編）でもこんなことを言っていた。

「本心は本心なんですけど、そんなのはみんな（＝格闘家）持っているんですよ」

みんなが思ってるから? ボクは悪くない、とでも言いたかったのだろうか? あの発言については「失敗」と語っているので反省はしているのだろうが、それなら『ゴン格』での発言はどうなる? 問題発言底なし沼状態である。

さらに『紙プロ』NO.12のインタビューの中では『PRIDE.4』で菊田との対戦が控えていた松井（大二郎）に対しても、こんなことを言っていた。

昨年9月に美濃輪を下しバンクラス第2代ライトヘビー級王者に輝いた菊田。バンクラス王者の「PRIDE」出陣はシュルトに続いて2人目となるが……菊田の運命やいかに?

「柔道は弱いと思いますよ、全然。ハッハッハ!」

当然のことながら、この挑発を受けて松井はマジギレ! 戦前の「松井不利」と下馬評を覆し、怒りのパワーでドロー判定に持ち込んだのだ。その試合後、菊田は本誌14号のインタビューで松井に「かっこ悪いですよ、あんなの」と「あんなの」呼ばわりされた上に、控え室で再戦を申し込んだら松井にそっけなく拒否されたことをバラされてしまう。菊田にしてみれば散々吠えていただけに、この結果は事実上の敗北と言っていいだろう。いや、ホントにカッコ悪いと思う。自分で松井に火をつけておきながら、その火の粉が自分に降りかかったわけだから非常にカッコ悪い。「以前、Uインターに所属していたことがあるんですけど、根性なくて一週間しか続かなくて」逃げ出してしまったという前科を持つ菊田に、"残った者"松井は意地でも負けられなかったのだ。

それにしても、菊田早苗という男。Uインターを逃げた男というレッテルに加え、新日本プロレスにも練習生として身を置いたが、結局、道場から叩き出された過去もあるとか。一時はプロレスラーを目指した男が、なぜ自分が過去に所属したプロレス団体ばかりにキバを剥くのだろうか?

「プロレス界をケチョンケチョンにけなして、やめたのは正しかったんだと自分を正当化したかったんです」

さすが佐山タイガーに憧れてスーパータイガージムに入門しただけあり、プロレスに対する憎悪にはある意味佐山イズムを感じる菊田。というか、プロレスラーとしてデビュー出来なかったのは、本人も認めているように「団体行動が苦手だった」とのこと。総合格闘技の世界で、これだけの実績を残している菊田である。身体能力的には問題はなかったはずだ。

「（Uインターを）辞めたことを後悔しないように、上に上に行かなきゃいけないというのはエネルギーになってましたね」（『バーリ・トゥード最前線からの証言』より）と、プロレスへの"負"の想いを胸に抱き続けてきた。プロレス界への辛らつな物言いの裏には、大きなコンプレックスを抱えていたのである。せっかくコンプレックスをバネに前向きになれたのに、少し前に

菊田早苗、過去の大一番を振り変える!

○vs髙橋義生

（7分22秒　肩固め）

00.12.4　日本武道館［PANCRASE］

頭突きアリという危険な特別ルールで行われた髙橋戦。パンクラスマットで連勝街道をひた走る菊田にとって、当時残されていた敵は髙橋1人。タックルからの打撃で勝負を懸けた髙橋だったが、菊田はスイープに成功。そのまま肩固めで切って落とした。

○vs鈴木みのる

（2分39秒　レフリーストップ）

99.12.18　横浜文化体育館［PANCRASE］

旧パンクラス・ルール最後の試合となった菊田vsみのるは、菊田がパンクラス参戦当初から希望していたカード。試合は、菊田が肩固めでみのるをレフェリー・ストップに追い込み圧勝したが、観客の目はみのるに注がれるという"プロ"としての厳しい現実を突きつけられた。

△vs松井駿介（現・大二郎）

（3R時間切れ引き分け）

98.10.11　東京ドーム［PRIDE.4］

「紙プロ」NO.12のインタビューで、菊田に挑発された松井は、怒りの表情でリングイン。そのまま怒りを菊田にぶつけ、前評判を覆す奮闘を見せたが、結局松井も決め手に欠けドロー試合に。菊田はヘンゾに続き、膠着ファイターのイメージを観客に残した。

●vsヘンゾ・グレイシー

（6R0分43秒　ネックロック）

98.3.15　横浜アリーナ［PRIDE.2］

「PRIDE」史上最悪の膠着試合となったこの一戦。ガードポジションからの固い守りを見せるヘンゾに菊田は何もできず。同じ試合展開に観客から怒号や野次が飛び交った。最後は、観客の野次に精神的に揺れた菊田が一瞬の隙を突かれ、ネックロックの前に沈んだ。

どーですか、お客さん!?　これが菊田の全戦績だ!

1996年3月30日　駒沢公園屋内球技場[TOURNAMENT OF J 96・1回戦]
○川勝三郎(2分04秒　腕固め)

1996年3月30日　駒沢公園屋内球技場[TOURNAMENT OF J 96・2回戦]
□イーゲン井上(5分　判定)

1996年3月30日　駒沢公園屋内球技場[TOURNAMENT OF J 96・準決勝]
○芳岡博之(3分05秒　ヒールホールド)

1996年3月30日　駒沢公園屋内球技場[TOURNAMENT OF J 96・決勝戦]
○須田匡昇(1分15秒　ヒールホールド)

★TOURNAMENT OF J 96優勝

1996年7月7日　東京ベイNKホール［VALE TUDO JAPAN'96］
●ムスタク・アブドゥーラ(1R6分27秒　ギロチンチョーク)

1997年4月4日　後楽園ホール［RINGS］
○辻　嘉一(8分33秒　腕ひしぎ逆十字固め)

1997年7月27日　駒沢公園屋内球技場［TOURNAMENT OF J 97・1回戦］
○北川　純(3分15秒　アキレス腱固め)

1997年7月27日　駒沢公園屋内球技場［TOURNAMENT OF J 97・準決勝］
○米谷利展(1分00秒　アキレス腱固め)

1997年7月27日　駒沢公園屋内球技場［TOURNAMENT OF J 97・決勝戦］
○須田匡昇(3分59秒　腕ひしぎ逆十字固め)

★TOURNAMENT OF J 97優勝

1997年10月18日　後楽園ホール［RINGS］
○田中　稔(2R3分08秒　ネックロック)

1998年3月15日　横浜アリーナ［PRIDE.2］
●ヘンゾ・グレイシー(6R0分43秒　ネックロック)

1998年10月11日　東京ドーム［PRIDE.4］
△松井駿介(3R時間切れ引き分け)

1998年11月27日　後楽園ホール［SHOOTO］
■ポール・ジョーンズ(3R判定)

1999年2月24日～26日　アブダビヘルス&フィットネスクラブ［第2回ADCC(-98kg級)・1回戦］
■ヒーガン・マチャド(ポイント0-5)

1999年6月11日　後楽園ホール［PANCRASE］
○エリック・ゲデック(1分20秒　チョークスリーパー)

1999.年7月6日　後楽園ホール［PANCRASE］
□伊藤崇文(延長3分00秒　判定)

1999年9月18日　東京ベイNKホール［PANCRASE］
○エディ・ミリス(1分57秒　マウントパンチ)

1999年10月25日　後楽園ホール［PANCRASE］
△トラビス・フルトン(15分00秒　時間切れ引き分け)

1999年12月18日　横浜文化体育館［PANCRASE］
○鈴木みのる(2分39秒　レフリーストップ)

2000年2月27日　梅田ステラホール［PANCRASE］
□柳澤龍志(15分00秒　判定)

2000年4月14日　代々木第二体育館［UFC-J］
○ユージン・ジャクソン(1R4分38秒　腕ひしぎ逆十字固め)

2000年6月26日　後楽園ホール［PANCRASE］
○マッシブ・イチ(2分13秒　アームバー)

2000年8月27日　梅田ステラホール［PANCRASE　エキシビジョンマッチ］
vs近藤有己

2000年10月31日　［後楽園ホール］
■ムリーロ・ブスタマンチ(15分00秒　判定)

2000年12月4日　日本武道館［PANCRASE］
○高橋義生(7分22秒　肩固め)

2001年1月8日　愛知県体育館［DEEP2001　エキシビジョンマッチ］
vs山田　学

2001年2月4日　後楽園ホール［PANCRASE］
▲アレックス・スティーブリング(1R3分11秒　無効試合)

2001年3月11日　沖縄ファイティング・スタジアム神風［KASSHIN 2］
○トゥ・レン(1R2分02秒　肩固め)

2001年4月12日～13日　アブダビヘルス&フィットネスクラブ［第4回ADCC(-87kg級)・1回戦］
□エヴァン・タナー(ポイント6-0)

2001年4月12日～13日　アブダビヘルス&フィットネスクラブ［第4回ADCC(-87kg級)・2回戦］
□クリス・ブラウン(ポイント6-4)

2001年4月12日～13日　アブダビヘルス&フィットネスクラブ［第4回ADCC(-87kg級)・準決勝］
□イーゲン井上(ポイント2-0)

2001年4月12日～13日　アブダビヘルス&フィットネスクラブ［第4回ADCC(-87kg級)・決勝戦］
□サウロ・ヒベイロ(ポイント3-0)

★第4回ADCC(-87kg級)優勝

2001年6月26日　後楽園ホール［PANCRASE］
○マット・トライヘイ(1R1分11秒　腕ひしぎ逆十字固め)

2001年8月18日　横浜文化体育館［DEEP2001］
○シェマック・ウォレス(1R1分52秒　レフェリーストップ)

2001年9月30日　横浜文化体育館［PANCRASE］
○美濃輪育久(2R4分30秒　TKO)　KOPライトヘビー級タイトルマッチ

★第2代KOPライトヘビー級王座獲得

2001年12月1日　横浜文化体育館［PANCRASE］
○渡辺大介(1R2分14秒　肩固め)

2001年12月14日　ZEPP TOKYO［CONTENDERS X-RAGE Vol.1］
△鈴木みのる&高瀬大樹(10分00秒　時間切れ引き分け)
※タッグパートナーは山崎剛

2002年1月27日　後楽園ホール［PANCRASE　エキシビジョンマッチ］
vs岩崎達也

進むと振り返ってグジグジと文句を言うのが菊田という男のスタイルなのだろうか？　一般社会では、こういう人間のことを「暗い」とか「後ろ向き」というネガティブなイメージでくくられてしまうが、本誌は声を大にして言いたい。「そこが菊田のいいところなんだ！」と。プロレス界や総合格闘技界に世間一般の常識を持ち込むのは筋違い。スカッとした気持ちよさはないかもしれないが、そんなのは菊田に望むべきものではないのである。

プロレスを辞めた菊田を待っていたのは、「やったらやっただけ評価される」総合格闘技の世界。実力さえあれば評価される、わかりやすい世界である。そこで最初にその名を轟かせたのは96年の「トーナメント・オブ・J」。かつては高阪が制したことのある胴衣着用で打撃なしルールの"寝技なんでもありルール"の大会を、イーゲン井上、須田匡昇など破って優勝した菊田。さらに翌年はオール一本勝ちで制し2連覇を達成した。マニアからは知る人ぞ知る存在となった菊田は「寝技実力日本一」と評価が高まる中、『PRIDE.2』でヘンゾ・グレイシーと対戦。50分間にも及ぶ膠着状態が続く試合内容で、観客からは大ブーイングを浴びてしまう。結局ヘンゾに敗れたが「ヘンゾに一回もタックルさせなかったというところがポイントなんですよ。僕がそうさせた、というのをわかってもらいたいです」「（ヘンゾに）全然"脱帽"していないんですよ」と強気な姿勢を見せた。

そして、その姿勢を崩さず、先の『紙プロ』インタビューに雪崩れ込み、問題発言を連発！賛否両論を巻き起こしたわけである。

その後は、パンクラスに入団。連勝街道を突き進み、GRABAKAを結成しパンクラス本隊との対抗戦を繰り広げ、軍団の実力をアピール。

昨年、"寝技天下一武道会"ことアブダビコンバットで、世界の強豪を相手に88キロ以下級で見事に優勝！"寝技世界一"の称号を得たのも記憶に新しいところ。柔術世界選手権5連覇という実績を誇るサウロ・ヒベイロに完勝したのだから、その実力は紛れもなく世界最高峰だ。

凱旋後は、パンクラスマットでも勢いに乗る美濃輪育久を下してパンクラスライトヘビー級チャンピオンの座も奪取！　順風満帆、というかこれ以上ない栄光の格闘ロードを歩んでいる。そして今回、新たな挑戦として『PRIDE.20』に闘いの場を求めてやってきたのだ。

今回の『PRIDE』で対戦するアレクサンダー大塚は、ある意味、過去にプロレスを否定した"自分"からの逆襲なのだ。もはやプロレスにコンプレックスを感じる必要もないくらいに評価を高めてきた菊田が、心に暗い影を落としている自分の"過去"を精算する最後のチャンスであろう。果たして、菊田は自分の過去を乗り越えることが出来るのか？

ひとつの頂点を極めたと言っても過言ではない菊田の前に立ちはだかったのが、『PRIDE』に参戦するプロレスラーの中でも人一倍プロレスにプライドを持つ男・アレクサンダー大塚だったのも何かの因縁だろうか？　アレクは4年前のマルコ・ファス戦を頂点とすると、現在はまさにドン底から這い上がっている真っ最中。あの問題発言から4年かけて前進を続けてきた菊田早苗と、どのような闘いを繰り広げてくれるのか？『PRIDE』史上最高の日本人因縁対決から目が離せそうにない！

○vs美濃輪育久

(2R4分30秒　TKO)
01.9.30　横浜文化体育館［PANCRASE］

"船木後"のパンクラスマットを牽引してきた両者の激突は、昨年のパンクラスマットのベストマッチとなった。美濃輪の驚異的なパワーの前に、あと一歩のところで極めきれない菊田。ラウンド終了間際に放った顔面への蹴りが、美濃輪の右眉上を引き裂き流血TKO！菊田がライトヘビー級の王座に就いた。

□vsサウロ・ヒベイロ

(ポイント3-0)
01.4.13　アブダビコンバット

多くの日本人選手が初戦で姿を消す中、並みいる世界の強豪を下し決勝にコマを進めた菊田。決勝では、ブラジリアン柔術の現役王者ヒベイロからパスガードに成功！　そのリードを守りきり判定勝利。"寝技世界一"の称号を手中に収めた。

田良覚39歳、遅咲きの狂い咲き!!

強祝勝会

山善廣×和田良覚

Uインター最強最後の新人、和田“最強”良覚がデビュー戦を見事KO勝利で飾った！　この結果を受けて、本誌はこの歴史的勝利を祝う祝勝会開催を決定！　参加メンバーは主役の和田さん、そしてもちろんこの二人、金原弘光&高山善廣だ！

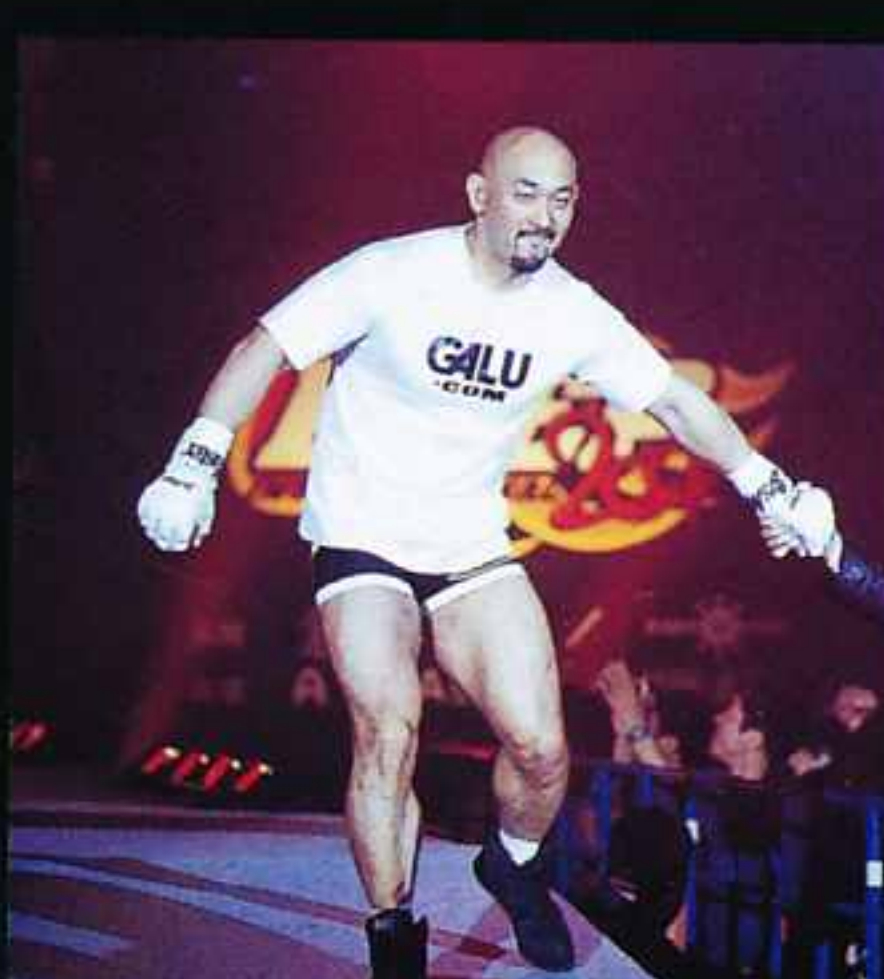
聞き手／堀江ガンツ　撮影／森鷹博　designed by hisa (Two Three)

大好評!
蘇れ!
Uインター伝説
シリーズ
第3弾
もう手がつけられない! 和田良
和田最強
金原弘光×高山善

——さて、今日は見事デビュー戦を勝利で飾り、最強伝説を実証した和田良覚選手の祝勝会としてお集まりいただきました（笑）。
金原　いやぁ、凄かったよね。もう和田さんもスターだよね。
高山　帽子被らないで街歩いたら大変なことになりますよ！（笑）。
和田　勘弁してくださいよ～（苦笑）。
金原　（回りを見渡し）あれ？　この店、俺ら以外女の子ばっかりじゃん。みんな和田さん来店の噂聞きつけたのかな（笑）。
和田　そんなわけないって！
金原　雑誌見てもDEEP全試合で和田さんの記事が一番大きかったからね。
高山　新聞なんて和田さんばっかですよ。
——確かに翌日のスポーツ紙は、金原さんがKOKでベスト4になったときぐらい大きな記事でしたね（笑）。
金原　ああ、そう！（笑）
高山　うかうかしてたら抜かれますよ！（笑）。
金原　もう抜かれてるよ、ホントに（笑）。昔はさ、和田さんが高田さんと一緒にいると、よく山崎さんに間違えられて、山崎さんのサイン書いてたのにね（笑）。
——ガハハハハ！　山崎さんになりすまして（笑）。
高山　いまは山崎さんが「和田さんですか？」って聞かれるらしいですよ（笑）。
和田　言われてないって！
金原　逆になっちゃうよね、ホントに（笑）。だってさぁ、試合前にカード発表したときも一番声援が大きかったもんね。あれはビックリしたよね！
高山　ルチャの応援団も和田さんだけは応援していたんじゃないの？
——和田さんとソラールとドスカラスJr.が一番人気ありましたからね（笑）。
高山　覆面被ってないのに、覆面レスラー並に人気があるんだから（笑）。
金原　ホントだよ。和田さんも何か喋りなよ。
和田　（立ち上がって）こ、この状況でどうやって喋るんですかぁぁぁぁ!?
一同　ガハハハハ！
金原　まあ、今日は和田さんのおかげでオレらも焼き肉食えてありがたいよね（笑）。
和田　いやいやいや、みなさんのおかげです！
高山　和田さんが勝ったからこそ焼き肉なわけで、負けたら反省会対談とか言って、マクドナルドをテイクアウトして公園で対談だったんだから（笑）。
金原　和田さんのおかげだよねぇ（笑）。
高山　和田さん、ごっちゃんです！（笑）。
和田　とんでもないです！（苦笑）。ホントにお二人にも、他の先輩方にも頭上がらないですから！　ホント、コメントできないです！（汗）。
——それにしてもあの試合は入場からもう

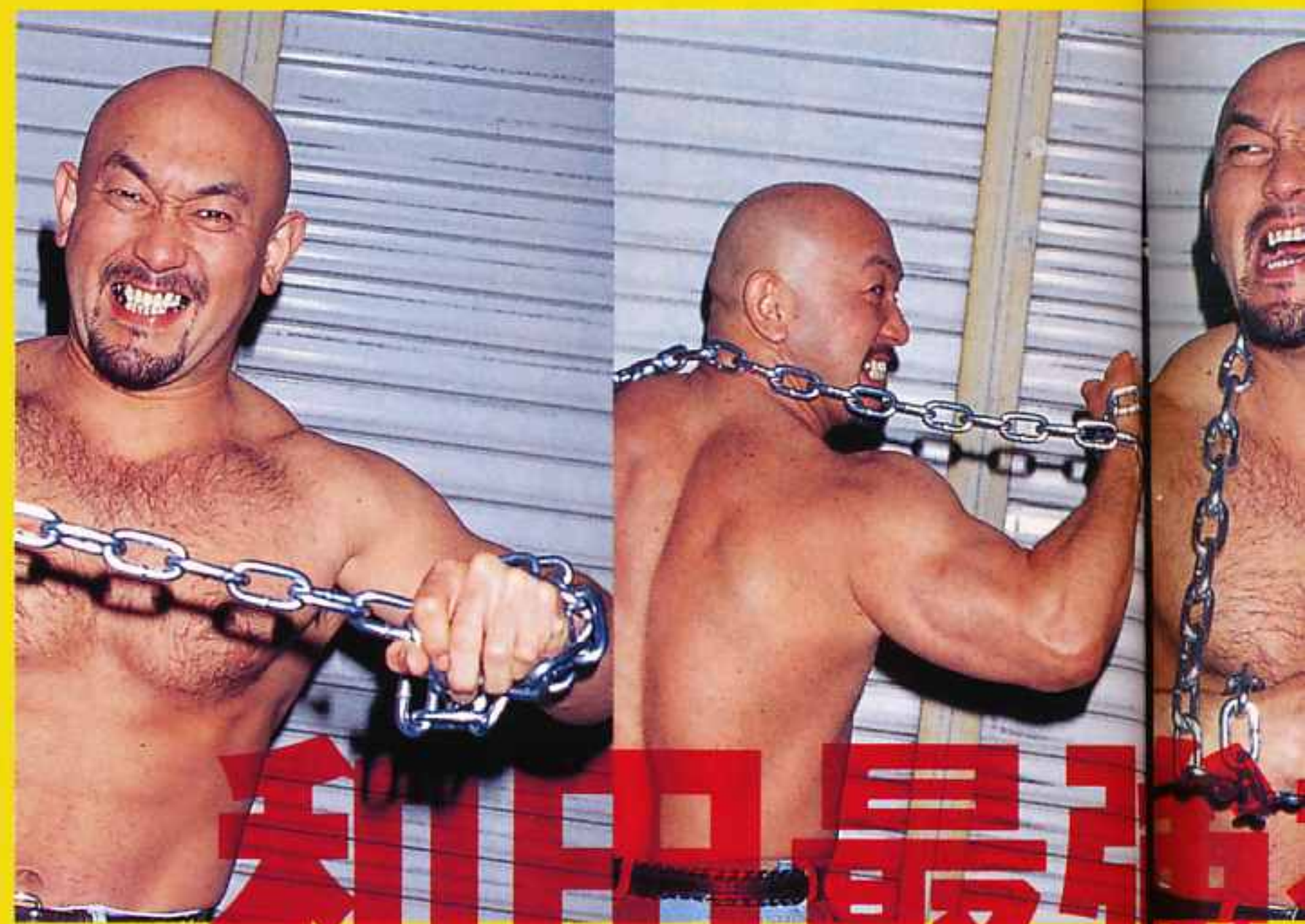
強祝勝会

凄かったですよね（笑）。
金原　ビックリしたよね。デビュー戦のくせに花道で観客にハイタッチしちゃってさ、もう後ろ歩いてて、頭はり倒してやろうと思ったもん（笑）。
高山　第1試合なのにね、あれは宮戸さんが見たら怒りますよ。「いい気になり過ぎだよ！」って（笑）。
——アハハハ！　興行のバランスを崩す行為だって言われるかもしれないですね（笑）。
和田　何も言う気はありませんっ！　ボクはあのとき開き直ってました！（苦笑）。
金原　普通、新人は小走りで入場するもんだけどね（笑）。
和田　どうもスイマセン（苦笑）。
——しかも「UWFのテーマ」で入場ですからね（笑）。
金原　それもさ、曲が流れたあとも少し間を置いて入場してさ（笑）。
和田　そ、そんな気なかったんですよ！あの時は……。
高山　何もかも規格外のデビュー戦でしたね（笑）。
和田　勘弁してくださいよぉ～。だって、このタイミングで出てくださいって言われたんだよ！
高山　（無視して）もう新人らしいのは頭が丸まってるだけっていうね（笑）。でも、ナチュラルだけどね。ガハハハハ！
和田　あの～、スイマセン、一言いいですか？　あのテーマ曲は重かったです！
金原　重いのに、ハイタッチしながら入場するか!?（笑）。
——ガハハハ！　ごもっとも（笑）。
和田　いや～、あの時は開き直っちゃって、もういいやって（苦笑）。
金原　右に左に大変だったからね（笑）。
和田　（困惑しながら）そ、そんなことボ

旧前田道場勢、高山善廣、さらに元前田道場整体トレーナーまで加えた大軍団で入場してきたが、セコンドに付けるのは二人まで。TK＆金原という日本が誇る最高のセコンドがついた。

「UWFメインテーマ」に乗って、ファンの「和田コール」と手拍子の中入場する和田さん。「緊張している」と言いながらも、ファンの手を握るなど余裕も見せていた。

"たてがみ"付きオーバーマスクにマント、腰には「博多ライトヘビー級」のベルトを巻いて颯爽と入場してきた、"九州の有名人"アステカ。こちらも初VTだ。

クやってた……？
高山　今度はリングスとUインターのテーマをミックスした曲を流さないと（笑）。
金原　あぁ、『鶴龍コンビのテーマ』みたいにね（笑）。
高山　それで途中にキングダムもワンコーラスぐらい入れて（笑）。
――まさに「Uの歴史を背負う男」ですね（笑）。
和田　勘弁してくださいよぉ（苦笑）。
金原　試合前に昔の映像も流したいよね。ベイダーにエルボーするところとか（笑）。
高山　ワハハハハ！　和田名場面集を作らないと（笑）。
和田　もう許してください（苦笑）。
――いやぁ、いきなりいい話ばかりですねぇ（笑）。
金原　だけど当日はさ、こっちが変に緊張しちゃったよね（笑）。
和田　試合前「自分の試合するよりドキドキしてる」って言ってましたよ（笑）。
金原　だってオレが煽った部分もあるからさ（笑）。変な期待と変な不安が混じってね。
和田　先生、ご心配おかけしてスイマセンでした、ホントに（苦笑）。
――会場にはいろんな方が来てましたけど、高山さんはノアの巡業中にも関わらず駆けつけたんですよね？
高山　やっぱね、来ちゃいましたね。九州の佐世保から自腹切って（笑）。
和田　どうもスイマセン！　ホントにありがとうございました！

何かも規格外のデビュー戦でしたね
新人らしいのは頭だけだよ（笑）（高山）

――高山さんにしても、やはり和田さんだけは見逃せませんでしたか？
高山　やっぱりね。最初で最後かもしれないじゃないですか。そう考えると、これを見逃したら一生悔いが残りそうですからね（笑）。
――まさにプレミアム・マッチでしたよね（笑）。それによって、和田さんの入場はリングス・Uインター連合軍的な、もの凄いメンバーになってましたよね。
金原　ねえ！　凄かったよねえ。
――それで金原さんと高阪さんの2人が正式なセコンドについて。
高山　ハッキリ言って、日本でこれ以上のセコンドはないでしょう。

和田　ホント感謝してます！
金原　和田さんも試合中ね、セコンドの言うこと聞いていたよ。こっちの方見て。
和田　話はちゃんと聞いていたんですけど、焦っちゃって焦っちゃって（苦笑）。先生方の言うことは聞こえてたんですけど、とにかく身体が動かないんですよ。
金原　でもさあ、最初の足払いは圧巻だったよね！（笑）。
高山　あれはUインターの入門テストで新人を次々と転がしてたやつですよ（笑）。
金原　アレ見て笑いそうになったよ（笑）。TKも「自分は10年以上柔道やっているけどあんな足払い出したことない」って言ってたよ（笑）。
――あのタイミングは凄かったですよ！写真ではアステカ選手が飛んでますから！
和田　全然、ボクは覚えてないんですけどね（苦笑）。
金原　途中ちょっとヒヤヒヤしてたんだけどね、和田さんもだいぶ疲れてるのがわかったからさ。
高山　もうカラータイマーが点滅し始めたのかと思いましたよね（笑）。
金原　最初なんか、ローキックも意外とカットできてなくてバンバンもらってるからさ、「大丈夫かなぁ、この人」って思って。
高山　いつも遊びで蹴ると真剣にカットするんですけどね（笑）。
金原　試合では全然カットできないの（笑）。でも最後は「剛腕」だったもんね！
――アッパーからストレートの見事なコンビネーションでしたからね。しかもフィニッシュブローのときの顔が凄かったですよ！
高山　あれは凄かった（笑）。雑誌でアステカ選手が倒れて、和田さんが「ウオーッ！」って仁王立ちしている写真があっ

闘い終わってノーサイド。和田さんを讃える敗者アステカ。こうしてマスクを被った日本人ルチャドールと39歳のレフェリーのVTという、前代未聞の一戦は幕を閉じた。

地球上で闘える時間が3分しかない和田さんは、2分30秒を過ぎると打撃で猛ラッシュ。恐ろしいまでの豪腕でアステカをKO！　時間は2分54秒！　あと6秒遅かったら……？

テイクダウンからパスガード、サイドからガッチリアームロックを極め、勝負あったかに思えたが、セコンドの声を聞きながらも、焦ってしまい逃がしてしまう。

アステカが宙に浮いてしまうほど完璧に決まった和田さんの足払い。この他にも田村潔司がよく見せる上手投げでのテイクダウンなど、随所にUインター相撲最強ぶりを見せた。

最強祝勝会

て、その顔が怖いんですよ（笑）。

金原　そんなに凄かったの？

和田　余裕がなかったんですよ（苦笑）。ホントに真っ白でしたから。夢の中でやってるみたいでしたよ。

金原　それで試合終わったあとにさ、リング上で子供抱いちゃってね（笑）。

高山　第1試合なのに興行のシメみたいな感じでしたよね（笑）。

金原　そうそう（笑）。オレらがさ、次の試合控えてるから「早く帰るよ」って言ってもさ、なかなか帰らないでね、最後には桜庭の子供まで抱いちゃってさ（笑）。

高山　あれはマズイよねえ。『猪木ボンバイエ』の安田さんじゃないんだから。「お父さん勝ったぞーッ！」（笑）。

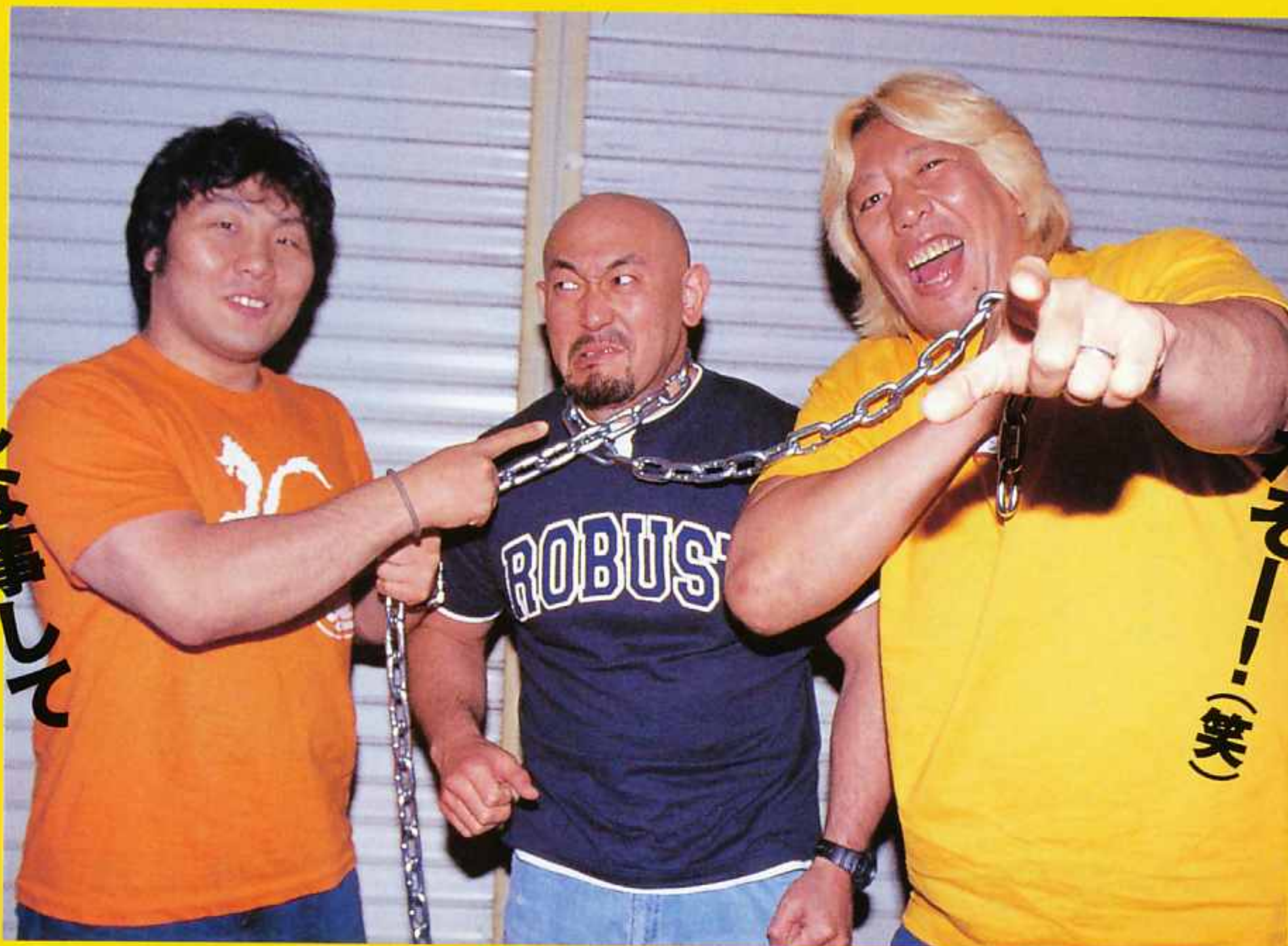
――ガハハハハ！　まさにあの再現でしたよね（笑）。

金原　そうそう（笑）。オレらが第1試合のときは勝ってもさ、おじぎしてスーって帰っていったもんだけどね。コーナーに登るぐらいでもあとで宮戸さんに怒られたんだから。それがもう子供まで抱いちゃって。しまいには、ハルク・ホーガンみたいにポージングまでしちゃってね（笑）。

和田　してないって！

高山　すっかりメインイベンター気取りでしたよね（笑）。

和田　勘弁してください（苦笑）。でも、これは真面目な話、金原選手と高阪選手がセコンドについてくれて、わざわざ高山選手が遠いところから来てくれたわけでしょ。それから終わったあとにいろんな選手や関係者の方からいっぱい連絡もらったんです。もう、ありがたくてありがたくて目頭熱くなっちゃて。だから、自分が勝った感じじゃないんですよ。みなさんに勝たせてもらった。それしかないですよ。

子供まで抱いちゃって安田じゃないんだからお父さん勝ったぞー！（笑）

第一試合であんな事して宮戸さんが見たらきっと怒るだろうね（笑）

――金原さんから見て試合内容はどうだったんですか？

金原　試合内容？　試合内容は何とも言えないよ（笑）。

和田　もうたっぷり怒られましたから（苦笑）。

金原　やっぱり、もたつくところがいっぱいあったよね。

和田　もう「おっしゃる通りです」としか言いようがないです。

金原　ヒザ蹴りとか、離れ際なんかは見ててヒヤヒヤしたよね。あれで相手がパンチ型だったら怖かったよね。蹴り型だから良かったけど。

――実際、アームロックが極まらなかったときは危ないと思いましたか？

金原　うん。やっぱり力使っちゃうからさ。和田さんの乗り方も凄い悪かったしね。

和田　自分でもいつもみたいな乗り方しようと思ったら、焦っちゃって焦っちゃって。先生方の声は聞こえたんですけど、「動かないんです！」って金縛りにあったみたいな感じなんですよ。

金原　でも、危ないところはなかったからね。次は和田ガードとか見てみたいよね（笑）。

――和田柔術の真髄はまだ見せてない、と（笑）。

高山　何もしてないですからね。まだベールに包まれたままですよ（笑）。

金原　まだ秘技は明かしてないから（笑）。

――となると次の試合が早くも楽しみですよね。

金原　今回の試合見て、次の試合も見たいなって気がしたから、やってほしいよね。まだ、満足いかないからね。

高山　あれじゃあねえ（笑）。

金原　勝ち逃げは良くないしね（笑）。

高山　あれじゃホントに勝ち逃げですよ。もっとボロボロになって勝ったらね、それでいいかなあって思うけど（笑）。これから和田さんの格闘ロードが始まるわけですよ（笑）。

金原　でも、和田さんの中ではもう次の闘いが始まってるみたいよ。だってさあ、今朝電話したら出ないのよ。「どうしたのかな？」と思ったらあとから電話が掛かってきてさ「ゴメン！　ランニングしてた」だって（笑）。

高山　ワハハハ！　カッコイイなあ（笑）。

金原　もうロードワーク始めてるからね。シビれたもん！（笑）。

和田　……どうコメントすればいいんですか！（苦笑）。

金原　和田さんはいま充実してるよね。不惑の四十代だよ（笑）。

和田　まだギリギリ三十代だって！

高山　昔、Uインターのころに土日になると金原さんが「また遊びに行こう」って騒いでいて、それを和田さんが「遅咲きの狂い咲きだ！」って言ってたけど。いま和田さんが違う意味でそうだよね（笑）。

――39歳にして狂い咲きですからね（笑）。

金原　いやあ、でも、ホントにデビューできて良かったよね？　だって試合したかったと思うもん、和田さん。

高山　ずっと前から言ってましたもんね。

金原　もともと選手になりたかったと思うもん。でも、大怪我で挫折しちゃったからさ。

――あ～、やっぱりそうだったんですか。

和田　それもこれもホントにみなさんのお

かげです。まさか自分があの舞台に上がらせていただけるとは思わなかったですから。
高山　Uインターのときも、和田さんを何かの試合に出そうという話はあったけど、そんな感じでチョコンと出なくて良かったですよ。あのときやっていたら、メチャクチャキツくやらされて辛かったと思うし。10年待ったから、こういう試合ができたんだから。
和田　ホントに感謝してます。マジメな話、ありがたいです。それしかないです。
高山　まぁ、この辺の話はカットね、マジメ過ぎるから（笑）。
――ガハハハハ！　いや、いい話ですよ。
和田　カットされてもいいですよ！　ホントの気持ちですから。それしかないもん！
――和田さん、御家族の反響はどうなんですか？
和田　おかげさまで子供にはいいところ見せられたと思うんですけど……。
金原　子供（武尊・たける君）は喜んでたと思うよ。試合後に「パパの凄いところ初めて見たよ、ボク！」って言ったもん！
――それは感動的ですねぇ！
金原　「パパがこんなに凄いとは思わなかったよ！」ってね。
高山　子供は仮面ライダーとか好きだからさ、ああいう闘って勝つパパっていうのは憧れちゃいますよ。
金原　見た目では相手が仮面ライダーみたいで、ショッカーが勝っちゃたんだけどさ（笑）。
高山　武尊の中ではパパが正義だからね。

和田最強

からね。
――奥様はどうだったんですか？
高山　終わった直後は「もう嫌だ」って言ってたよね。
和田　試合前に強いことを言ってた割には「試合は見られなかった」って言ってましたよ。
金原　愛があるねぇ。
高山　やっぱり心配でしょう。
――39歳でバーリ・トゥードデビューですからね。
高山　和田さんの奥さんは「選手の奥さんは凄い」とか言ってましたよ。「いつもこんな思いをしてるのか」って。「最初だけだよ」って思ったけどね（笑）。
金原　でも、子供はホントに感動してたよね。4歳にしてリングに上がっちゃったからね。和田さんもさ、花道歩いたとき凄い気持ち良かったでしょ？
和田　気持ちいいっていうか、夢の中にいるような感じ。半分開き直りで「ああ、来ちゃった」って。
高山　その割には余裕持って歩いてましたよね（笑）。
金原　観客とハイタッチしてるんだからね（笑）。
和田　でも、心臓バクバク！
金原　気持ちいいなあって思わなかった？　勝ってガッツポーズしたとき、ハイになるでしょ？
和田　でもね、夢の中でやってるみたいだから実感がないんだよね。「あれ、あれ、あれ、終わっちゃた」って感じで。
金原　じゃあ、次は張らなきゃいけないな。夢じゃないよって（笑）。
高山　まだ痛い目遭ってないからね。痛い目に遭うと現実的になるから（笑）。
和田　真っ白でしたよ。金原選手が若い選手を指導するときに「自分の足をちゃん

とマットに付けなきゃダメだ」って言ってるんですけど、まさしくフワフワしていて足が地についてない感じ。自分で何やってるかわからないの。

高山　ああ、デビュー戦はボクも宙に浮いた気分でしたね。

金原　その相手が俺なんだけど、高山君のデビュー戦は凄かったよ！　俺も怖かったもん。あんな危険なデビュー戦なかったよね（笑）。

和田　この2人が試合すると2人ともボロボロになるんですよ。激しくない試合はなかったよね、2人の試合で。

金原　必ずどっか負傷していたよね。

高山　それで終わってから酒飲んでるんですから、ヤバイっスよね（笑）。

金原　頭痛いって言ってるのにガーッて飲んでるからね（笑）。

——和田さんはお酒の方はどうなんですか？

金原　飲むけどね、上手く逃げようとするから、俺らがわざわざ飲ませるんだよね（笑）。

和田　違うんです！　彼の場合は始まる前からボクをターゲットにしてるんです！（笑）。ボクが（一気から逃れるために）高田さんの近くから離れよう離れようってしてると、金原選手が「和田さんがいねえ！」って騒ぎ出すんですよ（笑）。

金原　そして酔っぱらうと必ず「選手に何かある前にオレがやってやる」って頼もしいこと言ってくれるんだよ（笑）。

——カッコイイですねぇ！（笑）。

高山　「Uの門番」ですから（笑）。

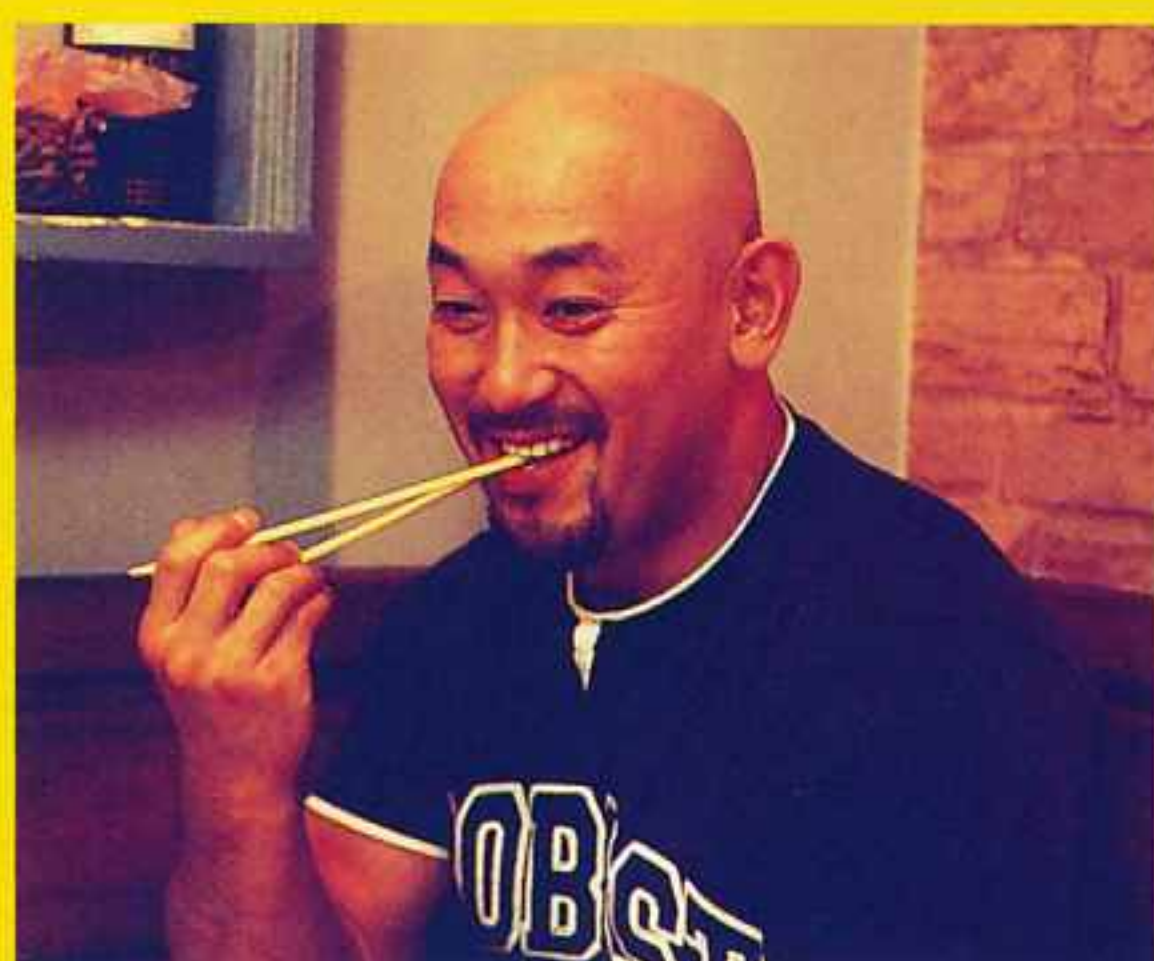
和田　おこがましいけど、選手になんかあったらっていう気持ちはありましたよ。それは本気で言ってましたね。

金原　大仁田議員がさ、Uインターにどうのこうの言ってたころ、和田さんは「大仁田の野郎、殺してやる！」ぐらいの勢いだったもんね。「高田さんに対して何を言ってるんだ、この野郎！」って（笑）。

高山　FMWに殴り込みかねない勢いでしたからね。もしかしたらデビュー戦が電流爆破だったかもしれない（笑）。

和田　仲間があんなこと言われて腹が立ったんですよ。毎日ひたむきにもの凄い練習してるのを知ってますから。だからボクは弱いですけど、何かあったらやってやるって気持ちはありましたよ。

——そう言えば、最近、ターザン山本さんの本で宮戸さんが「和田レフェリーには、選手がどれだけ大変で、どれだけ強いかっていうのをわからせて、選手を尊敬するようにガンガンスパーリングをやらせた」って言ってましたよ。ミスター高橋にはそういう尊敬がなかったって。

ボクの力じゃなくて皆さんに勝たせてもらった。感謝の一言です！（和田）

金ちゃんと高山のツッコミ波状攻撃に、箸を持つ手も止まり、完全に硬直してしまった和田さん。発言は「勘弁してください」「スイマセン」「許して下さい」の３つが大半を占めた。

金原　ああ、なるほどね。和田さんは選手のこと尊敬してるもんね。口で言ってって、心はわかんないけど（笑）。

和田　勘弁してよ（苦笑）。尊敬してるじゃん、ホントに！　何言ってもこうだから！

金原　口では言ってるけどさぁ（笑）。

高山　和田さんも、そのうち本出すんじゃないの？（笑）。

和田　ないないないっ！

金原　「ミスター高橋はいくら儲けたのかな？　そろそろ俺も出すか！」って（笑）。

高山　それで「Uインターの連中は俺の半分もバーベルを上げられない」とか書かれるんですよ（笑）。

金原　確かに和田さんよりバーベル持ち上げる人いないもんね（笑）。

和田　勘弁してくださいよ〜！（苦笑）。

金原　アハハハ！　和田さん、ビールも飲みなよ。お祝いなんだからさ。

和田　いや、今日はバイクで来てるし、春の交通安全週間だから。

高山　今日はやめといた方がいいですよ。せっかく和田さんにも運が向いてきたところなんですから。またついてない和田さんに戻らないように（笑）。

——和田さんは運が悪かったんですか？（笑）。

金原　昔はついてなかったよ。バイク買ったら盗まれて、ローンだけ払ったりさ（笑）。逆に免許の点数ないときにおばあちゃんハネたりとかさ（笑）。

高山　ハネたって、ひっかけただけですよ（笑）。あとはキングダムのときにバイクでタクシーと接触してタクシーブッ壊したんですよ（笑）。

——あ、壊れたのはタクシーの方（笑）。

金原　俺が道場に向かう途中で、和田さんがタクシーの人と揉めてるのよ。運転手いじめてなにやってんのこの人って思ってたら、和田さんが轢かれたらしいんだよね（笑）。端からみたらいじめてるようにしか見えないんだけど。

和田　人が交通事故に遭ってるのに、この人笑いながら来ましたからね！（笑）。

金原　ついてなかったんだよねえ（笑）。

高山　それからキングダムでスポンサーにつきそうだった人がオカマで。その人が和田さんを気に入っちゃったことがありましたよね（笑）。

——ガハハハハ！

高山　「遊びにいらっしゃい」とか言われちゃって、和田さん社運を懸けて道場から送り出されて（笑）。

金原　「和田さんが行かなかったらスポンサー逃げちゃうよ」ってオレらが煽ってさ（笑）。

和田　も〜う、ヒドインですよ！　金原選手が散々煽ってましたから！（笑）。

高山　そのスポンサーが言ってたのが「私にはわかるの。あの人はネコよ」って（笑）。

——ガハハハ！　性癖まで見破られて（笑）。

金原　それから「ネコ和田」って呼ばれてね（笑）。

——ネコ和田！（笑）。

金原　みんなからニャーニャーって言われて（笑）。

和田　ボクはいっっっつも選手のオモチャですから！

金原　でもね、この人は「ワル和田」って

強祝勝会

いう一面もあってね。急に「悪」に変身することがあるんだよ。それをみんなが「ワル和田」って呼んでるんだけど。

高山　怖いですよ！　凄い凶暴になりますから！

金原　車とか乗ると人が変わった様に「ワル和田」になってさ。右折車の回りが遅いとさ、車をバッと降りて前のタクシーのドアをバンバン蹴って「お前何で行かねえんだ！」って怒鳴りつけるんだよ！　六本木の交差点で、忘れもしないよ！（笑）。

高山　『こち亀』に出てくる白バイの本田みたいに、普段は人が良いんだけど乗り物乗ると凶暴になるんですよ（笑）。

――恐ろしい二重人格ですね（笑）。

金原　いやあ、全然試合の話とは関係ないねえ（笑）。

和田　こ、こんな対談ってないんじゃないですか？

高山　俺らの対談はいつもこんなだよ（笑）。

――金原さんと高山さんの大好評シリーズもそろそろネタがないかなと思ったんですけど、まだまだあるんですね（笑）。

金原　和田さんネタだけで連載できるよ！

高山　1年は持つんじゃないかな？（笑）。

和田　ホントに勘弁してください（苦笑）。

金原　和田さんとはつき合い長いからね。

和田　一番長い。

金原　いま考えるとUインターの頃は、和田さんも若かったんだよね。28ぐらいじゃない？

高山　そんなに若かったんだ。20代には絶対見えなかったけど（笑）。

金原　だって、髪の毛も残り少ないのに最後まで粘っていたからねえ（笑）。

高山　一時期、後ろ髪だけ伸ばしたり無駄な抵抗して（笑）。

金原　それで月に一回床屋に行ってたんだよ、あの髪型で（笑）。「今日は土曜日だから床屋に行くから、もう帰る」って、みんな「え⁉」って思うわけよ（笑）。

高山　そんなの道場のバリカンでやればいいのに（笑）。

金原　でも、「いきつけの床屋があるから行かなきゃいけない」とか言って（笑）。

高山　Uインターに入って3年ぐらい経って、やっとふんぎりついて丸めたんだよね（笑）。でも、頭丸めたら丸めたで、宮戸さんに「レフェリーに個性がありすぎる」とか言われてヒゲ剃らされちゃって（笑）。

――ガハハハハ！　頭だけじゃなくてヒゲまで剃らせれましたか（笑）。

金原　あったあった！（笑）。

高山　ヒゲ剃ったら両津勘吉みたいになってね（笑）。

金原　ホント拘っていたもんね、髪型には。

和田　往生際が悪かったんですよ、自分で言うのもなんなんですけど（笑）。

――『紙プロ』の前号で昔の和田さんの写真を貸していただいたんですけど、髪がふさふさで別人のようでしたよね（笑）。

高山　あれは凄いよねぇ。あれ見たさにノアの巡業先で『紙プロ』買っちゃいましたよ（笑）。

――お買いあげありがとうございます（笑）。

高山　あの写真は金原さんが和田さんの引っ越し手伝ったとき、たまたまアルバムを見たらしいんですよ。それで金原さんが「サラサラヘアーで面長だった」とか言うんだけど信じられなくて、和田さんに「見せてくださいよ」って言っても頑なに拒否されてたんで、ボクも初めて見たんですよ（笑）。

金原　そういえば和田さんの引っ越し手伝いにも行ったよね。Uインターのときに住んでるところが家賃3万ぐらいの「どくだみ荘」みたいなアパートで（笑）。

高山　しかもソファーの代わりにサンドバックとメディシンボールがある部屋ですからね（笑）。そこに大物ビックスターがやってくるんですよ。浜省とか。

――え⁉　あの浜省がくるんですか？

金原　そうそう（笑）。六畳一間風呂ナシのアパートにさ、浜田省吾とか中井貴一が来るんだよ！（笑）。

和田最強

和田　来るって家の前までですよ（苦笑）。

金原　浜省に家まで送らせる男だからね！（笑）。

――どんな実力者なんですか！

高山　和田さんが車の中でデモテープを聴いて、「いいんじゃないですか」って言うと発売されるんですよ（笑）。

和田　な～に言ってんの！　浜田さんに殺されますよ！（苦笑）。

金原　和田さん、スポーツジムのトレーナーやっていたから、有名人の知り合いが多いんだよ。それにしても、あのアパートまで送らせるんだからすごいよね。前の竹藪で首吊り自殺があるようなところまで（笑）。

――そんな物騒なところに（笑）。

和田　あれは高田さんに教えてもらったんですよ。「和田さん、ここ大丈夫？」って言うから「何がですか？」って聞いたら、「あそこで首吊り自殺があって2人死んでるんだよ。和田さん、2時とか3時とか大丈夫？」って（笑）。「エーッ⁉」って思って。飲み会があると2時とか3時とかになるでしょ？　怖くて怖くて！

高山　あそこは怖いよね（笑）。高速の用賀インターの近くで、周りは賑やかなのに、裏に入ると凄く静かなんですよ。

金原　あんな一等地なのにね。和田さんはそんなところにずっと住んでて、29で初めて風呂付きの家に引っ越したんだよ（笑）。だからいつも風呂は、Uインターの道場で入ってたからね。

高山　それで和田さんが風呂に入ると外のスイッチで温度調整して熱湯にしたり、真冬は冷水にしたりね。そうすると和田さんの悲鳴が風呂場から聞こえてくるんですよ（笑）。

和田最強祝勝会

――必ずそういう目に遭うと（笑）。

和田　こんなことばっかりなんですから！（笑）。でも、正直言ってつらいこともいっぱいあったんですよ。でも、そのたびに選手のみんなにいつも助けてもらってたんですよ。みんながいなかったら続いていなかったですよ。

金原　たまにホントに落ち込んでいたときもあったよね。いつも明るいんだけど、急に落ち込んでるときがあってさ。

高山　ギャップが凄いから、ホント心配だったんですよ。このまま自殺するんじゃないか、和田さんが3人目の竹藪かって（笑）。

金原　アハハハ！　そうそう！　そんな風に思ったよね（笑）。

和田　そのたびに助けてもらいましたから。ボクが落ち込んでるときは、みんなが声をかけてくれてね。ホントに涙が出ましたもん。

高山　でも、励ましてもらったのはお互い様でね。僕らも和田さんがいたから助かった部分もありましたからね。

金原　和田さんがいると場が和むじゃない、みんなが明るくなるからね。

――いやぁ～、いい関係ですね。なんかそういう歴史があったことを踏まえると、こないだの和田さんのデビュー戦もより感慨深いですね。

金原　今度は和田さんに喰わしてもらわないと（笑）、ウチの和田はどこにでも出すよ（笑）。

――「ウチの和田」ですか（笑）。

金原　こないだ『S―アリーナ』に出て「和田マネージャーの金原です」って言ったからね（笑）。これから、和田さんのマネージャーで喰っていこうかなって思って。

高山　和田さんが金原家の家計も支えるんですよ（笑）。和田さんは芸能面でも売り方次第では、いまの角田（信朗）さんぐらいまでにはなれますよ。『エスカップ』のコマーシャルを和田さんがやる日も近いですよ（笑）。

――ベルナルドがやってる『シック』のコマーシャルなんかも和田さんにピッタリですよね（笑）。

高山　それもありえるなあ！　いまベルちゃん元気ないしね。和田さんが「キレテナ～イ」って言う日も近い（笑）。

金原　それに意外とこの人香港映画にも出てるんだよ。国際スターだから！（笑）

――そうなんですか!?

和田　テロリストの役でちょっと……（笑）。

――ガハハハ！　テロリスト！　素晴らしい配役です（笑）。金原マネージャーとしては、和田さんの次の試合も考えてるんですか？

金原　もちろんいろいろ考えてますよ。まずはDEEPの6月大会で第2弾！

――6・9ディファ有明ですか！

高山　でも、和田さんが出るならディファだったらキッキツでしょう。2000人入らないですからね。記者会見で発表される頃には、となりの有明コロシアムに変更してますよ（笑）。

金原　まぁ、ウチは上がるリングは問わないから！　サスケさんにも電話して使ってもらおうかな（笑）。

和田　ボロボロになっちゃうよ！（苦笑）。

高山　みちのくで、新崎さんと武藤さんが組んだときに和田さんも入れてもらった方がいいですよ（笑）。

――ガハハハ！　違和感はないですよね（笑）。

高山　あとはジョー・サンとやってほしいよね（笑）。

――ジョー・サンvsワダ・サン、夢のカードですね（笑）。

高山　こないだの『紙プロ』で和田さんの次のページでジョー・サンが裸になってたじゃないですか。それを和田さんの奥さんが和田さんとジョー・サン見間違えて「またこんなことやって！」って怒ったらしいんですよ（笑）。

――ガハハハ！　バッグンです！（笑）。

金原　俺も見間違えてさ、「なんか長いインタビューだな」と思ってたら、いつのまにかジョー・サンのページだったからね（笑）。ジョー・サン戦にたどり着くまではやらせたいね。和田さんはまだ選手の気持ちがわかってないから、いまはいい気持しかわかってないからね（笑）。

和田　絶対そういう風に言われると思った！（笑）。

金原　まだ選手の良いとこしか見てないからね。今度は挫折を経験しないとね（笑）。

高山　苦しみの中から立ち上がらないとね。苦しさを味わえば大成するんですよ。だからまずは苦しまないと（笑）。

――なんか明らかに苦しい方向に向かわせようとしてませんか？（笑）。

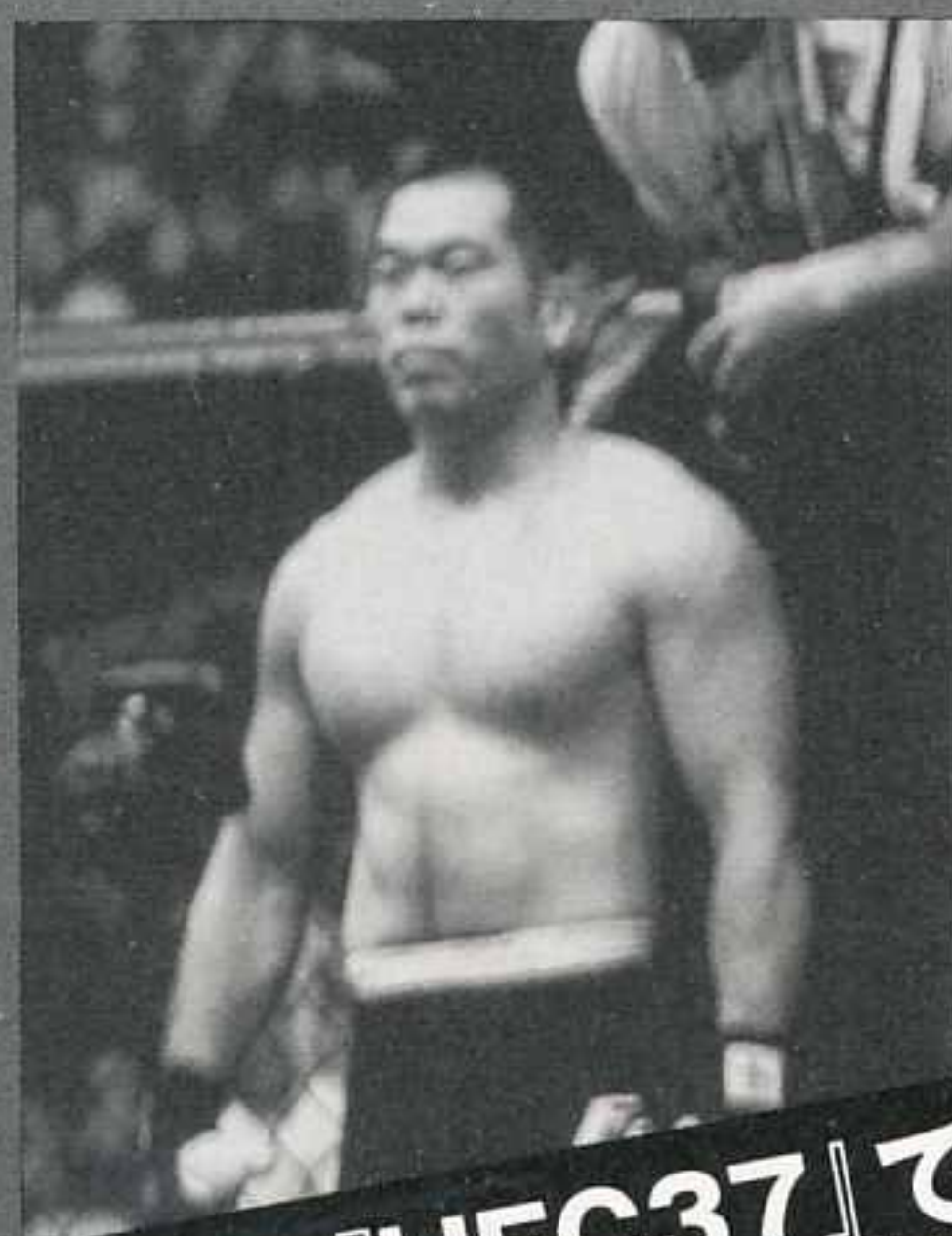
和田　この二人にかかったら、ボクはもうバンザイですから（苦笑）。

金原　いやぁ～、これから楽しみだよね（笑）。

――では、これからも金原さんプロデュースによる和田選手の活躍を期待してます！

【02年4月9日／祖師ケ谷大蔵「梨光苑」にて収録】

TK世界に再出撃!

ノゲイラとやれば面白い試合になると思いますよ でも今はオクタゴンにゲジメをつける時ですから

5・10『UFC37』でリコ・ロドリゲスと激突!

髙阪剛

日本人ヘビー級バーリ・トゥーダーの草分けとして、単身アメリカに乗り込み、世界に挑んできたTKが、日本に帰国して半年、アメリカでやり残したことにケジメをつけるため、再びオクタゴンに向かうことになった。「やり残したこと」とは、もちろんヘビー級王座奪取。「神の階級」に挑むことのできる唯一の日本人、TKの大いなる挑戦を見届けろ!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/松本崇　designed by hisa (Two Three)

Tsuyoshi Kosaka

もう1回ちゃんとUFCで闘わないと自分に対してケジメがつかないと思った

――髙阪さんのインタビューは、よく考えるとリングスのハワイ大会でして以来、実に2年振りなんですよね。

高阪 ああ〜、ありましたねぇ。あん時は黒のTシャツ着ていて。で、今日は白。2年間で変わったのはそれぐらいですねぇ（笑）。

――では、今日はTシャツが黒から白に変わるまでのお話を（笑）。

高阪 喋りましょうか？ 丸2年分の話を。それだけで今月の『紙プロ』は終わりますよ（笑）。

――じゃ、ここ半年ぐらいでいいです（笑）。ちょうどシアトルから日本に帰ってきて半年ですよね？

高阪 10月1日に帰って来たから……あ、半年経ちましたね。へぇ、早いもんだな。

――で、G-スクエアもオープンして半年。

高阪 ああ、そうですね。半年祝いに、なんかちょうだい（笑）。

――なぜだ（笑）。

高阪 ここって、いわゆる道場開きとかやったことないから、人に物貰ったことないんですよ。唯一、1人だけ自分に良くして下さってる方が「剣菱」って酒を持ってきてくれたくらいですね。それはもの凄い嬉しかったですけど……あれ？ 今日は手ぶら？

――残念ながら（笑）。

高阪 もう帰るがいい（笑）。

――そうはいきません！ でも、ジム開き祝いとか各方面からもらったりしなかったんですか？

高阪 そういう感じにしたくなかったですからね。自然に集まって、ワイワイやっていけたらいいなって思って始めた所だから。

――それがオープンのときに言ってた「アメリカのいい部分」のひとつですか？

高阪 はい。やっぱりなんだかんだ言って、こういうのって人と場所だと思うんですよ。だからウチは特別なテクニックがどうのこうのとか、そういうんじゃなくて、その雰囲気の中で生まれるものを大事にしたかったから。今のところ、その通りのものが出来てるんで、順調と言っていいんじゃないですかね。

――髙阪さんの練習環境としても申し分はないですか？

高阪 そうですね。日本に帰って来た理由が、自分にもう1回刺激を与えて、もうひとつ先の所に進まなきゃいけないっていうのがあったから、そういうのが出来てますからね。いろんな選手と練習できるし。ここだけじゃなくて、髙田道場さんとか、パンクラスの横浜道場に伺わせてもらったりとか。あとリングスの選手や宇野君とも練習できるしね。

――図らずも、前田道場が閉まったことによって、3・30DEEP前なんかは前田道場がそのまんま移って来たような状況でしたよね。駆け込み寺のように（笑）。

高阪 駆け込み寺って失礼じゃねぇか！（笑）。でも、確かにここのビルの大家さんは、お寺の住職さんだ（笑）。

――やっぱりそういう何かがある（笑）。

高阪 かも知れない（笑）。でも、練習する場所って絶対大事だと思うし。だから前田道場みたいな場所があったのは、選手にとって、もの凄く幸せなことだったんですよね。だからそれが今、こうやって自分の所に来て練習したりすることによって、その有り難さってものが、改めて身に染みてるんじゃないかと思うんですよ。自分は柔道やってた時から考えると、練習やってメシが食えて、寝る所があって、しかも小遣いが貰えるなんて信じられなかったですからね。

――新弟子時代ですら恵まれていた、と（笑）。

高阪 前田道場に入った頃、そういうものが存在してるってこと自体が、自分にはもの凄く衝撃的だったんですよ。だから凄く有り難い所なんだから、そこに甘えちゃいけないとは、入ってからずっと思ってましたからね。それでアメリカに行って練習したりとかすると、当然だけど何をするんでもお金が掛かるし、練習相手でも自分でお願いしなきゃならない。まあ、当たり前の姿ですよね。だから前田道場っていうのは、ホントに恵まれた場所だったんですよ。

――なるほど。その恵まれていたリングス時代ですけど、去年1年間の髙阪さんの試合を観ると、2月のKOK以降イマイチ試合に対するモチベーションが、上がってないような印象を受けたんですけど。

高阪 2月以降ってババル、コバ、アターエフですか。ああ、確かに。要は2月のクートゥアー戦で相当（モチベーションを）上げていったんですよ。その後に一瞬ホッとしちゃったって言うか、ちょっと抜いた方がいいのかなって感じた時期はありましたね。それから4月のアブダビのために減量したっていうのがあって、あそこから半年以上体重が帰って来なくて。去年の12月ですよ、やっと100キロになったの。その間も相変わらず食ってたんですけどね。「12時間耐久メシ食い大会」とかやって（笑）。

――12時間耐久メシ食い大会！（笑）。

高阪 牛肉を12時間食いっぱなしっていうのをやったんですけど、それでも体重戻って来なかったですからね。

――ちなみに12時間でどれぐらい食べるんですか？

高阪 ひとり何キロくらい食べてたんですかねぇ？

――やっぱりキロ単位！（笑）。

高阪 モチロン！ それでも体重戻って来なかったから。確かに、自分の身体が自分の身体じゃないみたいな感じがありましたよね。でも試合の時は、もちろん一生懸命練習もやってたし、気持ちも持っていってたと思うし。ただ実際それでバッと動いてみたら「アレッ!?」っていうのは、正直あったかも知れないですね。

――リングスの中で闘うテーマが見えなくなったからとか、そういう部分ではないですか？

高阪　それはないですよ。そんなん言ったら、ここで生きてるテーマすら疑われる話だから。人はなんの為に生きて……（笑）。

――そんな根元的な話（笑）。

高阪　だから自分の頭の中は変わらないですよ。どうやったらもっと強くなるのかとか、どうやったらもっと先に行けるのかとか。そればっかりですからね。だからその辺は全然変わってないですけど、何かのバランスが崩れていたのかも知れないですね。

――それで今年の2月に宇野選手とエキジビションマッチをやった後、すぐ「またUFCに出てみたい」という発言がありましたけど、元々オクタゴンに戻ってみたいって願望は強かったわけですか？

高阪　自分ちょうどリングスUSAの前ぐらいに肩を壊してからUFCは出てなかったんですけど、やっぱり、もう1回ちゃんとやらないと、自分に対してケジメがつかないんじゃないかっていう気持ちがあったんですよ。で、そう思ったんでUFCの会場に行くことにしたんですけど、行ってみたら前と会社が変わってたんですよ（笑）。

――SEGからZuffaに変わってた（笑）。

高阪　「アレッ⁉　どうしたらいいのこれ？」って（笑）。でも、とりあえず現地で直接交渉をしようと思って、宇野君が出るときに、社長のダナー・ホワイトと会ったんですよ。すれ違っただけなんですけど（笑）。

――すれ違っちゃいましたか（笑）。

高阪　「ハーイ！」って声掛けながらすれ違ったんで、「あれ誰ですか？」って聞いたら、「社長さんだよ」って言われて。

――社長の顔を知らなかった（笑）。

高阪　「またやっちゃったよ、オレ。絶好のチャンスじゃないかよぉ」とか思ってたんだけど、「まあ、しょうがねぇや、次に行った時にあの人が社長だって憶えときゃいいや」みたいな感じで。で、次に去年の11月の大会に行ったんですよ。で、今度はちゃんと憶えてますから、社長さんに「コンチワ〜、今、凄い調子いいんだけど」って。

3・22「UFC36」で、ランディー・クートゥアーを破り（2R4分35秒、TKO）、UFCヘビー級新王者となったジョシュ・バーネットはTKとシアトルで一緒に練習する仲。「マエダのキャプチュードで勝つ！」と豪語するこの男、日本でも見たい！

――さりげなくアピールを（笑）。

高阪　その辺で世間話とかしたりして。そういうとこから入って、その後会場に自分が昔よく喋った記者がいたんですよ。アメリカのMMA関係の記者なんですけど。「オウ！　久振りだな、元気？　怪我治った？」って話し掛けて来たんで「今、調子いいんだよ。オレ1月のUFCに出たいんだよね」とか言ったら「出たいの？　じゃあ、なんとかするよ」なんて言ってるから「なんで記者なのになんとか出来るの？」って思って『格通』の安西伸一さんに聞いたら「彼はZuffaの副社長だよ」って。

――いつの間にやら（笑）。

高阪　「またやっちゃったよ〜、いつの間に副社長になってんだよ」と思って（笑）。で、その人ジョー・シルバーって名前なんですけど、よく考えたら記者の方はジョー・ゴールドって名前だったんだよ。色違い（笑）。

――ガハハハ！　金と銀の違い。この話はネタ臭いですね（笑）。

高阪　いやいや、これマジですよ（笑）。『フルコンタクト・ファイター』って雑誌にジョー・ゴールドって記者がいるんですけど、自分はそれと間違ってたんですよ、背格好も似てるし。それがZuffaの副社長で、マッチメイクの実権を握ってる存在だったらしいんですよ（笑）。それで「またやっちゃったよ、オレ」って思いながら日本に帰って来たら、メールが来て「契約書送るから、サインして送り返してくれ。1月のUFC、相手はリコ・ロドリゲス」ってもう決まってた。

――ようやくたどり着きましたか（笑）。

高阪　色違いはあったけど、まぁ、自分の手で掴めて良かったと思って（笑）。それでサインをちゃっちゃとやって、送ろうと思ったら、「ちょっと待てよ、1月11日ってことはリングスの試合が12月21日だから3週間しかないなぁ」と思って、最近のZuffaは試合間隔とかに厳しいって噂も聞いたことがあったんですよ。でもメールで「一応、言ってみるだけなんだけど、試合の3週間前にリングスの大会があって、それに出ることが決まってるんだけど、それは大丈夫だよな」って送ったら、1週間後にUFCの全然知らない人から「残念ながら、今回の話はなかったことに」って。なんでやねん！（笑）。

――アハハハハハ！

高阪　急いで「いや、3週間くらいならオレは全然大丈夫だよ」ってメールを送り返したんですけど、「怪我をして突然穴を開けられたりすると、3週間で他の相手を捜すのは厳しいから、今回はなかったことにしましょう」って。ガーン（笑）。色違いまでして辿り着いたのに。

――またまた離れていってしまった（笑）。

高阪　でも「今回は残念だけど、リコとはどうしても試合をやらせてみたいから、次回絶対試合を組むって約束するから」とか言ってくれて。その後も自分とエージェントで執拗にアタックした結果、今回5月の試合が決まって、現在に至ると。

過去5回UFC出場経験があるTK（戦績は3勝2敗。キモ、ピート・ウィリアムス、ティム・レイシックに勝ち、バス・ルッテン、ペドロ・ヒーゾに敗れている）。世界を相手にして闘う、唯一の日本人ヘビー級として、もっともっと評価されていい。

――長い道のりでしたね（笑）。対戦相手のリコはどんな印象がありますか？

高阪　相当強くなってるんじゃないですか。昔のVTRとか観ると、もの凄い雑だったのが、今はまとまって来てるし。ちょっと軸が出来てきたような感じがしますよね。

――『PRIDE』の時にも、かなり強いなって思ってたんですけど。

高阪　あ、『PRIDE』出てるんですか？

――出てますよ。

高阪　誰とやったんですか？

――ジャイアント落合とですね。もう1、2試合出てたと思いますけど。

高阪　へぇ〜。だから結構軸が出来てきて、自分の身体の使い方も分かり始めてるなぁって気がしますよね。

――身体も大きいですよね。

高阪　アイツ絞ったんですよ。絞って106キロ。ふざけんなって（笑）。

――アハハハ！　高阪さんは増やして増やして100キロなのに（笑）。

高阪　そう、12時間耐久で牛喰って100キロなのに（笑）。

――素朴な疑問なんですけど、なんで高阪さんは体力的に不利なヘビー級でやってるんですか？　体格的にはティトと同階級にもできる気がするんですけど。

高阪　さっきも言ったけど、アブダビで96ぐらいまで落としたら、足が浮いちゃって、自分の試合が出来ないんですよ。寝技ではあんま変わらないんだけど、立ってる時に足が地に着いてないって言うか、身体が浮いちゃう感じがするんですよ。動き自体は早くなったりしたのは確かなんですけど、こう自分の動きじゃないんですよね。だから自分の動きが出来る体重で試合するのが一番いいわけでしょ。相手がどうのこうのじゃなくて。

――なるほど。

高阪　それに自分はUFCのヘビー級でここまでやってきたから、ライトヘビーとか行ってどうすんだよ。意味ないなって思って。やっぱり、一番最初にキモとやってメチャメチャブーイングされて、それが2試合3試合やってく内にだんだん認めてもらって、声援もらえるようになったじゃないですか。そうやって日本人としてアメリカのヘビー級を開拓していった意地みたいな部分もあるし、ここで体重落としたら逃げてるんじゃないかと思われる気もするしね。

――高阪さんは、この対戦相手ならオイシイなっていう考えは一切ないんですか？　例えば名前がある人とやりたいとか。

高阪　いや、それはありますよ。あるけどUFCに関しては、さっきも言ったけど、自分が直接足を運んでなんとか出場にこぎ着けたわけじゃないですか。「お願いします」とはやっぱり言いたくないし、「出てくれよ」って言われるような状態にしておきたいから、それはもう自分で作るしかしょうがないですよね。

――そういう意味では、リコを倒しておけば、相当その信頼がアップしていくのは間違いないですよね。

高阪　でしょうね。でもそれはもう後から付いて来ることですけどね。

――リコと練習はしたことないですか？

高阪　何回も会ってるんですけど、練習はないですね。

――高田道場にもいたから、そこでやってそうだとは思ってたんですけど。

高阪　ちょうど自分がアメリカにいた時に、リコが高田道場にいたからすれ違いなんですよね。アブダビにいったとき、リコに「フェニックスにいるから、一緒に練習しよう」って言われたことあるんですけど、気がついたら引っ越して、いまはチーム・パニッシュメントにいますね。

――あのティトがいるところですね。

高阪　だからいい練習は出来るでしょう。

――ところで、UFCは会社がSEGからZuffaに変わりましたけど、選手の目から見て、一番変わった部分ってどこですか？

高阪　どうなんですかね？　確かにショーアップはされましたけど、やってることは変わってないですよ。観客も試合が始まったらギャーギャー騒いでくれるし、観てる人にとっていい試合をしたら沸くし、下らない試合をしたら2度と使ってもらえないし。だから分かりやすいですよ。甘えがきかないって言うか、逆に自分を追い込めるから、自分を出し切った試合が出来ると思うんですよね。

――当時からそういう下手な試合をしたら、次はないっていう厳しさみたいなものは以前からあった部分ですか？

高阪　ありましたよ。負けたらファイトマネーが下がるし、ブーイングを受けるような試合をやったりとか、後は反則やったりしたら「もういいよ」って。「いい選手だった」って。全部過去形になるんですよ（笑）。でも、考えてみたら、それが普通だと思うんですよ。試合は勝たなきゃ意味ないし、周りに支持されなきゃプロとして意味がないですか

自分は日本人としてアメリカのヘビー級を開拓してきた意地がある

Tsuyoshi Kosaka

TK危うし!?
UFC37で対戦するリコ・ロドリゲスはこんなに凄い!

［主な戦歴］

■01.11　UFC-34
○ピート・ウィリアムス　2R 4:02 TKO

■01.06　UFC-32
○アンドレ・オロフスキー　3R1:23 TKO

■01.02　King of the Cage 7
○ポール・ブエナテロ　2R4:16 膝十字固め

■00.12　PRIDE.12
○ジョン・マーシュ　2R判定3-0

■00.08　PRIDE.10
○ジャイアント・落合　3:45 前腕チョーク

■00.06　PRIDE.9
○ゲーリー・グッドリッジ　2R判定

「King of the Cage」ヘビー級チャンピオン('00)
「Extreme Cage Wars・」ヘビー級チャンピオン('99)
「アブダビ・コンバット」99kg超級優勝（98）

1977年8月19日、アメリカ・カリフォルニア州出身。193cm、106kg。柔術界の超大物ヒーガン・マチャド門下に、入門わずか3ヶ月で柔術世界選手権青帯の部で優勝という天才ぶりをみせ、98年のアブダビで優勝。2000年のアブダビでは、あのミノタウロ・ノゲイラに一本勝ちという快挙を成し遂げている組み技のスペシャリスト。VTも確実にキャリアを積んできており、UFCヘビー戦線のトップに位置する。身体もナチュラルに大きく、TKにとって非常に厳しい相手と言えるだろう。

らね。観客に支持されなかったら試合を組んでもらえないのは当たり前ですからね。

――なるほど。さすがにそういう部分は、ショービジネスやプロスポーツの本場・アメリカですね。ところで、新UFCヘビー級の新チャンピオン、ジョシュ・バーネットは、昔からご存知なんですよね？

髙阪　ええ。シアトルのAMCで一緒に練習やってましたからね。住んでいた場所が近かったから、ジョシュがアマチュアの大会に出てる頃からですね。アマチュアのそういう大会とかを応援しに行ったりとかもしてたし、その頃から「絶対コイツは有名な選手になるな」と思ってましたけどね。

――やはりモノが違いましたか。

髙阪　もう、全然違いますよ。観たら分かるじゃないですか、そういうのって。ワシントン州でやったアマチュアの大会に、ジェフ・モンソンとジョシュが出てたんですけど、2人ともやることなすこと飛び抜けてたんですよね。もうすぐに有名になってもおかしくないってずっと思ってましたよ。

――まさにその通りって感じで、あれよあれよという間にUFC王者ですからね。

髙阪　だから2人と組んで練習するようになって、余計にジョシュの凄さ、ジェフの凄さが分かったんですよ。あと強い練習仲間が出来て、もの凄く嬉しかったのを憶えてます。こいつらと練習してたら絶対強くなるわってずっと思ってましたから。

――今、ジョシュは『PRIDE』に移籍って噂がでてますけど、その辺の話はご存じですか？

髙阪　そういう話はしてましたよ。でも、それはもう当たり前ですね。条件がいい所で試合をするのは当然の話だし。だから決まったらすぐに行くんじゃないですか？

――行きますか！

髙阪　『PRIDE』に決まったら『PRIDE』へ、UFCの方に決まったらUFCに出るって単純な話ですよ。

――ちょうど契約更改の時期と、ベルトを獲った時期が一緒になっちゃたっていう。

髙阪　そうですね。

――もし噂通り『PRIDE』に移籍して、ヘビー級王座が空位になったら、髙阪さんは狙いやすい位置になりますよね？　次のTK対リコ戦の勝者が、王座決定戦に出場みたい雰囲気も出てきてるんじゃないですか？

髙阪　あんまりそういうのは言ってほしくないんですよね。実は自分、そういう系の試合を2回やってんですよ。それで2回やって2回とも負けてるんですよ（苦笑）。

――あ、ルッテン戦とペドロ・ヒーゾ戦（笑）。そういえば、髙阪さんのUFCでの3勝2敗という戦績の2敗がどちらもそれでしたね（笑）。

髙阪　だからもう懲りた（笑）。それに1個目の前にあるものをちゃんと掴まない限りは、その先がないのは当たり前の話だし、いまはそれしか考えないですよ。

――髙阪さんは以前から"場所"ではなく、闘いたい"選手"のいるリングで闘いたいと言ってましたけど、現時点ではどなたが一番のターゲットですか？

髙阪　う～ん（しばし考えて）ハッキリしたのはそんなにないですよね。ノゲイラなんかは試合したら多分面白いだろうなとは思うけど、ノゲイラはUFCに出ることは考えられないですよね。そうなったら自分が『PRIDE』に出るしかしょうがないですからね。

――今の言葉尻を捉えると、『PRIDE』に出たいという気持ちもある、と。

髙阪　そりゃありますよ。けど、今やりたいのはUFCのオクタゴンにケジメを付けなきゃいけないって方が強いから。そっちの方が頭の中でメインになってるから、何もないっていうわけじゃないですけど、ゼロに等しいですね。今のところは。だから自分もそんなにいろいろ考えられるわけじゃないから、今はとにかくUFCで自分の痼りが残ってる所をちゃんと取らなきゃいけない、というのが全部ですね。それが終わってから考えるかも知れないけど、そんなにあっちもこっちも手を出したら、絶対どっちつかずになっちゃうから。今はUFCでもう1回頑張る。試合ってやっぱり命懸けでやるものだし、それをいい加減な気持ちで出来ないから。

――なるほど。それはもちろんそうですよね。いまはリコ戦に向けての練習の真っ只中ですか。

髙阪　やってますね。いまが疲れのピークですね。実は20日からシアトルに行くんですよ。

――向こうではどんな感じで？

髙阪　向こうでも基本的には変わらないですよ。スパーリングと技術練習をメインにして、それプラスそこに後押し出来るようなトレーニングをくっつけてやる。向こうのクリニックにもう1回行くかも知れないし。今は小路（晃）君もシアトルに行ってますから多分一緒に入って出来るだろうし、後はジョシュもいるし。（横井）宏考も連れていくつもりですしね。

――モーリスとはやらないんですか？

髙阪　モーリスは『PRIDE』でボブ・サップのセコンドにつくはずなんですよ。だから自分も日本に来るくせにメールで「TK頼みがあるんだけど、叙々苑のドレッシングをまた買って来てくれ」って書いてくるんですよ。オマエ、日本にいるオレをそんなに働かせたいのか！（笑）。

――アハハハ！

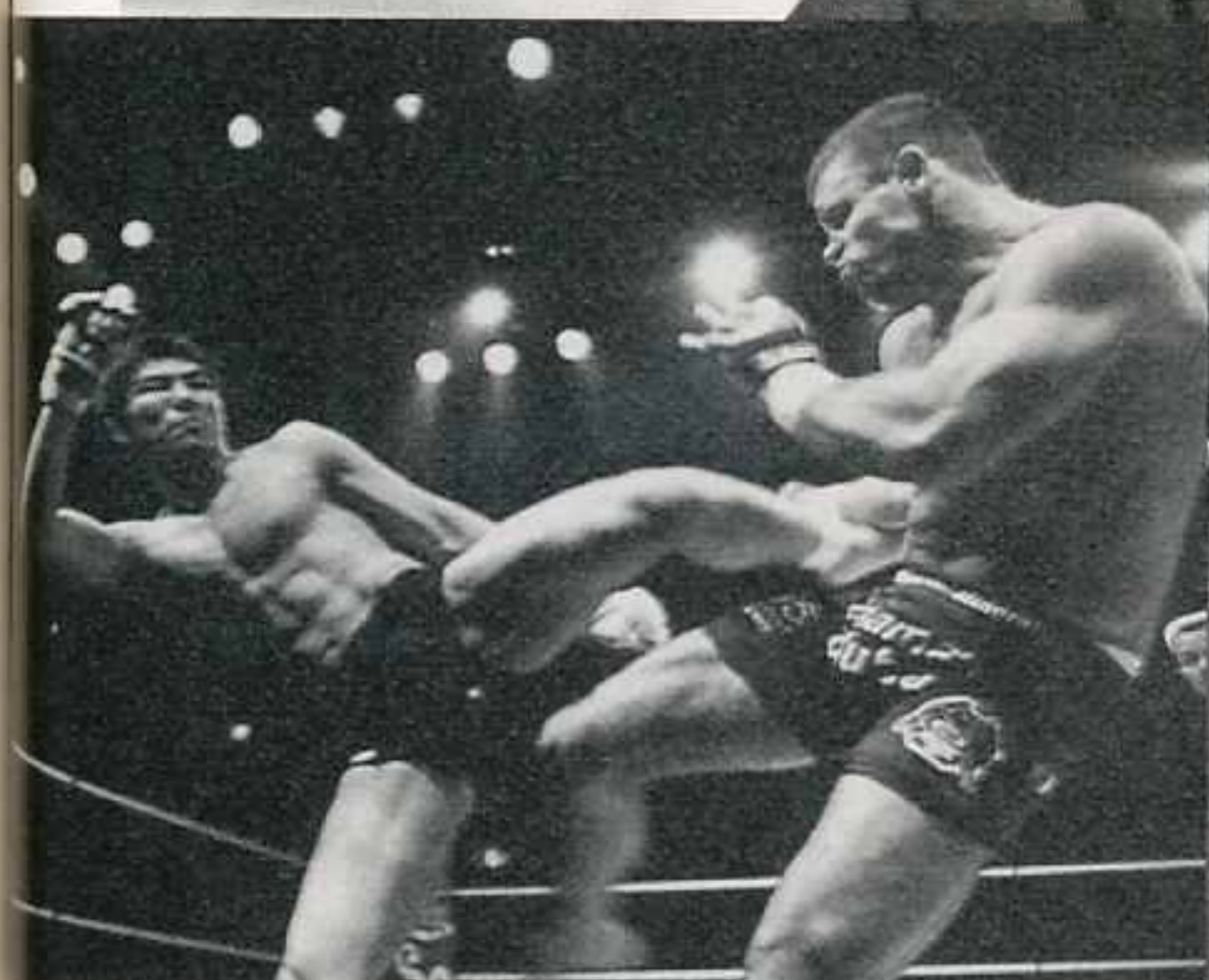
髙阪　重いから持って帰るのいやなんだよ（笑）。「お金は払う」って当たり前だって書いてね（笑）。「頼むよ、フレンド」「ブラザー」とか（笑）。ま、モーリスも『PRIDE』が終わってから最終段階の調整は一緒にやってくれるだろうし、頑張りますよ。

――最高の練習メンバーで、最高の試合を期待しております！

【02年4月12日／Gースクエアにて収録】

めでたくオープン0.5周年を迎えたTKが主宰する格闘技塾「Gースクエア」では、会員を募集中。「剣菱」を持って（持たなくてもよい）いますぐ駆けつけよう！
練習時間は月水金の18:00～20:00。入会金10.000円、月会費10,000円。
問い合わせ■Gースクエア　03-3280-5557

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也
designed by matsu (Two three)

リングスで活躍していたグスタボ・シムのセコンドとして3・30DEEPに来日したマルコ。元リングス・ブラジルのレナート・ババル、元UFCヘビー級王者ペドロ・ヒーゾもマルコの弟子だ。

田村、坂田、ヘイズマンを破ったファスVTの有望株シムは、3・30DEEPでグラバカの佐々木有生と対戦。得意の打撃で追い込む場面こそあったが、佐々木を攻めきれず判定でドロー。シムの打撃に真っ向から立ち向かった佐々木の頑張りが目立った試合となった。シムは今後、「PRIDE」出場を希望。K-1ルールの試合もOKだという。

MARCO RUAS

“ミルコに初めてVTを教えた男”マルコ・ファスが断言!

ヴァンダレイは闘い方を変えない限り、ミルコのカウンターのエジキになるだろう

いよいよ目前に迫った4・28『PRIDE.20』ミルコvsシウバ。
チケットはほぼ完売状態ということだが、
これは『PRIDE』とK-1の頂上対決であると共に、
勝敗の予想がつきにくいことも、人気の要因となっているようだ。
そこでミルコにVTを教えたこともあるファスを直撃。
この世紀の一戦を占ってもらった。

4.28
PRIDE.20直前!

どうなる?
ミルコvsシウバ!!

昨年8月にミルコをコーチし、12月には安田、永田をコーチ。現在のK-1vs猪木軍or「PRIDE」を陰で支えたマルコ。今後もK-1絡みのキーマンとなることは間違いないだろう。

マルコ　（『紙プロ』前号を見ながら突然吹き出し）これもしかして、ジョー・サンじゃないのか!?（笑）。

——はい、そうです。先月インタビューしたんですけど、いきなり脱ぎだしてこういう写真になってしまいました（笑）。

マルコ　ワハハハハ！　凄いなぁ（笑）。ちょっとみんなに見せてくるので待ってくれ。

（とマルコの手によって、『紙プロ』がグスタボ・シム、ジョン・ホーキ、アンドレ・ペデネイラスらに回し読みされ、ジョー・サン話で大いに盛り上がる）

マルコ　いや〜、グッド・マガジン、グッド・マガジン（笑）。

——ありがとうございます……って喜んでいいやらなんやら（笑）。

マルコ　ジョー・サンは今度、ジョー・モレイラ（キモやアミール、カイル・ストゥージョンの師匠で、アメリカでブラジリアン柔術の道場を開いた第一人者）と試合するという噂があるんだよ（笑）。

——そうなんですか!?　それは初耳ですね。事実ならメチャメチャ楽しみだなぁ（笑）。ま、ジョー・サンの話はともかく、まずは昨日のDEEPを観た感想を聞かせほしいんですけど。

マルコ　ＯＫ。昨日はグスタボの試合については判定で勝っていたと思うが、全体的にいい大会だったと思うよ。レベルの高い試合もあったし、バラエティに富んでいてよかったんじゃないかな。

——それと「ルタ・リーブリの帝王」であったマルコさんの目に、メキシコの「ルチャ・リブレ」の選手たちの闘いぶりがどう映ったか非常に興味があるんですけど（笑）。彼らの試合はご覧になられましたか？

マルコ　もちろん見たよ。感想は……う〜ん、非常に面白かったのは確かだよ（笑）。正直言って、テクニックのない選手が多かったけど、ファンも喜んでいたし、あれはあれでいいんじゃないか。私自身、大いに笑ったというか、楽しませてもらったよ（笑）。

——ルチャ軍団はマルコ・ファスをも楽しませましたか（笑）。ところで、今回はグスタボ・シム選手のセコンドとして来日したわけですけど、いまはどんな選手を指導しているんですか？

マルコ　グスタボの他にもペドロ・ヒーゾ、レナート・ババル、ホドリゴ・ファス（マルコの従兄弟）といったメンバーはみな私の弟子だよ。しかし、いま私はロサンゼルスに住んでブッキングや、マネジメントを中心に動いているんで、ブラジルに帰るのは年に2、3度だね。

——ロスのジムではどんな方々を指導しているんですか？

マルコ　主にアマチュアの選手たちだが、プライベート・レッスンでプロの選手も指導しているよ。日本人のヤスダやナガタといったところがそれに当たるね。

——安田選手や永田選手だけでなく、昨年8月にはミルコ・クロコップ選手も指導していたらしいですね？

マルコ　ああ、フジタ戦の前にある知人がミルコを連れてきて「バーリ・トゥードを教えてほしい」と頼まれたんで、12回のプライベート・レッスンを行ったよ。それからフジタの試合ビデオを見せられて、「作戦を立ててほしい」とも頼まれたんだ。

——では、作戦を立てたのもマルコさんだったんですか。

マルコ　そうだね。やはり試合を行う上で、作戦を立てることは非常に大事なことなんだ。フジタはケアー戦、アイブル戦、シャムロック戦、高山戦、どの試合を見ても、みんな同じ闘い方だから作戦が立てやすい選手だったよ。

——具体的にどんな作戦を授けたんですか？

マルコ　フジタは確かにタフなファイターではあるが、非常に限られた戦術しか持っていない。特にファースト・コンタクトはタックル一辺倒だ。だから、まずタックルを切ること、そしてタックルにヒザを叩き込むこと、それが作戦だった。そのために練習は、ミットを持ったトレーナーが、ミルコめがけてタックルで突っ込んでいき、そこへヒザ蹴りを叩き込む、その繰り返しだったよ。

——では、あのヒザ蹴りでの勝利は、決して偶然でもアクシデントでもない、と。

マルコ　もちろん（キッパリ）。私の作戦通りだ。逆に言えば、寝技を知らないあの時点でのミルコがフジタに勝つには、あの作戦しかなかったと思う。

——まさに作戦がズバリ的中したわけですね。でも、それを完璧に遂行したミルコも凄いですよね。マルコさんから見て、ミルコの優れた点を挙げると何になりますか？

マルコ　左のキックを始めとした打撃が素晴らしいのは言うまでもないが、ミルコは筋力が並はずれているね。あの身体能力は惚れ惚れするほどだ。ただ、これまではミルコの打撃だけで勝つことができたが、これからはそうはいかないだろうから、もっとグラウンドの力をつけることが急務だと思う。

——ミルコのバーリ・トゥードの順応力は、やはりK—1ファイターの中でも特別なものだと思いますか？

マルコ　確かにミルコはバーリ・トゥードの才能が非常にある選手だよ。しかし他のK—1ファイターもミルコ同様に非常に吸収が早いと聞いている。やはり私自身ムエタイをやっていたのでわかるが、ストライカーが寝技を覚えるより間違いなく早いんだ。だから、これからバーリ・トゥード用のトレーニングを積んでいくなら、K—1ファイターは非常に可能性

ミルコ、安田各人に合った作戦を授け、勝利に貢献してきたマルコ。そのマルコが予想するシウバvsミルコはミルコの勝利。はたして今回もマルコの予想は当たるのか？

ヤスダとタッグを組んで新日本プロレスで闘ってみたいよ

を持っていると言えるだろうね。

――そして去年の年末は今度は逆に、ミルコ選手の対戦相手である永田選手を指導したわけですけど、永田選手の印象はいかがでしたか？

マルコ　残念ながら、ナガタには10日間という非常に短い期間の指導しかできなかったが、彼はフィジカル面では優秀な選手だと思ったし、打撃の素質も持っていた。ただ、精神的な強さが足りなかったと思う。ミルコとの試合前にはかなり緊張した様子だったよ。

――やっぱりバーリ・トゥード初挑戦ということが、心理的に大きく影響したんでしょうか。

マルコ　それもあるし、ミルコはナガタと同じプロレスラーのフジタを倒しているから、「自分が勝たなければ」という責任感が、ナガタにのし掛かっていたんだろう。

――永田選手にはどのような指導をしたのですか？

マルコ　期間が非常に限られていたから、バーリ・トゥードに関しては極めてベーシックな部分だけを教えて、あとはミルコ戦用の作戦を授けてそれを補おうとしたんだ。

――どんな作戦だったんですか？

マルコ　ミルコの左の蹴りに気を付けること。距離を余り取らないことの2つだ。だが、ナガタは緊張しすぎて、リングに上がったら私のアドバイスをすべて忘れてしまったかのようだったよ。私はナガタのことを信じていたが、精神的な弱さが出てしまった。逆にヤスダは精神的な強さをもっていたから、ジェロムに勝てたと思う。

――安田さんは練習より本番に強かった、と。

マルコ　そう。安田はフィジカル面では決していいとは言えなかったし、練習後いつもタバコを吸っていたりしたけど、私のジムで1ヶ月間集中的にトレーニングしたこともあって、自信を持って闘っていたな。だから作戦通り間合いを詰めて、ジャロムの打撃を封じることができたんだろう。

――そういえば安田さんは試合前「マルコさんの言うとおりにすれば勝てる。いまの俺は強いぞ～」って言ってました（笑）。

マルコ　ハッハッハッハ、そのハートが彼の強みだね（笑）。ファイターにとって自信を持つことは非常に大事なことなんだよ。だからヤスダはビッグハートで尊敬に値する選手だよ。

――マルコさんは安田選手や永田選手など、新日本プロレスの選手をコーチしてきたわけですけど、この4月にアントニオ猪木さんもロスで道場をオープンすることはご存じですか？

マルコ　知っているよ。実はジムのオープニングにも招待されているんだ。

――あ、そうだったんですか。

マルコ　私が力になれるのであれば喜んでミスター・イノキに協力するよ。

――以前から猪木さんのことはご存じでしたか？

マルコ　ミスター・イノキことは昔から知ってるよ。あのモハメド・アリ戦もテレビで見たことがあるし、伝説的なファイターであるイワン・ゴメスと親交があったことも知っている。

――イワン・ゴメスをご存じでしたか。

マルコ　会ったことはないが、カーウソン・グレイシーとの闘いはあまりに有名だし、全てにおいて優秀なファイターだったことを私の父から聞いたことがあるよ。

――イワン・ゴメスは新日本プロレスのリングに上がってましたけど、マルコさんがプロレスのリングに上がることはないんですか？

マルコ　闘えるのであれば、どこのリングでも構わないよ。5月2日の東京ドームでのイベントに出場するかもしれないしね。

――そんな話があるんですか⁉

マルコ　まだわからないけどね。私もヤスダがどんな試合をしているのか興味があるし、できれば彼とタッグチームを組んでみたいね。

――安田忠夫＆マルコ・ファスの師弟コンビは見たいなぁ（笑）。ところでマルコ選手は安田選手、永田選手より前に高田選手も指導されていますが、3人でどの選手が一番バーリトゥード向きだと思いますか？

マルコ　（間髪入れずに）それはタカダだよ。

――どういったところがですか？

マルコ　タカダは精神的に強いし、フィジカル面でも優れている。そしてなんといっても練習熱心だしね。彼が（2回目に）ヒクソンと闘うときに指導したが、もっと私が教えたとおりに闘えば勝利していたんじゃないかと思うよ。

――なるほど。その高田vsヒクソン戦があった日に、マルコさんはアレクサンダー大塚選手とので残念な結果に終わってしまい、それ以来バーリ・トゥードをやっていませんけど、再び『PRIDE』のリングで闘うマルコさんを見ることはできないんでしょうか？

マルコ　ゼヒ、闘いたいよ。もう一度『PRIDE』のリングに立つことは、私の大きな夢の一つだ。

――その場合、闘いたいのはやはり大塚選手ですか？

マルコ　ああ、オオツカとのリ・マッチはゼヒやりたいね。あのときはヒザを負傷して痛み止めの注射を打った影響もあって最悪のコンディションだったんだ。だからオオツカのテクニックにではなく、ヒザのケガに負けたんだよ。もう一度やれば、それを証明できるよ。それから私は、『PRIDE』だけではなく、『イノキ・ボンバイエ』のようなイベントに出場する準備もあるんだ。

――それは猪木軍としてですか？

マルコ　そう、猪木軍としてだ。私はミルコを指導したが、ミルコ側からは勝利の報告すらないんだ。逆にミスター・イノキとは良い関係にあるし、猪木軍としてリングに上がりたいよ。

――ミルコとは闘いたいぐらいですか？

マルコ　いや、ミルコ自身は好きな人間だから、そういう気持ちはない。彼個人からはフジタに勝ったあとに感謝の言葉をもらったしね。問題は彼をマネージメントしている人間なんだ。

――どんな問題があったんですか？

マルコ　そのことについてはあまり触れてほしくないな。別の質問にしてくれないか。

――わかりました。では7・28『PRIDE・20』で、ミルコはシウバと闘いますが、マルコさんはどんな試合になると予想しますか？

マルコ　かなりの確率でヴァンダレイは危ないだろう。打撃ではミルコの方が明らかに上だから、彼はこれまで自分が築き上げてきた打撃中心の闘い方を変えなければならない。ヴァンダレイが勝つなら寝技しかないが、ミルコをテイクダウンさせるのは至難の業だろう。

――では、ヴァンダレイ危うし、ミルコ有利と。

マルコ　それはヴァンダレイの闘い方次第だろう。ただ、厳しい闘いは覚悟しておいた方がいい。それはミルコにも言えることだがね。

――ミルコが勝つとしたらマルコさんならどんな作戦を立てますか？

マルコ　ヴァンダレイの闘い方は、前へ前へと突っ込んでくるから、カウンター狙いしかないな。そこへ打撃を叩き込めば、勝利の道が見えるはずだ。

――では、最後にひとつ聞いておきたいことがあるんですけど。マルコさんから見て、いま世界中の総合格闘家の中で最も強いのは誰だと思いますか？

マルコ　やはり戦績から見ても、ミノタウロ（ノゲイラ）がベストになるだろうな。しかし、これからはペドロ・ヒーゾの時代が来ると私は思っているよ。

――わかりました。『PRIDE』、K－1、新日、場所は問わず、またマルコさんの勇姿が日本で見られることを期待してます！

マルコ　ありがとう。近いウチにまた日本で会おう！

【02年3月31日／名古屋市内「スターバックス」にて収録】

マルコ・ファス　Marco Ruas■1961年1月23日、ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ出身。"ヒクソンが対戦をさける男"と呼ばれ、「路上の王」の異名をほしいままにしたルタ・リーブリの雄。『PRIDE.4』でアレクにまさかの敗戦を喫した後は、ファスVT主宰しコーチとしての手腕を発揮。ミルコ、安田らを勝利に導く。185cm、99kg。

049 CONTENTS

Head Line

Main-Event

Semi-Final

Radical Special

Columns

Another

「WRESTLE MANIA x8」で感じた
〝超人〟の〝せつなさ〟
日本のプロレスラーよ
ホーガンに学べ!!

日本のプロレスには喜怒哀楽の〝哀〟がない!!

〝プロレスLOVE〟を旗印に「純プロ」復興に力が注がれている最近のプロレス界。
しかし、いまの日本のプロレス界において、足りないものは〝愛〟ではなく〝哀〟ではないだろうか?
『紙プロ』は、プロレス〝哀〟を提唱!　というわけで、〝哀〟を取り戻せ!　座談会、敢行ーッ!

座談会出席者

山口日昇●本誌鬼畜編集長
吉田豪●本誌スーパーバイザー
松澤チョロ●本誌ズンドコ進行マン
堀江ガンツ●本誌鬼軍曹
ささきぃ●『紙プロ』独り電気部

構成／ジャン斉藤
designed by matsu（Two three）

「純プロレス」に必要なのは“愛”じゃない!

「純プロ」よ、プロレス“哀”を取り戻せ! 座談会

山口 エ〜、いきなりですが、全国3千万人の『紙プロ』読者の皆様に御紹介します。今回、初めて座談会に参加する〝ささきぃ〟です。

ささきぃ 『紙プロ』電気部のささきぃです。よろしくお願いします。

山口 「ささきぃ君は、男の子みたいだねぇ」(笑)。

豪 byターザン山本ですね。しかもそのあと、年を聞くなり「崖っぷちだよぉぉぉ!」って絶叫したっていう(笑)。

山口 ガハハハ! ちなみにささきぃは、一部のネット野郎たちの間では美人OLとして有名です(笑)。

ささきぃ 「その看板には偽りあり」って言われてますけどね(笑)。

豪 勝手に付けられて、勝手に「偽りあり」って言われてるわけね(笑)。

山口 (司会のチョロに向かい)で、今回の座談会は何?

チョロ えっと、今回は「純プロレス」の未来を語るというか。

山口 それ、前号でやんなかったか?

ガンツ だけど、「純プロ」は過去を語るのが一番いいですよねぇ(笑)。

山口 お前は過去ばっかり見て生きてるんじゃないよ。いつも思うんだけど、ホント、ガンツは生まれてくる時代を間違えたよなぁ。全共闘の時代だったら、いい活躍したよ、キミは(笑)。

チョロ まあ、武藤率いる新生・全日本のチャン・カン最終戦も武道館で華々しく終了して、5・2には30周年記念と銘打った新日・東京ドームも控えているわけで、まだまだ「純プロ」の未来も語ることはたくさんありますよね。

豪 新日に関して言えば、猪木さんが「過去に頼らず、未来を見なきゃダメだ」って言ってたけど、結局は過去に頼らざるを得なくなったという。

山口 ドームにビッグ・サカを出そうとしたりね(笑)。

豪 要は、新日の未来は「プロ格」になったはずだったのが、それじゃまだダメなことが嫌でも明らかになったわけですよね。それで鈴木健想同様、すっかり明るい未来が見えない状況になっちゃったわけですけど。

チョロ 簡単にできないですけど、WWF化とかはどうなんですか?

ガンツ 日本のプロレスが10年かけてWWFと同じことやっても、WWFはまた違うことやってる思いますけどね。

山口 あ! WWFといえば、こないだの『レッスルマニア18』は素晴らしかったなあ!

豪 あれ? 会長(山口日昇のアダ名)は昨日、ロックvsホーガンの試合をビデオで見ただけですよね?

山口 そうだよ(笑)。とにかく、ホーガンは素晴らしかった!

豪 あのコク深さは一体何なんですかね? ボクはこれまでホーガンに関しては新日のドーム大会に来てもホント邪魔だと思うぐらいで、昔から何の思い入れもなかったはずなんですけど。

山口 オレもホーガンにはピンときたことはないんだけど、『レッスルマニア18』では〝喜・怒・哀・楽〟の〝哀〟の部分を、闘いの中で表現してたよね。総じて大味なWWFという空間の中で、〝哀〟をあれだけ感じさせるのは凄いと思ったなぁ。

豪 ホーガンの表情が、またいちいち切ないんですよね(笑)。ロックは千両役者だなんだとか言われてるけど、華麗さは表現はできてもあの切なさは表現できないと思うんでですよ。

ささきぃ どう切なかったんですか?

山口 ささきぃはまだ見てないの!? ダメだねぇ。

豪 崖っぷちですかね(笑)。

山口 しょうがない、オレが説明してやろう!

豪 昨日ビデオを見たばっかりだから、記憶もハッキリしてますしね(笑)。

山口 (無視して)最初は〝古豪〟と言われるホーガンが、絶頂期の大スター、ロックを相手にして、まずは予想外に攻め続けるわけ。

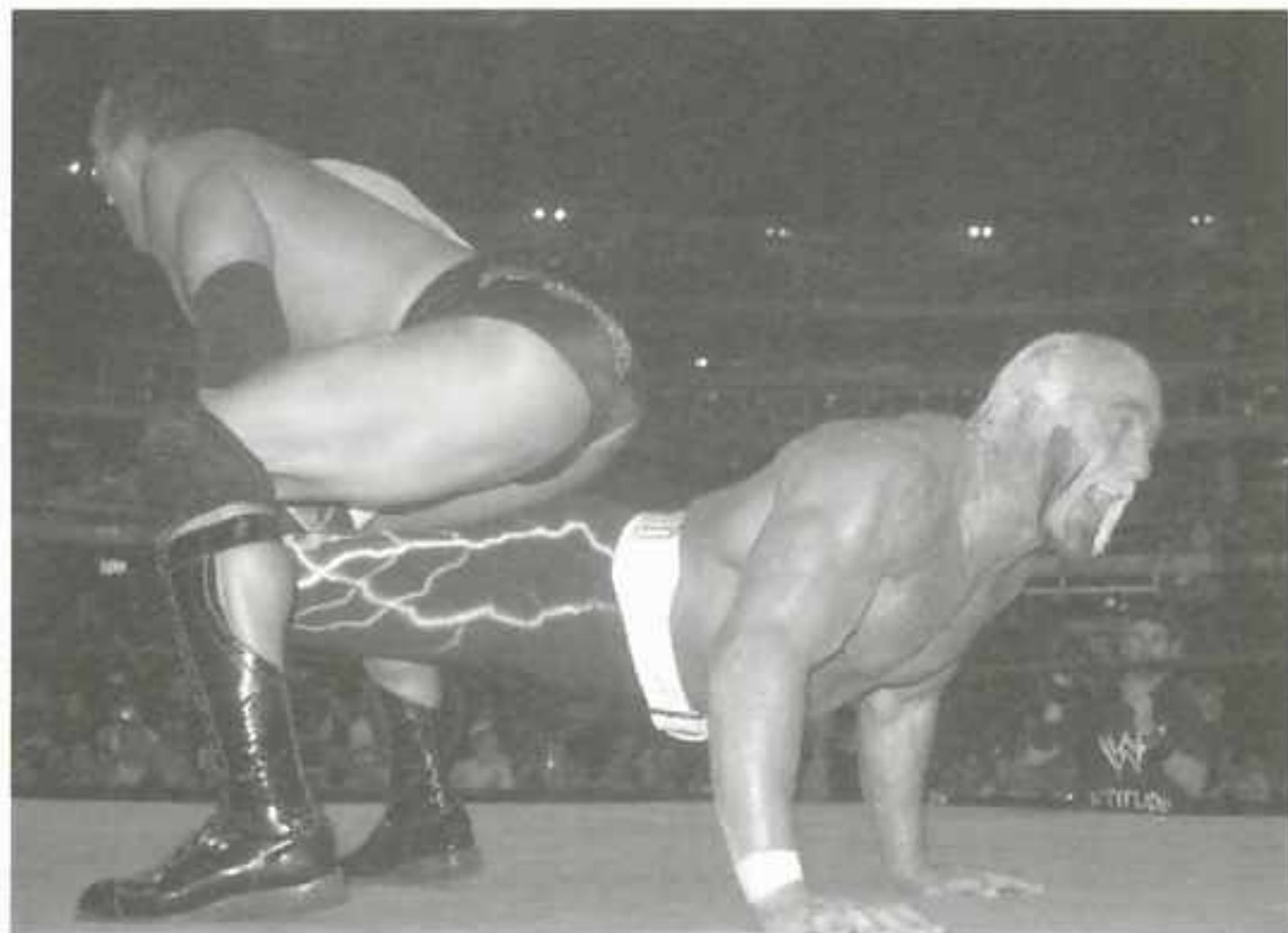
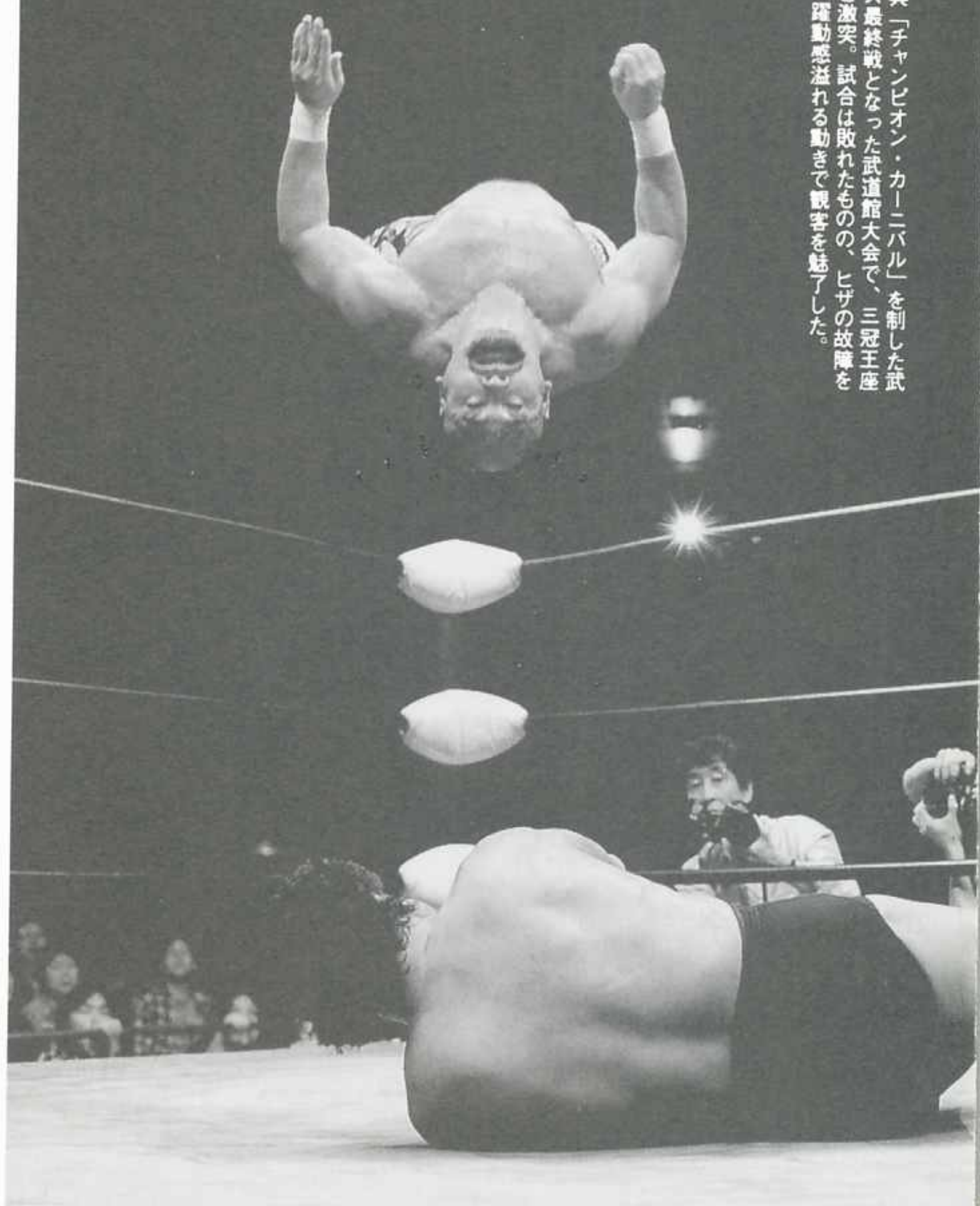
豪 ロックがホーガンを光らせるんですよね。当たり負けしたロックが、大げさに驚いた顔したりして(笑)。

山口 序盤はホーガンも、バンダナを巻いたまま闘ってる。で、まだ凄い身体してるから、実に若々しく見えるんだ。でも、ロックのラリアットを一発喰らって逆転されたら、ホーガンが転げ回りながら頭に巻いているバンダナを外すわけ。そこがあの試合のポイント。バンダナを外したとたんにハゲ頭が晒されて、一気におじいちゃんになっちゃうんだよ、ホーガン(笑)。その瞬間、観客のホーガンに対する記憶が蘇るんだよね。

ささきぃ 昔はハゲてなかったのに、ってことですか?

山口 いや、昔からハゲてたんだけどね、ホーガンは(笑)。その老いを感じさせる姿を見て、観客は現実を見せつけられたと同時に、昔からのホーガンの輝かしい歴史や若々しい姿がクロスオーバーするんだよ、たぶん(笑)。歴史の積み重ねと時の流れという残酷さに対して、ファンは「ホーガン、まだ負けるな」「時の流れに負けるな」と声援を送るんだよね。ファンは、時の流れには何者もかなわない、時の流れが一番残酷だっていうのをわかってるからこそ、なおさらホーガンを応援して、おとぎ話

6万人の観客の大歓声が、鳴りやむことがなかったホーガンvsロックの新旧英雄対決。ホーガンは、現役スーパーヒーローのロックを超える大声援を浴び、プロレスラーとしての年輪の厚さをまざまざと見せつけた。

〝ギリギリ〟の部分を表現できないと〝哀〟は感じない（山口）

全日・春の祭典「チャンピオン・カーニバル」を制した武藤は、シリーズ最終戦となった武道館大会で、三冠王座を懸けて天龍と激突。試合は敗れたものの、ヒザの故障をもろともしない躍動感溢れる動きで観客を魅了した。

を見たいわけでしょ。その声に促されて闘うホーガンの姿が、見てる者に切なさを感じさせたというかさ。

豪　ホーガンをまったく好きじゃないはずのボクも、あの切なさを見せられたら一気に魅き込まれましたからね！　実際、WCW崩壊直後にビンスがリング上で「WCWの選手で誰をリングに上げてほしいか?」って聞いたとき、ホーガンの名前を挙げたら反応が鈍かった。つまり、現地のファンもWWF復帰をそんなに望んでなかったはずなんですよね。それがホーガンの表現力によって、見事に一転して。

山口　ホーガンは、新日でプロレスを学んだってよく言われてるじゃない?

豪　猪木さんから盗んだとか言われてるけど、これまでホーガンに猪木を感じたことなんて1回もないですよね。

ガンツ　ホーガンの猪木イズムといったって、腕十字やるぐらいですから（笑）。

山口　ガハハハ！　でもホーガンが猪木さんから盗んだのは、闘いを通じて〝喜怒哀楽〟を表現することなんだなって、あれを見て思ったよ。猪木イズムとはまたちょっと違うんだけどね。

豪　猪木さんの試合で〝切なさ〟や〝哀〟みたいなものを感じるようになったのは、ホーガンが来日しなくなった頃からですからね。

山口　顕著になったのはね。でも、そんなに歳取る前から出せてたけどね。で、確かにホーガンは表情ひとつで銭が取れる。「指の先の先まで力を入れて闘わなきゃいけない」と昔から言っていた猪木さんに通ずる部分はあるよ。ホント、〝プロレスは表現である〟というのをホーガンが思い出させてくれたというかさ。そう考えると、日本のプロレスラーは表現者としてあまりにも拙なすぎる。とくに、〝喜怒哀楽〟の〝哀〟を表現できる人は少ないよね。

豪　本当はプロレスって、〝喜怒哀楽〟が全部揃ってないといけないはずなんですよ。

山口　だから、最近〝プロレスLOVE〟とか〝プロレス愛〟とか言われてるけど、いまマット界に足りないのは〝プロレス哀〟だと思うよ。この〝哀〟っていうのはいいテーマになるんじゃない?

豪　日本で〝哀〟が表現できるレスラーって誰がいます?

山口　やっぱり一番は猪木さんだよね。昔、村松友視さんが「アントニオ猪木には喜怒哀楽の〝楽〟がない」って言った名言もあったけど（笑）。

豪　最近はすっかり〝楽〟ばかりですけどね（笑）。

山口　ガハハハ！　現役のときの反動がきてるんだよ（笑）。

豪　あとは、まず武藤とかもそうですよね。

山口　天龍も醸し出せるでしょ。でも天龍は、51歳であれだけ動けるのはちょっと脅威だよ（笑）。いまのホーガンや51歳のときの猪木さんより全然動ける。

豪　50歳を過ぎて強さの説得力があるのは凄いですよね。ただ、〝哀〟に関しては結局は年輪によるものなのかって気がしますね。いきなりデビュー早々に〝哀〟が表現できてたら相当気持ち悪いし（笑）。

山口　例外は馬場さんくらいだろうね（笑）。馬場さんには生まれたときから〝哀〟が絡みついてたから。

豪　要はハンディキャップが〝哀〟に繋がるってことですよね。武藤にしても、レスラーとして完成したのは皮肉にも膝をケガしてからって気がするし。

山口　いまの武藤にとっては一試合一試合が勝負になってくるし、だからこそ〝哀〟を感じるよね。ムーンサルトに行くとヒヤッとするもん、ホント。

ガンツ　今日（4・13）の天龍戦でも、ムーンサルト失敗3連発ですからね！

豪　ハラハラするねぇ（笑）。

山口　ギリギリの部分で表現してるよね。やっぱり〝ギリギリ〟じゃないと、〝哀〟っていうのは出せないでしょ。

チョロ　そういう意味では、病気になる前のダイナマイト・キッドとかには感じますよ。

山口　ああ、キッドには〝哀〟があったかもしれないよな。

豪　でも、同じケガ人だけど、なぜか大仁田にはそれが表現できないんだよなぁ。

山口　うん。キャラとして出そうとしても出せない人もいるんだよ。大仁田は〝哀〟を出そう出そうとするけども、出ないよね。

豪　「FMWは愛なんじゃあ！」って声高に叫んでる割に、〝哀〟も〝愛〟も感じなかったんですよね（笑）。

ささきぃ　蝶野はクビに爆弾を抱えてますし、〝哀〟を感じてもおかしくないですよね?

豪　蝶野は、それを敢えて表現しようとはしてないよね。意識して出さないタイプというか。その点、女子でいえば一時期の北斗はかなり〝哀〟を感じたんだけど。

50歳を過ぎても強さの説得力があるのは凄い（豪）

武道館で武藤を撃破し、三冠のベルトをもぎ取った天龍。天龍自身、3度目の戴冠となった偉業もすばらしいが、51歳という年齢でいまだ第一線に立ち続けるレスラーは、後にも先にも天龍だけだろう。

山口　あ、それは言えてるね。一時期の北斗がダンゼン光ってたのは、崖っぷちの〝哀〟を醸し出していたからだよ。

豪　一回、首をやっちゃったっていうハンディキャップと、いつまで試合できるのかわからないっていう先が見えない感じが、瞬間的とはいえ異常に光らせてましたからね。

山口　あ、オレがブル（中野）が好きなのもそれだ！　やっぱり、ブルも〝哀〟を表現できてたからね。

豪　で、ブルと北斗の2人とも、最後には違う〝愛〟を求めて引退しちゃったと（笑）。

山口　ガハハハハ！　残念だなぁ。ブルはもっと見たかったなぁ。

豪　結局、両立はできなかったわけですよ（笑）。そういう点が女子はダメなんですね、どっちつかずになっちゃうから。

山口　女子は結婚や恋愛というのもあるし、芸に対して一生を犠牲に払うってことができないことが多いからね。

ガンツ　だけど、女子プロは昔は25歳定年制があったたから選手生命が短かったわけじゃないですか。そこにレスラー人生を全部詰まらせなくちゃいけなかったんですよ。

豪　やっぱり、〝定年〟って響きには嫌でも〝哀〟が感じられるからね（笑）。

ガンツ　いまはそれが20年ぐらい延長してるんで、〝哀〟は出しようがないんですけど（笑）。

山口　でも、選手生活が長くなった分、よけいに〝喜怒哀楽〟の〝哀〟を感じさせる選手が増えてこないとおかしいんだけどね。一時期のデビル雅美には、それに近いものを感じたんだけど。

ガンツ　堀田なんかは、あと20年ぐらい経ってもあのままの気がするなあ（笑）。

山口　ガハハハ！　これは男子にも言えるけど、ベテランだからって〝哀〟があるかといったら、そうじゃない。年輪は重要かもしれないけど、それだけじゃないでしょ。〝哀〟を醸し出すのに一番重要なのは、自分をどこまで崖っぷちに追い込んでやるかっていうことでしょ。ホーガンだってあの大舞台でロックと勝負するという役割に自分を追い込んだわけだからね。大舞台で後進にトップの座を禅譲するっていう役割は、思ってる以上になかなかできないもんなんだよね。若かりし頃のホーガンだったら、やっぱりあのマッチメイクは受けないだろうし。

ささきぃ　三沢にも、秋山や小川にトップの座を明け渡している部分に〝哀〟を感じますけど。

豪　悪い言葉だけど、ピークを過ぎていることを自覚しているであろう三沢に〝哀〟を感じているということだよね（笑）。

ささきぃ　ピークを過ぎていても、ドラゴンから〝哀〟は感じないですけどね（笑）。

ガンツ　ドラゴン番のボクから言わせてもらえば、ドラゴンの現役の執着心は凄いですよ！

豪　まだピークが続いてると思ってるんだよ（笑）。しかし、腰の負傷っていうハンディキャップを背負ったはずなのに、ドラゴンからは〝楽〟しか感じないよなあ。リング外は〝怒〟なんだけど（笑）。

山口　ガハハハ！　まあ、ドラゴンは置いといて、オレは、三沢というレスラーにも〝哀〟を感じるね。三沢の生き方にそれを感じる。

豪　秋山や永田には感じられないから、やっぱり世代によるものなのかって思うけど、三沢と同じ世代でも川田には全く〝哀〟が感じられないんですよ（笑）。

山口　また川田かよ！　まあ、確かに秋山がいま一歩突き抜けないのはそこが原因だろうし、川田はいつまでたっても〝喜〟と〝怒〟と、〝拗ねる〟を繰り返すだけだし（笑）。

豪　〝拗ねる〟っていうのは、表現でも何でもないですからね（笑）。ドラゴンにしてもそうですけど、拗ねるタイプに

プロレスは〝喜怒哀楽〟の全てを表現できうるジャンルでしょ（山口）

は絶対に〝哀〟は出せないですよ。

ささきい でも、みんながみんな〝哀〟を出せなくてもいいんですよね？

山口 それはそうだよ。俺らの好きな破壊王やサスケなんて〝喜〟と〝楽〟しかないじゃん（笑）。

豪 まさに〝キラク〟なタイプですよね（笑）。

山口 ガハハハ！ サスケなんか命懸けで飛んでるけども、〝哀〟をまったく感じさせないという貴重な存在だよね（笑）。

豪 命懸けのはずなのに何も伝わらないという（笑）。

山口 だから、プロレスは〝喜怒哀楽〟のすべてを表現できうるジャンルなのに、いつの間にか、〝喜〟と〝怒〟と〝楽〟しか、表現する人がいなくなっちゃった。

〝哀〟を出せる猪木、馬場、天龍、三沢たちが全盛期の頃は、プロレスそのものに厚みがあったよね。

チョロ そういえば、いまの新日の選手は、みんな表現が〝怒〟ですよね。

山口 そうそう。いいとこに気がついたな、チョロ。みんなが方向として、同じ表現方法だから、画一的に見えちゃう。

豪 でも、バト（ラーツ）とかも凄いリスクの高い試合をやっていたんだから、そういう〝哀〟が出るべきなのに全然出てなかったわけじゃないですか？

山口 初期のバトには、ちょっと〝哀〟があったけどね。アレクにしても、何をやっていいかわからなくて、相手のパンチやキックをバチバチに受けるだけ受ける。石川雄規もそうだったけど、やっぱり〝ギリギリ〟の部分でやってたよね、初期のバトは。その頃は〝哀〟を感じたよね。やってるプロレスが、ギリギリだったから。でも、いつからか、〝喜〟と〝楽〟を追求し始めちゃったから（笑）。だから、若い選手が〝哀〟を出せないかというと、一概には言えないよね。

チョロ 若い選手では誰に感じるんですか？

山口 やっぱり2回目のシウバ戦のサクなんかには〝哀〟を感じたよね。あの崖っぷちのギリギリ感というか。

豪 でも、格闘技系だと〝哀〟は悪い意味で出るもんじゃないですか？ ボロボロに負けた後とか、どう考えても勝てそうもない試合に挑むときとか（笑）。

山口 それも表現としての出し方じゃないしね。だから、格闘技で〝哀〟を表現できたとしたら、それは凄いことだと思うよ。実際に『PRIDE』では、プロレスが表現すべき〝喜怒哀楽〟が自然に揃ったこともあったじゃない。『PRIDE』にもの凄い求心力が生まれたのはそういうことだよ。オレはその〝哀〟の部分をを担っていたのは……

豪 （遮って）高田なんですよね、会長に言わせると（笑）。

山口 は？ 違うの？ オレは1回目のヒクソン戦には感じたよ、ビンビン。

豪 まあ、1回目は感じましたよね。それ以外は〝楽〟というか〝満足感〟しか表現できてない気がしますけど。

カード発表後、驚異的なチケットの売り上げを記録した三沢vs蝶野。ファンは、対抗戦への期待感からではなく、両者のプロレスラーとしての力量に期待しているところが大きい。

山口 あのときといまではリスクが違うということも大きいんだけどさ。

チョロ 1回目ってことで言うと、谷津にもありましたよね。

山口 この間の『PRIDE』初登場の田村にもビンビンに感じたな。

豪 やっぱり、負ける可能性が高い試合に初めて挑むことが〝哀〟を感じさせるんでしょうね。アレクの場合もそうだったじゃないですか。

山口 アレクには、今度の菊田戦では〝哀〟を感じられると思うよね。

豪 負ける要素が少ない菊田には、間違っても感じないでしょうけど（笑）。

山口 菊田はパンクラスから乗り込んでくる立場だけど、ギリギリ感が全く感じられないんだよね。

ガンツ ちなみに『PRIDE』登場1回目に「キャプチュード」をテーマ曲に乗り込んできたヤマノリとかはどうだったんですか？（笑）

山口 イッキシンテン！（笑）。

豪 まあ、『PRIDE』初登場で負けるんじゃないかと思わせて挑むからといって、必ずしも〝哀〟が出せるわけでもない、と。

山口 そういう意味では、オーちゃんなんかは『PRIDE』に出た2回とも感じられたよな。背負ってるものがデカイこともあるからなんだろうけど、やりたくないんだろうなっていう〝哀〟をビンビン感じたよ（笑）。「オレがやりたいのはホントはこっちの方向じゃないんだよ。でも、やらなきゃしょうがない。勝たなきゃしょうがない」っていう〝ギリギリ〟の感じがあった。

豪 「オレのやりたい表現はこれじゃない」っていう。

山口 そういう〝哀〟が見えるマッチメイクをしてるという部分が、『PRIDE』にプロレスを感じるところでもあるよね。

豪 でも、『PRIDE』のような場だと、〝哀〟に限らず自分を表現するのは、最終的には勝ち続けることでしかできなくなってくるじゃないですか。

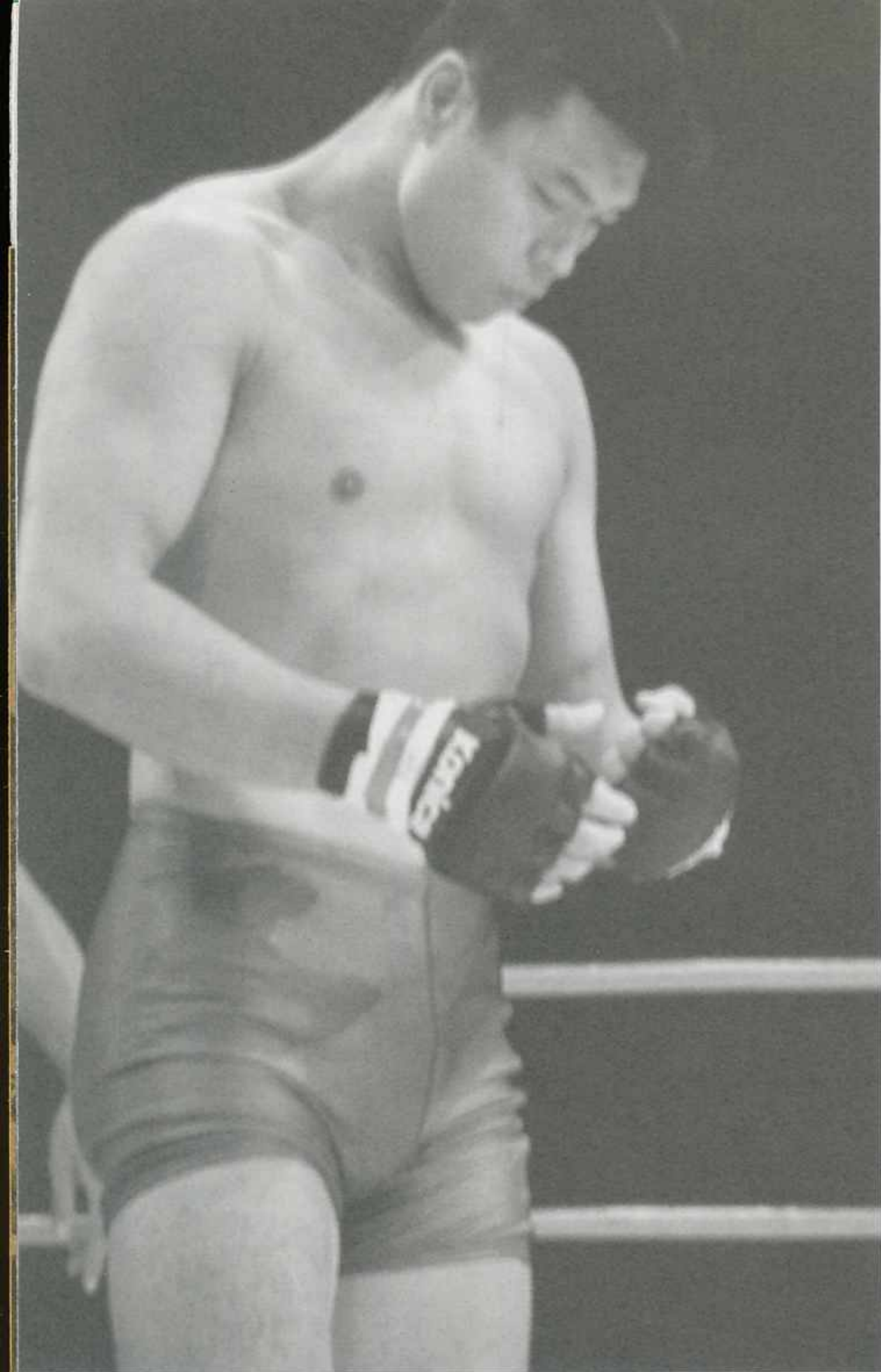
ガンツ 負けるとそれまでやってきたことが、全て否定されちゃうわけですからね。「弱い！」って、それだけしか残らないことが多いですから。

豪 プロレスファンはやっぱり〝哀〟を表現できそうな選手を見に行くわけだから、嫌でも『PRIDE』は選手が使い捨てになっていくんだろうね。

山口 そうなったら、選手はドンドン入れ替わっていくしかない。それをオレらが受け入れることが『PRIDE』を楽しんでいく一つの術かもしれない。『PRIDE』では〝喜怒哀楽〟のどれもが長続きしない。だからこそ、あの時代を疾走するスピード感みたいなものが出るんだよね。

豪 そういう意味で、プロレスは有利なはずなんですけどねえ。

山口 ホント、そうだよ！ プロレスは格闘技より〝喜怒哀楽〟を自由に表現

できるジャンルなんだよ。それを忘れてるよ。だから、〝怒〟ばかりの新日より、ZERO―ONEや全日本のほうに、いい意味での幅を感じるんでしょ。
豪 これじゃ『PRIDE』にも押されるわけですよ。今後もプロレス側が〝哀〟を表現できる選手を育てていかない限り、『PRIDE』の脅威は続くと思いますね。
山口 毛唐のホーガンに表現できるのに、なにやってるんだって話だよ（笑）。
豪 陽気なアメリカンに（笑）。もともと、わびさびの国だったはずの日本人が何をやってるんだよってことですよね（笑）。武藤とか見ればわかりますけど、格闘技とは違ったプロレスなりのリスクの表現の仕方があるはずだし。
山口 ひと言で言ってしまえば、日本のプロレスラーの表現力不足がマット界の不況を招いてる。

5・2新日ドームでは、坂口会長とのジャケットマッチという仰天カードも浮上している小川。WWFへの急接近、噂されるUFOのビックマッチと、今年もマット界の話題をさらってくれそうだ。オーちゃんの〝喜怒哀楽〟が爆発するのは、どこのリングだ!?

豪 いまは選手に表現力がないから、やむなく「プロ格」の方向に向かってる部分は絶対ありますよ。
チョロ 新日30周年記念興行にしても、「プロ格」の匂いがするカードがいくつかありますよね。あのカードを見て会長的にはどう思ったんですか?
山口 パッと見た感じ、オレは5・2の新日より、冬木がプロデュースする5・5のWEW旗揚げ興行のほうが、なんかイレギュラーがありそうだっていう期待感は持てるね。
チョロ それは大腸ガンで引退する冬木に〝哀〟を感じられるからですか?
山口 いや、大会自体に注目できる。冬木は冬木で今回、残念ながら病魔に冒されてしまったけど、「悔いはないよ、面白おかしいプロレス人生だったから。終わり方は急だったけど」とか「入院する前にはカードを発表するけど、入院したらオレは知らない。あとは勝手にやってくれ」という言い方にも意地を感じたよね。そういう崖っぷちの状況なのに哀愁を感じさせないようにするところが、逆に意地が見えていいなって感じるけどね。
豪 キャラを全うしてるところに〝哀〟も感じますよね。ああいう冬木のキャラだからこそ、余計に感じるものがあるわけじゃないですか。
山口 ホントそうだよ。大腸ガンになりながら最後の最後まで冬木弘道でいられるというのは、凄いことだし、ある意味幸せなことだと思うよ。
チョロ 5・5は、その冬木のために各団体が参戦するわけですけど、パッと見た目、寄せ集め感が拭えなくもないですよね。
山口 いや、金村キンタローvsベイダーはどう考えても凄いだろう（笑）。
豪 あれは画期的ですよ! 田上明vs黒田哲広も見たいし（笑）。
ガンツ ベイダーのラリアットを喰らって、金村が2回転ぐらいしてブッ飛びそうですね（笑）。
山口 しかもタッグマッチながら、破壊王vs大仁田もあるからね! オレはゼヒ電流爆破デスマッチで対戦したもらいたい（笑）。
チョロ 同じく三銃士と並び称された武藤、蝶野も電流爆破マッチをやりましたけど、破壊王が一番凄い試合をやってくれそうですよね（笑）。
山口 「これが邪道のやり方かぁぁぁ! いつまでこんなことやってるんやぁぁ!」と言いながら、自分から電流に飛び込むくらいのことはやってくれそうだからね（笑）。まあ、今回、冬木が大腸ガンで引退という状況になって、参加する団体や選手には「はなむけ」というテーマが図らずもできたんだけど、団体プロレスが終焉を迎えつつある中で、テーマがある場さえ作ればワクワク感が生まれる可能性があるというのが5・5のカードを見て感じたことだね。それをどう継続させていくかはもっと重要なテーマだけどね。でも、新日本のドームには、な〜んかテーマが見えづらい。
豪 そもそも今回の新日ドームにはテーマが一切ないですから（キッパリ）。「新日本30周年記念」というのが、あのカードのどこの部分にかかってるのか聞きたいですよ、ホント。
ささきぃ 永田vs高山のタイトルが「闘魂象徴」ですからね。
豪 どこにかかる枕詞なのかまったくわからないし、30周年で全女と大日本を呼ぶのもまったくわからない（笑）。「プロレスを日本に定着させた男」を枕詞にした『力道山メモリアル』で、現在のプロレス界の現状を見せるために各団体を呼ぶのとは、意味がまったく違いますからね。あれじゃ、とにかく困ってるってことしか伝わらないというか。
ささきぃ 新日ドームにも金村が出るんですけど、WEWのベイダー戦ほどは期待感がないですよね。
チョロ ボクなんかは大日本からは葛西純が出てほしかったですけどね。

『PRIDE』での小川には〝ギリギリ感〟があった（山口）

冬木には、キャラを全うするところに"哀"を感じる（豪）

豪　絶対、葛西のデスマッチでしょ！　関本もいい選手なんだろうけど、いまの大日本を見せるのに適しているのは関本じゃないはずだし。

山口　まあ、新日もラインナップとしてはいいとは思うんだけどね。チケットも爆発的に売れてるらしいしさ。でも、一番の差は、5・5のWEWには開放感を感じるけど、5・2新日本には強引にテーマを当てはめてる窮屈感を感じるってことかな。

チョロ　三沢vs蝶野、永田vs高山はあるにせよ、確かに5・2には開放感があるマッチメイクがないですよね。

豪　スタイナーズvs棚橋ぐらいは明るくて突き抜けてそうなんだけど、いかんせん健介が入っちゃうからね（笑）。今回のドームは、確実に「新日本30周年」というキャッチフレーズが足かせになってますよ。だから、猪木さんの顔色を伺ってる部分もあるだろうし。

山口　猪木さんは『週刊文春』で阿川佐和子に「プロレスなんかに興味ないんですよ」って言ってるんだけどね（笑）。

豪　「もう飽きちゃったね、プロレス」って（笑）。

山口　「あんなの、飽きずにいつまでもやってるようじゃバカ」とまで言ってるよ（笑）。

豪　つまり、暗に藤波批判をしてるわけですよね（笑）。

山口　でもさ、猪木さんの顔色を伺っても、結局は強引に介入してくるんだからさ（笑）。だからって、別に猪木さんが窮屈感の張本人ってわけじゃないんだよな。

豪　長州がマッチメイカーを降りても窮屈感はなくならないし、結局誰がいなくなればいいですかね？　諸悪の根元が全く見えないのが、最大の問題だと思うんですよ。

山口　あと、いくら状況的に追い込まれようとも、いまの新日本にはちっとも"哀"が感じられないんだよなあ（笑）。

豪　むしろ、みんな無理して"怒"を出そうとしているだけというか。本来、永田なんか"喜"と"楽"の人のはずなんですよ、人として。

山口　ガハハハ！　そうなの？

豪　いつも怒ってばっかりいますけど、健介なんかもそういうキャラのはずなんですよ。

ささきぃ　確かにテレビ番組で自宅を訪問されるときは"喜"と"楽"しか見えないですよね（笑）。

チョロ　やっぱり、ストロング・スタイルっていう枠内だと、"怒"しか表現しちゃダメなんですかね？

豪　それでまた、"怒"の表現も昭和と平成じゃ違うわけでしょ。猪木さんが現役のときの表現と、馳以降の「こんのヤロー！」って叫ぶような女子プロっぽい表現とは明らかに違うわけだから。猪木さんは、そこに引っ掛かってるんじゃないかって思うんだよな。

久しぶりに"引退"という二文字が重く感じられる冬木弘道の引退。川崎球場で開催されるWEW旗揚げ興行には、手術後の経過が良好であれば来場。引退セレモニーを行う予定だ。

冬木弘道引退記念興行 ～WEW旗揚げ戦～
5月5日神奈川・川崎球場

■トリプルスペシャルマッチ3
大仁田厚&Xvs橋本真也&大谷晋二郎

■トリプルスペシャルマッチ2
金村キンタローvsベイダー

■トリプルスペシャルマッチ1
黒田哲広vs田上明

■ノア提供マッチ
三沢光晴&小川良成vs本田多聞&井上雅央

■LLPW提供マッチ
風間ルミ&イーグル沢井vsハーレー斉藤&立野記代

■全女提供マッチ
豊田真奈美vs前川久美

■WEWvsDDT
チョコボール向井&NOZAWAvs高木三四郎&MIKAMI

■異次元空間異色タッグマッチ
バイオモンスターDNA&怨霊vsポイズン澤田&葛西純

■愛と末練の十番勝負・第十番
新宿鮫vs二瓶組長with藤原理香（人質）

■オープニングタッグマッチ
ニセ大仁田&サン・ポールvs牧田理&ハッピー池田

新日本プロレス30周年記念『闘魂記念日』
5月2日・東京ドーム

■闘魂記念日メインイベント"闘魂象徴"IWGPヘビー級王座選手権試合
永田 裕志vs高山 善廣

■新日本 vs NOAH 世紀の一戦"闘強導夢"
蝶野 正洋vs三沢 光晴

■格闘イデオロギー"闘魂決着"
安田 忠夫vsドン・フライ

■STRONGSTYLE"格闘衛星"
中西学vsバス・ルッテン

■新世紀大巨人伝説"激突"
ジャイアント・シルバvsジャイアント・シン

■RESURRTION"新星転生"
棚橋 弘至&佐々木 健介
vsスコット・スタイナー&リック・スタイナー

■BESUT OF THE SUPER Jr.TAG"頂上対戦"
田中 稔&獣神サンダーライガーvs邪道&外道

■全日本女子プロレス"女帝闘魂"
堀田 祐美子&豊田 真奈美vs中西 百重&伊藤 薫

■30th ANNIVERSARY"猛虎競闘"
4代目タイガーマスク&3代目タイガーマスク
vsエル・サムライ&ブラック タイガー

■大日本プロレス"若武者見参"
関本 大介vs金村キンタロー

■"新日原点"
柴田 勝頼vs井上 亘

5・2新日には強引にテーマを当てはめている窮屈感を感じる（山口）

確実にノアの色を変えていくと思われる小川良成のGHC戴冠劇。一方、新日では、永田が安田を破って念願のIWGP王座に就いた。王者として、混迷する新日本の局面を、ガラリを変えることはできるのだろうか？

山口　〝怒〟の表現方法も時代と共に変わってきてるよね。猪木さんの場合は、ホントに怒ってたからね。

豪　それに比べて、中西は「怒ってますよぉ！」ですからね。あれじゃダメですよ（笑）。

山口　猪木さんだって「まあ、オメエはそれでいいや」ってなるよな（笑）。

豪　実際、プロレスっていうジャンルの中で潰し合いのリアリティがなくなってきてるわけじゃないですか。「絶対に潰す！」とか「ブチ殺す！」とか、いまさら真顔で言われてもねえっていうのはあると思うし。

山口　時代性というのもあるし、根本的な〝怒〟の表現は格闘技に持って行かれちゃったからね。

豪　そこにテーマを置こうとしてるのが、そもそも無理なんですよ。三沢vs蝶野はテーマが潰し合い云々じゃないのが見えるから、まだ乗れるっていうか。「ノア、ブッ潰す！」っていう世界じゃないですからね。

チョロ　ライガーなんかは〝怒〟の部分をいつも過剰に出す人ですけど、他団体に上がったときは説得力はありますよね。

豪　そりゃそうだよ。自分の団体内で毎回〝怒〟を出しても、説得力なんか出るわけないし（笑）。

ガンツ　何に怒ってるんだろう、この人って思いますよ（笑）。

豪　しかも、新日本は何の対立概念もないのに怒りを継続させようとしてるじゃないですか。もう無理ですよ、「チーム2000」相手に怒るのは（笑）。怒りようがないし、そもそも何も悪いことはしてないし。

ガンツ　「チーム2000」は、金的以外の悪いことはしてないですからね（笑）。

豪　外人レスラーが毎回参戦したいたときと違って、いまみたいに日本人対決で毎回やっていく構図だと、〝怒〟を表現し続けるのはかなり難しいわけですよね。それはやっぱり、組織から外に出ないと表現しづらいと思うなあ。

山口　例えば、大谷（晋二郎）にしても、新日にいるとき、見得を切ってたのは、単純にカッコつけたいがためだったと思うんだよ。でも、新日本を出てからの見得の切り方はキチンと表現になってるじゃない。だから、同じ〝怒〟を表現するのも、マニュアル的にやるか、目的やテーマがあるのかで違ってくるよね。

豪　こないだの石川社長に対する怒りとかも、あれは単なるギミックやアングルじゃないだろうというのが漂ってましたからね（笑）。

山口　猪木さんも〝怒〟の感情を表現するために、自分から敵をつくっていったでしょ。シンに伊勢丹前で襲わせたりさ、〝怒〟を表現していくのには、そこまでやらないといけないよね。前田日明にしてもそうでしょ。自分で標的をつくっていった。

豪　前田の〝怒〟はリアリティがありましたよねぇ。ちょっと、そこだけ表現し過ぎましたけど（笑）。

チョロ　〝怒〟だけに、度が過ぎた。ウヒャウヒャ！（笑）。

山口　（無視して）だから、〝怒〟を表現していくんだったら、自分で敵をつくって局面を変えて行くことが重要になってくると思うよ。

豪　藤波ばりに、「ライバルを作れ、そして勝て」、と（笑）。

ささきぃ　〝怒〟の表現とは違いますけど、カシンが、からかう相手が新日のときは中西、全日本では渕とかみたいに変えるみたいな感じですよね（笑）。

豪　しかし、カシンはテーマをつくるのうまいよなあ。

ガンツ　次のシリーズからはブッチャーとのタッグが本格始動しますしね（笑）。

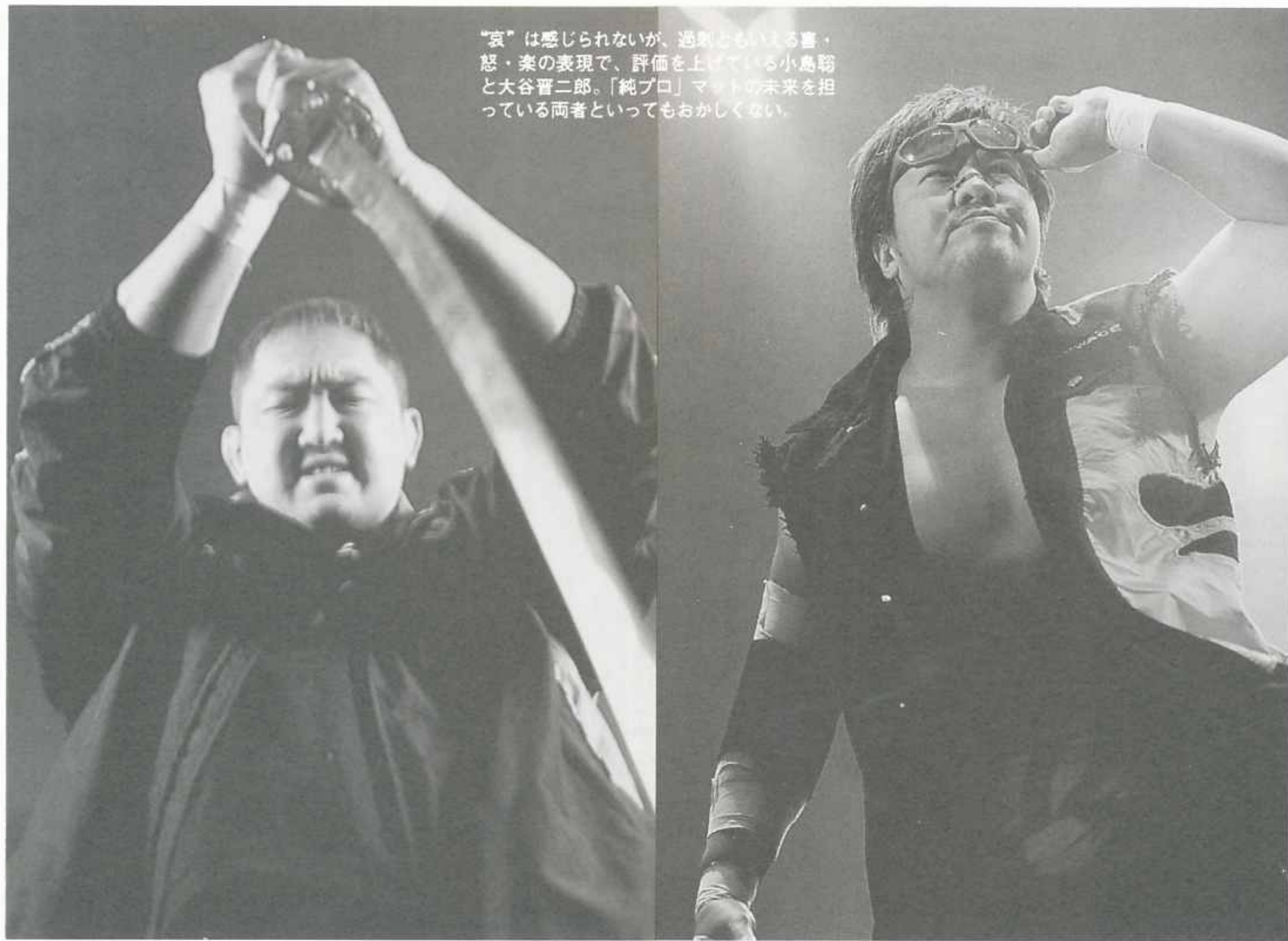
豪　すでにブッチャーとやるためのネタは用意してるんだろうね、きっと（笑）。カシンもそうだけど、武藤や小島みたいに開放感がある人が新日からいなくなって、新日のトップには表現力のある人が少なくなったよね。残った永田や中西、健介なんかを光らせるためには、やっぱり「格闘プロレス」しかないのかなぁ？

ガンツ　新日は、プロレスにある〝余計なもの〟というか、いわゆるプロレスで本来楽しむべき部分を取り戻すべきですよ。UWFが出てきたあとに、全日本や新日本の純プロレス側が対抗策として、三銃士や超世代軍が余計なものを剥ぎ取った試合内容で見せるようになったじゃないですか。その結果、身体

5月23日（木）発売の次号では、もちろん5・2新日東京ドームを徹底大検証!

大谷のいまの見栄の切り方は新日本にいた頃とは違う（山口）

がボロボロになっちゃったわけですけど。その下の世代が同じスタイルで熱を生み出せない以上、余計なものとして剥ぎ取った部分をいまこそ復活させなきゃならないと思うんですよ。
山口　それを復活させたのが、ZERO—ONEやいまの全日本になるわけだよね。
ガンツ　新日本やノアなんかは、いまだ余計なものを削ぎ落としてる部分だけでやってるんですよね。
豪　でも、いまは三沢がその余計なものを入れていこうとしてるわけじゃない。こないだの冬木との試合で金村にテーブル葬されたんでしょ？　ちょっとビクっときたのは、そこなんだよね。
チョロ　小川（良成）がヘビー級チャンピオンになったのも驚きましたよね。
山口　小川が秋山に勝ったというのはオレも驚いたな。
豪　完全にやられたと思いましたよ。小川がチャンピオンになって、一気にテーマができたし。同じ予想外の人をチャンピオンにするにしても、安田よりはドラマは作りやすい気がするしね。
山口　それに比べると、新日本の場合は表現の仕方が時代を背負ってないというか、逆に昔ながらのことをやりすぎだよね。
豪　ここ10年ぐらい、時計の針が止まってますよね。
山口　オレは30周年を機にガラッと変えてほしいけどね。時計の針を進ませてほしいというかさ。
豪　ドームに元・チャイナが来ることで、ちょっと進むかもしれないですよ。ライガーの怒りキャラも、チャイナに向けられれば抜群に面白いんですけどね（笑）。
山口　それは面白い！（笑）。
豪　「卑怯じゃないか、金的蹴りやがって！」とか（笑）。
山口　「女のクセにあんなデケエ図体しやがって！」とか（笑）。
豪　とか吠えてたら、後ろからチャイナがヌゥーッと現れて。
ガンツ　クビをグイッって捕まれてどっかに連れていかれちゃいますよ（笑）。
山口　それぐらい進んでくれればなぁ、新日も（笑）。だって、一部からは邪魔者扱いされてる猪木さん個人というか自身は、ドンドン先に進んでるんだよ。それを先に進めないのを猪木さんのせいにしてる場合じゃないし、誰かのせいにしてる場合じゃないよね。
豪　ホント、ベーシックなことをしっかりやるか、とにかく先に進むかのどっちかしないはずなのに、新日の立ち位置はメチャクチャなんですよ。
ささきぃ　進まないんだったら、ベーシックなところに進むしかないですよね。それをしっかりやれば魅力になるのに。
山口　それをやってるのがノアなわけでしょ。
ささきぃ　あ、そうか。
豪　で、笑いも含めた余計な部分を一生懸命やってるのがZERO—ONEね（笑）。

“哀”は感じられないが、過剰ともいえる喜・怒・楽の表現で、評価を上げている小島聡と大谷晋二郎。「純プロ」マットの未来を担っている両者といってもおかしくない。

山口　ガハハハ！　そして、楽しいことやってくれるのが全日本。〝怒〟や〝哀〟の部分は『PRIDE』で見られるわけで、マット界に表現が分散しているわけだよね。だから、さあ、どうする新日本⁉というのが突きつけられてるわけでさ。
豪　猪木さんが考えた新日本の役割というのは、格闘技は選手生命が長続きしないから、格闘技の人をドンドン入れて「格闘プロレス」やりましょうってことなんだろうけど、それだけでいいのかって思いますよね。こないだターザンとも話したんですけど、新日本には仮想敵として君臨してもらって、ボクらは噛みつき続けたいんですよ。だから、いつまでもメジャーであってほしいんですけどね。
山口　オレも新日本にはメジャーであってもらいたいよ。なんだかんだいって心配してるんだよね、こう見えて（笑）。
豪　いや、だけど大丈夫ですよ、新日は。なにしろあのWWFにも意識されてる団体らしいですから（笑）。
山口　What⁉　どういうこと？
豪　いや、『来襲！　アメリカンプロレス読本』っていう本で藤波が言ってるんですよ。
山口　ああ、あの厚さも値段も申し分ない素晴らしい本ね（笑）。
ガンツ　嫌みですねぇ（笑）。
山口　で、その素晴らしい本の中で藤波社長はなにを言ってるの？
豪　「WWFは脅威じゃない。むしろ向

プロレスは〝余計なもの〟や〝剥ぎ取ったもの〟を取り戻すべき（ガンツ）

こうのほうがウチを意識してる」って（笑）。

山口　ダーッハッハッハッ！　説得力、皆無（笑）。

ガンツ　ＷＷＦよりもＫ―１や『ＰＲＩＤＥ』を意識してるしいですよ、ドラゴン社長は（笑）。

豪　藤波がスキだらけなのは「ミスター高橋の本を現実化したのがＷＷＦ」「ＷＷＦとウチは別物」とか言ってるんですよ。なんで別物のＷＷＦが新日を意識してるのか、全然わからないし、ミスター高橋の本は新日本のことについて書いてたはずなんだけど（笑）。

ガンツ　きっと、ドラゴン自身もわかってないんですよ（笑）。

ささきぃ　（唐突に）杉作Ｊ太郎さんみたいにファンがＣＤを聴いて泣くぐらいだから、モーニング娘。には〝喜怒哀楽〟があるんですよね？

山口　なんでそこでモー娘。が出てくる！

豪　モー娘。自体のことはよくわからないけど、とにかくモー娘。のファンには〝喜怒哀楽〟が死ぬほどあるね。誰よりも喜び、誰よりも怒り、誰よりも哀しみ、誰よりも楽しむ人が集まったジャンルだと思うよ。

山口　あの思い入れは尋常じゃないね。

チョロ　「山口日昇はモー娘。に触るな！」って書いてたＨＰもありましたしね。

山口　触ったことなんてねぇよ（笑）。そう考えると全日の会場に行ったときも思ったけど、最近のプロレスファンにも〝喜怒哀楽〟がなさ過ぎるね。小島の「いっちゃうぞ、バカヤロー！」の大合唱のときだけは楽しそうなんだけどさ。

豪　前ほど、ファンが自発的に楽しもうとすることがなくなりましたよね。

チョロ　暴動が起きるぐらいの怒りもないですし。

豪　だけど、ファンが〝哀〟を出していたら気持ち悪いよなあ（笑）。

山口　ガハハハ！　でも、１回目の高田vsヒクソンのときは客席にも〝哀〟が漂ってたね（笑）。

豪　いま考えると、あれは葬式みたいで面白いかったですよね（笑）。そこまでに自分を追い込めるのが気持ちいいいから、『ＰＲＩＤＥ』にここまでのめりこんだって部分もあるわけで。

ささきぃ　（ガンツを見ながら）船木vsバス・ルッテン戦後に、船木に泣きながら抱きついた人もいるわけですしね（笑）。

山口　ガハハハ！　ガンツとかいうバカだよね（笑）。

ガンツ　ありましたねぇ、そんなことも（遠い目をしながら）。あれがパンクラスの最後でしたね（笑）。

山口　ガハハハ！　終わってないよ、パンクラスは！　失礼だな（笑）。

ガンツ　ボクがファンとして見に行ったのが最後ってだけですけどね。

豪　とにかく、観る側もそれぐらい感情を刺激されたいよね。別に、シラけた態度でいたいわけじゃないんだから。

ガンツ　だけど、こないだの『ＤＥＥＰ』（３・30）はまさしく感情を刺激される興行でしたよ。

ささきぃ　ファンの鈴木みのるに対する〝怒〟は凄かったですからね（笑）。

豪　ファンがそうやって〝怒〟を出したおかげで、久しぶりに鈴木も〝怒〟を出して（笑）。やっぱり、会場の空気をファンがつくっていかないとダメなのなかあ。女子プロ的に声を出した方がいいんだろうから、ファンは馳イズムのほうがいいかもしれないね。

山口　ＷＷＦ横浜大会もファンの熱が興行をつくった部分もあるし、ファンが〝喜怒哀楽〟が出していけば日本のプロレスは変わっていくかもしれないね。レスラーが〝喜怒哀楽〟を表現する前に、まずファンが表現しろ！……ってこんな結論ないよな（笑）。

チョロ　いや、破壊王も言ってるんですよ。「ＷＷＦの人気も『ＤＥＥＰ』もそうだったけど、ホンモノの日本人がいなくなった。日本人なら、日本人の応援をしろ！」って。「ナショナリズムがいまのファンには欠けている。ウチの会場ではＮＷＡに思い切りブーイングを飛ばしてくれ！」って（笑）。

山口　ガハハハ！　破壊王、最高！前田や佐山みたくなるもかなあ（笑）。

豪　「暴走族は撃ち殺せ！」by佐山、ですね（笑）。

ガンツ　破壊王は、火のヤリ特訓をしたらしいですし、「焼き殺せ！」ですよ（笑）。

チョロ　破壊王の髪の毛はホントに焼けてましたけどね（笑）。

山口　ガハハハ！　あの破壊的な表現力がマット界にドンドン飛び火してほしいよ。純プロよ、燃えろーッ……って、なんか、また新日本批判みたくなってない、座談会？　大丈夫？　怒られない？（笑）。

豪　大丈夫ですよ。なんだかんだ言って、ボクらは新日を語らずにいられないわけですから。『紙プロ』は驚異じゃない。もはやむしろ向こうのほうがウチを意識してる」って藤波社長も言ってくれますよ（笑）。

山口　ガハハハ！　実際、意識しまくりだよ。いつまでもデッカイ敵でいてほしいんだけどね……って、哀れんじゃいけない（笑）。

ガンツ　座談会の最初に言ってた意味での〝哀〟だったらいいんですけどね。

チョロ　この道を行けばどうなるものか、哀れむなかれ、哀れめば道はなし、迷わず行けよ、行けばわかるさ……アリガ……。

山口　うるさいよ、お前。やっぱりキミが一番、哀れ（笑）。

【４月13日ダブルクロスにて収録・敬称略】

からかう標的が中西から渕に移っただけで、王道マットでもバツグンの面白さを見せているカシン。武道館でも試合後、GKを聞き手にカシン劇場を展開！　GKには、「紙プロ」から助演男優賞を贈ります!

5月23日（木）発売予定の次号でも、当然「純プロ」を追いかけます!

明るい未来は、ここにある！ 第6回「闘魂猪木塾」in パラオ 参加体験記

ツアー参加者：
沢　光（出版社勤務）

元気ですかーーッ！　やって来ましたパラオ共和国。我ら"INOKI CHLDREN"の集い『闘魂猪木塾』第6回は舞台を猪木塾長の第2の故郷パラオに移しての開催。今回の上級コースは猪木信者であれば一度は足を踏み入れることを夢見ずにはいられない、聖地イノキ・アイランド宿泊という豪華プラン付き。そこで思わぬハプニングが……。その内訳は読んでみてのお楽しみ。それではイノキ・アイランドのワンダーランドへご案内。行きますかーーッ!!

前回、『紙プロ』（No.41）誌上でご紹介した第5回『闘魂猪木塾』アメリカ大陸バス横断篇より、まだ半年。その記憶も醒めやらぬ内に第6回の猪木塾がアントニオ猪木にとっての"約束の地"パラオにて2月の末（2／27～3／3）に開催された。

『闘魂猪木塾』の掛け声があれば、会社をやめても、借金して参加費の約20万円を工面し万難を排して日程を調整して参加する兵揃いはいつものことながら、今回は上級コースと一般コースの二手に分かれ、我等が上級コース15名は過去2回以上猪木塾に参加していることが条件という関門をクリアーした勇者たちが集結。そして猪木信者にとっては憧憬の地、イノキ・アイランド宿泊という超豪華プラン付きで、野宿のための寝袋、虫よけスプレー、懐中電灯持参が義務付けられ、いやがうえにもデスマッチの前のようなムードをあおられていた。

ただし今回は、イノキ・アイランドで塾長と星空の下で語り、共に行動するというコンセプトから写真・ビデオ撮影は島に上陸後の10分間のみに限られ、しかもカメラ・ビデオ類は一時回収という反則は見逃さない厳しいルールが課せられた。しかし、情報過多のため観客とレスラー間の見る者とやる者というピュアな関係が忘れ去られている現在のマット界とは正反対に、逆に観客の記憶のみに鮮明な一昔前のプロレスの試合、言ってみればフィルムも残っておらずセピア色に染まった蔵前国技館での猪木vsゴッチの実力世界一決定戦に擬えられるかの如き、15名の脳裏に深く刻み込まれた一期一会の夜を過すこととなった。

スケジュール的にはこのイノキ・アイランド宿泊と最後の食事会という、時間的には短いが、その反面内容的には凝縮され密度が濃かったのが今回上級コースの骨子であった。

本家イノキ・ホームレスと、そのうしろに見えるのが偽ホームレス。いつもは海賊ガスパーに変身して猪木塾長を襲う『闘魂猪木塾』恒例の名物キャラクターを演じる若社長。今回は新趣向でホームレスに変身。ちなみにその衣装代は何と2万円也。

パラオの顔はもちろん見渡す限りの青い海。ダイビングのメッカだけあり少し潜るとナポレオンフィッシュを始めとする魚の群れが間近に迫り別世界の様相を呈する。島へ向かう途中でシュノーケリングタイムが設けられ、塾生がシュノーケルだ、足ひれだと騒いでいる時、猪木塾長はゴーグルだけつけるといきなり海の中へ飛びこみ、パラオの青い海と自然に一体になるかのように軽やかな泳ぎを披露してくれた。考える前に先に体が動いていくところはレスラー時代そのまんま。遅ればせながら我々も海に入りしばし静止していると後ろから足で突っついてくる奴が……誰かと思い振り返ると、自分の悪戯に喜色満面のアントンスマイルがそこにあった。

猪木さんと一緒でないと上陸さえ許可されないイノキ・アイランド（最新版パラオガイドブックにはその存在が記されています）。そこでともに焚き木を拾い、ともに食事の用意をし、星空の下のキャンプファイヤーを囲んで一人一人が塾長に想いの丈を伝えました。塾長もそれに答えて、近々発表予定であった（見事にこけましたが）世界に灯りをともす大発明－NP（イノキ・ナチュラル・パワー）について熱く語り、中枢部を抜かれながら怒ることさえ忘れた新日本へ苦言を呈し、極めつけは、民主党の鳩山由紀夫代表に「丸坊主になって若い議員がついて来るようなパフォーマンスをやりゃあいいんだ」と奇抜なアントン節を交えた政界へのメッセージも忘れなかった。

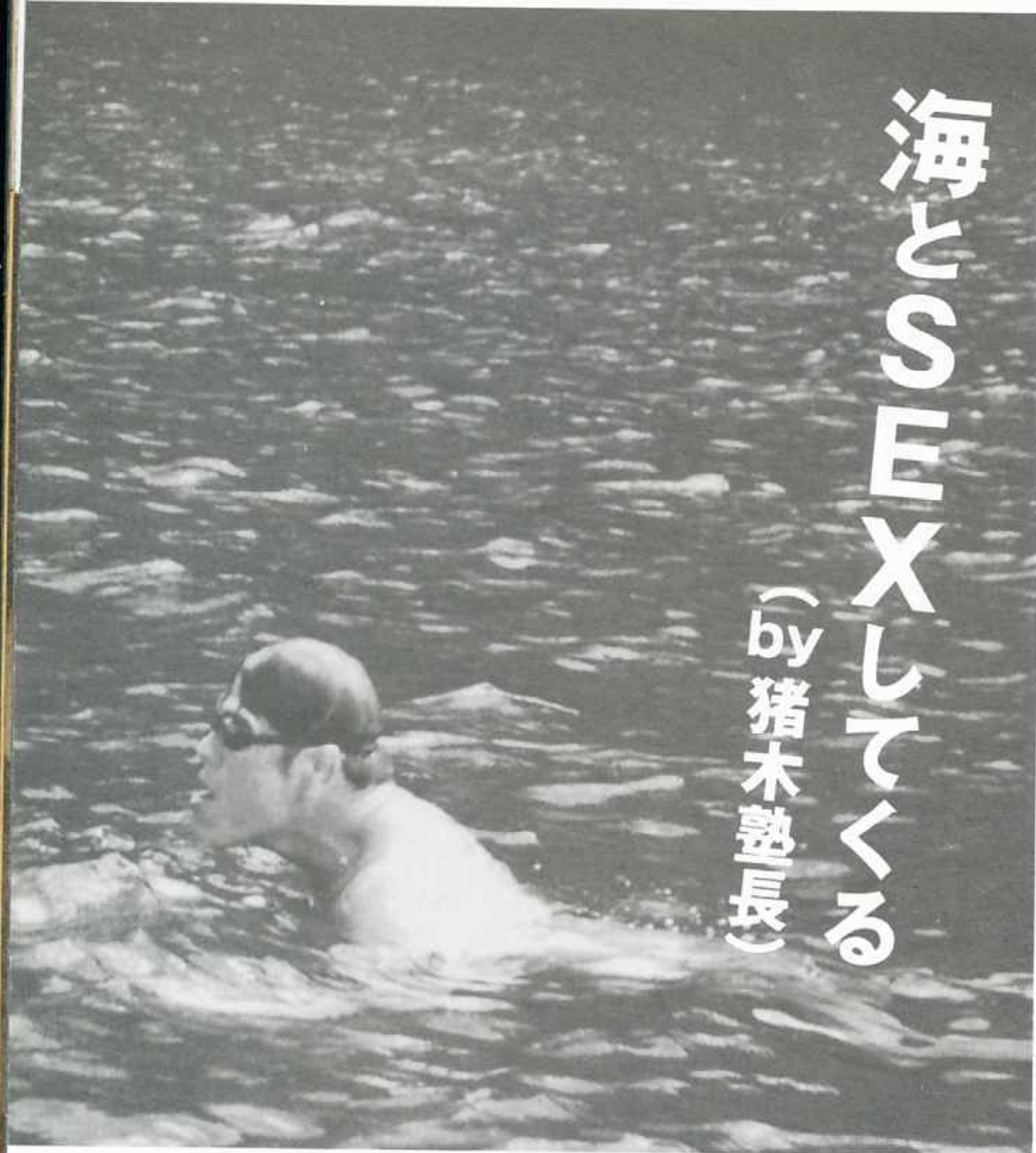
そして流れ星とイグアナもどきのオオトカゲと本物のワニ（一般コース参加者が目撃）さえ現れるイノキ・アイランドでの野宿も猪

木塾長の飾らぬ話術に引き込まされ、大地の息吹きを肌で感じ、時間を忘れて朝を迎えた。我々よりひと足早く起き出した猪木塾長。潮が引いて遠浅になり昼間はずっと遠くにあった対岸の島の方までどんどん歩いて行ってしまい、ここでも観客ならぬ塾生を突き放すアントニオ猪木を演じていた。
　朝食の後にはしばし塾長を囲んでの格闘談義。そして即席の格闘塾が開かれ、近々100キロ級の猛者を相手にする武道の大会に出場する塾生のひとりに裏技を伝授。一瞬、馬乗りになり急所を押さえられただけでしばらく蹲り動けなくなった同塾生。裏技・殺し技にかけては、まだまだそんじょそこらのレスラーとは桁違いの奥の深さを見せつけられた光景でした。

海とSEXしてくる (by猪木塾長)

　打って変わって「ここがおかしい日本人」で外人の出演者からプロレスについて揶揄されたシーンを見た長州力から「あの番組の会長はいつもの会長じゃなかった」と真顔で問いただしてきたのに「あんなのお遊びじゃねえか」と一笑に付す一幕も。またジャイアント馬場との密約も馬場さんが家に帰って元子夫人に相談すると元の木阿弥に返ってしまうという知られざる秘話も公開（ちなみに坂口・藤波も、みんなカーチャンに頭が上がらないというキツーイ一言も）。
　フィナーレの夕食会は、我々上級コースの15名だけが猪木さんを独占して最後の晩餐のごとき忘れがたいフェアウェルディナーとなった。同席上では自らを取り巻くプロレス界の人間模様を一刀両断に斬り捨てて見せた。

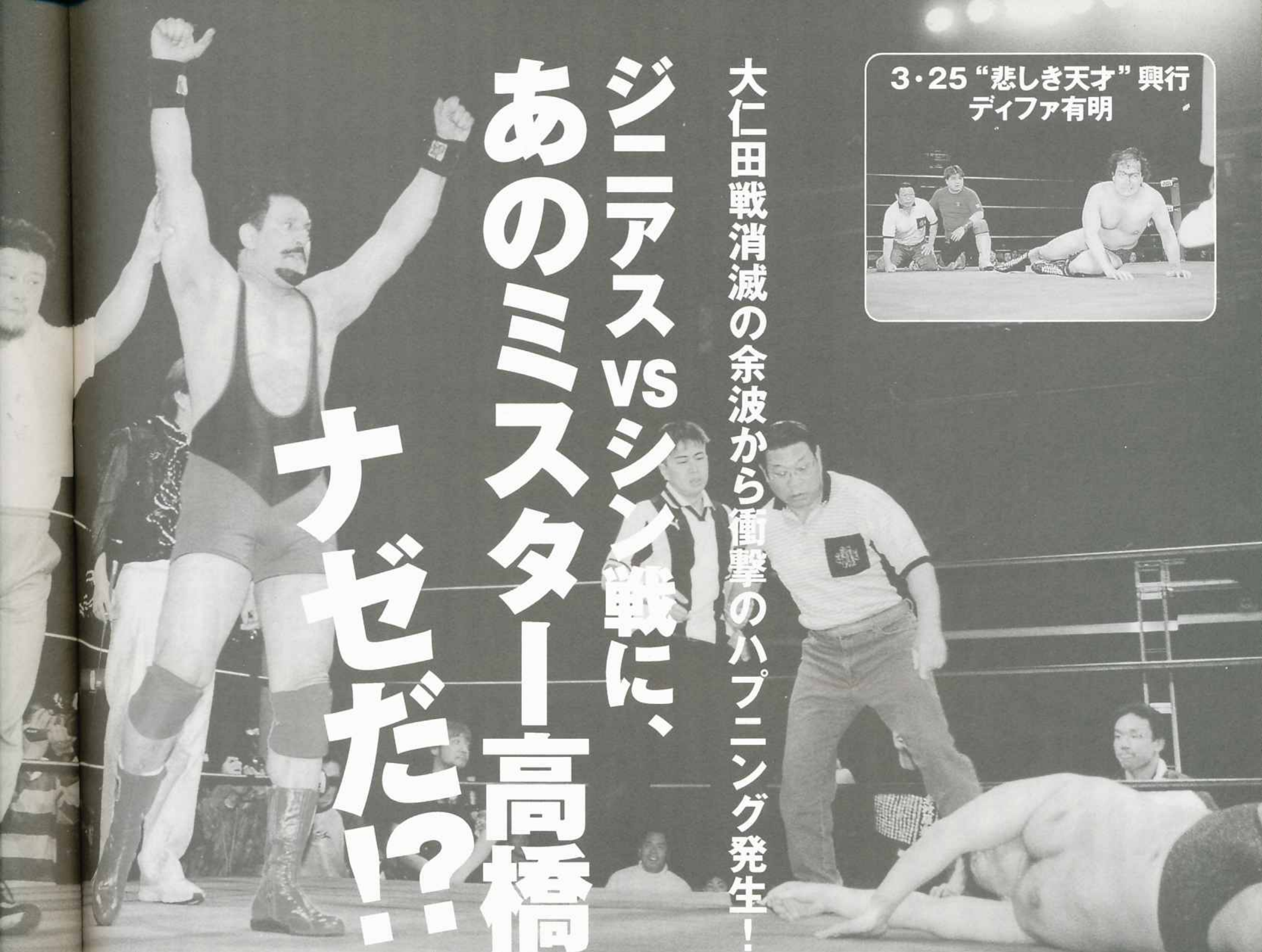
猪木塾長は「それじゃあ海に入ろう」と言って本当に服を脱ぎスッポンポンで海に入って行ってしまった。

　曰く、前田日明―「前田のことは気になってるんだ。アイツが俺くらいの年齢になったら金に困っているんじゃないかって」。
　曰く、ミスター高橋―「高橋には会社を辞める時、金銭的にも援助してやったのに、貧すれば鈍するとはこのことだ」。
　曰く、新間寿―「新間に対しても今は何とも思っていない。アイツは元々坊さんの息子なんだから立場をわきまえないと」。
　曰く、船木誠勝―「船木も基本的にバカなんじゃないか」。
　曰く、ルー・テーズ―「あの人は後継者を育てる努力をしなかった」。
　曰く、カール・ゴッチ―「ゴッチさんは不遇だった。でも自分や力道山と違って大衆に夢を与えるという発想がなかった。役割が違った」etc……。
　最後に塾長から「皆さんとの別れが名残り惜しい」というお言葉を頂戴したこの夕食会もさることながら、今回の旅のハイライトは何と言ってもイノキ・アイランド泊の夜のハプニングであった。
　「心を裸にできるか？」という訓示を垂れ、「海とSEXしてくる」という謎めいた言葉を発しているうちに、件の塾長、「それじゃあ海に入ろう」と言って本当に服を脱ぎスッポンポンで海へ入って行ってしまった。我等、イノキ・チルドレンもこれに続けとばかり、水平線上に浮かぶ月が皓皓と照る中、一糸纏わぬ姿で、海と地球と、そして猪木塾長と一体になっていた。暗い夜の中、海中には夜光虫が舞い、空には完璧なFULL MOON。感極まって月に向かって狼のような咆哮を発する者も現れた。萩原朔太郎に「月に吠える」という詩があったが、こんなところでそれが見られるとは……。猪木塾長も「こんなの俺も初めての体験だ」と言えば、「高校の文化祭の後、みんなで真っ裸でプールに入って以来だよ」という者や「今度は女の子も呼んで合コンをやろう」と言い出す者も出てくる始末。
　パラオ、南半球、イノキ・アイランド、月光、裸の猪木塾長と猪木信者十数名。ここで誰からともなく、あれの唱和が求められた。パラオの海で素っ裸になり、満天の星の下でイノキ・アイランドをバックに満月に向かっての1、2、3、ダァーッ！　一生忘れることの出来ない『闘魂猪木塾』全6回の中でも特筆すべき1ページを飾る一大ハプニングにして一大メモリアルイベントであった。
「ひょうたんからこま」
「現実は小説より奇なり」
　本当に猪木塾長と一緒に行動していると一秒先に何が起こるかわからない。次回はどんなサプライズが待ち受けていることやら……。皆さんも行きますかーッ!?

サイン会の時には各自取っておきのサイングッズを持ちより塾長の芸術的なサインを頂き、家宝として珍重。写真はモハメッド・アリ戦直前に表紙を飾った「アサヒグラフ」。時代の重みと息づかいが伝わる逸品。

猪木塾長が隠れた読書家であるのは知る人ぞ知るところ。私が個人的にプレゼントしたのが、龍村仁監督の映画「地球交響曲・ガイアIII」の単行本。パラオのイノキ・アイランドこそ地球交響曲にぴったりの舞台である。

3・25“悲しき天才”興行
ディファ有明

大仁田戦消滅の余波から衝撃のハプニング発生！

ジニアスvsシン戦に、あのミスター高橋乱入!! ナゼだ!?

シン、ゴージャス松野、高杉が去った後、ジニアスがピーターに感謝の意を述べ、ガッチリと握手。再びピーターがプロレスのリングに上がることはあるのだろうか？

シンの暴走に業を煮やしたピーターが「俺の方が強い」とばかりに遂にリングにあがった！　しかし、なぜかシンのセコンドについた高杉のボディスラムで返り討ちに。

A　いやぁ～、最初で最後と言われている『悲しき天才興行』、抜群に面白かったよ。なんで来なかったんだよ？

B　だって、大仁田がキャンセルしたっていうから中止になったのかと思ってたんだよ。で、いったいジニアスは誰と闘ったの？

A　最近はＩＷＡでゴージャス松野と一緒に大暴れしているタイガー・ジェット・シンだよ。松野さんも来てたけど。

B　ジニアスにしてはエライ豪華なんじゃない？　客は何人ぐらい入ってたの？

A　お前みたいに大会自体がなくなったと思ってるファンも何人かいたんだろうけど、１００人ちょっとだったよ。

B　１００人ちょっと。寂しいな。

A　でも、伝説のバトラーツのディファ有明大会よりは入ってたよ（笑）。俺はあの時の99人の中の一人だから。

B　そんなことはどうでもいいんだけどさ、ジニアスはなんかエコノミー症候群とかで、まともに動けないんだろ？

A　いや、それが不思議と思ったより動けてたんだよ。

B　で、どんな試合だったんだよ。

A　いや、それが試合中に、あのミスター高橋がリングに近づいてきたんだよ。

B　エッ、なんでジニアス興行にミスター高橋が来てるんだよ。

A　ジニアスとの関係は知らないけど、なぜか第一試合からリングサイド最前列に座ってたんだよ。

B　あっ、そうか。ミスター高橋は新日時代、外人係としてシンの世話とかしてたから、その繋がりで来たんだろう。

A　いや、その逆だよ。シンの度重なる反則攻撃にクレーム付けてたから。

B　でも、シンに、ピーターまで出てきたら、ジニアスなんて全然目立たなかったんじゃないの？

A　いや、それが確かに足は悪そうで、引きずったりしてるんだけど、ジニアスはシン相手に完璧に猪木モードで、ナックルアローやらアームブリーカーで試合としてもかなり面白かったよ。

B　で、ミスター高橋は、どうしたの？

A　最後はシンのセコンドに付いてい

悲しき天才独占告白！

ジニアスvsシン決定までの経緯

同じジムでトレーニングしている大仁田との間で、この試合の話が出たのは今年の正月のことでした。エコノミークラス・トーチャーラック症候群で療養中で足の状態は良くないが復帰しようと思っていると胸中を伝えると、大仁田は「じゃあ協力するよ、やろうよ!!」ということで、その場でギャラも決まり、大仁田のスケジュールに合わせて会場を押さえ、1・20レインボープロ後楽園大会の記者会見で公の場でのアクション。大仁田も「3月24日、ジニアスとやるぞぉ!!」と宣言。1月30日に正式な試合出場契約を交わしたものの、大仁田はシングルでの対戦を拒みボーゴ絡みの6人タッグを要求してきました。しかし、大仁田要求の6人タッグを組むとメインだけで興行収益が上がらなくなってしまうということ、そして、契約していない選手との試合は組めない、契約する意志のない選手との試合は組めないとの理由で拒否致しました。しかし、大仁田は許可なくカードを発表するなと通達してきていたためカード発表もできませんでした。そして3月16日（土）に一方的契約解除通達が届きました。

大仁田戦の話が決まったのと同時期に、私の父が脳梗塞で倒れ、脳幹という手術のできない脳の中心部に梗塞ができてしまっており脳圧があがってしまうため、咳をしてもいけないという大変危険な状態に陥ってしまいました。

父は、ルー・テーズ氏に会いたがっておりました。実は一度も会ったこともなければ電話で話したこともありません。私がプロレスラーになるにあたって多大な尽力をしてくれた父に何とか最後の夢を叶えさせてあげたいとの思い一心でありましたが……。

「親として責任を取れ」「親としてどういう教育をしたんだ」「謝罪文を書け」「お前の息子は犯罪者だ」「カウンセリングを受けさせろ」「幸正（ジニアスの本名）を更正（矯正）させることなくして渡辺夫妻は人生を終えることは許されない」……多大な重圧に苦しんだ父の最後の夢を叶えさせてあげたいとの思い一心でございましたが……。

病床の父に「3月24日、大仁田厚と試合するから、それまでに元気になってくれ」と言いました。大仁田との試合を父は大変喜び3月24日までには退院すると病との闘いに意欲的になりました。

そんな父がある時ボツリと言いました。「昔、金曜8時に毎週テレビで見ていたミスター高橋っていうレフェリーは面白かったよなぁ。猪木×シン戦でシンの凶器をチェックしなくって毎回イライラしたもんだけど、面白かったよなぁ」と。

父の意外な一言に驚きと戸惑いはありましたが……高橋氏は、「わかりました。やらせていただきます」と快諾してくれました。

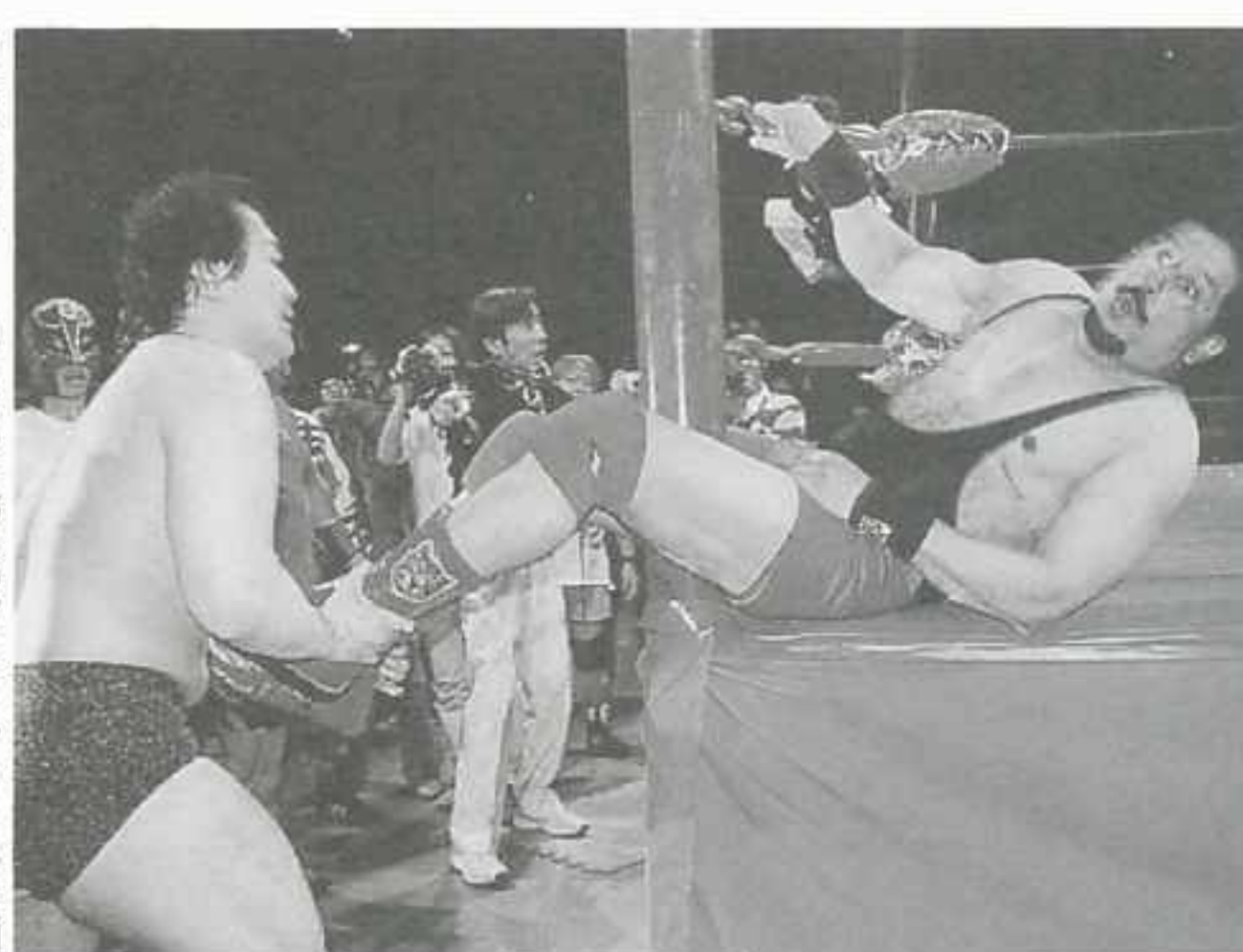
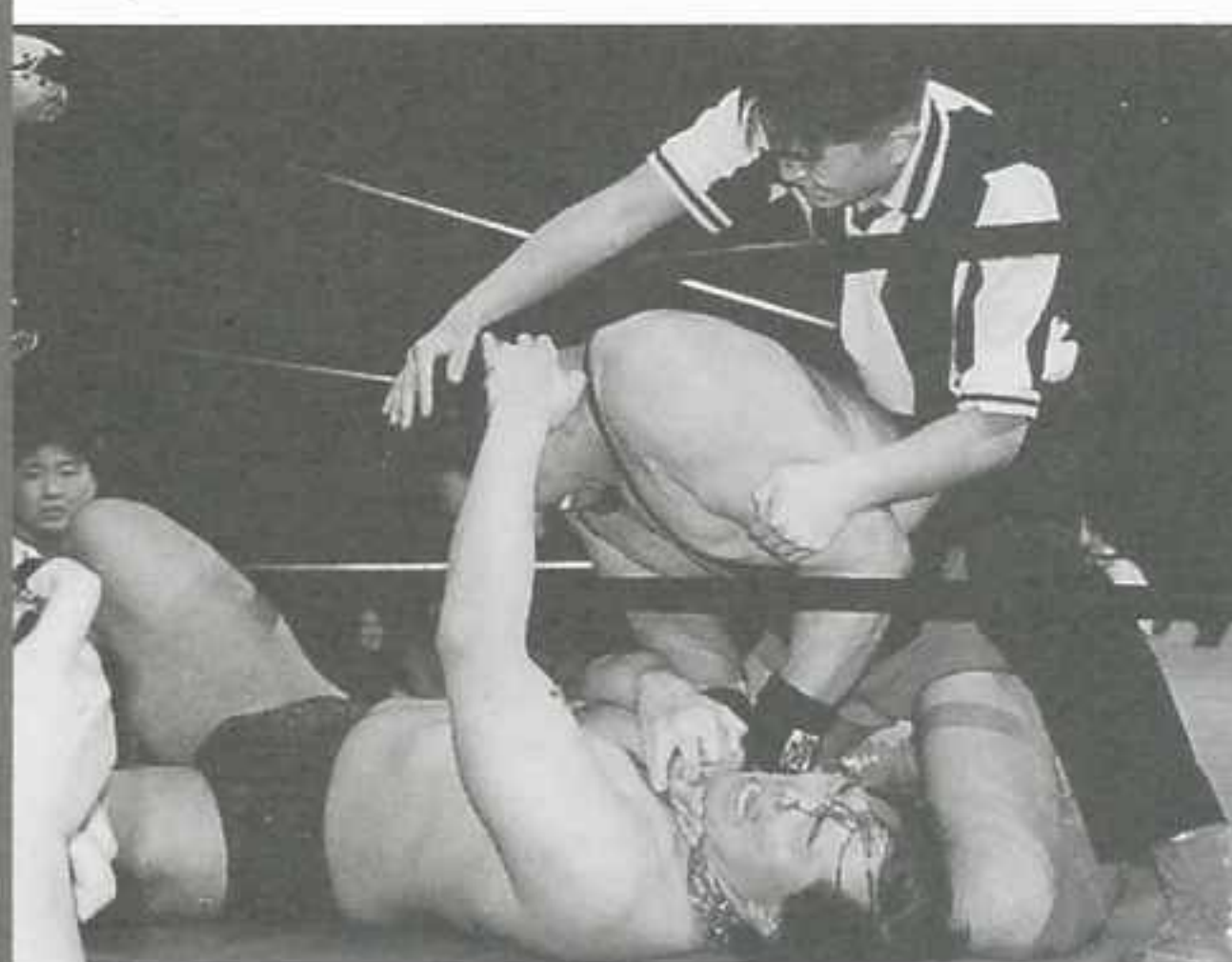
大仁田にも父の状態を説明し、何とか最後に大仁田厚という偉大なレスラーと闘っているところを見せてあげたい。レフェリーはミスター高橋さんという最高のシチュエーションで見せてあげたいと懇願いたしました。しかし、大仁田の大会直前のドタキャンがあり専門誌締切にも間に合わずミスター高橋レフェリー復帰は幻となってしまいました。

興行中止か大仁田の代替選手を捜すか、2つに1つの選択を迫られた私は、ファンのためにとの思い一心で大仁田に代わる代替選手を捜しました。しかし、1週間前でそうそう代替選手など探せるわけがない。もうダメかと思っていたとき、ふと雑誌に目をやると、IWAジャパンにタイガー・ジェット・シンが来日しており福島で試合がある……。気が付いたときには私は福島行きの東北新幹線に飛び乗っていました。

IWAジャパン福島大会終了後、私はタイガー・ジェット・シンの控室を訪ねた。そこには浅野起州社長もおり、事情を説明し、シンに3・24で大仁田の代替として試合をしてくれないかと懇願した。シンも契約を交わしていながら大会1週間前の一方的契約解除通達という大仁田のモラルのなさに驚きと共に怒りを隠しきれず2つ返事で3・24での対戦を了承してくれた。浅野社長も「シンがOKなのであればいいですよ」と快く了承してくれた。

一面識もない状態での突然の懇願に快く応じてくれたタイガー・ジェット・シン選手、ゴージャス松野氏、浅野起州社長には心より感謝いたします。

あの猪木vsシン、「シン腕折り事件」を彷彿させるアームブリーカーを仕掛けるジニアス。やられたシンはもちろん飛び上がって痛がった。

目には目を！ ハムラビ法典のごとく、シンの反則に対し、反則で返すジニアス。マネージャーのゴージャス松野も驚きの表情だ。

コブラクローで締め上げるシン。そしてジニアスはいつの間にか血を流していた！ ちなみに残念ながら"ハマの人切り"の魔術ではありませんでした。

シンのあまりの無法ぶりにピーターが立ち上がった！ そして叫んだ！「タイガー！ アイ・フォーゲット、ユー！ バッドボーイ！」

B で、ミスター高橋は、どうしたの？

A 最後はシンのセコンドに付いていたウルトラセブンこと高杉正彦にリング上でボディスラムまで喰らってたよ。

B へぇ～、そこまでやったんだぁ。それは見たかったなぁ。

A だろ？ でも最後リング上でジニアスとガッチリ握手してたから、次の興行でレフェリーか、ひょっとしたらレスラーデビューって可能性もあるかもよ！ いい身体してたし（笑）。

B ていうか、『悲しき天才興行』自体、次の興行があるかわかんねえだろ？

A あっそっか。でも、ジニアスはこれから毎月、高橋本以上の暴露本を出していくみたいなこと言ってたよ。あと、この日の大会の秘蔵裏ビデオをジニアス自ら販売するって言ってたよ（笑）。

B どこ行ったら買えるんだよ？

A 次の『紙プロ』に載るんだって。

B なんだよ、宣伝じゃねえか！

とばかりに遂にリングにあがった！ しかし、なぜかシンのセコンドについた高杉のボディスラムで返り討ちに。

で試合としてもかなり面白かったよ。

業務拡大！　世界に羽ばたく（株）ダブルクロス

編集者募集

『紙プロ』を作っている会社、（株）ダブルクロスでは、業務拡大につき新入社員、アルバイトを大募集します。午後もしっかり動いてくれる、永久エネルギーを持った元気な方、一緒に仕事をしましょう。募集要項、募集項目は以下の通りです。

1 紙のプロレスRADICAL編集者

【業務】　『紙のプロレスRADICAL』他、小社刊行物の編集

【資格】　30歳までの編集者
（未経験でもやる気がある人は受け付けます）
要普通免許。

【待遇】　要相談。能力、経験に応じて優遇します。

2 ホームページ、携帯サイト作成スタッフ

【業務】　紙のプロレスHP、携帯サイト作成とIT関係全般の仕事です。

【資格】　30歳までのコンピューター関係に強く、プロレス＆格闘技に強い関心がある方。「紙のプロレス」をWEB展開する情熱のある方。

【待遇】　要相談。能力、経験に応じて優遇します。

3 編集アシスタント

【業務】　編集雑務、（株）ダブルクロスの雑用全般

【資格】　プロレス＆格闘技に詳しく、『紙プロ』を作る燃えるような情熱のある方。
要普通免許。大学生、専門学校生可。

【待遇】　要相談。交通費支給。

応募要項

履歴書（写真貼付、『紙プロ』購読歴記入）と論文（「私の好きなこのレスラー・格闘家」400字×２）と自己ＰＲグッズ等を同封の上、5月15日（水）必着で送付して下さい。書類選考の上、面接日時をお知らせします。連絡がいつまでたっても来ない方は、残念ながら予選落ちです。なお、履歴書はお返ししません。

〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス　「編集者募集」係
詳しいお問い合わせは　03-3403-5188　担当：松澤、堀江

おかげさまで紙のプロレスRADICALは次号で50号を迎えます。

50号突破記念号は、大物インタビュー、ビッグ対談を企画中！　新連載もスタート！
ゴールデンウイーク興行戦争を徹底的に追っていきます。お楽しみに。

久々の発売日予告！

NO.50は
5月23日（木）
発売予定です！

お楽しみに

フロレス人生一直線
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

PRO-WRESTLING IS MY LIFE.

ウォーリー山口［後編］

大反響！ 逆ピラニアインタビュー第２弾

たとえシェーンに「下がれ！」と言われようがブーイングを浴びようが、前号のウォーリー山口インタビューは大反響であった。WWFの内幕を語りまくった前回に続き、今回も知られざるWWF裏話から、プロレス関係者なら誰もが避けたがるミスター高橋本を全日本プロレスのレフェリーがブッた斬った！　さらにドインディーから世界のWWFまで、マット界の酸いも甘いも知りつくしたウォーリーが自身の激動のプロレス人生を大いに語りまくった！

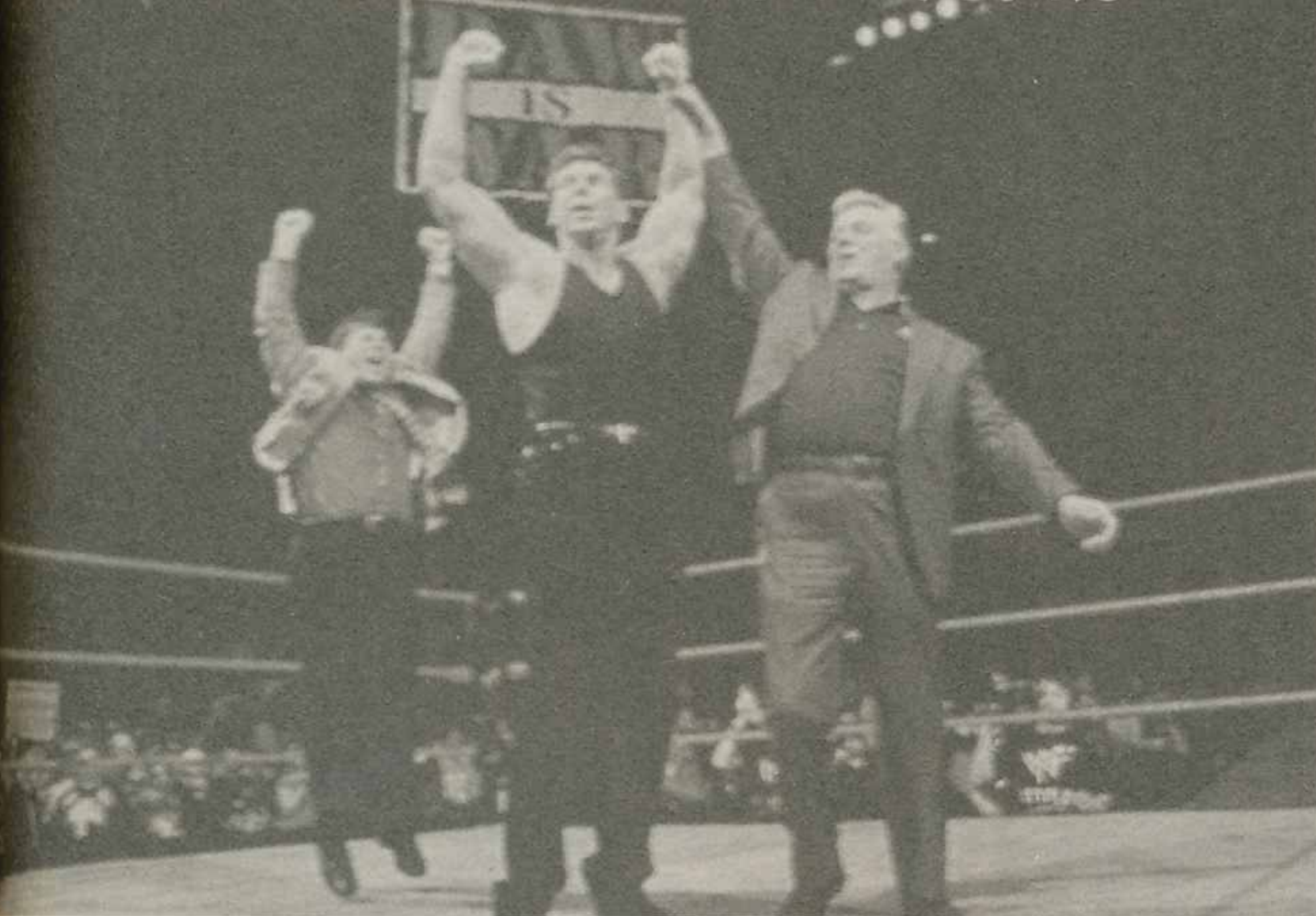
聞き手／スモーノブ＆松澤チョロ

designed by matsu（Two three）

業務拡大！　世界に羽ばたく（株）ダブルクロス

――ここ最近、『PRIDE』、WWFっていろんなものが出てきて、従来のプロレスがヤバイって言われてますよね。
ウォーリー　実際、ヤバイよ！
――やっぱりヤバイですか？
ウォーリー　日本のプロレスはヤバイと思うんだけど……でも俺にとってプロレスは神様がくれたお仕事なんだよ。「ウォーリーは日本のプロレスを守らなきゃダメだ」って。ワン・パート・オブとしてね。
――神の啓示があったと（笑）。
ウォーリー　あったね（笑）。だって、わかり切ってることだけど、俺はNY（＝WWF）の会社にいたんだから。NYから日本に来て、NYが日本のマーケットを支配したいのはわかってるわけよ。
――WWFは日本マット界を支配しようとしてると？
ウォーリー　当然だよ。でもそれさせたらどうなる？　日本のプロレスみんなどうすんの？　オーバーに言うわけじゃないけども、このビジネスにいろんな人が入ってきてるの俺は嫌というほど見てるんだから。「あんたなんかいなくていいんだよ」って人まで入ってきてるよ。
――そうなんですか（笑）。
ウォーリー　でもみんな好きで入って来てるわけじゃん。俺みたいなのが、それを育成しなければこのビジネスなくなるんだから。そんな国どこにもないよ。
――なんだかんだ言って日本が一番プロレスに関わって仕事をしている人が多いんでしょうね？
ウォーリー　そうだよ。日本でプロレスというマーケットが大きいのは俺は知ってたし、それで馬場さんが死んだときに俺は身売りをして家族とスタンフォードに行って、タイタンが日本に対してやろうとしてることに俺が介入して、テレビ、出版、プロモーション、ブッキング、全部やって、「日本のプロレスなんか潰してしまえ！」ってお金のためにやったかもしれない。すぐはできなかったかもしれないけど、いまの現状見ればWWFはやりかねないよ。
――いまのWWFの力で、日本マット界を攻めてきたら正直、かなり脅威になりますよね。
ウォーリー　だって俺、実際、その話リンダ（・マクマホン）としたんだから！
――エッ、そうなんですか！　向こうから持ちかけられたと。
ウォーリー　持ち掛けられてるよ。リンダとステファニーは当時、興行以外のこと全部担当してたんだから。だからリンダとステファニーと俺と、なんとか部長でその話してたよ。
――そんなことがあったんですか！
ウォーリー　俺は適当に言ってたけどさ（笑）。そのときはNYが、まだ人気出てないから俺も適当にやったけども、J―SKYスポーツでやるっていうのはわかってたから、それがオーバーしてくればどうなるかって現象は全部見えてたんだよ、悪いけど。
――じゃあ今回の3・1の成功も……。
ウォーリー　（遮って）わかってるよ、俺は。ただ、あんだけいいとは思わなかったけどね。でもあそこで結局俺がNYを選ばなかったのは、NYはリッキー・スティンボードに引越しさせるっていうんで2万ドル、3万ドル払ってたって話を聞いてたわけ。で、ウォーリーも日本を捨てて家族とスタンフォードに行くんだったらそれぐらい払うって提示を受けてたんだよ。だけども、「俺はできねぇよ、悪いけど」と。
――でも、そんな好条件をよく断りましたね。
ウォーリー　行けねぇよ。ウチの母ちゃん英語喋れないんだぞ。どうやってマックに行ってさ、ドライブスルーで子供たちにメシ喰わせるんだよ。
――家族のことを考えて行けなかったと。
ウォーリー　だけど、タイタンスポーツは凄くよくしてくれたよ。「お前らは日本から来るんだから、グリニッツに日本の学校があるから」って人事部がちゃんと日本語の学校の資料くれるんだよ。
――WWFは、そこまでしてくれるんですか？
ウォーリー　そうだよ。凄くいい会社だよ。普通プロレスの会社がそこまでしないよ。
――日本のマット界じゃそこまでケアしてもらえないですよね。
ウォーリー　しないよ、そんなもん。タイタンは全部やってくれるんだから。
――正直、結構悩まれたんじゃないですか？
ウォーリー　世界のプロレスとどっちにするかってぐらいだよ（笑）。
――アハハ！　それほど世界のプロレスが大事だったと（笑）。
ウォーリー　そうだよ。あれは最高傑作だよ、ホントにもう（笑）。やっぱり食うがためのプロレスと遊ぶためのプロレスって違うと俺は思うわけ。世界のプロレスはホンットに自分が楽しくて楽しくて毎日そればっかり考えてやってたんだよ。そういう遊ぶためのプロレスだったから、それはいいんじゃないの？　だって女の子のレフェリーが流血してしまう団体がどこにあんの？（笑）。
――ないですよね（笑）。世界のプロレスの話はおいといて、この辺でウォーリーさんの激動のプロレス人生を最初から振り返っていただきたいんですけど？
ウォーリー　はいはい。
――ウォーリーさんとプロレスとの出会いっていったら、幾つぐらいまで遡るわけですか？
ウォーリー　俺は力道山も知らないし、馬場、猪木も知らなかったし、会場行ったからって試合も見なかったの。
――エッ、馬場、猪木も知らなかったんですか？（笑）。
ウォーリー　誰も知らない、わかんない（キッパリ）。俺は、ただの本屋好きだったんだよ。
――本屋好きですか？
ウォーリー　そう。13～14歳ぐらいのときに本屋に行ったんだけど、

が日本のマーケットを支配したいのはわかってるわけよ

プロレス人生一直線
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

たまたま昭和46年の『別冊ゴング』の4月号、フリッツ・フォン・エリックの表紙があったんだ。

――鉄の爪ですか？

ウォーリー そう。それで、その本買おうか、『航空ファン』買おうか迷ったわけよ（笑）。

――飛行機好きでもあったと（笑）。

ウォーリー っていうかマガジン好きだったんだよ。それで、初めて『ゴング』見て、「何これ？」って思ったんだよ。フリッツ・フォン・エリックなんて何にも知らないよ。で、読んだらプロレスの日程が出てたんだよ、確か。

――そりゃ出てるでしょうね（笑）。

ウォーリー そうだよな（笑）。それで、たまたまその時に俺は文京区の白山に住んでたんだよ。文京区の白山といえば後楽園ホールも近いし、『ゴング』の編集部も近かったんだよ。

――近いですよね。

ウォーリー 『ゴング』は文京区白山2の2の6。まあいいや（笑）。

――それはいいです（笑）。

ウォーリー それで友達と後楽園ホールに行ったのよ。で、試合も見ないで、俺はアメリカンスクール行ってたんで、通路でいろんな人と英語でお話するわけよ、小僧のクセに。

――レスラーとですか？

ウォーリー ダニー・ホッジ、ダッジ・サベージ、フレッド・ブラッシー、ターザン・バックスター。昭和46年ぐらいかなぁ？

――レスラー相手に自分の英語を試していたわけですね。

ウォーリー そうそう。最初がたまたまプロレスラーだったんだな。で、じゃあ外人がいるところはどこだってなると、野球も確かに外人はいるんだよ。それに野球も好きだったし。でも、野球はグラウンドとベンチの距離って遠いじゃない？

――なかなか話はできませんよね。

ウォーリー でも、プロレスって通路行けばいるじゃない？

――いますよね。当時は入場料って安かったんですか？

ウォーリー いまと同じだよ。でも俺、「こんなもんに金払うの嫌だ」って思ってたもん！

――こんなもんですか（笑）。じゃあプロレスを見に行くっていうよりは外人と遊びに行くって感じで。

ウォーリー ホントそうだよ（笑）。「ミイラ取りがミイラになる」って言うだろ？ あとサーカス追っ掛けて、その子が玉乗りになっちゃうとかっていうのあるだろ？ あれと一緒だよ。

俺はNY（=WWF）の会社にいたんだから。NYが日

WORRY YAMAGUCHI

――最初は興味本位だけだったと？

ウォーリー そう。それで、中（プロレス業界）に入ったのが早かったんで、「あ、これはもう仕事にしなきゃいけないな」って思って、痛い目に遭ってるのがいまの俺だよ（笑）。

――痛い目に遭ってるんですか（笑）。よく、熱狂的なファンは続かないって言いますけど、逆にそのぐらいのスタンスだったから続いたっていう部分もあったでしょうね。

ウォーリー ファン上がりは続かないよな。だから俺は、いまでもそういう面に関しては、「これをどうにかしてビジネスに結びつけなきゃいけない」って、自分では凄くハングリーだよ。

――常に、プロレスでどうやって金が稼げるかを考えていると（笑）。

ウォーリー いやいや、それが全然金になんねえんだよ（苦笑）。

――ウォーリーさんはプロレス小僧ってわけじゃなかったんですね。

ウォーリー 確かに小僧だったかもしれないけども、やっぱり他の人たちとはちょっと違うよ。ロッシー（小川）とか宍倉次長、あとナイガイのヤマケンとか、あの辺とはずっと一緒に行動してたんだけどさ。

――ロッシーとシッシーと一緒でしたか（笑）。

ウォーリー 日本プロレス、ニュージャパン、国際プロレス、それと当時の高輪ホテルとかよく行ったよ。こんな話してたら3ヶ月掛かっても終わんねえよ（笑）。

――そこを何とかショートカットでお願いします（笑）。

ウォーリー それで、ドン・レオ・ジョナサンがさ、13～14歳の俺にいみじくも言ったよ。

――ドン・レオ・ジョナサンがですか？

ウォーリー 「お前は英語喋れていいんだけどよ、こんなモンキービジネスに関わるのはやめろよ」って真顔で言われたよ。

――モンキービジネスですか。

ウォーリー 「モンキービジネスってなんだよ？」って13歳ながらに思ったもん。でも、確かにそうなんだけどな。他にできることが結局なかったもんね（笑）。

――よく、チビッ子が会場に出入りしてるとレスラーに追っ掛けられたりとかって話があるじゃないですか。スタン・ハンセンにロープで殴られたりとか、そういうのはなかったんですか？

ウォーリー 俺らが13～14ぐらいのときに友達と会場行くわな。行くとリングサイドで写真撮っちゃうんだよ。ホントは、それはいけないことなんだけど。

――当時はドサクサに紛れてそういうことができたんですか？

ウォーリー ダメダメ、絶対ダメ！ いまでもダメだけど、でもやっちゃうんだな、俺らのグループは（笑）。

――悪いグループだったんですね（笑）。

ウォーリー 当時、小沢正志（キラー・カン）、木村健悟、ケンドー・ナガサキ、（佐藤）昭夫さん、藤波辰爾。辰っつぁんと昭夫さんは、まだペーペーの頃だよ。

――他には小鹿さんとかもいた頃ですか？

ウォーリー いや、小鹿さんはもっと上。で、小沢、桜田、木村が

業務拡大！　世界に羽ばたく（株）ダブルクロス

俺らのグループに目をつけるわけ。「また来たか、この多国籍軍！」とか言ってさ（笑）。

――多国籍軍（笑）。

ウォーリー　俺が日本人で、あとイスラエルとレバノンのハーフとイギリス人との子供がいて、もう1人がチャイニーズだったんだよ。それが場外で選手と追っ掛け合いするわけ。昭和45年か46年ぐらいだよ。たいがい悪ガキだったよ。まあ、今でもバッド・ボーイかな。

――当時はつまみ出されたりとかはしなかったんですか？

ウォーリー　ブン殴られたりするヤツもいたけども、俺らは殴られなかったな。で、俺らはアメリカンスクールだから、小沢かなんかがボーッと来るとさ、俺の友達が英語でまくし立てるんだよ。そうするとさ、たじろぐんだよな（笑）。

――キラー・カンをたじろがせましたか（笑）。

ウォーリー　そうそう（笑）。俺は試合はあんまり重視しないし、馬場、猪木も関係ないから、ひたすら控室の方でいろんなレスラーとお話してたんだよ。そういうのが好きだったの。

――変わってるといえば変わってますよね（笑）。

ウォーリー　俺はプロレスよりもプロレスラーっていうバケモノが好きなんだよ。バケモノかなんか知らないけどさ（笑）。で、話しても合う人合わない人が、やっぱり出てくるわけ。それで親しくなってきたのがデストロイヤーとかブッチャーとか。ファン時代はその2人だと思うよ。

――超大物の2人と仲良くなったわけですね。

ウォーリー　その2人が馬場さんに俺のことを推薦したんだろうな。それと同時にファンクスから凄い影響受けたんだよね。で、この仕事はなんぞやっていうのを教えてくれたのはテリー・ファンクだよ。

――テリーから「プロレスとはなんぞや？」ということを学んだと？

ウォーリー　別に「なんぞや」って言わないよ（笑）。だけども伝わるものを感じましたよ。

――実際、レスラーと、どんな話をされてたんですか？

ウォーリー　ダニー・ホッジに「あんたオカマなの？」って聞いたりな（笑）。

――うわっ！　それは子供の特権でしょうね（笑）。

ウォーリー　ホッジに「お前、ホテル来いよ」って言われて「いいよ」って行ったはいいけど、ホントに襲われそうになったりさ（笑）。

――修羅場をくぐってますね（笑）。

ウォーリー　マスク欲しいからって、マスカラスに「幾らやるからくれ」とか、そういうのはやんないよ。俺は単にお話するのが好きだったから。

――テリーもお喋りとか好きそうですもんね。

ウォーリー　テリーは素晴らしいよ。たぶん多くの今のテリーを知ってる人達、あるいは昔からテリーの追っ掛けをしてきた、今おばちゃんになってるお姉ちゃん達は、みんなテリーがある程度円熟してきてから影響を受けてたのを、俺は子供のときから凄い影響受けてたの。竹内宏介さんが馬場さんから影響を受けたみたいに、俺はテリーから影響受けたね。

――具体的に言うと、どんなことをテリーから学んだんですか？

ウォーリー　別に、こっちはテリーに対して何も言ってないんだけど、「今日の●●●●●●は……」とか平気で言うんだから。それもガキに対してだよ（笑）。

――よっぽど信頼されてたんでしょうね。まあ普通のプロレス小僧だったら、そんなこと聞いたらショックも受けるんでしょうけど、当時のウォーリーさんのスタンスだったら……。

ウォーリー　（さえぎって）だから俺、よく言うんだけど、プロレス界で仕事出来る人、仕事出来ない人っていてさ。プロレス好きな人はある程度のレベルまで行くわけよ。もちろん、ある程度やればプロレスがなんたるかを自分の環境において知るわけよ。

――そうでしょうね。

ウォーリー　だけども、それ以前にプロレスというのはこういうもんだっていう自分の中の空想があるわけですよ。俺は案の定、「プロレスってこういうもんなんだ」っていうのがドンピシャってきたから、俺はボーンとこの業界に入れたんだよ。

――ドンピシャってきましたか（笑）。

ウォーリー　それだけだよ。で、変なたとえ、「アントニオ猪木なんだかんだ」って言ってても「でもプロレスってこんなもんだよ」って言われてすぐにパーッとフェードアウトしちゃうヤツもいるでしょ。それがほとんどなんだけども、でも俺はそうじゃなくて、凄いナチュラルに、馬場さんとテリーとブッチャーとデストロイヤーから、誰もそんなことは何も言わないけども、それを自然に受け取って、自然にそう思って、自然にこの業界に入ってたわけ。

――この業界に入ろうと思ったきっかけっていうのは具体的に何かあったんですか？

ウォーリー　同棲してて、仕事見つけなきゃいけなくなってだよ（笑）。

――あらら、そういう理由でしたか（笑）。

ウォーリー　その前に、13～14歳の頃にベースボール・マガジンによく行ってたんだよ。今は『ゴング』なんだけども、元は『ゴング』の人間じゃないんだよ。当時ベースボール・マガジンの大鵬担当、サッカー担当、あとプロレス担当の森岡さんて人がいたんだよ。で、その人が当時『プロボク（プロレス・ボクシング）』のインタビューをやってたんだけど、いきなり俺はサンマルチノのインタビューをやらされたのかな？

――エッ、初インタビューがブルーノ・サンマルチノ⁉

ウォーリー　確かそうだよ。要は会場で俺が外人と話してるじゃん。要は「小僧がなに喋ってんだ。じゃあ俺のインタビュー手伝えよ！」ってなってさ。で、モリさんの下にいたのがイバちゃん。

――イバちゃんって、W★INGの茨城清志さんですか？

ウォーリー　そうそう。その後、ハワイに2年ぐらい行ってて、日本に帰って来てから上智行って、それで同棲しちゃってさ。で、もう学校辞めようかと思ってたら、『ゴング』から話が来て。そんだけだよ。

――そういえば『ゴング』ではピラニア山口って名乗られてましたけど、あのペンネームはご自分で考えたんですか？

ウォーリー　違うよ。誰かが勝手に考えたんだよ。新聞（寿）のオヤジかなんかかな？「ピラニアじゃなきゃ、この世界では食っていけない」ってさ。で、話しは戻るけど、俺は上智の国際の比文に2年半ぐらいいたんだけども、同棲しちゃってて、「ちゃんと仕事しなさいよ」ってプレッシャーがかかるわけだよ（笑）。

――しっかりしなさい、と（笑）。

ウォーリー　そうそう（笑）。で、学校では意外と今に通じる仕事してるわけよ。ブッキングの仕事みたいなことしてたのよ。要は宴会のブッキングやってたんだよ、俺。は学校、バイトはバイト、私生活は最初のかあちゃんとずっと一緒に住み始めてて。それで「一緒に住んでるんだから、ちゃんとした方がいいよ」っていうのが両ファミリーからのプレッシャーなわけ。

――両ファミリーからですか（笑）。

ウォーリー　そうだよ（苦笑）。で、どうしようかと思って、『ゴング』

ウォーリー その2人が馬場さん
たの。竹内宏介さんが馬場さんか
っていうのがドンピシャってきた
会場で俺が外人と話してるじゃん。
どうしようかと思って「ゴング」

さんといろいろ話をした結果、「キミを嘱託に置きましょう」って。嘱託に置けば原稿料っていうのが発生して、あと嘱託料っていうのが発生するんだよ。それで経費は会社持ち。なおかつ全日本プロレスのジャイアント馬場が俺のために幾ばくかの援助金を出すようにしてくれたの。

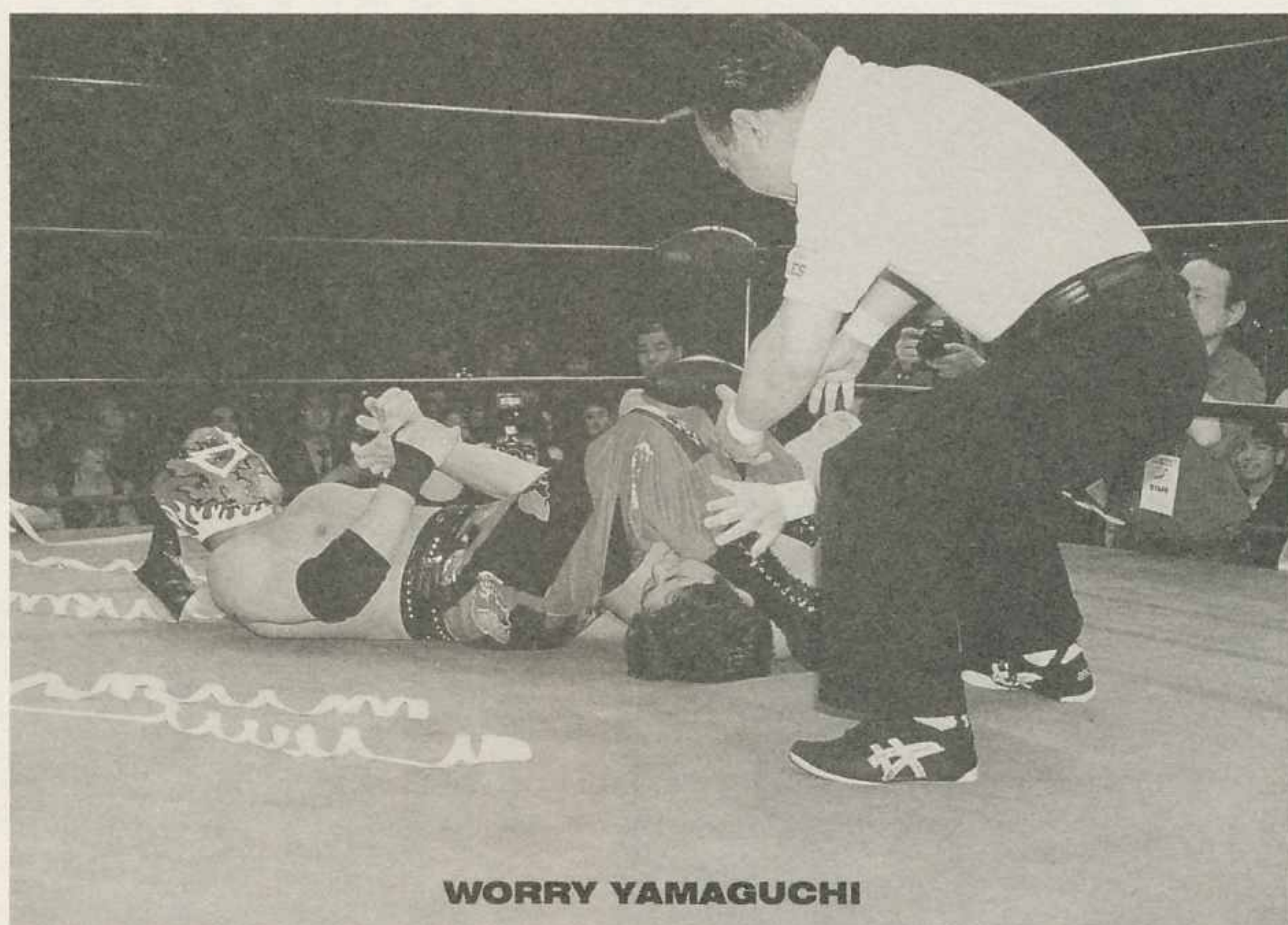
――エッ！ それは何でですか？

ウォーリー それは俺も知らない。今でも知りたいんだけど。たぶんデストロイヤーが口効いてくれたんだと思うんだけど、馬場さんが決断して元子さんに言ったんじゃないの？ とにかく毎月お手当て貰ってたよ。

――外人の世話役とかの手当なんじゃないですか？

ウォーリー いやいや、俺は全日本にどうのこうのって何にもしてないよ。ただ、時、アメリカには26～32のテリトリー制度っていうのがあって、それに対してジャイアント馬場＝全日本プロレスは、自分たちのやってるプログラム、つまりツアーのプロパガンダを打たなきゃいけないんだよ。それがシリーズのプログラムなわけだ。それに対して、今度のシリーズはいつからいつまでで、誰が来て、どういうタイトルマッチをやってっていうような広告をいろんなテリトリーに送ってたわけよ。

――へぇ～。その仕事はウォーリーさんがやってたと。

馬場さんがビッグな人なら、元子さんはビッガーな人だよ

ウォーリー その文面は俺が書いてたの。でも、それぐらいだよ。俺にとっては当たり前のことなんだけども、その文面書くことで、たかが年間8シリーズ分だよな。それやるだけで馬場さんはちゃんと俺のこと評価してくれてたよ。

――やっぱりビッグな人なんですねぇ。

ウォーリー でも俺に言わせりゃ馬場さんがビッグな人であれば、元子さんはビッガーな人だよ。

――ビッガーですか！（笑）。

ウォーリー だって馬場さんが生きていれば、良いも悪いも、今のようにはなっていなかっただろうし、俺も全日本に御世話にはなっていなかったでしょう。この業界〝if〟なんて言ったらキリはないけど、馬場さんが亡くなったことで本当に天変地異がいろんな意味で変わってしまったよ。それだけ馬場さんはグレートだったんだ。

WORRY YAMAGUCHI

――そんな中、ウォーリーさんだけは治外法権なんでしょうね（笑）。

ウォーリー みんな「社長、社長」って言ってるけど、俺は、今でも「元子さん」て呼んでるし。たいがい今でも俺なんかボロクソに言われてるよ。「アンタは家出少年」だってね。

――羨ましいですねぇ（笑）。ちなみに馬場さんのことは、なんて呼んでたんですか？

ウォーリー 俺は、おとうさんて言ってた（笑）。

――お、おとうさんですか（笑）。

ウォーリー 2人の時にはだよ。人前ではちゃんと「社長」って呼んでたけど。でもホント、社長は素晴らしかったな。

――どっちなんですか（笑）。

ウォーリー いや素晴らしいよ（笑）。

――ウォーリーさんがプロレスに関わってきた長いキャリアの中で一番良かったときって、やっぱりWWF時代になるわけですか？

ウォーリー その都度その都度良くしてくれたところはいっぱいあるから。要はさ、インターナショナルスクール出身の俺の同輩なんていうのはアメリカで仕事するじゃない？ それと一緒なんだよ。だけどもそいつらも結局、日本に帰って来るヤツもいるし、それだけだと思うよ。あとは日本を捨てられるかとかさ。だから、そうなってくるとさ、元子さんから「ウォーリー来て!!」って言われたら、やっぱり俺は行くよ。

――そりゃそうですよね。

ウォーリー だって俺、全日本プロレス好きだもん。馬場さん好きだからさ。

――やっぱり男気なんですかね？

ウォーリー 男気じゃねぇよ。それこそ大仁田とかユニバとか、俺付き合ったりしてたけどさ（笑）、でも俺のこと支えられるのはタイタンと全日本しかないな（さらりと）。

――エッ！ ウォーリーさんを支えられるのはタイタンか全日本しかない!?

ウォーリー そうだよ。でも全日本はなぁ、言いたくないけど大変だよ（苦笑）。

――そうは言いますけど、武藤さん達が入ってきてから、かなりいい感じじゃないですか？

ウォーリー そりゃそうだよ。だって、それしかないんだから。

――武藤さんに頼るしかないと？

ウォーリー そうだよ。ファンダメンタルっていうかベーシックな昔からある考えで、「フロリダからジョージアに移った感覚かな」っていうのが俺の武藤選手への考えだったから。そういうことアメリカにいる人たちは平気でやってるわけじゃん。そんな感覚だもん。もちろん、今の武藤選手には後ろ盾とか、生活守んなきゃいけないとかっていうのはあるけどな。

――それはあるでしょうね。

ウォーリー でもそういう感覚だよ。あとはファミリーが付いて来ようが側近が付いて来ようが、そんなのは知らないよ。それは日本の悪い習慣じゃないけども、終身雇用的な意味合いがあって、例えばジャパン（プロレス）とかも長州が動いて事務所の人間も移ったとか、そういうのと一緒だよ。アメリカじゃ関係ない、個人が動くのと一緒、と俺は思うけどね。

――ウォーリーさんも様々なテリトリーを転々としてきたわけです

業務拡大！　世界に羽ばたく（株）ダブルクロス

もんね。

ウォーリー　そうだよ。昔のテリトリー転々としてた頃が一番面白かったなぁ（しみじみと）。

——今のマット界は、あまり面白くないと？

ウォーリー　いや、それだけ淘汰されてるんだから、いいことだと思うよ。淘汰されなきゃ。今度、女子プロの『アテナ』がなくなっただろ？　女子プロの産業にとっては良くないことなわけ。そうするとさ、それをカムバックさせるような話を俺は聞いてるわけよ。

——さすが情報が早いですね。

ウォーリー　だけども、結局10年前と同じババアたちが、今でも自分たちの名前を守るためにお仕事してるわけよ。長与千種？　どこがバックよ。ガイアジャパン？　誰も知らねぇって。神取忍？　LPW？　世間の人は知りません。それじゃマス（メディア）は買わないって、スポンサー付かないって。

——女子プロの世界は25歳定年制がなくなってから世代交代が進んでないですもんね。

ウォーリー　そういうこと。じゃあ世代交代してないことに関して、「アンタたち誰？」って言った場合、そりゃ自分たちはわかるよ。だけども人の注目を浴びるには自分たちのバックが全日本女子プロレスとか、そういうのがあるかないかで、全然違ってくるわけよ。スポンサーとかにしてもそうだし。

——それはありますよね。

ウォーリー　だけど、今はそれがないじゃん。その人たちの単なるマスターベーションにしかなってないよ。だから女子プロだけでなく、男は男で淘汰されればいいだろうと思うよ。ほっといてもされてくだろうけどな。

——でしょうね。今は男子も女子も団体多すぎますからね。

ウォーリー　多すぎるよ！　長井満也？　リングス？　知らなかったね、誰も。でも、やり続けるということで全日本プロレスの長井満也って名前がバーンと出せるの。それが当たり前になってくるわけ。で、リングスがなくなる、FMWなくなる。それだけだよ。それを吟味し抱えられる日本のプロレスの母、馬場元子は凄いよ。

——も、元子さんは日本プロレス界の母ですか!?

ウォーリー　だってそうだろ。でも元子さんはプロレスを知れば知るほど、一番プロレスが嫌いな人だったんじゃないかな。

——エッ、そうなんですか？

ウォーリー　本音で言えば「こんな商売、なんで私がしなきゃいけないの」って感じだと思うよ。でも、こういう状況だから「私がやんなきゃダメなのね」っていう、それだけだよ（笑）。それを馬場さんから継承してるし、そんなこと嫌でもわかってるよ、元子さんは。多分ね。

——わかってますか（笑）。

ウォーリー　わかってるよ。俺だってタイタンのオファーを蹴ってまで全日本に入ったってのはそういうのもあるから。別にすぐ全日本の話があったわけじゃないし、それを少しは予想したかもしれないけど、ウチの家計を助けるためにタイタンに行こうと思えば行けたんだから。

——WWFに行ってたら行ってたで、ウォーリーさんならなんとかやっていけそうですよね。

ウォーリー　それはどうだろうな。でもなんとかやりくりしてこれたからスーパーハッピーじゃないけどもいいんだよ。それで日本のプロレス守れるんだからさ。じゃないと今回のようにWWFが日本に進出じゃなくて侵略してくるよ、これから。

——日本侵略ですか!?

ウォーリー　どんどん侵食してきて、どんどん潰されてくよ。その代わりWWFだって目玉がなくなってくるでしょ。じゃあ、そこで誰を投入するかになってくるわけよ。

90年6月4日、ユニバーサル後楽園大会で行われた浅井嘉浩（現・ウルティモ・ドラゴン）VSクチージョのタイトルマッチを裁くウォーリー山口。さすがに若い！　ちなみにウォーリーと浅井の間にいるのは、当時コミッショナーを務めていた福田宏一参議院議員。

——WWFでも、そのマーケットに合わせた大物が欲しいでしょうからね。

ウォーリー　そうそう。じゃあそのマーケットが（手を下にさげ）こうなるかならないかによって、またそこで侵略の度合いが違ってくるんだから。

——横浜大会では、解説席に小川さんと武藤さんが並んでいて、やはりWWFの選手は武藤さんの方にアプローチしてましたよね。

ウォーリー　向こうが小川のこと知ってるかどうかだよ。俺は小川知らねぇけど（笑）。

——知りませんか（笑）。

ウォーリー　でもあれは当たり前だと思うよ。

——ウォーリーさんは日本のプロレスの可能性もWWFのようにエンターテインメント化するしかないと思います？

ウォーリー　知らねぇよ、そんなの（面倒臭そうに）。だって、あれを真似ようとしたとこいっぱいあるけど、どこもダメだろ？

——FMWも潰れちゃいましたしね。

ウォーリー　全日本はしないよ。

——でもカシンさんが最初に挨拶に出てきて、いきなり宮本さんと試合をしたように、今後エンターテインメントの味付けは増えていくんじゃないですか？

ウォーリー　あれがエンターテインメント化？　違うって！　ああいうのを昔のオレゴンとかテキサスで何回も俺は見てるよ。エンターテインメントって簡単に言うけどWWFは会社なんだって、会社。それみんなが目的を一つにして、それに向けてやってくことが外資系の

フロレス人生一直線
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

一番強いとこじゃないの。リングに誰かが乱入してブンブンやってるのはWWFじゃないんだって。それだけでタイタンを見てちゃダメよ。凄い団体なんだから！

——WWFは、2百人、3百人が脳味噌をフル回転させて、ひとつの方向に向かって進んで行くって感じですよね。

ウォーリー　極端に言えばね。日本じゃ考えられないよ。

——日本はトップ一人が考えて一人でやっていくって言う形の方が多いですよね。

ウォーリー　確かにビンスが考えて、それを振るんだけども、でもプロモーション、映像、リングの中、マーチャンダイズっていうところにすべてを派生させるわけよ。で、それを一つ一つ全部ミーティングするわけよ。じゃあ、ケンドー・カシンが入ってきた、それをどう全日本でプログラムじゃなくてプロモートさせるかだよ。

——元子さんなりがビンスになれるかどうかって話ですね。

ウォーリー　ビンスなんかは一つのアイデアを言ってマーチャンダイズに振るわけよ。そうするとマーチャンダイズが一生懸命仕事して、それをビンスに見せるわけよ。それが気に喰わなくてビンスが（ポイッと捨てる動作をし）こうすれば、もうその人はクビなのよ。ホント凄いシビアだよ。俺もそうだったもの。

——でも、今の日本のマット界ではビンスぐらいの権力持った人っていないですよね。

ウォーリー　わかんないよ。でも元子さんが持ってるかもしれないよ（ニヤリ）。

——元子さんならビンスになる可能性があると？

ウォーリー　それはどうかと思うけど（笑）。でも俺は元子さん大好きだけどな。俺、あの人こそ昔ながらのプロモーターって感じするもん。ビンスには根底にはそういうものがあっても、俺はそれを感じないけどね。

——ビンスには感じないと？

ウォーリー　でもこれで面白くならなかったら、それこそ日本のプロレスはダメだよ。だから大変な仕事をしている人だよ。だって、今この状態で新日本が面白いのかって言ったら面白くないもん。

——今の新日本は面白くないですか？（笑）。

ウォーリー　いや、普通に見てだよ。だけども全日本には武藤選手達が来て、それを面白くさせるかさせないかは、やっぱり本人たちであり、会社であり、ブッカー、プロモーターなんだから。それよりチャンピオンカーニバルで俺とか京平ちゃんが何回フルタイム30分（レフェリングのゼスチャーをして）やらなければいけないか……そっちの方が怖いな（苦笑）。

——そういう意味ではレフェリーの顔も持つウォーリーさんから見て、ミスター高橋本っていうのは、どうなんですか？

ウォーリー　読むことは読んだけどね。ちゃんと全日本プロレスにも回ってきてるよ。「あんた買わなくていいの！」って言われたんだから（笑）。

——そうなんですか（笑）。ちなみにウォーリーさんは高橋さんとは面識はあるんですか？

ウォーリー　ありますよ。あるけど俺はジョー（樋口）さんの方がレフェリーとしては全然上だと思うよ。アティテュードとか、このビジネスに対してね。高橋さんとは頼むから比べないでってぐらい差はありますよ。

——そんなに違いますか!?

ウォーリー　違うよ。この間、たまたまジョーさんと成田で会って話したんだけど、「ジョーさんの仕事、いましてるよ」って言ったら「体しんどいか？　でもそれ以外にもあるだろ……」って、またその話かよって感じだったけど（笑）。

——結局はリング外の話になると（笑）。

ウォーリー　そうなんだよ（笑）。俺は別に新日本の人達にも、この業界に対しても（悪い感情は）何もないよ。でも、テメエだけ良ければってとこあるじゃない？　俺も確かにそういうとこあるかもしれないけど、そうじゃないだろって。ファンも育てない、人も育てない、関係者も育てない、選手も育てない、それじゃ、この世界は何にもないわけよ。

——WWFのようにカミングアウトした方が日本のプロレス界のためになるっていうのがミスター高橋さんの意見なんですけど……。

ウォーリー　（遮って）1984年にねぇ、『レスリング・オブザーバー』っていうミニコミ誌があるんですよ。俺に凄い影響を与えてる人で、デイブ・メルツァーっていうのが、俺より年下なんだけども、この業界に凄い反映してる人なわけよ。その人がそれを出したときに、「プロレスはこうでこうで」って全部暴露したの。そのときに彼は随分プロレス業界から「お前はなんてことをするんだ」と糾弾されたわけよ。

——当然、されるでしょうね。

ウォーリー　だけども彼にしてみれば当たり前のことで、それをしたからこそ彼はなんでも書けるし、全部自分のやり方で出せるわけよ。それに対して嘘も偽も飾りもなんにもないのよ。それに対してプロ

俺はジョー（樋口）さんの方がレフェリーとして高橋さんより全然上だと思うよ

WORRY YAMAGUCHI

業務拡大！　世界に羽ばたく（株）ダブルクロス

プロレス人生一直線
実録！　豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

俺にとってプロレスとは何かって？　マイ・ライフ！（キッパリ）。それしかないよ。

モーション的に「プロレスというものはショーでもあるんだよ」ということを言い始めて世間にディスクロージャー（情報公開）したのがWWFの社長のビンス・マクマホンJr.。それが97年。お下劣エンターテインメント路線を取ったのがそれからだから。

――それがブレイクしたわけですよね。

ウォーリー　そう。それでストーンコールドの時代になっていくわけよ。でも会場に来るお客さんは別として、コアなファンに対して「WWFはこういうもんなんだよ」と言ったのが始まりかな？　それを何年か経て……高橋さんはそういうことを知ってるのかなぁ？

――あまりWWFについては詳しくないみたいですけど。

ウォーリー　そうだろ。俺は「我々のビジネスはこういうもんなんだよ」って言えますよ。だけども俺は別に一銭の得にもならなかったら言う必要はないもん、そんなこと。結局、高橋さんは新日本とお金の問題があったんでしょ？　その腹いせでやってるのは目に見えてるよ。

――高橋さんはそこは否定してますけどね。

ウォーリー　否定するけども、でも裏にはそれがなきゃそんなことしないよ。

――でも84年にアメリカでプロレスの裏側が書かれたことが出て、WWFがエンターテインメント宣言をした97年までは10年以上開いてますよね。

ウォーリー　その間にWWFはステロイド問題、ホモセクシャル問題、それに対する訴訟問題、ビジネスの不幸をすべて抱えたわけ。それに借金もしてたから。で、まだNWAもあって、ECWも出てきて……まぁ、それは別としても、当時はそういうやり方だったんだからしょうがないんじゃないの？

うぉーりー・やまぐち■本名・山口雄介。ハワイ・カイムキ高校卒業後、上智大学国際学部比較文化科中退。高校時代はアマレスに打ち込み、極東選手権入賞、2年連続」バーシティクラブ獲得など実績を残す。数多くのインディー団体や海外マットでもレフェリーを務めてきたウォーリー、全日マットでのレフェリー姿もお馴染みとなってきたが、意外や意外、レフェリーデビューは78年の全日本プロレス「世界最強タッグ決定リーグ戦」というから驚き。現在は少年ソフトボールの監督もしているという。

――田中正志さんも『レスリング・オブザーバー』の影響はかなり大きいって言ってますけど。

ウォーリー　田中君のことはそんなによく知らないけども、デイブはいろんな意味で凄くわかってるからオブラートに包む部分はオブラートに包むし、デイブの言いたいことはわかるし、俺も『ゴング』やなんかでもデイブのやっていることを書いてるのは凄く多いよ。

――『ゴング』なんかは高橋本に対しては固いポジションを取ってますよね。

ウォーリー　俺に言うなよ（笑）。

――『ゴング』だけじゃなく、プロレスマスコミは『週プロ』にしろ、『ファイト』にしろ黙殺する形を取るわけじゃないですか。それは想像通りって感じですか？

ウォーリー　当たり前じゃない。底辺のことをプロテクトしなきゃいけないのは、『ゴング』にしろ『週プロ』にしても、それをしなければ「あんたたち、何年それで飯食ってんの？」ってなるんじゃないの？

――高橋さんじゃなくても、誰かしらああいう本を出す可能性はあるわけじゃないですか？

ウォーリー　別に出したきゃ出せばいいんじゃないの？　「そうじゃないよ」って現役としてやってる俺や京平ちゃんは言えなきゃいけないよな。でも京平ちゃんはたぶん言えないよ。あの人ああ見えても凄く忙しい人だから（笑）。

――そうなんですか（笑）。でも、ああいう本が出て現役のレスラーが黙殺する気持ちはわかるんですけど、「違う」なり「その通りだ」なり、なんらかの意思表示をして欲しいってファンなら当然思いますよね。

ウォーリー　『紙プロ』がお米（業界用語でお金のこと）払えばなんでも言ってやるよ（笑）。ただ言えるのは、あれだけがプロレスじゃないよってことだよ。

――高橋さんも自分の見てきた新日本プロレスの中での出来事しか書いていないって言ってますよね。

ウォーリー　高橋さんは新日本プロレスのことしか知らないと思うし、仮に明日、新日本プロレスにそういうことがあるかっていうと、たぶん俺はないと思うよ。新日本は新日本で（タイガー）服部さんとか田山（レフェリー）達のやり方があると思うし、俺と京平ちゃんは自分たちの仕事をプロテクトしますよ。それに、ありがたいことに俺は高橋さんと違って違うやり方をたくさん知ってるよってだけだよ。

――全日本だけでなく、インディーや海外でもレフェリーをやってますからね。ウォーリーさんは日本マット界もカミングアウトした方がいいと思いますか？

ウォーリー　どこもできねぇよ、俺に言わせりゃ。

――できない？　しない方がいいってことですか？

ウォーリー　惨めになるだけだからやめな。全日本は全日本のやり方があるし、でも、どこでもできないよ。NYはNYだからできるんだよ、それだけ。

――それは今までの歴史がそうさせてるってことですか？

ウォーリー　あとはやっぱり登場人物の問題だね。全日本なんかはカラーがあるんだから、それを出していった方がいいと思うよ。そう思わない？

――そうですね。ウチもウォーリーさんの次には元子さんのインタビューができるように頑張ります！（笑）。

ウォーリー　でも『紙プロ』は武藤選手も出たんだろ？　心配しながら頑張ってね（笑）。

――はい、頑張ります（笑）。ホントは川田さんとかも是非インタビューしたいんですけどね。

ウォーリー　あの人はあの人だからしょうがないか（苦笑）。

――あ、そうですか（笑）。

ウォーリー　……川田選手はねぇ（ため息）。

――答えづらそうですね（笑）。最後に、ウォーリーさんにとってプロレスとはなんですか？

ウォーリー　マイ・ライフ！（キッパリ）。それしかないよ。

【02年3月9日／東京・六本木「ゴラス」にて収録】

3・30 DEEP ルチャ・バレ・トド軍団 VS 日本選抜
5vs5対抗戦は
ルチャの5戦全敗

されど叫ぼう!
VIVA! メヒコ!!

3・30DEEPで行われた日本選抜との5vs5対抗戦で、見事なまでに5戦全敗に終わってしまった我らがルチャ軍団。しかし、観客を大いに盛り上げたその闘いぶりは、日本のプロレスラーが忘れてしまった大切なものに溢れまくっていた。そんな彼らにはやはりこの言葉を贈らずにはいられない、ビバ、メヒコ!

構成／堀江ガンツ
design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

からしょうがないんじゃないの?

辺のことをプロテクトしなきゃい

けだよ

高校2年の夏休み、共に
ルチャを修行した少年2人が
今、スペル・エストレージャ（スーパースター）となって
8年ぶりの再会!!

CIMA×ドス カラス jr. with ドス カラス

人気絶頂闘龍門のエース・CIMAと“バレ・トド”もこなすルチャのニューヒーロー、ドス・カラスJr.。実はこの二人、いまから遡ること8年前。一緒にルチャ・リブレ修行をした親友同士だということをみなさんはご存じであろうか。当時、プロレスラーの卵であった二人が、それぞれ別の道を歩みながら、いま共にスペル・エストレージャ（スーパースター）となって再会! 3・30 DEEP名古屋大会の前日、ルチャ・リブレ新時代を告げる夢の顔合わせが遂に実現した!

聞き手／堀江ガンツ
撮影／乾晋也
design by: Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

VIVA! メヒコ!!
ルチャリブレ
夢の親友対談
実現!!
CIMA
DOS
CARAS Jr.

CIMA× DOS CARAS Jr. with DOS CARAS

自分の"非公式デビュー戦"でドスJrが応援ボードを作ってくれたんですよ（笑）

CIMA　いやぁ、嬉しいですねぇ！　涙出そうですよ！

―お二人が顔を合わせるのは何年ぶりなんですか？

CIMA　8年ぶりですよ！　なぁ？（スペイン語でドスJr.に同意を求める）

ドスJr.　もう、あれから8年にもなるのかぁ（しみじみ）。

CIMA　自分がまだ高校生のころですからね。

ドスJr.　ボクも高校生だったなぁ。ボクのルチャ・デビューは2000年だったから、二人ともまだルチャ・ドールの卵だったころだよ。

―お二人はどんな風に出会ったんですか？

ドスJr.　CIMAとは16歳の頃、一緒にルチャを学んだ仲だよ。

CIMA　そうですね。自分がまだ闘龍門に入る前。高校2年の夏休みにメキシコへ初めて行ったときに、自分とドスカラスJr.、それからシコデリコJr.がドス・カラス・パパさんにルチャを教えてもらってたんですよ。

―あ、先生はドス・カラスさんだったんですね。

ドスJr.　それからレンコル・ラティーノも一緒だったよね。

CIMA　そうや！　レンコル・ラティーノっていう選手も一緒やったんですよ。レンコル・ラティーノって、まだルチャやってるの？

ドスJr.　やってるどころか、スペル・エストレージャ（スーパースター）だよ（笑）。いまはリングネームを「アベルノ」に変えて、半分ブカネロで半分ウルティモ・ゲレーロになっているマスクを被って、エル・サタニコとロス・インフェルナレスというチームでEMLLのかなり上の方で試合しているよ。

CIMA　へ～、そうなんや。でも当時を振り返ると、なぜか練習後に飲むオレンジジュースが美味しかったことを真っ先に思い出しますね（笑）。

ドスJr.　そうだ、そうだ。いつも一緒に飲んだよな（笑）。

CIMA　それが楽しみやったんですよ。ドスカラス・パパがごっちゃんしてくれて（笑）。

ドス父　ハッハッハ、そんなこともあったなぁ。

ドスJr.　僕らは当時まだまだ子供だったから、いつもCIMAと従兄弟のシコデリコJr.と3人でふざけてばかりいたんだ。あとCIMAはスペイン語がカタコトしかしゃべれないのに、冗談ばかり言ってたのを覚えてるよ（笑）。

―そのころからCIMA選手のトークは冴え渡っていましたか（笑）。

CIMA　インチキ・スペイン語でしたけどね（笑）。

ドスJr.　いまは練習は仕事のためにするものだけど、CIMAと一緒にいたころはボクもルチャを覚えたい一心で練習に取りくんでいたから、苦しかったけどホントに楽しかったなぁ。

CIMA　まさにそのとおりですね。自分も凄いワクワク感がありましたし、楽しくて仕方なかったですね。

―お父さんのドスカラスさんは、CIMA選手に対してどんな印象がありますか？

ドス父　CIMAは確か6ヶ月ぐらい

CIMA

1977年11月15日、大阪府堺市出身。173cm、84kg。97年5月11日、メキシコで黒木克昌（マグナムTOKYO）相手にデビュー。クレイジーMAXリーダーにして、闘龍門JAPAN事実上のトップ。ドス親子とは、高校時代にメヒコへ単身ルチャ修行してからの仲。

ドス カラス Jr.

1977年メキシコ・サンルイスポトシ出身。197cm、100kg。ドス・カラスの実の息子。アマレス（グレコ）で数々のタイトルを獲得、シドニー五輪に選ばれるも協会とのトラブルにより断念。昨年8月のDEEPでは謙吾を病院送りにしたメヒコ新世代のスター。

ドス カラス

1951年メキシコ・サンルイスポトシ出身。178cm、96kg。ご存じマスカラスの実弟。70年にルチャデビュー。78年に全日本に初来日、兄とのコンビで人気を集める。近年はみちプロ等でその衰えをしらぬ実力者ぶりを発揮。CIMAとドスJr.の師匠でもある。

CIMAはカタコトのスペイン語で 冗談ばかり言っていたよなぁ（笑）

メヒコにいたんだよな?

CIMA いや、高校の夏休みだけですから、1ヶ月ちょっとですよ（笑）。

ドス父 そうだったか。少なくとも4ヶ月はいたように感じるよ（笑）。

――相当印象深かったんですね（笑）。

ドス父 あのころは月水金に私がルチャを教えて、火木土は息子とウエイト・トレーニングをやっていたんじゃなかったか?

CIMA そうです、そうです！ よく覚えてらっしゃいますねぇ。

ドス父 CIMAは朝9時からいつもひとりでジムに通っていたよ。

CIMA メトロ（地下鉄）乗ってきましたよ（笑）。

ドス父 CIMAはいつも時間通りにちゃんと来ていたよな。「さすが日本人だなぁ」と感心したのをよく覚えているよ（笑）。

――さすが日本人ですか（笑）。

ドス父 息子はいつも遅れてきていたんだ。「CIMAを見習え！」と毎日のように叱りつけていたよ（笑）。

ドスJr. ハハハハハ、でもシコデリコJr.はもっと遅れて来ていたんだから、ボクはまだマシな方だよ（笑）。

ドス父 CIMAはとても真面目な生徒だったな。すごく才能があるから、飲み込みが早くて、非常に教え甲斐があったよ。

CIMA いやぁ、自分は念願のメキシコ行きやったし、しかもドス・カラスさんに教えてもらえるっていうのが、嬉しくてたまらなかったんですよ。

――当時はどんな練習をされていたんですか?

CIMA とにかくルチャの基礎を叩き込まれましたね。

ドス父 そうだな。時間にすると、一日の練習時間はさほど長くはなかったが、かなり内容の濃い練習をしていたよ。

CIMA 最初のころは受け身の練習ばかりやらされて、特に前回り受け身ばっかりで、もう30分に1回くらい吐きに行ってましたね（笑）。

ドスJr. ハッハッハッハ、そうだった。CIMAはいつもゲーゲーやってたなぁ（笑）。

ドス父 あれからCIMAはどんな先生に教わったか知らないけど、本当にいいルチャ・ドールに成長したよ。数年後にナウカルパン（闘龍門メキシコ道場がある場所）に行ったことは知っていたが、CIMAは飲み込みが早いから、ナウカルパンに行っても、簡単にルチャの動きができたんじゃないか?

CIMA それはありますね。確かに闘龍門に入って、メキシコ入りした次の日にもう練習だったんですけど、ホンマすぐついていけたんですよ。受け身もジャベもロープを使う技も全部ついていけましたから、ホント、ドス・カラスさんに基礎を習っていたおかげですよ。

ドス父 CIMAがナウカルパンに行った後「ルチャの基礎はドス・カラスに習った」と言っているという話が私の耳にも入って、とても嬉しかったね。今日の彼の成功は私の自慢でもあるよ。

――CIMA選手とドスJr.選手は、その後お互いルチャ・ドールとしてデビューしたのはご存じでしたか?

CIMA 自分は雑誌を見て知りましたね。

ドスJr. ボクもCIMAのデビューは雑誌で知ったよ。実はあの夏休みにCIMAと練習した後、ボクはオリンピカ（アマレスでオリンピック）を目指したんで、ルチャからは離れていたんだ。でも、親父が日本に行ったときに持ち帰って来た日本の雑誌を見せてもらったとき、「あ！ CIMAが載ってる！」って見つけてビックリしたんだよ（笑）。

ドス父 CIMAは確か日本に帰る前にもサンファンで一度試合をしているんだよな?

CIMA あ〜、やりましたやりました。自分の"非公式デビュー戦"ですね（笑）。

ドス父 わざわざ金を払ってな（笑）。

――え!? お金払って試合をしたんですか?

CIMA そうなんですよ。日本に帰る前にパパさんに「1試合やっていけ」って言っていただいたんですよ。でもメキシコは試合に出場するためにはライセンスが必要じゃないですか。

――あ〜、そうらしいですね。

CIMA もちろん自分は観光客の身なんでライセンスなんて持ってないんで、ボクセ・ルチャ（メキシコ・ボクシング&ルチャリブレ協会）のコミッションの人にこっそりお金を払って、「来週の日曜にサンファンで試合をやらせて下さい」ってお願いしたんですよ。

――それって、もしかしてワイロ…？

CIMA そうとも言いますね（笑）。

――アハハ！ だから「非公式デビュー戦」なんですね（笑）。

ドスJr. あのときボクはシコデリコJr.と一緒に客席でCIMAの応援をした

“チリマ”だけじゃなく“タフコール”という暗号で指示する技もあるんだ

CIMA× DOS CARAS Jr. with DOS CARAS

んだよ。

C－MA　あれは嬉しかったですね（笑）。

ドスJr.　地方のすごく小さな会場だったし、デビュー戦だから誰もC－MAのことを知らないから、僕らがC－MAの名前を書いたボードを作ってそれを掲げてね、「シーマ！　シーマ！」って、一生懸命応援したんだよ（笑）。

C－MA　最高の応援でしたよ。いまでいうWWFチックな応援をすでに8年前からやってくれてましたから（笑）。

――8年前にメキシコでドス・カラスJr.がシーマの応援ボードを掲げてましたか（笑）。

ドス父　あれは確かセグンド・ルチャ（第2試合）だったよなぁ。

C－MA　よく覚えてますねぇ！　あの時の写真はいまでも大事にとっておいてありますよ。今日はそれを持ってこようと思って、部屋中探したんですけど見つからなかったんですよ。たぶん実家ですね（悔しそうに）。

――あれば紙面で紹介したかったんですけどね。今度、実家に帰ったらゼヒ持って帰って来て下さい（笑）。

C－MA　あと、一番思い出に残ったのが、先生にマスクをもらったことですね。当時は自分、マスクのことが全然わからなかったんですけど、メヒコ行ったらやっぱりお土産に買いたいじゃないですか。それで露天のマスク売りのオバチャンが「これがドスカラスのプロフェッショナル・マスクだ」って言うから買うて、先生に「記念にこのマスクにサインしてください」って言ったんですけど断られたんですよ。

――なんでですか？

C－MA　「いや、これはオモチャだから」って（笑）。

――アハハハ！　マスク屋のオバチャンに騙された、と（笑）。

C－MA　そうなんですよ（苦笑）。それで「うわ～、そうなんか」って落ち込んでたんですけど、日本に帰るときに先生が本物の試合用マスクをプレゼントしてくれたんですよ。それがもう宝物ですね！

――いやぁ～、それはホント嬉しいですね！

ドス父　私は初めて日本に行ってから、もう24年にもなるけれど、C－MAのように若い頃の私の試合を見て育った少年ファンが、大人になってルチャ・ドールとして活躍するというのは、私にとっても非常に嬉しいことなんだ。サスケ、デルフィン、ディック東郷、邪道、外道などもみんなそうだ。そして、いまC－MA達の試合を見ている少年ファンからも、いずれはルチャ・ドールが生まれるんだろう。そうやって次の世代に夢を受け継いでいくのがルチャ・リブレだよ。

C－MA　ああ、いいこと言いますねぇ。

ドス父　ゴング・マガジンのシミズを知っているだろ？

――あ、“ドクトル・ルチャ“ですね（笑）。

ドス父　彼なんて15歳ぐらいのときに、私やマスカラスを担いでリングまで入場させてくれた応援団員だったのが、いまやゴング・マガジンのお偉いサンなんだからな。ハッハッハ。

C－MA　なんかお父さんの思い出話になってきてますね（笑）。

――では、ちょっと軌道修正しましょうか（笑）。C－MAさんは、その旧知の間柄であるドス・カラスJr.選手が日本でバーリ・トゥードをやると聞いたとき、どう思いました？

C－MA　いやぁ、サスケじゃないですけど、「イケる！」と思いましたね。

――おお～、ドスの勝利を予想してましたか！

C－MA　彼の強さは自分が身をもって知ってましたからね。とにかく力がハンパじゃなく凄いんですよ！　彼は自分と同じ歳じゃないですか。同い年ということは当時16歳なわけですよ。でも、16歳のパワーしてませんでしたから（笑）。しかも当時から190センチ、110キロぐらいありましたからね。そんな16歳いませんよ！

――モノが違う、と（笑）。

C－MA　凄いんですよ、とにかく。ウエイトなんか軽く3時間ぐらいひっきりなしにやるんですよ。そんなんと

試合は終始ドスJr.ペース。開始早々にカウンターを喰らい一瞬グラついたが、その後はスタンドの打撃でも一歩も引かずに、逆に謙吾を追いつめる場面も。

対するドスJr.はメヒコの国旗を持った美女軍団の先導で入場。名曲「スカイハイ」が流れると、ソラール、和田良覚を上回る会場は大歓声に包まれた。主役はやはりドスJr.だ。

スッカリお馴染みとなった「男の中のお・と・こぉ～」のテーマに乗って入場した謙吾。しかし前回ドスJr.の怒りに火をつけて懲りたのか、マスクはナシ。残念！

文句ナシ！今大会のベウトバウト

ドスJr.　謙吾を終始圧倒するも逆転負け！

2002.3.30 DEEP 愛知県体育館

謙吾（2R3分56秒 チョークスリーパー）ドス・カラスJr.

3・30DEEPで一番の大歓声に包まれたドスJr.の完璧なジャーマン！　かつてＵＦＣでスパーンがやった時は軽量のマシアスが相手だっただけに、ヘビー級の謙吾を投げたのはまさに快挙だ。それにしても謙吾。「今回は逆らわず投げられた」との発言もあったようだが、この投げられ方を見ると、今回も一歩間違えば肩脱臼だったような……。

一緒にやってたんで、自分も1ヶ月で身体変わりましたからね。

――謙吾選手にバーリ・トゥードで勝ったことは、やはりメキシコでも大きな反響があったんですか？

ドスJr.　メヒコのルチャ・マガジンにも大きく取り上げられたから、もちろんファンも喜んでくれたよ。でも、メヒコのファンはバレ・トドについてよく知らないんで、その点は日本ほどじゃないけどね。

CIMA　さっき「イケると思った」って冗談半分で言いましたけど、やっぱり相手が凄い方じゃないですか。それを考えると「厳しくなるんじゃないかな」とは思ったんですよ。でも試合のＶＴＲ見たらアクシデントという部分もあるんでしょうけど、凄いスープレックスでしたね。

――「チリマ」ですね。

CIMA　昔からアマレスやってたの知ってましたし、自分なんか全然かないませんでしたけど、アレ見て改めて凄いなと思いましたね。それから同じプロレスラーとしても、その闘いの場所に行ける勇気というか、心意気を尊敬しますね。

――メヒコのルチャドールはバーリ・トゥードをちっとも恐れずに出てきますけど、この心の強さの秘密は何なんですかね？

ドスJr.　秘密なんかないよ。ルチャ・ドールはいつも"闘い"の練習をしているのだから、我々にとってバレ・トドに出ること自体は特別なことではないんだ。それに「いつでもやってやる！」っていう気持ちはルチャ・ドールなら誰でも持っていることだしね。

CIMA　確かにみんな心はメチャクチャ強いんですよ。「この自信はどっから来るん？」って感じですからね（笑）。さっきもキック・ボクサーと話したんですけど、凄い自信で「明日はやるよ～」って言ってましたから（笑）。

――初のバーリ・トゥードを翌日に控えて、ルチャ軍団のリラックスぶりは凄いモノがありますよね（笑）。メキシコには今回来ているメンバー以外にも、バレ・トドをやりたい選手が何人もいるんですか？

ドスJr.　たくさんのルチャ・ドールが「やってみたい」とは言ってるけど、みんながみんな出るというのはちょっと難しいと思う。それはやはり練習方法も普通のルチャとは違ってくるし、もう少し準備が必要なんじゃないかな。

――やはりバレ・トドには選ばれた選手が出るものだ、と。

ドスJr.　ルチャ・ドールは1週間に5試合ぐらいやるのが当然だから、練習時間を取るのが難しいんじゃないかと思うんだ。ボク自身、バレ・トドが決まってからは多くても1週間に1、2試合に押さえて、バレ・トド用の練習に当てていたからね。

ドス父　ルチャ・ドールは決して闘いを恐れない。だからバレ・トドに出る準備ができているのは当然だが、その中でも特にJr.はずっとオリンピコを目指してアマレスをやっていたから、ルチャ・リブレでもバレ・トドでも同じように活躍できるんだよ。

――昨年8月の謙吾戦でもアマレス仕込みのフロント・スープレックスで勝ったわけですけど、その時に言っていた「チリマ」という暗号について詳しく教えてもらえますか？

ドスJr.　あの8月以降どこへいっても「チリマ」のことを聞かれるな（笑）。でも秘技とかそういうものではなくて、簡単なことなんだよ。試合中にセコンドが「次はスープレックスだ！」って指示を出したら、相手にスープレックスを出すことがバレてしまうだろう？　だから相手に気付かれないように「スープレックス」の代わりに「チリマ！」という暗号で指示を出してもらっていたんだよ。

――は～、なるほど。では野球の「サイン」みたいなもんですね。

ドスJr.　そうだね。ボクのアマレスの

試合後ラウンドガールの腰に手を回しご覧の表情の謙吾。ドスJr.はレフェリングの不備を訴えながらも1勝1敗で次が決着と、ルチャらしく3本勝負を要求。実現なるか!?

謙吾はスリーパーをなんとか凌ぐと、攻め疲れの見えるドスJr.の上になり、渾身のスリーパー。謙吾にとってはまさに九死に一生を得た辛勝だった。

このまま安全策で行けば、ドスJr.の判定勝ちは間違いないところだったが、そんな小賢しい考えは毛頭ないドスJr.は果敢にスリーパーへ。しかし、これでスタミナを消耗してしまった。

極める技術こそないドスJr.だが、ポジショニングでは圧倒。グラウンドでのパンチで謙吾をレフェリーストップ寸前まで追い込んだ。苦痛に歪む謙吾の顔を見よ！

ぜひCIMAとタッグを組んでみたい これは僕達二人の共通の夢だね（ドスJr.）

懐かしのマスカラス・ブラザースポーズを決めるＣＩＭＡとドスJr.。日本とメヒコのルチャ新時代を告げるこのコンビ、ゼヒ闘龍門のビッグマッチで見たい！

CIMA× DOS CARAS Jr. with DOS CARAS

先生はロシア人選手だったんだけど、「チリマ」っていうのは、その先生が子供の頃に使っていた言葉らしいんだ。だから「チリマ」という言葉自体の意味はボクにも分からないんだよ。

——では、「チリマ」以外にも、同じような暗号はあるんですか?

ドスJr.　ああ、いくつかあるよ。あまり話すと相手にわかってしまうから話したくないんだけど（笑）、同じスープレックスでも、腕を取っての巻投げは「タフコール」という暗号を使っているよ。

CIMA　日本で言うサイクロン・ホイップですね（笑）。

——では、明日の謙吾戦でドス・カラスさんが「タフコール！」と叫んだら、サイクロン・ホイップが出る、と（笑）。

ドスJr.　ハハハハ、チャンスがあれば出るんじゃないかな（笑）。

——ゼヒ「タフコール」で勝ってほしいなぁ（笑）。明日の試合に勝つ自信はどのくらいありますか?

ドスJr.　バレ・トドに於いて勝ち負けを予想するのは非常に難しいけど、このための練習はたくさんしてきたし、今日いまの時点で心も穏やかだし、きっと勝てるんじゃないかと思う。もう自分の勝つ姿は頭でイメージできてるよ。

——ＣＩＭＡ選手は明日の「ルチャvs日本選抜」の5対5はどうなると思いますか?

CIMA　自分は生でバーリ・トゥードを見るのさえも初めてなんで、語れる身分じゃないんですけど。やっぱり自分がデビューしたのがメキシコじゃないですか。「メキシコ人がバーリ・トゥードをやる」ということで、「見てみたい」と思ったきっかけみたいな感じですからね。正直言って、純粋な勝ち負けで言えば難しいとは思いますけど、ゼヒ頑張ってほしいですね。

——気分的にはＣＩＭＡ選手も「メキシコ陣営の一員」みたいな感じですか?（笑）。

CIMA　いやぁ、やっぱり自分も日本人ですから五分ですね。でもドス・カラスJr.の試合に関してはメヒコ陣営ですね（笑）。まぁ、勝ち負けっていうのは大事なんでしょうけど、それを越えた部分で明日は楽しみですね。

——そうですよね。一体何をやってくれるのか、ボクも楽しみで仕方ないですよ。

CIMA　自分なんかも今回は「自費で行ったろか」と思ってたくらいですからね。だから今回『紙プロ』さんの取材で来れたんで、闘龍門の他の連中からもうらやましがられましたよ。ホント、明日は楽しみです！

——ドスJr.選手は今後、日本でプロレスの試合に出る予定はないんですか?

ドスJr.　昨年の9月にバトラーツのリングでムラカミ（村上和成）と対戦したとき、日本のファンが凄く喜んでくれたから、もちろん日本でボクのルチャを見せたい気持ちは強いよ。実は日本の某メジャー団体からボクにオファーがあったんだけど、いまはバレ・トドに集中したかったから、ちょっと話をストップしてもらっているんだ。だから、ＤＥＥＰが終わったら正式に出場が決まるんじゃないかと思う。

——そちらも楽しみですねぇ。どうですか、ＣＩＭＡさん。対談のお決まりですけど、ドスJr.選手とタッグを組んでみたいとかありませんか?

CIMA　いやぁ、いずれは闘龍門のリングで実現させたいですよ。16歳のころに出会ってから、まったく違う道を歩いて来たわけじゃないですか。自分は彼の結果というのは、ビデオなんかで見てわかるんですけど、こっちのやってきたことも見てもらいたいですからね。自分がやってきたことっていうのは、すべて闘龍門に詰まってますから。

ドスJr.　いいね。ゼヒ、ＣＩＭＡとタッグを組んでみたいし、闘龍門にも上がってみたいよ。これは僕たち二人の共通の夢だね。

——では、いつの日か行われるであろうＣＩＭＡ&ドスJr.のタッグを夢見て、今日はお開きにさせていただきます。ありがとうございました！

ドスJr.　ムーチョス・グラシアス！

【02年3月29日／名古屋市内某ホテルにて収録】

インタビュー終了後も場所をホテルのロビーに移し、まだまだ話が尽きない3人。この後、ルチャ軍団は試合前日深夜12時にも関わらず、みんなで食事へ出かけていった。ビバ、メヒコ！

闘龍門JAPAN大会日程

■4月
27日（土）兵庫・神戸チキンジョージ　19:00
28日（日）愛知・名古屋国際会議場　17:30
29日（月）岡山市卸センターオレンジホール　17:00

■5月
04日（土）埼玉・越谷 桂スタジオ　17:00
05日（日）埼玉・所沢くすのきホール　18:00
06日（月）神奈川・相模原市立総合体育館　13:30
11日（土）メキシコ・アレナ・コリセオ　14:00（現地時間）
18日（土）三重・津競艇場ツッキードーム　18:30
19日（日）東京・ディファ有明　18:30
21日（火）兵庫・神戸チキンジョージ　19:00
25日（土）広島・佐伯区スポーツセンター　17:30
26日（日）愛知・東海市民体育館　16:00

お問合せ：闘龍門JAPAN　TEL:078-333-9797

そして対談の翌日
ルチャ軍団無念の5戦全敗……されど

ドス カラス（父）が吠えまくった!!

館内を大いに盛り上げ、人気を独占しながらも対抗戦は5戦全敗。鈴木vsソラール戦では乱闘騒ぎとなってしまうなど、いろんな意味でDEEPに嵐を巻き起こしたルチャ軍団。試合後は、レフェリングへの抗議のためか誰一人コメントルームにも、打ち上げパーティ会場にも現れなかったが、本誌はホテルまで追いかけて、ドスカラス父を直撃。すると実に強烈なコメントが帰ってきた。

「パンクラスの連中は、技術もない、人気もない、何もないな」

ファンの歓声を聞けばどちらが勝者かわかるだろう！

——まず、試合の感想から聞かせてください。息子さんであるドスJr.選手は負けてしまったわけですけど。

ドス まず最初に言いたいことは、ケンゴが勝ったのはただのラッキーということだ（キッパリ）。ジュニアの顔は少しも傷付いてないことがそれを証明している。そして非常に残念なことにレフェリーのジャッジに問題があった。ブレイクすべき局面では止めず、止めないでいい局面で止める。レフェリーは日本人びいきじゃないのか？ 例えばボクシングにしても、タイ人やメキシコ人が日本に来ると日本人選手に必ずベルトを獲られてしまう。それはジャッジが日本人をひいきしてるからだよ（キッパリ）。今回の大会でも、日本人とブラジル人の試合（佐々木vsシム）があった。私はブラジル人が勝ったと思ったが、結果は引き分けだった。不思議な判定だと首を捻ったよ。日本人とメキシコ人が闘う以上、レフェリーはアメリカ人にすべきだね。

——それでは、レフェリーがしっかりしていればドスJr.も勝っていたと。

ドス もちろん、簡単に勝てたはずだ。ソラールにしてもファールなどやってない。ファンが一番わかってるんじゃないか？ ファンはどっちを応援していた？ ソラールだろ。どっちにブーイングをしていた？ スズキとかいうボーイにじゃないのか。

——パンクラス勢は「あのファールはワザとだ」と言ってるんですけど？

ドス フフフ（不敵に）。じゃあ、言わせてもらうが、乱闘を仕掛けてきたのはどっちなんだ？ 奴らはマリファナでもやってるんじゃないのか？ あいつらの小便を検査するといい（笑）。そもそもバレ・トドの「トド」というのはスペイン語で「全部」という意味なんだ。今日の大会は我々ルチャドールから言わせれば全然「トド」なんかじゃないと言っておこう！

——パンクラス勢は「バカにするようだったらルチャと全面対抗戦をやって、日本で仕事ができないようにしてやる」と過激な発言もしてますが？

ドス 記者のみなさんにお願いがある。「いつでもやってやる！」と彼らに伝えておいてくれ！ 明日でも構わない。このまま私をメキシコに帰すようだったら、人を殺すための技術にますます磨きがかかることになるよ。

——パンクラスの印象はありますか？

ドス パンクラスなんていう団体は全然知らなかった。今回初めて試合を見させてもらったが、良いところが1つもない団体だね（キッパリ）。客を興奮させるところか冷めさせていただろう？ 客を興奮させたのは我々ルチャドールだ。彼らはプロとして失格だ。そして、技術的にも大したものが感じられなかった。つまり、全てにおいて良いところが何一つない団体。それが私のパンクラスとかいう団体の評価だ。

——対抗戦では全敗ということなんですが？

ドス 負けたとは思ってない。もう一度言うが、レフェリングに問題があったし、ケンゴが勝ったのはラッキーなだけだ。

——バス・ルッテンという有名な選手が「ドス・ジュニアがバーリトゥードの練習を半年でもしたら世界最強になれる」と言っていましたよ。

ドス それは十分わかってることだよ。

——わかってましたか（笑）。

ドス ジュニアはアマレスで世界各国の強豪と闘ってきたんだからね。残念ながらオリンピックの出場は、メキシコ政府とのトラブルでダメになってしまったがね。

——今回は残念な結果でしたけど、我々もドスJr.選手には期待していますから。

ドス 私にはジュニアの他にもう1人息子がいて、まだ15歳なんだが190センチという長身なんだ。ジュニアの影響もあるが、バレ・トドの選手になりたいと言ってるよ。そちらも楽しみにしていてくれ！

ルチャ軍団の総監督的立場で、全選手のセコンドを努めていたドスカラス。ソラールの手を挙げて、乱闘を誘発させたり、いちいちいいコメントを残したりと大活躍であった。いちどドス父のバレ・トドも見たい！

DEEP INTERNATIONAL 2004

VIVA!メヒコ!!

VIVA!

ルチャ・バレトドド軍団に昭和新日魂を見た!

"いなか者"万歳!
VIVA!メヒコ!!座談会

賛否両論まっぷたつに別れた3・30DEEP。本誌的にはもちろん大絶賛なのはいうまでもないが、中でも特に素晴らしかったのがメヒコ勢。対抗戦5戦全敗で、金玉まで蹴ってしまうこの連中の何が素晴らしかったのか、ここでは「ビバ、メヒコ!」の意味を掘り下げます!

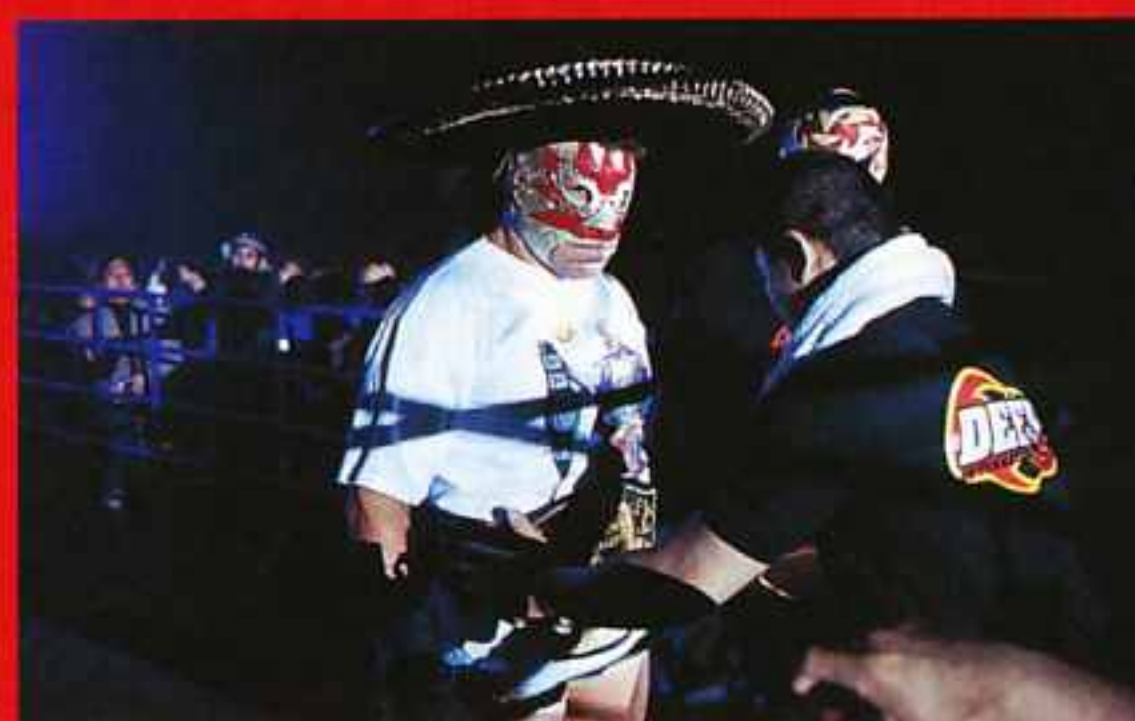
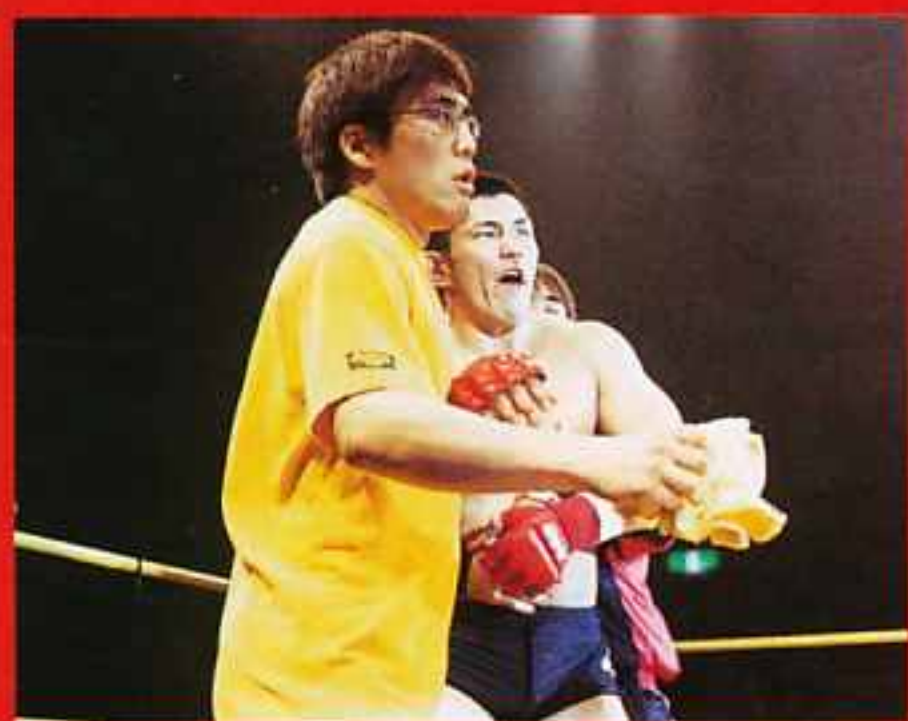
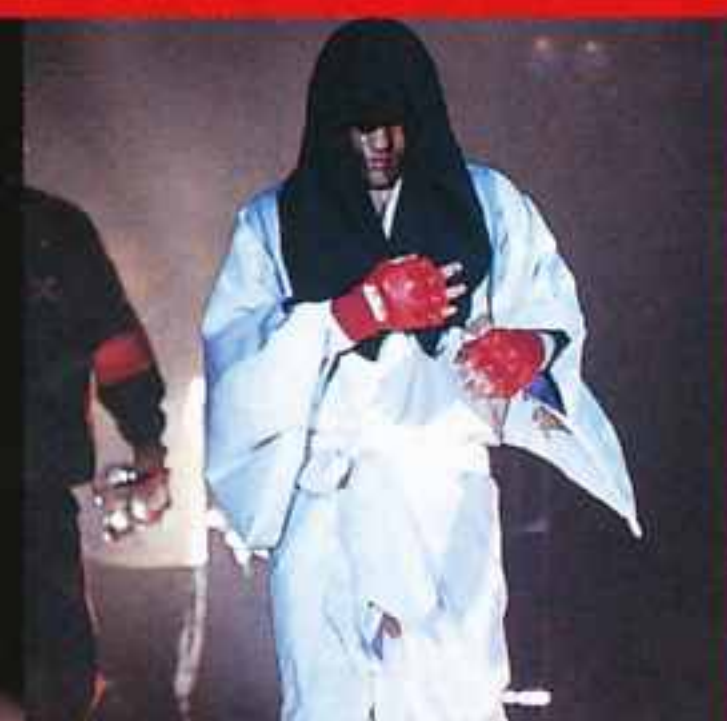
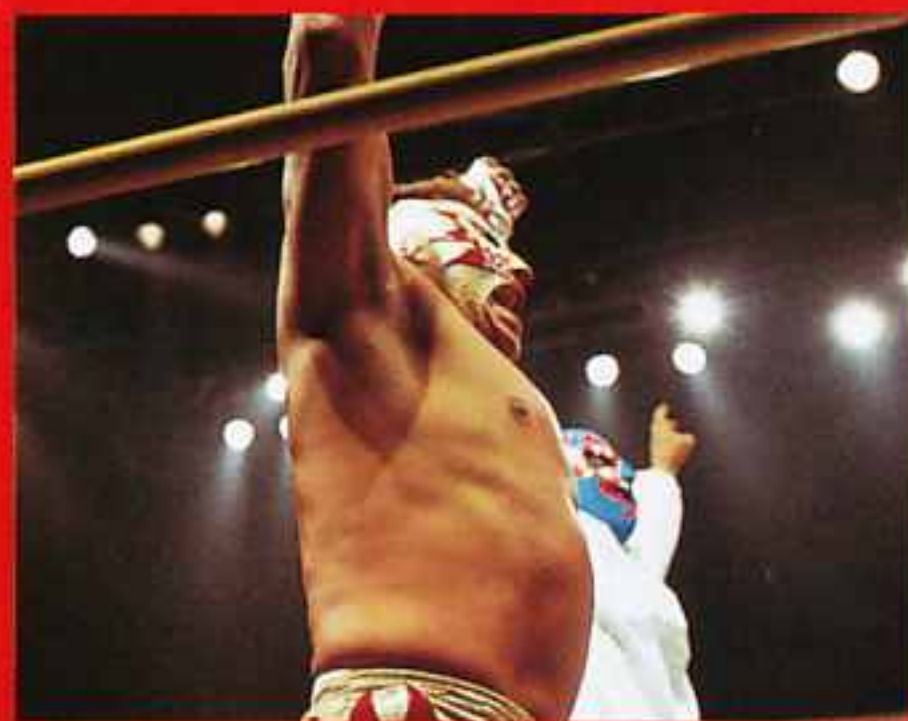
座談会出席者
山口日昇
堀江ガンツ
ささきぃ(新人)

打撃でも一歩も引かなかったドスJr.。打撃を怖がらずグラウンドで下にならないその強さには驚かされた。大会全体を通して、メキシコ勢の積極的な闘いぶりは光った。

山口 なに、ガンツ。『DEEP』の話題だから、ささきぃがいるの？
ガンツ は、はい？
山口 ささきぃがDEEPだってことを言いたいの？
ガンツ （なぜか慌てながら）お、おっしゃる意味がよくわかりません（笑）。
山口 いや、ささきぃが濃いのかなって（笑）。
ささきぃ 嬉しくないですねぇ（苦笑）。
山口 違うよ。濃い人間性をたたえた、驚異の新人が入ったことをアピールしてさしあげようと思ったんだよ（笑）。
ガンツ あ〜、なるほど！（笑）。
ささきぃ う、う〜ん……。
ガンツ さ、それはともかく（笑）、今回のテーマは、3・30の『DEEP』でのルチャ勢の活躍に絞ろうかと思います。リポートしている各誌を見ていくと、雑誌によって、明らかにルチャ勢に対して、最初っからいいところは見つけないようにしてるところと、最初っから好意で見ているところと完全に別れてるんですよ。まあ、それは色分けができていいんですけども、ウチ的にはもう全然、ルチャ勢に対しては、いいとこ探しでいいわけですよね。5戦全敗はしたけれども。
山口 いいとこ探しっていうより、見終わった後に「ビバ、メヒコ！」って思ったってことでしょ（笑）。
ガンツ 確かに「ビバ！ メヒコ」という言葉以外、出てこなかったですからね。でも『格通』『ゴン格』をはじめとした格闘技専門誌、それから格闘技のサイト。技術的な面や、総合格闘技のクオリティという面から見ている皆さんは、非常に困惑した表情を浮かべてるわけですよ（笑）。ボクも関係者から「実に『紙プロ』さん向きの大会ですね」ということをよく言われましたからね（笑）。
山口 なんだよ、そのウチ向きの大会って？「レベルの高い総合格闘技には『紙プロ』は入ってくるな！」ってこと？（笑）。
ガンツ いやいや（笑）。だから、この面白さをわかってない方が多いんじゃないかなぁ、それに、強さという点を、いわゆるバーリ・トゥード（以下VT）のセオリーだけで見てる人ばっかりになっちゃってるんですよね。でも実際メヒコ勢は、弱くなかったですよね？
山口 うん。VTのセオリーっていうことなら、そりゃあメヒコ勢には足りない部分は腐るほどあるよ。だって、やったことないんだから（笑）。
ガンツ VTを知らないですからね（笑）。っていうか、メヒコにはVTは無くて、バレ・トド軍団は誰1人としてヒクソン・グレイシーのことを知らないんですよ（笑）。
山口 ガハハハ！ 素晴らしい！（笑）。
ガンツ でも、呼んでるブッカーの方がですね、ヒクソンと非常に仲がいい方で、ヒクソンのトレーニングウェアは支給されてるんですよ。だから、なぜかみんなヒクソンブランドのトレーニングウェアを着ていながら、誰もヒクソンは知らない（笑）。
一同 ダハハハハ！
山口 さ、ここでじゃあ驚異の新人の意見を聞いてみよう。『DEEP』はどうだった？
ささきぃ あ、はい。いや、ルチャを否定的に見てる人は、マジメな格闘技しか許せないっていう人たちじゃないですか？ 私は凄く面白かったんですけど、格闘技の大会として見ていたわけじゃないような感じがあるんですよ。「ビバ、メヒコ！」っていうテーマと外れちゃうような気がしますけど。
山口 いや、いま、ささきぃが言ったことが答えだよ、『DEEP』の面白さは（笑）。要は座談会も、テーマから外れてても、いろんな意見があっていい。ただし、前向きならね（笑）。大会にもいろんな試合があっていいの。前向きなら。それがつまり、イベントじゃない？
ガンツ そうですね、ええ。
山口 たとえばU-FILE CAMPの大会ね。選手がエントリーして、参加費を払った上でやる競技会に、エル・ソラールが覆面被って出てきて金的を蹴ったら、それは問題だよ。ね？
ささきぃ そ、そうですね（笑）。
山口 それも実際にあったら面白いかもしれないけどさ（笑）。でも、『DEEP』では100%オッケーだと思うけどな、俺は。
ガンツ 金的はオッケーなんですか？

ソラール金的蹴りでみのるに反則負け！
パンクラスとルチャの大乱闘ボッ発！

鈴木みのる （1R 2分26秒 反則） ソラール

ほとんど当たらなかったものの、前へ前へひたすら出ていったのはソラール。そのアグレッシブな闘いぶりは評価されていい。

白装束とマスク＆ソンブレロという対照的すぎるコスチュームで入場してきた鈴木とソラール。この入場の時点で、早くもソラール人気は鈴木を完全に上回っていた。

乱闘になっても大歓声をいいことに客を煽り、勝ち誇るソラールにみのるも激怒。ハッキリ言ってこの表情、試合で見たかった。

ドスカラスはおもむろにリングに上がると、なんとソラールの手を挙げ勝手に勝ち名乗り！ これが乱闘開始の合図となった。

金的蹴りにより、みのるの判定勝ちが告げられると、場内は大ブーイング＆ビバ、メヒコ・ソラールコール！ みのるは実に気の毒。

一発目はかすった程度だったが、二発目はモロに蹴り上げられた感がある金的。鈴木はしばし悶絶。コーナーのドスは平然。

（笑）。

山口　いや、金的がオッケーってわけじゃないけど、ああいうソラールみたいな人が出てくることはオッケー。あそこで金的をやったソラールは、実際に反則負けっていうペナルティを食らってるわけだしね（笑）。

ガンツ　だからメヒコ勢に文句をつける雑誌の方々の言う、競技の確立とか、ヘンに生マジメなことは、いわゆる修斗という非常に素晴らしい、崇高な理念を持ったキチンとした団体があるんだから、もう、そちらだけをしっかりと見ていただきたい。そしてもう、我々のこの、素敵な『DEEP』という領域を侵して、貶めようとしないでくれと言いたいわけですよ、ボクは！

山口　格闘技雑誌が貶めてるの？（笑）。

ガンツ　貶めてますよ、これ！（笑）。

ささきぃ　ルチャ軍団に対して「練習して出直してこい」って書いてるところもありますよ。

山口　俺は、鈴木みのるに「練習して出直してこい！」と言いたい（笑）。

ガンツ　ワハハハ！　VTを全く知らないで普段ルチャやってる人たちがですよ、自分の持ってる技術とケンカ度胸だけで、普段VTの練習ばっかりやってる人たちに、ガンガン立ち向かって行ける。それに、よく見ると殆ど下になってる選手がいないんですよね。必ず上を取る。

山口　うん。だからね、この間の『DEEP』の面白さをひと言で言いましょう！

ガンツ　はい、なんでしょう！

山口　"いなか者"バンザイ！っていうことです！

ガンツ　ワハハハ！　DEEPを"いなか者"で片づけますか！（笑）。

山口　"いなか者"は光るよぉ。つまり、KOKの中でのロシア勢、『PRIDE』その他での一部のブラジル勢。みんな、要は地球規模の"いなか者"だよね。これは別にその国を発展途上だって言いたいわけじゃないよ（笑）。

ガンツ　わかるんですけど、もう少し説明してください（笑）。

山口　要は、メヒコ勢にしても、ロシア勢にしても、ブラジル勢にしても、みんな都会に来て、都会の素晴らしさを知っても、自分の国を愛して、自分の国で暮らすことに愛着を持ってる。つまり、それを技術的な面に置き換えると、KOKルールを初めてやったころのヒョードルなんかは、VTのセオリーをよく知ってるアローナ相手に、柔道とサンボの技術をベースにして闘った。もちろん、ヒョードルはVTのセオリーもKOKのセオリーも知らない。要するに、自分の経験とプライドをベースに闘ったわけですよ。だから、洗練されたバーリ・トゥーダーはやらないようなマウントの返し方とかが見れちゃう。

ガンツ　そうでしたね。

山口　つまり、自分の経験とプライドをベースに闘って勝ったわけ。情報を知ってる、あるいは知りすぎてる都会者に対して、例え知識はなくても、いなかで培った経験とプライドをベースに闘う。こういう"いなか者"がガ然光るし、面白いわけだよ。

ガンツ　いや、ホントに日本人の格闘技の選手がイマイチ面白くないのは、受験でいうと過去問を見てきた人ばっかりなんですよ。

山口　カコモンって何？

ささきぃ　過去問題です。

山口　へぇ～、略してカコモンっていうんだ。受験経験者は違うね（笑）。

ガンツ　傾向と対策ですよ（笑）。要は、いかに失点しないかっていうやり方なんですよね。

山口　でも入学試験終わったら、みんな力尽きちゃうだろ？（笑）。

ささきぃ　それはありますね。

ガンツ　ロシア勢とか今回のメキシコの方々っていうのは、もう失点だらけじゃないですか。

山口　うん。俺にはね、パンクラス勢っていうのは、都会に出てきて2年くらいしかたたないのに、「俺たちは都会で育ったんだぜ！　いなか者は帰れ」みたいな顔してる。そういうカッコ悪さを感じちゃうわけですよ。自分たちだって"いなか者"のクセに（笑）。

一同　ハハハハハハハ（笑）。

山口　これは悪口でもなんでもないで

エル・ソラール 控室でも大爆発!!

これがバレ・トドだ！ 文句があるなら グローブなしでやってやる

ソラール　ハッキリ言って反則という判定には納得がいかない。"なんでもあり"なのに「反則負け」というのは、おかしいんじゃないか!?　なんならもう一度試合をしてやろうか？　今度はグローブなんか付けずに、セコンドもお客さんもレフェリーもなしでやってやるよ。彼に自信があるのなら、いつでもどうぞ。2人だけでやってやるよ。自分は納得していない。蹴りをお腹の下にあてたんだ。それは反則ではない。私はこの試合に自信があったから、やる必要はないんだ。

――鈴木選手と闘ってみて彼の印象は。

ソラール　確かにいい選手だけど、まだ自分に自信がないんじゃないか。途中で自信をなくしたから試合をやめたんだろう。ホントに強い選手なら、最後までやるはずだが、途中でやめるなんて納得がいかないよ。

――最後に、相手方のセコンドが殴りかかってきたような、ああいうことに関してはいかがですか。

ドス　ファンが我々の味方になってくれたのが気に入らなかったんだろう。試合後、手をあげたらファンがそれに応えてくれた。世間が私たちの味方だということだ。

――試合中にもソラール選手に日本のファンの声は聞こえましたか？

ソラール　ファンの声はよく聞こえたよ。「ソラール、ソラール」と私の名前をコールしてくれた声がね。あのファンの声が今日の答えなんじゃないか？　今度はグローブなしだ。私はメキシコシティという、ボクシングとレスリングで有名な街で育ったんだ。素手の方が実力が出せる。

――でも、ここでもう一度やるとなったら、やはりグローブとルールは有りでやることになると思いますが、それでもやりますか？

ソラール　ならこちらにも条件がある。相手がもっと頑張って最後までやってくれるなら、私もやる意味がある。

――いま、鈴木選手は「日本で仕事をできなくしてやる」と言っていますが？

ソラール　面白い。いつでもやってやるからグローブなしでかかってこい！

○横井宏考（3R判定 3―0）メモ・ディアス×

横井はグレコローマン・レスリングで2度五輪に出場しているメモを、何度もテイクダウンし、殴りまくり圧倒。しかし、メモは驚異の粘り腰で決してタップだけはせず、横井の判定勝ち。試合後横井は納得いかない表情。

3・30 DEEP 2001 4th IMPACT 日本選抜vsルチャ・バレ・トド軍

PUTI REVIEW

ガンツ　貶めてますよ、これ！（笑）。

ことです！

リーをよく知ってるアローナ相手に、

山口　これは悪口でもなんでもないで

すよ。わかってくださいね、パンクラスファンの皆さん（笑）。要は、素敵な〝いなか者〟は、ヘンな背伸びをせずに自分が身につけたベースと、気迫、気骨、プライド、絶対に負けないというハートを持って挑んでいく。その〝いなか者さ加減〟がファンのハートを掴むわけでしょ。

ガンツ　ええ。だからもう、『PRIDE』がレベルが上がりすぎて、ある意味でいまは「〝いなか者〟お断り」になってるじゃないですか。だからそういう世界はそういう世界で崇高なんですけども、もともとVTが出てきたとき、いったい何が面白かったかっていうのは、腕に覚えのある、会長（山口日昇のアダ名）の言うところの〝いなか者〟が集まって我も我もと争ってたわけじゃないですか。そういう部分を『DEEP』は思い出させてくれるんですよ。いま、そんなのハッキリ言って貴重ですよ！

山口　でも、いまの『PRIDE』の中でも、ノゲイラとか、サクとか、俺から見ると、素敵な〝いなか者〟なんだよ。やっぱり〝いなか者〟が光るわけ。要は裸一貫、自分の腕一本でリングに出ていく。獲物を掴みにいく。サクだったらレスリングとプロレスで身につけた寝技、ノゲイラだったら柔術をベースにした寝技。一個の強力な武器を携えて、腕一本で都会を制す。獲物を獲ってくる。例えばライオンズ・デンの連中なんかは、ハードディスクにたくさんの情報と知識をセーブしてる都会者って感じなんだけど、俺はやっぱり〝いなか者〟が好き（笑）。メヒコ勢も、いい具合に〝いなか者さ加減〟が出てるんだよね。確かに技術はなさすぎるんだけどね。カフェテリアにランニング1枚で来るのはちょっとなっていうふうに周りが思うのもわかるんだよ（笑）。

ガンツ　ワハハハハ。

山口　でも俺、今回は謙吾が、わりと簡単にドス・Jr.にリベンジするんじゃないかと思って怖かったな（笑）。

ガンツ　去年の8月も、あのチリマにいくまでは、ハッキリ言って圧倒的にボコボコにされてましたからね。

山口　打撃でね。

ガンツ　もう、パンチ打たれて、ヒザを食らって、コーナーに追いつめられて。やっぱり今回も、普通に考えたら「謙吾がアッサリ勝つんだろうなぁ、やだなぁ」と思ってるんですよね。ところがどっこい、ドス・Jr.は本当に強かった（笑）。

山口　俺が新聞記者だったら、翌日は「残念！　謙吾、リベンジ成功！」って見出し付けたね（笑）。

一同　ワハハハハハ。

山口　昨年8月の試合でも今回の試合でも、確かにドス・Jr.はバーリ・トゥードの世界ではド素人。だけど、ドス・Jr.の腰の重さとか、柔軟さとか、気骨の部分とか、ジャーマンで投げきっちゃう思いきりのよさとか、見るべきところは腐るほどあるわけでしょ。洗練された技術だけを見ていこうとすると見えなくなっちゃう部分もある。だから、いま時〝いなか者さ加減〟を見せてくれる『DEEP』っていうのは非常に貴重なんだよ。

ガンツ　我々がもともと、VTを知らなかった時代に、頭に描いていたノールールというものをはそういう部分ですよね。競技になっちゃうような部分じゃなくて。

山口　競技として追求していくっていうのは必要だし、技術面から見るっていうのも必要だけどね。

ガンツ　ええ。でも、それよりも各人のもともと持ってる強さを見たいですよね。

山口　だからパンクラス勢に足りないのは、〝いなか者さ加減〟でしょ。都会者ぶるな！（笑）。

ガンツ　でも今回は、謙吾だからこそ面白くなったっていう部分はありますよね。謙吾が生じっかグラウンドを覚えなかったのがよかったっていうか、いままでグラウンドをあまり練習していなかったお陰というか（笑）。

山口　今回、謙吾は、いい具合に〝いなか者さ加減〟が出てたね（笑）。必死に打ち合ってたし、VTのセオリー以外の気迫みたいなもので勝負してた。謙吾もよかったよね、今回は。勝っちゃったのは残念だけど（笑）。

ガンツ　本当にVTのセオリーをしっかり叩き込んだ人が相手だったら、ドス・Jr.はもっとアッサリやられてたかもしれないですからね。

山口　面白くない勝ち方で勝っちゃう可能性はあるよね。

ガンツ　だから、会長の、去年の8月の謙吾vsドスJr.についての原稿で、「謙吾はナメてる！」と。あらゆるものをナメてると書いたじゃないですか。いろいろ物議を醸しましたけど（笑）。

山口　は？　そんなこと書いた？

ささきぃ　しっかり書いてありました。「謙吾は人間をナメてる」とか（笑）。

山口　ガハハハハ。ヒドイこと書くなあ、俺（笑）。う～ん、なんとなく思いだしたけど、別に、謙吾が格闘技をナメてるとかそういうことを言いたいわけじゃないんだよ。謙吾は自分の可能性をナメてるって思っただけでさ。全然もっともっと可能性はあるんだから。相手や対象をナメるっていうことは、自分自身をナメてるのと一緒だからね。そうやって自分の可能性を閉じる必要はないんじゃないのっていうことを言いたかったんだよ……たぶん（笑）。よく読んでみな、別に謙吾が選手としてダメだとか、人としてダメだとかは言ってないから、俺は。

ガンツ　言ってたように取られてましたねぇ、かなり（笑）。行間を読み切れなかった人がたくさんいましたね。僕も含めて（笑）。

山口　ま、誤解されるくらいどうってことねぇですよ（笑）。でも、今回の謙

VIVA! メヒコ!! 座談会

大苦戦の末、なんとかドスJr.にリベンジ成功した男の中の男・謙吾。今年のベストバウトの声も出たこの試合は、ある意味謙吾が荒削りだからこそ生まれた名勝負と言える。このままのキャラと姿勢で突っ走れ謙吾！

○坂田亘（1R4分5秒 腕ひしぎ十字固め）トロ・イリソン×

契約体重を見事に4キロオーバーし、いきなりイエローカードからスタートしたトロ。敗れたが、上を取る能力はあった。

○近藤有己（1R1分58秒 腕ひしぎ十字固め）キック・ボクサー×

ゴングと同時に切れ味鋭いローリングソバット＆バックブローを叩きこむキック・ボクサー、しかしここまで。寝かされるとダメだった。

吾は素晴らしいよ。俺は謙吾には乗れないけども、今回の謙吾は素晴らしいと思う（笑）。

ガンツ　あの、みっともない部分もさらけ出した部分も含めて。

山口　試合前もかなりナーバスになっただろうし、プレッシャーもあっただろうし。それを克服してキッチリ勝ったんだから、やっぱ大したもんだなって思うしね。勝っちゃったのは残念だけど（笑）。

ガンツ　謙吾は、いままで造られたイメージと、自分でカッコつけるイメージと、そういうイメージで固められてきたわけじゃないですか。それがもう、あの試合中のカッコ悪さ（笑）。そういう部分で、ようやく自分が出てきたっていう。だから、期待できますよね、そして今後の謙吾には。ドス Jr.は、「これで1vs1だから、次が3本勝負の3本目だ！」って言ってましたね。非常にルチャ・リブレらしい（笑）。

山口　それは見たい。なかなかないよ、総合格闘技の中では。3回もやれるのは、桜庭vsシウバか、謙吾vsドス Jr.かっていうくらいだから（笑）。

ガンツ　ドス Jr.は、あと半年練習したらもっともっと強くなりそうな感じがしますよね。VTを知らなくてこんなに強いんですからね。で、まあ、今回はパンクラスを貶めるような発言はしたくないんですけども……。

山口　おまえ、それが目的なんじゃないの？（笑）。

ガンツ　いやいや、次に語らなきゃいけないのは、鈴木みのるvsソラール戦ですよね。で、今回の一番の問題は、さっきの会長の話じゃないですけど、鈴木みのるが、ナメて出てきたってことですね。鈴木みのるっていうのはパンクラスっていう現在はVTの団体に身を置いてる。だけど普段は、なぜかVTの試合はしてなかったじゃないですか。それが、47歳のルチャドールが相手となったら、意気揚々と「やってやる！」と。

VIVA! メヒコ!! 座談会

プロレスと格闘技の２大ハチャメチャ面白団体、ZERO－ONEとDEEPがお互い吸い寄せられるように遭遇！　破壊なくして創造なし！　これからも破壊王、佐伯両代表には常識に捕らわれないプロデュースに期待したい。

山口　凄いよね。しかも47歳でマスク着けてってうのはもの凄いハンデだよ。

ガンツ　それで、逆にソラールっていうのは、普段はルチャ・リブレをやっていながら、日本でこういう真剣勝負のイベントがあります、と言われて「じゃあ一丁、出てやろうじゃないか！」と、47歳で、自分の腕一本で出てくるわけですよね。鈴木みのるは、常日頃から「自分はプロレスラーだ」という発言をしているけども、どちらが「プロレスラー」としてカッコいいかと言ったら、明らかにソラールですよ。「あんな、お面着けて出てくるなよ」とか言ってたけど、だったら、普段から自分もVTやりなさいっていう話になりますよね（笑）。

山口　「真剣勝負とセメントを勘違いしてるんじゃないか」とも言ってたよね。それを聞いて、これはパンクラスイズムだなぁと思ったんだけど、鈴木みのるの中では「セメント＝ケンカ」「真剣勝負＝スポーツ」っていうことでしょ？　で、それに対して金的を蹴ったソラールは、「これがバレ・トドだ！」って言ってる（笑）。俺はそのソラールの発言のほうに乗りたいなぁ。ダメ？（笑）。

ささきぃ　あの〜、鈴木みのるが、去年の謙吾vsドス Jr.に文句つけてたじゃないですか。「あのチリマはただの偶然でしかないのに、あれを必殺技とか言われると、それは違うんじゃないか」みたいなことを。それを聞いたときは、私は、今回のソラール戦は、みのるはやってくれるんじゃないかな！って思ったんですよ。「お前らの理屈はおかしい、俺が本物を見せてやる！」って感じに聞こえたんですよね、私には。で、実際の試合は面白かったけど……ただ、試合後の発言を聞いたら、ちょっと株が下がっちゃったなーって思いました。

ガンツ　単に「俺の方がVTのセオリー知ってるよ！」っていうだけだったと（笑）。

山口　それは知ってるよねぇ。ゲームで言えば普段プレステ2でズッとやってるんだから（笑）。メヒコ勢なんてまだ初期のファミコンだよ（笑）。

ガンツ　おそらくカセットビジョンくらいですね（笑）試合自体も、ソラールはメチャクチャやる気満々で、ひたすら前に出る、パンチをブンブン振り回す……ちっとも当たらなかったですけどね（笑）。そこで鈴木みのる選手が何をしたかっていうと、カウンターでヒザを返したり……小賢しい。

山口　そういうことを言うんじゃないよ。もっと言葉を選べ、言葉を（笑）。

ガンツ　普段やってないだろって！（笑）。それに、実際ソラールは鈴木みのるのタックル2回切ってるんですよ。だから、一概にソラールは弱いとは全然言えないし、金的蹴るのは明らかに悪いんですけど、「苦しまぎれの金的」なんて言われてますけど、コーナーに追い込んでるのは、ソ、ソラールなんですよォオォ！

山口　熱いぞお、ガンツ！（笑）。

ガンツ　だから、鈴木みのるが言うところの「真剣勝負をナメるな！　セメントじゃないんだ」っていう意味での「真剣勝負」という理念をソラールは知らないんですよね。「ノールール＝セメント＝ケンカ＝何でもあり」っていう公式しかない。そりゃあ急所蹴るよっていう（笑）。

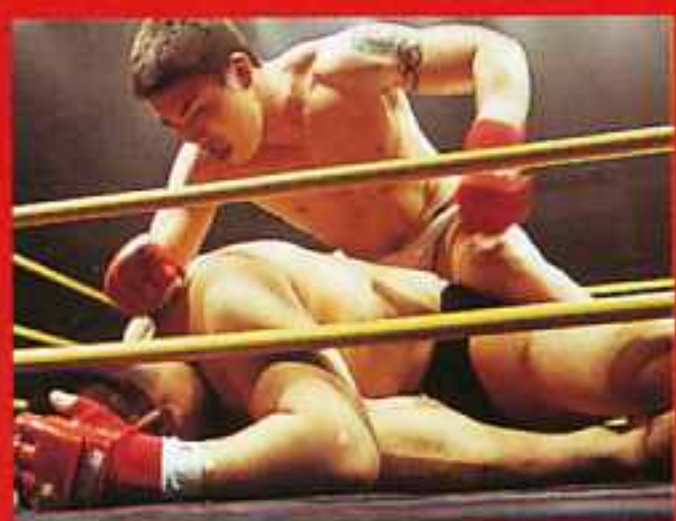
山口　鈴木みのるの言うところの「真

ジョン・ホーキvs村浜武洋

軽量級最強の呼び声も高いホーキはやはり強かった。リベンジに燃える村浜を寄せ付けず、2分31秒腕十字で完勝。

滑川康仁vs渡辺大介

リングスvsパンクラスの一戦は、両者の闘志が空回り。試合はグラウンドで圧倒（でも極めきれず）した滑川が2－0判定で勝利。

長南亮vs秋山賢治

美濃輪、ヤマケンと激闘を展開した禅道会の秋山をU－FILEの長南が殴り勝ち！　長南は6月ミドル級大会出場も決定した。

“ランバー”ソムデート吉沢vs砂辺光久

前回のDEEPでヤノタクを破りその評価が急上昇のランバー。しかし、この日は腕十字を取られたのが響き判定負け。

佐々木恭介vs土井龍晴

U－FILE　CAMPの佐々木は大道塾北斗旗体力別大会準優勝経験もある土井に1R2分51秒、アームロックで勝利。

剣勝負＝スポーツ」を知らないっていうことね。
ガンツ そういう概念がないというか（笑）。だから、「文句があるんだったら、グローブも無しにして、誰もいない部屋に2人っきりで入ってやってやる」という発言に繋がるわけです（笑）。
山口 実に素敵な47歳だなぁ（笑）。
ささきぃ あの〜、日本だと、「真剣勝負」とか「セメント」とか「ガチンコ」とか「プロレス」っていう言葉に、あまりにも多重に意味がついているじゃないですか。
山口 人によって解釈が違ったりね。
ささきぃ はい。「真剣勝負」っていうのは、真剣勝負の中でもこういうやつのことを指してとか、ひと言で「ガチンコ」って言っても、この場合の「ガチンコ」はこういう意味で……みたいな。でも、ソラールとかにしてみたら全部意味は同じなんだなって思いましたね（笑）。でも、巡り巡ると意味は同じはずですよね。
ガンツ だから、ルチャ勢は、昭和の新日の、あの前座の頃の藤原喜明とかドン荒川が、そのままタイムスリップしてきちゃったみたいなもんですよね（笑）。
【ここで吉田豪が、「いまテレビで『DEEP』をやってる」と教えてくれる（テレビ東京『格闘X　パンクラス』）】
山口 ちょっと見ようよ、テレビ。
ガンツ おお！　ちょうど、みのるvsソラール戦ですよ！
【テレビを見終わって】
山口 偶然、『DEEP』の試合が流れてきたわけども、やっぱり素晴らしいね、メヒコ勢は。打たれ強いし、勝負度胸はあるし。
ガンツ 本当にプロレスラーですね。いまや頭の中にしかないかなーと思ってたプロレスラーですよね。
山口 ソラールなんて昭和・新日じゃなくて、昭和・ルチャって感じだね（笑）。
ガンツ なんか本当に昭和新日と同じで、道場ではシッカリやってるんですよね。新日は極めっこだったけど、ルチャっていうのはレスリングなんですよね。道場でみっちりやるのは。
山口 うん。しかしさぁ、いまテレビで見直しても感じたけど、文字通りDEEPな空間だよな（笑）。
ガンツ 純プロレスや純バーリ・トゥードが失った、我々が望んだ空間が、なぜかここにあるっていう（笑）。みのるvsソラール戦の乱闘のときに、美濃輪がまっ先に突っかかっていったじゃないですか。
山口 あのときの美濃輪はよかったねぇ。
ガンツ あそこで美濃輪はマイク取って「ソラール、俺と勝負しろ！　俺がやってやる！」って言ってくれれば（笑）。
山口 そっちの方が盛り上がるよな。そんなプロレスチックなことはやらない、とか言いそうだけどね、パンクラスは。でも、ガチンコってところを守れてれば、そういう展開のほうが面白いよ。でも、ドス・Jr.とかもバーリ・トゥードのセオリーを知って、やればやるほど面白くなくなる可能性もあるでしょ。だから、いまのうちに「ビバ、メヒコ！」って叫んでおきたいんだよ、俺は（笑）。
ガンツ ホント、そうですねぇ。レベルが上がれば上がるほど"いなか者"はどんどん排除されていきますからねぇ。佐伯さんは、実は真面目に色々考える方だから、今回ルチャとの5vs5に対する批判にはほとんど目を通しているだろうし、話にも聞いてるでしょうし、直接も言われてる部分はある。それで悩んじゃったりしてると思うんですよ。
山口 悩む必要は一切ありません！
ガンツ そう！　迷わず行けよ、行けばわかるさ！
山口 総合格闘技の競技として確立させるとか、底辺拡大っていうのは、各ジムや道場が中心にやっていくべきことだからね。
ガンツ 佐伯さんはイベント屋さんなんですからね。イベントっていうのはお祭りですからね。いかに観客に面白いものを提供してくれるか。
山口 でも俺は、競技としての確立とか底辺拡大っていう問題そのものを考える必要はないって言ってるわけじゃないからね。
ささきぃ それは佐伯さんの役割じゃないっていうことですよね？
山口 そう。だから、「ビバ、メヒコ！」「ビバ、いなか者！」「ビバ、佐伯！」（笑）。俺はイベント界の"いなか者"として佐伯さんに光ってほしいよ。『DEEPプロデュース』で、『PRIDE』に1試合くらいカードごと提供して、『DEEP』の知名度でも上げてほしいけどね。
ガンツ そうですね。
山口 『PRIDE』では組めないカードでも、『DEEPプロデュース』だったらできるカードあるでしょ（笑）。和田良覚vsビッグ・ジョン・マッカーシーの「最強レフェリー世界一決定戦」とか（笑）。
ガンツ それはゼヒ見たいですね（笑）。
山口 ま、俺の言いたいところはそんなところかな。あとは若い2人でくっちゃべっててよ（笑）。
ガンツ・ささきぃ お見合いじゃないんですから！

【4月16日／編集部にて収録】

ドスJr.との対談翌日 CIMAが語る 3・30 DEEP 2001

「ルチャドールはカッコ良すぎます！メヒコで修行できたことを誇りに思います」

CIMA いやぁ〜、残念！　でも最高でしたね！　メキシコにいたことが誇りに思える試合ばかりでしたね。みんなカッコ良かったです。ルチャドールはカッコ良かったです！　勝ち負けはもちろんありますけど、カッコ良かったです。特にドスJr.！　あそこでジャーマンが火を吹きましたからね（笑）。勝負も紙一重だったんじゃないですかね？

――紙一重っていうか。はっきり言って最後以外は完全にドスJr.が押してましたからね。

CIMA アイツと8年前に一緒に練習できて良かったです。誇りに思います。最高でしたね。他の選手も実際、実力差はあったと思うんですよ。でも、闘う姿はカッコ良かったです。カッコ良すぎました。自分は日本人なんですけど、それでもメキシコを応援してしまうっていうのは、嘘っぱちな愛国心なんでしょうけど、これはどっから出てくるんですかね!?（笑）。

――観客もなぜかメヒコ側の応援一色でしたからね（笑）。

CIMA （セコンドについた）リッキー（マルビン）も燃えてましたね（笑）。DEEPってアステカさんも闘龍門に上がってましたし、すごく面白くて興味が尽きない大会でしたね。ルチャの原点みたいな大会でした。

――ソラール選手の試合はいかがでした？（笑）。

CIMA ソラールさんはコメントしづらいですけど（笑）。あれ（金的）は故意ぼっかたんで、何とも言えないとこなんですけど……入場だけでもお腹一杯でしたね（笑）。身体のハリとかもあったし、「調子いい」って言ってましたしね。

――とても47歳には見えませんよね。

CIMA ソラールさんは試合については、最後に先生（ドス・カラス）が勝ち名乗りを上げているのが最高でした（笑）。

――ガハハハ！　反則負けなのに（笑）。

CIMA あと、鈴木さんがブレイク・タイムを取ってるときに（観客の）コールを煽ってたじゃないですか？　タダモンじゃないなって思いましたね（笑）。

――あの殺気だった状況で（笑）。

CIMA メキシコ人は心臓が強いんだろうなって思いました。

――数々の修羅場をくぐり抜けた男達っていう感じが凄くしますよね（笑）。

CIMA 人を平気で撃ち殺せるっていうのはホントなんじゃないですかね!?（笑）。もちろん日本人の選手の強さも改めてわかったんですけど、やっぱりメキシコ人はカッコ良かったです。これを機に闘龍門も頑張らなきアカン（笑）。闘龍門もこのルチャの誇りを持って、もう一回兜の緒を締めなアカンですね。昨日も11期生が20数名入門したんですけど、今日学んだルチャの誇りを植え付けていきたいですね。今日はホントに最高でした！

6.9 DEEP 2001 5th IMPACT
ディファ有明

DEEPがまたやってくれた!

最強伝説再び!

和田良覚 VS 元ニーハオ決定か!?（宮沢 誠）

DEEP JAPAN
ミドル級トーナメント開催!

元ムエタイランカー
VS柔術世界王者実現!

DEEPは今度も凄いぞ!

最強伝説再び！

ルチャvs日本選抜対抗戦を軸とした3・30名古屋大会で過去最高の盛り上がりをみせ、"何が飛び出すかわからない"格闘イベントとしての地位を確立した『DEEP』が、早くも次回6・9DEEP5th・ディファ有明大会の主要カードを発表。3・30でも話題沸騰した"Uインター最強最後の秘密兵器"和田良覚のデビュー第2戦がほぼ確定した！

"最強伝説第2章"となる今回の相手を努めるのは、4月20日現在まだ正式には発表されてないが、現時点での情報ではなんとニーハオ（宮沢誠）が濃厚だという。

ニーハオ（宮沢）は、ボコボコに殴り合う過激な"地下室マッチ"を行っていた『キャプチャー』で活躍し、昨年からは谷津嘉章のバーリ・トゥード路線を支援するオフィス荒武者に所属。谷津vsグッドリッジではセコンドも努めている。もともとアマレスで実績があり、コンバットレスリングでも優勝経験があるなど実力は確かであり、アステカ戦ではその片鱗しか見えなかった和田最強伝説の全貌がいよいよ見られそうだ。

そして今大会のメインとなるのは、82キロ以下の日本人選手8名による『DEEPジャパン・ミドル級1DAYトーナメント』。この団体の垣根を超えたメンバーが揃った中、本誌が注目するのは、ヤマケンのジム『パワー・オブ・ドリーム』離脱後、表舞台から姿を消していた梁正基の久々の登場。ケンカを信条とする男だけに、大会に緊張感を運び込み、台風の目となることは確実だ。

この他にも、元ムエタイのランカーであるランバーと、現役柔術世界王者メロの一戦という、立ち技vs寝技の頂上対決とも言える"異種格闘技戦"が組まれるなど、今回も幅広い見どころがたっぷり。ZERO-ONEと並んで、いま最もハチャメチャな面白さが爆発しているDEEPを見逃すな！

トーナメント出場メンバー

- 上山龍紀（U-FILE CAMP）
- 長南亮（U-FILE CAMP）
- 窪田幸生（パンクラスism）
- 石川英司（パンクラスGRABAKA）
- 星野勇二（RJW/CENTRAL）
- 村浜天晴（ワイルド・フェニックス）
- 梁正基（スタンド）他1名

日高郁人（フリー）VS 伊藤崇文（パンクラスism）

"ランバー"ソムデート吉沢（M16ジム）
VS
アリソン・メロ（ノヴァ・ウニオン）

DEEP2001 5th IMPACT in DIFFER ARIAKE
2002年6月9日
（14：00会場、15：00開始）

入場料

SRS	¥10.000
アリーナA	¥7.000
アリーナB	¥5.000

問い合わせ
DEEP2001事務局
052-339-0303
http://www.deep2001.com

WRESTLEMANIA X8

ザ・ロックやHHHを
押しのけて、
神が再び
WWF降臨!!

ハルク・ホーガン
神が降臨!!

"神"は生きていた！　プロレス業界最大&地球規模の超ビッグイベント『レッスルマニア18』でハルク・ホーガンが"神"となって大復活を遂げたのだ。本誌は敢えてカラー16ページを割いて、この超常現象を多角的にレポートしたいと思う。もちろん「すでに1ヶ月前の出来事をなぜ今さら特集するの？」と突っ込まれるのは覚悟の上！　でも、やるんだよ！　そこに、プロレスの本質があったから！

WWF幹部も予想だにしなかったホーガン大復活の"謎"を解け！

構成／スモーノブ
designed by さおとめの事務所

レッスルマニア18で“超人”ホーガンは“神”になった!!

文／スモーノブ

What!? ロック様に大ブーイング!? ホーガンに突如大声援発生!!

「ハルク・ホーガンの伝説はWWFで作られた」

「だが何かが変わっちまった。お前らは俺から離れていった」

「俺はこの団体を追われた」

「WWFを不動のものにしたのは俺だ」

「今日のレスリング人気を築いたのは、この俺だ」

「俺ほど客を集められるレスラーはいない！」

「俺は古今東西のプロレス界最大のスターだ」

「俺を越えるスターが生まれることはない！」

すべてホーガンのセリフである。衝撃のWWF復帰からレッスルマニア直前まで、ホーガンはあくまでもヒールとして振舞っていた。言ってる内容は、たしかに的を得ている。ただ、その態度は傲慢かつ高飛車！　嫌らしさ全開だった。

ところが、今年のレッスルマニアで奇跡が起こる。〝超人〟ハルク・ホーガンが突如、大復活を遂げたのだ！　あの汚らしい泥棒ヒゲを生やして、頭には〝ハリウッド〟と書いてあるカッコ悪いバンダナを試合途中まで巻いてはいた。しかし、リング上には、紛れもない〝超人〟ハルク・ホーガンが帰ってきてしまったのである！　もっと言ってしまえば、このレッスルマニア18で〝超人〟は〝神〟になったのだ！

●

「貴様を追い出したのはファンではない」

「それどころかファンは貴様を信じていたのだ」

「そして、この俺様も！」

変わり果てた姿のかつての英雄に向かってロックはそう言い放った。相手をこき下ろすことばかりしてきたロックが、初めて相手に対するリスペクトを口にしたのは、正直驚いた。そして、ロックは憧れのホーガンへと挑んでいく。

試合そのものは、非常にオーソドックスな展開だったように思う。ただ、オーソドックスではなかったのは、両者のポジションだろう。対戦相手のロックは、本誌で何度も取り上げてきたようにWWFきってのベビーフェイスであり、全世界的な人気を勝ち得た現時点で最高のスター……のはずだった。3・1の日本大会でも大声援が飛んでいたのは記憶に新しい。それが、どうだろう？　ハルク・ホーガンと対峙した瞬間に観客から容赦なくブーイングが飛ばされ、ロック自身も途中からはヒール・マナーに則ったベルトによるムチ打ち攻撃などを繰り出したために、「ROCKY SUCKS!!」の大合唱！

約8500円で購入したが、洋書なので定価は不明。オールカラー192ページでDVD付だ。英語がスラスラ読めればなぁと思う。

早くも今年のベストバウト候補NO.1!!
ホーガンが時間を止めてしまった！

加速度的に観客のヒートは増していった。

一方のホーガンは試合開始早々、ロックを突き飛ばしてマッスル・ポーズを取っただけで、アッ！という間に68237人の観客が総立ち状態に突入！　一瞬で、スカイドームを〝総ハルカマニア化〟させてしまったのだ。

そして、極めつけは、ロックボトムを食らったホーガンが全身をプルプルと震わせながら立ち上がる〝ハルクアップ〟！　そして、人差し指を突き立てての〝Whatcha gonna do?〟　ハイキックから「アンドレを葬ったあの一撃が！」という実況ジム・ロスの泣かせるコメントとともに〝ギロチン・ドロップ〟が炸裂！　この時点で場内のハルカマニアは完全に大爆発！

これでホーガンが勝っても誰も文句は言わなかったはず。しかしながら、ロックはこれをカウント2で返すとロックボトムからピープルズ・エルボーの必殺フルコースでホーガンを仕留めたのだった。時計の針は、やはり動いていた。しかし、ホーガンはその針を止めようと踏ん張った。そして、ギロチンドロップが炸裂するまでは、確実に時間が止まっていた。いや、この空間だけ80年代に戻っていた！時間を司るのは神の業。ホーガンは、この瞬間、アメリカンプロレスの〝神〟となった！

WM18に神降臨

この試合を見終わった後、僕は洋書屋に駆け込んで、早速ある写真集を買ってしまった。昨年発売された『WRESTLEMANIA:THE OFFICIAL INSIDER'S STORY』というタイトルの写真集で、1985年から2000年までのレッスルマニアがすべて網羅されている分厚い本だ。嬉しいことに過去のレッスルマニアのDVDがついており、ダイジェストながら試合の模様やインタビューなども収録されている。少々お値段は高かったが、この内容には大満足している。

その中でも一際目を引いたのが、初期のレッスルマニアの豪華絢爛ぶり！　特にレッスルマニア1に登場する人物たちの濃さはもうタダごとではない。

（上）昨年WWFに復帰したリック・フレアーの試合も、最近のPPVでは欠かせない。クラシカルなアメプロを現代風に展開しているのだ！（左）ジェリコから王座を奪取したHHH、次の挑戦者はホーガンなのか!?

サブ・レフェリーとして登場して途中ロディ・パイパーに強烈フックを叩き込むモハメド・アリ、80年代WWFを語る上で欠かせないシンディ・ローパー、よく知らないけどリング上でカンカンを踊るお婆さん、そしてアディダスの三本線がまぶしいコスチューム姿のミスターT、〝スーパーフライ〟ジミー・スヌーカー……だが、そんな中で主役を張るのは、やはりホーガンだった。これだけのメンツが揃っても決して役者負けしない存在感はさすが！としか言いようがない。

85年から93年まで、ホーガンは9回のレッスルマニアで主役を張り続けてきた。実際にDVDで見てみても、ホーガンのテンションの高さと洗練されたアクション、そして全身から発せられるカリスマ性は時代を超えて僕の胸に突き刺さってきた。レッスルマニアで〝伝説〟に触れて、やられてしまった人には是非この作品をオススメしたい。ホーガンが、ただのお子様向けのヒーローだと思い込んでいる人にこそ見て欲しいと思う。何が凄いって、ホーガンは観ている人を全員「お子様」にしてしまうオーラを身に纏っているのだから！

試合内容も素晴らしいものがある。レッスルマニア3でのvsアンドレ・ザ・ジャイアント戦やレッスルマニア5でのvsマッチョマン戦などは、先に述べたレッスルマニア1の試合同様、現在のWWFの下敷きとなっているのは間違いない。そして、先日のレッスルマニア18で僕らが大興奮した、あの〝ハルクアップ〟→〝ギロチンドロップ〟→〝Whatcha gonna do?〟の一連のフィニッシュまでの流れも「昔のまま」なのだと再確認出来るはずだ。「昔のまま」だけど、そこには大きな時の隔たりがあるのも事実である。マッチョマンから3カウントは奪えたが、ロックからは3カウントを奪えなかったわけだし。

●

試合後、nWoのケビン・ナッシュとスコット・ホールが、ロックと握手したホーガンを制裁すべくリング上にやってくる。デカい2人にボコボコにされるホーガン！　これがじつに悲しく見える。闘い終えてボロボロなところに、2対1ではなす術がない！　と思ったところにロックが再び登場！　協力してnWoを撃退した。ホーガンが観客に親指を突き立てて、ロックを称えると場内からはもちろん大歓声だ！　すると今度は、帰ろうとするホーガンをロックが引き止めて、耳に手を当てる〝あのポーズ〟をやってくれ！と要求すると観客も大声援で後押し！　初めは戸惑い気味のホーガンだったが、声援の大きな方向に向かってマッスルポーズを披露していく。〝ロック様の妙技を味わいやがれ！〟とはロック様の決めゼリフだが、〝ホーガン様の神業を味わいやがれ！〟とばかりに疲労困憊ながらもノリノリでポーズを決めていく。大仕事をやり終えた安堵感だけではなく様々な思いがホーガンの胸には去来していたのだろう、何とも言えない表情でマッスルポーズを作り続けるホーガンに僕はグイグイと引き込まれていった。

それを見守るロックの顔が、何とも言えない優しげな表情だったのが印象的だった。きっと、テレビの前の僕も同じ顔をしていたんだろうと思う。〝神〟がリングに降りてきた試合――ホーガンvsロックこそ〝プロレスの真髄〟だ！

WRESTLEMANIA X8

3.17　カナダ・トロント　スカイドーム

聞き手／スモーノブ
撮影／阿部タケシ

ハルカマニア 座談会

「やはり今年のレッスルマニアは ホーガンvsロック に尽きる!!」

残念ながら、今年もまた『紙プロ』編集部からは誰一人として『レッスルマニア・ツアー』に参加できなかった。史上最大のプロレス大会の模様をリポート出来ず、読者の皆様には「正直スマン！」と謝りたい気持ちで一杯だ。金と時間さえあれば参加したいのだが、『紙プロ』編集部には金も時間もないので、それは叶わぬ夢……なのか？というわけで、今年もツアーに参加してきた本誌周辺の方々に座談会をお願いした！そこで彼らが見たものは、"神"となって再び姿を現したハルク・ホーガンだった！現場で見てきた"ちょっといい話"も満載で今年もバッチリお届けします！

まずコチラからお読みください

"致死量の毒"とハルカマニア ～ホーガン大復活in WWFまでの道～

文／阿部タケシ

ハルク・ホーガンのWWF復帰にハルカマニアが熱狂している。そんなホーガンがWWFに復帰するまでのWWFは混迷を極めていたのも事実。ホーガンがWWFに復帰する約一年前、WWF はWCWを買収した。そしてWCW軍とECW軍を結成させ、WWFとの全面対抗戦に突入。しかしこの抗争はそう長くは続かず。なおかつスティングやゴールドバーグは不在。それにWCW のロゴまで変わってしまって正直リアリティが薄く、視聴率もあまり伸びなかったのも事実。そんな世間の評価をすばやく察知し、WWFはこの"なんちゃって全面対抗戦"にピリオドが打つべく、2001年11月に行われた『SERVIOR SERIES』にてビンスWWFとシェイン＆ステファニーECWCWの決着戦をマッチメイク。結果はECWCW軍が敗北し、翌日のRAWでシェイン＆ステファニー＆ポールEが更迭。この時点でファンは「WWFに明るい未来が見えません！」と思ったはず。しかし、「見つけろ！テメェで！」とばかりに投下されたのが、なんとリック・フレアーだったのだ！　フレアーはWWFに吸収されたWCWナイトロ最後の放送で、「オレはWWFなんかに屈しないぜ！」と粋なアピールしてたが、あっさりとWWFと契約し我々を驚かす。それに、与えられたポジションはビンスとの共同オーナーだから開いた口がふさがんネェ！　2002年1月の『ROYAL RUMBLE』にて両オーナーはシングルマッチで激突。しかしビンスはフレアー敗北。ビンスは「でもWWFはボクが創り上げたの！」とばかりに、「修行とは出直しの連続なり」と藤原喜明を招き入れたアントンのように、月曜TV戦争時代に散々な目に遭わされたホーガン率いる"オリジナルnWo"の投入を宣言。そして、ビンスは「WWFに致死量の毒を!」と言い放ち、ホントに彼らをWWFのリングに招き入れてしまった！　ホーガン復帰という"毒"はすぐさま視聴率に影響した。2/18、nWo登場の『No Way Out』翌日の『RAW』の視聴率は4.7％、前週比0.3％増。続く2/21『SMACK DOWN』=4.5％(前週比0.6％増)、2/25『RAW』4.7％(先週と変わらず)。ここから『レッスルマニア18』までは視聴率は落ち込むことなくキープし、『レッスルマニア18』ではロックvsホーガンの世紀の対決。ホーガンはロックに敗北し、絶対ヒーローに目覚めnWoを脱退。その翌日の3/18『RAW』は5.3％（ドラフトをアナウンス、メインはロック＆ホーガンVSホール＆ナッシュ。前週比0.8％増）、3/21『SMACK DOWN』4.3％(Xパック乱入、ウルフパック結成。前週比0.3％増)、3/25『RAW』5.4％（ドラフト会議開催。前週比0.1％増）とnWo登場からホーガンのフェイスターンだけで視聴率は上昇！　さらにWWFの通販サイト"WWFShopzone.com"ではここ数週間、オースチンの「What?」Tシャツを押さえ、ホーガンの"ハルカマニア"Tシャツが売上枚数も"ハルカ（はるか）"に上回っている（駄洒落恐縮）。行き場をなくしつつあったハルカマニア（ホーガン信者）を振り向かせ、WWFにとって追い風となる経済効果を生んでいるハルク・ホーガンは"致死量の毒"どころか、WWFにとって解毒剤になってしまった。そして2002/4/21の特番バックラッシュでいきなりホーガンはHHHの統一王座に挑戦。そりゃオースチンもジェラシー妬くって！

"ヒーロー"は進行形じゃなくて記憶なんです
そりゃ（ホーガンには）かなわないですよ（二郎）

――え～、去年も同じような企画をやりましたけど（本誌37号参照）、今年も『レッスルマニア』に参加した皆さんにお話をうかがう座談会を開催したいと思います！　いきなりですけど、今年はいかがでしたか？

二郎　今回の『レッスルマニア』は、とにかくホーガンに尽きるね！　ホーガンが猪木化しましたから。それも世界レベルの猪木に（笑）。北尾vs髙田で髙田がハイキックでKOした時も歓声が鳴り止まなかったけど、今回はそれが15分間ずっと同じテンションで続いてたからね。

イナズマ　歓声で隣の人がしゃべってるのに聞こえなかったもん（笑）。

阿部　『レッスルマニア』の翌日の『RAW』なんか、ホーガンがマイクで喋ろうとすると歓声が沸き起こって全然喋れない状況が5分ぐらい続いてましたよ（笑）。

イナズマ　ホーガンが噛みつき攻撃やっても、大歓声だからね（笑）。

笠井　ホーガンが攻撃すると大歓声で、ロックが攻撃するとブーイングなんだもん。それがずっと延々と続いたから、途中からどっちがどっちの歓声がわからなくなって、最後には何やっても大歓声になって（笑）。

二郎　ロックのブーイングも最初は少しだけだったんだけど、ロックがベルト使って反則攻撃し始めてから観客も吹っ切れて大ブーイングが起こったんですよ。昔の全日本プロレスで三沢＆小橋が馬場＆ハンセンと対戦したときに、自然と馬場が全部持っていった試合がありましたよね？

笠井　同じような感じで猪木vsベイダーっていう試合もあったでしょ。

イナズマ　HHHが現地のTV番組のインタビューで「俺はメインでタイトルマッチだけど、ベーブルースが復活してきたら4番は譲るもんだろ？」みたいなことを言ってましたよ。

――現場もリスペクトしてるんだ？

阿部　いや、評判悪いみたいですよ、nWoの3人。特にスコット・ホールに関しては（笑）。

二郎　オースチンなんか強烈に拒絶して『レッスルマニア』の翌日から欠場しちゃったんですから。

阿部　ダッドリー・ボーイズも「ホーガンのことだけは喋るな」って言ってるらしいですよ。これはあるマスコミ関係の方から聞いた情報なんですけど（笑）。結構、「出番がなくなった」という不満の声があるらしいですね。

――ホーガンがその大人気で突っ走っていったらどうなると思います？

二郎　来年のレッスルマニアはホーガンの大勝利＆ハッピーエンドでいいと思います（笑）。もし、オレが今年のロックvsホーガンのレフェリーだったら、ホーガンがギロチンドロップ入れた瞬間に高速3カウントを入れてましたね（笑）。実際、あそこにいた客もそれを望んでましたよ。

笠井　う～ん。でも、今年はロックに勝ってほしかったな。この流れに飲まれてロックが負けたら泣いてた（笑）。

二郎　ああ、それじゃダメだ！　浅い！　それは、ランディ・サベージとエリザベスの結婚式で泣けないタイプですよ（笑）。オレはあの結婚式（ニセ結婚式）でワンワン泣いて見てましたからね。あのときプエリトリカンの太ったオバさんとかワンワン泣いてましたもん（笑）。

笠井　まだ、浅いのかぁ。俺なんか、にわかファンだからね（笑）。オレはホーガンのすべてを見てきたわけじゃないんだけど、今回のレッスルマニア見たら「ホーガンは凄いよ！」って思ったよ。

二郎　ホーガンぐらいになると、何かの機会に絶対見てるんですよ。

――「ロッキー・バルボアを倒したように、ロックも倒す」ってレッスルマニアの試合前に言ってましたけど、映画『ロッキー』にも出てるんですよね（笑）。

笠井　そういう貯金がある人は凄いよねえ（笑）。何やっても重みが違うもん。貯金は大事だよ。

――猪木さんも「アリと闘った男」という貯金は相当デカいですよ。

二郎　オレから見たら、まだロックはホーガンに全然かなわない感じですね。今のロックの人気が10年続かないと、ホーガンには対抗できないと思うもん。

阿部　逆に、ロックにとっては大きな貯金ですよね？「俺はあのホーガンと闘ったんだ」っていう。

笠井　ホーガンにロックを当てたのも、そういう狙いはあったよね。

二郎　最初、レッスルマニアはホーガンvsオースチンだっていう話もありましたよね。行く前は、それもアリかなって思ってたんだけど、フタを開けたら、ロックで良かったなって思いますね。つまり"スーパースター決定戦"ですもんね。どっちが強いかじゃなくて、どっちが"ヒーロー"かを決める闘いでしょ？　それは凄いよ。でも、"ヒーロー"って進行形じゃなくて、記憶なんですよ！　記憶が古い分、みんなホーガンを応援してるんですよ。

阿部　20世紀vs21世紀のヒーロー

大会前に行われたファン感謝イベントに登場した"ハリウッド"ホーガンは、会場でアンドレ・ザ・ジャイアントの等身大POPを発見すると、グッと抱きしめ、そして涙を流した……こっちまで泣けてくるよ（撮影・笠井修）

座談会　出席者プロフィール

阿部タケシ（ライター）with TAJIRI
最近の口癖は「会社辞めました」。TX系「ライブワイヤー(http://wwf.yukes.co.jp)」WEBにてコラム＆ヒストリーを担当する他、某誌においてAVのレビューを細々と執筆中。その記事が皆さんへの"致死量の毒"になったら是幸い。

笠井修（デザイナー）with DDP
あ、WWFすきなんですか？僕もわりと。2回程、レッスルメニヤ見に行ったぐらいで。あの、ベノワじゃなくて、ベンワーですから。

イナズマ☆K（ライター）with Kurt Angle
音楽ライター兼プロレス格闘技探究家。最近は音楽もの書く時は土屋恵介にしてます。ファン列伝に登場してくれたドラウニング・プールのレッスルマニアで演奏する夢がかなって良かったねえ。

ハチミツ二郎（芸人）with William Regal
本誌WWF企画では、すっかりお馴染み二郎さん。相方・松田大輔とともに「東京ダイナマイト」として活動中。5月1日（水）なかの芸能小劇場でライブがあります！
詳細はhttp://www.tokyodynamite.comで

でっかい物語に参加してんだよね、みんなが。客がナメてないもん。それが凄いと思った（笠井）

対決ですから。

二郎 とはいっても、21世紀はまだ2年しか経ってないから（笑）。そりゃ、かなわないですよ。ホーガンはニック・ボックウインクルとも闘ってるんだから（笑）。

阿部 僕もレッスルマニアから帰ってきてから、日米レスリングサミットのビデオを見直しましたよ（笑）。思わず歴史を紐解いちゃいました。

――他の試合の印象はないですか？

笠井 （しばらく考え込み）他に何の試合があったっけ？（笑）。

阿部 メインが（クリス）ジェリコとHHHの世界王座戦だったんですけどね。セミが女子王座のタイトルマッチでしたっけ？

イナズマ ああ、そういえばそんな試合もあったねえ……（遠い目）。

二郎 はっきり言えば、今年のレッスルマニアは去年よりクオリティー低かったですよ（キッパリ）。

阿部 確かに、全体的に見たら去年の方が良かったですね。今年は試合の順番も変だったなぁ。もう来年は球場興行はやめてほしいですね。もっと狭い空間でやってほしいです。

――映像で見る限りはムチャクチャに盛り上がっていましたけど？

阿部 空気が散漫になってしまうというか。新日のドーム興行を見てるみたいな雰囲気なんですよ。

――それは嫌かもしれない（笑）。

阿部 今回はいい夢を見ましたね。

笠井 そうだよ！ 俺たちは確実に伝説を見ちゃったわけじゃん。

阿部 絶対に末永く語り継がれる試合ですよ。その空間にいられたのは幸せですね。

イナズマ あの空気感っていうのは、そのときしか味わえないからね。

阿部 言葉で伝えられないのが残念ですけど（笑）。ズバリ一言で言っちゃえば、「アメプロの真髄が見られた！」っていうか。

イナズマ 日本とアメリカのプロレスの違い云々と言うよりも、「あの試合を見てアメリカの文化を知りました」って感じかな（笑）。

二郎 やっぱりプロレスっていうのはアメリカのものなんですよ。

笠井 そうだよね。アメリカ人って、ビール飲みながらバカみたいに楽しんでるかと思ったら、そうでもないんだ。全部の歴史を知った上で楽しんでるだよね。それが驚きだった。

二郎 JRの実況にしてもそうだもんね。オースチンが試合中に繰り出す"空中胴締め落とし"を「ルー・テーズ・プレス！」って言うじゃない？ そんな伝説のレスラーの名前を出してもアメリカ人にはわかるんですよ。

笠井 でっかい物語に参加してんだよね、みんなが。客がナメてないもん。それは凄いと思った。

二郎 レッスルマニアの会場の前にいると、明らかに実券が完売したなっていうのがわかるんですよ。実券が完売した興行のテンションの高さって凄いですよ。もう、今回のレッスルマニアはホーガンが、メキシコでいうところのエル・サント、日本でいうところの馬場・猪木に並んでホントのアメリカの英雄の域に達した瞬間が見れた大会でしたね。

阿部 なんか辿り着くところまでいっちゃったなって思いましたよね。

二郎 プロレスの最終回を見たような気がしませんでしたか？ 俺はもうこれ以上プロレスを見なくてもいいですもん！ ファンとして卒業してもいいかなってぐらいですよ。もちろん卒業はしないですけど（笑）。

――ヒールとしてホーガンを担ぎ出して、ベビーのロックと対決する……というWWFが用意したストーリーを試合が超越しちゃってましたよね？

阿部 完全に超越してますよ！ そこにロックがいて、ホーガンがいて、ボクらを納得させる試合をしてくれただけでも満足です。だから、「NO WAY OUT」からの流れは必要なかったですよね。ただ、動機としてnWoが入ってきただけであって。

イナズマ ホント、あれは単なるイントロだったよね。

阿部 そういうイントロを省略して、レッスルマニアに黄色いシャツ着たホーガンがいきなり乱入しても良かったんだと思いますよ。ただ、ビンスはnWoを投入するときに「致死量の毒」って表現してたんですよね。たしかに人気はありますけど、全員ベテランだし……正直言って、来年のレッスルマニアって不安じゃないですか？

笠井 いろんな意味でnWoは猛毒だよね（笑）。（スコット）ホールのバンプにしても、あれを見てみんな苦笑いするわけでしょ？（笑）

イナズマ 早くもオースチン無断欠場という影響も出てるし。

阿部 WCWが来た時点でWWFも行き着くところまで行き着いたなって思ったんですよ。でも、そこからさらに進んで絶対来ないだろうと思ってたnWoまでもが来ちゃいましたからねぇ。

イナズマ 「あとはゴールドバーグしかない」って、飛行機の座席で隣になったフミ斉藤さんが言ってましたよ（笑）。

二郎 いきなりゴールドバーグがやって来て、全てのトップレスラーを秒殺すれば全てがひっくり返りますよ。

笠井 来年の『レッスルマニア』はホーガンvsゴールドバーグ？ それじゃ末期のWCWじゃん（笑）。

二郎 でも、ビンスは自分が追い出した選手にも声をかけてたみたいですよ（笑）。レッスルマニアでブレット・ハートにビンスとのシングルマッチをオファーしたらしいんですから。

――ええっ!? ホントですか!?

二郎 結局、ブレットは蹴ったらしいですけどね。

今年のファンイベントで登場したWWFスーパースターズの身体の一部を銅像にした強烈な代物。ステーシー・キーブラの美脚&美尻にはドギー・スタイルで記念写真に収まるボンクラ男が続出！ 煩悩は世界共通のようだ。

WM18に神降臨

イナズマ　現地の新聞に書いてあったみたいだし。会場で試合前に流してたWWFの歴史を振り返る映像でも、ブレットが結構出てきてたし。きっと、本気でやろうとしてたんだね。

二郎　もし実現してたら、とんでもない大会になってましたよ！

——ビンスはおそろしいなぁ。

二郎「スキャンダルでビジネスする」っていう手法は日本のプロレスにもありますけど、WWFと日本のプロレスが決定的に違うのは「写真が撮りたくなるかどうか？」ってことですよね。

——しゃ、写真ですか？

二郎　ええ。ロックvsホーガンなんかリングサイドで見たら、もう誰だってバシャバシャ写真を撮ってたと思いますよ。決定的にそこに差があると思いますから、日本のプロレスと。

イナズマ　ロックvsホーガンなんて全部が名場面に見えたもんね。

二郎　一回見てもらいたいですね、現地に行って。

笠井　だってさあ、日本に帰ってきてプロレス見に行こうっていう気がサッパリしないんだもん（笑）。"いいとこ探し"みたいなプロレス、見る気しないよ？　マジで。これが良かった、あれが良かったって、面倒くさい（笑）。WWFは見てるだけで良い絵がバンバン目に飛び込んでくるんだよ！

——客席もずっとカメラのフラッシュがつきっぱなしでしたよね。

イナズマ　ピカ●ュウ状態（笑）。

笠井　それがさ、ガキが撮ってるんじゃなくて、いい歳こいたオッサンが「ウオーッ！」って撮ってるんだもん（笑）。

二郎　キーワードは「絵になるかどうか？」ですよ。日本のプロレスでも、猪木と蝶野のやりとりは十分絵になってたじゃなですか？

——武藤も絵になりますよね？

二郎　そうですよ！　いまストーン・ウオッシュのGジャン着て、カッコイイの武藤ぐらいじゃないですか（笑）。

イナズマ　その下にエイプTシャツ着てるんだよね（笑）。

笠井　しかも、エイプのTシャツに顔が勝ってるもんね（笑）。

阿部　WWFは中途半端なキャラの人たちがいないですよね。

二郎　いても、そういう連中はダークマッチ（TVで放送されない試合）で出てくる程度ですからね。

イナズマ　でも、TVで見ると絵になる人たちでも、私服は絵にならないこともあるからなぁ。今回のツアーも『レッスルマニア』の開催地から翌日の『RAW』の開催地まで移動するのに、WWFスーパースターズと一緒になったけど……。

阿部　だいたい毎年一緒になるんです。

去年はヒューストンのアストロドーム、今年はトロントのスカイドームと、毎年スタジアムを超満員札止めにしてしまうWWFの底力は凄まじい。この熱気、日本の会場にある？

イナズマ　そこで見た限り、今年の私服ダメNO．1レスラーはランス・ストームだったね！　去年見たレイヴェンもひどかったけど、それ以上（笑）。

笠井　なんか、レイヴェンは高岩（竜一）みたいな格好してたよね!?　変なウエストポーチして（笑）。

イナズマ　今年のランスはカラシ色のスウェット上下にWWFニューヨークのキャップ被ってるんだよ（笑）。一緒の飛行機に乗っても、日本のツアー客は誰も気づかないし。

笠井　下手すりゃファンのほうがオシャレだもん（笑）。逆に一番オシャレだったのが、DDP！（笑）。空港で荷物検査やってるところを見たんだけど、DDPがトランクケースを開けたらチャンピオンベルトとi-BOOKが無造作に入れてあって（笑）。周りもそれを見てざわついたよね（笑）。「カッコいいなぁ」って。

——ベルトはちゃんと本人が持って移動してるんですね？

笠井　それは大事だよね。だって100人ぐらい見てるところで、あれをやられたらそりゃ幻想膨らむよ（笑）。それに比べてランス・ストームは……あのジャージ姿でベルトとか持ってたらキツイよ（笑）。昔からよく言うじゃん？「ベルトは持つ人を選ぶ」ってさ。あんな格好してる限り、ランスはベルト持ったらいけないよ（笑）。

二郎　昔、アルティメット・ウォリャーが革ジャンを着て、ジーパン履いてたんですけど、そのジーパンにもヒラヒラつけてたんです（笑）。もの凄いプロ意識ですよね。ホントにカッコいいですよ。

笠井　トーリー（ウィルソン）の私服もカッコ良かったねえ（笑）。凄くいやらしいの水色タオル地の上下なんだけど、あんなの着る人は他にいないよ（笑）。「この人もレスラーだなぁ」と思ったもん（笑）。横にいたキッドマンは普通だったけどさ（笑）。

二郎　2人は婚約したそうです。

笠井　いくら奥さんが素晴らしくても、キッドマンもあの格好してたんじゃ売れないよ（笑）。選手じゃないのに、キング（ジェリー・ローラー）もカッコ良かったなぁ。飛行機の中でもスチュワーデスに「パピー♥」って言われてた（笑）。

イナズマ　その横には新しい金髪の女性がいてね。女性問題でクビになってるのに懲りてない（笑）。

二郎　きっと「WWFに出たいか？」が口説き文句なんですよ。「とりあえず、シャワー浴びてこい」って（笑）。

【02年4月12日、渋谷『王将』にて収録】

紙のプロレス FRIDAY

レッスルマニアの舞台裏で大事件!! オーちゃん、WWF入団秒読み!?

WM18に神降臨

アックスボンバー炸裂!?

Whatcha gonna do!? When the Hulkamania runs wild on オーちゃん!?

文／スモー・ノブ
撮影／YOSSY SATO

すでに『東京スポーツ』やプロレス週刊誌でもオーちゃんとWWFの接触を報じていたので、ご存知の方も多いと思われるが……まずは写真をじっくりご覧頂きたい！　超人vs暴走王の世紀の顔合わせが、なぜかカナダ・トロントの某ホテルで実現してしまったのだ！　日本の暴走王・小川直也が、今回は海外まで暴走してきたから、さあ大変！　直撃を受けたホーガンも目を白黒させながら（nWoだけに）、アックスボンバーをお見舞いした模様……というわりには、オーちゃんも目が笑っているので友好的な雰囲気だったことはおわかり頂けるだろう。

オーちゃんはホーガンだけでは飽き足らず、スーパースターズが宿泊する厳戒体制のホテルのロビー（当然一般のファンは入れない）で張り込み作戦を開始。現れた選手と片っ端から握手&密談を交わした。途中、待ちくたびれて居眠りし始めたオーちゃんを発見したクリス・ジェリコが掟破りの逆「目を覚ましてくださ〜い！」（もちろん英語で）などと声を掛ける一幕もあり、小川の知名度と存在感は確実にWWFにも浸透していることをうかがわせた。

さらに、WWFの人事担当"J

暴走王もミーハーになる!?
スーパースターズとの密会写真9連写!!

▲世界で最も有名な日本人レスラーTAJIRIと。この後、じっくり話し込む姿が印象的だった。

◀「R・V・D」と「U・F・O」の夢の競演！　オーちゃんもノリノリだ！

◀日本プロレス界にも詳しいジェリコ。この日米高飛車タッグも観てみたい！

▼ロック様とも密会！　先日のWWF日本ツアーで試合の解説も務めたオーちゃんだけに、この再会は興味深い展開に発展しそうだ。比較的素に近いオーちゃんの顔に注目！

▲アトランタの金メダリストとバルセロナの銀メダリストが夢の競演！　メダルをぶら下げて入場する2人をリング上で見てみたい！

▼2リーグ制となった現在は『RAW』を仕切るフレアーと。日本でもおなじみのフレアーだが、オーちゃんとは対戦経験なし！　もし闘ったら、すごく面白そうだ!

▶ハーディ・ボーイズのジェフと。ジェフ、目が飛んでる！

▶リキシと柔道王！　しかし、なぜか眠そうなリキシ。目が真っ赤だ。

▼WM18でストーンコールドと対戦したスコット・ホールと共に。しかし、オーちゃんと並んでも体格差を感じないホールは大したものだ。

すわっ!?　早速入団交渉か!?

3・1日本大会にも登場したビンスの息子シェイン・マクマホン。レスラーとしても優秀な男だけに、将来的にはオーちゃんとの対戦も不可能ではないのだ！

日本でのキャリアも長いジョニー・エース。現在はWWFのエージェントとして辣腕を振るっている。早くもオーちゃんに目を付けた様子で何やら話し込んでいた。

何やらJRと話し込むオーちゃん。WWF本放送の実況と、日本放送の解説が夢の顔合わせ。人事も兼ねるJRだけに、オーちゃんに興味津々の様子だった。

R″ことジム・ロスからは「ビデオと履歴書を送ってくれ！」と熱烈スカウトを受け、日本でもおなじみのジョニー・エースとは『東スポ』片手に何やら密談。シェインとの記念撮影も見方によっては正式入団発表のように見えなくもないワケではない（どっちだ?）。

さらに、もうひとつビックなエピソードがあった。UFO関係者が、なんとホテルでビンス&リンダ夫妻と密会に成功!!　神々しいまでのオーラを放つビンスに対して、「私は柔道オリンピック銀メダリストのナオヤ・オガワのマネージメントをやっている者ですが……」慣れない英語で話しかけたところ、なんとビンスは「あっそう?」と言ったのみ！　恐るべし、極悪人ビンス・マクマホン！　一方、リンダは「あら、そうなの?　もしWWFに興味があるなら履歴書とビデオを送ってください」と興味を示したそうである。密室の中でそれ以上どんな話が行われたか知るよしもないが、「ナマで見たビンスは、アントニオ猪木以来のオーラを感じましたよ。あれは本物ですよ」とUFO関係者も興奮気味に語っていた。

ひとまずWWFとの接触に成功した小川が、今後どのような暴走をするのか全く予断を許さない状況は続いている。2リーグ制で手薄になったところへ乗り込むのも面白いだろう。WWFファンのブーイングを受けても、この男なら屁とも思わないはず！　さあ小川よ、WWFでもやれんのかーっ!?

のショー

Jスカイスポーツ・解説
小川直也（UFO）

いまだ興奮の余韻が残る3・1横浜アリーナのWWFに本大会だが、そのTV放送に日本プロレス界屈指の大物ゲスト解説が登場した！　“暴走王”小川直也と“Mr.プロレス”武藤敬司である！　世界に通用する強烈な個性を持った両者が、一体どんな解説を繰り広げたのか？　誌上で再現してみた！　日本の“キング”（『RAW』『SMACK DOWN』の解説者）になるのはどっちだ!?

Round.1
◀武藤 解説 小川▶

Tajiri vs キッドマン

「トーリーですよ！　コノヤローッ！ですね」
※TAJIRIの入場なのに、TAJIRIそっちのけでトーリーに目が行ってしまう暴走王。忠実なジェリー“ザ・キング”ローラーのスタイルに則った解説である。よほど悔しいのか、この後も「コノヤローッ！」を連発していた。

「銭ゲバの僕としては聞きたいね、（TAJIRIのギャラの）額をね。いくらだろうね？」
※銭ゲバらしく、金の話には、トーリーと同じくらいの食いつきを見せたオーちゃん。まさに欲望の権化！

「銭の話になると俄然、力が入っちゃうよね」
※悪びれる様子もなく銭ゲバぶりを発揮！　武藤の天然ベビィ・フェイス解説とは対照的にヒール解説を展開！

「もうねぇ、マネージャーを従えてるっていうのが素晴らしいよね。ホントにもう！」
※心の底から悔しそうなオーちゃん。そういえばオーちゃんのセコンドといえば、ゴルドーや村上一成（現・和成）など血の気の多いむさ苦しい男たちばかりだった。

「さっきのフナキ選手、浮かばれないよねぇ」
※フナキとは対照的に、TAJIRIが大声援を受けているときに。握手をしてくれた“いい人”フナキに思わず同情。

「ちょっと気が緩むと、すぐ金髪が目に入ってきちゃう」
※やはり試合そっちのけでトーリーを目で追うオーちゃん。その視線もやはり暴走しがちのようだ。

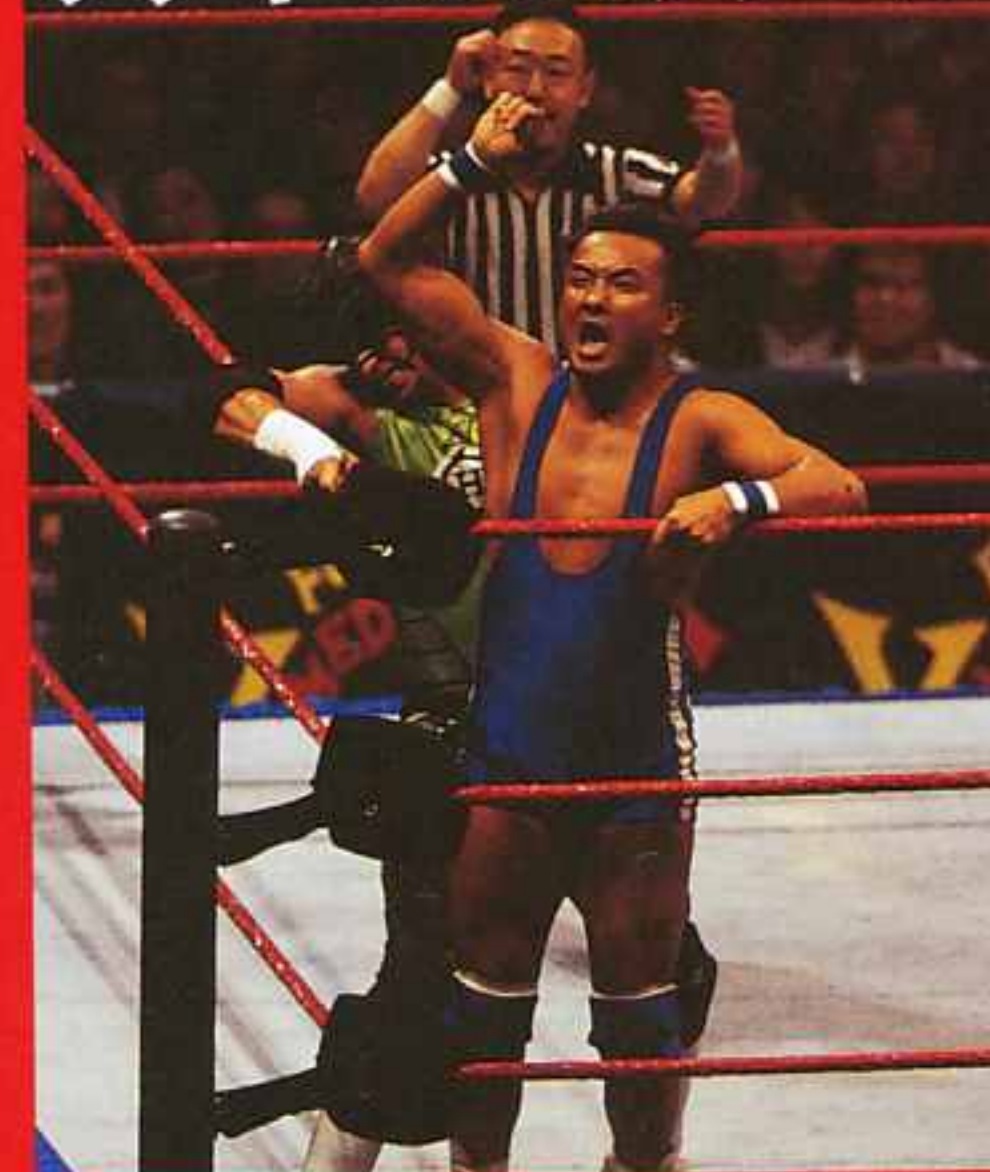
「抱きつくために、やってるんじゃないの？」
※TAJIRIがダメージ回復のためにリング下へ。するとトーリーが介抱。それを見て嫉妬の炎に燃えるオーちゃんであった。

Round.2
◀武藤 解説 小川▶

フナキ vs ハリケーン

「どっちがベビィ・フェイスですか？（ハリケーンですね、とアナウンサー）そうですよね。でも、さすが日本。声援だけは船木選手のほうが多いスね！」
※試合開始直後、またもすかさずチェックを入れる武藤。ちなみに、「ベビィ・フェイス」の発音は、ネイティブ・スピーカーみたい。

「ハッハッハッ、日本でもヒールの道を選んだんですね」
※握手直後に船木が目突きしたシーンで。やたらとヒールとベビィ・フェイスを気にするのはなぜなのか？

「アレ、何するんスか？」
※ハリケーンがマントを装着しているときに。やはりハリケーンのことは知らなかった模様。じつに素のリアクションだった。

「いいよねぇ、この雰囲気の中でやれたらね。（僕は）ブーイング命ですから」
※船木が場内から一斉に大ブーイングを浴びると、さすがの暴走王もうらやましがっていた。

「最強のパターンですよね。いいねぇ、マント！」
※一方の小川は予習もバッチリで、ハリケーンのマントにも敏感に反応。

「心憎いね、握手なんかしに来られちゃったら。良かったですよ。嬉しいよね。もっとヨイショしとけば良かったよ（笑）」
※試合後にフナキから握手を求められて、ホントに嬉しそうなオーちゃん。暴走王がここまでミーハーになるのだから、WWFおそるべし！

どっち解説

「どっちがベビィ・フェイスなの？ あっ、TAJIRIはベビィ・フェイスなんスか？ そ～なんだぁ？」

※試合開始早々にそんなことを聞きだすミスター・プロレス。アメプロ経験者の視点は、ちょっと常人とは違うのだ。

「こんなこと言っちゃっていいのかわかんないけど、キッドマンのホントのカノジョが彼女（トーリー・ウィルソンのこと）でしょ？ そうですよね？ （「それをTAJIRIが試合を通して奪い取ったという状況になっております」とアナウンサー）あっ、そういうことになってんだ。へぇ～!!」

※そんなこと言っちゃっていいわけないんだが、武藤の前にはタブーなど存在しない。普通のファンにしてみれば余計な情報でしかないのだが、武藤が言うと嫌味がないので許せてしまう。

「飛ぶぞぉ……飛ぶぞぉ……飛べッ!! （フェイントが入った瞬間、ガッカリして）あぁ、飛ばない……おお、飛ぶ飛ぶ！」

※ラ・ケブラーダが成功した瞬間。TAJIRIのフェイントにいちいち反応する天才・武藤。

「なんスか？ タランチュラって？」

※アナウンサーの「タランチュラが出るかと思ったんですけどねぇ」というフリに対して。最近のWWFを観ていないのだろうな。視聴者も思わずズッコケたであろうコメント。

「カッコいい！！ 今の！ 今のはいいねぇ！ 俺もマネしたくても出来ないね」

※TAJIRIの前転→ロープの反動→背面エルボーを見て。少年ファンのような素直すぎるコメントがカワイイ。

「へっへっ、あれがタランチュラかぁ」
「あーっ！ ロープ使ってるから反則だぁ。あーっ！」

※遂に飛び出したタランチュラに対して意味不明な笑いを浮かべる。そして、ロープを使った技であることに気づいてビックリ！ どこまでも天然っぷりを発揮する素敵な武藤。

「マレンコだ！ マレンコだ！ 何かある！ 絶対な～んかあるっ！（マレンコはベルトを渡しただけ）な～んだ。マレンコ、何もしないじゃんかよぉ！」

※ディーン・マレンコが出てきた瞬間、鬼の首でも取ったかのように次の展開を予言する武藤。しかし、何も起こらずガッカリ……。こういうファン、たまに隣の席にいたりするよね？

「いいね、いいね！（辻アナが「ケインが邪魔で見えない！」と憤慨）辻さん、損したね。ケインをぶっ飛ばしてくれればいいじゃない？」

※ステーシーがビッグ・ショウに飛び掛ったシーンで。ムチャクチャを言うオーちゃん。この瞬間はキングっぽいノリだった。

「いいね！ ハハハハ、お尻ペンペンですよ」

※解説を忘れて、見たまんまの感想を吐露するオーちゃん。これもまた素直なリアクションだと言えよう。

判定！

放送直前までゴタゴタが続いた3・1スマックダウンツアー・ジャパンの試合中継だが、結局はフナキとTAJIRIの試合に限り完全放送で、他の試合はダイジェストという形で決着した。WWFとテレビ局の間に、いくつか業者を通していたために発生したトラブルらしいが……それでも放送にこぎつけただけでも、両局には惜しみない拍手を送りたいと思う。武藤・小川とも、それぞれのキャラクターを前面に押し出した解説で“いい味”を出しまくっていた。敢えて色分けするならば、ナチュラルボーン・ベビィ・フェイス解説の武藤と、銭ゲバヒール解説の小川、といったところだろうか。この日本プロレス界を代表するトップ2を丸っきりファンのような視線にさせてしまうWWF、恐るべしである。

というわけで、無理矢理勝者を決めるとすると「WWFの勝ち」であろうか？

Round.3

▼武藤 解説 小川▲

「うわっ！ うわっ！」

※ステーシーがお尻ペンペンされる瞬間、声にならない声をあげていた武藤。本誌前号で「Tバックが目に焼きついて離れない」と後遺症を告白。

W Fは？

ー鈴木

Jimmy SUZUKI

世界でたった6人しかいない WWFリングサイド・カメラマンの1人が語る What is アメリカンプロレス？

処女作「まるごとわかるアメリカンプロレス」発売記念インタビュー

——今回発売された『まるごとわかるアメリカンプロレス』（日本文芸社刊）は、ジミーさん初の単行本になるんでしょうか？

ジミー　個人としては初だね。他の人と組んで出したことはあるけど。

——ちょうど日本でもアメリカンプロレス……というかWWFの注目度も上がってる時期なんで最高のタイミングですね。今、アメリカンプロレスの情報は、需要が供給に追いついてないですし。

ジミー　そうそう。今、アマゾン・ドットコムでプロレスの刊行物の順位を調べると、洋泉社が出してるアメリカンプロレスのムック本が3つもランクインしてるんだよね。ちなみに僕の本は、ミスター高橋本に次いで2位なんだけど。ターザン山本さんの本（『プロレスファンよ、感情武装せよ！』）には負けたくないね。

——やっぱり、ミスター高橋本にはかなわなかったですか？

ジミー　（ムスッとして）かなわないって言われるとねぇ。だってさ、凶器使って闘ったら強いだろって話だよ！

——まあ、そうですね（笑）。反則攻撃みたいな本ですからね。

ジミー　反則負けだよ！　こっちが何もしないでリング上で寝てても向こうの負けじゃん。

——その高橋本なんですが、読まれましたか？

ジミー　読んだよ、最初から最後まで。やっぱり気になるじゃん。業界の中には「買うな！」「読むな！」「それについて喋るな！」っていう空気があるけど、出ちゃったもんは読まなきゃしょうがない。

——専門誌とかプロレス・マスコミが、あの本に触れないっていうのは、仕方ないことなんですかね？

ジミー　それも、ひとつの方法だよね。だけど、あの本は売れちゃったわけだからね。10万部も出てる本を無視するのは無理があるような気がするな。

——ジミーさんの本の中では執拗に触れられていますよね。「最近では会社の人員整理の対象となった元レフェリーが、まるで恨み節のごとくプロレスに対する間違いだらけの本を書き、多くの純粋なファンの夢をぶち壊した」と、ありますけれども（笑）。

ジミー　やっぱり何かしら書かないとね。でも、あの本を読んで「高橋さんはプロレスを知ってるようで、知らないんだな」って思ったよ。狭い社会の中で覚えたものでしかないからね。オレは世界のいろんなプ

聞き手／スモーノブ
撮影／松澤チョロ
designed by matsu（Two three）

リングサイドから見たWWFとは

ジミー

『東スポ』『ゴング』など、いわゆる業界の王道で海外通信員として精力的に活動中のジミー鈴木氏が、絶賛発売中の単行本を引っさげて約1年ぶりに本誌登場！　本場でアメリカンプロレスを取材し続けてきたジミー氏が語る「内側から見たWWF」について語っていただいた。「プロレスの真髄」を知りたきゃ読め！

WM18に神降臨

ロレスを見てきたから、あそこに書いてあるのは一部の小さい世界の話でしかないと感じたね。なぜか、新日本系は「ケッフェイ」って言うんだよな。で、ターザン山本さんは「ケーフェイ」って言うでしょ？　でも、全日本系は「ケーフェー」って言うんだよね。

——単語ひとつ取っても様々なんですね。

ジミー　でも、ホントは「ケーフェイブ」なんだよね。K−FABE。WWFのバックステージに行くと、「こっちに行くとケータリングです」「アナウンサーの部屋です」「ビンスの部屋」とかいろいろ張り紙してあるんだけど、「ケーフェイブの部屋」っていうのも張ってあるよ。イラストが描いあるんだけど、ポール・ベアラーのオッサンに似ているんだよね（笑）。そこでエージェントと選手がミィーテングするんだけど。

——そうなんですか!?　で、ちょっと疑問なんですけど、「ケーフェイ」って、元々は「FAKE」を逆さまにした「KEFA」が語源じゃないんですか？

ジミー　そんなのは嘘っぱち！　でも、ホントの語源は言いません！（キッパリ）。ちゃんと語源があるんだよ。でも、俺は「バラシ」はやりません（笑）。

——この本の中にも少し出てきますけど、カーニバル・レスリングの言葉が語源なんですか？

ジミー　カーニバル・レスリングっていうか……そもそも「プロレスの起源は古代パンクラチオンである」っていうのは、猪木さんとか桜井康夫さんとかが考えた〝売り〟だよね？　それは彼らが作り上げた、素晴らしいイメージかもしれないよ。だけど、アメリカンプロレスっていうのは、カーニバルから来てるものだから。馬場さんは「チャンピオン・カーニバル」とかシリーズ名にしてたじゃない？　そういう意味で馬場さんは、プロレスを愛してたし、プロレスの本質を理解してたと思う。

——言われてみれば、そうですね。一方の新日本は「ブラッディ・ファイト・シリーズ」とか、物騒なタイトルでしたよね。

ジミー　余談だけど、全日本も「ブラックパワー・シリーズ」とかあったよね、ボボ・ブラジルとか黒人選手ばっかり呼んでたシリーズが。今そんなタイトルつけたら差別用語になっちゃうけど。

——確実にアウトでしょうね（笑）。

ジミー　ホントにプロレスを愛して、その本質を理解してるのって馬場さん以外だと……ビンス（マクマホン）だと思うんだよね、俺は。

——やはりビンスですか！　ジミーさんはビンスには取材されたことありますか？

ジミー　ないない！　内閣総理大臣に単独インタビューするようなもんだよ（笑）。会話くらいならあるけど。

——どんな会話をしたんですか？

ジミー　テネシーでビンスと誰かが試合をやったことあるんだけど、「試合したことを公表しないでくれ」って言ってきたんだ。今でこそビンスもガンガン試合してるけど、かなり前の話だからね。ビンスのレスラーとしてのキャリアはテネシーでスタートしたんだよ。

——へぇ〜っ!?　そうだったんですか！　ビンスもちゃんと下積みしてたんですね（笑）。

ジミー　プロレス界ではテネシー発祥のことが多いんだよ。靴磨きマッチも面白かったなぁ（しみじみ）。

——く、靴磨き!?　なんですか、それは？

ジミー　ボビー・イートンvsココ・B・ウェアで最初に行われた試合形式なんだけど、負けた選手が勝った選手の靴磨きするっていうルール（笑）。アメリカでは、靴磨きって主に黒人がする職業で、白人にしてみるとやりたくない職業だから、それを利用してね。それで黒人のウェアが勝ったんだけど、マネージャーのジミー・ハートが磨かせられるんだ。そうするとココがお客に「靴磨きますから、靴を投げ込め！」とか言ってね（笑）。

——ムチャクチャですねぇ（笑）。

ジミー　もっと面白かったのが、オレゴンでやってた賞金マッチね。ヒールが「同じ金を出しあって、それを賭けて闘おうぜ！」って言い出すの。ベビーフェイスは金を持ってなくてさ。そうすると、多分サクラなんだけど観客が金を出して、つられて他の観客もドンドン金を出して。最後はその金をレフェリーと3人で山分けするんだけど（笑）。

——インチキ臭いなぁ（笑）。そういう話を聞くと、アメリカンプロレスの起源がカーニバルだというのも納得できますね（笑）。

ジミー　それで客も納得してるんだよな（笑）。

——ビンスもそういったアメリカンプロレスの本質がわかってるんですね。

ジミー　うん。あれほどプロレスの本質を理解している人もいないでしょ。

——現在のプロレス界でビンスに勝てる人っていますか？

ジミー　思い当たらないね（キッパリ）。ただ、ビンスが凄いのは、知恵袋を回りにいっぱいつけてるじゃん。あれは理想的だよね。

——いわゆる「エージェント」と呼ばれる人たちですよね。

ジミー　そうそう。パット・パターソンとかジェリー・ブリスコでしょ。ジョニー・エースやディーン・マレンコも最近エージェントになったし。

——元レスラーが多いんですか？

「FAKE」を逆さまにした「KEFA」が語源？ そんなの嘘！ ホントは「K-FABE」っていうの！

ジミー　ただ、ＷＣＷに引き抜かれたビンス・ルッソーみたいな脚本家もいるんだよね。

――プロレス畑じゃないところから引っ張ってくるのはレスラーに抵抗感ないですか？

ジミー　だけど、違う風を入れるのはビジネスとして大切なことでしょ？　実際、それで成功してるわけだし。これでいいんだよ。

――依然としてＷＷＦは成功し続けてますよね。先月のレッスルマニアも大成功で……。

ジミー　（遮るように）いやぁ、ホーガン人気が凄かったね！　だって、レッスルマニアで対戦したロックにブーイングが起きたんだよ？　「ホーガン！　ホーガン！」の大コールだったんだから。ホーガンは凄かったよぉ（しみじみ）。

――Ｊスカイの中継で見ても凄さが伝わってきました。

ジミー　そうでしょ？　これさ、次の本に書こうと思ってたんだけど……ホーガンとロックが並んだときに、ホーガンのほうが格上に見えたんだよ。ショックだったよぉ（しみじみと）。ストーンコールドとホーガンの絡みもあったけど、ストーンコールドが格下に見えたもん。ホーガンが持つカリスマ、身体から出てくるオーラ、そういった部分と身体のサイズね。今のＷＷＦの中では群を抜いてるよね。言っておくけど、オレが古い人間だからとか、えこひいきとかまったく入ってないから！　純粋にそう見えたよね。

――だからレッスルマニアの会場の観客も、ホーガンに大声援を送ったわけですね。

ジミー　そうだろうね。ところが、こないだＨＨＨとホーガンが向かい合ったとき、ＨＨＨだけは負けてなかったんだよ！　ホーガンに勝てない部分もあるんだけど、ロックやストーンコールドが並んだときよりも格の差を感じなかったね。やっぱり、プロレスラーは身体が大事なんだって思ったよ。なんだかんだ言っても身体が大きい人は得だよね。

――ロックは、ホーガンと並んでしまうと線の細さが気になりましたよね。

ジミー　あと、ロックはホーガンとレッスルマニアで闘い終えた後、涙を流してたよ。

――へぇ～、そうだったんですか！　どういう意味での涙なんですかね？

ジミー　ロックはハルカマニア（ホーガン信奉者）だったんだよね。だから感動して泣いたんだと思うよ。そういう背景もあって、ホーガンがロックよりも格上に見えたのかもしれない。でも、どんな選手だってホーガンと並んでしまうと厳しいよ！　ブレット・ハートなんかモロに格下に見えたもん。ブレットだって最高のレスラーだよ？　だけど、そういう面に関しては、ホーガンの足元には及ばなかった。だから、ブレッド・ハートがチャンピオンのときってＷＷＦのビジネスがあんまり良くなかったんだよ。

――そうですよね。そのときホーガンがＷＣＷでトップだったんですよね？

ジミー　そう。そしてＷＷＦはＷＣＷに抜かれちゃったじゃん。ホーガンに役者負けしないのは、テリー・ファンクとリック・フレアーぐらいしかいないよ。

――80年代からホーガンが作ってきたＷＷＦの売り上げ記録がありますよね。それはストーンコールドが塗り替えてしまいましたけど。

ジミー　でも、それは時代の流れとケーブルテレビの普及率が上がってＰＰＶの契約件数が増えたのも影響してる。だから、一概に「オースチンがホーガンを抜いた」とは言い切れない。時代が違うってことだよね。この本の中でも書いたけど、馬場さんは一試合のファイトマネーでヒルトンホテルに200泊できたんだよ!?　当時とは物価が違うから金額にしたら少ないかもしれないけど、今ヒルトンホテルに200泊っていったら、いくらになると思う？

――さあ、想像もつかないですけど（笑）。でも、ものすごい金額ですよね。

ジミー　でしょ？　おなじようにホーガンも、80年代当時は凄かったわけだよね。たとえ売上額がオースチンより下でも、それ以上の功績はあるからね。ある意味では、ファンがＰＰＶでプロレスを見るスタイルを浸透させたのはホーガンだし。

Jimmy SUZUKI

先日、大復活を遂げたホーガンをジミー氏も高く評価。気さくな性格と、特別なオーラを身にまとった本物のスターだという。

――それにストーンコールドがレコードを塗り替えたとは言っても、ストーンコールドと闘っていたビンスの面白さが人気に拍車をかけてましたからね。

ジミー　むしろ、ストーンコールドの良さをビンスがキレイに引き出して上げてたもん。（急に思い出したように）そういえば、今ストーンコールドはどうなってるんだろうな？

――レッスル・マニアの直後に無断欠勤したんですよね。現在は戦列復帰したみたいですけど。

ジミー　ストーンコールドはｎＷｏの投入に反対だったらしいよ。

――そうらしいですね。しかし、ビンスはホントに懐深いですよね。後ろ足で砂ぶっかけたｎＷｏの選手たちがみんな戻ってきてるじゃないですか？

ジミー　ビジネスのスケールが違うでしょ。たとえば、いま日本人で「野球を見る」と言っても、メジャーリーグを見てる人が多いわけでしょ。「日本の野球つまんねえ」って言ってる人が多いわけで、プロレスもそうなっていくような気がするよ。

――こないだのＷＷＦに本大会の会場でアンケートを取ったんですけど、ＷＷＦしか観てないファン層もかなり開拓されてるんですよね。

ジミー　ＷＷＦのやってるプロレスは『ＰＲＩＤＥ』とはバッティングしないからいいんだよ。

――そういう中で既存のメジャー団体が苦戦してますよね。まあ、ズバリ言って新日本のことなんですけど（笑）。

ジミー　まあ、新日本には新日本の考えがあるんだろうけど……格闘色を強く打ち出しちゃうと難しい面もあるよね。『ＰＲＩＤＥ』とバッティングしちゃうからねぇ。

――そうですよね。なのに、中西さんがゴッチさんのところに修行に行ったのはよくわからなかったですけど（笑）。

ジミー　取って付けたような感じかもね。まあ、いいんじゃない？　中西はカール・ゴッチのラインで色づけをしていくってことでしょ。プロとして個々の色づけは大事だと俺は思うし。

――そうですよ、あれは特訓というより色づけでしたよね？　アメリカンプロレスの

WM18に神降臨

手法というか。それをストロング・スタイルって言ってるから、おかしなことになると思うんですけどね。

ジミー 猪木さんだってそうだよ。タイガー・ジェット・シンの新宿伊勢丹襲撃事件だって、アメリカンプロレスそのものだし。いまWWFがやってることの、当時の日本版だからね。やっぱり、プロレスはアメリカから来てるんだよ。

——いまのWWFのルーツは、「ビンスが日本に来てるときに猪木さんから盗んだ」という声もあるんですけど…ジミーさん的にはこの意見はいかがですか？

ジミー 違うでしょ（キッパリ）。猪木さんだって、若手時代にアメリカ修行に行ってアメリカンプロレスから学んでるんだよ。それは馬場さんもそうだし。元をただせばプロレスはひとつで、それが猪木流にアレンジされたり、WWF流にアレンジされたりしてるだけ。ビンスが日本に来たときにどうのこうのっていうのは〝こじつけ〟だと思うよ。ただ、一時期の新日本とUインターが良いビジネスしたっていうのはアメリカでも有名な話だよ。

——それでエリック・ビショフが触発されてnWoを思いついたって話ですよね？ 結局、WCWは潰れちゃいましたけど。

ジミー 真のメジャーってプロレス界ではWWFだけになっちゃったよね。だってさ、近所のガソリンスタンドに行くんだけど、そこのオヤジが普通にプロレス好きでさ、「こないだテレビで写真撮ってるの見たよ」って言われるんだもん。

——「リングサイドで写真撮ってるヤツだ！」って声かけられるんですか？（笑）。

ジミー 普通に「WWFのTシャツ貰えねえか？」とか話しかけてくるから（笑）。

——リングサイドで写真撮ってるジミーさんでもそれだけ認知されてるんじゃ、実際リングで試合をしてるTAJIRIとかKAIENTAIなんて、向こうでの認知度は凄いんでしょうね？

ジミー 凄い、凄いよ！ 新庄なんか目じゃないよ、多分。

WWFのリングサイドは炎、花火、乱闘、ダイブなどの危険がいっぱい。不慣れなカメラマンは絶対に入れない。なおかつ、オフィシャル雑誌「RAW magazine」の商売敵となるアメリカの雑誌を次々と締め出していったら、現在は6人しかパスを持った人間がいなくなったという。そのうち5人は日本のプロレスマスコミの人間。

——それホントですかぁ？ 新庄もかなり凄いですよ。

ジミー いや、新庄よりTAJIRIほうが凄い！（キッパリ）。

——じゃあ、イチローと比べると？

ジミー まあ、イチローは別格だけどさ。でも、その次に誰が来るかと言ったら、TAJIRIだよ。あっ！ ……TAJIRIで思い出したけど、あのシュート活字の人が「自分はTAJIRIと友達だった」みたいなことをどっかで書いてたでしょ？ あれはTAJIRIもいい迷惑だと思うよ（笑）。本人も「何でああなったんですかね？」って言ってたから。

——ああ、ジミーさんとも因縁浅からぬ田中正志さんのことですね（笑）。

ジミー そうだよ！ なんか某巨大掲示板で観たんだけど、「オレと田中正志が握手した」ってデマが書き込んであったんだよ。ふざけんなっつうの！（怒）。誰がそんなデマ流してるんだよ？

——いいじゃないですか、単なるネット上の噂なんですから（笑）。

ジミー （憮然としながら）今ここで否定しますよ！

——この本の中でも名前は出さないまでも、チクチクと批判してますよね（笑）。

ジミー 田中君の名前出して、宣伝してもしょうがないじゃん（怒）。

——うわぁ、名前を出すにも値しないということですか？

ジミー というか、そういう路線が嫌いなんだよ！ 俺は夢を売りたいんであって、ケンカを売りたいわけじゃないから。

——なるほど。

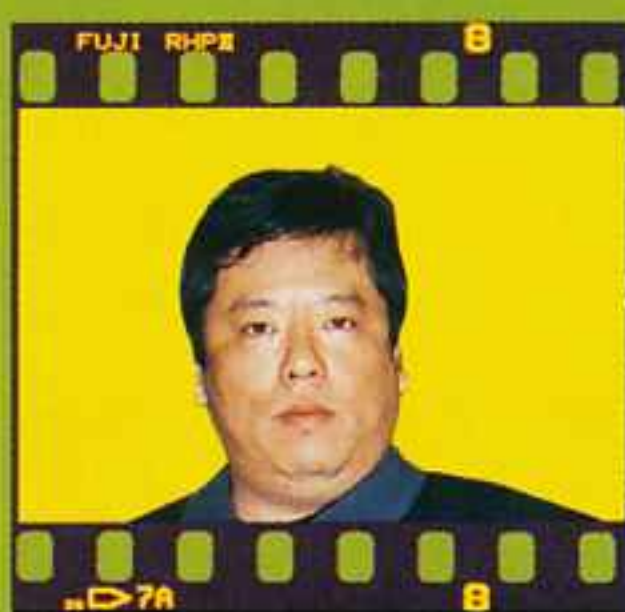
ジミー 昔のプロレスの本には夢がいっぱいあったじゃない？ おとぎ話がたくさん載ってたでしょ？ 当時の山田隆さんが書いてた原稿はホントに素晴らしかったし、桜井さんもそうだし、竹内（宏介）さんと菊池孝さん！ この4人は一番尊敬してます。その人たちが書いた原稿にオレがプロレスファンになった原点があったんだよ。いっぱい夢を与えてもらったよね。それこそ、プロレスの本来の姿だと思うんだ。

——それは、つまりシュート活字の対極ですよね。『紙プロ』は比較的シュート活字も多く取り扱ってますけど……。

ジミー というかさ、田中君のシュート活字と『紙プロ』のスタンスって違うじゃん。『紙プロ』だって、最近のWWFの扱い方とかを見てると、素直にミーハーしてるところあるもんな（笑）。

——ハハハハハ！ 素直にならないといけないじゃないですか、WWFを観てしまったら（笑）。

ジミー シュート活字だとか言っても、プロレスは実際に取材しなきゃわからないよ。一体どこから学ぶ？ レスラーと付き合って酒飲んだりしてね、そこで本音の部分が出てきたりね。そこで勉強していくんだよ、

ビンスが猪木さんの手法をパクった？ それは違うでしょ！ 猪木さんもアメリカンプロレスから学んでるよ

小さい子供に「サンタはいない」と言いふらしてるヤツがいたら、俺はそんなの絶対に嫌だよ！

オレらは！　山本さんとか一編集長とかはスタンスが違うんだよね。レスラーと付き合わないで何がわかるっていうんだよ!?（怒）。オレなんかは武藤と酔っぱらって、いろんなこと話したよ！　これが勉強になるんだ（しみじみ）。ヒロ・マツダさんとも話したし、ハーリー・レイスと話もしたよ。プロレスのことはレスラーが一番わかってるんだから。オレらは受け身を取ってねえんだから！　その部分で埋めようのないギャップがあるの。外から見る部分も大切だけど、レスラーから学ぶ部分もあったほうがいいんじゃないかな？

——選手に積極的に食い込んでいくのは、いわゆる『ゴング』的なスタイルですよね。

ジミー　そうだね。編集長の金澤君はオレとスタンスが似ていると思うよ。やっぱり『ゴング』は王道だもん。

——そもそも竹内さんがマスカラスと一緒にマラソンしてるくらいですからね（笑）。

ジミー　昔そういうのもあったね（笑）。でも、オレは誰に教わったっていうわけじゃないよ。ちょっとレスラーと酒飲んだりするとさ、これが一番勉強になるんだってのを自分で感じたから。これが正しい道だっていう意識はあるよね。外から眺めるだけじゃ薄いと思う。要するに、ロクに知りもしないくせに「サンタクロースなんかいないよ」っていうヤツは嫌いだってことだよ！

——それは分かりやすいたとえですね（笑）。

ジミー　子供たちもサンタクロースを楽しみにしてるじゃん！　なのに「サンタクロースなんていないんだ」って、小さい子供に言いふらしてるヤツがいたら、俺は絶対嫌だよ！　「サンタクロースいない路線」のヤツは嫌だね。

——「サンタクロースがいない路線」（笑）。でも、読者に好きな団体をアンケートすると、総合格闘技の『PRIDE』かプロレスを究極まで煮詰めたWWFの両極端な団体に人気が集中してるんですよ。従来のプロレスの枠からはみ出してしまった団体ですよね？　それを報じるプロレスマスコミが従来と同じでは難しいと思うんですよ。

ジミー　それって、『紙プロ』の読者アンケートでしょ？　ふ〜ん。でも、『PRIDE』はどうなんだろうなぁ？　UFCのビジネスはしぼんじゃったじゃん？　まあ、経営者が変わって多少生き返った部分はあるけど。でも、俺はプロレスの方が凄いと思うな。あれ（総合格闘技）は他力本願のビジネスじゃん！　だから、そういう意味で、オレはプロレスの方が好きだよ。

Jimmy SUZUKI

ジミー氏が敬愛するレスラーのひとりリック・フレアー。「ホウキとプロレス出来る」とは、まさにこの人のためにあるような格言だ。

——これはアメリカンプロレスに限った話ではないんですが、プロレスの達人を指して、「ホウキともプロレスできる人」という言い方をしますよね？　そういう言葉を聞くと、ホントに「プロレスって奥が深いなぁ」と思いますけど。

ジミー　それはプロレス界に昔からある格言なんだ。これは名人と呼ばれる人の条件だよね。ヒロ・マツダさんなんか、デビュー2戦目の選手を売り出すために90分も試合したっていうからねぇ。

——デビュー2戦目の選手と！　それも一種のプロレスおとぎ話ですよね。

ジミー　相手は何もできないんだよ？　名人芸だよね。だから、名人ならばアナタともプロレスできるんですよ。それがプロレスの奥深いところであって。弱いとダメだけど、「強いな」っていうイメージさえ植えつけられれば、それで勝ちだと思うんだよね。プロレスって結局イメージビジネスだもん。イメージがあり、夢があり、そういうビジネスだもん。そういう「俺のプロレスに対する姿勢」が、この本になってるよ。完璧というものからは離れてると思うけど、いい本だという自信がありますから、ぜひ読んでください。もっと、アメリカンプロレスにはまってくださいってことだね。

★　★

インタビュー後記■40時間以上寝ていないというのに、しゃべりまくったジミー鈴木氏は、この後、チョロを引き連れて"夜のクラブ活動"へ。狂乱の一夜は下の囲みを参照！　とにかく、すさまじいエネルギーだ！

【4月13日　東京・メトロポリタンホテルにて収録】

本誌毒占スクープ!!

ジミー鈴木氏の"夜のクラブ活動"とは？

インタビュー収録後、カメラで同行したチョロを誘って池袋で「夜のクラブ活動」開始。若くて瑞々しい女性ばかり（写真参照）がいる店で、ジミー氏は英語の替え歌「SUCK ME TENDER」などで美声を披露。歌うシュート活字王・田中正志氏に改めて挑戦状!?　その後、首投げを打ったかどうかは不明。

5・2新日？ それとも5・5WEW？

プロレス人生一直線
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

アタシはまだ引退してないわよ！

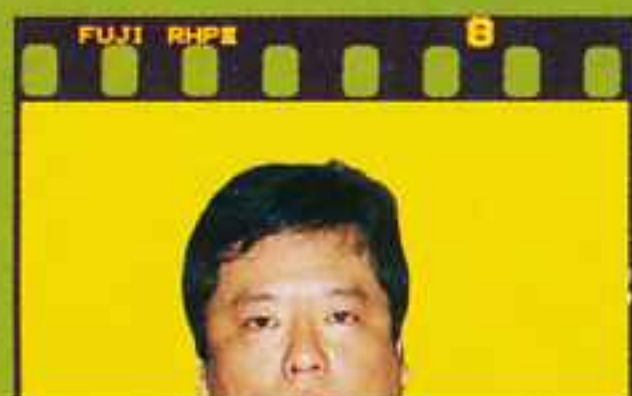
誰でもかかってきなさい!!

"JUST BRING IT!! x2"

女子プロ界のリビング・レジェンド

小畑千代 ［前編］

98年、全女30周年記念興行でのセレモニーで現役選手を圧倒するほどの凄みと存在感を見せつけていたのが小畑千代である。舞台裏では「神取と闘いたい」とアピールしていた小畑。あれから4年、先頃発行された『現代思想』のプロレス特集でも「神取？ いつでもいいわよ！」と再びの宣戦布告！ これは話を聞かねばと思い、早速、小畑が経営する浅草のバーを訪ねてみると、そこには今でも"現役"の小畑千代選手が凄みを効かせていた。

聞き手／松澤チョロ
スーパーバイズ／吉田豪
撮影／スエヒロガイ子
designed by matsu（Two three）

――ボクは横浜アリーナ（98年11月29日、全女30周年記念大会）で小畑さんを初めて見たんですけど、もの凄くインパクトがあったのを覚えてますよ！

小畑　あっそう（笑）。

――その時の小畑さんは現役の女子プロレスラーの中に混ざって、試合はしなくても十分凄味を感じましたよ！

小畑　（大好物だというフルーツポンチを吹き出し）プププッ‼（笑）。

――正直言って、「怖ぁ～！」って思いました（笑）。

小畑　多分、みんなそう思ってんじゃない？（笑）。でもアタシ、言っとくけど、いまでも引退してないんだからね！

――「いつでも試合の用意はできてる」って最近のインタビューでも言ってましたよね。それで今回、お話をうかがってみようかと思ったんですよ。

小畑　でもホントそうよ。

――いまでもトレーニングは欠かさずやっているとか？

小畑　（急に小声になり）この6ヶ月、ちょっとねぇ。ウチの近くの浅草ROXに、いつも行ってるジムがあんだけど、最近そこのジムの下にまつり湯ってのが出来て、そこのサウナで「♪いい湯だな～」ってやっちゃってんの（笑）。おかげで5kg太っちゃったんだから！（空になったフルーツポンチの器を眺め）落とすの大変なのよねぇ。

――大変ですか（笑）。でも、今日の待ち合わせの時もトレーニングしてましたよね。

小畑　（スクワットの動きをして）これは毎日やってる。

――スクワットとかはトレーニングとは言わないんですか？

小畑　あんなのはトレーニングとは呼ばない！　アタシのトレーニングってのは半端じゃないよぉ。ステップってあるでしょ、汗かくやつ。あれを30分やって、腹筋50回やって、それから背筋50回でしょ。それで（ダンベルを）10kgずつ挙げるから。

――そ、それは凄いですね。

小畑　でも、ここ6ヶ月サボっちゃってるのよ。

――じゃあ最近はスクワットとかぐらいですか？

小畑　そう。あと、毎日1000メートルぐらいは泳いでるわ。

――1000メートルですか！

小畑　そうよ。でも、そんなのは練習とは言えないわよ。日課ね、日課。

――それだけの日課をこなしてるって自信もあるんでしょうけど、アリーナで見たときも「ナメられちゃいけない！」ってオーラがもの凄く出てましたね（笑）。

小畑　（嬉しそうに）あら、出てた？　それは良かった（笑）。

――アハハハ！　マッハ（文朱）さんとか他のOBの方もそうでしたけど、いまの選手とは意地の張り方が違うなっていうのは感じましたね。

小畑　わかる？　でも、あの時は意地は張ってないよ。ただね、アタシ達がいたから現在があるんだよっていうのは伝えたかったね。いまの子も自分達だけでスターにはなれないんだから。それと上に立つってことがどれほど大変かっていうのは、やっぱしその人の努力よ。努力プラスその時のチャンスね。アタシ達は努力したもん。絶ッ対、女子プロの灯は消したくないって思ってやってたからね。アタシ、それほどプロレスを愛してたもん。

――アリーナの時もリング上から「いまでもプロレスが大好きです‼」って大きな声で叫んでらっしゃいましたもんね（笑）。

小畑　ホント大好き！　プロレスのことになったら全部忘れちゃうの！　もうダメよ（笑）。スグ熱くなっちゃう！

――お客さんとプロレスの話とかは、よくするんですか？

小畑　しますよ。お客さんはプロレス好きな人多いもん。それに、やっぱし人生って浮き沈みあるでしょ。それプロレスにもあんのよ。猪木にしても馬場にしても、最初の発足はいろんな裏切りから始まったり、みんなそうでしょ？　人間として生きていくにはそうしなくちゃならないんだけども、でもアタシは人を裏切るってことが出来ないの。

――人がいいんでしょうね。

小畑　裏切ってたらもっと出世してんだろうけど、アタシはそういうことが嫌い！　人を助けんのは好きだけど、例えばプロモーターが「どうしてもここで男になりたい」って時なんか、昔はギャラじゃなかったの。「ヨッシャ！　この人を男にしてやろう‼」って、そういう感じだったんだから。

――男らしいですねぇ（笑）。

小畑　一番最初に女子プロが放送された東京12チャンネル（現・テレビ東京）のプロデューサーにしてもそうよ。あの時、白石さんていう運動部の部長で後に局長になった人がいて、アタシもえらく御世話になった人なんだけど、たまたまアタシ達がなんかのテレビに出たのを観て、明くる日、道場に来たの。「昨日試合してたのは、どの選手ですか？」って聞いて、それがアタシと佐倉（輝美＝現在、小畑と『BARさくら』を共同経営）さんのシングルだったのよ。で、道場でアタシ達の試合をもう1回見てTVが決まったんだから。

――それは凄いですね！

小畑　それで特番組んで放送したら、今度は、それ見て「素晴らしい！」って、参天製薬がスポンサーに付いたんですよ。

――それまた凄い！

小畑　最初の視聴率がゴールデンタイムで24・5％だか24・7％は、いったんですよ。

――うわっ！　テレビ東京でその数字は凄いですよね（笑）。

小畑　そう、あそこは、1（％）か2（％）しかないでしょ（笑）。でも、それまでには、いろんな葛藤があったしツライこともあったけど、「後楽園ホールに出てやろう！」「蔵前国技館で絶対試合してやろう！」って夢を持ってアタシはやってきたから。

――その夢をひとつひとつ順調に叶えていったんですよね。

小畑　そうよ。でも、それにはうんと努力しましたよ。蔵前国技館では、ムーラと闘ったのよ。

――ファビュラス・ムーラですね。最近も元気そうでWWFに上がってましたけど。

小畑　そうみたいね。ムーラは当時はホント凄かったけど、いまはリングに上がっちゃいけないわよ。話を聞いたら全然鍛えてないみたいじゃない？　ぶよぶよの身体してるんでしょ？

――そうでしょうね。もうかなり年はいってますし、トレーニングも、あまりしてないでしょうし。

小畑　でしょ？　リングに上がるんだったら鍛えなきゃダメ！　でも、だいたいアタシ達、日本人は身体小さいじゃない？

――まあ、そうですよね。

小畑　それに比べて、来た外人がみんな大きくてやんなっちゃったわよ（苦笑）。だってさぁ、あの人達の胸がぶつかるのアタシ達の顔なんだもん（笑）。

――顔ひとつ分違ったと（笑）。

小畑　足にしたって、アタシが23（cm）で、ムーラとかは（手を30cmぐらいの大きさに広げ）こんなデッカイんだから！　それでバッカンバッカン蹴っ飛ばされて、ヒザ蹴りなんかマブテンに入れられちゃうんだもんね。

――それはキツイかったでしょうねぇ。

小畑　でもアタシ達はそれなりに鍛えてるし、そんくらいじゃへこたれないから大丈夫だったけどね！（キッパリ）。

――さすがですね。ちょっと話は変わりますけど、万年東一（宮崎学の『突破者』でお馴染みの愚連隊の神様的存在。日本の女子プロレスの黎明期にも関わっている超大物）さんとは接点はあったんですか？　当時は小畑さんとは別の団体の会長だったわけですけど。

小畑　ありましたよ。会長さんはいい人ですよぉ（懐かしそうに）。あの人はヤクザ屋さんだけど、全然そういうのない人。全然怖くないし、いい思い出しかない。それに、そういう人達を

この写真は文中でも出てくる98年に横浜アリーナで行われた全女30周年記念興行でのもの。この日、女子プロ殿堂入りとなった小畑はマイクを掴むと「今でもプロレスが大好きです!!」とアピール、観客の目を釘付けにした。

アタシ、言っとくけど、いまでも引退してないんだからね!

怖いと思ったことないもん。ホントいい人達多いから。それに昔は（興行は）そういう人達の仕事でしょ？ そういう人達が仕切った方がどこ廻っても仕事が早いのよ。

――具体的に言うと、どういうことなんですか？

小畑 まずホテル着くでしょ、時間がきたら車で体育館へ、試合が終わったらホテルにって、とにかく無駄がないから疲れないのよ。いまみたいにバスで移動なんてまずなかったんだから。

――そういう人達が仕切って至れり尽くせりしてくれるわけですね。

小畑 そうそう。まあ苦労したっていえば自分達が若い時っていうのは特急とか新幹線って、そんなのないじゃない？ 鈍行で3日も4日も掛かって移動したこともあったけど、それぐらいかな。その苦労もツラかったけど楽しかったのよね。あれは若さよねぇ（しみじみと）。

――いまとなっては全部良い思い出だと。

小畑 そうね。いま振り返れば良い人生経験かなって思ってる。アタシはプロレスやったおかげでどんなツラさにも耐えられるし、どんなことがあっても絶対後ろは振り向かないもん。自分のやったことで「あちゃ～」と思っても、自分が悪いんだから自分で責任取るしかないでしょ。だから、「人生って良い時も悪い時もあんのよ。後ろ振り向いたら負けなんだから、1ミリでもいいから前に進みなさい！」って若い子に教えてんの。

――お店の客とかにですか？

小畑 そうよ。ウチはサラリーマンのお客さん多いの。挫折しそうになって「もう辞めたい」なんて、す～ぐ弱音吐くのよ。「もう1回だけ我慢してダメなら辞めなさい！」って言ってやるんだけど、だいたい「考え直して残ったおかげで良い思いができました。ありがとうございました」ってお礼に来ますよ。

――小畑さんに、そんなふうに言われたら気合いも入るでしょうからね（笑）。

小畑 それはどうかわかんないけど、ウチは変なお客さんはハッキリ言っていないから。だって入れないもん！（キッパリ）。

――変な客は入れない！（笑）。

小畑 そうよ。ウチの店は36年やってるんだよ。だいたい第六感でわかるの。ドアをパッと開けた瞬間にスグわかるもん！

――変な客だなと判断したら追い返しちゃうんですか？

小畑 （手の平を突き出して頭を下げ）「すみません」って言うのよ（笑）。

――アハハハ！

小畑 「アンタは入れない！」って言うのは簡単だけど、傷つけないようにね（笑）。でも生意気なのもいるわよぉ。「入れないんだったら看板消しな！」って。そう来ると、こっちも（ドスの利いた声で）「冗談じゃないよ、コノヤロー!!」って言うけどね（笑）。

て）これは毎日やってる。

のチャンスね。アタシ達は努力し

局長になった人がいて、アタシ

ないみたいじゃない？ ぶよぶ

ない。それに、そういう人達を

——うわぁ！（笑）。

小畑　でもさ、プロレスって言ってても、いま日本に幾つ団体あるっての。確か46とかあるんでしょ？

——よく知ってますね！　でも、小さいところも入れたらもっと多いと思いますよ。

小畑　3人とか2人だって団体って言ってるんでしょ。昔もハッキリ言ってそういう時もあったけど、いまみたいな感じとは違うな。アタシは人手が足りなくても選手にリング作りとか絶対させなかったから。それがプロとしてのプライドなのよ。

——いまはリング作りとかやってるレスラーは多いですからね。

小畑　そうでしょ。アタシは「そんなことまでやるの!?」って思われるのは嫌だったから絶対にさせなかった。その代わり自分はロープ張ったりとか全部やったのよ。それに自分が怪我しても選手は怪我させなかったし。

——自分は犠牲になってまで他の選手を守ってきたと？

小畑　そう。危ないって思うようなことは全部自分でやってたからアタシは怪我ばっかり（苦笑）。靭帯やったり肋骨折ったり頭切ったり。でもそれは仕事だからしょうがないでしょ？

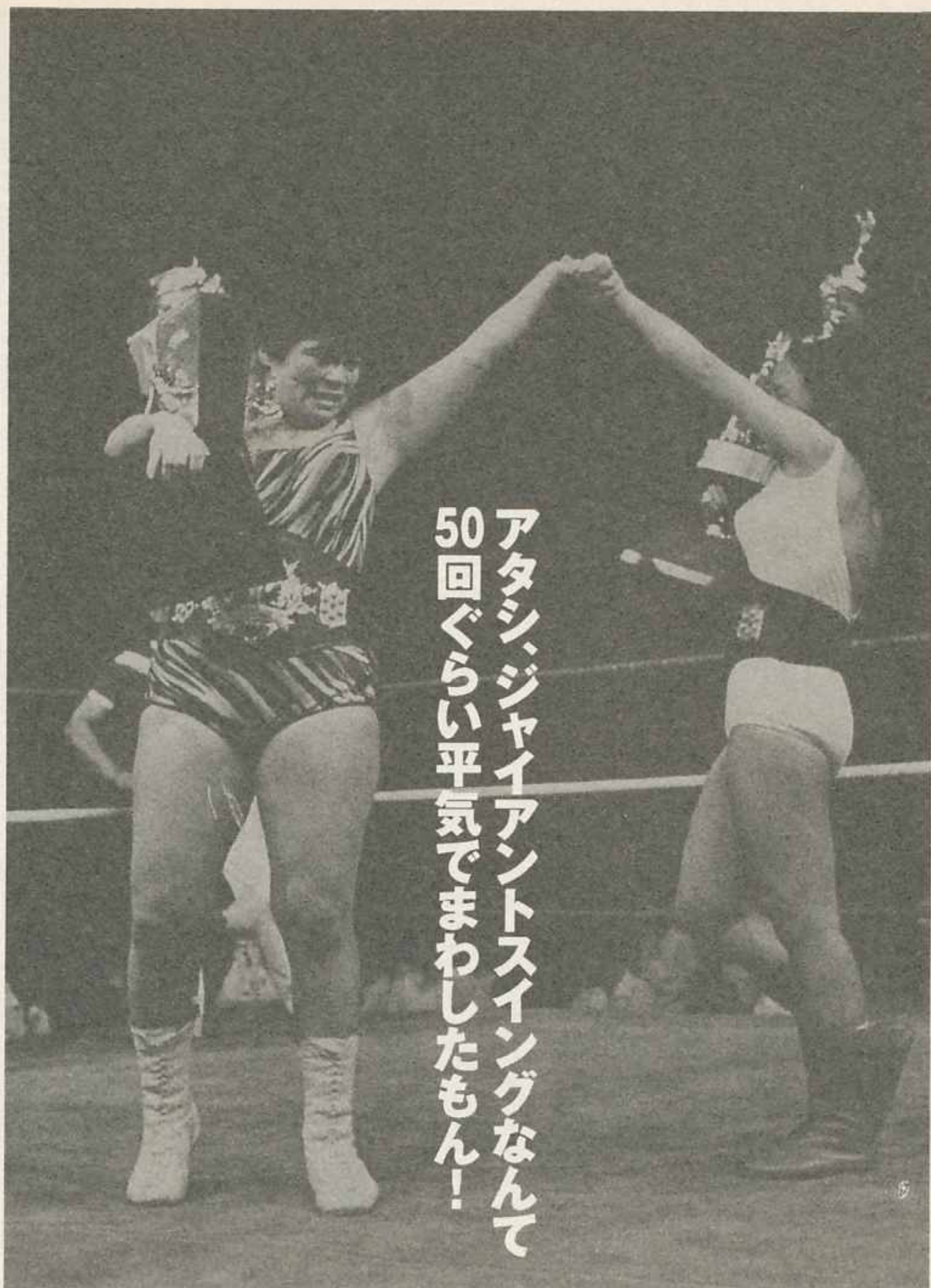
——まあ、プロレスにケガは付き物ですからね。

小畑　よく女子プロで「痛い痛い」って言うでしょ？　アタシ達は痛いのが商売なんだから、そんなこと言う子には「ウルサイ！痛かったら辞めなさい!!　アタシ達は痛いのが仕事なんだから」って言って聞かせたことあるの。

——それは正論ですね（笑）。

小畑　そうでしょ？　そうすると「考えてみればそうです」って謝りにくるけどね。

——やっぱり、その頃のプロレスと、いまのプロレスの違いって感じますか？

小畑　（即座に）全然違う！（キッパリ）。いまはハッキリ言ってゴングがチーンって鳴ったら、もういきなり決め技でしょ？　昔は散々いろいろやってから決め技としてブレーンバスターなり大技を出すもんなのよ。それが、いまは5分ぐらいでいきなりパイルドライバーなんかもやったりするでしょ？　アタシはちょっと考えらんない。そう思わない？

アタシ、ジャイアントスイングなんて50回ぐらい平気でまわしたもん！

LIVING REGEND | **CHIYO OBATA**

——確かにそれは同感です。ただ当時と比べるとリングも相当柔らかくなってるみたいですからね。

小畑　そうか、アタシ達ん時なんてこういうんだから（と、喫茶店の頑丈な木のテーブルをガンガン叩く）。

——それは痛そうですね（笑）。

小畑　痛いわよ！　受け身取れなきゃ紫になっちゃうんだから。それにね、アタシは受け身下手なんだよ。投げらんないから（苦笑）。

——投げられないから受け身が下手（笑）。小畑さんは投げ専門だったわけですね。

小畑　そうなの。アタシはパワー（ファイター）だから、担いだり背負ったりまわしたりね。ジャイアントスイングなんて50回ぐらい平気だったもん！

——ご、50回!!　それは馳さんもビックリですね（笑）。

小畑　ホント相手が可哀想なくらいよ（笑）。あと、いまはカウント取りにいって、いいとこまでいってるのに、寸前で何度も何度も放しちゃうじゃない？

——あぁ、カウント2・9の連発ですね。

小畑　（熱くなって）あんなのしつこいよ！　1回か2回でいいんだよ。（テーブルを叩きながら）「ワーン・ツー、あぁ～」って、それ5回ぐらいやってんだから。あれ観てっと家帰りたくなっちゃう!!

——家に帰りたくなる！（笑）。

小畑　まぁ、「小畑、生意気なこと言ってんじゃねぇよ！」って言われっかも知んないけど、ホントにそうなんだもん！

——いや、でもそう思ってる人は多いですからね。

小畑　でしょ。飽きちゃうわよ。幾つか違うような試合をやってるんならまだマシだけどさ。

——最近は同じような試合スタイルが多いですからね。

小畑　昔は前座は前座の試合があって、それで、だんだんお客さんが盛り上がっていったでしょ。いかにお客さんを熱くさせるかは選手次第だけどね。

——まあ、そうですよね。

小畑　ただ、一生懸命やってもお客さんが乗らないところってあるのよ。「なんなの、これ？」って思うことあったもん。「ヨッシャ！　じゃあ、変えてやろう」ってAをやろうって考えててもBにしたりね。そこでやっとそれなりに盛り上がるっていうことがあったわよ。先生がいつも言ってたのは「最後の勝負は自分の頭だ」って。

——ちなみにAとBの違いはなんですか？

小畑　それは自分なりの切り替えよ。いかにお客さんを飽きさせないようにって自分の頭の中で考えなきゃダメッ！

——小畑さんの先生っていうと誰になるんですか？

小畑　アタシのプロレス・柔道の先生は木下（幸一）っていう人なんだけど知ってる？

——あ、柔拳をやってた方ですよね。

小畑　そうそう。あの人は身体が（チョロを指して）あなたぐら

てるレスラーは多いですからね。
小畑　よく女子プロで「痛い痛
は散々いろいろやってから決め
——家に帰りたくなる！（笑）。
が（チョロを指して）あなたぐら

フロレス人生一直線
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

いか、あなたより小さいかも知れない。だけど凄い強かったの。確か柔道七段ぐらいだったけど、その素早さったらなんとも言えないんだから。手を狙っても足を狙ってもポーンって、すぐやられちゃうのよ。悔しくって道場で朝9時から5時まで毎日毎日腹筋と乱取りと練習して、とにかくこの先生を投げてやろうってのが最初の夢だったんだから。

——当然、その夢も叶えたわけですよね？

小畑　もちろん。6～7ヶ月ぐらい必死で練習してアタシは先生を投げれるようになったのよ（嬉しそうに）。そこまでには、かなり努力したけどね。

——先生から教わったのは、いわゆるプロレスのトレーニングではなかったんですか？

小畑　最初はそうね。受け身と、あとは全部ガチンコの練習よ。

——受け身とガチンコですか！

小畑　当時、女子プロはたくさんあったけど、ウチの先生はガチンコを教えてくれたの。だからアタシ達はどこでも通用したのよ。

——強さをまず叩き込まれて、それからプロとしての表現を教えられたと。

小畑　そうなの。だからどんな相手でも耐えられたの。普通いきなり外人となんかできない。外人のパワーってホント凄いのよ。今の外人のレベルは知らないけど、アタシの腕を（チョロの腕を高々と持ち上げ）こうやってガーッって片手で持っちゃうんだから！　アタシは両手でなきゃ外人の太い腕持てないもん。そういう相手と闘うんだから、やっぱしガチンコの技術なり基礎体力をしっかり付けないと太刀打ちできないのよ。

——それは、大変そうですね。

小畑　そりゃツラかったわよ。「先生、なんでここまで!?」って思う時もあったけど、先生が教えてくれたガチンコが現在まで保たせてくれたんだと思うからね。

——当時のプロレスの試合でガチンコの技術を使うことってあったんですか？

小畑　そりゃありましたよ。やっぱしカーッとなるとケンカになるんだもん（キッパリ）。

——ケンカになりましたか！

小畑　内緒でだけど（笑）。プロだからそういうことしちゃいけないけど、いかにバレないようにやるかはこっちの技術だから（笑）。

——具体的に言うと、どんな技術なんですか？

小畑　（可愛らしく）それはヒミツです。

——秘密ですか！（笑）。まだ現役ですからね。

小畑　アタシの場合だけど、顔面でもなんでも同じとこ蹴飛ばされてもプロだから2回までは我慢するの。けど、3回目やってきたらやっぱし「コノヤロー！　喧嘩売ってんな!?」ってなるから。

——そういう時にガチンコのテクニックを駆使すると？

小畑　いや、そう思ってもスグにはいかないよ。そんなことしたらバレちゃうから（笑）。しばらく経ってから「ヨッシャー！　ここらで一発行くか!!」ってガチーンってやるのよ。その後はすまして続けんの（笑）。

——アハハハ！　やるだけやったら、とぼけるわけですね（笑）。

小畑　でも先生にはすぐわかっちゃう。試合が終わってから呼ばれんのよ（苦笑）。

——「小畑、お前やっただろう！」と（笑）。

小畑　そう。「リングで（ガチンコ）はダメだぞ」って叱られて「はい、わかりました」……ってってもアタシはやったけどね！

——素晴らしいです（笑）。

小畑　そりゃ、やられたらやり返しますよ。けど、それは暗黙の了解だから。自分でも（ガチンコでやったとは）言わないもん。怪我のちょっと手前で止めればいいんだから。

——怪我をさせなければいいと。

小畑　いや、怪我させてもいいのよ。

——あ、いいんですか（笑）。

小畑　いいけど、怪我する前に逃げるから絶対無理。でも、いまのK－1とか何でもありのバカバカ殴るのあんじゃない？

——やっぱり、そういったガチンコ系も好きなんですか？

小畑　あれはちょっとね。ああいう試合で血が出るのって……（可愛らしく）アタシ血がダメなのよぉ。あれ、1・2・3でやれないもんかねぇ。

——3カウントありのバーリ・トゥードですか！（笑）。血を流させるために顔面殴ったりしてますからね。

小畑　頭ゴンゴン殴って、あれじゃラリコーなっちゃうじゃん！

ガチンコ？　怪我のちょっと手前で止めればいいの！

——ラリコーですか（笑）。

小畑　頭ラリちゃんになっちゃうよ。ああいう試合観てるとちょっとなぁって思う時あるもん。いまのガチンコって、ゴングがチーンと鳴って（殴る仕草をして）ゴーンでおしまいになるの多いでしょ。だからお客さんが1万円や3万円のリングサイド買ったってつまらないじゃない？

——『PRIDE』は一番前の席とか10万円ですからね。

小畑　（驚いて）エ～、10万？　そういうのが好きな人もいるんだろうね。でもアタシ、K－1も（アンディ・）フグがいた頃は楽しくて、よく観てたけどね。

——そうなんですか。フグの何が良かったんですか？

小畑　あの人は魅せるでしょ。あのカカト落としは足を上げるだけで価値があったじゃない？当たる当たらない別として（笑）。

——アハハハ！　まあ当たらなくてもフグのカカト落としは絵になりますからね（笑）。

小畑　だって、あれ当たったら頭割けちゃうもん。でもあの人は魅せたね。あれがプロよ。

——でもなかなか、ああいうスター性のある選手って出てこないですよね。

小畑　そうよね。でも、いま1人いるじゃない？　ほら、あの、なんとかコップって。

——あ、ミルコ・クロコップのことですか？（笑）。

小畑　そうそう。あの人は警官だけど、ちょっと変わってるでしょ（笑）。またフグとはタイプが違うね。フグは可愛げがあったし、それに華麗だし。やられながらでも、なんていうか……。

——色気もありましたしね。

小畑　そう！　色気があった!!　いまの、なんとかコップは野獣を捕まえに行く感じでしょ。それに、あの人は動きが速いから、自分はあんまりやられないよね。

——表情も変わらないですし。

小畑　淡々としてんだから。で

「神取が一番強いって？ いつだってやってやるよ! アタシが負けるワケないでしょ!!」

LIVING REGEND | CHIYO OBATA

もフグとは違うけどスター性はあるわよね。

――スター性はありますね。

小畑 ただ、いまプロレスの方は、あんまりスターっていないでしょ。アナタは、いまのプロレスってどう思う？

――正直、全体的にレベルは落ちてるかなとは思いますね。

小畑 そうでしょ？ それはね、みんな同じことやるからなのよ。わかる？ 夜中にテレビでちょこっとノアとか観てるんだけど、昔のプロレスってよく連携技とかあったじゃない？

――どんな連携技ですか？

小畑 ホイップやって、やられて腕取って取られてとか連携技ってあるじゃない？

――はいはい、ありますね。

小畑 ああいうのをもっとやるべきだと思うの。それでその中に大きな技を入れたりしてメリハリ付けなきゃ。いまのプロレスはラリアットやって、ロープの上からジャンプして、最後はマイクパフォーマンスでしょ？

――極端に言えば、そうとも言えますけど（笑）。

小畑 みんながみんな同じことやってんだから、お客さん飽きちゃうの当然よ。アタシも「この選手は観たいな」って思う時しかテレビつけないんだけど、ノアにさ、ちっちゃいけど、技の上手い子いるでしょ？

――丸藤さんですかね？

小畑 あっ、そうそう。あの子は業師よねぇ。アタシはああいうのを観たいのよ。アタシ達の頃の女子プロはああいうんだったの。だからお客さんにウケたわけ。

――丸藤さんは上手いだけじゃなく、レスリング出身なんでベースに強さがちゃんと見えますからね。

小畑 観てて強いのわかるもん。だから、ああいうことが出来るわけでしょ。例えば手を取られたら逃げよう、こう攻められたら逃げよう、こうきたらこうってわかるじゃないですか。普通アタシ達が（突然、片手でチョロの腕を極めて）こう持ったらこれで終わりでしょ（笑）。

――アタタタタ！ お、終わりです（笑）。

小畑 腕1本でおしまいなんだから。で、逃げられちゃうと思ったらこうやりゃいいんだから（と、再びチョロの腕を捻り上げる）。

――アタタタタタ！ ま、参りました（笑）。

小畑 ねっ？ アタシ達はそういう技術を全部身に付けてっから。でも、それをみんながみんな、やっちゃダメなのよ。そういうのを試合の中に少し入れたらいいと思うんだけど。こんなに団体があってやる場所もあるんだから。

――いまは男子も女子も試合スタイルが似てきてますからね。

小畑 昔は違ったよ！ 男の技はアタシ達は絶対使わなかった（キッパリ）。真似すんのは、アタシは絶対イヤだったもん。だいたい飛行機投げとかブレーンバスターとかあんなもんは、アタシが自分で勝手に上げて廻してただけなんだから（キッパリ）。

――勝手に廻してただけ！（笑）。

小畑 そうよぉ。誰にも文句は言わせないわよ。その頃、男はやってなかったんだから。自分しか廻してなかったし、それにアタシは50回ぐらいグルグルしたって目廻んないんだから！

――それは凄い！ 国際プロレスで男子の方と一緒にやってた時も男子の試合とかは、あまり気にしてなかったんですか？

小畑 気にしない（キッパリ）。男の人の方がアタシの真似してたんじゃないの？

――そうだったんですか（笑）。

小畑 その頃は外人でもアタシ達が「上手ねぇ」って感心するようなのはいなかったわよ。

――国際プロレスだと（ジョージ・）ゴーディエンコが凄かったってよく言われますけど。

小畑 エッ、誰？

――ラッシャー木村さんとかは「ゴーディエンコは凄かった」って、よく言ってますけど。

小畑 デスマッチの人？

――デスマッチは、やってたのかなぁ？

小畑 アタシは木村さんとも昔から友達なんだけど、彼は力道山にそっくりじゃない？

――背格好は、かなり似てますよね。

小畑 そうでしょ。昔は顔も形も似てたのよ。アタシと佐倉さんで、いつもリングサイドから「キムラーッ、いけーッ！ そこだぁーッ!!」って叫んでたの。

――リングサイドから叫んでましたか（笑）。

小畑 そうなの。でも、あの人はホントもったいないわねぇ。

――もったいないというと？

小畑 性格が大人しいからさぁ（しみじみ）。

――あぁ、そうですよね。優しすぎるんでしょうね。

小畑 優しさがリングに出ちゃうのよね。でもアタシも出ちゃうんだけどね、優しさが（笑）。

――そうでしたか（笑）。小畑さんは選手を見る場合って上手さで見るんですか、それとも強さで見てるんですか？

小畑 入場して来るでしょ、リングで身体検査してチーンって鳴っていきなりババババッとやってガーンと組めば、これはイケルなってわかるの。

――組んだら相手の強さがわか

プロレス人生一直線
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

るって、よく言いますよね。

小畑 前の試合で相手の動きとか見てるの。それをメモリーしといて、自分がぶつかった時には、その人の足の動きとかでこれが来るってわかるから。

――へぇ～、そこまでわかるもんなんですか？

小畑 だいたい、パッと見ただけで、これは強いなっていうのはわかるから。

――それは凄いなぁ。

小畑 いまでもウチのお店の女の子のお客さんと歩いてて、向こうから来る男が、この女の子のこと絶対触るとかって、すぐわかるもん。

――エッ、痴漢もわかっちゃうんですか？（笑）。

小畑 わかるわよ。だからアタシは、その子と場所を急に変えるのよ。そうすると、男の方は「ヒャッ！」ってビックリしてね（笑）。痴漢から女の子を何度助けてあげたことか。

――逆に小畑さんが触られたりはしないんですか（笑）。

小畑 アタシはされません（笑）。

――そうですか（笑）。話しは変わりますけど、小畑さんは「神取（忍）と闘いたい」ってよく言ってますよね。

小畑 なんで神取の名前を出したかっていうと、あの人は柔道から（入ってきた）でしょ。そんで、いっつもプロレスでは一番みたいなこと言ってるし、言われてるみたいじゃん！

――そういう人も多いですね。

小畑 こっちは、神取が一番なんてのは冗談じゃないよって思ってっから、アタシは神取に「いつでも来なさい」って言ってるの。

――お前が一番じゃないよと。

小畑 何度か言ってるんだけど（神取は）来ないのよ！ ま、来るわけないわよね。負けたら神取のとこの団体、仕事にならないもん（キッパリ）。

――凄い自信ですね。でも神取さんは浅草のお祭りには、よく顔を出してるみたいですね。

小畑 三社祭の時なんかウチのすぐ隣の通りに来るんだって。町内の方が「小畑さん、今日、神取が（御神輿）担いでたの見ました？」って教えてくれんだけど、アタシは「見ないよ、あんなのッ!!」って（笑）。

――アハハハハハ！

小畑 でもアタシ、いっつも「神取神取」って言ってるから、なんか遺恨があんのかと思われるけど、そんなもんないのよ。ないけど、浅草のウチの隣の通りで御神輿担いでんなら、一言ウチに挨拶来たっておかしくないでしょ！

――女子プロの先輩として。

小畑 そうでしょ。でも来ても入れないけどさ（ペロッと舌を出す）。

――アハハハハ！ でも挨拶ぐらいはしろよと（笑）。

小畑 挨拶しろとは言わないけど、ただ世の中そういうもんじゃないのって思うけどね。「いつでもいらっしゃい」って言っても来ないんだな（不服そうに）。

――小畑さんが神取さんに似てるって言う人もいますけど。

小畑 （声を大にして）向こうが似てんのよッ！

――（ビビッて）そ、そうでした。神取さんが小畑さんに似てるんですよね（笑）。

小畑 そうよ。それにアタシの顔は凶器なんだから。

――あ、そうなんですか（笑）。

小畑 （柔らかな声で）でもね、喋ると優しいのよ（ニコッ）。

――そうですね（笑）。神取さんと闘いたいっていうのはプロレスのリングでってことですか？

小畑 そうです！（キッパリ）。でもガチンコでもいいわよ。

――エッ、ガチンコでもかまわないんですか？

小畑 でも来ないでしょうね、彼女は。アタシ、自慢じゃないけど、これまでの女子プロレスの中でガチンコの一番は自分だと思ってるから（キッパリ）。

――相当、自信があるんですね。

小畑 経験があるから言えるのよ。じゃなきゃ言えませんよ、こんなデカイこと。出てって一発でチーン、コロンでやられちゃったら、いままで何のためにってことになるじゃない？ でも、やるんだったらプロレスがいいわね。

――どっちかというと、ガチンコよりプロレスルールの方がいいと？

小畑 そう。だって、お客さんからお金貰って観せてるわけでしょ。そうするとプロなんだから、チーンッてゴング鳴ってポーンッて手を一本取られておしまいじゃあ、つまんないでしょ。

――ガチンコでも、面白い試合を魅せてくれる女の子も最近出てきてるんですよ。

小畑 そういえば、いまガチンコばっかりやってる女の子の団体があるんでしょ？

――ＳＭＡＣＫ ＧＩＲＬっていうところと、『ＡＸ』っていう2つの大会があるんですよ。

小畑 女のガチンコを一番最初にやってたのはアタシ達なの。

――エッ、そうなんですか？

小畑 北海道とかいろんなところに巡業に行くでしょ？ そうすると飛び入りがあったんだから。

――素人の飛び入りですか？

いまだに女子プロ界では最強の呼び声が高い神取忍。あの天龍に対しても真っ向から立ち向かっていった神取だけに“リビング・レジェンド”小畑千代の挑戦から逃げるようなことはないはず。時は来るのか？

プロレス人生一直線
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

小畑　そう、男子の飛び入りよ（サラリと）。それを受けるのがアタシだったんだから。柔道家なんかがよく来たんだけど。

——……（驚きのあまり言葉に詰まる）。当時の男子選手がそういうのやってたのは聞いたことありましたけど。

小畑　女子でもあったのよ。しかも男子の挑戦を受けんの。そうすると、プロモーターが賞金出すから、先生は「小畑行って来い！」って、必ずアタシが言われんの。

——素人って言っても、相手も柔道家とかだったら、当然技術を持ってるわけですよね。

小畑　もちろんそうですよ。相手は柔道着でアタシはトレーナーの上下着て、その上に帯だけ締めて闘ったわよ。

——正直、男相手に怖くはなかったんですか？

小畑　あの頃は先生とガチンコの練習いっぱいやってたし、その先生も凄い人だったから。

——いつでもやれる準備はしてたわけですね？

小畑　そうね。賞金稼ぎじゃないけど、勝ったら選手全員で美味しいもの食べれるし（笑）。

——小畑さんが勝てば、みんなも美味しいものを食べられたと（笑）。そういう時のフィニッシュは腕を極めたりとかですか？

女の子の顔面パンチ？ 絶対やっちゃいけない!! それはダメよ！

おばた・ちよ■60年代の女子プロ黎明期からマット界と関わってきた小畑千代。68年には日本女子プロレスのエースとして東京12チャンネルのゴールデンタイムのレギュラー番組を持ち、コンスタントに20％以上の高視聴率を誇った。その後、74年にラッシャー木村、ストロング小林らの国際プロレスの女子部として活躍。2年足らずで女子部が廃止になると小畑もそれ以来、試合からは遠ざかっていくことに。しかしながら、現在でもトレーニングは欠かさず、新品のコスチュームとリングシューズを揃えており、本人曰く「いつでも用意はできている」とのこと。写真にもあるとおり、小畑は根っからの祭り好きで今でも元気に神輿を担いでいる。数年前にガンを患ったものの見事に克服した自称40代（笑）の現役女子プロレスラーなのだ!

小畑　必ず相手が腕を極めに来るの。それを反対に取ってね、逆の逆を極めるんですよ。

——逆の逆！　そういう修羅場をくぐってきたんで、いまでも自信があるんでしょうね。

小畑　それはそうよ。やらなきゃこんなこと言えないわよ。それに先生と闘ってるだけじゃ意味がないしね。その頃はもう先生を投げられるようになってたんで、先生にも「小畑は卒業したな」って言われてたから。もう何があっても「小畑小畑」でしたよ。

LIVING REGEND | **CHIYO OBATA**

——先生にとっては、頼もしい教え子なんでしょうね（笑）。

小畑　よその団体とやるんだって、とにかく小畑だったから。

——リング上以外でケンカとかはしたことはあるんですか？

小畑　1回もないわよ。やれば勝つに決まってるけど、それは武道家や格闘家がやることじゃないでしょ。その代わり、人はいつも助けてあげてますよ（ニコッ）。

——根は優しい人ですからね（笑）。でも、団体のエース兼ポリスマンっていうのは、あまりいないですよね。

小畑　そうかもね。でも、さっきの女の子のガチンコの団体ってどんな子が出てるの？

——女子プロから逃げちゃった子も多いですけど、最近は格闘技だけやって試合に出てくる選手も増えてるんですよ。

小畑　それはプロレスじゃなくてガチンコだけ？　プロレスでガチンコをやるの？

——『PRIDE』とかの女子版っていう感じですね。

小畑　じゃあ何、倒してからボコボコ顔殴ったりすんの？

——女の子なんで顔はダメっていうところが多いんですけどね。でも、こないだ顔面ありの女子の試合もあったんですよ。

小畑　（即座に）それはダメよ！　絶対やっちゃいけない!!　いくら女の子で強いったって、やっぱし女子は女子なのよ。いままでの女子プロが良かったってのは、華麗なところがあるじゃない？　それがあるから女の子なんだっていうね。

——女子ならではの身体の軟らかさを活かしたりした華麗さですよね。

小畑　そう。危ない技をやれなんて言ってるんじゃなくて、女の子しか出来ない技ってあるの。それをやればいい話なんだから。それにガチンコなんてのは腕一本取ったら終わりじゃない？　それで、例えばリングサイド1万円とか取ったら1回だけでもう観に来ないと思う。その上、女の子の顔をボカボカ殴るなんて、それはやっちゃいけない！

——まあ、顔面ありなしの問題はありますけど、いまは女子のガチンコがかなり盛り上がってるのは事実なんですよ。

小畑　その大会はどんなとこでやってんのよ？

——まだ、そんな大きな会場ではできないですけど、ディファ有明とかですね。

小畑　アタシ、それ観に行きたいな。

——一度観に行きましょうよ！　それで、もし興味が沸いたらリングに上がるっていうのもいいでしょうし。

小畑　う～ん、アタシはね、ガチンコの格闘技じゃなくて、プロレスでガチンコならやる！（キッパリ）。

※なぬ、ガチンコの格闘技じゃなくて、プロレスのガチンコならやる⁉　この発言の真意とは？　その他にもゴッチ、テーズ、さらにはWWF、ヒクソン、ミスター高橋本まで、マット界の生き字引・小畑千代が再度、現在・過去・未来のマット界をブッた斬り！　期待して待つのよ!!

リビング・レジェンドに会いたければ 浅草『BARさくら』へ行け!

※ただし、気に入られなければ入れてもらえません

現在、小畑さんは女子プロ時代から行動をともにしている佐倉輝美さんと浅草で「BARさくら」を経営している。本文中にも出てきたとおり、気に入らない客はお店の中へ入れてもらえないが、いったん気に入られると、もれなく小畑さんが現役バリバリの頃の試合ビデオを見せてくれるらしい。店内には若かりし頃の小畑さんと佐倉さんのパネルやトロフィーもたくさん飾られており、常連客にはプロレスファンも多いという。ちなみに佐倉さんは大の巨人ファンということなので、運良くお店に通されたとしてもアンチ巨人ファンは肩身の狭い思いをすることだろう。【営業時間】午後7時～午前1時【定休日】毎週月曜日【問い合わせ】「BARさくら」東京都台東区浅草3-37-10　TEL.03-3873-8944

5・2新日？ それとも5・5WEW？

いや、今年のGWは女子総合でキマリ!!

女の子だらけの興行戦争ボッ発!!

マァ☆ティン＆辻ちゃん、後楽園に登場!!

女子総合格闘技・AX『AX vol.3』

2002.5.4（土・祝）後楽園ホール　12:00START

辻結花（総合格闘技・闇愚羅）vs ジェット・イズミ（J-NETWORK）
星野育蒔（米里倶人満）vs 岡裕美（フリー）
久保田有希（総合格闘技・荒武者）vsドレイク森松（フリー）
佐藤歩（パレストラ福島）vs X
ブラジリアン柔術マッチ
藤城育美（クロスポイント）vs 照井和瑛（パワー・オブ・ドリーム）
※その他、1試合を予定

チケット発売所：米里倶人満小伝馬町店　TEL.03-3639-8605
問女子総合格闘技・AX　TEL.03-5286-7921

あなたがそそられるのは…Which?

格闘エンタテインメントSMACK GIRL ～GOLDEN GATE2002～

2002.5.6（月・祝）ディファ有明　18:30START

女子キックボクシング連合軍 vs SMACK GIRL連合軍5対5全面対抗戦
金子真理（禅道会）vs ウィンディ智美（全日本キック）
虎島尚子（RJW-CENTRAL）vs 大塚美弥子（J-NETWORK）
亜利弥'（フリー）vs 彩丘亜紗子（PALM）
瀧本美咲（禅道会）vs 大島椿（J-NETWORK）
大室奈緒子（和術慧舟會）vs 渡邉久江（LIMIT）
佐々木亮子（禅道会）vs X
髙橋洋子（三晴塾）＆中村珠美（禅道会）vs X（?）＆ X（?）
松田絵美（ファイヤージェニック）vs X（?）
ナナチャンチン（チーム南部）vs 坂口一美（GF2）

主催：スマックガール実行委員会　TEL.03-5447-8483
問オフィス天王洲　TEL.03-5461-0276

SMACK GIRL
FIGHTING ENTERTAINMENT

女の子版“猪木軍VS K-1”本格開戦!!

こんな時代だから女子総合の見方、教えます！

なんと、女子総合格闘技・AXが後楽園ホール進出!!　AXはこの場所にふさわしい今の女子総合格闘技を代表する選手を全て揃えてきた。辻・マァ☆ティン、久保田、ドレイク……試合はどれも見逃せない!!　かたやスマックガールは、女子キックボクシング連合軍を迎え打つという、女の子版“猪木軍VS K-1”とも言えるような5対5の対抗戦を打ち出した。このゴールデンウィークの2興行は女子総合の歴史に大きく影響するものになるはず。GW直前、女子総合格闘技の見方、教えます！

構成／松澤チョロ
designed by gutty（Two Three）

強くて凄くて面白い！ これが女子総合格闘家 トップ3だ!!

こよなく闘いを愛し、最強を目指す"天然格闘少女"。テンション上がりきった試合後のマイクアピールも注目。昨年末、辻結花に敗れはしたが、その後着実に実力アップ中。天才的なキャラクターと可愛げを兼ね備えた女子総合のエース！

星野育蒔（ほしのいくま）

「明るい未来が見えませーん！」

すっかり今年のマット界流行語大賞候補となった新日本の鈴木健想の迷マイクである。正直、現在の日本マット界でホントの意味で明るい未来が感じられるのは、武藤加入後イケイケの全日本プロレスぐらいじゃないだろうか？

ここにきて評価がうなぎ登りのZERO-ONEや、ミルコ対シウバ戦や武蔵対シュルト戦で本格開戦の『PRIDE』対K-1、〝ビバ・メヒコ！〟の追い風が吹く『DEEP』などなどにも〝明るい未来〟を感じることができるが、全日本と並んで、確実に〝明るい未来〟が見えているのが日本マット界にもう一つある。それが女子総合格闘技なのだ。

いくら『紙プロ』でプッシュしているとはいえ、まだまだ歴史も浅いジャンルと言える女子の総合格闘技。プロレスファンだけではなく、『PRIDE』などの総合ファンの中にも、いまだ女子の総合は見たことがないなんて人も多いことだろう。「女子は興味ない」「レベルが低い」「色モノでしょ？」etc……。そんな浅はかな理由で頭ごなしに目を背ける層も少なくないと思うが（実際、読者ハガキではいまだにそのような意見が多い）それはホントに、ただの食わず嫌い。こんなにおいしいモノが目の前にあるのにホントもったいないの一言である。

「ただの女子プロ好き、いや女好きなだけじゃねえの？」なんて声も想像できるが、ハッキリ言って女好きなのは否定しないが、女子プロ自体には、それほど思い入れもないのだ。

北斗晶の引退や浜田文子の参戦もあり安定した人気を誇っているガイアの1人勝ち状態と言える現在の女子プロ界。全女、アルシオン、LLPWの三つ巴の抗争は苦し紛れ感しか感じられないし、マニアファンからの支持を集めているNEOやJd'なんかにも正直〝明るい未来〟を感じることはできない。女子プロの老舗・全女も3月いっぱいでフジテレビでの中継が打ち切られてしまった。

これは男子プロレスの世界でも言えることだが、世代交代が一向に進んでいないというのが女子プロ界の〝明るい未来〟を感じさせない一番の原因であるのは誰の目にも明らか。上がつかえ、下が育っていないのは一番勢いのあるガイアを見ても一目瞭然。厳しい言い方をするようだが、女子プロ志望者も減少の一途をたどっているという現在、〝明るい未来〟を感じられるはずがないのだ。「そんなの言われなくてもわかってる」のかもしれないが、女子プロ再復興のためには各団体に頑張ってもらうしかないだろう。

そんな中、同じ女子でも、なぜ女子の総合に〝明るい未来〟を感じられるかというと、単純ではあるが、男子の世界と同じく世間的には純プロレスよりも『PRIDE』をはじめとする総合格闘技の方が認知され勢いもあるから、というのも間違いなくあるはず。修斗のルミナ、マッハ、そして宇野薫、『PRIDE』でのサクなどの男子選手に憧れ興味を持ち総合格闘技のジムに足を運ぶようになった女性は、女子プロに憧れ団体の門を叩く女の子の数をアッサリと上回ってしまっているのが現状。そこへ桜庭あつこの出場で話題となったReMixという女子だけの総合の大会が開かれ世間の注目を集めると、「これなら私も」と、さらにその勢いに拍車が掛かったと言える。

若者に対する修斗のイメージ戦略の成功と、今度の4月大会で二十歳を迎える『PRIDE』、この何年かの総合ブームで格闘技を始めた女の子の数はかなりの数になるはずだ。

そんな女の子たちがそこそこのレベルとなったところへできたのが、〝渋谷系女子格闘技〟スマックガール。いわゆるディファ有明で月イチ興行を行うようになった現在のスマックガールの初期バージョンだ。

海外選手も多数出場するReMixの登竜門的大会という主旨で始まった日本人選手による初期スマックガール。若者が集まる渋谷の小さなクラブ（ATOM）で酒やタバコを吸いながらオールスタンディングでナマの女のケンカを体感でき、さらにそこに彗星の如く現れた星野育蒔という10年に一人

今年のゴールデンウィークは女子の総合格闘技

辻結花（つじゆか）

レスリングではスウェーデンカップ優勝、全日本選手権3位等、輝かしい経歴をひっさげて総合に参戦！　切れ味鋭いタックルと、鮮やかな極め技光る試合は辻ちゃんならではのもの。昼は老人介護をしつつ、今後は修斗にも参戦予定だ！

しなしさとこ

サンボ世界選手権3位、レスリングの大会にも参戦するなどグラウンド技術はピカイチのしなし。しかしながら最近はSBで修得した打撃で攻めこむシーンも目立つ軽量級のエース。悩みは軽量級で同レベルの相手がほとんどいないこと

…ホントもったいないの一言であ
る。

…単純ではあるが、男子の世界と
同じく世間的には純プロレスよ…

…き、さらにそこに彗星の如く現
れた星野育蒔という10年に一人

級の（大袈裟ではなく）スターの登場によって、日本で初めて定期開催された女子の総合格闘技大会・スマックガールは奇跡的な空間を生み出したのだった。

これまでも神取忍率いるLLPW主催の女子の総合の大会（『L-1』）もあるにはあったが、単発興行で、いろんな意味でプロレスラー主導のガチンコだった『L-1』とスマックガールは違っていた。

スマックガールも八木淳子や張替美佳に千春といった女子プロ挫折組など元女子プロレスラーの起用も多々あったが、レベルはさておきリング上の闘いは100％ガチンコ。いわゆる〝バカヤロー！〟〝コノヤロー！〟に代表される女子プロスタイルが時代とともにリアリティを失うなか、〝バカヤロー！〟は聞かれないが、女子総合にはリアリティのある女の生々しい感情がビンビン伝わってきたのだ。

「やられたらやりかえす」

「勝利のあとの心の底からの笑顔」

「敗れた選手の悔し涙」

そこには日常生活ではなかなかお目にかかれない女の素の表情やら感情がビンビンと伝わってくるのだ。普段は、それなりの藪下めぐみがグンダレンコ戦をはじめ一連のReMixで抜群に可愛く見えたのも納得がいく。女はガチンコで輝くのだ、きっと。そういえば最近のスマックで活躍中の女子プロレスラー・ドレイク森松にもそれは当てはまる。

極々一部の選手を除いて、女子の総合なんて歴史の浅いジャンルだけに総合格闘技としてのレベルはかなり低い。しかも女の子だけに一撃KOできる腕力もないもんだから、とりあえず相手をひたすら殴る、蹴る、それだけ。

それだけといっても、どいつもこいつも「なんでそこまでやるの？」というぐらい、みんながみんなムキになっている。薄々きづいちゃいたが、やっぱり女のケンカは面白い。それだけでも滅多に見れるもんじゃないし、十分金を払う価値はあるのだが、現在の女子総合格闘技界には、星野育蒔、辻結花、（もう一歩で）しなしさとこといった、男子の総合で言えば桜庭和志や美濃輪育久といった、誰と闘っても魅せる試合ができる日本人選手がいるのだ。

もう一つ言えば、石原美和子、高橋洋子、久保田有希、ジェット・イズミらは女子版の金原、菊田級の実力者と言ってもいいだろう。選手層が薄い薄いと言われながらも、気が付けばタマは揃ってきているのが女子総合の世界。

いくらアマチュア時代に実績を残してもプロレス界では、すぐには活躍はできない。しかし、総合の世界では、ぽっと出でもスターになる可能性は大いにあるのだ。

もちろん、女子の総合格闘技だけで食っていける人なんて、女子プロとは違いゼロと言ってもいいだろう。だいたいの場合、なんらかの仕事をしている場合が多い（もっとも現在の女子プロ界もアルバイトをしている者が多いが）。その職種も実に様々。スマックや『AX』に出ている選手には、レースクイーン、アクション女優、モデル、会社の受付嬢、歯科衛生士、ステーキ屋、老人介護職、表には出ていないがキャバクラ嬢なんて何人もいるし、AV嬢だっているぐらいだ。『PRIDE』ではないが、女子総合格闘技界こそ、ある意味、格闘テーマパークと言えるだろう。

まだまだ黎明期の女子の総合、レベルが低いのは、しょうがない話。様々な職種の女の子が、わずかな技術と生まれ持った女の感情を互いにぶつけ合う。そんな女のケンカが面白くないわけがない。その上、大会を重ねるにつれ、色モノを超えた本物も何人か現れ始めている。普通に総合格闘技の試合としてクオリティの高い試合内容を魅せる者もちゃんといるのだ。

とりあえず、ゴールデンウィークには、5・4『AX』後楽園と、5・6『スマックガール』ディファ有明の2つの女子総合の大会が行われる。

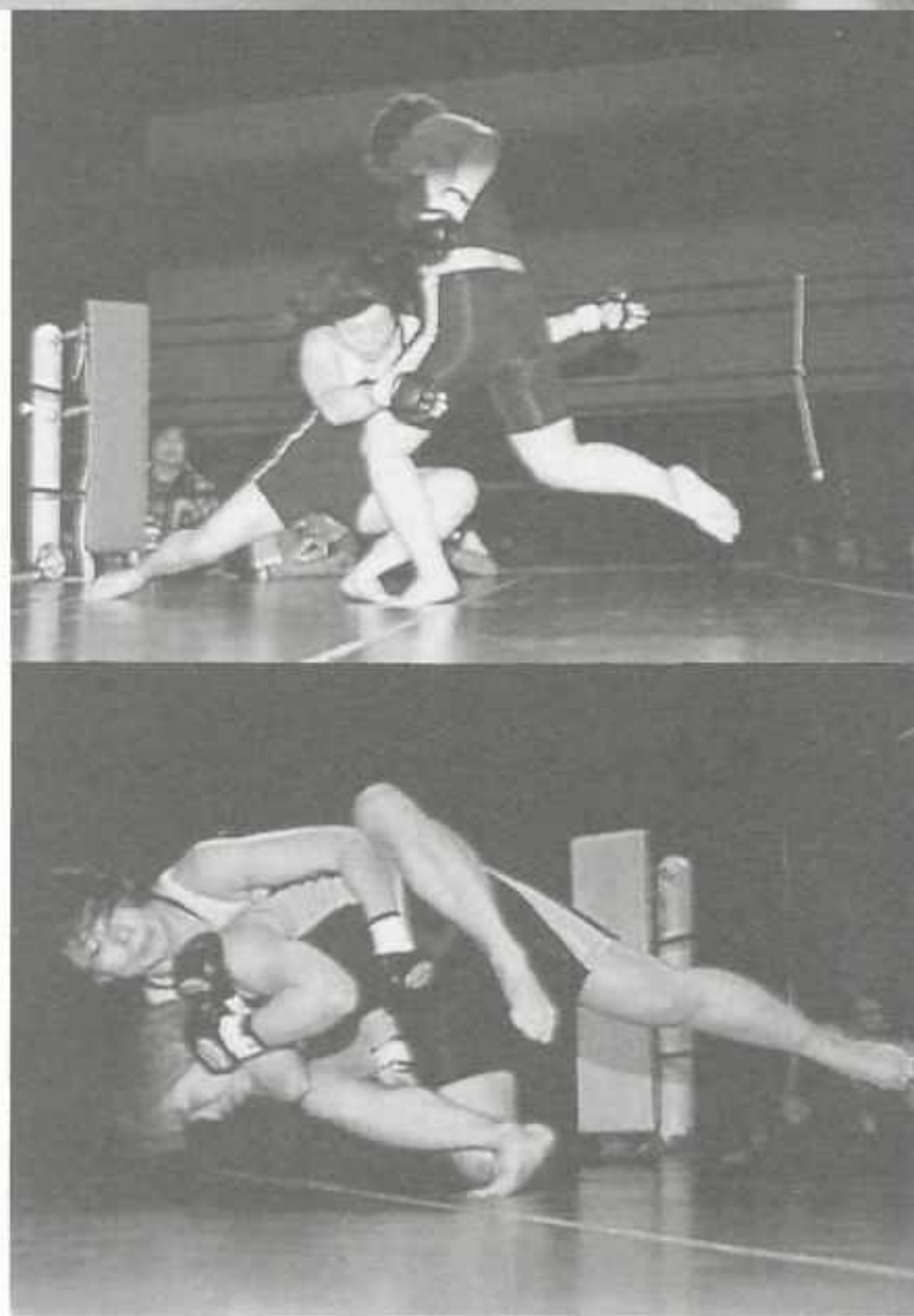
ボクが独断と偏見で選ぶ女子総合格闘家トップ3は、星野育蒔、辻結花、しなしさとこの3人。彼女たちの闘いを一度でいいから観てちょうだい。きっと満足するはずだから。

（文・松澤チョロ）

SMACK GIRL
ROYAL SMACK 2002
4.7 ディファ有明

ロイヤルランブルも1vs3もいいけど やっぱ辻ちゃん、アンタが一番!!

イロもん(失礼!)の中で 強烈に輝いたホンマもん!

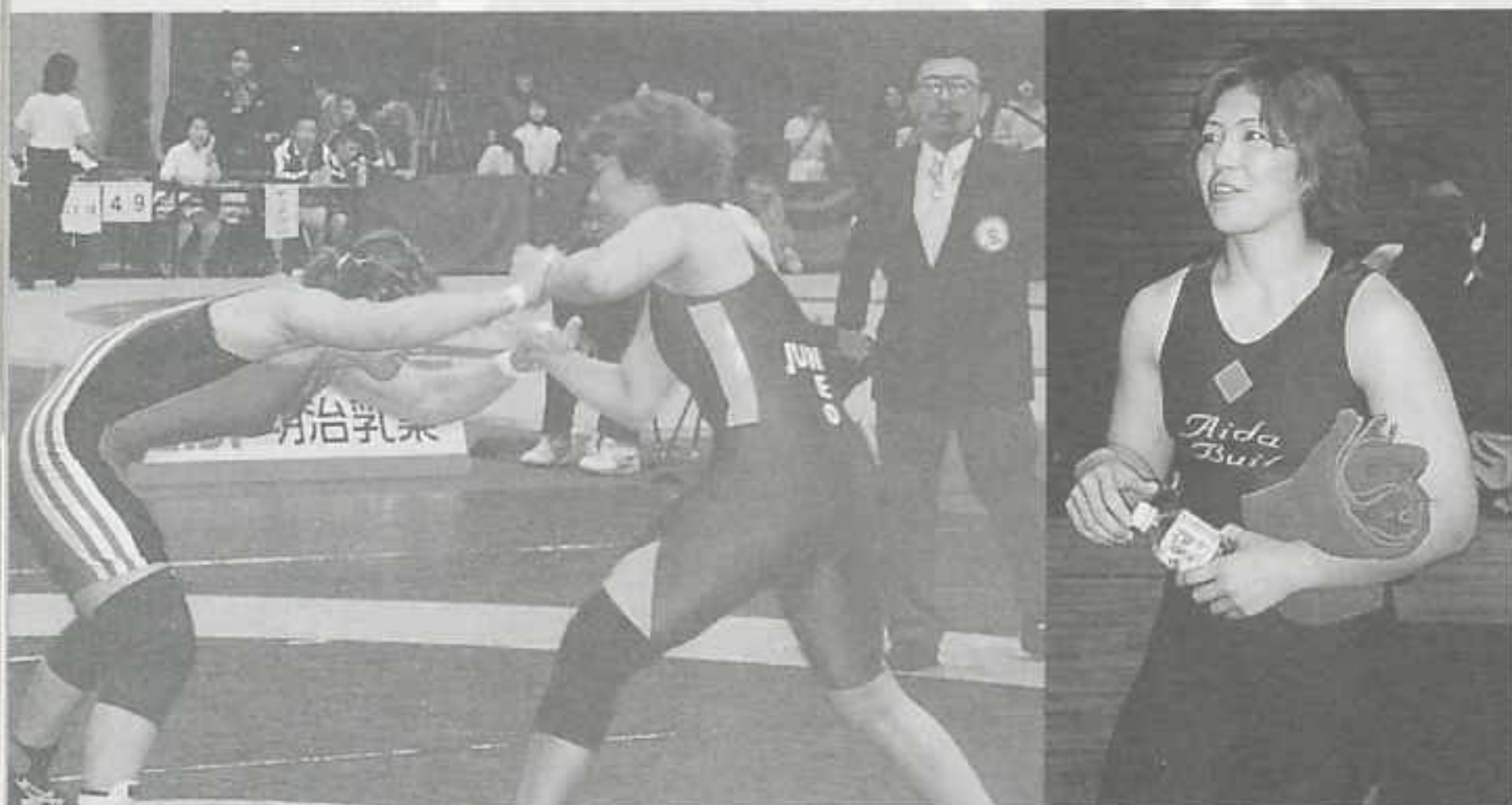
【写真上】試合終了後、控室を訪れたマァ☆ティン。【写真下】「辻さんの試合見てたら、もうこのままリングに上がってしまおうかと思うくらい試合したくなった」と興奮。再戦はいつだ!? 大阪から応援にかけつけたお母さんと辻の2ショット。それにしてもよく似た親子だ。

辻の試合でとにかく見物なのが、切りこむように鮮やかに入るタックルの瞬間！序盤の打撃のかるい応酬の後、素早い超低空タックルで内に入りこみ、岡の打撃を封じ込めた。最後は、これまた鋭いタックルからバックに回りこんでスリーパーを極め勝利。対戦相手の岡も次の試合が見たくなる良い選手だった（5・4「AX」で星野育蒔と対戦）。次回、辻は「AX」でジェット・イズミと闘うことが決定している。こちらも注目！

今大会、すべての試合の中で最も強烈なインパクトを残したのは前号のインタビューにも登場した辻ちゃんこと辻結花だった。辻は空手界の実力者・岡裕美相手に鋭いタックルと相手のお株を奪う打撃の技術を見せつける素晴らしい試合を展開。岡をスリーパーで下した後、緊張の糸が切れたのか、マイクを向けられると突然「えへへへ」と、カワイイ笑顔を見せてくれた。

辻の試合は昨年12月に行われたマァ☆ティンこと星野育蒔との一戦でも「勝ちに行く」という気の強さが見え、非常に面白い試合になっていた。もちろん、前回の星野、今回の岡、両名とも凄くいい選手ではあるけれど、辻はレスリングが単に強いというだけではなく「魅せる試合」「相手に絶対に勝つという気持ちで向かっていく」という、面白い試合を創るのに必要な条件が（いつどこで身に着けたのか知らないが）きっちりと染み付いている。今のところ、女子格闘技界のスターは辻と星野の2人だということは間違いない。前半にどんな選手が出てこようと、どれだけ秒殺試合があろうと、辻か星野がメインなら全くノー問題で、いいもん見せてもらいました！という気持ちで帰り道を歩けるだろう。

他の女子総合格闘技であるAXや修斗との色分けという意味からも、今後もスマックガールは「エンタテイメント路線」を大きく打ち出していくことになるのだろう。前半は呼び物的試合&初出場選手・後半はキッチリした試合という色分けもハッキリついてきている。ロイヤルスマックも1vs3マ

アマレス、修斗に柔術、そしてSMACK GI

八木淳子、アマレスで浜口京子と激突！

4月7日、東京・駒沢体育館で行われた女子アマレス「ジャパンクイーンズカップ2002」にあの八木淳子が出場！　女王・浜口京子と激突を果たした。準備期間わずか2週間足らずで浜口との対戦を決意した八木。柔道経験を活かしスタンドで勝負をかける作戦だったが、浜口の開始早々タックルから攻めで秒殺フォール負け！　世界レベルの実力を思い知らされた。今後もアマレスの参戦を表明した八木は、8月には総合の試合を行う予定だという。どこのリングだ？

クーネン、石原美和子を破り、女子最強の座を死守!!

4月14日、修斗・北沢タウンホール大会で行われた、女子最強との呼び声も高いマルロス・クーネン対〝禅道会最強の女〟石原美和子の一戦は一進一退のスタンドでの殴り合いとヒザの入れ合いが続いたが、リーチの差はいかんともし難く、2R終了間際には石原の顔は無惨にも腫れ上がっていた。結果は僅差の判定でクーネンの勝利。ちなみに今回の修斗のパンフレットはクーネンが表紙を飾った。

マァ☆ティン、柔術初挑戦でチャンピオンを破る!!

2月には場所も同じく北沢タウンホールで、初の女子のプロ修斗の試合を行ったマァ☆ティンこと星野育蒔。この日は、なんとブラジリアン柔術マッチに登場。対戦相手は柔術の大会で優勝経験もある国内女子柔術家トップの一人、パレストラ福島からやってきた佐藤歩。試合は、なんと柔術マッチ初挑戦の星野が勝利を収めた。そして試合後はお馴染みマァ☆ティンのマイクパフォーマンスが炸裂！　星野と佐藤はともに5・4後楽園ホールで行われるAXへ出場！

1分おきに総勢7名の選手が登場して闘うロイヤルランブル形式が採用されたロイヤルスマック！　打撃は一切禁止だが、強い選手に2人がかりで挑むことも可能という、格闘技大会では前代未聞のこのルール。ナナチャンチンはこのルールでうまく逃げ回れば連敗脱出か？と思ったが、そこはやっぱりナナチャンチン、アッサリと2人目の脱落者となった。あらら。

初出場ながら金髪ロングヘアーのかつらにごらんの衣装プラス花束を持って入場した渡邉。残念ながら試合は反則負けとなってしまったが、個性化と華やかさという面で合格！

ピンクのコスチュームの坂口はドレイクのパンチを浴び、なんとリング上で涙！　しかし想像していた以上にヨワヨワチームの3人が健闘し面白い試合展開となった1 vs 3マッチ。さすがに3人と代わる代わる闘っていたドレイクは終盤スタミナ切れとなってしまったが最後はキッチリ、金井の腕を極め勝利！　スマックで連勝記録を伸ばすドレイクは5月はAXへ参戦！

すでにTBSの「ワンダフル」で何度か紹介されているSMACK GIRL。今大会もワンギャル&show氏がリングサイドで観戦し、試合の模様は今回も「ワンダフル」で放送済み。ワンギャルとスマックの対抗戦が見たい！　その隣には「渋女」にも出演し、最近は様々な雑誌のグラビアを飾っている市川由衣が観戦。場所は同じディファ有明でプロレスデビューを果たしている市川。次はスマックデビューだ！

ッチも面白いものだったし、選手の新規開拓を広める意味でもこの色分けは非常にいいと思うが、希望としては前半に出ている選手にも「いつかはメインを」という野望を持ってもらいたい。「あたしは実力がないから色モノでいい」という割り切りは、ただメインの重圧が高くなるだけで、けして大会全体の士気を高めはしないのだから。むしろ色モノの試合に出場する選手にこそ、いつでもメインに出てやるという気概をもっていて欲しい。今ぐらいの選手数だったら、ひとり、そういう意思を持った選手がいるだけで大会全体がガラッと変わる可能性がある。

いつもロイヤルスマックに出ている選手が実は最強だった、なんていう物語が生まれてこそ、格闘エンタテイメントの本領発揮である。出でよ、強さが裏打ちされたエンタテイメントの主人公！　無名の目立ちたがり格闘少女、今ならまだ間に合う！

山本憲尚選手「PRIDE.20」でボブサップと対戦決定! おめでとうございます!!

ノリノリ情報局 リターンズ

©中川画伯

ノリノリ情報局は山本憲尚選手を応援します!がんばれ、ヤマノリ! フレーフレー、ヤマノリ!! ズバリ言って山本選手が負けたら『ノリノリ情報局』は終了します! 断言します! やめます、『ノリノリ情報局』!! ……まぁ、タイトル変わるだけで、情報ページはやらなくちゃいけないと思いますけど。でもせっかく続いたタイトルだから変えたくないの。頑張ってね、山本選手。ウソのつけない担当・ささきぃが、「紙プロ」的情報ページの正しい在り方を探りながらお送りします。正直でスマン。

★全日本総合格闘技オープントーナメント開催!

JTC (Japan Totalfight Championship) 実行委員会主催のアマチュア大会「全日本総合格闘技オープントーナメント」は、全国の総合格闘技の団体・道場・ジム等のアマチュア選手を集め、60kg未満級から82kg以上級の5つの階級で日本一の選手を決定する。アマチュアの育成・新しいスターの誕生への期待に関係者の注目も高い。ぜひ参加して、自分の実力を試してみよう。

【ルール概要】

- ・試合時間は3分2R。決勝のみ5分2R。休憩1分。判定ドローの場合、延長ラウンド2分とする。
- ・禁止技は、頭突き、肘打ち、顔面への拳・膝での打撃、グラウンド状態でのあらゆる打撃、ヒールホールド、フェイスロック、相手を頭部から落とす攻撃など
- ・オープンフィンガーグローブ、レガース、ニーパット等は必ず着用。シューズ着用不可。
- ・試合時間内に決着が付かない場合は、3人のジャッジの採点により勝敗を確定する。

日程:5月6日(祝)東北大会 宮城県・仙台青葉体育館
※5月1日申込書必着
5月19日(日)東京大会 東京都・夢の島総合体育館
※5月14日申込書必着
5月19日(日)北陸大会 長野県・高森町民体育館
※5月14日申込書必着
申込方法:JTC事務局に電話で出場申込書を請求した後、必要事項を記入して出場費を添えて現金書留で返送する。
費用:参加費 3000円
スポーツ保険(未加入者のみ)1400円

**問・申込:〒104-0061
東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
株式会社GCMコミュニケーション内 JTC実行委員会
TEL 03-3538-5801 FAX 03-3538-5802**

★ターザン山本「一揆塾」開校間近!!

写真は前回まで行われていた渋谷ロックウェストでの学習風景。君も一揆塾からスターをめざせ!

「一揆塾」が、今回からターザン山本人生道場として、闘道館でスタートすることになった。新規塾生を緊急募集中!プロのライターを目指す方はもちろんのこと、プロレスを通してものの考え方を学びたい方、「日常に埋もれこのままでいいのかっ?」と悩んでいる方、ターザン山本に全人格をぶつけるチャンス!

正式スタート

期間:5月7日(火)から6月25日(火)まで (2ヶ月コース)
毎週火曜日 19:30〜21:00 料金:24000円
※毎回、講義後はターザン塾長とともに飲み会が開かれます(自由参加)!

4月30日(火)19:30〜21:00
場所:闘道館 参加費:2000円
※「一揆塾」初参加の方に限り、特別料金1000円
(2回目以降は2000円)

**問・申込方法:「○回目体験講座」「正式コース」など、参加希望の講座を明記して、名前・住所・電話番号・年齢を記入の上、toudoukan@livedoor.comへメール、または直接電話。
闘道館 03-3512-2080**

★ターザン山本トークライブ「自画自賛の会」

最強の56才、ここに見参!! 活字プロレスファンに贈るトークライブ! また、闘道館ではターザンの過去のトークライブを収録したターザン裏ビデオも見られる。

日時:4月27日(土)夜7時ゴング
(6時45分より開場)
場所:闘道館 JR水道橋西口より徒歩3分
入場料:前売り 1500円(当日2000円)
ワンドリンク付
定員:45名
問・予約:闘道館 03-3512-2080

★堀辺先生の講演会「祖国を忘れし者に告ぐ」!!

格闘技界の哲人こと堀辺正史創始師範。「祖国を忘れし者に告ぐ」と銘打たれた講演会は、歴史の真実を武士道という観点から分析し、戦前と戦後で分断されてしまった歴史を繋ぎ合わせ、真の日本人像を探るという目的で開催されている。参加費は無料で、一般の人も多数参加している。「日本人とは何者なのか」ということに興味のある人は、ゼヒ参加してみよう。

開催日時:毎月第4日曜日(次回は4月28日) 13:00〜15:00
参加費は無料。参加希望の方は日本武道傳骨法會まで問い合わせること。<予約制>

問:日本武道傳骨法會事務局 03-3362-0010

★世界空手道連盟 真樹道場愛知支部主催のオープントーナメント 第4回・中部日本新人空手道選手権大会開催!

日時:5月19日(日)午前9:00 集合・計量/午前9:30 開会式
会場:岡崎中央総合公園 総合体育館 第2練成道場
(岡崎市高隆寺町字峠1番地 TEL 0564-25-7887)
参加費:5000円(保険料、弁当代含む)
※出場希望者は、下記申し込み先へ問い合わせて申込書を取り寄せた上、参加費を添えて現金書留で送ること。
申込〆切:4月30日(火)消印有効

**問・申込先:真樹道場愛知支部 大会事務局
TEL 0565-24-3861 (FAX 0565-24-3668)
〒471-0835 愛知県豊田市曙町5丁目45番地**

☆パンクラス

ドスカラスJr.へのリベンジを果たした謙吾が、DDTの橋本友彦と闘う! 郷野、12月後楽園大会で近藤に敗れてから5カ月目の復活! 大阪初登場!

「Sammy presents PANCRASE 2002 SPRIT TOUR」5月11日(土) 大阪・梅田ステラホール(18:30)

■**メインイベント:**ライトヘビー級戦・5分3R/ライトヘビー級8位・窪田幸生(パンクラスism) VS ライトヘビー級9位・郷野聡寛(パンクラスGRABAKA)

■**セミファイナル:**ライトヘビー級戦・5分2R/ライトヘビー級5位・石川英司(パンクラスGRABAKA)VS 渋谷修身(パンクラスism)

■**第4試合:**無差別級戦・5分2R/謙吾(パンクラスism)VS 橋本友彦(JPWA/DDT)

■**第3試合:**ライトヘビー級戦・5分2R/稲垣克臣(パンクラス大阪)VS金井一朗(パンクラスism) ※金井デビュー戦

■**第2試合:**ウェルター級戦・5分2R/北岡悟(パンクラスism)VS アライ ケンジ(パンクラスism)

■**第1試合:**ミドル級戦・5分2R/冨宅飛駈(パンクラス大阪)VS 佐藤光留(パンクラスism)

問:パンクラス 03-5792-0815

☆FMW

大仁田がFMWを復興させる! 松永光弘は「大仁田厚とのデスマッチの違いをハッキリさせるために」と、デンジャーロードとして乗り込み参戦決定!! もちろんボーゴ様ファンも必見!!

「大仁田厚FMW復興・再旗揚げ戦」
5月4日(土)東京・後楽園ホール(18:00)

■FMW再旗揚げ記念試合・タッグマッチ時間無制限1本勝負/大仁田厚&X VS 金村キンタロー&黒田哲弘

■【デンジャーロード第2章】サソリ画びょう30000個デスマッチ時間無制限1本勝負/松永光弘 VS 非道

■元祖! スクランブル・バンクハウス・デスマッチ時間無制限1本勝負/中牧昭二 VS 栗栖正信

■タッグマッチ時間無制限1本勝負/怨霊&サン・ボール VS ザ・シューター1号2号

■異種格闘技戦(プロレス対キックボクシング)・3分5R/上田勝次 VS チョコボール向井

■女子タッグマッチ(FMW対アルシオン)時間無制限1本勝負/シャーク土屋&中山香里 VS GAMI&Noki-A ※この試合を裁くのは、元FMWの工藤めぐみ! 今回限定!

■3WAYダンス/ニセ大仁田VS矢口一郎VS GENTARO

問:レインボープロモーション関東
0489-90-6767

☆みちのくプロレス

みちのく10周年! サスケはまだまだ元気だ!! 正規軍とFECの対抗戦、そして新日本からライガーの参戦が決定!

「みちのくプロレス
10周年記念大会第1弾『みちプロ大好き!』」
5月6日(祝)岩手・岩手県営体育館(盛岡市)

■みちプロ正規軍 VS FEC 全面対決シングルマッチ5対5/ザ・グレート・サスケ VS ディック東郷/タイガーマスク VS 日高郁人/グラン浜田 VS マッチョ・パンプ/西田秀樹 VS 折原昌夫/湯浅和也 VS 石井智宏

■スペシャル6人タッグマッチ/新崎人生&獣神サンダーライガー&ジョディ・フラッシュ VS カレーマン&ザ・コンビクト&サイキック

■つぼ原人 VS 北海珍念

■K-DOJO提供特別試合/Hi69 VS ヤス・ウラノ

問:(株)みちのくプロレス/019-626-1333(代)/みちのくチケットサービス 019-622-0002

☆GCM

道衣着用の総合格闘技『ORG』。衣を使った新たな格闘技の可能性を見に行こう!! 今回はなんと、田村率いるU-FILE CAMPとの対抗戦だ!!

「ORG the 2nd」5月12日(日)東京・板橋産文ホール(14:30)

■WK-NETWORK VS U-FILE CAMP/5対5 団体対抗戦

■WK-NETWORK U-FILE CAMP/先鋒:村田卓実 VS 小林悟郎/次鋒:西野聡 VS 小竹悠希/中堅:平山貴一 VS 磯崎則理/副将:飯田崇人 VS 西内太志朗/大将:門馬秀貴 VS 松田英久

■ワンマッチ/内藤征弥(A-3)VS 小沢 強(禅道会)/実原隆浩(Team品川)VS 鸖間貴雅(ストライプル)/久松勇二(TIGER PLACE)VS 鶴巻伸洋(フリー)

問:GCMコミュニケーション
03-3538-5801

☆NEO

世界プロレス史上初「50選手参加時間差バトルロイヤル」決行! ホリプロ女子プロレス軍団の参戦決定!

「いきなり黄金伝説in後楽園」5月3日(祝)東京・後楽園ホール(12:30)

世界プロレス史上初! 世界最大規模! 50選手参加時間差バトルロイヤル

※ちょっと多すぎるような気もする50選手参加バトルロイヤルは、協力団体・選手を募集中。インディ団体・男子団体も問わない(!)とのこと。詳しくはNEOまでお問い合わせを。

■「絶好調、裏切り者トリオ後楽園上陸」30分一本勝負/下田美馬&三田英津子&チャパリータASARI vs(マシンガンズ指名チーム)

■「NEOマシンガンズVSHJPGホリプロ女子プロレス軍団」30分一本勝負/タニー・マウス&宮崎有妃 VS ホリプロ女子プロレス軍団(メンバー未定) ※なお、この日は昨年の後楽園大会に続き、「遠路はるばる感謝キャンペーン」が行われる。東京、神奈川、埼玉、千葉以外から来場の方は、当日、身分証明書を提示すれば記念品が贈呈される! この機会にぜヒ地方からも行ってみよう!

問:NEO女子プロレス 044-422-8344

☆吉本女子プロレスJd'

TAKAみちのく率いるK-DOJOとザ・ブラディーが手を組み、遂にこの日、Jd'に本格参戦!!

「NAMELESS ENDLESS 02 ~Jd' 6周年記念興行~」
4月29日(祝)東京・後楽園ホール(18:30)

■メインイベント「開戦 ~Jd' versus KAIENTAI vol.2」坂井澄江&薮下めぐみ VS ザ・ブラディー&TSUNAMI(K-DOJO)

■タッグマッチ「開戦 ~Jd' versus KAIENTAI vol.1」山本千歳&富松恵美 VS K-DOJO選手2名(名前不明) ※富松恵美復帰戦

問:Jd' 03-5561-0522

☆アルシオン

LLPWの参戦がほぼ決定。アルシオン・全女・LLPWの対抗戦はどうなる!? 〆切の関係で間に合いませんでしたが、正式カードは発売日までには全て発表されてるはずだ。

「ARSION PREMIUM STARWARS 2002」
5月11日(土)東京・有明コロシアム

■クイーン・オブ・アルシオン・タイトルマッチ/ライオネス飛鳥(チャンピオン)VS 大向美智子(チャレンジャー)

■アルシオン vs 全女 プレミアム・スーパーグラッジ/吉田万里子&ロッシー小川指名選手 VS 堀田祐美子&堀田指名選手

■WWWAスーパーライト級王座決定戦
藤田愛 VS 納見佳容(全女)

■アルシオン VS 全女 プレミアム・リユニオン
玉田凛映 VS 前川久美子(全女)
AKINO VS 中西百重(全女)

問:アルシオン 03-5745-6101

☆全日本プロレス

幻想広がる6人タッグの参加チームが決定した。まっとうな気持ちで「どのチームが優勝するのだろう」と想像して楽しみたくなる組み合わせ揃いだが、なんと言っても念願かなってブッチャーとのチームが決定したケンドー・カシンに注目したい。

『全日本プロレス旗揚げ30周年 特別企画第2弾ジャイアント馬場杯争奪6人タッグトーナメント』

天龍源一郎&嵐&荒谷信孝/太陽ケア&長井満也&奥村茂雄/渕正信&保坂秀樹&愚乱・浪花/武藤敬司&ジョージ・ハインズ&カズ・ハヤシ/小島聡&本間朋晃&ジミー・ヤン/ケンドー・カシン&ジョニー・スミス&アブドーラ・ザ・ブッチャー/スティーブ・ウィリアムス&マイク・ロトンド&安生洋二/マイク・バートン&ジム・スティール&ザ・セッドマン

【試合形式】PWFルールでの時間無制限1本勝負
【試合日程】4月13日日本武道館より「2002スーパーパワーシリーズ」(4月27日後楽園ホール~5月12日後楽園ホール)でトーナメント戦を開催。

問:全日本プロレス 03-3404-0089

★マァ☆ティンに会いに行こう!

水道橋のチケット&トラベルT-1で、マァ☆ティンこと星野育蒔のサイン・握手会が行われる。同店でAX・5月4日後楽園大会のチケットを購入した人に整理券が配布される。ふがふが。

日時:4月29日(祝) 午後4時~

問:T-1 03-5275-2778

★東京元気大学にチアリーディング部設立!

スマックガールやAXのリングでアイドル格闘家として活躍していた角田絵美が、名も新たに"香咲えみ"として、須藤元気や中川画伯も在籍しているバーチャル大学・東京元気大学のチアリーディング部「ミルキィ・キッス」の部長に就任した。今なら学費免除! 入学金のみで君も憧れの元大生に!!

©中川画伯

東京元気大学HP http://tgu2001.com

★スマックガールスクール&アルバイト募集

スマックガールでは大会に出場する選手を育成するために『スマックガールスクール』を開講する。都内練習場所へ毎週日曜日に集まり、格闘技選手の指導に基づき合同練習を行っていく予定で、「試合に参加してみたい!」という若くて、健康的な女性を募集中。希望者は全身写真・顔写真を同封の上、履歴書を下記スマックガール委員会まで送付すること。合格者は無料で練習に参加した後、最終的には試合に参加できる。また、スマックガール実行委員会ではアルバイトスタッフも募集している。大会運営に参加してみようと思う人も、下記スマックガール実行委員会まで写真添付の履歴書を送付しよう。

応募先:〒106-0047
東京都港区南麻布4-11-21 ランディック南麻布B1
株式会社ナビードットコム『スマックガールスクール』係
『スマックガールアルバイト』係

問:スマックガール実行委員会 03-5447-8483

★蝶野&武藤のテーマ曲演奏バンドが来日公演

蝶野正洋のテーマ「クラッシュ」、武藤敬司の旧テーマ「トライアンフ」を演奏するロイヤル・ハントが来日公演を行う。蝶野とロイヤル・ハントは、キーボードのアンドレ・アンダーセンと蝶野が海外遠征時に飛行機で偶然乗り合わせて知り合ったという。過去2回蝶野はライブに登場したこともあるので、今回も乱入があるかも!?

公演日程:5月17日(金)東京:新宿リキッドルーム
5月18日(土)横浜:Bay Hall
5月20日(月)名古屋:クラブクアトロ
5月21日(火)大阪:BANANA HALL

問:(東京・横浜)プライムディレクション 03-3408-9595
(名古屋)キョードー東海 052-962-0511
(大阪)キョードー大阪 06-6233-8888

★禅道会が横浜道場オープン!!

3月30日のパンクラス・後楽園ホール大会で、初参戦ながら美濃輪と引き分けた男・百瀬善規、秋山賢治、女子修斗でクーネンと闘った石原美和子など、多数の強豪を続々生み出している空手道禅道会。4/1、ついに横浜道場をオープン!! フィットネスからプロ志望まで幅広く対応。ぜひ一度見学を!

場所:東急東横線 綱島駅 徒歩4分

問:空手道禅道会 横浜事務局 045-591-1813

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

PART 2

吉田文泰人生劇場

書評の星座

前田（忠明）を全否定せよ！　……というわけで、「TV『特ダネ!』で“映画『アリ』試写会に猪木が来た!”という話題をやっていて、猪木VSアリ戦の映像が流れた時に芸能レポーターの前忠が『プロレスは打ち合わせがあるけど、この試合はガチンコなんですよ!』とコメントしてました。ミスター高橋本効果がここまで……」とのタレコミが到着した、今日この頃。そこで、今回は高橋本がプロレス界に与えた影響を裏テーマにしてお送りする書評コーナー【e-mail:go@kamipro.com】

『もう一つの闘い　血糖値596からの糖尿病克服記』
（アントニオ猪木／三笠書房／1300円）

ミスター高橋本の出版以降、プロレス界を守ろうとするのはいいけどすっかりポイントのズレたことばかり言い出す選手が続出していることに、キミは気付いているだろうか？たとえばタイガー・ジェット・シンは、雑誌『映画秘宝』（洋泉社）で「WWFはシナリオのあるショーだが、IWAはいつもセメントだ！」と、まったく説得力のない独自すぎる主張をシャウト！　なんでだよ！

当然、常に隙だらけの藤波辰爾も『来襲！アメリカンプロレス読本』（洋泉社）で「WWFと新日はまったく違う」と断言しつつ、なぜか「彼らはもうオープンに『プロレスというものはこういうものですよ』という部分でやってる。ミスター高橋本が話題になってるけど、あれを現実化したのがWWF」と、思いっ切り失言していたわけなのだ。……あれ、高橋本は新日のことだけ暴露してたんじゃなかったっけ？　だったら同じじゃん。

結局、下手にコメントすればこうなる始末なんだから、あえてノーコメントを貫き通そうとした団体側の戦略はいまにして思えば正しかったのかもしれない。新日の元企画部長・永島ナマハゲ勝司が『サイゾー』（インフォバーン）で言っていた、「あの本のどこそこが嘘だと言えば、じゃあここは本当か、なんてきっと聞かれるでしょう。うかつに口も挟めないよね」との発言が、業界関係者に共通するリアルな本音なのだろう、きっと。

さて、そんな状況下で猪木がリリースした、この糖尿病克服本。伝説のアクラム・ペールワン戦について『Number』が「ペールワンとは、実際には“プロレスラー”という意味でしかなかった」と暴露したいまもなお「『ペールワン』というのは**「イスラム社会で最強の男」に与えられる称号**」と当たり前のように書いてたりするから、昔ながらのプロレス幻想を守ろうとする隙だらけの本だと受け取る人もきっと多いことだろう。

ところがビックリ。表紙などでは糖尿病治療に役立つ実用書のように見せかけておきながら、猪木は本の中でブラジル時代に**「農場では生水を沸かしもせずに飲んでいたから、よく赤痢などにかかったが、いつのまにか治ってしまっていた」**などと自分の超人ぶりばかりアピールしまくることで、新たな猪木幻想を作り出していくわけなのである！

「何の拍子か斧が私の右足に突き刺さってしまったことがある。日本だったら救急車騒ぎだろうが、病院は遠い。仕方なく水で洗って放っておくほかなかった。だがそのうち傷は勝手に治ってしまった」

プロレスラーになる前からこんな調子だったので、**「指の骨折くらいなら医者にもかからず、リングも休まず、自分で治して」**いたと、まずはひたすら俺自慢を繰り返す猪木。

これらの経験を話したら、**「医師から『普通の人の三十倍は快復力がある』と太鼓判を押されていた」**というのに、皮肉にも猪木は糖尿病に冒されてしまったのである。

ただ、それでも猪木はさすがだった。

「やたらにのどが乾いてしかたがないのだ。ガブガブと水やジュース、炭酸飲料と、一日中、見境なく飲みまくっていた。だから、トイレの回数も増えて、一日に二十回以上も小用を足していた」

……というぐらい、**「糖尿病の兆しは、これでもかというほど出ていた」**のに、「呑気が一番！」な猪木は**「ちょっと疲れがたまっただけなのだから、うまいものをたらふく食べて栄養をつければ、いずれ快復する」**と考えて、**「糖尿病治療でいえば最悪ともいえる栄養や糖分の補給を『疲れがとれ、体のためになる』と積極的に行っていた」**わけなのだ！　それじゃあ、血糖値が常人の7～8倍になるのもしょうがないって！（これもさすが）。

しかも、**「当時の私は一日に平均5000キロカロリーの食事を三回、つまり、1万5000キロカロリーを摂取しているのに、消費カロリーは4500キロカロリーに過ぎなかった」**というから、こんな食生活を続けたら、10年続くプロレス生命が5年や3年で終わるのも当然の話なのであった。

こうして猪木は、医者から**「過食による糖尿病で、選手生命は断念しなければならない」**とキッパリ宣告されてしまったわけである。

「ちょっと下世話な話になるが、男の下半身特有の生理現象がなくなったのもこのころだ。私も三十九歳の健康な男だったから、それまでもちゃんと勃つものは勃っていた。それがなくなったのだから、不安もよぎる」

つまり一時はインポにもなっていたのに、いまではすっかり糖尿病を寛至、もとい完治させた猪木。それらの経験から、まずは自然治癒力を高めるべきだと読者にアドバイスしていくんだが、問題はそのために役立つという**「生きがい療法」**の存在だろう。

そう。これを定義すれば**「心に余裕とユーモアを忘れなければ免疫能力が高まり、治癒効果が上がる」**とのことで、つまり猪木の「どうってことねえよ！」という余裕溢れる姿勢と、いつ何時でも連発するダジャレは、単なる**「生きがい療法」**でしかなかったわけなのである。さすがは猪木！　完璧だよ！

『プロレスへの遺言状』
（ユセフ・トルコ／河出書房新社／1600円）

伝説の猪木対ウィリー・ウィリアムス戦を裁いたユセフ・トルコが、劇画王・梶原一騎の梶原プロに所属していた84年に著書『こんなプロレス知ってるかい』（KKキングセラーズ）で「異種格闘技戦の八百長シナリオ」について暴露していたのは、おそらく懸命な

『紙プロ』読者であれば御存知のはずだろう。
つまり「オレがなぜレフリーをした？　セメントじゃなかったからさ。ドクター・ストップも台本通りだ」とウィリー戦をバッサリ斬り捨てた、いわば早過ぎたミスター高橋とでもいうべきトルちゃん（梶原一騎調）が、なんと久しぶりに新作をリリース！
すっかり期待して即買いしてみたところ、なぜかそこでは猪木対ウィリー戦についてこんなことが書かれていたのであった。
「この試合にはリハーサルがあった、という噂があるらしいが、それはまったくの嘘だ。そんなことは一切ない。試合の朝、家を出るときに私は女房に『今日は生きて帰れるかわからない』と言った。それほどピリピリした状態で当日を迎えた。それが真相だ」
……いや、周囲の人間が殺気付いてビリビリしていたのは紛れもない事実だろうが、リハーサルの噂（というか、おそらく事実）を流したのはトルちゃんじゃなかったのか!?
なぜいまになってここまで猪木寄りの発言をするのかと思ったら、この本には当の猪木のみならず**「八〇年以降アントン・ハイセルの事業を中心に活動する。現在はブラジルにてアガリスクを扱う会社を経営している」**という猪木の実弟・啓介氏まで登場していることに気付いたのであった。なるほどね。
このデタラメさ、ボクは断じて全面支持！
まあ、本としては全体的に真面目な作りにしようとしているため、トルちゃんの独特なデタラメ・パワーがあまり感じられないのはちょっと残念なんだが、これらのやりとりではさすがにボクも爆笑した次第なのである。
「（東京プロレスの）旗揚げ戦では豊登さんが来ましたよね」（猪木啓介）
「そうなんだよ。猪木がさ、俺に内緒で呼んだんだよ。だから俺は頭に来ちゃったんだよ」（トルコ）
「でもトルコさんが『九州男児じゃないか』と豊登さんのことをパンッと叩いて、すばらしい挨拶をしたのを覚えてますよ」（啓介）
「だれが？」（トルコ）
「トルコさんが（笑）」（啓介）
たまらないよなあ、このデタラメっぷり。
それと、かつてルー・テーズと組んで日本のマーケットを牛耳ろうとしたグレート東郷に鉄拳制裁を喰らわせたとき、その隣の部屋にテーズがいたことまでは知っていたんだが、これまたデタラメなその後があった模様。
なんと**「東郷のもろもろの件が落ち着いたころかな。ルー・テーズと私は結構昔から仲がよかったから、いっしょに屏風をアメリカに輸出する商売をやった」**と、それまで本気でやり合ったはずの相手と一緒にビジネスしていたことまで発覚したわけなのだ！
このように過去の確執を飛び越えて平気でビジネスできる懐の深さといい加減さが、トルちゃんの最大の魅力なんだとボクは思う。
だからこそ、過去に**「猪木は人間のクズだ。ホラとウソ、で塗り固めた臆病なペリカン野郎の化けの皮を剥いでやる！　悔しかったら俺様の挑戦を受けろ！」**と噛み付きまくった相手と再びタッグを組むようになったトルちゃんも、そこまで言われたのに**「『ユセフ・トルコの遺伝子』も俺の中に残っている」**と言い出す猪木も、お互いに最高なのである。
そして、猪木はトルちゃんとの対談で**「トルコさんには本当にかわいがってもらいましたよ。それに、いろいろな遊びも教わったしね。これは活字にはできないけど（笑）」**との下半身方面らしい告白に続いて、**「トルコさんって、なんとなく俺の兄貴に似てるんですよ。このいいかげんさがね（笑）」**なんてことも言い出したから、ようやくボクにも謎が解けた。
過去の確執を越えて2人がここまで仲良くできるのも、猪木ファミリーとトルちゃんにたまらなくデタラメな魅力を感じていたのも、要するにそういうことだったのだろう。
それにしても、トルちゃんが**「とにかく放漫経営は今すぐやめろ。無駄な金を使うな、世間に甘え続けるな、天罰は必ず下される」**と吠えまくったり、猪木が**「当時の日プロと最近の新日にはよく似た部分がある」**といまになって言い出したりしているのは、一体どういうことなのだろうか？　つまり、いまの新日も日プロ時代と同じようにダラ幹たちが放漫経営しているということなのか？
どうにも気になってしょうがないんだが、とりあえず最も気になったのは**「なんで引退後も猪木コールが起きるのか。自分なりにそれを分析してみたんだよ。それは、『気』あるいは『オーラ』という脳の波動に関係があるんじゃないかと思う」**という、サッパリ理解できない猪木のトンデモ発言なのであった。

プロレスへの
遺言状
my will for Pro-wrestling
ユセフ・トルコ

いま、歴史の証人たちがすべてを語った！
特別対談 VS ユセフ・トルコ
現代のカリスマ・アントニオ猪木
力道山未亡人・田中敬子
元日本プロレス経理部長・三澤正和
アントニオ猪木実弟・猪木啓介
日本プロレスの四天王・遠藤幸吉&吉村道明
日本プロレスの三羽烏・駿河海
定価［本体1600円］（税別）
河出書房新社

書評してほしい本はどれだ!?　この６冊以外からも募集してます！

書評していない星座

『ザ・ロック自伝』、『現代思想』プロレス特集本、ターザン編集のミスター高橋攻略本『プロレスファンよ、感情武装せよ！』、ジミー鈴木「まるごとわかるアメリカンプロレス」などなど。本誌スーパーバイザー吉田豪の書評が待ち遠しい本が数多い最近のプロレス本事情。というわけで、今号都合により「書評の星座」PART2のスペースが空いたことをいいことに（というか、困ったため）、書評してほしいプロレス・格闘技本を大募集します！（ジャン斉藤）

前田日明
超語録集

『前田日明　超語録集』（ゴング格闘技特別編集／日本スポーツ出版社／952円＋税）
「ゴン格」がやらねば誰がやる！」と出された前田日明の語録集。巻末では三輪明宏、石田えりらとの対談を収録。

NIPPON SPORTS MOOK
続・新日本プロレス事件簿（改訂補充版）
新日本プロレス　今、そこにある危機!!

『続・新日本プロレス事件簿（改訂補充版）新日本プロレス　今、そこにある危機!!』（竹内宏介／日本スポーツ出版952円＋税）
「週ゴン」で連載した「新日本プロレス崩壊の危機」を加筆修正し出版されたムック本を、また新たに加筆した竹内氏の執念の一冊。

『来襲！アメリカンプロレス読本　WWFが日本にやってきた！』（洋泉社／900円＋税）
3・1横浜大会も含むWWFアジアツアーを中心に構成された洋泉社アメプロムック第3弾。今号の「書評の星座」で引用された藤波インタビューが収録。

『フラッシュバックPart2　プロレスラー魂の激白108』（栃内良／えい出版社／1400円）
「馬場さんが目にしみる」「馬場さん、忘れません」など著書を手掛け〃馬場派〃の第一人者で知られる栃内良氏のレスラーコメント集の第2弾。

『週刊プロレス スペシャル8　新日本プロレス スーパー30年史』（ベースボールマガジン社／876円＋税）
新日の歴史をいろいろな角度から振り返る30年史。ドラゴンがレスラーを批評する「ライバル31人実力判断」は必見。

『2002女子プロレス★オールスター★スーパースターカタログ』（Lady,sゴング特別編集／日本スポーツ出版社／860円）
女子プロマニアにはたまらないカタログ本。全女・松永四兄弟が揃って登場。

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！ ２０ページにも及ぶ大特集！

¥700 ⇒ ¥350

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校

「紙プロ」的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

¥780 ⇒ ¥390

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か？

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

¥780 ⇒ ¥390

第17号 1995年7月号
特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄規・破壊王・ブル中野／パトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

¥780 ⇒ ¥390

格闘男
撮影／荒木経惟 プロデュース／南部虎弾

桜庭和志、藤田和之、村上和成、アレクら１１人のプロレスラーが天才アラーキーと勝負した！ カメラの前で"生身"をさらけ出し「男の張る」姿を見逃すな！

¥3000（税金・送料込み）

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か？

佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス

「紙プロ」を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念〜夢一途なり〜石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 情念とは何かがわかる一冊である。

¥2200（税金・送料込み）

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／K－1とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのK－1三兄弟（当時）インタビュー

¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃！
極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

¥1530 ⇒ ¥800

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

¥2100（税金・送料込み）

パンクラス公式読本[矛]

９７年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃！ 鈴木みのる／近藤有己／山田学／故・長谷川悟史／そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ！

¥1260 ⇒ ¥630

パンクラス公式読本[盾]

９７年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る！ 船木誠勝／パンクラス非公式座談会／ナゼか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現！

¥1260 ⇒ ¥630

No.43

サクと「PRIDE」のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K－1」にリンクを張った!!

●ブラジリアン・トップチーム3大柱ノゲイラ／スペイヒー／アローナ
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
●異端児中野巽耀が内からUを語る！
前田日明／谷津×グッドリッジ／大谷普二郎人生相談／山本憲尚／須藤元気

01年10月 ¥880

No.44

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か？

●最強師弟コンビ『PRIDE』完全制圧！ノゲイラ&スペーヒー
●橋本真也「人生ケサ斬りチョップ」
●プロレスの面白さここにあり！ 闘龍門特集 U・ドラゴン／ミラノコレクション／TARU&TARUシート
H・ナイマン&ディック・フライ／E・ヴァラビーチェス／高山&杉浦貴／シーザー武志／G小鹿

01年11月 ¥880

No.45

「K－1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!! 『紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念号

●「ミスター高橋本」特集！ミスター高橋独占インタビュー／激論3本勝負前田日明／ミスター・ヒト／佐山聡
●メキシコ現地潜入闘龍門特集U・ドラゴン／T2P
●隼隊!? グレート小鹿の半生を辿れ！A大塚／金原弘光／G・ゴルドー人生相談／矢野×須藤／葛西純／2001語録

01年12月 ¥880

No.46

PRIDE.LOVEをブチ壊す男!! 時は来た！ 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!

●さらばリングス！金原弘光×和田良覚が語る／浅草キッド
●"ならず者"がDEEPで快勝！ーエル・カネック
●元WWFスーパースター、キラー・カン例の本に大激怒！
CIMA／アレク&大場貴弘／TAJIRI／坂田亘／サスケ／小林孝至

02年1月 ¥880

No.47

WWF日本侵攻5秒前！ 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!

●"天才"武藤敬司が「紙プロ」驚愕の初登場！
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る！
●第一次リングス閉幕特集／V・ハン／リー・ハスデル
●葛西純「人生相談」
大谷普二郎／小笠原和彦／K－1中量級／ストロング金剛／ミスフィッツ

02年2月 ¥880

No.48

4・28ミルコvsシウバ実現？ これで見えてきたゾ桜庭満開の日!!

●メガトン級奇跡の対談！小川直也&アントニオ・R・ノゲイラ
●今明らかになる和田最強伝説
●WWF日本上陸！武藤敬司／小川直也／ウォーリー山口／ヒョードル／横井宏孝／ジョー・サン／小路晃&ミラノコレクション／辻結花／ミスターポーゴ／ジョシー・デンプシー

02年3月 ¥880

紙のプロレス RADICAL【常備店】

- アイドール新宿店
- 新宿ファイター
- 大山アメリカン
- プロレスマニア館
- チャンピオン
- リングスパレス
- バディスラム
- タコシェ
- レッスル渋谷
- レッスル池袋
- 書泉ブックマート
- 書泉ブックタワー
- 書泉グランデ
- ワールドスポーツ

プラザKINGS
・池袋
・渋谷WEST
・新宿
・名古屋
・大阪
・札幌
・福岡

- グレートアントニオ
- 東京イサミ

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】00130-3-769154（株）ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702（株）ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送料1冊＝310円 2冊＝380円 3冊〜4冊＝450円 5冊＝520円 6冊以上＝700円

★『『紙のプロレス』 NO.1〜NO.7／NO.9〜NO.12／NO.18／NO.20〜NO.22 『猪木とは何か？』『猪木とは何か？キラー編』『大山倍達とは何か？』は完売!!

紙のプロレス RADICAL Back Number

鶴田教授も ご推薦!!（のハズ）

新入生諸君、こちらのテキストを購入のこと!!

No.5

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明超過激対談
●前田日明の大好評人生相談「人生は甘らず」
●佐山聡が世界格闘技連盟を語る
長与＆飛鳥／長井満也／柳澤龍志／D東郷／G浪速／ビクター・クルーガー

97年8月 ¥680

No.7

反骨の剣ー田村潔司 赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●新日本から長州引退まで木村健悟が語る
●全女松永会長の豪快な人生観を学べ!
●"喧嘩屋"タンク・アボットの雄叫びを聞け!!
前田日明／T・ファンク／アジャ・コング／ジャガー横田／冬木弘道

97年12月 ¥680

No.10

大和魂は連鎖する一前田日明vsエンセン井上 各方面に波紋を投げかけたスクープ対談!
●松永高司×サスケのっぴきならない経営者対談
●冬木弘道がプロレス進化＝WWF論を明言
●日プロ出の元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章／桜庭和志／前田日明人生相談／ダイアナ／宮内美穂

98年6月 ¥680

No.11

ヒクソンを狩れ!ー高田延彦vsエンセン井上が実現!!
●引退試合直後の前田日明の想いを聞け!
●格闘か芸術か格闘芸術か!?佐山聡／スーパー宇宙パワー／故・福田雅一
●東洋の神秘ザ・グレート・カブキ引退記念インタビュー
●SWS多重アリバイ! アポロ菅原
折原昌夫×小野武志／ダンプ松本

完売間近

98年8月 ¥780

No.15

目を覚ましてください!! 小川vs橋本"1・4事変"勃発!
●UFO代表佐山聡は問題児? A級戦犯?それとも真の革命児!?
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓!浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ! 佐野なおき／Mr.K
A・カレリン／馬場さん追悼／語ろうマサ・サイトー／A・浜口親娘／北原光騎

99年2月 ¥780

No.16

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●前田日明が引退後初のロングインタビュー
●環境問題を「紙プロ」で語る!? アントニオ猪木
●SWS多重アリバイ! 石川孝志
高阪剛／山本喧一／M・コールマン／石川雄規／語ろうジャンボ鶴田

99年3月 ¥780

No.19

オーバー・ザ・プロレス 今度はM・ケアー! 高田延彦の新たな挑戦!!
●修斗ウェルター級王者になった宇野薫登場!
●オスマントルコとオシャマンベ対決! ユセフ・トルコvs由利徹
●病床から上田馬之助マット界に大提言!
前田日明／エンセン井上／世界のプロレス／佐山聡／成瀬昌由／ドン荒川／TARU

完売間近

99年6月 ¥780

No.24

頭打ちすぎたかアレク!!『PRIDE.GP』特集 アレクサンダー大塚1・30密着ドキュメント
●WWF大検証!猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談!
●編集部が総力をあげた!船木vsヒクソン座談会
桜庭和志／田村潔司／堀辺正史／守山竜介／太刀光／嵐／中西百恵

00年2月 ¥840

No.25

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●Uにこだわるヘンゾ戦後の田村潔司を直撃!
●ザ・ロックに首ったけ!三四郎・杉Jが徹底解剖
●「ミスター高橋本」の因縁がここに!!
前田日明／ダン・ヘンダーソン／アニマル浜口／石川雄規&小路晃

00年3月 ¥840

No.26

格闘ゴールドラッシュ! やっちゃってくれサク! 世紀の大一番ホイス戦直前!
●ヘンゾを破った田村に前田がロレックス贈呈式
●村浜武洋のレスラー転向は是か非か?
●あのミスター高橋が黒幕告白!?
TAKAみちのく／斉藤彰俊／山本宜久／大仁田厚／CRUSH2000／エンセン井上

完売間近

00年4月 ¥840

No.29

「格闘環境」は刻一刻と激化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●三沢光晴／ノア勢フルメンバーが遂に登場!
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
●SWS多重アリバイ! 仲野信市
桜庭和志／山本喧一／ボビー・ホフマン／TKおかん／里村明衣子

00年7月 ¥840

No.30

燃えよ! 闘魂の火種!! 村上、佐竹を喰えるのか!? オーちゃん、ヒクソン戦へ
●元祖日本人ユセフ・トルコがエンセン井上を激励!
●マット界の生き字引永源遥が全てを語る!
●ケンドー・カシンを探れ!暴言ファイルも併録だ!!
リングスUSAinハワイ特集／秋山準／永源遥／ジャイアント落合／桜庭あつこ

00年8月 ¥840

No.31

真のストロングスタイルは「PRIDE」にあり!! 歴史に残るベスト興行「PRIDE.10」大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継!レフェリーは浅草キッドだ!!
●ダン・スバーンがプロレスの情報公開を語る
●全日のボヤキング川田語録
小川直也／高山善廣／谷津嘉章／堀辺正史／永源遥／ユセフ・トルコ／柳沢龍志

00年9月 ¥840

No.32

本誌は"新プロレス"を独占します!! リングスvs新日! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝! A・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!?青柳政司×小路晃
●和製カレリン本田多聞覚醒!
桜庭和志／山本喧一／金原×滑川／藤波語録／ラッシャー木村／世界のプロレス

00年10月 ¥840

No.34

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!!「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●近藤有己に完勝!UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●修斗から「猪木祭り」へ宇野薫
●ミスター・ヒト業界のタブーをぶっちぎる!
KOK総力特集／谷津嘉章／薮下めぐみ／ボブチャンチン&オバチャンチン

01年1月 ¥840

No.35

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!! 「純プロレス」を考え倒せ!500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZERO－ONE始動!橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●ジョー樋口の一本気な生き方に泣け!
KOK大展望／大仁田厚／小路晃／アマレスの系譜杉浦貴／堀辺正史

01年2月 ¥840

No.36

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立「PRIDE」参戦!高山善廣を確認せよ!!
●KOKをしゃぶりつくせ!5大企画で大総括!!
●"女破壊王"鍋野ゆき江が現役復帰!?
三沢光晴／大山峻護／W☆ING大検証／ザンディグ／ジニアス×ハリー・レイス

01年3月 ¥840

No.37

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●佐竹を撃破!安田忠夫借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001ー大探険記!
●他に比類なきプロレスがWWFにはある!
桜庭和志／成瀬昌由×山本憲尚／村上一成×小路晃／堀辺正史／石川雄規

01年4月 ¥840

No.38

高田の"忘れ物"は小川!!ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●藤田和之戦ド直前!高山善廣の言葉を噛み砕け!!
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●阿修羅原の修羅人生劇場!
グンダレンコ・スベトラーナ／力皇猛／杉浦貴／丸藤正道／梁正基／G・ゴルドー

01年5月 ¥840

No.39

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての"騒動"に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光／滑川康仁
●桜庭和志が初のシウバ戦以降初登場!
●佐山・オーちゃん・ヤマノリ秘話公開!藤原敏男
秋山準／田上明／石川×臼田×島田／DEEPとは何か／藤田和之座談会

01年6月 ¥840

No.40

猪木軍vsK—1に見たいものは"地上最強のプロレス" 藤田和之野獣咆哮!「ブッ殺してきます!!」
●蘇れ!Uインター&キングダム伝説!高山善廣×金原弘光
●TAJIRIはホントに凄いんです!
●灼熱のガイジンムーブメント!C・ニュートン／V・アターエフ
●DEEP2001とは何か?
小川直也／三沢光晴／橋本真也／大谷晋二郎／郷野聡寛／グラン浜田

01年7月 ¥880

No.41

Can you カミングアウト? "最後の黒船"WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●SMACK GIRLがヤバイ!星野育蒔／篠原光／堀辺正史×薮下めぐみ
●ビバ!メヒコ!!ドスJrにカト・クンリーとルチャ幻想狂い咲き
●「無比人」映画化決定!真樹日佐夫×三池崇史
リングス10周年／小川直也／高山善廣×金原弘光／茨城清志／秋山準語録

01年8月 ¥880

No.42

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって"福音書"か?"テロ行為"か!?
●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●"ストロングスタイルの伝道師"仲野信市引退記念
●蘇れ!UWFインター伝説!!高山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦／谷津嘉章／カト・クンリー／星野育蒔／WWFの見方特別講座

01年9月 ¥880

★『紙のプロレスRADICAL』 NO.1～NO.4／NO.6／NO.8 NO.9／NO.12～NO.14／NO.17 NO.18／NO.20～NO.23／NO.27 NO.28／NO.33は完売!!

ひとりでも （株）ダブルクロス・IT事業部改め 電気部のページ

電気ですか〜〜〜ッ!!

2月から始動した"IT事業部"は、先月から佐藤耳男・ささきぃの2人で「電気部」として活動中です。仕事は主に携帯サイト「紙プロHand」の更新、「紙のプロレスRADI CAL」公式HP発表！　さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動をメインにしていますが、編集部のお手伝いとして本誌読者ページや情報ページの作成もしたりしています。そんな電気部・ささきぃ(元OL)の半月を振り返ってみました。こんな感じで日々仕事をしています。

4月1日（月）編集部
RADICAL編集部見習い・ガイ子さんが来ない。どうしたんだろう。ガイガイ。後にわかったことですが、常用している●●●を飲みすぎてラリってしまい、夜中に目覚めて鍋を空焚きしたりしていたそうだ。人生いろいろである。

4月2日（火）中野・イプシロン
携帯サイト「紙プロHand」のプログラムを組んでくれている会社、イプシロンさんへ打ち合わせに。
藤崎さんはとても優れたプログラマーさん。こっちのいろんなお願いを、ほいほいこなしてくれた。そんなステキな藤崎さんは、ピップエレキバンをサイフに入れておいたら、磁気でキャッシュカードが全部ダメになってしまったそうだ。ていうか、大丈夫ですか？　ウチの仕事お任せしていいんですか？

4月3日（水）編集部
電気部で、紙プロRADICALオフィシャルＨＰのコンテンツの打ち合わせ。コンテンツほぼ決定。完成したら、きっと読み物としても非常に面白いものになるはずだ。毎日更新したりで、大変だろうなぁ。

4月4日（木）自宅
お休み。ガイ子さんが復活していたらしい。

4月5日（金）編集部
ガイ子さんが、本誌お会計・林ヘックション一枝さんにこってりと怒られていた。なぜかはよく知らないが、多分クスリ飲みすぎて数日休んだ事が関わっているのではと思う。

4月7日（日）ディファ有明・スマックガール
辻ちゃんこと辻結花VS岡裕美のメインは、凄くいい試合だった。「サクVSシウバを見ているかのようだった」と、チョロさん。女子格闘技は、男の格闘技ほど技術が進化しすぎていない分、技の攻防がわかりやすい（それを未熟だと言う人もいるけど）。格闘技観戦初心者は、むしろ女子から見ていってもいいと思う。

4月8日（月）編集部
携帯サイトにおかしな文章があったと会長（山口編集長のあだ名）からメール。「高山が永田に乱入」……寄生虫？　またかよ。耳男、しっかりし……私でした。気づけよ。反省。

4月9日（火）明るいビル→編集部
ホームページ製作の参考にさせてくださいとお願いして「ほぼ日刊イトイ新聞」の編集部を見学させていただいた。凄く刺激をうけた。帰り道耳男くんと、今日のことを受けて今後のことを話しあう。編集部に帰ってきた後、耳男くんが「明日休んでいいですか」とメモを差し出してきた。……どうぞ。

4月10日（水）ホテルオークラ→編集部
サンクスから発売されるアントニオ猪木・闘魂伝承メニューの発表記者会見。ガイ子さんと一緒。レスラーがこういうことをすると、怒る人もいるけど、私は、いつも等身大の小せぇレスラーより、己をキャラクター化されても平気なデッカイ自我を持ったレスラーが好きだ。だから、こういうことはガンガンやっちゃって欲しいと思う。お弁当を試食する。マジうまかったが、ガイ子さんは「この1週間でこれが一番いい食事です〜」と言っていた。おいおい。お土産にお弁当をもらう。両手にお弁当を抱えた私たちは、なんか貧乏な家の子みたいだった。「取材って楽しいですねぇ」ガイ子さんはとても素直だ。でも、いつもこんな取材ばかりじゃないよ。
会社に帰って早速この記事と、高山の永田への暴言FAXの記事をあげる。ふぅ。夜になって今日は全日本チャンピオンカーニバルの決勝だと思い出す。紙プロはチャンピオンカーニバルなんか記事にしないと思っている人もいるんだろうなぁ。やってんだよ！　携帯サイトではその日のうちに速報あげてるよ!!
明日休もうと思っていたけど休めそうにないーー。明日の携帯サイトの更新は耳男くんに頼んで、RADICALの仕事に専念させてもらおうっと。

➡会見場で安田弁当を食うささきぃ（女）

4月11日（木）東京駅→編集部
大谷晋二郎を石川社長が東京駅で「待ち伏せ謝罪」するらしい。そんなの誰が取材に行くんだろう、と思っていたら私に回ってきた。そんな気もしていた。報道陣が十数人、八重洲中央口で待つ石川社長を囲むようにして待つ。「だれか有名人が来るんですか？」と、おじいちゃんやおばあちゃんに聞かれる。説明しづらい。
他の改札から出てきた大谷を石川社長が追いかける！「裸になって話がしたいんですよ大谷さん！」そう言って本当に上半身裸に。東京駅構内で。——結局、大谷に謝罪の意は伝わらなかった。「これからもこちらの誠意をみせていくしかない」と語る石川社長の話を聞いていたら、すぐそばでどう見ても報道陣じゃない普通のおじいさんがうなずきながら社長の話を聞いていた。話の後「この人はなんていうプロレスラーかね」と訪ねられる。「石川雄規というプロレスラーです」「その人がケンカしにきたのかね」「いえ、ケンカじゃないです」
身体的な都合でいづみちゃんが辞めた今、2人しかいない電気部の片割れ耳男くんが来ない。どうしたんだろう。電話もルス電。「もしもーし。具合でも悪いんですかー？」メールを見てみたら「もう駄目です。おしまいです。佐藤」何事？　あわてて返信。「よくわかんないけど、とりあえず早まらないで、社会人なんだから、どういう行動とるべきかわかるよね？わかったら連絡ください。佐々木」——今思えば、妙に心配してるような返事を打ってしまった自分に腹が立つ。これを知った会長は「What？」と数度問い返した後、「これが耳男のやり方かァ!!　いつまでこんなことやってんだァ！　あのクソデブ!!（※耳男はホントにデブ）」と破壊王バリに逆上。その様を見ていて「会長はプロレスラーだなぁ」と感心する。ところで、これから私はいつ休んだらいいんだろうか。

この日の携帯サイト「紙プロHand」の更新記事は以下の4つ。
・アレク挑発三昧！『菊田をブチ殺す』
・新日本5/2東京ドーム、試合順＆追加カード発表！
・バトラーツ石川、大谷を待ち伏せ謝罪！
・『DEEP』6月開催！　再び何かが起こる!?

昨日の全日本・猪木弁当と合わせると、どうよ。このマット界の網羅ぶり。偏りがひとつの売りだった（私的感想）紙プロらしくないような気がして、心配にさえなってくる。携帯サイトには、会長はもちろん、ガンツさんやチョロさんの書いた記事も入っている。贅沢である。

4月12日（金）編集部
耳男からメール。「全て自分が悪いのはわかっています。ただ、ひきこもりで、悪かったな。俺が死んでも本は出る。」思いもよらない方向から悪意のかたまりをぶつけられた感じがして、ものすげぇ気分悪くなった。
さらにこの3時間後に、会長の携帯にメールが。「もうおしまいです。最悪です」何かの暗号??

4月13日（土）　日本武道館　全日本プロレス
「紙プロRADICAL公式HP」、せっかくもう少しで発表できたはずなのに、どうすることもできなくなってしまった。私があがいてもどうにもならない。今は、これについて考えることをストップさせて、携帯サイトの更新と本誌のほうに気持ちを集中させなきゃいけない。さらに、昨日の耳男のメール。やりきれない気持ちになって、武道館へ行く道でも、何もしゃべる気持ちになれない。試合速報をやらなくてはならないのに、ibookのアダプタを忘れる。　途中でibookがフリーズしてしまう。再起動のかけかたを知らなかったので（マックを知らない）、しばらく、何もなかったふりをして放置し、試合を見てその間に解決することを望んだが（どうやって？）、何も起こらず。電話でガイ子さんに泣きつく。再起動のかけかたを教わる。内部電源残り少ない。間に合うかーっっ!?
新しくなった全日本。新日では中西、全日では渕と、どこへ行っても自分を光らせ、相手も光らすカシン。51歳の天龍のファイト。「ちゃんと伝えなきゃいけないな」と思った。試合結果速報と携帯サイトのお知らせメルマガ、残り少ない電源でUP成功ーッ！　ああ安心して気が抜けた。こんなコト（耳男）でヘコんじゃいらんねぇよ！　明日また生きるぞ！

さて、紙プロ電気部は「電気があれば何でも出来る！」の言葉を胸に活動を行ってきたのですが……ここに来てひとつの重たい現実にぶつかりました。「……病気が一番！」電気は病気には勝てないんでしょうか？　それでも！　それぞれの怒りも、すべてをぶつけてくれ。俺たちはそんな思いを、日本に電気をつけるために、力を合わせて頑張っていきます。いくぞォッッ!!　……あれ？日本に電気はもうついてる？……じゃぁ、オメェはそれでいいや……（スネ気味）。

カモン！ 病人!!

あえなく復館！ 担当者が必ずビョーキになる奇蹟の読者ページ

読者病棟

本当に閉館

（埼玉県・中川雅博）

ビョーキですかーっ！　と問いかけてきた２代目担当医も早速患う当コーナー。そんな訳で今月はワタクシ、不肖ガイ子が臨時に聴診器を持たせて頂く読者病棟であります。一部で『担当が必ずビョーキじゃなくてはならない』との見解もありますが、それはさておき患者増大を目指し、傷を舐め合うんじゃなく、レモン・ソルト＆マスタードでいく所存！　明るい未来が見えないアナタ、このページで放射線（電磁波？）治療を味わいな!!

湯治

懐も湯船も深めが一番！
読者の声をふやかします

【つまらなかった記事】　ジョー・サン

●見苦しかったから

♨見苦しくって文句ある〜？

●キモいから

♨それ、ダジャレ？

●会社で読んでて恥ずかしかったよ。

♨オフィスのマガジンラックに『週刊エコノミスト』と並べといて下さい（ブンスカ）。これがオマエらのやり方かァ！（破壊王調）

●ジョーサンの記事はパンツをかぶっているのがおもしろいと思った。

（徳島県・藤井斎・13歳・中学生）

♨13歳あなどるべからず！　大人が安直な理由でつまらなかった記事にジョー・サンを挙げるのが恥ずかしいっ！「パンツをかぶっているから」この目線を見習うべきです。ちなみにこの中坊・藤井君がつまらなかった記事に挙げたのがデンプシー。理由は「インパクトに欠ける！」とのことでした。ガイ〜ン！

●入魂の応援ボードを味わいなは面白かった。理由は自分が載ってるから。

（東京都・くぎもとなおみ・32歳・家事手伝い）

♨世の中えてしてそんなもの（なま返事）。

●座談会はおもしろかったが、最後にレッスルマニアの結果載せんなよ！「結果知りたくない人は見ないで下さい」ってもっとでかく書かなわからんわボケッ！構成はスモーノブか？　お前WWF語んな！　きしょいんじゃ！スモーころ……

（大阪市・森下徹・19歳・学生）

♨エキサイトの加減が文字に表れており、判読不可能。寂しい限りです。ところで、〝WWFの試合結果〟ってみなさんがそれ程気にしておられたとは。ホーガンは負けてもホーガン（むしろそれ以上）だったんですが、いかがなもんでしょう。ご意見お待ちしておりやす。

●今月は表紙ももくじも、いつもとかなり違っていて格好良かった。他のプロレス雑誌と比べるも失礼だと思える程、『紙プロ』のデザインは素晴らしい。

（神奈川県・蓮見晴臣・29歳・自営）

♨ヒャッホウ！　表紙はともかく、もくじは私の数少ない担当ページのひとつ。正直、グラッチェ!!

●最近、読者ページがつまらないです。最近って、ここ数年。昔の真似をしろとは言いませんが、ここらでちょっくら気合を入れて下さい。とにかくビックリしてぇんだ！

（大分県・別府漫朗・22歳・浪人生）

♨その憤りごもっとも、真摯に受けとめさせて頂きやす。って、おもしれぇハガキ送って来やがれぇ！（所謂、逆ギレ）。今回はこんな案配ですが、来月からはちょっくらビックリさせますぜ（何も考えてない）。

●某プロレスショップにいた時に、ボーゴが車で行くから道を教えろと言ってきた。詳しく説明したのに結局来れなかった。道に迷うヤツは嫌いだ!!

（東京都・津田裕章・33歳・教師）

♨津田さんこそなんだかボーゴ節。それはそうと、プロレスショップ店員から教師への華麗なる転身（もしくは都落ち）っぷり。人生いろいろです。

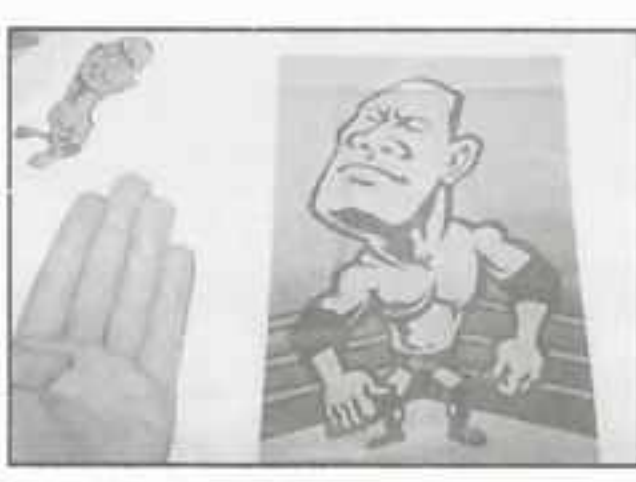
●武田いづみさんの復帰を家族中で願います。

（福井県・西澤月壽・宇宙飛行乗）

♨不肖ワタクシ、ガイ子が……。不満？　不満？

●希望プレゼント→リングス・ラウンドインターバルボード＋ガイ子

（東京都・鶴田喜樹・21歳・学生）

♨ガガガガガイ子冥利に尽きるというものです。し、しかも〝ガイ子〟の部分は太字……（興奮の為、卒倒）。

春乃さんが特効薬「ザ・ロックのＬ」を処方されました。完治せず、さらに劇薬を求めて下さい。

読者アンケート２４時

★プロレス＆格闘技　BEST5★

第1位　WWF　153票

ご時世ですね。隣でスモーノブ（現在、よそで敏腕営業マン職に従事）が小躍りしています。床はゆれても、世界は穏やかです。

第2位　ZERO－ONE　124票

夢もチボーもない世の中、プロレスには、「素敵なペテンにかけてくれる」って要素が必要なんですよォォォォ！　今の日本でそれが出来ている数少ない団体。正当な評価です。

第3位　PRIDE　78票

プロレス雑誌界きっての「PRIDE」番だった「紙プロ」でのこの結果。「PRIDE.20」を目前にこの数字は何を意味する？

第4位　新日本　61票

多くは語るまい。

第5位　リングス　53票

「紙プロ」リングス番の堀江ガンツはこの結果に愕然としておりました、その姿に金髪鬼・吉田豪が「ってことは、ガンツは役立たず？」と。前田道場での総帥のシゴキ並の一言。

◎耳男乞う連絡

読者病棟一同

えー！　ホントなのぉ!?　「紙プロ」電気部に再び災難勃発！　去る入稿間際の今月11日電気部女番長ささきぃに問題のメールは叩きつけられた。内容は以下の通り。「もう駄目です。おしまいです。佐藤」――連休なぞ許される訳もない（薬で昏睡でもしない限り）当鬼畜編集部で、前日に休暇を取った佐藤こと電気部・耳男が出社時間を過ぎても出て来ない。「またどっかで溜息でもついてやがんのか」との我々の適当な憶測に対しての返答がこれであった。　先月の「いづみちゃんブッ倒れ→救急車で搬送」事件に直面し、電気部（&この読者病棟）を背負って立つ気持ちに火が付いたはずだった耳男だが、ジャイ子の亡霊の仕業かはたまたドラゴンの呪いのしゃもじ（現在、ぼんちゃんの彼女所有）の遠隔効用かひきこもり状態に突入したのであった。そこで今回は「ザ・検証　耳男に何が起こったか？」をお送りさせて頂きます。

証言①　ガイ子

ヒャッ！　耳男君がひきこもり!?　理由ですか、なんでしょうねぇ。私、いつ何時でも自分のことで手一杯なんで、耳男君のことたって眼中にないと言うか……。こりゃ言葉が悪いか。あえて思い当たる節と言えば、夜中にイタ電まがいの愚痴りの電話で叩き起こしたことかしらん。それとも最近一緒に帰ってあげなかったから？わかった、私が和田良覚さんの勇姿にスッカリ胸キュンだったからだ。皆さんごめんなさい。耳男君ひきこもりの原因は私でした。以降反省して『つまらなかった記事：ガイ子』（記事書いてねぇよ）とか書いて来やがる読者をも網羅する博愛主義者になります。

証言②　ささきぃ

心の病気ですかねぇ。原稿でも言葉でも失言が多くて、ツッコまれるとすぐタメ息ついてました。何が起こったのかは知らないけど、前日休んでて、自分の担当するページの入稿〆切当日で、会見3つもあって編集部大忙しの日に「おしまい」が来ちゃうんだから、よっぽどのことがあったんじゃないんですか？　怒ってないですよ。別に。その分の仕事は私がしてるけど。前々日に「耳男のいいところを大事にしなきゃだめだよ。自分の人生、自分が主役なんだから」って言ったのに、翌々日メールで「もう駄目です」じゃ、怒るも怒らないもねぇです。あと、私は別に連絡乞うてません。

自分の人生ですら主役になれない耳男（本人談）。オメェはそれでいいや。と言いたいところだが、読者&関係者からはこんな励ましの便りも届いているのだ。●デブー（千葉県・イヅミーナ）●クソデブッー（埼玉県・アキエンヌ）●このクソデブ〜！　生きて返さないからなぁ!!（東京都・ノビー）なお、かのターザン山本さんは「あの丸顔どこ行ったぁ〜？」と寂しがっておられました。そんなわけで、早く読者病棟に帰って来て下さい（今月閉鎖）。

はぁあ〜
ハア〜
あぁ

↑訪ね人

絵画療法

己の手の赴くままに、迷わず描けよ、描けばわかるさ！

（愛知県・今村龍彦・34歳・通称たっつあん）「中指を立てる馬場、ＡＰＡと麻雀する馬場、リキシと踊る馬場、ハクの前で社長風を吹かせる馬場、勝利した後コーナーに登り大福（豆入り）を食う馬場……。あ〜見たかった!!」同感。

（愛知県・今村龍彦・34歳・通称たっつあん・自営）「和田さん勝っちゃった！　しかもパンチで!! 34歳の私もこの不況の世の中、がんばって生きていこうと思いました」私もこの逆境の中、うかうかやってこうと。たっつあんは、なに屋さん？

（青森県・青木雄大）「藤波の進退問題は、21世紀型のフォールフィニッシュである」こんなに精悍な面構えのドラゴンを私は認めぇ−−−−−んッ!! 青木さん、普段はなにをしてらっしゃるんですか？　ガイガイ（つと）。

（青森県・青木雄大）「なんでもあり（ドスあり、チャカあり）反対!!」痛えなコラッ!!　じゃ済まないんで、ガイ子も賛成の反対！　死んで花実は咲くものかってね。それにしても青木さんのこのイラストの量産ぶりはビョーキと呼ばずにおれません。ガイガイ（一応）。

（青森県・青木雄大）時事ネタは青木にまかせろ。ですね。これだけ毎回送って来て下さるってことは、描かずにおれないからでしょう。そんなあなたもやっぱりビョーキってことなんでしょうね。ガイガイ（くどい？）。

ガイ子先生よりお知らせです

こんにちわ。私が取り柄のないガイ子です。ガイガイ（とかって書いとけばいいの？）。「人間誰しもひとつくらいは取り柄がある」って聞いたことがあるんですが、ガイ子には当てはまらなかったみたいです（人間じゃない？）。自分で言うのもなんですけれど、それはもう〝取り柄がない〟〝役立たず〟どころの騒ぎじゃなくて、〝役立たず〟って言葉を使うのもおこがましい程。しかし世の中広いもんで、こんな私でも雇ってくれる奇特な会社があったんですよ、それがここなんですけど。で、この会社の山口会長が、こんな〝役立たず〟以下のガイ子を可哀相に思ったのか、それとも、こんなの雇っちまった己からの現実逃避か、最近「オマエの取り柄はそのツラだよ」と優しく言って下さるんですよ。せっかくなんで前向きに考えてみたらば、これが案外、思い当たる節ありまくりだったって訳で、会長の優しさにお応えすべく、今回はその節をつらつらとやってみます。

【ツラに関するエトセトラ】

この5ヶ月間（ちなみに役立たず以下なので、取材回数等は片手で数えられる程）の収穫

●島田裕二レフェリー「ブッサイクだなぁ〜（嬉しそうに）、〝ガイ子〟なんて止めろ！　〝ブサイク〟にしろ〝ブサイク〟にっ！」

●葛西純「こりゃ、誰とも間違えられない……。なんか描きやすそうだし」

●前田総帥「オマエ、ひねくれケメ子か？　ケメ子やろ！　『ぴゅんぴゅん丸』の!!」

●破壊王「オッ……。猪木さんの娘さん？」「その髪型イイなぁ〜」「（東京駅で会見中、構内放送を聞いて）アンタがこのキムさん？」

●ヴォルク・ハン「………（目を見つめ微笑み続ける。約50秒）」

●アントン「ン？　なに嬉しそうにしてんのぉ〜。ＩＮＰの成功が嬉しいの？　いつでも見せてあげるよぉ。ンムフフフフ」

などなど。自分じゃ正確な判断出来ないんで、「ツラが取り柄は是か非か？」ご意見を求む。

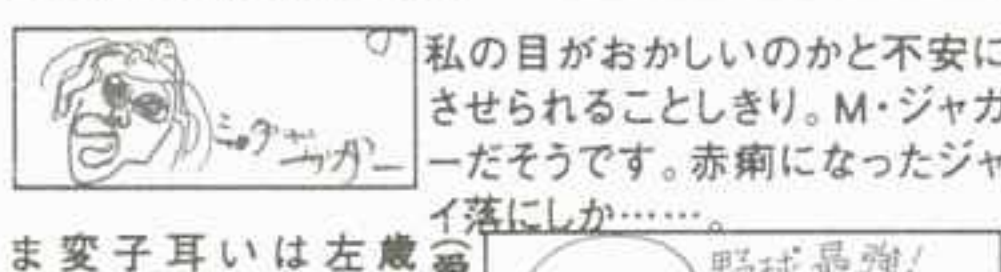
※参考　ガイ子の妹は本田多聞似のＩカップです。でわでわ、頼みましたよ。

猪木弁当会見にて。ここ半月で一番バランスの取れた食事を頂きました。

（東京都・島田善夫・30歳）「ガイ子って仕事してるの？」なにげなく痛いとこ突いてきやがりますね。してますよ。ゴミ捨てとか。

第2の山下清を探せ!!
当院自慢のアウトサイダー・アーティスト

（静岡県　目ガ覚メタロウ）「男性客が読む雑誌が「紙プロ」しかない美容院発見。パーマの際には美味しいティーと花輪和一先生の「刑務所の中で」をそっと差し出す粋な店。詳しい場所は、見つけろ、テメエで」ねがいまーす。

（東京都・伊藤直行）ああ、これぞアウトサイダーです。待っていた甲斐があるってもんです。しかし残念ながら、スヌーカのSは差し上げられません。

私の目がおかしいのかと不安にさせられることしきり。M・ジャガーだそうです。赤痢になったジャイ落にしか……。

（愛知県・鈴木裕二・36歳・イラスト描く人）左はジョー・サン、右は田島陽子。だと思いきや、ひきこもり耳男に「これはガイ子さんでしょう」と変にやんわり諭されました。よってアウトサイダーです。

この度当病棟も目出度く閉館を迎えます。これもひとえに次々と病院送りになる担当者の努力の賜物だと考えております。つきましては、従来以上のおもしれぇ読者ハガキを求める次第。ガイ子のツラに勝てる猛者ハガキ求む！　そんな訳で、山籠もりしてでも書きやがれっ!!

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第10回

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡　**目ガ覚メタロウ**

★目ガ覚メタロウさん、またまた採用オメデトウ!!　いつも投稿して頂きアリガトウ!!　御希望の白覆面Tシャツ(M)、お楽しみに!!
★中江有里さん、御結婚おめでとうございます。自分は、ずーっと大ファンです。ヤケ酒ならぬ(お酒が飲めないので)ヤケ"ドクター・ペッパー"飲んでフテ寝です。読者の皆さん、ハガキをください。ハガキが心の支えです。ハガキを送ってチョーダイ!!　よろしくお願いします。ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博オリジナル手づくりステッカー」をプレゼント!!採用された方にはTシャツをプレゼント!!　いつ何時、誰のTシャツでもつくります。
★頑張ってます!　おヒマなら見てよね♥　東京元気大学HP　http://www.tgu2001.com/

➡前号のプレゼントTシャツ　ザ・ロック

応募方法
プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉"ザ・ロック"ドン・ムラコのXL

マスクを被った女の子って、なんだかエッチ!
ビバ・ヒメコなアナタに贈るスーパーコラム

ラインナップ

Title&Illustration/Jerry Luv for ADS

※今回は石神秀幸さんの「闘魂★たべある記」と武田いづみさんの「ディスカバー・シンニホン」はお休みです。

「パンクラスは外へ打ってでます!」と力強く宣言しといて、
「第1案、第2案、第3案、第4案……」って、なんだかなぁ～

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

表 ホドリゴ様 スペクトルマン DVD-BOX

「中西ゴッチ入門」はなんだったんだろうか。

『東スポ』で「これからゴッチ道場へ入門してきます!」と中西が成田空港で意気込んでる記事があったが、それからほんの数日後にはもう帰国して「ゴッチ入門してきました!」と満足気な顔した中西の記事が載っている。びっくりしておったまげた。てっきり、1～2カ月はやってくるとイメージしてたからね。

そして試合でジャーマンを出し、ゴッチ入門してきた成果を披露し、それを売りにしだした。

「ゴッチ入門」とはそんな軽いもんだったのか?「ゴッチ入門」っていえば凄え重みがあり、ステータスがあった。ゴッチに触れ認められれば、それだけで日本人の心には「あいつはゴッチの弟子だ」と一目置く風習があった。その逆にゴッチのとこを逃げだしたイメージ(実際は逃げたわけじゃないみたいだが)を付けられた長州には、マイナスな目で見てたのが日本人なんです。

Uインターの頃、しきりに宮戸らが「実際はゴッチはパワーファイター。テーズやロビンソンのほうがテクニシャンだ!」と力説しても、我々日本人のゴッチ信仰は強く揺るぎないモンでした。VTが出現しUに不満が出てきても、私はゴッチだけは別腹でいつまでも崇拝した気持ちは変わらなかった。いくら汚れたマット界でも、ゴッチ神話は汚れなき貴重な自然環境であった。

そんな我々単純人間日本人のゴッチ信仰を悪用し、まるで海外ツアーやイメクラのオプション感覚で「ゴッチ入門」を軽く扱う新日には怒るどころか、そのあまりにお手頃なやり口に脱力した笑いをもたらした。もはや環境破壊ギャグだ。こうなったらゴッチ神話という自然環境をガンガン踏みにじってみろ、新日。

次は「天山、一日ゴッチ入門」でどうだ。天山があのキャラのまんまでゴッチの家に行って、「エー、オラー、ゴッチー! なんか技教えろー!」とがなりまくる。

そんな天山に、ゴッチはヘンクツ頑固じじいキャラ(イメージはハイジのじじい)で迎え撃ち「ユーのそのちんちくりんで変なうしろ髪はなんだ? レスリングにそんな髪は必要ない! まずは髪切ろ!」アンド「ゲラウェイ!」と一喝。その凄い剣幕にくちびる噛み締めながら後ずさりの天山。「なんだ、あのじじい」と周りにいる『週プロ』などの記者にぐちりながらも、渋々3センチほど髪を切る。その後は、電柱を目印にランニング・兎飛びなど交互に延々やらされ、コシティーやプッシュアップ、スクワットもやらされる。その最中、天山の口からは「まだかよ!」「いつまでやらせんだ!」「聞いてンのかよゴッチ! エー、オラー!」。

午前中の練習がやっと終りランチ。だがここでゴッチはレスリング哲学話をたっぷりくどくど語る。天山は「うるせ!! 黙ってメシ食わせろ!」と口げんか始まる。あんまりうるさいから犬は部屋を出ていってしまう。

もういちど西村入門編でも面白い。またも食事中にゴッチのくどい話が始まるが、おかまいなしに西村も自説をし

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ(ロマンポルシェ。)の 業☆勝ちます

『ガンバレ麻里奈!!』の巻

ノーパン牛丼。股ぐらアワビを惜しげもなく晒しつつ一杯5千円のコーヒーを運んでくるノーパン喫茶と、狂牛病全盛の昨今にビーフ100%を一心不乱に煮込んで飯の上にドッカリのせた男の食物No.1牛丼の、夢のコラボレーション。(好き十好き)の足し算の答は常に『だいスッキー!』に決まっている。嗚呼、ノーパン牛丼……男の夢の終着の浜辺。食欲と性欲の交錯する十字路よ……。

好きなものと好きなものがいつの間にか合体してしまっている状態を、男ならば拒めようはずもない。それをノーパン牛丼以来、久々に実感させてくれた出来事があった。写真週刊誌『FLASH』をコンビニでいつものように屁を我慢しながら熟読していたところ、『元チェキッ娘アイドルが女子プロレスラーに転身』という記事を発見! どうせチェキッ娘つったって太田祐歌か佐々木絵美子あたりのキッツイ奴だろ(チェキッ娘ーDの判別がつく人のためだけの狭い指摘)と思って良く見りゃ、なんと!! 久志麻理奈じゃねーの!!!!!! 我慢していた屁が肛門の中で熱膨張してダイヤモンドに変わるほどの驚嘆……。

チェキッ娘でいう久志麻理奈とは、おニャン子でいったら渡辺満里奈、モー娘。でいえば石川梨華のような実質上のエース。それが何故プロレスラーに!? しかも何故NEOのリングに!?……なぜの嵐が頭の中を吹き抜け、動揺のあまりセブンイレブン店内にて急に笑ったり泣いたり相撲甚句を暗唱したりを挙動不審に激しく繰り返すも、よく考えてみればそれほど意外でもなかったのだった。実は久志麻理奈はここ2年ほ

PM3:00
元チェキッ娘アイドルが女子プロレスラーに転身

これが本文中に出てくる「FLASH」(4/23号)での久志麻理奈の記事である。アイドル好きも女子プロ好きも5・3はNEO後楽園大会へ行こう!

やべりだす。その西村ワールドの話をたっぷり聞かされたゴッチはぐったりし、西村の演説中にもかかわらず席を立ち、「もう寝る時間だ」と寝室へ逃げる。ゴッチ敗北。

あと健介編もやってほしい。

話は変わるが、こないだの修斗（3・15後楽園大会）は恐ろしいほどつまんなかったですね。ホンマタカシさん（最近柔術青帯所得）を誘って行ったんだけど悪いことしてしまったかな。あの日は拷問だった。

ここんとこ修斗を包む風潮の上絶対主義が個人的に嫌だなと思ってたんだが、それが思いっきり悪いほうにいってしまった。どうすればいいのかわからないが、やっぱプロとしての選手個人の自覚と心意気に期待するしかないのかな？

あとはジャッジの見直し。それとカードの魅力。大会が増えて、それはそれでいいのだが、その分カードの魅力が薄くなっているのは事実。下北ではそれでもいいかもしれないが、後楽園ならもっと充実したカードをみんな望んでいます。ルール・スタイルと完全に修斗の後追いであるパンクラスに、ここんとこ後楽園大会の熱気は完全に負けているではありませんか。美濃輪や近藤がバンバン出て熱気あるパンクラスに負けるのは当たり前だ。この現状を打破するためにはルミナ後楽園登場しかないのではないか？ 相手は外人ではなく日本人ランカーでね。ルミナの出直しとしても最適だと思うのだが。

はなくま・ゆうさく■労働者から柔術家まで6種類のキューブリックを、5月メディコム・トイから発売しますのでよろしくメカドック、ワンワン、村田（卓実）くんORGがんばって！

札幌は鬼門ナリ

ダハハ

全日に行った武藤です

そうか、まあお前はそれでいいや

中西

あん時リングにいなくてホントよかったなあ

きっとすごい笑い者にされただろう猪木さんに

と、胸をなでおろすドラゴンでした。

東スポ

ど格闘技好きを公言しており、インタビュー等で桜庭和志にラブコールしてみたりする立派なプライドッ娘なのである。総合格闘技の試合に感動するあまり、選手を志したとしても不思議ではない。ただ、通学路にたまたまNEOの道場があったとかいう理由で、NEOで女子プロレスラーとしてデビューすることになっただけなのだろう（不確かすぎる憶測）。そのあたりは、家の近所に極真の道場がないので仕方なくプロレスラーになった前田日明とも境遇が似ている。そう考えてみれば、久志麻理奈こそプロレスから選ばれた存在なのではないだろうか、そんな気がしてくる（言い切り過ぎ）。プロレスの神様（多分、菊池孝みたいな顔）に愛されてしまったミミ萩原以来のアイドル・久志麻理奈。アイドル大好き十女子プロレス大好き＝好き好き大好き！ な俺の食指がノーパン牛丼並みに痛いくらいにビンビン動くのを久々に実感している。

しかしそれにしても久志麻理奈のプロレスラーぶりはシャレにならんほどマジである。ACE FILEの吉川茉絵とのユニット『くしよし』の正統派アイドル過剰なフリフリドレスのまま臨んだプロレス挑戦記者会見直後、すぐさまコスチュームに着替えてエキシビジョンマッチを敢行。しかもその相手がタニー・マウスなもんだから、容赦なくヤラレ放題ヤラレちゃってる。もうすぐ背中から二つにポッキリ折れ曲がっちゃうんじゃないかと思うほどガッチリ逆エビを極められ悶絶し、キャメルクラッチに移行してアイドルの命である顔面を思いっきり歪められ、最後のフィニッシュホールドは、集まった報道陣に見せつけるかのように股裂きの大サービス！ 元エース・ファイルのヘソ下ファイルが御開帳してしまっておるわけですよォォォ!! これが冷静でいられるかってんだよ畜生!!（土管を担いで町内一周）。

（脂汗をジットリかいてフラフラになりながらへたり込む。その後ちょっぴり嘔吐）ハァハァ……だが正直な話、久志麻理奈しか女子プロレスを救う救世主はいないのではないかと俺は本気で思っている。昨今の女子プロレスの異常なまでの衰退は、決してデフレスパイラルとかデフレパードとかそんな小難しいもののせいではなく、ただ単純に対抗戦ブームを彩ったアイドルレスラーたちの引退ラッシュによるものではないかと思う。今こそ失われたアイドルレスラーの育成を急務としなければならない。そのためには久志麻理奈がせっかくやる気出してんだから、そこに乗らなくてどうするという話である。

そしてついに5月3日、後楽園ホールでタニー・マウス相手にデビュー戦を行うことが決定！『アブスライダーで毎日腹筋鍛えてま〜す』とのんきに会見していることからいって、多分今回も思いっきり死ぬほどブン殴られたりするだろう。そうだ！ 麻理奈！ これでもかというほど執拗にボロクソにされて俺たちを萌え死にさせてくれ！ 当日は、死に水取り用のマグカップ用意して馳せ参じる所存であります。ガンバレ麻理奈！ ごーしちごーしちしちしちっ！

おきて・ほるしぇ■ロマンポルシェ。新作CD 孫 4・24遂に発売！ ライブは5・12札幌カウンターアクション、5・17福岡ビブレ、5・25宇都宮プラネット、6・3心斎橋クアトロ、6・8渋谷クアトロ。大阪と東京のみ対バンにジグジグスパトニック招聘！ 来い！ 問03・5728・3381ミュージックマイン

プロレスが好きな人、この指止まれ!!

実録 最狂プロレスファン列伝

No.22 横浜銀蝿・嵐【後編】

聞き手／イナズマ★K　構成／松澤チョロ

PROFILE

らん・よしゆき■嵐レコード株式会社の代表取締役でもある嵐。4年前の『紙プロ』で大々的に取り上げたアントニオ猪木と素人のスパーリング大会（この日のアントンは相手がタップしても顔面パンチを入れ続け、とうとう素人を泣かせてしまった）も実現した奇跡のイベント「狂人乱舞・神威」。千葉の海岸で行われた、このお祭りにはアントンとともに嵐率いる横浜銀蝿も参加していたのだ。当時のことを嵐に聞いてみると、「あの時は、夜に千葉で銀蝿のライブが入ってたんだけど、急遽昼もイベントの営業が入って、面倒臭えなぁって思ってたんだよ。でも話を聞いたら猪木さんと一緒だっていうんで、サインをくれることと一緒にダーッ！　をやらせてもらえること、この2つをやらせてくれるんだったら出てもいいって言ったらOKだったんだよ。初めて「ベストテン」に出てピンクレディーに会ったのと同じぐらい感激したね（笑）。中曽根さんに会うより全然感動的だったね。俺、ホント芸能人やってて良かったなぁって、あの時思ったよ（笑）」。

嵐　俺は新日道場の近くの等々力に住んでたことあるんだけど、当時は小鉄さんとかが新弟子を教えてたんだよな。

――小鉄さんが鬼軍曹って呼ばれてた頃ですね。

嵐　小鉄さんは選手と一緒にスクワット、ガンガンやってたね。それに新弟子って言っても新日本には柔道とかレスリング出身のデカくて実績のある連中が来るわけだ。そいつらがスクワット出来なくて泣いてんだよ。

――そんな場面を目撃してたんですか？（笑）。

嵐　よく見てたよ。やっぱ練習のぞいても新弟子と現役のヤツは全然違うしね。当然、腕に自信があるから入って来るんだろうけど、3日で辞める奴がいるってのは本当だったね。でも、あの辺は街にレスラーしかいなくて面白かったよ。一回、道場の近くのコンビニにいたら急に店の中が暗くなって、何かと思ったらドアいっぱいの男が立ってるんだ（笑）。

――それは誰だったんですか？

嵐　KONISHIKIのお兄さんのアティサノエでよ（笑）。それがまた50ccのバイクに乗ってんだよ！（笑）。でもバイクが見えなくて肉の塊が移動してるようにしか見えないんだけどな（笑）。あと、俺が小学生の時に馬場さんの地方巡業が家の近くに来たんだけど、子供の頃はブッチャーと馬場さんって本当に仲悪いと思ってるじゃん。

――思いますよね（笑）。

嵐　団地の横の広場でリングを張ってやってたんだけど、そこでブッチャーと馬場さんがキャッチボールしてたんだよ！　それ見て「仲いいんじゃねぇか！」ってショック受けたよ（笑）。

――ショック受けましたか（笑）。最近、注目しているプロレスラーって誰かいますか？

嵐　高木三四郎がやってるDDT！　あそこは毎回チケット送ってきてくれるんで、下北のタウンホールでやる時とか結構行ったりしてるんだよ。DDTは今流行のWWFを目指してて、新日本とかとは方向性は全く違うけど、なかなか面白いよな。

――嵐さんの口からDDTが出てくるとは意外でしたけど、誰か好きな選手っています？

嵐　ポイズン（澤田JULIE）はいいね！　シャカシャカシャカシャカってガラガラ蛇のマネして楽しいよな（笑）。それに今

プロレスとエロどっちも裸のおしごとです

エロ♥サムライ

第14回『今回はエロ抜きです』の巻

文・大坪ケムタ

ココで毎度紹介してきたキャットファイトをプロレス・格闘技のひとつの「極」とするならば、他にどんな極があるのだろう？　例えば学生プロレスにバックヤードレスリングなどなど、そしてもうひとつ、今回は「極」繋がりでエロ以外のご紹介であります。

おそらく『紙プロ』を買う趣向の人なら「ドッグレッグス」の名は聞いたことがあるだろう。世界初の障害者プロレス団体にして、創立10年を数える実は老舗団体。雑誌記事や、選手兼プロデューサーの北島行徳氏によるドキュメント『無敵のハンディキャップ』『ラブ&フリーク』（共に文藝春秋社）が話題を呼んだこともあり知名度は高い。しかしその知名度に反して、その試合を見たことがある人はごくわずかに違いない。かく言うボクも地方在住だったのもあり、昨年が初めての観戦となった次第。

知名度優先というのは諸刃の剣で、その報道が優秀であればあるほど実際見てみると「なぁんだ」という確率が高まる。けれど見終わってからはライターの本能として「こんな面白いモノ紹介しなきゃマズイ！」と思わせるインパクトを喰らった。いわば北島氏の本が『ビヨンド・ザ・マット』ならドッグレッグスはWWFだった、と言えば分かってくれるだろうか。

昨年ドッグレッグスを始めて見に行った時、北島氏の健常者レスラーとしての姿・アンチテーゼ北島にボコボコにされる障害者レスラーを見て連れの女の子がこう言った。「障害者が勝てるわけないじゃん！」。そういえば忘れていた。プロレスに飽き気味な僕らは「プロレスは勝ったり負けたりするもの」という斜眼を当たり前のように思って見て来た。リング上に絶対性なんてものはない、と。

しかしドッグレッグスを見ると「障害者は健常者に勝てない」そう思っている自分がいるということを知らしめられる。だがそんな自分の中での絶対性があること、これって「藤波は猪木に勝てない」「アンドレは誰にも倒せない」という気持に近いのではないだろうか？　そしてそんな壁がある時ほど盛り上がるのがプロレスというジャンルだ。

その試合は進み、北島がみなしごレスラー・菓子パンマンを挑発する。虐待経験のある菓子パンマンは猛攻を加える北島相手に怯みっぱなしで戦意喪失寸前まで陥る。そこで北島は「張ってこい！」と頬を突きだして挑発した。ビビりながらも掌底を食らわす菓子パンマン。北島の挑発がショー的意図か、別の意図があったかはこの際置いておこう。しかしその菓子パンマンの掌底は只の一発の打撃ではなく、彼自身の成長という物まで見る者に感じさせた一撃だった。それが事実か錯覚かは彼の普段の生活まで見れない僕らが知るよしも無い。けれど、その瞬間の観客の一体感は昨年見たどの会場よりも上だったし、どんなハイキックやマウントパンチよりも生々しく美しかった。「プロレスは勝ち負けではない」という意味が本当に分かった気がしたのはこの時だった。

そのドッグレッグスが3月31日北沢タウンホールにて行ったのが2002年最初の興行『アフォリズム』。今回は脚部障害の選手8名による「D-1トーナメント2002」が中心。エントリーされたのはスーパーヘビー級障害王・鶴園誠を中心に団体初期からのベテラン・ウルファング、北海道から遠征してきた〝北の最終兵器〟前川祐。そして今回の目玉がアームレスリングとパワーリフティングの全日本優勝者という高橋省吾が初参戦。それにアンチテーゼ北島ら健常者も脚に拘束具を付けた同条件で参戦である。

ちなみに現在のドッグレッグスは5分3R制でルールは、ほぼプライドに近い。今回のトーナメントだけ見れば脚を一切使えない総合格闘技、といえばイメージしやすいか。少なくとも「障害者が興味本位でやってるプロレスごっこ」という認識で来たのならば、そのハードさに目を奪われる。噂の高橋がスープレックスに肩固めで健常者レスラーを圧倒すれば、前川はカレリンズリフトに逆狼斬り、北島のチキンウイングヘッドロック、相手を半失神させるほどの鶴園のパンチと、他の総合と比べても劣るどころかバツグンに面白い試合内容。総合において常に安全性との天秤にかけられ、問題になる「ノールールに近い＝面白い」という図式がある。しかしこの試合を見ると、制限どうこうより選手の質次第だとハッキリ断言出来る。

トーナメントはその石のような拳を武器に3試合フルラウンド闘い抜いた鶴園誠が優勝。また鶴園は強さはともかく、インターバル間に逆立ちしての腕立てを見せたりトップロープに腕だけで昇ったりと魅せる部分も一流。試合中の髪を気にする仕草は武藤のLOVEボーズに匹敵するイカし具合。

とにかく試合内容だけでは語れないドッグレッグスの濃さ。今井アナに匹敵する新垣社長の実況、選手の中でも特にミラクルヘビー級選手のキャラ加減、そしてハッピーエンドだけでは終わらせない展開……ともかくキワモノでもサブカルでも純粋な総合目当てでも良いから一度見て欲しい。プロレスの極なようで、実は中心なのでは？　と間違いなく思わせるから。

おおつぼ・けむた■畑違いだけどムリヤリ突っこんでしまいました　別にアンプマニア向けの原稿ではありませんよ

嵐は昨年夏の参議院選に徳田虎雄率いる自由連合から出馬している。他にも自由連合からは"初代タイガー"佐山サトルに「週プロ」初代編集長の杉山さん、さらには堀田祐美子まで、マット界関係者がズラリ。

度、新日本にポイズンとかが出るみたいだけど新日本の中で思いっきり目立ってきて欲しいよね。

——新日本に出たら、かなりインパクトはありますよね。

嵐 そうだよな。新日本と違ってDDTって舐めてっとこあっからな（笑）。可笑しかったのはベルト賭けてバトルロイヤルみたいなのをやったんだけど30分ぐらいの間に20何人かチャンピオンが変わったんだよ。それをカメラで追っかけて楽屋裏とかエレベーターまで使ってやっちゃう、ああいうバカバカしいのが面白いよな（笑）。プロレスは真剣勝負とは言ってるけど、ショー的要素が全然なければ、やっぱつまんないじゃん。それに今は『PRIDE』とかK—1が凄いでしょ。ああいうマジもんが出てきたときって、逆にもっと演出した方が俺は面白いと思うんだよな。

——それこそWWFとかDDTみたいなエンタメ路線ですね。

嵐 まあDDTがWWFと肩並べることは一生ないと思うけどね（笑）。

——一生ないですか（笑）。

嵐 それにプロレスは、よく八百長だ云々って言われるけど、台本じゃないけどある程度取り決めがなかったら面白くないよ。例えばイスで殴られたら痛いよ。でも本気で殴るんだったらイスを縦にして殴るじゃない？ でも暗黙のルールがあって、それを鍛えてる者同士がやるから説得力もあるわけよ。

——それは言えますよね。

嵐 俺がプロレス界でやりたいのは、例えばDDTをインディーのチャンピオンにするために片っ端から他の団体に挑戦状を出して潰しに行かせるんだよ。

——また、物騒な（笑）。

嵐 だって実際、インディーで月1回キッチリ興行できるところってそんなないじゃない？ そういう中途半端なところはガンガン潰しに行くんだよ。まあ暴走族と一緒だよ（笑）。

——暴走族方式ですか（笑）。

嵐 まずは東北行って、みちのく潰して（笑）、次は闘龍門。最後は大阪行って大阪プロレスを潰せば、あとはこっちのもんだろ！（笑）。

——まあ、そうですね（笑）。

嵐 別にDDTじゃなくてもいいんだけど、やっぱ馬場対猪木のどっちが強いかってプロレスファンは見たかったわけじゃない？ 結局は無理だったけど、せめてインディー同士ぐらいガンガンやらせちゃってインディー界は統一した方がいいよな。

——嵐さんがインディー界のコミッショナーになって是非実現させてください！（笑）。

嵐 俺がインディー界のマクマホンを目指そうか（笑）。でも、要は見たいものだよな。曲を作ってて、売れる売れないっていうのは、結局客が聞きたいものが売れるわけだから。雑誌だって『週プロ』見て『ゴング』見て、じゃあ『紙のプロレス』は違う路線でいこうとか考えて作るわけだろ？ それが面白かったりするわけじゃない？ それを選ぶのは読者だから。オーソドックスな『ゴング』を選ぶ奴もいれば『紙プロ』を選ぶ、ちょっと変わった奴もいるわけだろ（笑）。

——嵐さんから見て『紙プロ』は変わってますかね？

嵐 そもそもプロレス雑誌で俺みたいな奴の話を聞くこと自体おかしな話だろ？（笑）。

——かもしれませんね（笑）。

嵐 でも『紙プロ』はあんまりインディー載ってねぇな。なんなら俺が取材やってやろうか!? 『嵐ヨシユキのインディーレポート』とかマジでやろうぜ！ 編集長に伝えといてよ。

——わ、わかりました（笑）。

告知■ 4・28（日）札幌つどーむ ゴールデンマーケット 6・8（土）横浜CLUB24 翔ちゃん祭り 6・22（土）&23（日）沖縄・北谷「ハンマー」にて
横浜銀蝿Live
㈲翔群
03・3409・4116

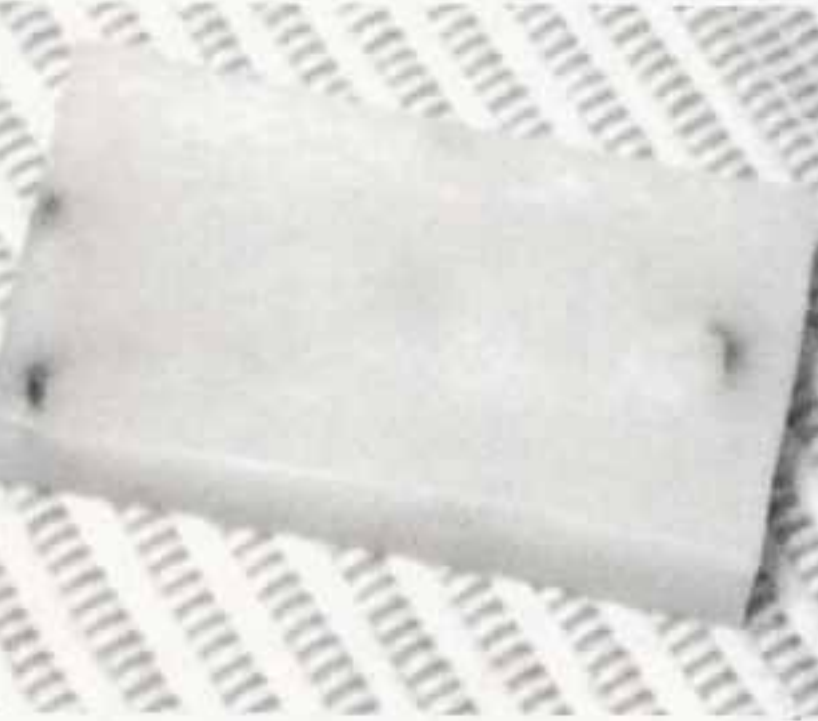
スペースローン・ワイフ
真下純子の
ひりきな奥さん
Vol.9
DEEP 見に行きましたの巻

『紙プロR』さんにお世話になって三度目の春。

にもかかわらず、2002年に入ってからのわたくし、プロレスも格闘技もほとんど見ておりません。「見ておりません」にも色々あります。「忙しくて」とか。わたくしの場合は「興味が持てないので見てません」という手の施しようがない理由からです。どうしてくれましょう。

しかし、何か大きめの興行があった後などは試合結果を調べたりしますから「興味がない」というのは少し言い過ぎではあります。気にはなるのですが、面白がれなくなってきています。塩分や香りなどは、強い刺激に慣れてしまうと、どんどん感覚が鈍化してしまい淡く繊細な味や香りを識別できなくなってくるそうですが、わたくしの持つプロレスや格闘技を見るときに使う嗅覚・味覚は現在かなり鈍くなってしまっているようです。

子供が小学校最高学年になり、自動的に自分もいい年をこき、うかつにもPTA役員などを引き受け、夜の校舎窓ガラス磨いてまわるかのような生活も鈍化の原因のひとつかもしれません。

これらは自分のせいですが、今のプロレス格闘技界を無条件に面白がることができないのも事実です。愛することに疲れた↓嫌いになった訳じゃない。長く愛したこの世界です。こんな気持ちのままではいけない。この気持ちの先には何があるのか、それを確かめる自分探しの旅に出発するのは後回しにしてとりあえずリハビリに地元で行われた3・30『DEEP』名古屋大会に行って参りました。

なんと、この石鹸の中に馬場さんガチャポンが！ 石鹸が欲しい人は「紙プロ」編集部までハガキをおくれ！

『大家族・三好さん一家春の遠足』風セコンドが涙を誘う和田良覚選手が会場を大いにあたため、ちょっとつら目の試合もありましたが楽しい時間を過ごすことができました。

日本選抜軍vsルチャ軍対抗戦ではパンクラス（て言うか鈴木みのる選手）の嫌われようが尋常でなく、パンクラス（と言うより鈴木選手）はもう名古屋へ来ないんじゃなかろうかと思う程。大変愉快でした。さすがに気の毒になりました。ルチャ軍の応援として時々「ポヘ～」とラッパが鳴り、これが胡散臭く輝く彼らに妙にマッチ。鳴るたびに会場が小さく沸きました。ラッパ、応援新機軸。これから客入りの際にラッパチェックが行われるかもしれませんが。

謙吾選手、ドスJr.選手にかなり美しいジャーマンを決められたのに結果勝ったってことでキャッキャ喜んでてかわゆらしいなあと思いました。喜ぶということはとても大事なことです。わたくしも総合の試合見に来てあんなにキレーなジャーマンを見られたことを大いに喜びたいと思います。またこの先、つらくくだらないことがこの世界にあったとしても、ジャーマンやられて天井を仰いでいた謙吾の顔と試合後、心から嬉しがっていた謙吾の顔を思い出せば大抵のことは乗り越えられると思います。

試合に勝っても勝負は負ける人がいる。面白い人を見ました。面白い人を見たいから、わたくしはプロレス格闘技界が好きなのだということを『DEEP』は思い出させてくれました。このリハビリは当たりでした。

ました・じゅんこ■ 最近の趣味は石けん作り。写真はグリセリン石けんの中に馬場さんのガチャポンを入れたもの 洗えば洗うほど馬場さんが現れます 誰かいりませんか？

ザ・検証

先日、『紙プロ』編集部にプロレス活き活き塾の久世和彦塾長が車イス姿（レスラーに襲撃されたんだって）でやってきました。活き活き塾はプロレスと自己啓発セミナーを一緒にやっちゃおうという思いきった団体でした。その塾長の笑顔は活き活きしすぎでした。次号の『ザ・検証』では、この塾長の謎を検証…しないでしょうね。

今月の検証 by 椎名基樹

総合格闘技が持つオタク性

オマエハ　モウ　シンデイル。

面白いぞ〜、ジョシュ・バーネット。WOWOWのUFCの第一回目の放送見たっすよ。面白かったよ。リングスの放送と入れ替わる形で始まったワケで、それを考えるとリングスファンとしては複雑だけれど、これからリアルタイムでUFCが見られると思うと嬉しいね。（WOWOWのリアルタイムのスポーツ放送といえば、サッカーのチャンピオンズリーグ。今度の準決勝は何とマドリーvsバルサのクラシコ！　こりゃ、死人が出ますよ。楽しみです！）。

思いっきり話がそれちゃったけど、冒頭の「オマエハ　モウ　シンデイル」というのは、そのUFC36でヘビー級のチャンプに輝いた、ジョシュ・バーネットの「いつか闘うであろう、日本の格闘家」への宣戦布告の言葉。いや〜ガックっときたね。同時に北斗の拳の大ファンとしては、嬉しかったねえ。他にも、自分はプロレスファンだから、「ゲーリー・オブライトのドラゴン・スープレックスやマエダサンのキャプチュードを決めてみたい」なんて気が利いたこと言っちゃて、センス良いよ、ジョシュ君、誉めてつかわす。

しかし、ジョシュ・バーネットは、要するにオタク野郎ってことだよね。まずツラがオタクヅラだったもん。ホドリゴ・グレイシーもオタクなんでしょ。その他、総合にはオタク系の人物が多くいると思うのですよ。そして、それは俺的に非常に納得がいくというか、前々から感じていたワケっす。総合格闘技が持つオタク性というか、オタク趣味ってもんを。

それは、キックの会場に行くとよくわかって、キックはもっと硬派で、ガチンコ大和龍門的な世界観なワケっすよ。選手の顔も日焼けしたギャル男って感じで、超怖い（ギャル男って言葉は超怖くないけど……ニューハーフみたいだもんね）。ジョシュや三島★ド根性之助みたいな顔はいないのですよ。

そして、これも、前々から不思議に思っていたんだけど、オタクっていうのは病で、顔に出るんですよ。それホモの目が潤んでいるように。それが、世界共通の顔をしている。これは一体どういうワケなんですかね？

あっ、でも、この間、「バカサイ」（俺が『SPA！』誌上でやってる、ヘドロのような投稿ページね）のチャンピオンのモンチー・エシマ選手が、深津飛成選手の持つキックの日本タイトルに挑戦したんだ。「バカサイ」ってのは、どう考えてもオタク的な世界。モンチーもオタク的な静かな男であった。それに、ギャル男ってタイプのヤンキーも、よくよく考えてみれば、オタクの一種とも考えられ、そうすると格闘技自体にオタク性があるということになっちゃうか。

と、ここまで書いて、いっぺんに自分の論をひっくり返すようなこと書いてるけど、やはり総合が「アニメや漫画好き」っていう典型的なオタク像に近いのも確か。要するに、よりハングリースポーツから遠いというか。俺はとにかく、その格闘技のオタク性と総合のよりオタク性に、興味があるわけです。そして、オタクっぽい選手をつい応援してくなってしまうっす。

なぜ、こういう現象がおこるのか、ハッキリとはわからないが、そこを考えることが「なぜ、ファイターは闘うか？」という問いに繋がるような気がしてならないっす。オタク性は反社会性の表れというか、マッハはUFCの放送があった日のTBSの番組（情熱大陸）で「闘うのは本能」と答えていたけど、オタク型の選手が闘うのは「屈折した形の本能」というか「現代的なハングリー」の表れのような感じがして、魅力的に思うのです。

しかし、WOWOWの第1回目の放送に選ばれ、その日に特集番組まで作られて大プッシュされたんだから、勝とうよ、マッハ！　前日に急に動けないくらいの原因不明の腰痛（まあ、腰痛は持病なんだけど）が出たなんて情けない！

でも負けた時の方が得る物が多いっていうし、とにかく鮮やかな再スタートを期待してます。頑張って〜！

見てみぃ このオタク面（ツラ）ッ!!

アメリカにUFCを取材に行ったとき「ノアを紹介してくれ！」とさかんに言っていたジョシュ・バーネット。GHC王座とのダブルタイトル戦も近いか？（編集部・チョロ）

PS!!

先月、予告した「いい試合だ男」の取材、今回はできませんでした。期待していた読者のみなさん、連絡をくれた「いい試合だ男」さん、正直、スマンかった。来月、必ず！

今月の検証 by せき詩郎

みんなでハチマキをデザインしよう!

越中回復祈願! パート2

　越中といえば袴という印象が強いことだろう。しかしそれに隠れて目立たなかったのだが、実は〝ハチマキ〟というアイテムも愛用していた。時にはとってつけたように、時には忘れていたのを突然思い出したかのように、越中は古くからハチマキを巻いていたものであった。数少ない平成維震軍グッズの中にハチマキが存在することからも、越中がいかにハチマキを愛していたかわかるのではないだろうか。イタリアンなスーツといえばカズ、その中でも真っ赤なスーツといえばカズ、黄色のジャケットに派手なスカーフを合わせるといえばカズ、太いマフラーといえばカズ、いきなり銀髪にしてみんなを驚かせるといえばカズ、かと思えば坊主にしてみんなの期待を悪い意味で裏切ってしまうといえばカズ、パイナップルみたいなユニークな頭にして〝笑われる=人気がある〟ととり返しのつかない思い込みをするといえばカズ、そして締めはダンスに見えないダンスと言えばカズであるが、越中といえば〝袴〟もさることながら〝ハチマキ〟なのである。

　ではなぜ彼はハチマキを巻くのか?その答えは簡単である。

　もしもハチマキではなくネクタイを頭に巻いたとしたら? それではただの酔っ払いサラリーマンになってしまう。ならばタオルを巻いたら? それだとブルーワーカー色が強くなり過ぎてしまう。昔、ベルディにいた北澤が巻いてたなんか変なヒモみたいなやつはどうだ? いや、あれは北澤くらいのファッションセンスが無いと似合わない。中尾彬が首に巻いてるやつは? いっそのことアメリカ横断ウルトラクイズのボタンを押すとハテナが飛び出す帽子を被ったら? マリックみたいなサングラスをかけてみたら? 竹村健一の手帳を持ってみたら? 当然のようにどれもいただけない。どれもプロレスラーらしくないし、それより半分わかってわざと書いていたのだが、どれもハチマキからかけ離れすぎているからだ。

　このように少々間違った消去法で行くと、ハチマキしか残らない。つまりは越中にはハチマキしか選択肢がなかったということだ。越中がハチマキを巻く理由がわかっていただけたことだろう。

　そういうわけで、今回は未だ復帰しない越中選手のために色々なハチマキをデザインしてみました。でも、これではまだまだ全然足りません。そこでみんなの力を借りたいと思うんだ(突然仲間づら)。応募用の写真を用意したのでそれにみんなのデザインしたハチマキを描いて送ってください。耳を澄ませば「こんなにたくさんハチマキが! みんな素晴らしくって、どれかひとつなんて選べないって!」と復帰した越中選手の嬉しい悲鳴が今にも聞こえてきそうですね。聞こえてきませんね。

　それでは、このどうでも良い内容の原稿を書いてる途中にペットボトルのお茶をこぼしてしまって、それをいい加減拭かないといけないのでこの辺で。

1 合格ハチマキ
ハチマキの定番、合格ハチマキ。越中だってかつては受験をしたもの。「合格できたのも金ピカ先生のおかげだって!」

2 猛虎ハチマキ
タイガースファンの越中。このハチマキを巻かずに何を巻くというのか。「フライの裸絞めは反則だろう。完全にチョーク入ってたって。あと、天覧試合の長嶋のホームラン、あれはファールだって!」と事あるごとに主張。

3 松竹ハチマキ
越中といえば寅さん。寅さんといえば松竹。

4 天竺ハチマキ
三蔵が呪文をとなえると強く締めつけられるハチマキ。

5 沖水ハチマキ
大リーグのチーム名が漢字で書かれている帽子が流行るずっと前から、漢字を使っていた沖縄水産。ところで沖縄といえば興南の仲田幸司。越中の好きな阪神の選手でした。

6 SEGAハチマキ
越中はセガ信者だった!? 「蝶野たちもセガサターンしろって! 指が折れるまでですよ」と新キャラクター〝せがた三詩郎〟が吠える!

7 夜用ハチマキ
多い日も安心なハチマキ。

8 川浜ハチマキ
「内田たちに〝花〟って漢字が書けるかって!」と不良達を挑発。ついにあの水原も「俺も維震軍入ってりゃ良かったかな……」と更正。ライジングサン、おてんと様はちゃんと昇る。

9 愛徳ハチマキ
「戸塚水産、城東、柴田と西もまとめて叩き潰す。みんな今のうちにホザいてろって!」トオル&ヒロシの愛徳コンビに頼もしい助っ人が登場。

10 3Bハチマキ
「おい、越中、かっこつけんじゃねーよ。言いたいこと素直に言えば良いんだよ」というヤジを「うるせー、黙って聞け!」と一喝してから「俺はみかんなんかじゃないって! 俺は人間ですよ。それを教えてくれたのがここにいるカブキさんや、維震のメンバーだって。だから、蝶野達に言っておく。この俺を手本にしろ。勝手にすねるな。維震軍にはお前らがぶつかっていけば体で受け止めてくれるカブキさんがいるんだぞ。こんな軍団、他にはなかなかないんだって!」とカブキ引退式でマイクアピール。その後、維震軍全員でソーラン節を踊る。

✂キリトリ線

この写真を切り取って、みんなのデザインしたハチマキを描いてハガキに貼って送ってください。宛先はP159の読者プレゼント参照。もれなく商品化の可能性もあるかも!?

CAT FIGHT WORLD

第18回「キャットファイトクラブの魅力」

バトル編集部編集長　猫宮さん

キャットファイトの知られざる魅力をお伝えする「キャットファイトワールド」。今回は、キャットファイトが楽しめるクラブを御紹介しちゃいます。

酒を飲みながら、キャットファイトが堪能できる！

—猫宮さん、今回はどんなキャットファイトの魅力を教えてくれるんですか？

猫宮　今回は、赤坂にある「CATFIGHT　CLUB」の魅力について、ですね。

—キャットファイトクラブ!?　何ですか、それは？

猫宮　その名の通り、お酒を飲みながらキャットファイトを観賞できるというお店です。

—そりゃ凄いですね！　去年からキャットファイトが盛り上ってるとは思ってたんですが……こんなお店まであるんですか！

猫宮　しかも、店内に設置されたリングは、特設金網リングです！

—金網！　それは、本格的ですね!!

猫宮　アンダーグラウンドな感じが出てるでしょう（笑）。

—出てますねえ。しかも場所は赤坂！　凄いなあ。

猫宮　どこぞの小説ではありませんが、キャットファイトを見ながらお酒を飲めるなんて、ファンにとってはたまらないでしょう。

—しかし、どんな内容なのか、ちょっと想像できないですねえ。

猫宮　ファイト内容は最近世間を騒がせている（？）キャットファイト団体に近いものがありますよね。

—と言いますと？

猫宮　3分2ラウンド制になっていると か。

—ほうほう。

猫宮　このクラブで闘う女性は、キチンと練習を積んでいるとか。

—あ、そうか。お店に属している女性が闘うんですものね。

猫宮　まあ、ちゃんとしたお店ですので（笑）。素人女性が血みどろになって闘うわけじゃありません。ほら、金網リングの中で女の子を戦わせて、それを見ながらお酒を飲むって……貴族っぽくないです？（笑）。

—あ、何となく分かる気がします。

猫宮　膝の上にペルシャ猫とか（笑）。

—うわあ、ベタだけど分かる（笑）。

猫宮　まあ、そんな雰囲気を楽しめるお店かな、と。

—たまらないですね〜。

猫宮　生でキャットファイトを観る機会って、増えてはいますけど……金網の中で女性が取っ組み合うのを見られるのは、この「CATFIHGT　CLUB」か……L—1くらいでしょう（笑）。

—L—1ときましたか！（笑）。

猫宮　しかもこっち（CATFIGHT CLUB）に登場する女性は皆可愛い美少女達ですからね。

—おお、キャットファイトに対するこだわりですかね。

猫宮　赤坂にあるお店ですからね（笑）。まあ、練習をしているとは言っても、元々は格闘技経験のない女性だったりしますし……。

—ふんふん、なるほど。

猫宮　金網の中で美女達がキャットファイトを繰り広げ、上品なお店なのに野次が飛び交う。いや、良いですよね！

—アハハハ！（笑）。猫宮さんは行った事はあるんですか？

猫宮　ええと、月刊バトル通信の取材で（笑）。でも、お酒は飲んでません……。

—アララ、じゃあ今度ぜひ一緒に行きましょう。

猫宮　お、いいですね〜。

—あ、でも料金が気になるなあ。

猫宮　それは大丈夫ですよ（笑）。色んなメディアで紹介された、ちゃんとしたお店ですから。

—で、でも赤坂ですよ！

猫宮　まあそれは行ってからのお楽しみというところで（笑）。とにかく、こんなシチュエーションでキャットファイトが観られるのは、後にも先にもココだけでしょう。キャットファイトファンにとっては、夢のような場所ですからね。

—そりゃ、そうですよね。うん。

猫宮　ファンなら一度は行ってみたい場所です。

—ええと、詳しい場所はどちらの方に……？

猫宮　それは今月発売されるビデオを観るか、バトル上野本店までお問い合わせ下さいよ（笑）。

—ちょっと、待ってください！　ビデオも発売されるんですか!?

猫宮　だって……もったいないじゃないですか。

—そうですよねえ。お店で堪能し、ビデオでも楽しむ。ますますキャットファイトの虜になりそうです！

今月のオススメビデオです!!

■NVP

マウントからの攻めがたまらない！ダイナマイトの両雄が誘うデンジャラスセクシーボディーワールド！
（60分・￥8800）

■イカせっこバトル

キャットファイトで性的興奮をさせ、相手をイカしたほうが勝ちという前代未聞のセクシーバトル！
（56分・￥8000）

■DWW

憧れの金髪外人たちが、野外で繰り拡げる開放感有り余るワンダフルセクシーファイト！
（88分・￥9980）

■キャットファイトin赤坂

本文でも紹介された赤坂「CATFIHGT CLUB」の大興奮ビデオ！　ライブの臨場感がそのまま伝わる！
（117分・￥8000）

バトル　インショップコーナー加盟店

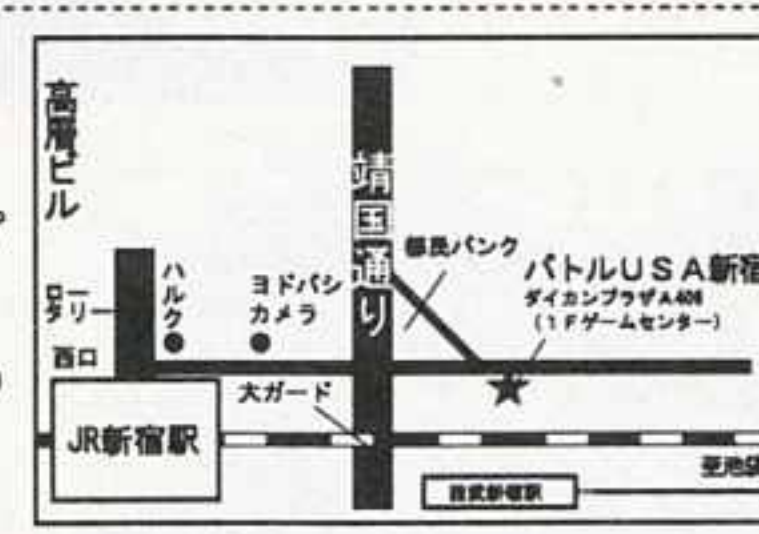
●信長書店大阪駅前第一ビル店　大阪市北区梅田町1丁目1—100第一ビル1F　㊎十時〜二十三時　☎06・6455・1065

●プレミアム小倉店　福岡県北九州市小倉北区片野1—13—7片野ハイツ1F　㊎十一時〜三時　☎093・952・2340

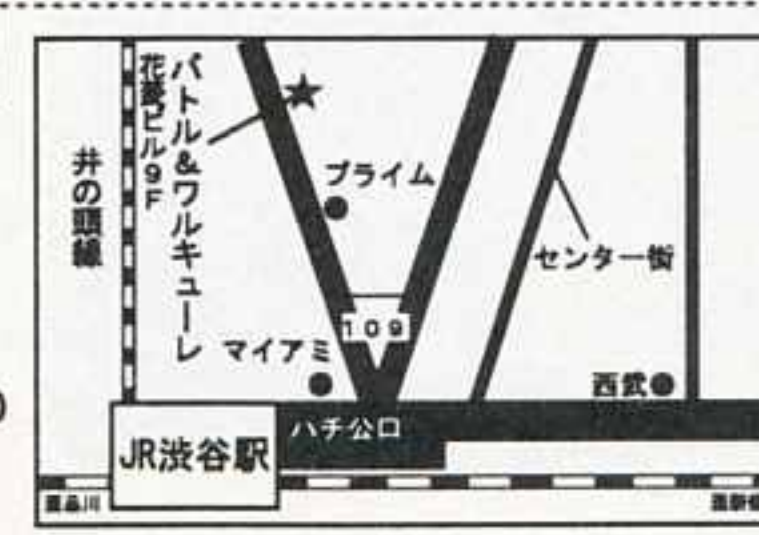
●桃太郎書店　愛知県豊田市平芝町3—13—12三英ビル　㊎十一時〜一時　☎/FAX　0565・35・0788

女子格闘技・キャットファイト・女子プロレス専門店『バトル』はこちらです

バトル上野本店&ワールドバトル
〒110-0005
東京都台東区上野2−8−7
永谷ビル902・1001
●営業時間●
12：00〜23：00
●TEL●
（本 店10F）03-3834-3869
（ワールド9F）03-3834-3873

バトルUSA新宿
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7−1−7ダイカンプラザA館406
●営業時間●
12：00〜23：00
●TEL●
03-3360-0830

祝・新規オープン！バトル&イマージュ大阪店
大阪市北区堂山町4−4
阪急東ビル303
●営業時間●
12：00〜23：00
●TEL●
06-6312-2511

アジアンバトル渋谷
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1−9−14
第三石栄ビル301
●営業時間●
12：00〜23：00
●TEL●
03-5778-4080

バトル&ワルキューレ
〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂2−16−7
花菱ビル9F
●営業時間●
12：00〜22：00
●TEL●
03-3780-0335

バトル福岡店
福岡市博多区
博多駅南1丁目
3−8博多パールビル303
●営業時間●
12：00〜23：00
●TEL●
092-476-0887

PRO-WRESTLING
ZERO-ONE
FIGHTING ATHLETE

橋本真也

ZERO-ONE初のシリーズを目前に控え道場で練習中の破壊王を訪ねた。この時点では橋本の5・2新日ドーム大会への参戦は事実上消滅とのことで、自然と話はZERO-ONEの話題が中心となった。しかし、その後、橋本は冬木引退興行への参戦が決まり、さらには急転直下、5・2新日ドーム大会まで出場が決定してしまったのだ。そのため話が多少前後するところもあると思うが、そんなことお構いなしに、この日の破壊王は熱かった！　そして燃えたぎっていた!!

初シリーズ目前！ZERO-ONE
そして、破壊王が燃えている!!

聞き手／松澤チョロ　撮影／菊池茂夫
designed by matsu（Two three）

——ちょっと橋本さんに確認したいことがあるんですよ?

橋本　なんや?

——『噂の真相』に「内山君と橋本真也のコンビがデブキャラをウリに銀座で豪遊の目撃情報」って出てたんですよ（笑）。ズバリ言って本当なんでしょうか?

橋本　よく知ってんなぁ（感心して）。

——アハハハ！　やっぱり事実なんですか⁉　さすが破壊王ですね（笑）。

橋本　でも、よく肥後ノ海が載らなかったな。肥後ノ海も一緒だったんだよ。

——あ、肥後ノ海さんも一緒でしたか！　スーパーヘビー級が3人も（笑）。

橋本　でも内山は凄いよ。酒は飲むわ、飯は食うわ、カラオケは歌うわ。（小指を立てて）こうやって歌うんだよ（笑）。

——若いのに小指を立てちゃうと（笑）。それと、富豪富豪夢路（ふごふご・ゆめじ）選手と黒毛和牛太（くろげ・わぎゅうた）選手は橋本さん命名なんですか?

橋本　なんて答えたら一番面白い?

——いやいや、普通に考えて橋本さんしかいないって思うんですけど（笑）。

橋本　バレてたか！（笑）。やっぱりな、中途半端な本名でやるより、アイツらはアイツらで、まだまだストロングスタイルには及ばないから、及ばせるための逆療法みたいなもんだよ。

——し、ショック療法なんですか?

橋本　そうだな。たとえば笑われるような名前付いてるけど試合は凄いじゃねぇかとか、そうなったときに、その名前があとから付いてくるんだよ。気に入らないって言うんだったら改名なんかいつでもさせてやるから！

——その代わり結果を出せと?

橋本　そうや。そのためには自分がオーバーしなきゃダメだよ。いまは嫌だ云々じゃなくて、名前負けしない試合をすればいいだけの話や。でも、富豪富豪なんかよ、字だけ見てたら凄くいい名前だよな（満足げに）。

——大富豪みたいですしね（笑）。でも、その名前に負けないようなレスラーになるのも大変ですよ。

橋本　黒毛和牛太はな、（急に小声になり）正直に言うと肉屋のスポンサー付けるためなんや（笑）。

——アハハハ！　でも、いま狂牛病でそれどころじゃないんじゃないですか?（笑）。

橋本　あっ、そうか（笑）。

黒毛和牛太はな、正直に言うと肉屋のスポンサー付けるためなんや

SHINYA HASHIMOTO

——そういえば、安達さん（ミスター・ヒト）にZERO—ONEのコーチをお願いするみたいですね。

橋本　そうや。やっぱり、今の馳浩があるのは安達さんの力だからな。

——橋本さんも、「馳が偉くなったのも、エロくなったのも安達さんのおかげ」って言ってましたからね（笑）。

橋本　それは事実だろ（笑）。でもダイナマイト・キッドにしても、デイビーボーイ（・スミス）にしても、みんな安達さんを経てビッグになってるからな。あれほどプロレスを教えるのがうまい人はいない！

——具体的に安達さんは、どういうところが指導者として優れてるんですか?

橋本　選手、個人個人の性格を察知するのがうまいんだよ。「コイツにはこうだ」とか、アメとムチの使い方が凄くうまいし。女もヒーヒー言わせるからな（笑）。

——そっちのムチ使いもうまいと（笑）。

橋本　それは知らんけど（笑）。

——安達さんには、橋本さんの方からお願いしたんですか?

橋本　前から思ってたんだけど、奥さんのお葬式に行ったときに、そんな話が出たんだよ。やっぱり、俺じゃ時間がなくてできないのと、もう一つは部外者がいると道場の緊張感も全然違うからな。

——それは違うでしょうね。ところで、橋本さん。期待されていた5・2新日ドームへの出場が消滅したみたいなんですけど、なんでなくなったんですか?

橋本　さぁ……俺もサッパリ。ただ、俺は解雇されて、ある部分は新日本に恨みもあるけど、俺の故郷でもあるわけだから。まぁ、いろいろと複雑なことはあったんだけど、蝶野が表に出ることによって、それが取り払えるかなとは思ってたけどな。

——ファンもそう思って見てた人は多かったでしょうけどね。

橋本　もうちょっとなんだけどな（苦笑）。

——新日本30周年記念大会ということで、橋本さんも、なんらかの形で協力できればって言ってましたけど。

橋本　俺は心でお祝いしますよ。だって、その中の10年は俺が突っ走ってきたんだから。その自負はあるから。いまはしょうがない、そっとしといた方がいいよ。

——橋本さんの嫌いな、タヌキ・オヤジこと永島さんが新日本を退社したんで、タイミング的に今回の新日参戦はあるんじゃないかって思ってたんですけど。

橋本　他の奴が永島1人に責任を被せて追い出したってな……。ただ、時代は動いたじゃん。もうちょっとってとこまできてるから！

——もうちょっとですか?

橋本　そうだな。あとはZERO—ON

Eも2年目に入って、新日本さんの内部事情に対してああだこうだ言う次元じゃなくなってきたから。あとは俺たちが認められる団体になって、今やったら面白いなってときにこそ話ができるんだよ。だから三沢みたいに「ZERO—ONEは自分たちだけでは興行もできない」とか、そういうレベルの話をされちゃうと、感覚が違ってきちゃうんだよな。

——三沢さんとは感覚が違ってきたと？

橋本　なんでこんな意志の疎通ができないんだろうなって思ったよ。

——最近の橋本さんはノアに対してはキツめの発言が多いですよね。

橋本　ウチらからやろうって気持ちは今はない！　ただ、そんなこと言ってたらいつまでも始まんないから、いずれまたそうなったときに誰か間に入ってやればいいんじゃない？　需要と供給じゃないけど、こっちは欲しい時に欲しいんや！

——実に橋本さんらしいですね（笑）。

橋本　もういいやってときに売りにきたって高くは買わないだろ？　ノアとは欲しいときと売りたいときが合わなかったんだよ。それだけだな。

——一説には、プロレス界は、新日&ノア連合軍vs全日&ZERO—ONE連合軍の闘いになるんじゃないかって噂もありますけど？

橋本　そんな話なんもないよ。いまは3人（橋本・蝶野・武藤）が分散したことによって余計にやりづらくなってるよ。

——そうなんですか？

橋本　無意識のうちに3人が意地を張り合ってるっていうか……だから、3人がちゃんと確立した後だったらいいんじゃないの？　いまはみんなで意地張っちゃって、「いらねぇ、いらねぇ」ってやってるから。

——橋本さん的には、いまはZERO—ONEとして地固めの時期だと？

橋本　そうそう。

——新日、ノアは別にしても、全日との交流は考えてるんじゃないですか？

橋本　そんなの全日本に限らず、ノアにしても新日本にしても、ウチは、すぐ全方向に行けるから。ただウチは、まだ出る杭かもしれないんで、出切っちゃうまでは、ああだこうだ言われるんだよ。

——馳さんなんかは、「みんなの知らないところで元子さんと橋本さんが会ってる可能性もある」って不敵に笑ってましたけど（笑）。

橋本　会ったよ（アッサリと）。

——あ、会った。やっぱり（笑）。

橋本　会いましたよ。ホント凄かったよ。

——元子さんの何が凄かったんですか⁉

橋本　いや、赤坂プリンスに要人の人しか予約取れないとこがあるんだよ。1世紀前みたいな建物で凄いピアノがあってさ。その個室を馳が取ってくれたの。絶対普通の人じゃ取れないようなところを衆議院議員の力で取ったんやろ（笑）。

——元子さんじゃなくて、そこの個室が凄かったと（笑）。

橋本　そう（笑）。

——そこでは元子さんと、どういった話をしたんですか？

橋本　ホント、ご挨拶程度。

——橋本さんから見て元子さんはどんな人

3・2ZERO-ONE両国大会のTV解説として登場し小川と視察戦を繰り広げた蝶野。5・2新日30周年記念大会での一騎打ちも噂された小川と蝶野だったが、最終的に三沢vs蝶野戦が発表された。4／20の時点では5・2新日ドームにOH砲が揃い踏みとなるかは発表されていないが、どうなる？

なんですか？　武藤さんは「チャーミングな女性」って言ってますけど。

橋本　肉体関係あんのか？（笑）。

――そ、それは知りません（笑）。

橋本　でも馬場さんが生きてるときだったら、ああいう形で食事はできなかったと思う。向こうは守ってる牙城があったしな。でも馬場さんが亡くなって、時代の流れに合わせてる部分があるからこそ俺は元子さんと食事ができたと思うんだよな。それを考えれば非常に柔軟性を持った凄い人だと思うよ。

――やっぱり元子さんは凄い人ですか。ところで最近は長州さんのいろんな噂も流れてますけど、やっぱり気になりますか？

橋本　いや、全く情報も入ってこないし。興味がないっていうか、その次元で話をするときじゃないと思うし。長州さんがまたなんかするんだったら、すりゃいいと思うよ。

――あまり興味はないと？

橋本　俺が新日時代に、いろいろと長州さんと対立してきたのは、現場としての責任感で自分の意見をぶつけてきただけであって、悪口を言って落としてきたものとは違うから。逆に、これまで長州さんと11試合もして、それがあるから今の俺があると思ってる部分もあるしな。

――お互い認めあってる部分もあるわけですね。

橋本　どうなんだろうな。言いすぎたかもしれない部分もあるし、言ってよかったと思う部分もあるし。それに、他の奴には言えないようなことも俺は言ってきたつもりだから。そういう性格だからしょうがねぇじゃん。俺も間違ってることがあったかもしれないよ。でも走り出しちゃったものは、やらなきゃしょうがないんだよ。

――なるほど。5・2新日ドーム大会では三沢vs蝶野戦が決まりましたけど、橋本さんはこのカードはどう思います？

橋本　良いんじゃないの？　もうちょっと早くやっても良かったと思うよ。

――三沢さんは「ノアでの2年間は新日本の30年に負けてないってところを見せたい」って言ってましたけど。

橋本　それは無理や！（キッパリ）。

――新日本の30年は重いと？

橋本　その意気込みはいいと思うけど、三沢社長のところの本領が発揮されるのは、きっと全日本とやったときだろうな。いろんな経緯を経て、もう一度、古巣と闘えるときというか。俺もたぶんそうだよ。

――今すぐってわけじゃなく、近い将来、新日本と闘う日が来ると？

橋本　そういうことを俺が口にすると、また向こうは否定に走るから。反発するときはとことん反発したらいいんだよ。俺と小川がそうだったように、とことんやってみないとわかんないからな。

――今回の新日本のドームの全体的なカードを客観的に見てどう思いますか？　30周年記念大会ですけど。

橋本　あんまり言いたくねぇけど、苦し紛れ的なものがあるよな。それがファンに読まれちゃってるからな。最初っからズドン！　と行けば良かったんだよ。

――最初からズドン！　とですか（笑）。

橋本　苦し紛れでやってるのは俺たちのやり方なんだけどな（笑）。

――アハハハハ！　苦し紛れはZERO―ONEの専売特許（笑）。

橋本　ダーッハッハッハッ！　でもそれを新日本がやっちゃいかんよ。新日本から離れてみて、その大きさとかも逆にわかるから、新日本にはいつも胸張っててほしいと思うときがあるんだよな。でも三沢が出るんだったらいいんじゃねぇの？

――三沢効果でチケットはかなり伸びてるみたいですけどね。それに今度のドームは元・チャイナも登場するみたいですし。

橋本　チャイナ？　誰それ？　中国人か？

――いやいや、中国人じゃないです（笑）。WWFで普通に男と闘ったりしてた見事な女子レスラーなんですけど。

橋本　そんなの出るんだ？　それってWWFと提携できたっていうこと？

――チャイナは、もうWWFからは離れてますね。もしかしたら男VS女の試合が新日本で実現するかもしれないんですよ。

橋本　新日本のストロングスタイルっていう部分とは違ってくるような気もするけどな。言い方悪いけど女はどんな強くなったって所詮女だから。まあ、それは俺が口出す問題じゃないよ。

――橋本さん的には、新日本プロレスはストロングスタイルを貫いていった方がいいと思うんですか？

橋本　俺たちは猪木さんの意志を継いで、それを守ってきたつもりだから。苦しいときもあった。でもそれを貫き通してきたからこそ、また繁栄があるわけで。何でもかんでもって部分では俺の口出すことじゃねえけど、新日本は、いつも強くあってほしいなとは思うけどな。まあ柔軟性も大事だけど、譲れることと譲れないことってあるから。

――なるほど。それで肝心なことなんですけど、今回ウチの雑誌で好きな団体のアンケートを取ったんですけど、ベスト3は上から『PRIDE』、WWF、ZERO―ONEの順なんですよ（笑）。

橋本　（嬉しそうに）ほ、ホントか？　でも、なんかバラバラだよなぁ。

――『PRIDE』とWWFっていう両極端なものを両方好きだっていう人が多いんですよ。あと、橋本さんがいるから言うわけじゃないですけど、ここ最近、ZERO―ONE人気も凄い！（笑）。

橋本　それは『紙プロ』さんのおかげですよ。

――いえいえ（笑）。実際にZERO―ONEを見たことがない人でも、なんとなく面白そうなことしてるなっていうのはファンも感じ取ってるんでしょうね。

橋本　ウチは何が起きるかわかんないからな（笑）。

――橋本さんもわからない？（笑）。

橋本　俺もよくわかんねえんだよ（笑）。でも、『PRIDE』、WWF、ZERO―ONE……極端だよなぁ。でもそれを

現在のZERO―ONEで一番熱い抗争を繰り広げているのが「クソデブ」（by破壊王）ことジム・ミラーNWA会長と破壊王の絡みである（とは言ってもまだ一度だけ）。次に両者が顔を合わせるのは5・19石川大会の予定―　何かが起こる!?

SHINYA HASHIMOTO

聞いて、いまの人が何を望んでるかってなんとなくわかるような気がするな。

——橋本さんは、こないだの後楽園大会で、超高速3カウントを取られた後、「いつまでこんなことやってんだァ！」って叫んでましたけど、〝こんなこと〟を望んでるファンも多いと思いますよ。

橋本　でも、あれは言いすぎたかなと思ってるんだよ（笑）。

——その後、NWA会長に向かって「クソデブ！」まで言ってましたからね（笑）。

橋本　ひとつ聞いていいか？　俺が「クソデブ」って言った時に「お前のことだろ！」と突っ込んだヤツはいっぱいいるのか？

——う～ん、ちっと答えづらいですけど、かなりいるんじゃないでしょうか（笑）。

橋本　それは失礼な話や！　アイツ（NWA会長のジム・ミラー）と一緒にすんなって言いたいよ。だいたい、アイツと俺では体脂肪が違う！（キッパリ）。

——アハハハハ！　体脂肪ですか（笑）。で、最近のZERO－ONEとNWAとの抗争っていうのは、昔からのプロレスファンにとってみれば懐かしいってところもあるし、新しいファンにとっては新鮮に感じる人も多いと思うんですよ。

橋本　でもよ、NWAがやってることって田舎臭ェんだよ！（キッパリ）。

——アハハハ。NWAは田舎臭い（笑）。

橋本　NWAっていう一番垢抜けてたところが、なんでそうなったのか？　世界に誇れるものを、なぜ自分たちでわざわざローカルにしてんのかなって思うよ。

——なぜなんですかね？

橋本　あのジム・ミラーってのはローカルが好きで、これ以上NWAを大きくしたくないみたいなんだよ。自分の手から離したくないってことだよ。

——NWAを独占したいんですね（笑）。

橋本　アイツはバカだから大きくなったら自分じゃ管理できないと思ってんだよ。やっと手に入れたNWA会長の座だから。そんなヤツにNWAを任せてる自体がおかしいよな。だから、将来のNWA会長は俺がなってやろうかと思ってさ（キッパリ）。

——橋本さんがNWAの会長！

橋本　それが俺の作戦！（キッパリ）。

——そういえば橋本さんはNWAの役員でもあるんですよね。

橋本　NWAジャパンのな。そこは猪木さんと俺だけ。

——へぇ～、そうだったんですか。もし、橋本さんがNWAの会長になったら、ジム・ミラーのような田舎臭いことは一切やらないわけですか？（笑）。

橋本　同じようなことは絶対しないよ。でも会長になったら、半分はアメリカにいなきゃいけなくなっちゃうからな。

——橋本さんは、猪木さんじゃないですけど海外で生活してみたいっていう願望はあまりないんですか？

俺が「クソデブ」って言った時に「お前のことだろ！」と突っ込んだヤツはいっぱいいるのか？

橋本　いまもないし、昔もないよ（キッパリ）。海外修行で行ってたときも早く帰りたくてしょうがなかったから。

——それはやっぱり海外修行時代にあまりいい思い出がないからですか？

橋本　それもあるよな。

——なんか、よく対戦相手をケガさせるんでクラッシャーって呼ばれて、干されたりしたって聞きましたけど。

橋本　俺は、どこ行っても日本と同じファイトしてたからな。

——最近、ジミー鈴木さんが本を出したんですけど、その中に橋本さんが試合を干されていた理由が書かれてあって。

橋本　（急に焦りだして）オイ、それ以上言うなよ！（笑）。

——その本によると、チビッコのファンからサインを求められて、マル書いてチョンチョンと、オ●●●の絵を描いて渡したのがプロモーターのスチュ・ハートにまで伝わって怒られたからだと（笑）。タモリさんもよく書いてますけど、あのマークは海外でも通用するんですか？

橋本　（観念したように）真相を言うと、あのマークは通用しなかったんだよ。ただ俺は、リアルなオ●●●の絵を描いてしまった（苦笑）。

——アハハハハ！　リアルに書いた（笑）。

橋本　リアルな観音開きの絵を描いてしまった（笑）。中学生ぐらいの子だったんだけど、それが警備員に見つかって、警備員の方からプロモーターに文句が来たみたいで。ワイセツはアメリカじゃ重罪だから、逮捕するとか、そういう話になったんだよ。

——そんなことがあったんですか！　ある意味、破壊王らしいですけど（笑）。

橋本　なんでだよ！（笑）。でも「日本に強制送還するから」って言われたけど、スチュ・ハートのおかげでなんとか免れて。俺も「これは日本では浮世絵という芸術なんだ。それを描いてあげた」とかってごまかしたんだけどな（笑）。

——アハハハハ！　浮世絵ですか（笑）。

橋本　よくそんなこと思いついたなぁと思って（笑）。

——他にもジミーさんの本には、海外修行時代に猪木さんからゴールドカードを「好きに使え」って言われて、リムジンを借り切って会場入りしたとか橋本さんらしいエピソードが満載でしたよ（笑）。

橋本　だって会長がそうしろって言ったんだもん（かわいらしく）。猪木さんは「外人みんなに飯を食わせてやれ」って言ったから、俺は猪木さんに恥をかかせないように最高の接待をさせてもらっただけだよ。

——はぁ。でも、さすが猪木さんって感じですね。

橋本　その頃、ちょうどビンス・マクマホンJr.の家に猪木さんと行ったんだよ。

——エッ！　橋本さんはビンスの家に行ったことあるんですか？

橋本　あるよ（さらりと）。

——それっていつ頃ですか？

橋本　三銃士結成前ぐらいだったかな。そのときは家に行って飯食わせてもらった。猪木さんも見栄っ張りだから、（両手を目一杯広げて）こんな長ぇリムジンをチャーターして行ったんだよ。

——プロレスラーたるもの、見栄を張らなきゃいけないときってありますよね。

橋本　そうや。だから、あれはいまでも勉強になってるよ。やっぱり表舞台ではハッタリだろうがなんだろうが外では大盤振る舞いしろって！　別に家でお茶漬け食ってたっていいんだよ。

——それでこそプロレスラーですよね。で、ビンスの家にも行ったことがある橋本さん的には、いまのWWFはどう受け止めてるんですか？

橋本　この間の横浜大会の盛り上がりぶりを聞いたりすると、日本人はやっぱりプロレスが好きなんだなと思ったよ。

——それはどういうことですか？

橋本　日本のプロレスが忘れたものをやってるだけで、日本人はプロレスが好きなんだなって。（突然）俺ね、これだけは書いてほしいんだけど、文句があるんだよ！

——WWFにですか？

橋本　いや、『DEEP』を見に行ったんだけど、鈴木みのるの試合で、入場のときから、みんなメキシコを応援して、それに明らかな反則をしてるのにイエローカードを出したらブーイング。挙句の果てにもう1回反則して鈴木がのたうち回ってるのに、反則した方を応援する日本人の情けなさ！　あれはなんや！

——愛国心が足りないと？

橋本　その先に何か望んでるものがあるのかもしれないけど、ホント、ガッカリしたよ。面白けりゃいいのかって！　他の国じゃあり得ないよ。韓国行ったたって、中国行ったたって、そんなこと絶対あり得ない。いつから日本は多国籍になったんだよ。

——『DEEP』ではルチャ勢の人気が高いですからね。

橋本　思い入れは別として反則を犯したんだからさ、「いいものはいい」っていうのはいいけど、あれを見て自分の国に対する思いがない証拠だなと思ったよ。

——この間の『DEEP』を観た人からいろんな感想を聞きましたけど、そういう意見は初めてですね。

橋本　（熱くなって）湾岸戦争のとき、誤爆で中国大使館が攻撃されたことがあったんだよ。そのとき中国人がホワイトハウスに火種撒いちゃうんだから。たぶん、日本人の大使館が誤爆されても誰もそんなことしねえだろうな。

——今の日本人はしないでしょうね。

橋本　日本は書面を持って文句言うだけなんだよ。俺は右翼と思われないようにはするけど（笑）、もっと日本をアピールしたいなと。ウチでは『君が代』はドンドンかけるし。

——それはタイトルマッチをドンドンやってくってことじゃないですよね（笑）。

橋本　そういうわけじゃねえよ（笑）。

——『DEEP』にZERO—ONEの選手を出すとかっていうのは考えてないんですか？

橋本　後々はあるかもしれないけど、いますぐってことはないよ。

——橋本さんは佐伯社長とは前々から面識はあったんですか？

橋本　だって佐伯社長は俺と兄弟みたいだろ（笑）。

——体型もかなり近いですからね（笑）。

橋本　よく言われるよ（笑）。それに、なんか『DEEP』って、ウチと近いものを感じるんだよな（笑）。

——何が起こるかわからないってところは、『DEEP』とZERO—ONEは、かなり似てますよね。

橋本　お互いに何か協力できればと思ってるから。

——ZERO—ONEでも、佐藤耕平さんとか、そっち方面に向いてそうな選手もいるじゃないですか。

橋本　いや、でも『DEEP』に出てる選手がウチに上がることはあるよ、坂田以外に。さあ誰でしょう？（ニヤリ）。

——『DEEP』といったらパンクラスかU—FILE—CAMPですよね。

橋本　でも田村はあり得ない（キッパリ）。意志がわかんないんだもん。

——意志がわからない（笑）。

橋本　俺は田村とは性格合わないかもしれないな。

——あ、合わないんですか？

橋本　だって、ハッキリ物事決められない人は嫌いだもん。俺も女はどっちがいいは決められないんだけど（笑）。

——そうなんですか（笑）。話は思いきり変わりますけど、OH砲の片割れの小川さんは最近、WWFの解説やったりレッスルマニアに行ったりアメリカの方へ意識が行ってるようにも見えますね。

橋本　やる気もないのによく行くなと思うよ。

——WWF側が小川さんを使う気がないってことですか？

橋本　いや、小川が利用してるんだよ。大したもんだよ。ホントにアメリカ行っちゃうんだもんな。

——WWFの選手とバンバン会ってきたみたいですからね。

橋本　どうせならSTOでも掛けて帰ってくればよかったんや。

——アハハハ。橋本さんは、小川さんが本気でWWF進出を考えてるとは思えないと？

橋本　利用はすると思うよ。小川は自分のやりたいことの意識をちゃんと持ってるから。それが俺と共鳴するところでもあるんだよな。やっぱり小川は猪木さんの一番いいとこだけを見て育ってるから。マスコミをどう使うかとか、いまの世の中の流れに沿ってチョイスすることをよく知ってるよな。

——それはあるかもしれませんね。

橋本　そういうところを他のレスラーは見習わなきゃいけない。事件を起こすことの意味を、小川はよく知ってるよ。

——橋本さんの場合は、猪木さんの悪いところも見て育ってしまった部分もあるんじゃないですか？（笑）。

橋本　そりゃしょうがないよ、人間なんだから。猪木さんは永遠の俺の憧れの人だから。あの人は俺のこと嫌いかもしれないけど、俺の青春だから。俺の中でこれ以上汚したくないんだよ。

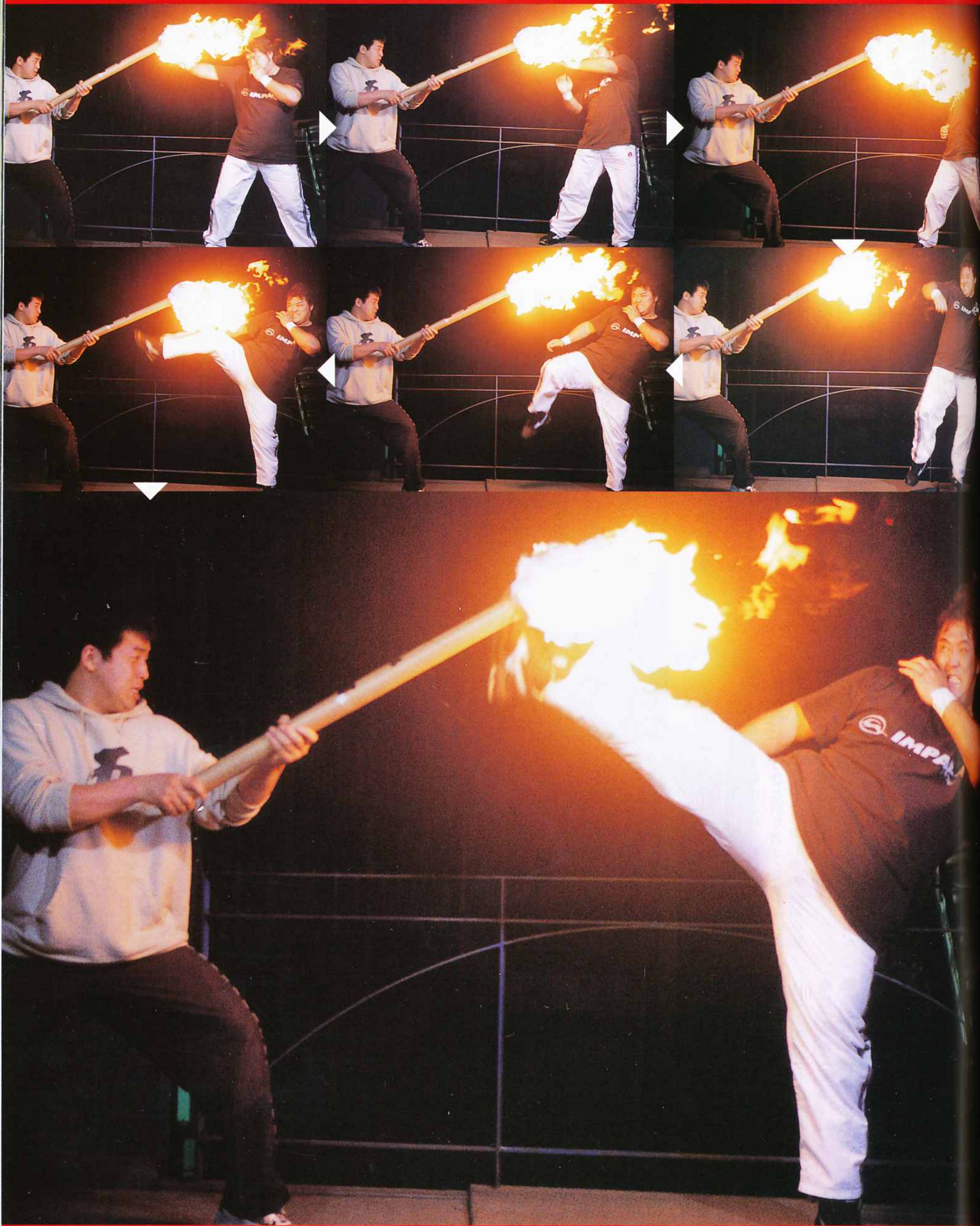
——その辺は橋本さんはピュアですよね。さっきから聞こうと思ってたんですけど、橋本さんにとってWWFっていうのは、社長として一レスラーとして、それほど脅威には感じてないんですか？

橋本　脅威だとは思うけど、違うチャンネルだと思ってるから。

——違うチャンネルですか！　藤波さんも同じようなこと言ってましたね。

橋本　やっぱり、いかに自分たちが体制を整えるかが一番大事なんだよ。新日本は

SHINYA HASHIMOTO

これが破壊王から小笠原への返答だ!　燃えよ破壊王!!

小笠原の火の輪くぐり（P139参照）の写真を見せると「よ〜し、俺もやるぞ！」と炎特訓の準備をし始めた破壊王。こん棒に巻き付けたタオルにベンジンをブッ掛け着火すると予想以上のファイアーが！

新日本らしい試合するのが一番面白いことだし。それが今はできてないからグチャグチャになるんであって。

――逆に橋本さんはZERO―ONEらしさっていうのは、どういうところだと思ってるんですか?

橋本　ZERO―ONEは、まだまだこれからや。

――ZERO―ONEは外人レスラーが質が高いっていうか、凄くうまく使いこなしてるなって感じますね。

橋本　みんな、新日本が捨てたもんと新日本が手をつけなかったもんだから。

――きっと橋本さんの選手を見る目が確かなんでしょうね。

橋本　昔から自信あるもん。選手だけの頃から凄く自信あったんだよ。じゃなきゃ自分でやらないよ。

――見る目が確かな橋本さんから見て、今の全日本での武藤さん、小島さんのブレイクの要因ってなんだと思います?

橋本　こんなこと言っちゃ悪いけど、それだけ新日本のレベルが高いってことなんだって。まあ、それだけじゃないけど、でも、前田さんにしろ高田さんにしろ、みんな元・新日本じゃない。全日本出てそんなことやってる人いる?　新日本っていうのはそれだけ、やってることが日頃から違うってことだよ。

――それも確かにあると思うんですけど、小島さんや、それと大谷さんなんかも単純に新日本を抜けてからの方がイキイキしてるように見えるんですよ。

橋本　大谷は結果的に良かったのかもしれないな。もしかしたら新日本で埋もれさせられてたのかもしれないし。元々は武藤ちゃんに付いて行こうとしてたから、もしかしたら今の小島の位置が大谷だったかもしれないけど、大谷の生き様としてウチのイバラの道を選んだってことは、結果的にはプラスだったかもしれない。

――いや、大谷さんにとっては、かなりプラスになってると思いますよ。

橋本　ただ、やっぱりダイヤモンドじゃないけど永遠に輝かないと。その場だけ輝いて、あとは廃れちゃったんじゃやる意味なかったってなるから。チャンピオンなんていうのはね、選ばれた1人しかなれないんだから。1人1人が、その人にしかないキャラクターを命懸けでやることが一番大事だと思うよ。

――それは凄く大事ですよね。で、今度ZERO―ONE初の地方巡業が始まるわけですけど、橋本さん的に、今の時代の中で地方巡業っていうのはどのように捉えてるんですか?

橋本　今回は、お披露目だよな。それに、やっぱり必要だと思うよ。ただし、年間100もやるつもりはない。選手の身体を考えたら、50~100以内に収めないと。武藤ちゃんもそうじゃん。膝を怪我しながらも、どうしても出なきゃいけない。それで結局壊れちゃったしさ。

――その辺は難しいところですよね。

橋本　結局、テレビがゴールデンだったらなんも問題ないんだよ!

――そうでしょうね。で、今回のシリーズには過去いろいろとあったバトラーツ勢の試合が組まれてますけど?

橋本　大谷はツライと思うけど、俺は石川(雄規)の言い分を聞いて認めたんだから。石川は石川で自分の信用してるとこに付いてったわけだから。それに対して俺は今回は許したんだよ。

ゼロワン初シリーズのカード発表会見に姿を見せたのがバトラーツの石川。昨年の火祭りリーグ戦への不参加問題でゼロワンとは関係が悪化していたが、石川から謝罪された橋本は、その場で因縁の大谷vs石川戦を発表した!

――橋本さんは「人前で頭を下げることは、なかなかできないことだ」って石川さんのことを評価してましたからね。

橋本　損得ばっかり考えて、あっちフラフラこっちフラフラじゃないところに俺は共鳴したわけだから。まずは話を聞いてやらないことには始まらないし。俺と小川の試合の一つに、体調がよくないときに無理矢理試合組まれて、新日本から「やらないともうないよ」なんて脅かされて、ホントにいきなりハシゴ外された状態を作られたこともあったし。それはそれで、もう俺の中ではいい経験だけど、ああいうやり方はしたくないんだよ。

――そういう意味では、大谷さんにも納得してもらった上で闘わせたいと。

橋本　だから大谷にも時間与えてるんだよ。あとは大谷の心を石川がどんだけ動かせるか。根っこに触れないと問題は解決しないからな。

――そうでしょうね。

橋本　でも、大谷はこれを承諾してやったら精神的にもうひと回りデカくなるよ。俺はそれわかってるんだよ、自分がやってきたから。

――それをわかった上で敢えてカード組んだわけですね。

橋本　「石川なんか出さないでくれ」とか言うヤツもいるんだよ。俺もそうだなって思うよ。でも人間って、猪木さんも言ってたけど許し合わなきゃしょうがないところがある!　相手が頭下げた以上、やっぱり考えてやんないと。許せないこともあると思うけど、一生付き合わないってほど許せないことでもないだろう。たまたま自分の信じた道に付いていって、そこに誤りがあって、自分が間違ってたと気づいたからアイツは頭下げてきたんだから。人間、誰も間違いはあるじゃない?　甘いって言う人もいるかもしれないけど、それが俺のやり方だから。

――ちなみに橋本さんは島田レフェリーのことも許してるわけですか?

橋本　許すも許さないも、アイツは許さない!

――エッ!　石川さんは許せても、島田レフェリーはダメなんですか?

橋本　ダメも何もあのまんまじゃん。まあ時間が経ったら風化するだろうけど。だって島田と俺がケンカしたってしょうがないだろ。次元が違うよ。

――そ、そうですか(笑)。

橋本　それに俺は、もう1人レフェリーとケンカしてるからな(笑)。

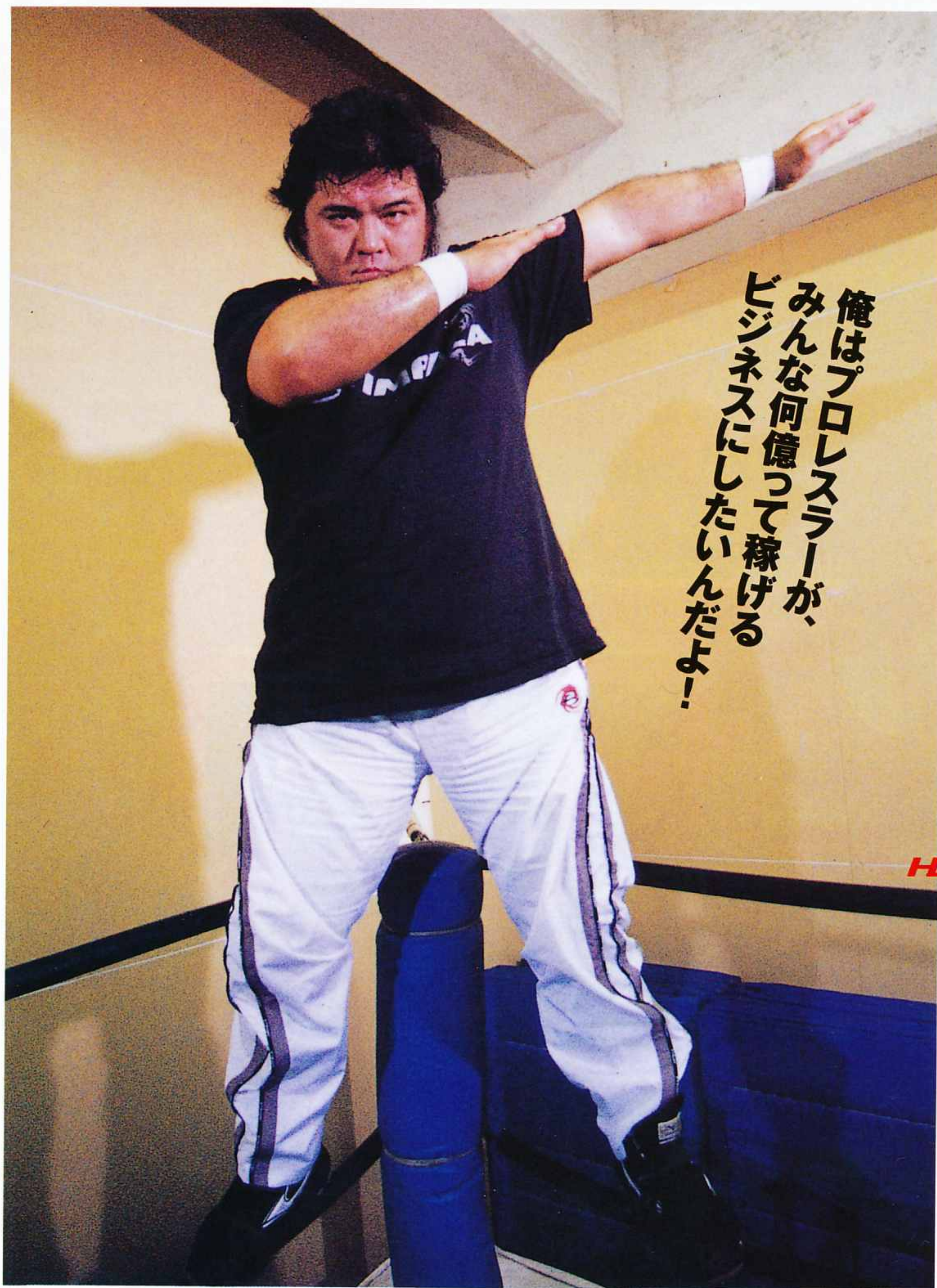
――ミスター・フレッドですね(笑)。それと橋本さんは5・5の冬木さんの興行には出るみたいですね?

橋本　条件次第だけど(※この取材後、正式に参戦決定)。だったら冬木、手術の前に試合出て来いっつーの。俺がお前の腹にフットスタンプやってやるから。

――うわっ……新手の破壊王式ショック療法ですか(笑)。

橋本　治るかもしれないぞ……そんなこと言っちゃいけねえか(笑)。

――レスラーにケガはつき物ですけど、最近は病気にかかる人も増えてますね。

橋本　レスラーなんて健康なヤツなんか1

人もいないよ。精神病か、どっか身体悪いか、どっちかだよ（笑）。

——そ、そうなんですか（笑）。

橋本　冗談や。やっぱり、冬木にはなんらかの形で敬意は表したいなとは思うよ。あとハヤブサに対してもプロレス界を盛り上げた1人として、なんかしてやんなきゃな。

俺はプロレスラーが、みんな何億って稼げるビジネスにしたいんだよ！

だからこそプロレス協会がなきゃいけないんだよ。

——前々から、いろんな人が作った方がいいとは言ってますけど、なかなか具体的な話にはならないですよね。

橋本　だから、（団体を）潰して潰して最後に残ったときに本当に潰した価値はあったかって問題になってくるんだよ。そうじゃなくて、一団体でできるのは10試合が限度なんだよ。あとどこでやんの？　だからこそ対抗馬がなきゃいけないんだよ。野球でもサッカーでもみんなあるだろ？

SHINYA HASHIMOTO

——相撲もありますよね。

橋本　相撲だって、相撲の中で部屋があるわけだから。それを自分のところ、ひとつで吸い取っちゃったら絶対よくないよ。でも、そういう話が動いたら、また誰かが横槍入れるんだよな。いま協会作んなかったらいつ作るかって言いたい！

——例えば、いま作るとしたら、やっぱり会長は猪木さんですかね？

橋本　猪木さんしかいないよ。誰もが認める名前でしょ？　本人は名誉会長でもいいんだよ。実際に動かせる理事長がいれば別の人でもいいわけだし。でも、この業界のことよくわかってる人で、なおかつみんな平等に扱える人じゃないといけないと思う。

——誰かいい人はいますかね？

橋本　プロ野球には名球会とかあるけど、プロレス界は迷宮だよ（笑）。

——プロレス界は迷宮会ですか（笑）。

橋本　たまんねぇよ。俺はプロレスラーがみんな何億って稼げるビジネスにしたいんだよね。

——ホントそうなってほしいですよ。

橋本　可能性は十分あるんだよ！

——WWFの例もありますし、可能性はとんでもなくありますよね。とりあえず次期シリーズでは打倒NWAということで頑張ってください！

橋本　あのクソデブをギャフンと言わせてやるから（笑）。

——ちなみに橋本さんの中で何か攻略法は考えてあるんですか？

橋本　そんなの簡単だよ。金渡せばいいんだよ！（笑）。

——アハハハハ！　ZERO－ONE初のシリーズで何かが起こることを大いに期待してます！（笑）。

【02年4月13日／東京・港区「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」にて収録】

小川&橋本

OH砲出陣の5・3松山大会以外も見どころ満載!!

5・2の新日本プロレス・東京ドーム大会も参戦が決定的（4・20現在）となったOH砲。今回はいったいどんな合体殺法が繰り出されるというのか？　「刈龍怒（かりゅうど）」がまた観たい！

最近はすっかり定着した「お客様は神様です」のマイクアピール。破壊王の元気とサービス精神に溢れまくったマイクアピールはZERO-ONEの大きな魅力のひとつ。行きますかーッ！

「タッグマッチは私のファイトスタイルにあっていません」とゴルドー。じつに不気味！

4・27は大阪へ密航せよ!!

［注目の一番］

小笠原は、マスコミに向けたリリースで「空手本来の現在禁止手といわれる技と危険な演武の稽古に集中する」と宣言。大阪大会でも「危険な演武」を披露するという。それはいったい何なのか？　どうなってしまうんだ、高岩!?

今、最も熱いプロレス団体・ZERO―ONEが、初の地方巡業に発進する！　その破壊的な内容は「一度見たら病みつきになる」ともっぱらの噂。本誌も自信を持ってオススメしたい！

思えばすっかり元気のなくなった「純プロレス」というカテゴリーの中で、怪しげな外人選手が醸し出す毒々しい雰囲気と、さらに磨きがかかった破壊王のムチャクチャさ加減、そしてますます冴え渡る大谷節を心ゆくまで堪能できる贅沢な空間はZERO―ONE以外に見当たらない！　すれっからしのプロレス・マニアよ、行き場を失ったらここに来い！　きっと、破壊王が分厚い胸（とお腹）で優しく受け止めてくれるはずだから……。

というわけで、何と言っても注目なのは、4・27大阪大会！　究極の荒行「火の輪くぐり」まで敢行して必死の覚悟を見せ付けた小笠原と、破壊王に対戦を直訴した高岩のシングルマッチは言うまでもなく完全に予測不可能！　流血&乱闘は必至！　もはや観るしかあるまい！　さらに、火祭り不参加問題という〃不良債権〃を大谷はどのように精算しようというのか？　石川とのシングルマッチは、大荒れ間違いなし！　果たして試合は成立するのだろうか？　そして、ZERO―ONEの中でも1、2を争う暴れん坊、〃知性なきプロディ〃ことザ・プレデターが破壊王の首を狙う！

そして、GW真っ盛りの5・3松山大会にはOH砲が四国初上陸！　相手はトム・ハワードとザ・プレデターの外人部隊最凶タッグだ！　「小川ぁ～、俺ごと刈れエエエエ！」が松山にもコダマするか!?

もうひとつ気になるのは初のシリーズ全戦参加となるジェラルド・ゴルドーの動向だろう。当初はアメリカ人選手とのタッグ・チームでマッチメイクされていたのだが、「OSU！　まったくもって不満である。私はオランダ人、彼はアメリカ人でタッグを組む理由はみあたりません」（ZERO―ONEからリリースされてきたゴルドーのコメントより抜粋）という理由でシングルマッチにしてもらったというから注目！　OSU！

さらに「クソデブ」ことジム・ミラーNWA会長は今回5月19日からの来日となるが、疑惑の超高速3カウントで物議を醸したフレッド・エグゼクティブレフェリーは全シリーズ参戦が決定！　破壊王との因縁が再燃するのは確実だ！

とにかくスキャンダラスな話題には事欠かないZERO―ONEだけに、全国どこでもハチャメチャな内容が期待できそうだ！　GWは今いちばんおっかないプロレスを観に行くべき！

Genesis～創造～

決定文対戦カード

★4.27(土)大阪市中央体育館(18:00)

［第8試合］　橋本真也vsザ・プレデター
［第7試合］　大谷晋二郎vs石川雄規
［第6試合］　高岩竜一vs小笠原和彦
［第5試合］　NWAインターコンチネンタル・タッグ次期挑戦者決定戦
スティーブ・コリノ&C・W・アンダーソンvsエボリューション
［第4試合］　ジェラルド・ゴルドーvsトム・ハワード
［第3試合］　佐藤耕平&田中将斗vs雀リョウジ&藤原喜明
［第2試合］　サモア・ジョーvs黒毛和牛太
［第1試合］　星川尚浩vs佐々木義人

★4.29(月・祝)福岡・博多スターレーン(17:00)

［第7試合］　大谷晋二郎vsトム・ハワード
［第6試合］　橋本真也&藤原喜明vsスティーブ・コリノ&CW・アンダーソン
［第5試合］　田中将斗vsザ・プレデター
［第4試合］　佐藤耕平&高岩竜一vsエボリューション
［第3試合］　サモア・ジョーvsジェラルド・ゴルドー
［第2試合］　雀リョウジvsザ・コブラ
［第1試合］　星川尚浩&佐々木義人vs黒毛和牛太&富豪2夢路

★4.30(火)山口・やまぐちリフレッシュパーク総合体育館(18:30)
【大谷晋二郎デビュー10周年記念興行】

［第7試合］　NWAインターコンチネンタル・タッグ選手権試合
大谷晋二郎&田中将斗vs4.27大阪大会の勝者チーム
※レフェリーはNWAのMr.フレッド
［第6試合］　橋本真也&藤原喜明vsトム・ハワード&ザ・プレデター
［第5試合］　佐藤耕平vsジェラルド・ゴルドー
※第1試合～第4試合は当日発表

★5.3(金・祝)愛媛・松山市総合コミュニティセンター(17:00)

［第8試合］　橋本真也&小川直也vsザ・プレデター&トム・ハワード
［第7試合］　大谷晋二郎&田中将斗vs石川雄規&臼田勝美
［第6試合］　高岩竜一vs坂田亘
［第5試合］　スティーブ・コリノvsジェラルド・ゴルドー
※第1試合～第4試合は当日発表

★5.19(日)石川県産業展示館2号館(17:00)
★5.21(火)福島体育館(18:30)
★5.22(水)宮城・Zeep仙台(18:30)
★5.23(木)東京・後楽園ホール(18:30)

※試合時間はすべて30分1本勝負

問い合わせ:ZERO-ONE 03-5730-3401

大谷パパも登場!?
地元・山口で"火祭り男"大谷晋二郎トークショー開催!

4・30「大谷デビュー10周年記念興行」を前に大谷がトークショーを開催。どいつもこいつも集まりやがれッ!
【日時】4・28（日）13：00～【場所】山口市中河原町2-17亀山ビル1F「喫茶ノーマ」【問】ZERO-ONE 03-5730-3401

構成／中村カタブツ君　撮影／中島ミノル　designed by matsu（Two three）

地上最強の空手バカ見参!!

これが空手の真髄だ!!

小笠原和彦、極真伝統の荒行、火の輪くぐりに挑戦!!

火だるま覚悟の上!!

凄!!凄!!!

凄かった! 火をつけた途端、炎が1メートル近くも吹き上がり、折からの川風に煽られてゴォゴォ唸りを上げ始める。それもそのはず。針金に巻き付けたタオルは実に50枚。そこに灯油を5リットル(弟子がかけたのは2リットルだけだったのだが、「それじゃ足りない」と小笠原本人が3リットルも追加!)もかけていたのだから燃えあがるのも当然なのだ。

あまりの火の勢いに、火の輪くぐりを持ちかけたこちらがビビるほどだったのだが、小笠原は動じる様子がない。

そして静かに紅蓮の炎の前に立った小笠原は一声気合いを入れると一気に火の輪をくぐり抜けた。髪の毛が焼け焦げる匂いが辺りに広がる中、小笠原はもの足りないとばかりにもう一度、さらにもう一度と火の中に飛び込んでいったのだ。

正直、シビレた。この男は本物だ。極真の猛者ですら、火の輪くぐりは先輩から強制されないとできない荒行。それを、こちらが持ちかけたとはいえ、二つ返事でOKし、自ら灯油をかけすぎるぐらいかけて挑んいるのだ。火の勢いにしても映画『地上最強のカラテ』の中の火の輪くぐりの10倍は軽くあったのだ、実際。

バカだ。この男こそ空手バカである。

極真の極意とは無謀を体現することにあり、小笠原こそまさに極真魂の塊だ。さて、次は自動車越えか、角折りか? 極真幻想の塊、小笠原和彦に刮目せよ!

小笠原が“男”であることを証明した以上、橋本もよもや逃げるわけはない。ちなみに“押忍”は血文字である。

対戦状

私 小笠原和彦は極真の源流を追求して行く。
それが小笠原空手なのだと。
それを証明するために
火の輪に飛び込んだ。
全身火ダルマになっても
橋本真也を打つ。
いつ戦うのか
男 橋本の勝負心を待っている。
もう逃げる事はできない。

足技の魔術師 闘蹴 小笠原和彦
押忍

―凄い火の勢いでしたね。ホントに中止しようかと思いました。

小笠原　いやぁ、火の前に立った時は凄い熱かったよ（笑）。

―やめようとは思わなかったんですか。

小笠原　もう、やるしかないと決めてましたから、フォームうんぬんよりもスピードで対処するしかないなって。

―さすがです。ただ、その割りには髪の毛が相当焦げてましたね（笑）。

小笠原　そうそうそう（笑）。だって、隙間がないじゃないの。どう考えたって身体が触るじゃない？

―実はですね、本番用の輪っかは、リハーサル用の輪っかより一回り小さくしてあったんですよ（笑）。

小笠原　知ってました！（笑）。それはわかったけど、そうなったら、それ用に対処するしかないじゃない（笑）。

―しかも自ら灯油を目一杯かけて（笑）。

小笠原　だって、やる以上は過剰にやらないと。始まっちゃったら、止める必要もないからね。

小笠原和彦

―つくづくシビレます！　昭和・極真が好きなボクとしてはああいう無謀なことをやってくれると、「これだよ、極真は」って思うんですよ。

小笠原　だって、これが本当ですからね。これが道じゃないですか。極真は超人追求ですからね。

―ロマンですよね。実際、あの火の勢いにしろ、何にしろ、映画『地上最強のカラテ』は超えましたから。

小笠原　あの映画の時はG師範がいきなり「お前とお前とお前、火の輪を飛ぶから」って言いだしたんですよ（笑）。

―なんの説明もなく（笑）。

小笠原　気がついたら火の輪に火がついてる状態（笑）。

―で、G師範たちは楽しそうに見てるんですよね（笑）。

小笠原　そう！　ホント、不条理な世界なんだよ（笑）。

―でも、強くなるってそういうことだと思うんですよ。

小笠原　社会に出れば不条理なことばかりでしょ。そこでひるんでても仕方ない。それに僕の場合、断るのが面倒くさいんですよね（笑）。

―面倒くさい！　いちいち空手バカでいいですね（笑）。

小笠原　だから、全日本大会が終わって、すぐに100人組手やるかって言われてもやるんですよ。普通、みんなやらないですからね。

―結局、マス大山に憧れて入った極真じゃないですか。だから、火の輪をくぐるのもプロレスラーと闘うのも、全てが極真の道なんですよね。

小笠原　自分は本当の極真をやってるだけだから。実際、プロレスラーも闘ってみれば強いですよ。あんなに血を流してるのに控え室に戻ってきても弱音吐かないから、凄いなコイツらって思いましたからね。試合でもみんなケガを抱えながら飛んだりしてるんでしょ？　あの丸藤という選手なんか凄いよ。崔リョウジにしても星川にしても自分の蹴りにキチンと反応してくるし。やってみないとわかんないねぇ。だから、今回闘ってみて思ったのは極真とプロレスは一緒だよ。

―一緒ですか！　非常に同感です！

小笠原　まったく一緒だよ！　痛みに強いよ、彼らは。自分らも試合に出る時は肋折れても闘ってたから、よくわかる！

―いい話です。では、最後に橋本戦に対して一言お願いします。

小笠原　橋本、いつまで待たせるんだ！　俺はまだ必殺技は出していない。お前のためにとっておいた小笠原空手の真髄を味あわせてやるから逃げるな！

―わかりました！　ちなみに必殺技は異様に膨れ上がったそのヒジを使った技ですか。

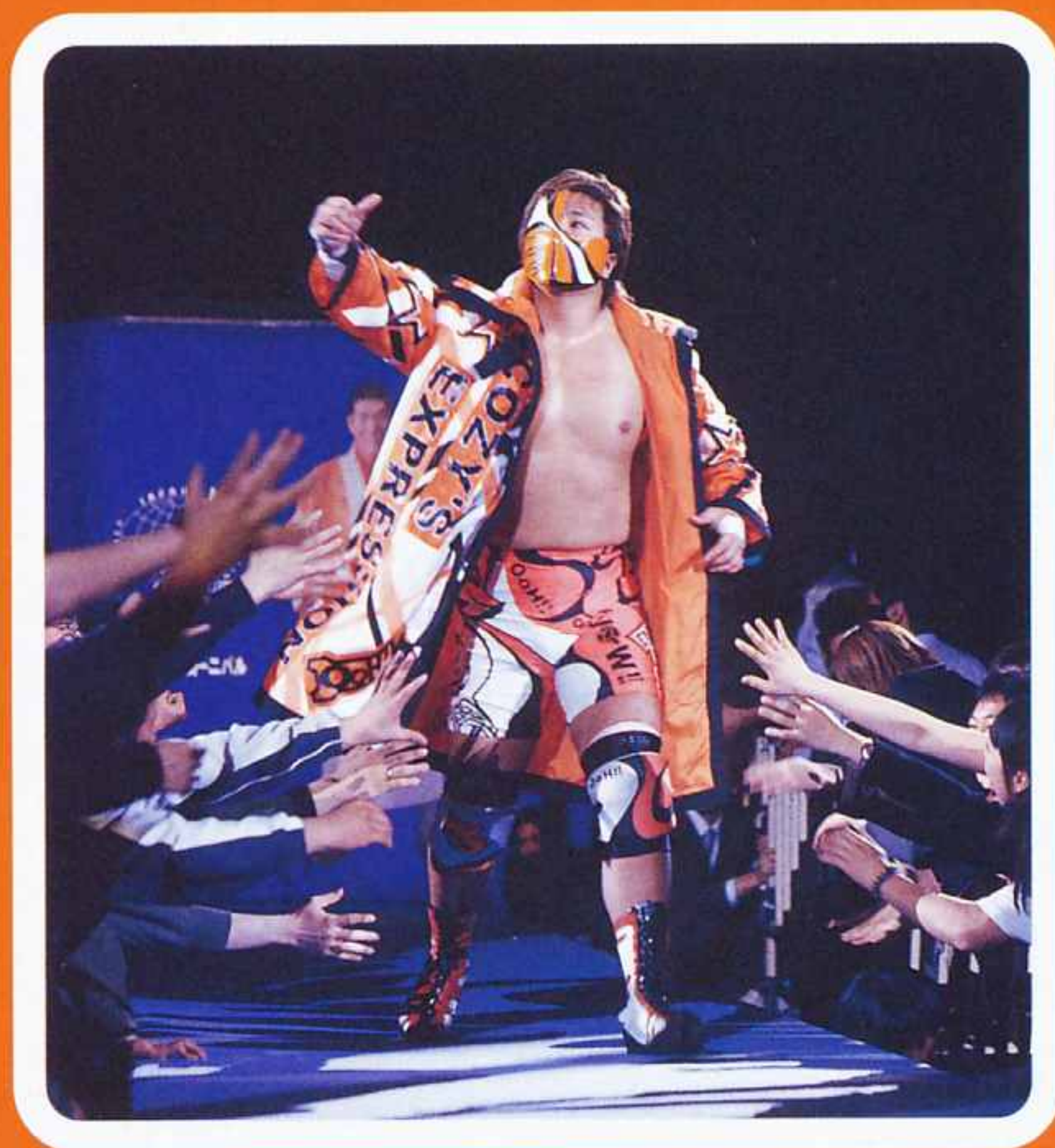
小笠原　いや、これはケガしたのもあるんだけど、構わず砂袋を叩いていたらこうなって（笑）。もうタコにしようと思ってるんですよ。

―なにからなにまで空手バカです！　感服しました！

拳ダコは数多く見てきたがヒジダコなど初めて！　この異様な盛り上がり。まさに空手バカならでは。小笠原vs橋本、早く見たい!!

『紙プロ』は「いっちゃうぞバカヤロー!!」を全面的に支持します!!

『紙プロ』が小島のインタビューを敢行！　これまで『紙プロ』的価値観とは対極にあると見られた小島だが、それは新日本という衣に隠れていただけだったことが判明！　今回掲載するその正直すぎる発言の数々はプロレス者も思わず納得のはず、さぁ、今すぐ読め、バカヤロー！

聞き手／堀江ガンツ
撮影／斉藤ユーリ
designed by さおとめの事務所

巻末SPECIAL INTERVIEW

小島 聡

satoshi kojima

僕は『紙プロ』に最も相応しくないレスラーだった気がしますね（笑）

―インタビューを始めるにあたってですね、まず『紙プロ』編集部を代表して、小島選手に謝らせていただきます。いままで小島聡を評価してこなかった、我々が間違っておりました、と（笑）。

小島　アハハハ、マジですか？（笑）。

―マジです！　ボク自身、去年ぐらいまで小島選手の魅力が正直言ってわからなかったんですけど（笑）、いまは編集部の総意として、小島聡全面支持ですから！

小島　ホントかなぁ、今日は怖いなぁ（笑）。

―ちなみに『紙プロ』については、どんなイメージを持たれてました？

小島　いや、特にこれと言ったイメージはないんですよ。新日本を取材してないっていうのがあったんで、正直言うとあんまり目を通したことなかったし、何て言うか、"読んじゃいけないもの"なんじゃないかなって（笑）。

―"悪書"みたいなもんですかね（笑）。

小島　"禁断の雑誌"だったような気はしますね（笑）。変なふうに書かれてるっていうのを人づてにたまに聞いたりはしましたけど、実際に自分で見たわけじゃないんで。そんなにいろいろ書いてたんですか？

―いや、小島選手個人というより、新日本プロレスに対して、よく言えば「提言」、悪く言えば「誹謗中傷」が若干あったような気がします（笑）。

小島　なるほどなるほど。だから僕なんか『紙のプロレス』にもっとも相応しくないレスラーだったような気がするんですよね（笑）。よく分からないけど、凄いマニアな人の雑誌だと思ってて。だから自分みたいなレスラーは、一番関わっちゃいけないのかなぁって。

―確かにタチの悪い読者は多いですけどね（笑）。

小島　でも、今回そういう雑誌に出れて、一皮剥けたかなっていうのはありますね（笑）。

―確かにここに来て一皮剥けた感は凄くありますよ。今まで小島さんて、「平成新日本プロレスの象徴」みたいな感じで良くも悪くも言われていたじゃないですか。

小島　別に自分でそんな風に思ったことないんですけどね（苦笑）。多分、『週プロ』の佐藤（正行＝編集長）さんが言ったようなイメージが強かった気がするんですよ。要するに『週プロ』の影響力が強かったんで、そう言われている内に、暗示じゃないですけど「そうなんじゃないかな」って感じた時もあったんですよね。逆に言うと、自分自身で自分のスタイルがどうなのかっていうのも、ハッキリしていなかった部分もあるんで。

昭和新日を知るプロレス者から、"平成新日本プロレスの象徴"と見なされ、なにかと矢面に立たされてきたテンコジ。しかし、タッグチームとしての完成度は他の追随を許さず、ファンの間でもその実力がいまになって再評価されてきている。

―いまの「小島聡」は、そういうものが完全に熟成して出来上がった部分っていうのはあるんじゃないですか？

小島　そうですね。いろいろな経験をしてきて、新日本を辞めて全日本に来たっていうことが、自分のプロレス生活の中で、一番大きなインパクトがあったし、影響が大きいと思いますね。

―実際、全日本に来てさらに人気が爆発して、いまや会場人気でも明らかにナンバーワンですもんね。

小島　いやぁ、そんなことないですよ（笑）。

―いや、間違いなくナンバー1です！　でも、実際こんなに全日ファンに受け入れられると思ってました？

小島　正直言うと、やっぱり不安の方が大きかったですね。全日本プロレスのファンの人って良くも悪くも保守的って言うか、全日本プロレスの選手だから愛してるっていう。選手個人よりも「全日本プロレス」っていうものが最初に来るイメージが凄く強かったので、いくら自分が新日本を辞めて正式に入団しても、どうしても"新日本から来た小島聡"ってイメージで見られているんじゃないかなっていうのがあって。最初に後楽園に挨拶に行った時の反応は正直怖かったですね。

COZY MAX INTERVIEW

―結果的に小島さんは大歓声で迎え入れられたわけですけど、武藤さんには若干のブーイングがありましたよね。

小島　そうですね。あそこで武藤さんにブーイングがあったってことは、逆にそれだけ武藤さんの存在が大きかったからですよね。ファンの人から見たら、やっぱり武藤さんが全日本プロレスを、全部乗っ取ってしまうんじゃないかっていう感情とかがあったと思うんですよ。

―アッと言う間に「武藤・全日本」になってしまうことへの危機感ですね。逆に小島さんなんかは、早くも"全日本の小島"という感じで受け入れられてますよね？

小島　そうですね、そういう風に見てもらえてる部分もあるのかな。ただ、全日本のシステムが自分に凄く合ってる気はするんですよ。例えば全日本って試合をやる前に、撮影会だったり、休憩時間にTシャツを買って頂いた方へのサイン会だったりとか、ファンの人と接するふれあいの時間がとっても多いんですよ。新日本だと、試合以外は表に出るなっていうイメージが強いんですけど。

―長州さんなんかは、自分の試合前までは絶対姿をみせないようにしてましたよね。

小島　それも凄い大事なことだと思うんですよ。でも、自分は、そういう撮影会とかサイン会には全く違和感がなかったんです。いろんな人と出会えることが、新鮮と言うか嬉しかったし、そこでファンの人が試合前にレスラーを間近に見ることによって、親近感が湧くんじゃないかなって気もしたんですよね。

―特にプロレスがめったに来ないような地方ってそういうのが大事ですよね。

小島　そうですね。自分がプロレスファンの時代が長かったんで、時間の許す限り少しでもしてあげたいなって思うんですよ。

―先シリーズは全国各地でかなり大盛況だったらしいですね。

小島　そうですね。全日本に来てからよく外人選手に「コジマ、ありがとう」って言われ

るんですよ。何かと思ったら、「お客さんがいっぱい入るようになったよ」って。そんな自分のお陰じゃないのに、「ありがとう」って言ってもらえたりとか、そういうことも嬉しかったりしましたね。

——でも実際、小島選手たちが加入してから、全日本が生き返ったと言うか、勢いが出てますよね。

小島　いまの全日本に来るお客さんの熱さって凄く感じてますよ。全日本が好きって感じの人もいっぱいいるし、新日本から流れて来た人もいるし、みんな含めて凄い応援してくれる熱いファンの人が多いんですよ。あと多分、全日ファンの人って〝お約束〟とか好きな人が多いと思うんですよね。あの「きょーへー！」とか「ウォーリー！」とか（笑）。

——あの定着ぶりは凄まじいですよね（笑）。

小島　だから多分「いっちゃうぞ、バカヤロー！」もその中の一つに入れてもらえたんですよ（笑）。

——全日名物のひとつになった、と（笑）。

小島　自分はプロレスにとって「これを待ってたんだよ」みたいなものが凄く大事だと思うんですよね。お約束があって初めて「ああ、プロレス見に行ったんだ」って気になると思うし。だから人によっては、それを「ワンパターン」って言う人がいるかも知れないですけど、自分にとっては、これっぽっちもワンパターンじゃないんですよ。例えば、武藤敬司のドラゴンスクリューを見た時に、「オレはこれを見に来たんだよ！」っていう風にみんな思えると思うんですね。それぞれの選手の得意技とかがあると思うんですけど、それを見るのがプロレスの一番面白い部分なんじゃないかなと。

——そうですよね。先日のWWFなんかは、まさしく客席全体が〝お約束〟を待っていたような感じでしたもんね。

小島　そうそう、やっぱりあれだと思うんですよ！　だから極論すればプロレスっていかに試合をしながらも自分の持っている〝お約束〟を、その場面場面で上手くやれるかだと思うんです。だから試合前とかにファンの人と会うと言われるんですよ、「今日はコジコジカッター見せて下さい！」とか「〝いっちゃうぞ〟お願いします」とかって（笑）。

——アハハハ！　でも、よくよく考えてみたら、日本のプロレス界も〝お約束〟で成りたってきたんですよね。力道山の空手チョップ、馬場さんの十六文、猪木さんの延髄斬り、お客さんはみんなそれを見に来ていたんですからね。そしてそれがいま小島聡の「いっちゃうぞ、バカヤロー！」になった、と（笑）。

小島　（照れながら）それは一緒に入れていいか分からないですけど（笑）。そういうのって絶対に大事だと思うんですよ。あとね不思議な現象があって、よく試合中にお客さんに向かって「ウルセー、バカヤロー！」って怒鳴るんですけど、それをやると喜んでくれるんですよ（笑）。

——ああ、確かに確かに（笑）。

小島　「バカヤロー！」って文句言ってるのに、言われた人が喜んでくれるんですよ。「わー『バカヤロー』って言われちゃった」みたいな（笑）。そういうのもプロレス特有の見方って言うか、面白いところなのかなぁって感じますよね。

——こんなに「バカヤロー！」が喜ばれるのは、小島聡か荒井注ぐらいですよ（笑）。

小島　アハハハハ、そうですかね（笑）。

——だからギャグと同じで、〝お約束〟として昇華するまで、これを使い続けたのが凄いと思うんですよね。

小島　でも最初は特に使い続けようとは思ってなかったって言うか、それこそ自分の中では〝お約束〟ではなかったんですよ。別に言おうと思って言ったセリフじゃなくて、自然に自分の感情から出てきたものだったので。ただ毎回毎回、自分の中でそのセリフが出てきてる、それが段々見てる人にもイメージとして定着したんじゃないですかね。だから逆にそこから一歩違う自分になるのが大変だったんですけど。

——確かに小島さんは、若手の頃からひたすら叫んでいたイメージはありますね（笑）。

小島　でしょ？（笑）。実際、ヤングライオンの頃は、「小島は気合があって、元気がいい」っていうふうにマスコミの人に取り上げてもらって、結構いい気になってた自分がいたんですよ。ところが最初はそれが「いい」って言われてたのに、「小島はそれしかない」って言われるようになって、さらに時間が経ってくると今度は「小島はそれしか出来ない」っていうふうに段々批判を浴びるようになって来たんです。

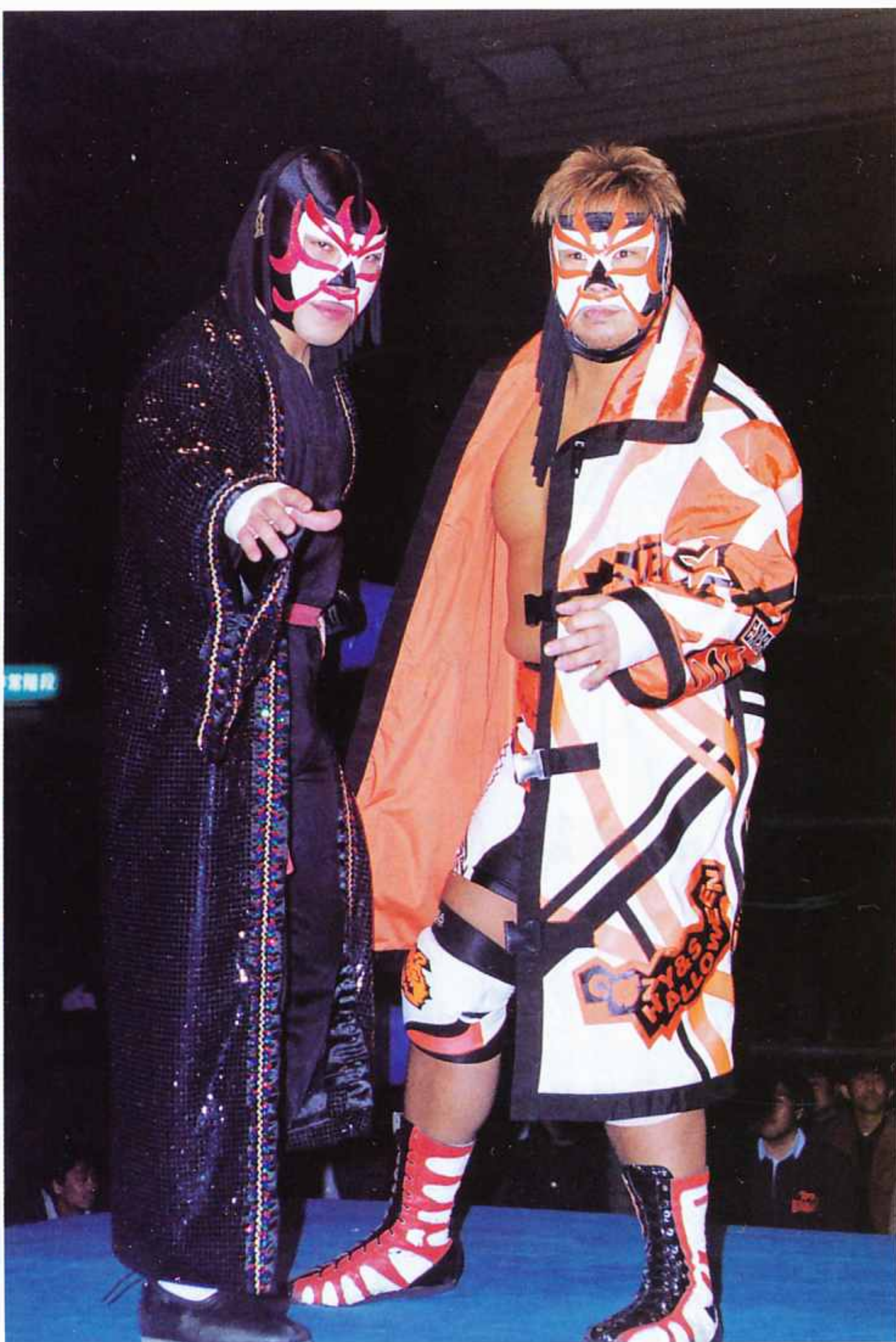
——同じことやってるのに、評価だけが違ってきたわけですね。

小島　それで「どうしよう、どうしよう」ってなってる時に海外遠征の話があったんで、海外に行って一皮剥けて帰って来たつもりだったんですけど、どうしてもうるさいイメージがずーっとつきまとっていて、一部のファンの人に全く受け入れてもらえない状態だったんですよ。

satoshi kojima

——実際、凱旋帰国の時は、「かっこつけやがって」とかボクも思ってました（笑）。

小島　アハハハ！　実際カッコつけてたんですけど、あんまりカッコよくなかったですけどね（笑）。どうしても「天山の真似っこか」って言われたり。どこかで作ってる自分っていうのが強かったですね。それをいま、本質の自分ってものに少しずつですけど、なってきたのかなっていうのはあります。

——いまはそれが突き抜けた感じで支持されてますけど、それまでは自分のスタイルに悩んだりとかはなかったんですか？　例えば中西選手みたいに突然ストロングスタイルになってみよう、とか（笑）。

3・10みちプロ徳島大会に「ザ・グレート・コジスケ」として登場した小島。こんな遊び心が小島の魅力のひとつだ。また、全日本5・1新潟大会には新キャラ「愚憂闘孤士」として登場が決定！　はたしてどんなキャラクターなのか？

菊田選手と向こうの土俵で闘ったら
俺なんか足元にも及ばない。でも…

小島　それはないって言うか（笑）。できたらいいなと思ってたんですけど、俺にはそれができるバックボーンがなかったんですよ。アマチュアで特別秀でたものがあったわけじゃなかったし、最初からプロレスっていうスタイルをずっと貫いてやってきたので、正直言ってオレは格闘技っぽいプロレスに対応出来ないんだろうなっていうのもあったんですよね。だったらいまさら変に付け焼き刃でやるよりは、自分がいま迄やって来たことを大事にしようじゃないかと思ったんです。

――付け焼き刃は必ずボロがでますからね。

小島　見てる人っていうのはそういうの分かっちゃうじゃないですか。チョコッと習ってそういうことしたって、そんなの見せ掛けのものにしかならないから。それだったら自分はデビューした時からずっとやって来たことを貫いていくしかないなって。変に自分のスタイルを変えていかないで、これだけをやって来たっていう部分があるんですよ。

――そうですね。やっぱりいまの小島さんがあるのは自分のスタイルを信じて貫いてきた結果だと思いますよ。

小島　自分がアマレスの学生チャンピオンになったりとかしてたら、逆にそういう方でチャレンジしてみたくなって、あっちに行ったりこっちに行ったりっていう浮気心も出たかも知れないですけどね。

――だからバックボーンがないことが逆に武器にもなるんですよね。例えは悪いかもしれませんけど、大仁田さんなんかは膝が悪くて普通のプロレスが出来ないから、開き直って邪道プロレスで成功したわけですからね。

小島　だから自分は大仁田さんはレスラーとして、もの凄い尊敬してるんです。あの人はいかにお客さんを楽しませようかって考えてるじゃないですか、本当にエンターテイナーとして尊敬してますよ。

――ずっとプロレスのことを考えているような人ですからね。

小島　そうですね、あと武藤さんもプロレスのことばっかり考えてるんですよ。武藤さんってそんな考えたりしないイメージがあるじゃないですか、でも実際は一番プロレスのことを寝ても醒めても考えてるような気がするんです。だから俺も話しをしているとすごく勉強になりますよ。あと、最近一番カルチャーショックを受けたのがWWFですね。あれと全く同じことをするのは無理かも知れないけど、それを日本流にアレンジして面白くしたいなって気持ちは凄い強くなりましたよね。

――これからの全日本のヒントになるようなことが、WWFにはたくさんありますよね。

小島　そうですね。あの完成されたものを全て真似しようとしても、それだけのタレント・レスラーもいないだろうし、試合以外のストーリーとかそういうものを日本で作ったりとか、マイクで日本のお客さんを納得させる部分っていうのを出来るかって言うと、それはちょっと難しいとは思うんですけどね。ただそれをアレンジして上手くやっていけたらなって思います。

――武藤さんなんか新弟子の頃にテレビ全日本を見て、「オレこっちの方が向いてるんじゃないか」って、船木（誠勝）さんに言ったことがあるらしいんですけど、小島さんは全日本指向というか、アメプロ指向はなかったんですか？

小島　全日本も見てたんですけど、正直言って好きだったのはやっぱり新日本ですよね。ただ、全日本の外人のスタン・ハンセンとかブルーザー・ブロディは凄い好きだったんですよ。

――それはやっぱりアメリカン・プロレスが好きになる資質があったってことですよね。プロレスラーになるきっかけは、馳さんが関わってたんでしたっけ？

小島　そうですね。浜口ジムに通ってましたんで。浜口さんが新日本に上がっていた関係で馳さんに話をしてくれたら「そんな人がいるんだ、ちょっと見てみたい」って言ってくれたんですよ。

――プロレス入門の時点で馳さんが〝黒幕〟だったんですね（笑）。

小島　アハハハ、だから時代背景とか考えたら、ホントに自分は運が良かったんだなっていうのがあるんですよね。いまの時代に自分が20歳だったら、見向きもされなかったと思うんですよ。いまの新日本ってアマチュアでトップクラスの人を取ったり、凄いエリートの人が入って来てるから、自分みたいな人間は、多分書類でポイってされちゃうような立場だったと思うし。そういう部分では凄いラッキーだったんで、いまでは良かったなって思うんですよね。だって馳さんに浜口ジムで軽いテストやってもらったんですけど、実は出来なかったんですよ（苦笑）。

――え!?　そうなんですか！（笑）。

小島　腕立て伏せは出来たけど、腹筋なんか途中で「お腹イテーッ！」とか言ってダメになっちゃったんですよ（笑）。それから面接を受けたときも、山本小鉄さんに「何かアピールするものはあるか?」って聞かれて「ハイ！　僕、ベンチプレスで140キロ持ち上げられるんです!!」って言ったら、小鉄さんに「そんなの当たり前だろ、馬鹿野郎ッ！」って怒られちゃって（笑）。

――アハハハ！

小島　「当たり前のこと言うな！　オマエ、プロレスラーやりたいんだろう!?」って（笑）。それで「こりゃ絶対落ちたなぁ」って思ってたら、入寮の通知が来たんですよ。でも、それからがやっぱり大変だったんですよ。入門した後の練習が、浜口ジムで試験をしてもらったメニューの何十倍の練習量だったんですよ、そのテストは何だったんだ？って言うぐらいの。

――ほんの入り口ぐらいだったんですね（笑）。

小島　しかもその当時だと、科学的なトレーニングじゃなくて、要は脱水症状になるまで「水なんか飲むな！」って、そういう時代だったんですよ。

――あ～、小島さんの世代はまだそういうのが残ってたんですね。

小島　だから「トイレ行って来ます」って言って、トイレの手を洗う所の水飲んじゃったりとか、それぐらい追い込まれてやってたんですよ。いまだったら、練習はキツくても、その間に水を飲む休憩とか、バナナ食べろとか、そういう科学的な部分でちゃんとやってると思うんですけど。もう俺らのころはホントに殺されちゃうんじゃないかと思いましたからね。

――新日上野毛道場のキツさはあまりにも有名ですもんね（笑）。

小島　だから、その当時いっつもオレが風呂掃除の当番だったんですけど、お風呂を洗う『バスマジックリン』ってあるじゃないですか、レモンの香りの。あれをいつも使ってたから、今でも『バスマジックリン』のレモンの香りを嗅ぐと、身体がドキドキッてなるんですよ。その当時の嫌な思い出がブワ～ッて全部戻って来る感じで。

――うわ～、一種のトラウマですね！

小島　別にだからどうってことないですけど、

あの当時、コーチ役として佐々木（健介）さんが一番怖かったんで、いまでもあの匂いを嗅ぐと、あの頃の佐々木さんの黒と黄色のスパッツと、佐々木さんキャラクターのイラストが入ったTシャツ姿を瞬間で思い出すんですよ。でもその時のもの凄く辛い練習があったから、いま「プロレスラーです」って自信を持って人に話すことが出来るっていうのがあるんですよね。

――当時、同期はいなかったんですか？

小島　5人いたんですけど、全員すぐに辞めちゃいましたね。

――その中に、パンクラスの菊田選手もいたって聞いたんですけど？

小島　（目を丸くして）えっ、知ってました!?　なんで知ってるんだろう？

――いまはネットがあるんで、ファンでも結構知ってますよ。

小島　そうなんですかぁ。自分等はその時以来会ってないんで、その時にちょっと喋ったくらいしか憶えてないですけど。いま考えれば、それはそれで菊田選手がプロレスに向いてなかったっていう部分じゃないですかね。実際違う分野で大活躍してるんだったら、本人だって「あの時にプロレスラーにならなくて良かった」って思ってるかも知れないし。それは分からないけど。

――実は以前ウチのインタビューで菊田さんが「天山・小島はロクな死に方しない」という発言をして、物議を醸したこともあるんですけど（笑）。

小島　はいはい、それも人づてに聞いたことありますよ（苦笑）。その発言は菊田選手がオレに挑戦状を叩きつけてやるってことだったんですか？

――そういうわけでもないんでしょうけど、当時は何かにつけて、格闘技方面の人はプロレスことをいろいろ言ったりしてましたからね。

satoshi　kojima

小島　菊田選手とも、プロレスの試合だったらやってみたいですけどね。向こうの土俵だったらオレなんか足元にも及ばないから。ただ、昔は自分の中でもあったんですけど、総合格闘技とプロレスの何を比べるのかっていうところで、オレはそこに単純な強さとかそんなものを比べるのは、凄いナンセンスだと思うんですよね。比べるんだったら、集客力だったりとか、カリスマ性とかそういうものが大事だと思うんですよね。

――ジャンルが違ってもどれだけ人に何かを与えられるかって部分ですよね。

小島　そうですよ！　要はリングがあって、四方を客で囲んでるっていう状況は一緒じゃないですか？　やってることは全然違う分野でも、その部分での比べられ方はされてもいいと思うんですよね。どれだけお客さんを湧かせることが出来るかとか、見てる人達にどれだけ感動を与えられるかっていう部分での比べられ方はいいけど、同じリングに立って試合をしますとか、そういうのって凄いナンセンスですよね！

――そういう比べ方は意味がない、と。

小島　「プロレスラーは一番強いスポーツ選手だ」とか言ってる人達にとっては、また違う考え方だろうけど、あくまでオレにとっては、ですけどね。でも、時代がそういうふうになって来ているからこそ、WWFであれだけのお客さんが入ったと思うし、あれだけお客さんが喜んでくれてると思うんですよ。

――ファンもここ数年でようやくそういう考え方になって来たましたよね。

小島　だから逆に言うと、4～5年前だったらまさに自分のスタイルなんか見ててイラつくって言うか……（苦笑）。多分そういう時代だったと思うんです。

――しかもテンコジは目立ってたから、標的にされやすかったし（笑）。

小島　そう、ガンツ先生の標的にされやすかった（笑）。

――あ、ボクにですか（苦笑）。そういえば

当時『ケンファー』で凄い企画がありましたよね。小島嫌いのファンを集めての討論会って（笑）。

小島　ありましたねぇ（苦笑）。オレあの時、インターネットやったことなかったんですよ。でも「ネットで小島ってあんまり良く書かれてないよ」っていうのを人づてに聞いたんで、「どんな人だよ、それ!?」とか思って、「そんな奴呼んで来たら、喋ってやるよ！」ってあの企画が実現したんですよ。そういう人達の影響力とかを全然理解出来てなかったんですよね。

――ネットの恐ろしさを知らなかった（笑）。

小島　そうなんです（笑）。実際、彼らの話を聞いて、自分も納得する部分も多かったんで、あの時は「はいはい」って言ってたんですけど、終わったあと、それに出た人がネットの掲示板で「小島はたいしたことない」なんて書いてたりとか（笑）。

――直接言ってたことと違う、と（笑）。

小島　そういう話を聞いて、2年前くらいから自分でパソコンを持ってインターネットを見るようになったんですよ。その時にいろんな掲示板で、たくさんの人の意見とかを見て、考え方が180度変わったんですよ。なぜかというと、ネットって顔も見えないし、名前も分からない人達が書き込んでるものだから、ホントの意味での本音だったんですよ。

――なるほど。

小島　だからこそ、そこでオレが悪く書かれていようが批判されていようが、それはそこで怒るんじゃなくて「そうなんだ、こういうふうに思ってる人達がいるんだ」と、逆に真摯に受けとめなきゃいけないんだって凄い思ったんですよ。実際にその意見を参考にして、自分のスタイルをちょっと変えていったりとかしたんで、ネットのおかげで見てる人に認めてもらえる部分も出て来たなっていうのがあるんですよ。そういう意味ではインターネットは自分にとって凄い大きな存在だったんですよね。もっと早く見とけば良かったって思うくらい。

4・13武道館大会で太陽ケアを破り、7・17大阪府立大会で天龍の三冠ヘビー級王座への挑戦が確実となった小島。メインイベント終了後、天龍に向かいマイクを掴み「天龍さん、次の挑戦者は誰か知ってるか？　俺だバカヤローッ！」と絶叫！

COZY MAX INTERVIEW

――だからってわけじゃないですけど、いまネットでも小島選手の評判は無茶苦茶いいですよね。

小島　中には批判的な意見は当然ありますよ。100人が100人すべて絶賛するなんてありえない話だし、悪く書いてあるからこそ、その人の意見を大事にしたいんですよね。茶化してる部分じゃない意見は絶対頭に入れて参考にするべきだと思うんですよ。そこで腹を立ててたってしょうがないことだから。だからいまでもインターネットとかを見るのは凄い好きなんですよ。

――へ～、僕なんかは、プロレスラーはああいうのは見ちゃダメって思ってたんですけど（笑）。

小島　そういう意見もありましたけど、やっぱりオレは気にしぃなのでどうしても見ちゃうんですよね（笑）。どんな風に見られてるんだろうとか、凄い気になるんで。だから正直に言っちゃうと、初めて自分に批判的な悪いことが書いてあるのを見た時に、すんごいヘコんだんですよ。もう2週間以上落ち込んで、「ああ、オレはこの業界にいちゃいけない人間なんじゃないか……」ってホントに思ったんですよ。

――そこまで思いましたか！

小島　だって会場ではみんなが「ワーッ！」って応援してくれてるのに、「実際こんなふうに書かれてんだオレ」って思った時に人間不信になりかけましたね。普通に会場とかに行ってファンの人に「握手して下さい、サインして下さい」って言われても、サイン書きながら「コイツ本当は悪口書いてんじゃないかなぁ？」とか思っちゃうんですよ（笑）。

――それは相当深刻ですね（笑）。

小島　だから当時はそういう人を全て疑いの目で見ちゃうような。それぐらい一時期人間不信っぽくなってたんですよ。ファン不信ですね（笑）。

――ファン不信！　張り紙に書いて失踪しそうなくらい落ち込んだんですね（笑）。でも、

最初は人間不信になりかけたけど ネットのおかげで今の自分がある

そういうのを乗り越えて来ていまがあるわけですよね。

小島　そうなんですよ。だからもし自分がいまでもパソコンを持っていなかったら、全く違うレスラーになっていたような気もするんですよ。

——ネットの影響かどうかはわかりませんけど、小島さんの試合後のコメント昔の吠えるスタイルからずいぶんかわりましたよね？

小島　そうですね。昔は咄嗟に思ったことを言おうって考えてたんですけど、そういう時に出る言葉って、興奮してるからフザケンナとかテメーとかコノヤロウみたいなのしか出て来ないんですよ（笑）。

——はい、『ワールド・プロレスリング』を見ていると非常によくわかります（笑）。

小島　だから実は試合前に勝った時はこんなことを喋ろうとか、ハッキリと台本を決めて1から10までこういうふうに喋ろうとは思ってないけど、少し考えてるようにはしてるんですよ。やっぱりコメント一つでもそのレスラーの個性だと思うんで。

——いまの時代はそういうのが絶対大事だと思いますよ。

小島　ですよね！　試合終わった後に「テメ～、ふざけんじゃねぇ!!」って叫んで締めるのもいいけど、それって一番の基本だからみんな一緒じゃないですか。そこで何かまた一捻り二捻りして、自分しか出せないコメント、その出し方を。試合以外でコメントも含めてそのレスラーの個性だと思うんで、それも大事にしたいですね。そういう意味じゃカシンの方が凄いですけどね（笑）。

——カシン選手は素晴らしい！　絶対にいろいろ考えてますよね（笑）。

小島　アレは絶対考えてますよ（笑）。

——新日本の選手を責めるわけじゃないですけど、テレビを見てるとみんな同じように吠えてるじゃないですか。

小島　興奮してるとそうなるんですよ。実際、自分もずっと経験して来たことだからわかるんですけど、だからそこで一呼吸入れて、ちょっとでもオリジナルを出さなきゃっていう部分ですよね。レスラーによっては「そんなの必要ねぇ！」って言う人もいるだろうし、「思ったように叫ぶのでいいじゃねぇか」って考える人もいるだろうから、それはそれぞれの価値観なので、悪いことだとは思わないですけど、どうしても自分の場合は叫んでたり吠えてたりするイメージが強かったので、逆にそのイメージを変えていきたいというのがあったんですよ。

——それは絶対いい傾向ですよ。もちろん蝶野さんとか天山選手とかは、「オラッ、エー！」が個性になってるからいいと思うんですけど。

小島　そうですよね、蝶野さんとかは完成されてるから、逆にこの2人が普通のコメント出したらおかしいと思うんですよね。だからその人に合ってるかどうかですよね。その人その人のイメージとかもあるだろうから、プロならその辺も考えてね。

——日本のプロレスも自己プロデュースが大事になって来ますよね。

こじま・さとし■昭和45年9月14日、東京都出身。平成3年新日本入門。気合いを全面に出したファイトで人気を博す。海外修行後、NWO、T2000のメンバーとして活躍。天山とのコンビ"テンコジ"は日本を代表するタッグチームとなる。今年1月、武藤、カシンらと共に突如新日本を退団。現在、新天地・全日本で人気が爆発している。183cm、112kg。

小島　そういうのってありますよね。だからホントだったらコメントの時に自分の決めゼリフを作りたいんですよ（笑）。

——それ、いいですねぇ！（笑）。

小島　「ノーフィアー！」じゃないけど、そういうような必ず言う言葉も大事だなって。子供とかに真似してもらえるようになりたいですね。

——「子供に真似される」ってメチャクチャ大事ですよ！

小島　会場でも鼻テープを自分で作って鼻に貼って来てる小っちゃい子とか見ると「ああ、嬉しいなぁ」って感じるんですよ。

——小島さんは、ラリアットに行く前に腕のサポーターを外すやつもいいですよね（笑）。

小島　あれもちょっとロックの影響があったんですけど（笑）。ただロックと違うのは、オレはあれを客席に投げることが出来ないんですよ。

——え!?　何でですか？

小島　使い回し出来なくなっちゃうから（笑）。

——アハハハ！　それでなるべく鉄索の内側に落ちるように投げる、と（笑）。

小島　本音では投げたいんですけど、経費がね（苦笑）。自分がもっと裕福になったら毎試合毎試合投げられるんですけどね（笑）。

——では、サポーターが毎試合客席に投げられるように、これからの全日本の躍進に期待してます！（笑）。

【02年3月15日／新宿・京王プラザホテル　展望ラウンジにて収録】

satoshi　kojima

2002 スーパーパワー・シリーズ日程

日付	時間	会場
4月		
27日(土)	18:30～	東京・後楽園ホール
28日(日)	15:00～	茨城・水戸市総合運動公園体育館
29日(月・祝)	17:00～	福島・福島市国体記念体育館
30日(火)	18:30～	岩手・岩手県営体育館(盛岡)
5月		
1日(水)	18:30～	新潟・新潟市体育館
3日(金・祝)	18:00～	山形・米沢市営体育館
4日(土・祝)	15:00～	千葉・木更津倉形スポーツ会館
5日(日)	15:00～	京都・醍醐グランドーム
6日(月・祝)	18:00～	岐阜・岐阜産業会館
9日(木)	18:30～	高知・高知県民体育館
10日(金)	18:30～	大阪・大阪府立体育会館第二競技場
20日(日)	12:30～	東京・後楽園ホール

問い合わせ■全日本プロレス　03-3403-7344

「…に本当」のこと

冬木弘道が、大腸ガン判明による現役引退。引退表明から4月14日のディファ有明引退試合までを通して見えた、嘘つき冬木への信頼感と格好良さについて考えてみました。

写真協力:スポーツナビ様　http://www.sportnavi.com
構成:ささきぃ

冬木弘道引退記念試合

冬木弘道引退記念試合
4月14日(日) ディファ有明　試合開始19:30

今、冬木弘道についての原稿はものすごく、書きづらい。大腸ガンに冒されていた上、5月5日まで手術を延期したら腸閉塞を起こしてしまうかもしれない、という病状だ。どうなるかわからない。もしかしたら死んでしまうかもしれない。その状況は、明らかにギャグとして扱える範疇を超えている。そんな状態に置かれた人に対して、たかだか仕事で徹夜して疲れてるくらいの小娘が何を言えるだろう。

4月14日、ディファ有明で行われた引退興行の日に起きたことを並べ、冬木というレスラーの功績を称えることが一番賢くファンにも喜ばれる方法かもしれない。ですが『紙プロ』は冬木引退試合を主催したノアとは〝ちょっと遠い関係〟になってしまったため、控え室でのコメントを取ることはもちろん、取材として会場に入ることさえ出来ませんでした。なので、あの日に起きた一連の詳しい出来事の紹介は他誌にお願いすることにして、チケットを買って普通にお客として見たひとりの観客として、冬木弘道というプロレスラーについて考えてみたいと思う。

私は、冬木弘道というプロレスラーが別にそんなに好きではなかった。まぁ、冬木が好きで好きでしょうがない元OLはなかなかいないだろうと思うが、単にどう考えてもルックスが好きにはなれなかったのと、自分が見た後期のFMWの大会中で、グレート・サスケとタッグを組んでいながら試合のほとんどをカンオケに詰め込まれて過ごしていた冬木は、どこを好きになればいいのか全く不明だったのである。さらにその後サスケを裏切ったので、ますます好きにはなれそうもなかった。

ただ、『紙プロ』BN.10のインタビューでの言葉「八百長でも真剣勝負でもいいの。客が金を払って見に来ればいいんだ」という言葉は、ヤケに突き刺さるものがあった。「見に来ないヤツが金も払わずに『八百長だ』とか言ったら、そりゃ怒るよ、みんな」「金払えば怒んないよ。『そうですよ、八百長ですよ』って感じですよ。『殴ってないんですよ、ホントは』って(笑)。そうすると向こうは言ってくるよ、『いや、そんなことはないでしょう』って(笑)」。

そういう形でプロレスを守る方法もあるのだと気づかされた。そこまで考えてやってるんなら、しょうがない。私はFMW後期のエンタテイメント路線にはどうしても乗れなかったが、そこまで考えてやってる人が付いてるんなら、好きにはなれないにしてもその存在は認めるべきだと思った。

そして、ハヤブサの事故が起こり、FMWは倒産した。倒産をめぐる大仁田との騒動については、FMWよりもさらに乗れなかった。あまりにも、苦し紛れすぎやしないかと思っていた。今回のニュースについても、その延長で聞いていた。

「冬木弘道、大腸ガンで引退」というニュースを聞いたときに、素直に信じた人は一体何割ほどいるのだろう。最初、私は失礼ながら絶対にウソだと思った。ハヤブサもまだ復帰したわけじゃないのに、悪い冗談もいいかげんにしろこのクソデブ！　というのが、新聞の見出しを見た時の正直な感想だった。

だが、三沢光晴が会見に出たと聞いて、どうやら本当なのだろうかと思った。大仁田ではまだ信じる気にはなれなかったが、三沢なら本当だろう。三沢光晴という人は、カブの被り物をしたり下ネタに喜んだりしたとしても、悪い冗談に乗る人じゃない。まして嘘なら引退試合の相手を務めるわけがない。そして、ガンであることを発表したときの冬木のコメントは、信じるしかないリアリティに溢れた言葉だった。「いままで散々冗談言って、嘘ついてきたけども、今度は本当だから。今度は本当に本当、これで終わりだから」。——冬木は嘘つきではあるかもしれないけど、「これは本当だ」という嘘はつかないはずだ。うまく言えないけどそれは、冬木はそこまでプライドのない人間じゃないという信頼感が、インタビューを読んだりしているうちに、私の中に自然と植えつけられていたのだと思う。「絶対嘘だ」なんて思ってごめんなさい、でも疑われるのは冬木さんあなたが悪いです。

それにしても、理不尽大王というキャラクターを貫き通し、荒井社長に「バカ」と落書きした上におしっこをかけたりしていた男が大腸ガンに冒されてしまうなんて、できれば、そんな現実の重さは見たくはなかった。私は普段「人は死ぬ」ということを無意識に避けてプロレスを見ていた。ガンになるとか、交通事故に遭うだとか、「そういった話はヌキに」した上で、プロレスの世界に接していたのだなぁということを感じさせられた。

そして、そういうシャレにならない事態の中で、「お涙ちょうだい」の世界に逃げようとせず、己が哀れまれることを何とか避け、その上で己のやりたいことをやり尽くす冬樹弘道の姿は、人間として素晴らしいと思う。己が大腸ガンだといわれたその翌日、後楽園

ノアのリングへブリブラ・ダンスで入場した冬木。コールと同時にいっせいに紙テープが投げ入れられ、緑のマットが黄色に染まった。冬木は「意外と嬉しいものだったな。ちょっと泣きそうになった。これからはファンに「向こう行け、コノヤロー」とか言わないようにしないと」。

ホールでの冬木軍の興行で、キッチリいつものようにブリブラダンスを踊って出場し、ファンにはガンのことを興行が終わるまで隠し通したという「腹のくくり方」の前には、普通に見ればどう考えても格好悪いブリブラダンスが、本当は格好いいのだろうかとさえ思えてくる。いや、でもやっぱり格好悪いか。

とにかく〝理不尽大王〟冬木弘道は現役を引退した。「この恩は一生忘れません」という、ちょっと、らしくない言葉を最後に。

ここで終わりだなんて思いたくない。ウルティモ・ドラゴンは、左の腕の手術ミスによって誰よりも愛していたプロレスが出来なくなった。だが、彼の作った闘龍門は、今、どの団体よりも高い評価を受けている。冬木もまた、現役を引退せざるを得なくなったことで、ウルティモの創った闘龍門以上のものを作り出す運命にあるのだと信じたい。5月5日WEW旗揚げ戦の冬木軍興行は、その予兆ともいえるような、冬木というプロデューサーにしか出来っこないカードが並んでいる。その上で、決定していないメインについては「入院も近いから発表したいんだけど、どうにもならなかったらしょうがないよな。これぱっかりは他のヤツらに決めてもらうしかない。そうなったら、俺はもう知らない」と、こんなときだけ都合よく病人に戻って理不尽に己のキャラを貫き通す冬木。この人が率いる団体のプロレスをこれからも見ていきたい。

必ず復活して、大腸ガンという常人には考えられない経験による生と死のリアルさえも内包した、さらなる理不尽大王ぶりを発揮して、イヤなコミッショナーになってほしい。大腸ガンを乗り越えた冬木弘道は、きっと前よりも憎らしくて面白いはずだ。

そして、現役生活、お疲れ様でした。どうぞ、さっさと退院して、プロレスを面白くするためにバリバリ働いてください。

理不尽大王 冬木弘道が現役最後に見せた「本当

リング上からの冬木の最後のメッセージ。「プロレス生活22年間、最後の10年は本当に自分勝手でわがままな、無茶苦茶な10年間を過ごしてきました。まさか、こんな素晴らしい最後が自分で……最後の試合ができるとは思ってませんでした。今日の三沢社長をはじめ、レスラーの方々、スタッフの方々、応援してくださったみなさん、恩は返すことはできませんが、一生忘れません。これからもよろしくお願いします！」

NEWS 冬木、無事生還！　4月18日行われた冬木弘道の大腸ガン摘出手術は、7時間半に及ぶロングマッチの末、無事、冬木がガン手術を克服!!　順調に回復すれば、約2週間で退院できる見込みで、公約通り5月5日川崎球場へ姿を現してくれそうだ。ガンバレ、理不尽大王！

紙の新聞

●マット界の1ヶ月丸わかり●

編集長代行／ささきぃ
隠居／堀江ガンツ

3/18→4/18

新日本プロレスに第2次飛龍革命……もとい、IT革命到来！　4月8日付けの日本経済新聞の一面広告に見慣れたパーマ頭の男が登場。な、なんと我らがドラゴンじゃないか！　広告ながら「世の中の動向を東スポで知る社長」と呼ばれたドラゴンが日経に登場とは素晴らしい！「これでスケジュール管理がしっかりでき、ダブルブッキングの心配もない」という笑顔のドラゴン、これで子供の運動会と試合がバッティングすることもなくなるわけだ。IT万歳！

3/21

【全日本プロレス】
後楽園ホール

保坂・本間が全日本正式入団！

23・24日に行われた全日本後楽園2連戦は両日とも大盛況で、とくに開幕戦は指定・立見ともすべて売切。超満員の観客に、保坂秀樹・本間朋晃の2人が新たな全日本のメンバーとして紹介された。2人共にリング上から「全日本プロレスの保坂・全日本プロレスの本間」と呼ばれるように頑張りたいとの抱負を述べた。本間は2日前、ディファ有明でのレインボープロモーション興行で、ハードコア・有刺鉄線ボード・蛍光灯ボードの「インディー卒業送迎デスマッチ3本勝負」を受けていたため、全身傷だらけの姿で全日本のマットに登場。ザ・セッドマンを相手に、必要以上に痛いプロレスを見せていた。

3/23

【全日本プロレス】
後楽園ホール

カシン節冴えまくり！「渕さんはプロレス界の宝」

カシンが中西君に続くターゲットをゲット！　その名は渕正信！　この日カシンは、カズ・ハヤシへの地獄突き・金的蹴りを含むラフファイトを「カズが、渕さんのことを古いプロレスとか、まだ結婚できないとか、巡業についてきているのに試合はしないで最終戦だけ出ていてズルイとか、ひどいことを言ってるからこらしめてやった。渕さんはプロレス界の宝なんだよ!? その宝に早く引退しろとか、それは許せない」と、あくまで渕を慕うカシンの正義感からの行動だったと主張し「世界Jr（ヘビー級選手権試合）は、渕さんに胸を借りるつもりでやります」と続けた。どこへ行ってもカシンはカシン。お見事。

3/21

【レインボープロモーション】
ディファ有明

W☆INGの歴史に終止符

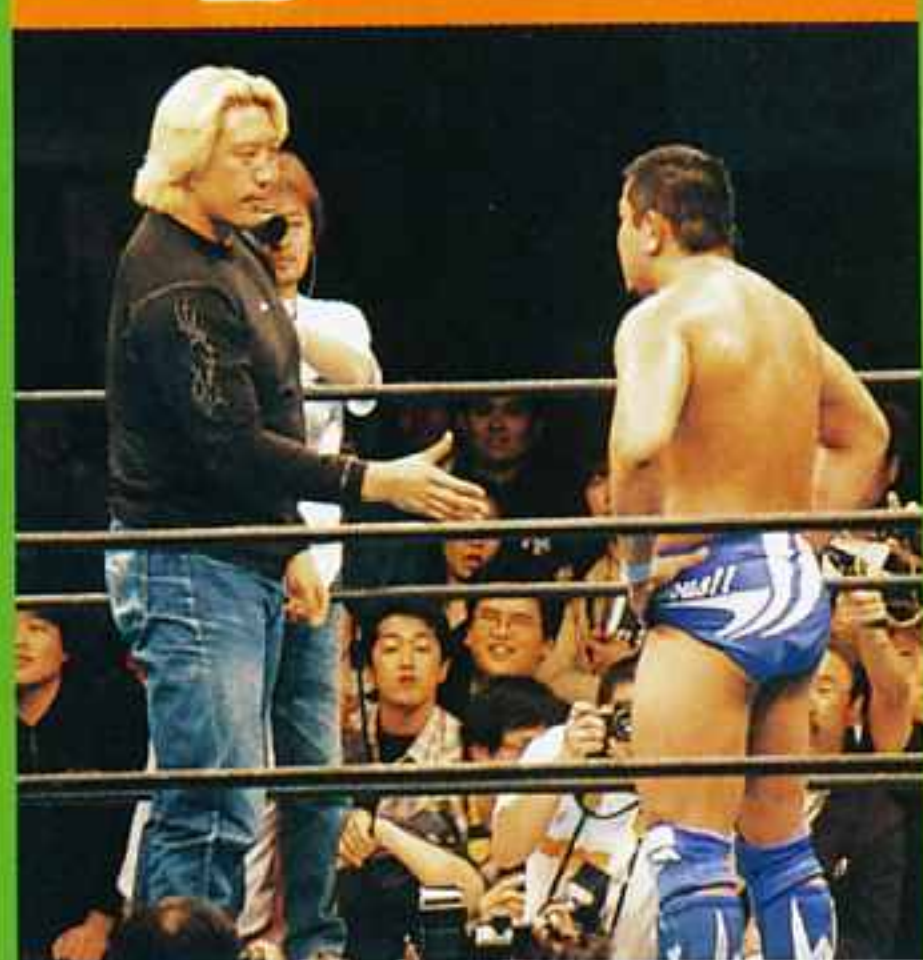
W☆ING、完全終結へ——W☆ING最後の遺恨マッチと称されたメインで、金村キンタローと松永光弘が激突。金村は試合序盤から己のすべてをを叩きつけるように松永に向かっていき、松永はそのすべてを受けとめた。最後は、松永がW☆INGを象徴するような伝説のバルコニーダイブで勝利。2人とも血まみれになりながらリング上で握手を交わし「W☆INGはバルコニーダイブで始まり、バルコニーダイブで終わったんだ」と、W☆INGの終了を宣言した。楽屋で松永は「あとは、1人1人が心に持ちつづけてくれればいい」と静かに語った。10年にわたるW☆INGの歴史は、完全に幕を閉じることになった。

3/18

【新日本プロレス】
麻布club ビブロス

蝶野と“さとえり”がパチスロ勝負！

玩具雑貨メーカーのドリームズ・カム・トゥルーが、家庭用パチスロTVゲーム機「ガチンコ勝負！ パチスロTV」のCM完成披露発表会を開催した。ここになんと蝶野正洋が登場し、さとえりこと佐藤江梨子さん（写真）と、「パチスロTV！」を使ったガチンコ（！）3本勝負が行われた。最近は忙しくてパチスロには行っていないという蝶野だったが、「私がイメージキャラクターなのに～！」と悔しがる佐藤さんに見事勝利。蝶野は「これを機に家でパチスロを楽しみたいです。TEAM2000のメンバーは、バスの中でもやるんじゃない？」とコメント。シンやシルバがバス内でパチスロをしているところは見てみたいものである。

4/5

【新日本】東京武道館

新日がランキング制度を導入！

新たなるストロングスタイル確立を目指す新日本プロレスが、その一環としてランキング制度を導入。この日から、「ＩＷＧＰランキング査定試合」をスタートさせた。「スポーツ界におけるプロレスの認知度アップ」を目論む、“現場監督”蝶野が「所属選手をランク付けして、あいまいだったタイトル戦の挑戦資格を明確化」のために導入したこの制度。しかし、そんな理想とは裏腹に、この日のメイン安田vs永田のＩＷＧＰ戦終了後、高山善廣が新王者・永田を急襲。５・２ドームでランキングとは無関係である高山の王座挑戦がアッサリ電撃決定してしまい、ランキング制度はなんとスタート初日で有名無実化してしまうという、迷走新日本を象徴する制度となってしまったのであった。は〜、カックン。

3/29

【新日本プロレス】

ドラゴン、長州の新団体を否定

あの２・１札幌事変を最後にシリーズを欠場、事務所にも出社していないことから、「新日本退団→新団体設立」の噂がまことしやかに流れる長州力。最近では、６月の株主総会で結論など、より具体的な話も出てきているが、そんな噂をドラゴンが一蹴した。「(長州の退団は）ない！　長州と一昨日電話で話したら「何もそういうことはない」と言っていたよ」そう自信満々に言い放つドラゴン。しかし、普通に考えれば、長州が電話でアッサリ「辞めるよ」なんて言うわけないわけで、これまでドラゴンが「ない！」と言ったことはすべて実現していることから、今回の長州退団、ズバリありうると見た。

3/28

【全日本プロレス】
広島・呉市体育館

川田悲運！全治半年の重傷で3冠返上

川田はどこまでついてないのか。この日、呉大会の試合前におこなわれた会見で、26日全日本・富山大会で負傷した川田利明の右ヒザが、検査の結果、右十字靭帯と内外両面の半月板損傷という重傷であったことが渕アニキ（カシン調）の口から発表された。「復帰までまず半年は無理だと思う」と渕。せっかく武藤に勝利して３冠を奪取し、小島・カシンといった新加入の選手との対決も期待されていたのに、すぐ負傷して長期欠場となってしまった川田の心情は察するに余りある。さらに気の毒なのは「全日本の顔」である川田不在にもかかわらず、４月13日武道館大会は空前の大盛り上がり。あぁ。

3/25

【パンクラス】
後楽園ホール

美濃輪、PRIDE出場の前に百瀬の壁

「PRIDE」参戦に向けて「打倒ミルコ」を宣言していた美濃輪が、この日の後楽園大会で、パンクラス初参戦の禅道会・百瀬善規相手に終始苦しい苦しい試合の末、ドロー判定となってしまった！　百瀬の地力の強さの前に終始極めを欠き、ラストにはスタミナを消耗した美濃輪が、苦しい表情を見せながらも打撃で反撃するが、百瀬に決定的なダメージを与えることはできずに終わり、ドロー判定に、会場からはブーイングと“百瀬”コールが起きるという異常事態に。今後の「PRIDE」・他団体との闘いを前に、はずみをつけるためにも必ず勝たねばいけなかった美濃輪に、事実上の敗北とも言える痛いドロー判定がついてしまった。

4/7

【ＧＡＥＡ　ＪＡＰＡＮ】
横浜文化体育館

デンジャラスクイーン北斗が引退！

北斗晶が、6200人、掛け値ナシの超満員となった横浜文化体育館で、北斗は里村明衣子と組み、長与千種、浜田文子組と引退試合を行い、北斗ボムで文子をピンフォール。自らの代名詞で最後の試合を締めくくった。そして試合後、マイクを持った北斗は長与に対し「ノーザンライトボムはお前にやる！」と前代未聞の後輩から先輩への技の伝授を切り出すと、長与も最初はとまどいながらも「俺が北斗を受け継ぐ！」と宣言。「人生最大の敵」という長与に自ら分身とも言える技を譲り、最後はデンジャラスクイーン通路の奥にいる夫・佐々木健介と愛息・健之助君がの元へ帰り、北斗晶の17年間のプロスラー人生は終止符が打たれた。

4/4

【格闘探偵団バトラーツ】
越谷　B-CLUB

バトラーツ・石川がZERO-ONEに謝罪！

昨年10月の沖縄興行以来、活動を休止していたバトラーツが会見を開き“新生”バトラーツとして６月９日、後楽園ホールで再旗揚げ戦を行うことを発表した。会見後、昨年のZERO-ONEのリーグ戦“火祭り”の出場をキャンセルした件について、石川はZERO-ONEの橋本・大谷らに公の場で謝罪したいと表明。「あの頃、対外的なことは島田裕二氏に任せきりにしていたが、今自分で実際に話を聞いたりしてみると、当時私の知っていた状況とは違っていた事が分かった。６：４なり７：３で私の責任。本当にお詫びを申し上げたいと思っている」。責任の比率まで持ちだしたバトラーツ石川の突然の謝罪を、破壊王・大谷らはどう受けるのか!?

3/28

【ＺＥＲＯ－ＯＮＥ】

NWAの道険し！破壊王、まずは北米王座挑戦

いつまでやってんだこんなことぉ！　破壊王がまたしても、毎度恒例NWAの策略にハマってしまった。疑惑の３カウントで奪われたNWA世界王座を取り戻すべく、再戦を要求してきた破壊王。しかし「クソデブ」ことジム・ミラーNWA会長はそれをあざ笑うかのように「橋本には挑戦者の資格がない。５月に派遣する北米王者を倒せば考えてやろう」とＦＡＸを送りつけてきた。これには破壊王も怒りを露わにしたが、これしか「リベンジの道はない」と北米王座挑戦を決意。５・23後楽園で実現することとなった。それにしても疑惑のカウントに続き、今度は北米王座。NWAの昭和ぶりはとどまることを知らない。

3/26

【新日本プロレス】

オーちゃん、ドラゴンをコキ下ろす

ドラゴン危うし！　OH砲として５・２新日ドーム出陣をアピールしながら、なかなか出場が決定しないことに業を煮やした小川が、アントンの「小川は駆け引きするな」の発言を聞いて遂に爆発した！　この発言をアントンの本心ではなく、「新日の謀略」と判断した小川は、その矛先をなぜかドラゴンに向け、「猪木さんに言わせるんじゃない。お前のお得意の腰抜け、日替わり発言はどうした？」と、ドラゴンにコンニャク発言を要求。さらに「お前はドラゴンではなくタツノオトシゴ」「お前はくんせいか」と言いたい放題。オーちゃんにドラゴンの呪いがかからないことを祈るばかりなのであった。

4/13

【新日本プロレス】
沖縄県立武道館

高山節も絶好調!「垣原の情報はあてにならない」

メジャー渡り鳥・垣原賢人が永田の参謀役に就任！　高山のUWFインター時代の2年先輩にあたり、その後もキングダム→全日本→ノアと同じ経歴をたどった経験を持つ垣原が「オレしか知らないヤツのくせや弱点をアドバイスして、永田さんには完全に勝ってもらいます」と宣言。だがそれを聞いた高山は「垣原の情報をあてにしてたらとんでもないことになるよ」と受け流し、ベルトのかかっていない三沢VS蝶野戦にメインを奪われそうでも怒らない永田の不甲斐なさに毒を吐いた。さらに「１人じゃ怖いだろうから、秋山にセコンドについてもらえ」と、IWGPチャンピオンをまるで子供扱いのダメ押し！　どうする永田！

4/11

【ZERO−ONE】
東京駅八重洲中央口

バトラーツ石川、大谷を待ち伏せ謝罪!

破壊王に許しを得ることが出来た石川が、今度は大谷に謝罪！　石川は、大谷と話をするためになんとこの日東京駅で待ち伏せるという、直接的な行動に出た!!　石川は「自分はリングに上がりたくて言ってるんじゃない。裸になって、きちんと謝罪をしたいんだ」と叫びながら、東京駅構内で本当に上半身裸になって大谷を捕まえた。だが大谷は「そんなに目立ちたいのか!?顔も見たくない！」と追いすがる石川を振りほどき「あいつが再びZERO-ONEのリングに上がったら、この業界はダメになる。橋本真也にも言っておくぞ。あんたの言うことは聞かねぇよ」と宣言。大谷の怒りはおさまりそうにない。石川vs大谷のカードが組まれている４月27日大阪大会は、そしてZERO-ONEはどうなってしまうのか!?

4/8

【新日本プロレス＆NOAH】
NOAH事務所

三沢光晴vs蝶野正洋実現!! どうなるトップ対決!

有明大会の翌日8日、三沢が書面にて新日本参戦の意思を表明!!　その日のうちに、蝶野VS三沢というなぜか「やっぱりな」という言葉が浮かんでくる不思議な夢のカードが実現する運びとなった。三沢は書面上では「プロレスリング・ノア、旗揚げ以来2年間の闘いの激しさは30周年を迎えた新日本プロレスの歴史以上のもの」と挑戦的に参戦の意思表明をしたが、他誌インタビューでは「やれるときにやっておけってところかな。買い物と一緒で次に行った時にはなくなってるかもしれないし」と、やる気があるのかないのか、微妙な言葉で意気込みを語った。どうなる、新日本VSノアのトップ対決!!

4/6

【新日本プロレス】
新日本事務所

永田がIWGP24時間防衛体制

前夜、念願のＩＷＧＰ奪取を成し遂げたにも関わらず、試合後リングに上がってきた高山にエベレスト・ジャーマンを喰らい、無惨な王座体感となった永田の怒りは一夜明けても当然収まっていなかった。５・２ドームで高山を挑戦者に迎えることとなったが、一日も早くウサを晴らしたい永田はなんと「今シリーズは会場にずっとベルトを持って行く。ベルトが欲しければ、いつでも来い！」と、毎日が防衛戦の気構えで、沖縄巡業シリーズを挑む決意を明かした。しかし、いかに佐世保から名古屋まで和田さんの試合を見に行った高山といえども、沖縄まで乱入することはないのであった。

4/14

【ZERO−ONE】
吉祥寺パルコ屋上

極真・小笠原、100人組み手完遂

破壊王との対戦を熱望する小笠原和彦がこの日、吉祥寺パルコ屋上で行われた演武会にて百人組み手を達成。「橋本の膝の皿をローキックで砕く、デブは膝が弱いから」と念願の橋本戦に向け、秘策を語った。演武会終了後、六本木のバーにＺＥＲＯ−ＯＮＥ勢が集っているとの情報を入手すると、早速現地へ駆けつけ、「一日も早く結論を出せ」と迫ったが、あいにく橋本は不在。星川、佐藤らと揉み合った末、高岩に「破門野郎コノヤロウ！」とキックをお見舞された小笠原は「殺してやる!!」と激高するも、多勢に無勢でタクシーに押し込まれ、強制送還とあいなった。（ガイ子）

4/12

【新日本プロレス】
沖縄のホテル

永田、高山にフラれる!「デート・スポットに最適なのに……」

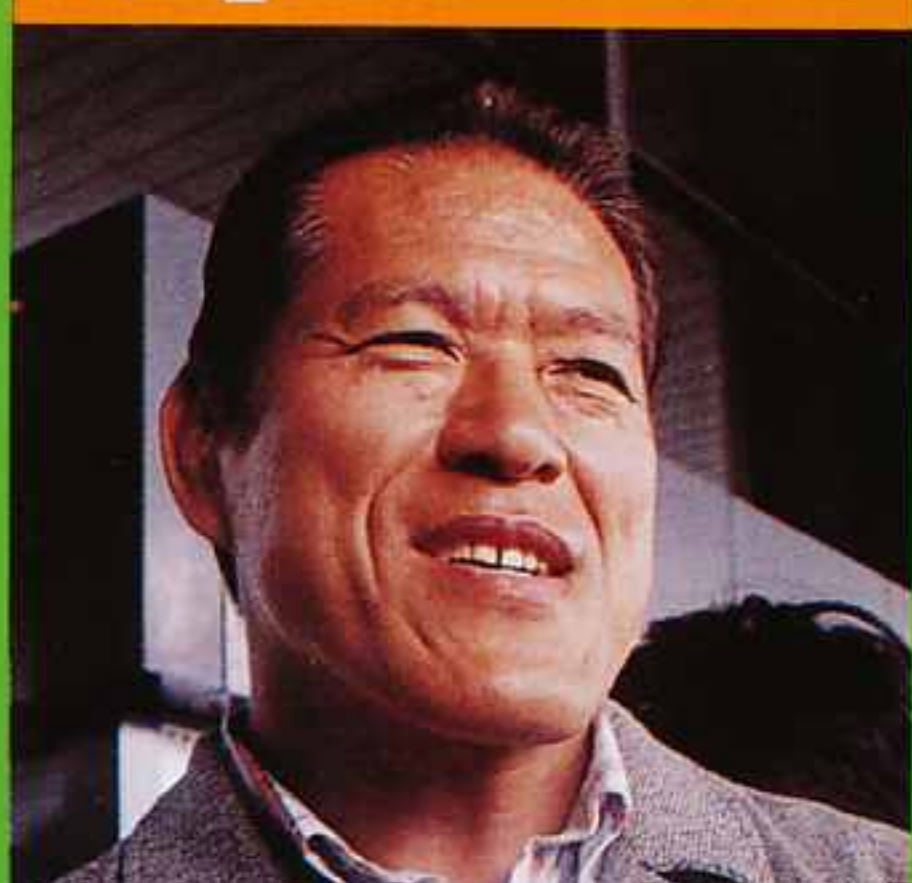
高山、永田の誘い断る！　IWGP王者・永田裕志が、高山善廣に４月16日新日本後楽園大会への来場を呼びかけたが、高山はテレビ番組内で「デート」を理由にこれを拒否。「勇気があるなら来て下さい」と、チケットを送った新日本に対して「勇気はあるけど、その日はデートなので行けません。裕志君ごめんね」と、断ってしまった！これを聞いた永田は「今の新日本の会場こそ、若者たちの最高におしゃれなデート・スポットとして最適なのに」と、フラれたショックをごまかすかのように(?)鼻で笑ってコメント。新日本の会場が「最高におしゃれなデートスポット」！　これは永田ギャグなのか、それともマジなのか……？

4/10

【新日本プロレス】
ホテルオークラ

サンクスで闘魂弁当発売!

昨年、破壊王弁当で我々の胃袋を震撼させてくれたコンビニ「サンクス」がまたしてもやらかしてくれた！　「闘魂伝承メニュー」と銘打たれた今回は、糖尿病を克服したアントン総帥がプロデュースとあって、藤田へ“情熱”を取り戻せとの気持ちを込めた「情熱カレー」、安田へお前に必要なのは“スタミナ”だと企画された「スタミナ弁当」、そして世の男達の為への「元気そば」どれをとってもバランス、ボリューム共に満足のいく内容。発売は４月16日から５月６日までの限定販売となる。ちなみ新事業ＩＮＰは「ザマァミロ！」と音を立てて動いているとのこと。（ガイ子）

4/7

【新日本プロレス】
成田空港

猪木、成田でサルになる!　5月2日東京ドームは失敗!?

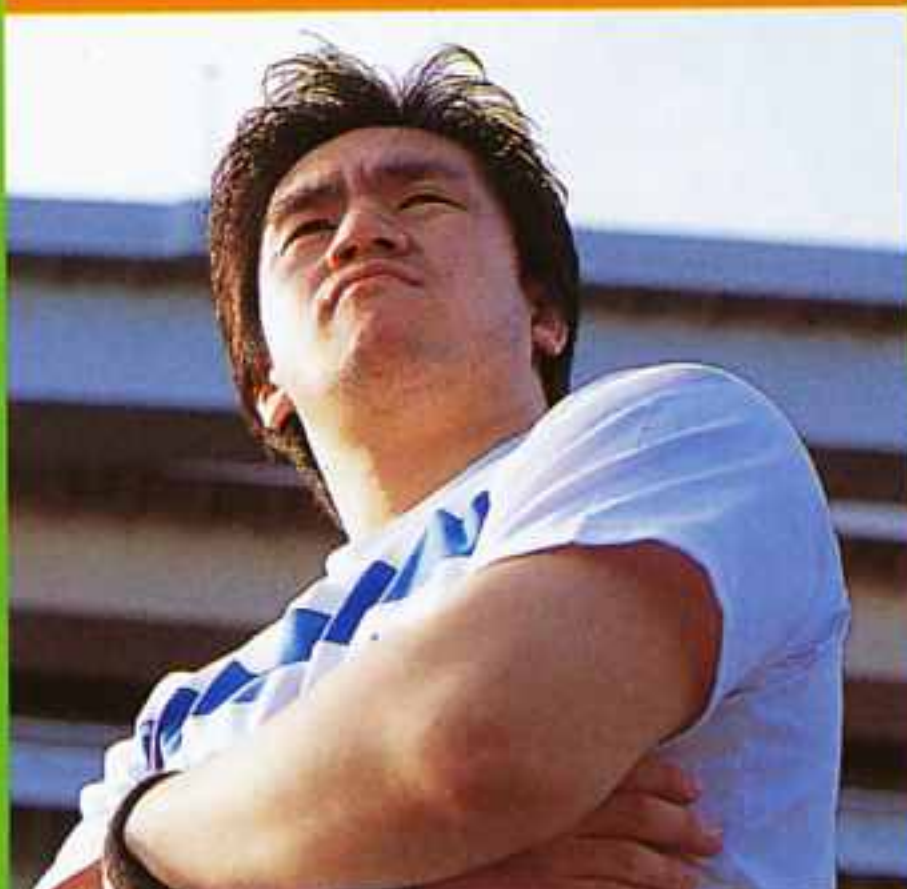
猪木、全ては蝶野にまかせた？　この日来日した猪木は　「５月２日に関しては、見ざる・言わざる・聞かざるというか。ンムフフフ。もうサルになりました」と、仰天発言！「ある意味では失敗もいいことなんじゃないの?いまちょうど過渡期というか。失敗を恐れることないよ。全部思ったことやれやと」と、まるで５月２日が失敗に終わることを予測するような事を言った上で「口出ししたいことはいっぱいあるけど、それをやらないことが今回感じたこと。いまはじっとガマンしないといけない時期だと思います」と続けた。そしてこの１週間後には、猪木、やっぱり口出し。ガマンできなかったらしい。

4/17

【WEW】
ZERO-ONE事務所

破壊王、大仁田に「ストロング・スタイル」を逆要求！

「邪道の毒を飲み込んだら腹を壊す！」破壊王が大仁田の"電流爆破マッチ要求"を一蹴！　冬木弘道プロデュースの5月5日・WEW旗揚げ興行のメインを張る「大仁田厚＆Xvs橋本真也＆大谷晋二郎」という仰天カードを有刺鉄線電流爆破マッチで行うことを要求する大仁田に対し、破壊王は「大仁田のこれまでの功績は認める。でも邪道プロレスは認めない。俺は根っからのストロング・スタイル！　電流爆破は俺には通用せん！」と言いきった！ス、ストロング・スタイルだったのか、破壊王？破壊王と大仁田はいったいどんな舞台装置で激突するのか!?

4/16

【新日本プロレス】
横須賀市総合体育館

成瀬が新兵器開発　その名もコピィロフ・クラッチ！

元IWGPジュニア王者の成瀬が、昨年、ある意味一世を風靡した「クレイジー・サイクロン」に続く、驚異のオリジナルホールド第2弾を完成させた！　その名も「コピィロフ・クラッチ」！　コマンド・サンボの裏技というこの技はなんと、コマンド・サンボなのにフォールを奪うための技だったりするから素敵だ。っていうか、そもそもコピィロフはコマンド・サンボじゃなくてスポーツサンボの選手だし。クレイジー・サイクロンはその名前の物々しさと実際の技とのギャップが見る者に衝撃を与えたが、このコピィロフ・クラッチもいろんな意味で衝撃を与えてくれそうなのであった。ビバ、成瀬！

4/13

【全日本プロレス】
日本武道館

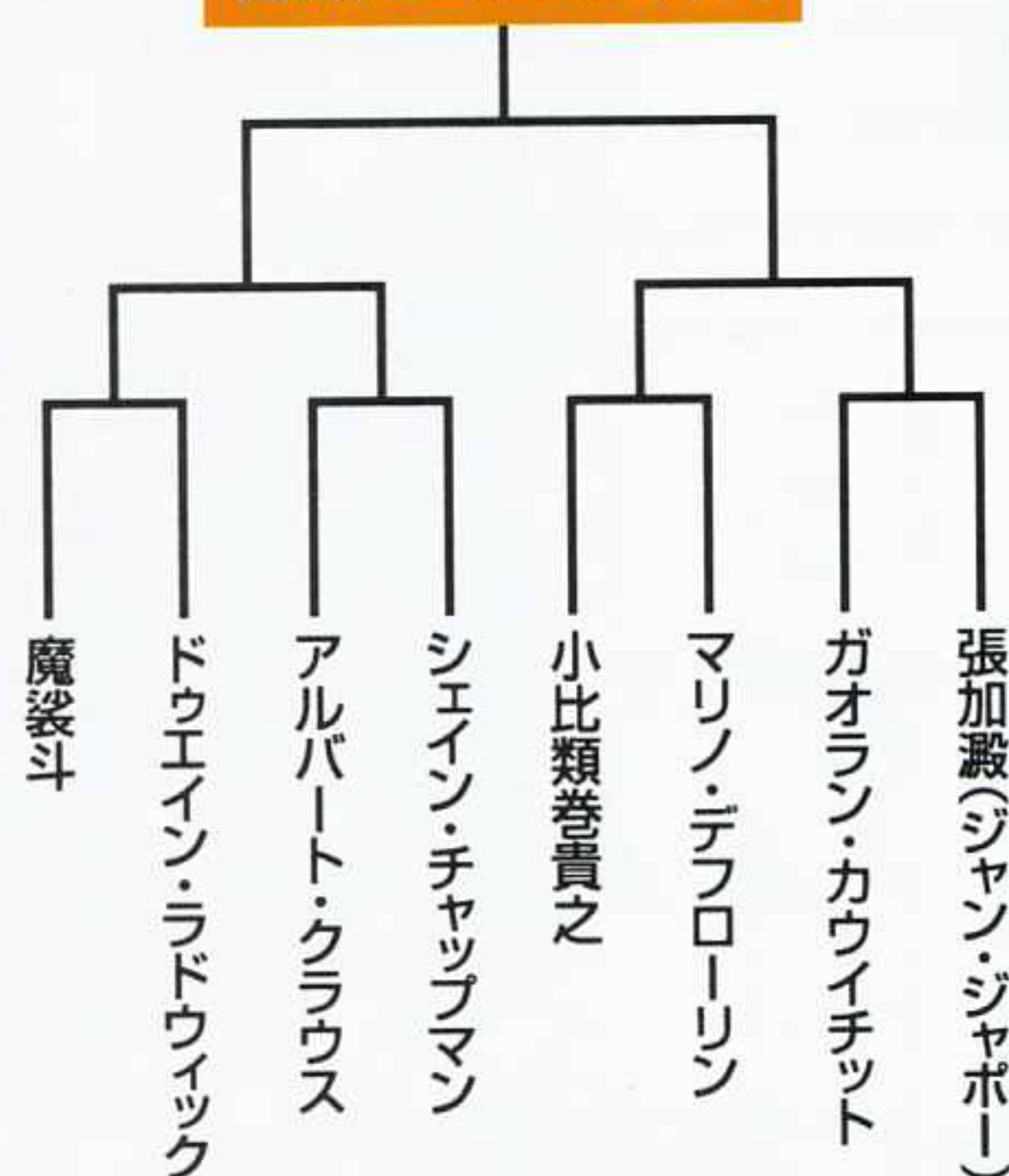
全日本武道館で王道プロレス大爆発！　天龍、王座返り咲き

天龍、51歳の三冠ヘビー級王者に輝く！昨年武藤に敗れ、他団体への王座流出という屈辱を味わった天龍。徹底して腕を攻める武藤の攻撃に、天龍も苦戦を強いられたが、最後はラリアットから垂直落下式ブレーンバスターでフォールを奪った。試合後は、セミで次回の挑戦権を獲得した小島が登場し「おい天龍さん、次の挑戦者は誰か知ってるか？……オレだぞ！バカヤロー!!」と早くも天龍を挑発。この日のWAR軍は嵐＆荒谷組もアジアタッグで勝利。天龍も「どうしたのかね。気持ち悪いね」と言うほどの快進撃だった。そして、ケンドーカシンがとうとう渕アニキと激突。「悪行ざんまい」で試合を終始リードし、最後は飛びつき腕ひしぎ逆十字固めで渕に「まいった」を言わせ、ベルトを奪った。「誰でも挑戦してこい。だが選ぶのはオレだ。次は浪花と覆面はぎマッチだ」。

4/18

【K-1 WORLD MAX】
TBSテレビ1F特設ホール

小比類巻vs魔裟斗、再戦なるか!?　K-1中量級世界一は誰だ!!

5月11日、日本武道館で行われるK-1ミドル級『K-1 WORLD MAX～世界一決定戦～』のトーナメント組み合わせ発表記者会見が行われた。世界各国の予選を勝ち抜いた7人の選手の他、主催者による石井館長の推薦選手としてファン投票ダントツ1位で小比類巻貴人が参戦決定。2月11日のジャパントーナメントで優勝した"ナチュラル・ヒール"魔裟斗は「オレは本当に優勝すると思いますよ」と、自信あふれる言葉で意気込みを語った。この他、あまりのパンチの鋭さに「手からイナズマを出す男」と異名を取った中国散打の使い手・張加瀲はイナズマ充電中のため会見には現れず。他、圧倒的強さと噂されるムエタイ王者ガオラン等、気になるトーナメント組み合わせと出場者は右上の通り！

『K-1 WORLD MAX～世界一決定戦～』
【日時】5月11日（土）
【会場】日本武道館
「九段下駅」2番出口より徒歩5分
【開場】15：00～　開始　16：00～
【入場料金】
SRS席（スペシャルリングサイド）　¥20,000
SS席　¥12,000
S席　¥8,000
A席　¥6,000
【チケットに関する問合せ】
キョードー東京　☎03-3498-9999

前田日明が全面協力!!

仰天！ 再始動、前田日明の風呂場が血だるまに!?

リングスを精算し、しばらく沈黙を守っていた前田日明総帥。なんと驚くことに、その前田総帥の自宅の風呂場が血まみれになった事件が勃発していた！ 本当か、本当なのか!? まさか……（以下自主規制）。

その事件の全容が明らかになったのは4月12日、都内・馬込のステーキハウス『ハーレー牧場』。

新たな総合格闘技大会『プレミアム・チャレンジ』を手掛ける趙代表と共に、マスコミとの懇親会を開いた前田総帥は、同大会への協力を表明。自身も底辺拡大のためジム設立なども含めた活動再開への地固めに着手していることにも言及した。

この日の懇親会は、食事をとりながら行われ、前田総帥は前菜やスープなどはゴキゲンにパクついていたが、なぜかマグロ料理には一切手をつけず。それを見たマスコミ陣はすかさず「前田さん、ダイエットしてるんですか？」という質問を浴びせた。それに対して前田は、「いや、この前ね、10年分のマグロを食ったんで、もう飽きたんだよね。21キロのマグロを釣り上げたんで、自分の家の風呂場でサバいたら、風呂場が血まみれになってしまった」と事件の真相を告白！

そんな趣味の釣りや刀の講習をやりながらでも、前田総帥の頭の中にはシッカリと新生リングスの青写真はできている！……はずだ。

なお前田総帥は、『プレミアム・チャレンジ』で、会場内で聴けるFMラジオ、大会のビデオ&DVDの解説を務める。

リングス外人部隊が「プレミアム・チャレンジ」に登場!!

小澤幸康
(チーム風)

VS

クリストファー・ヘイズマン
(リングス・オーストラリア)

【プレミアムマッチ】F&Gルール

藤井克久
(スタンド)

VS

イリューヒン・ミーシャ
(リングス・ロシア)

【プレミアムマッチ】F&Gルール

メインは"美濃輪に事実上勝った男"百瀬が近藤に挑む!

近藤有己
(パンクラスizm)

VS

百瀬善規
(禅道会)

【プレミアムマッチ】スタンダートルール

「プレミアム・チャレンジ」その他カード

5月6日　東京ベイNKホール　16:00開始
チケット問い合わせ:パルテノン　03-5312-7522

★プレミアムマッチ
石井大輔(パンクラスizm)vs富士大輔(U-FILE CAMP)

★チャレンジマッチ
矢野卓見(烏合会)vs所英男(チームPOD)
今泉堅太郎(SKアブソリュート)vsラサール☆おさみ(烏合会)
今成正和(チーム浪剣)vs岩間徳三郎(禅道会)
芹沢建一(RJW/CENTRAL)vs佐藤伸哉(P'sLAB東京)
港太郎(チームK.I.B.A.)vs熊谷真尚(禅道会)

★プレマッチ
加藤泰貴(ロデオスタイル)vs割田住充(チームPOD)
森泰道(SKアブソリュート)vs佐々木恭介(U-FILE CAMP)
出口直樹(ストライプル)vs渡邊将広(フリー)
小池秀信(フリー)vs野沢洋之(フリー)
※全てスタンダートルール

新たな格闘シーンの形成を目論む『プレミアム・チャレンジ』が、旗揚げ戦となる5・6東京ベイNKホール大会の全対戦カードを発表！ その全貌を明らかにした！

ヒジ打ちアリの危険な『スタンダートルール』と、顔面への蹴り以外は全ての打撃が禁止となり、組み技が中心となる『F&G(フルコンタクト&グラップル)ルール』。この2つのルールに、スロー(投げ)&ダウンポイントなどのポイント制を導入した全13試合の中で、一番の注目を集めているのは、前号でも紹介したリングス外人部隊の参戦！

前田日明全面協力のもと登場するのは、いまだ消えぬサンボ幻想を纏うイリューヒン・ミーシャと、ブラジル柔術界の雄・カカレコを極めた実力を持つクリストファー・ヘイズマンの2選手だ。共に組み技中心のF&Gルールでの出陣となるだけに、活躍が大いに期待できるといえよう。

今後、確実に世界の総合格闘技界を席巻すると予想されるリングス外人部隊。その先鞭を打つことになるこの大会は、リングスファンならば絶対に見逃せない！

そして目が離せないの、リングスファンだけはではない。パンクラスマットの因縁が『プレミアム・チャレンジ』で燃え上がる！ 3・25パンクラス後楽園大会で、あの美濃輪育久に"事実上勝った"百瀬良規が近藤有己と激突！ 結果によってはパンクラスマットの勢力分布図もガラリと変わってくるだけに、パンクラスファンには気が気ではない日といえる。

はたして近藤は、百瀬vs美濃輪の"疑惑のドロー判定"で漂った暗雲を、勝利で吹き飛ばすことができるのか？ 一方、一躍脚光を浴びた百瀬も、真価が問われる一戦となるだけに負けられない。

他の注目カードとしては、パンクラス・石井大輔が、プロボクシングA級ライセンスを持つ富士大輔と"異種格闘技戦"を敢行。フィギュア発売が決定し、勝利で販売促進をアピールしたいヤノタクも登場する。さらに花くまゆうさく先生大絶賛中の"足関十段"今成正和や港太郎なども名を連ねているだけに、マニアにはたまらないラインナップとなった『プレミアム・チャレンジ』。

ズバリ言えば、プロレスファンにとっては名前と顔が一致しないどころか、名前すらもピンとこない選手が多いのも事実。しかし、『PRIDE』や『DEEP』とはまた違う、新たな総合格闘技の"場"としての可能性があるのも事実。

「実験なき"場"は無能なり。"場"なき実験もまた無能なり」――新たな可能性が開ける瞬間を、しっかりと目に焼き付けておいたほうがいいだろう。

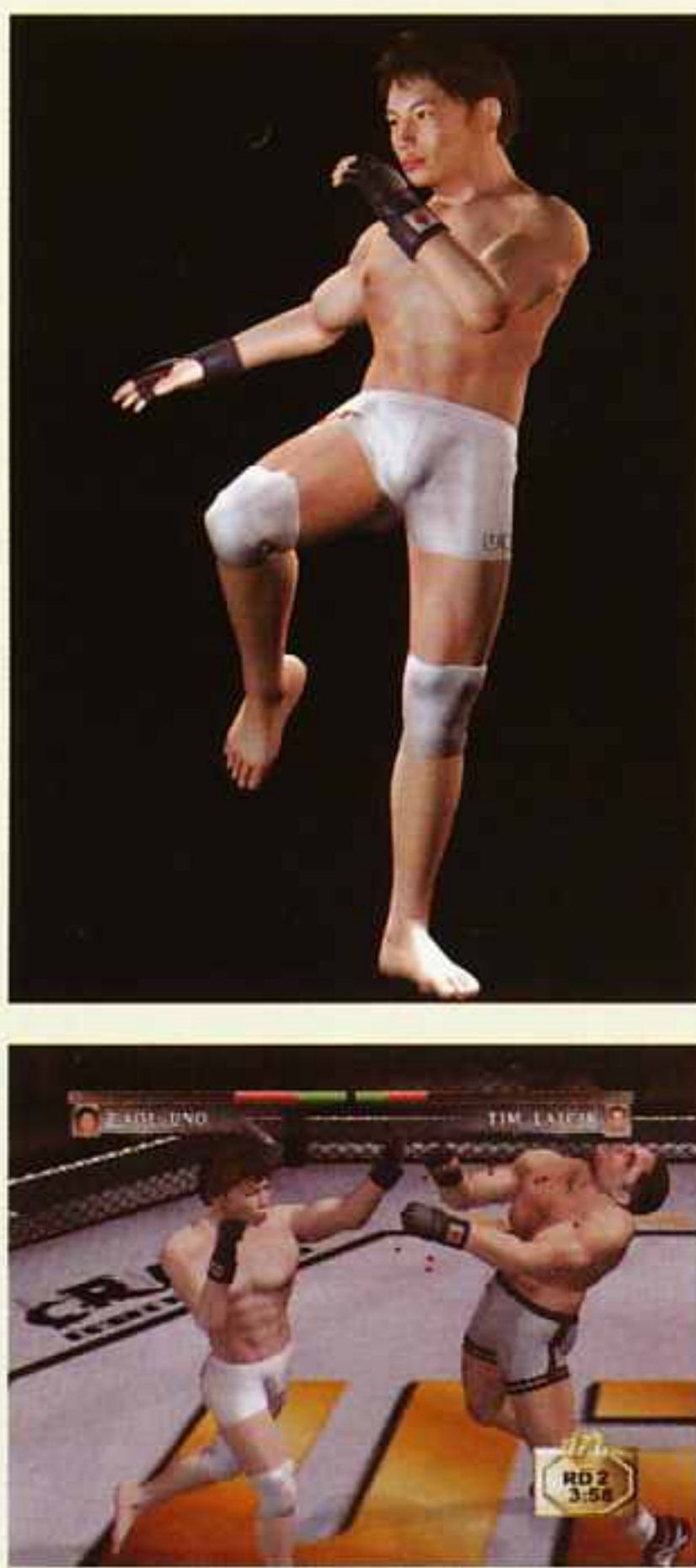
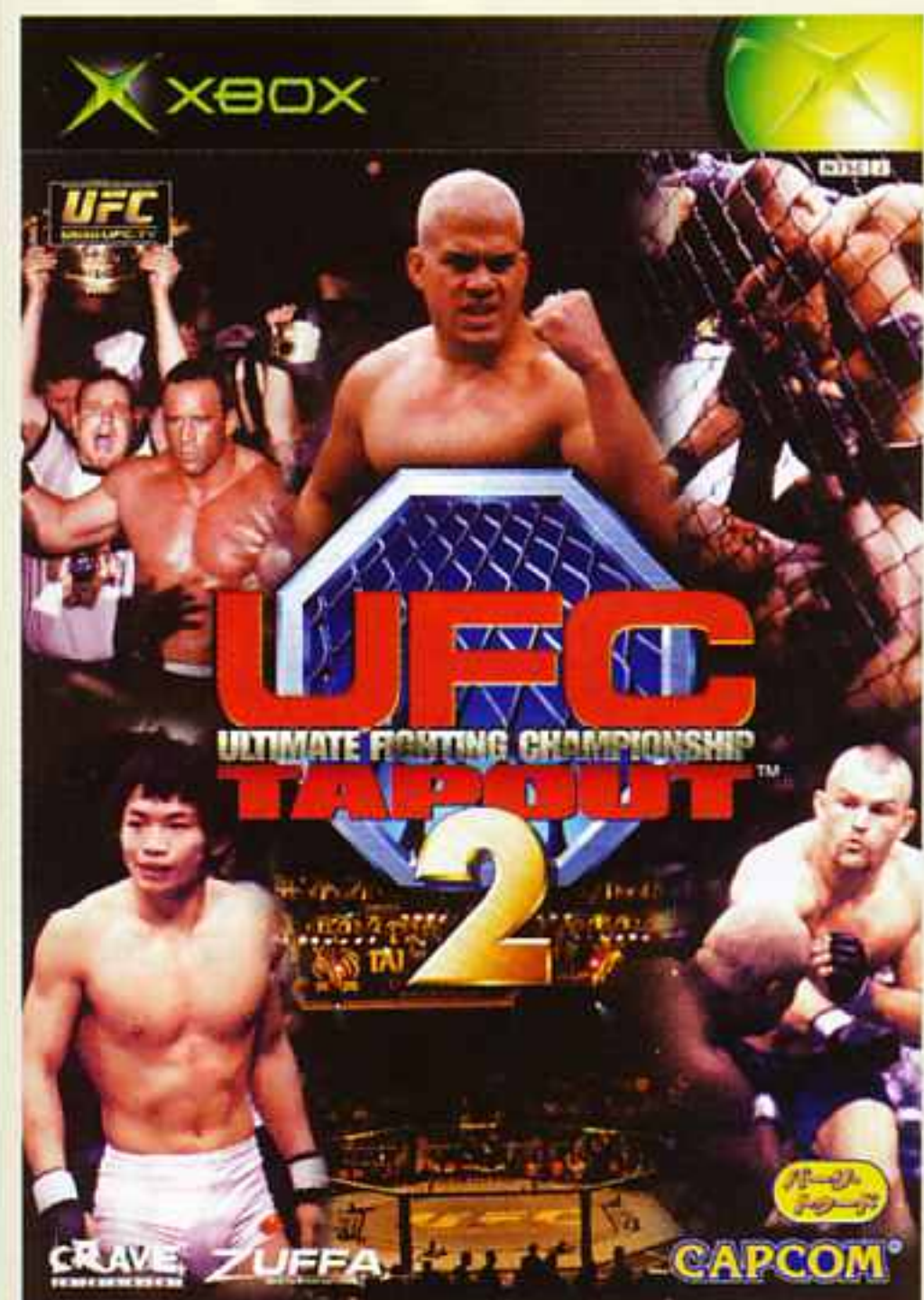
電気があればゲームもできる 読者プレゼント

電気があれば「Xbox」もできる!

1名様

★Xbox【編集部提供】

Xbox専用ソフト「UFC2」とセットでプレゼント!

★Xbox専用ソフト「UFC2」
プレイステーションやドリームキャストで好評を博した「UFC」がXboxで復活! 前回よりパワーアップされた内容に加え、高阪剛のみだった日本人ファイターに宇野薫が追加! クリエイトファイターモードで選手を作成して楽しむのも良し! 【カプコン提供】

電気があればプレステ2もできる!

プレステ2ソフト「鉄拳4」とセットでプレゼント!

1名様

★プレイステーション2【編集部提供】

★プレステ2専用ソフト「鉄拳4」
アーケードで大人気の「鉄拳4」がプレステ2で楽しめる! アーケードでのゲーム性に加え、家庭用ならではの新モード、新たなストーリー演出などが加わったこの大人気シリーズで、徹夜は確実だ!【ナムコ提供】

ビバ、DEEP!

セットで4名様

★3·30DEEP名古屋大会パンフレット　★DEEPルチャTシャツ
ビバ、メヒコ! 大ルチャコールに包まれた3·30DEEP名古屋大会! あのすばらしかった大会の記念ルチャTシャツとパンフレットをセットでプレゼントだ! 応募しないヤツは日本で仕事をできなくしてやる!(みのる調)。 【DEEP提供】

映像でプロレスを感じろ!

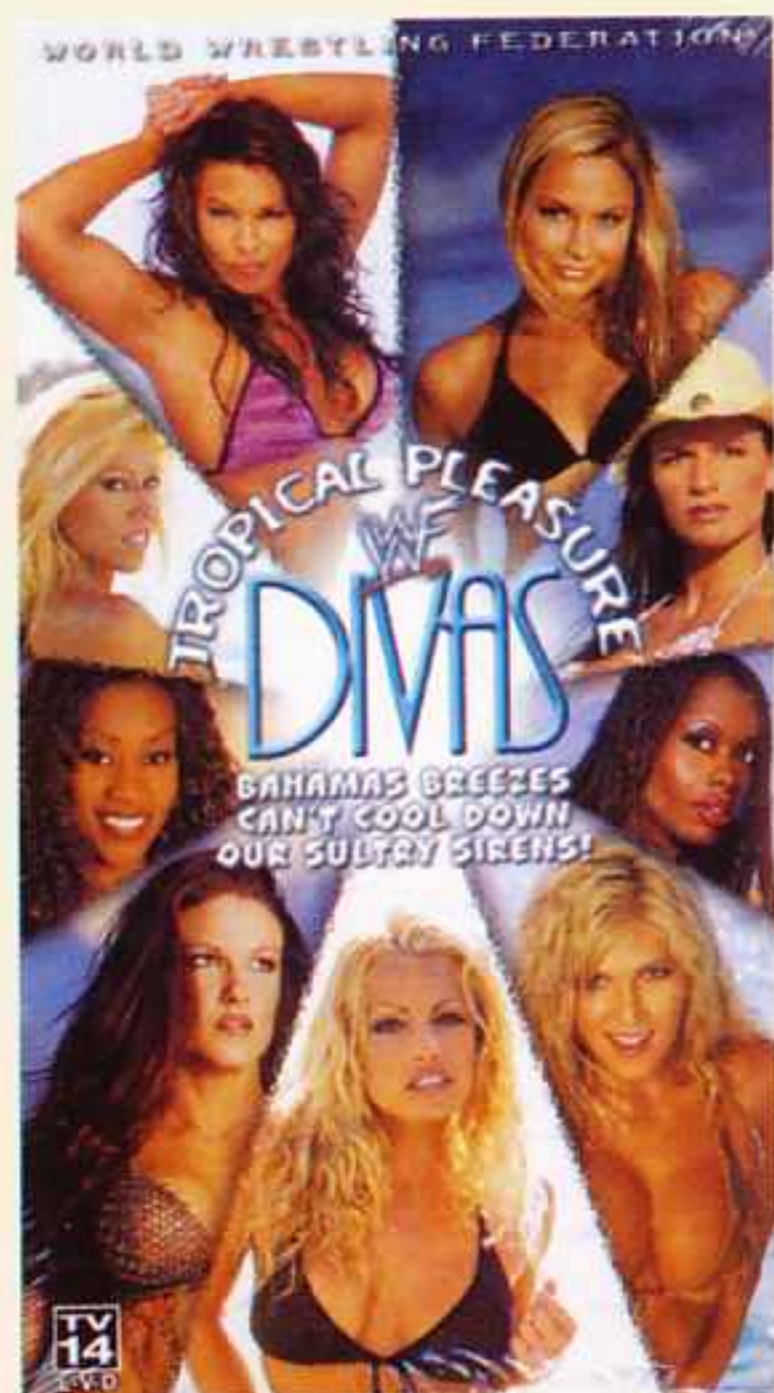
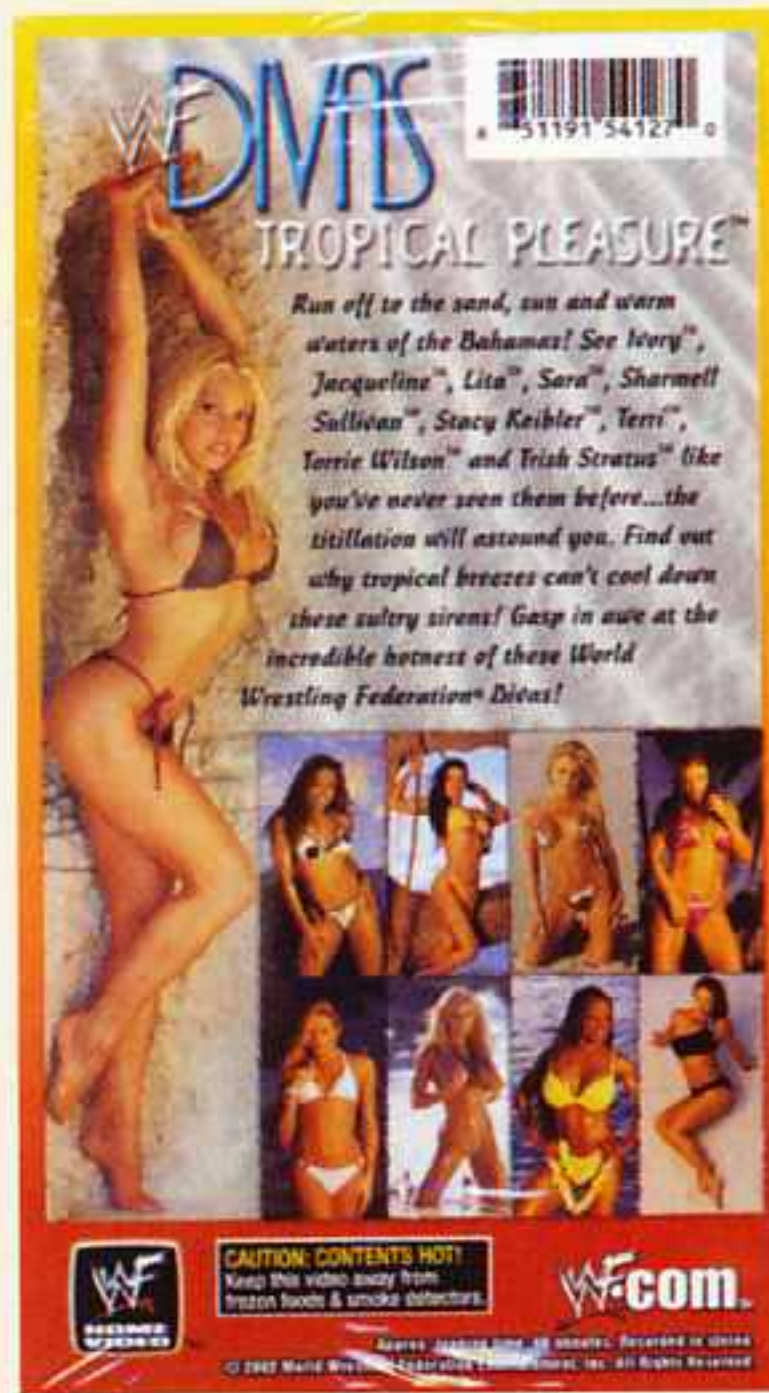
セットで3名様

★「絶叫のワンダーランド　実況ストロングスタイル」Vol.1&2(ビデオ)
あの古館伊知郎アナを筆頭に、新日本プロレスを支えた名アナウンサーたちの過激な実況が名勝負と共に蘇る! 「古館アナ絶叫語録」、「辻アナvs蝶野」、「真鍋アナvs大仁田劇場」などの貴重な映像を多数収録! これぞ実況ストロングスタイルだ!
【パイオニアLDC(株)提供】お問い合わせ　パイオニアLDC(株)お客様センターTEL.03-5721-9876(13:00〜16:00／月·火·木·金)

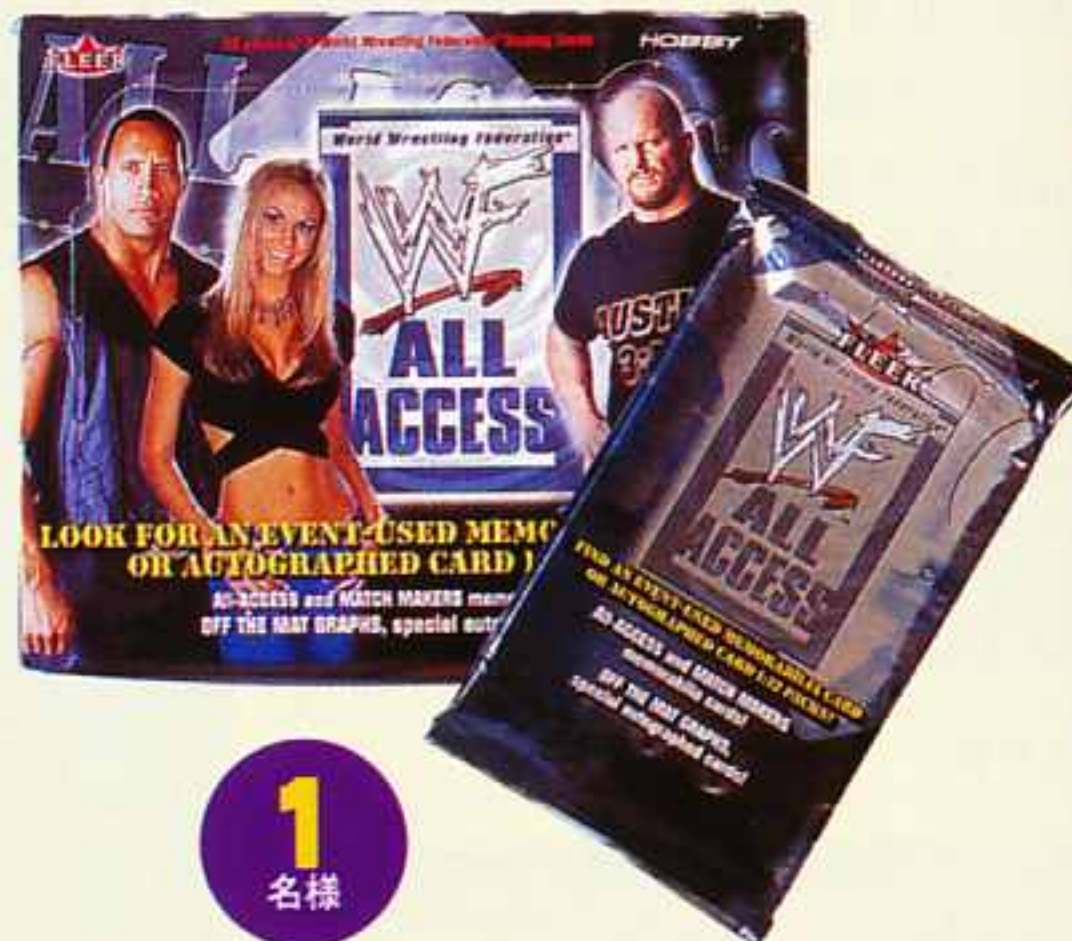
5名様

★ゴージャス松野の続オ·ト·コはつらいのよ
ワイドショーなどでも話題を振りまき続けているゴージャス松野のプロレス入りからの映像がビデオになった! ジェット·シンとの絡みから、ホストクラブや新宿でのゲリラライブまで……この衝撃映像の連発は見逃せない!
【IWA JAPAN】¥2000　お問い合わせ IWA JAPAN　TEL.03-3352-3366

WWFグッズは浜松町「Big Blue」に任せろ!

1名様
★ディーバ特集ビデオ「Divas Toropical Pleasure」

★ストーンコルード水筒 1名様
★Triple H「SCREW THE RULES」Tシャツ 1名様
★最新WWF CD「Forceable Entry」 1名様

画面に釘付けになること間違いナシのディーバビデオから、スーパースターズの水筒まで!
WWFグッズは「Big Blue」で手に入れろ!
Big Blue【場所】東京都港区浜松町2-5-1石渡ビル2F
【アクセス】浜松町駅(JR)・大門駅(地下鉄浅草線・大江戸線)・芝公園駅(地下鉄三田線)
【営業時間】月～金／10:00～21:00 土日祝日／11:00～17:00
【TEL】03-3435-2883【URL】http://s-ovation.com/bigblue.html

★WWFネックピース 1名様

★WWFトレーディングカード「ALL ACCESS」 1名様
※24パック入りワンボックスプレゼント(1パック8枚)

日本の女性もすばらしい!

1名様
★内田さやか大作戦
未公開DVD付きミニ写真集「内田さやか大作戦」に、さやかちゃんのビデオとDVDをつけてプレゼントするぞ! 内田さやかちゃん(17歳)を味わいな!!
【初代マスクド店長提供】

『PRIDE』と「週刊ヤングジャンプ」が手を組んだ!

5名様
★『PRIDE.20』ポスター

各1名様
★井上三太×『PRIDE』Tシャツ
★奥浩哉×ヒース・ヒーリングTシャツ
★高橋陽一×ヴァンダレイ・シウバTシャツ
★井上雄彦×藤田和之Tシャツ
★和田ラジヲ×ボブチャンチン

『PRIDE』と「週刊ヤングジャンプ」が強力タッグを結成! おなじみの人気漫画家とのコラボTシャツを堂々のリリースだ!
【DSE提供】Tシャツ¥4,500 お問い合わせ『PRIDE』ナビダイヤルTEL.03-5775-5852

応募要項

❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名
❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼"喜怒哀楽"の表現のうち"哀"を感じるレスラーを挙げてください

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「アントン牧場」係まで
※締切は2002年5月20日(月)当日消印有効

ART JUNKIE 新作

1名様
★Abe Ani Combat Club Tシャツ
3・31名古屋初となった修斗興行で、阿部弟とそのセコンドや応援団が着用したという「AACC」Tシャツだ! 阿部派じゃなくても着よう!
【ART JUNKIE提供】¥3800
お問い合わせURL http://open.rad.ac.jp/md00/416

プロレスを通じて自己啓発!

ペアで2組4名様
★「プロレス活き活き塾」無料受講券
5・14北沢タウンホールで興行を行う「プロレス活き活き塾」の久世塾長(写真左)と佐野直(写真右)が編集部を訪問。無料受講券をプレゼントしてくれたぞ! プロレスで自己啓発するチャンスを逃すな! 【プロレス活き活き塾提供】
このプレゼントのみ5月8日締切になります。

レスラー風くまのプーさん!?

セットで1名様
★デストロイヤー風&ハンセン風&ベイダー風クマのプーさん
編集部近くのゲーセンで、どことなくあのレスラーたちに似ているクマのプーさんをUFOキャッチャーで釣り上げたぞ! 他のタイプも存在しているとの噂も!? 情報求む! 【編集部提供】

これを着て“狼の魂”を感じろ!!

VOLK HAN Tシャツ

「尊敬する日本のファンの皆さまへ」

通販方法

希望商品の代金＋送料¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300）を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ！ 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーを明記）を必ず表記してください！ 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツの申込みもOK!

[郵便振替の宛先]
00130-3-769154

[現金書留]
〒151-0051東京都渋谷区千駄ケ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス

[お問い合わせ先]
(株)ダブルクロス
03-3403-5188

ヴォルク・ハンTシャツ
¥3,800 S［残りわずか!］or M or L

★★★涙の休止! リングスTシャツ!★★★

アディオス・アミーゴTシャツ〈黒〉
¥3,800 XS or S or SOLD OUT SOLD OUT SOLD OUT

アディオス・アミーゴTシャツ〈白〉
¥3,800 XS or S or SOLD OUT SOLD OUT SOLD OUT

★★★イギリス遠征時の18年前の前田日明が蘇る!★★★

クイック・キック・リーTシャツ〈黄〉
¥3,800 SOLD OUT or SOLD OUT or M or L

クイック・キック・リーTシャツ〈白〉
¥3,800 XS or S or SOLD OUT or SOLD OUT

No.49
2002年5月25日発行

No.50は5月23日(木)発売予定!
※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（「お笑いタイフーン」がバカ売れのため非番）

編集見習い
スエヒロ・ガイ子

スーパーバイザー
吉田豪

スーパー助っ人
スモーノブ

助っ人
中村カタブツ君

電気部
さささぃ

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん(以上TwoThree)

トメさん
はなえちゃん(以上さおとめの事務所)

海老沢勇(Zero graphics)

石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

反編集部同盟
ジャイ子&佐藤耳男

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

出前
出前持ち入江(TwoThree)

フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元 株式会社ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町一番地 TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元 株式会社ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ケ谷3-11-3-702 TEL.03-3403-5188（編集・制作）

『紙プロ』旗揚げ10周年を迎えてますます10実!
『紙プロ』通販は元気ですよーッ!!

★★★Uはオマエだ! 田村潔司Tシャツ★★★

WHO ARE U　Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800　S or M or L

WHO ARE U　Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800　S or M or L

★★★「UWF」Tシャツが「U.M.F」ロゴで復活!★★

U.M.F.トリムシャツ〈白×黒〉
¥3,000　S(SOLD OUT) or M or L

U.M.F.トリムシャツ〈白×青〉
¥3,000　S(SOLD OUT) or M(SOLD OUT) or L

★★★特製缶バッチ付き! 『紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念商品★★★

Kapra半袖Tシャツ〈白〉
¥3,500　S or M or L

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉
¥3,500　S or M or L

★★★リングおじさん引退! 早めにGETしろ!★★★

リングおじさんパーカー〈黒〉
¥6,000　M or L(SOLD OUT)

リングおじさんパーカー〈白×黒〉
¥6,000　M or L

Kapra半袖Tシャツ〈グレー〉
¥3,500　S or M or L(SOLD OUT)

残りわずか!

Kapraパーカー〈チャコールグレー〉
¥6,000　M or L

残りわずか!

SS Tシャツ半ソデ〈赤〉
¥3,500　S(SOLD OUT) or M or L

SS Tシャツ半ソデ〈紺〉
¥3,500　S(SOLD OUT) or M[残りわずか!] or L

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500　S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥3,800　S or M or L

紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT
¥~~3,800~~→大特価¥1,900[Sサイズのみ]

残りわずか!

紙プロネックピース
¥~~1,200~~→大特価¥600

※通販完売商品は直販店にある、多分にな。多分にだよ。

【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン(TEL.03-3221-6237)★東京イサミ(TEL.03-3352-4083)★岐阜・バンザイ商会(TEL.0584-75-4966)
★宮城・スクワット(TEL.022-264-8160)★大阪・少年ジェッター(TEL.06-6541-3551)★グレート・アントニオ(TEL.03-3219-9550)★大阪・バディスラム(TEL.06-6645-1378)

☎INDEX

*50音及びアルファベット順

名称	電話	住所
アルシオン	➡03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24 サンハイツ1004
大阪プロレス	➡06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
怪獣王国	➡03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	➡044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1 横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	➡0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	➡06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	➡044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2 二瓶ビル
国際プロレス	➡0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	➡03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
女子総合格闘技・AX	➡03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	➡03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	➡03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	➡03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	➡03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	➡045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
ダイプロデュース(大仁田興行)	➡03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3 大北ビル3F
髙田道場	➡03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	➡03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
つぼプロモーション	➡03-3498-4710	〒150-0011 東京都港区南青山6-15-1 アパルトマン青山2F-E
闘龍門JAPAN	➡078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8 TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	➡03-3280-5557	〒108-0073 東京都芝区三田4-7-24 明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	➡03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
バトラーツ	➡0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	➡03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	➡03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	➡019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	➡03-3356-8493	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-18 オリエンタル千駄ヶ谷102プリントオフィス内
DEEP 2001事務局	➡052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	➡03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
GCM COMUNICATION (和術慧舟會、A'GYM、RJW)	➡03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
IWAジャパン	➡03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401
Jd'	➡03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4 ランディック赤坂ビル4F
JWP	➡03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K-1 事務局	➡03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	➡043-214-6960	〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	➡03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4 ピクセル文京105
NEO	➡044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	➡03-5447-8483	〒106-0017 東京都港区南麻布4-11-21 ランディック南麻布B1
SPWF	➡03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル
T.A.M.A	➡042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	➡044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	➡03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5 OK白金台ビル7F
WAR	➡03-5477-0461	〒154-0015 東京都世田谷区桜新町1-14-23 萬豊ビル2F
WWS	➡0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 連合305
ZERO-ONE	➡03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 寿ビル601
ZIPANG	➡03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21 ハイネス梅里201

JUST BRING IT!!

さぁ、応募して来い!!

3・1WWF横浜アリーナ

ロック様とY2Jが試合中におたがいを撮り合った写真を極秘入手!!

この写真を読者にプレゼントだーッ!!

Y2Jが撮ったロック様

ロック様が撮ったY2J

未だその興奮冷めやらぬ感もある3・1WWF『スマックダウン・ツアー』。そのメインイベント、ザ・ロックvsクリス・ジェリコの試合中、ロック様とジェリコがグロッキーになった相手をお互い写真に撮り合ったシーンがあったのを覚えているだろうか？　なんと本誌はその写真をあるルートから極秘入手！　それがこの2点である。試合をしながらなので、さすがに写りは悪いが、これはまぎれもなくスーパースター二人が撮り合ったモノ。この貴重な写真を本誌はネガを借りたことをいいことに、なんと読者5名様に2枚セットでプレゼント！　宛先はP159参照。さぁ、いますぐハガキを送りやがれ！

戦　迫る？

ZERO-ONEマットはいつだって〝火祭り〟！

〝破壊王〟
橋本真也

VS

プロレスか!?

で一番熱い
格闘技戦

血
戦
迫
〝空手バカ一代〟
小笠原和彦
空手か!?
VS
世界で一番
異種格闘

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇
♠ 松澤チョロ記者
◆ ガンツ堀江
◎ 斉藤中
♻ 耳男
♥ ささきぃ
∞ ガイ子

ノア■福島・宮城スポーツセンター(17:00)
全日本■岐阜・岐阜産業会館(18:00)
SMACK GIRL■東京・ディファ有明(18:30)♠
プレミアムチャレンジ■千葉・東京ベイNKホール(16:00)◎

7 TUE.

ノア■福島・ふくしまビッグパレット(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)

9 THU.

全日本■高知・高知県民体育館(18:30)
ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

10 FRI.

全日本■大阪・大阪府立体育会館第二競技場(18:30)
大阪■大阪・NGKホール(19:00)
JWP■東京・板橋産文ホール(19:00)

11 SAT.

ノア■東京・ディファ有明(18:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K−1WORLD MAX■東京・日本武道館(16:00)◎
アルシオン■東京・有明コロシアム(16:00)
パンクラス■大阪・梅田ステラホール(18:30)♠
NEO■東京・北沢タウンホール(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(19:00)

12 SUN.

全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ORG■東京・板橋産文ホール(16:30)
ノア■栃木・小山ゆうえんちアメリカンビレッジ(17:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(時間未定)

14 TUE.

ノア■富山・富山産業展示館テクノホール(18:00)
みちのく■福岡・本渡市民体育館(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
活き活き塾■東京・北沢タウンホール(18:30)♻

15 WED.

みちのく■福岡・アクシオン福岡(18:30)

16 THU.

ノア■青森・青森県総合運動公園体育館(18:30)
みちのく■鹿児島・サンアリーナせんだい(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
アルシオン■北海道・帯広市総合体育館(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

17 FRI.

ノア■北海道・函館市民体育館(18:30)
アルシオン■北海道・伊達市民体育館(18:30)

18 SAT.

大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
GAEA■静岡・アクトシティ浜松(18:00)
みちのく■大分・佐伯大同青果市場(18:00)
新日本■神奈川・大和スポーツセンター(18:30)
闘龍門■三重・津競艇場ツッキードーム(18:30)
全女■岡山・岡山武道館(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(19:00)

19 SUN.

JWP■東京・ディファ有明(12:30)
アルシオン■北海道・函館市民体育館(13:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
みちのく■鹿児島・国分市運動公園屋内運動場(15:15)
新日本■三重・津市体育館(16:00)
ZERO−ONE■石川・石川県産業展示館2号館(17:00)★
GAEA■大阪・梅田ステラホール(17:00)
Jd'■大阪・NGKスタジオ(17:00)
ノア■北海道・北見市立体育センター(18:00)
闘龍門■東京・ディファ有明(18:30)

20 MON.

ノア■北海道・旭川市大成市民センター体育館(18:30)
みちのく■長崎・島原総合福祉センター(18:30)
アルシオン■北海道・北檜山町市民体育館(18:30)

21 TUE.

ZERO−ONE■福島・福島体育館(18:30)★
大日本■新潟・上越市立厚生南会館(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
アルシオン■北海道・恵庭市島松体育館(18:30)
LLPW■東京・後楽園ホール(18:00)
SPWF■青森・青森県総合運動公園体育館(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)

22 WED.

ノア■北海道・釧路市鳥取ドーム(18:00)
ZERO−ONE■福島・Zepp仙台(18:30)★
SPWF■青森・弘前市河西体育センター(18:30)
アルシオン■北海道・旭川市大成市民センター体育館(18:30)

23 THU.

新日本■静岡・キラメッセぬまづ(18:30)
ZERO−ONE■東京・後楽園ホール(18:30)★◆∞
ノア■北海道・ゆうばり文化スポーツセンター(18:30)
大日本■新潟・新潟フェイズ(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
アルシオン■北海道・北見市立体育センター(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

24 FRI.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■新潟・長岡厚生会館(18:30)
アルシオン■北海道・本別町体育館(18:30)
r(アール)■東京・六本木TSK−CCCホール(18:30)

25 SAT.

闘龍門■広島・佐伯区スポーツセンター(17:30)
ノア■北海道・札幌メディアパークスピカ(18:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
JWP■東京・金町地区センター文化ホール(18:00)
アルシオン■北海道・釧路コミュニティ体育館(18:00)
新日本■埼玉・草加市スポーツ健康都市記念体育館(18:30)

26SUN.

全女■東京・後楽園ホール(12:00)
GAEA■愛知・千種スポーツセンター(13:30)
ノア■北海道・札幌メディアパークスピカ(15:00)

RADICAL CALENDAR

4 April

25 THU.

新日本■山口・徳山市総合スポーツセンター(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)
全女■千葉・流山市民総合体育館(18:30)
DDT■東京・clubATOM(19:00)

26 FRI.

掣圏道■北海道・鳥取ドーム(18:00)
新日本■福岡・久留米県立体育館(18:30)
IWA■東京・後楽園ホール(18:30)♻
全女■神奈川・小田原アリーナ(18:30)
JWP■東京・板橋産文ホール(19:00)

27 SAT.

ZERO－ONE■大阪・大阪中央体育館(18:00)★
大阪■大阪・大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
新日本■大分・別府ビーコンプラザ(18:30)
みちのく■福島・本宮町体育館(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(19:00)

28 SUN.

全女■東京・後楽園ホール(12:00)
U-FILE■東京・大田区体育館分館(11:15)
掣圏道■北海道・大成市民センター(13:00)
SPWF■千葉・SPWF道場(14:00)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
全日本■茨城・水戸市総合運動公園体育館(15:00)
みちのく■新潟・新潟フェイズ(15:00)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
『PRIDE.20』■神奈川・横浜アリーナ(17:00)★◆
闘龍門■愛知・名古屋国際会議場(17:30)
MAキック■東京・後楽園ホール(17:30)

29 MON.

アルシオン■東京・後楽園ホール(12:00)
大阪■大阪・和泉市民体育館(13:00)
全女■静岡・キラメッセぬまづ(13:00)
新日本■長崎・長崎県立総合体育館(15:00)
みちのく■山形・中山町総合体育館(15:00)
大日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
全日本■福島・福島市国体記念体育館(17:00)
ZERO－ONE■福岡・博多スターレーン(17:00)★
闘龍門■岡山・岡山市卸センターオレンジホール(17:00)
T.A.M.A■東京・葛飾区金町地区センター(17:00)
NEO■大阪・デルフィンアリーナ(17:30)
Jd'■東京・後楽園ホール(18:30)

30 TUE.

全日本■岩手・岩手県営体育館(18:30)
ZERO－ONE■山口・やまぐちリフレッシュパーク総合体育館(18:30)★
みちのく■福島・会津若松市鶴が城体育館(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)

5 May

1 WED.

全日本■新潟・新潟市体育館(18:30)
みちのく■山形・米沢市営体育館(18:30)
大日本■北海道・函館記念館(18:30)

2 THU.

新日本■東京・東京ドーム(17:00)★♥∞
みちのく■青森・五所川原市民体育館(18:30)
大日本■宮城・仙台ウィセ(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(18:30)

3 FRI.

Jd'■山梨・富士急ハイランド(11:00／13:30)
NEO■東京・後楽園ホール(12:30)
Jd'■神奈川・平塚競輪場(12:55)
全女■東京・ミズノフットサルプラザ(13:00／17:00)
大阪■大阪・大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
ZERO－ONE■愛媛・松山市総合コミュニティセンター(17:00)★♥
全日本■山形・米沢市営体育館(18:00)
みちのく■青森・はちのへハイツ(15:00)
DDT■東京・後楽園ホール(19:00)♠

4 SAT.

Jd'■山梨・富士急ハイランド(11:00／13:30)
AX■東京・後楽園ホール(12:00)♠
大阪■大阪・和泉市池上曽根史跡公園(13:30)
全日本■千葉・木更津倉形スポーツ会館(15:00)
みちのく■岩手・一関文化センター体育館(15:00)
闘龍門■埼玉・越谷 桂スタジオ(17:00)
大仁田FMW■東京・後楽園ホール(18:00)
大日本■茨城・水戸市民体育館(18:30)
K-DOJO■千葉・KAIENTAI DOJO(19:00)
NEO■東京・板橋産文ホール(時間未定)

5 SUN.

全女■東京・全女ガレージマッチ(12:00)
みちのく■宮城・ニューワールド(14:00)
全日本■京都・醍醐グランドーム(15:00)
大阪■大阪・羽曳野市LICはびきの(15:00)
WEW■神奈川・川崎球場(17:00)
闘龍門■埼玉・所沢くすのきホール(18:00)
修斗■東京・後楽園ホール(18:00)
掣圏道■北海道・函館市民体育館(18:00)
アルシオン■新潟・長岡市厚生会館(18:30)
NEO■東京・板橋産文ホール(時間未定)

6 MON.

GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
大日本■神奈川・新川崎小倉陸橋下(13:00)
Jd'■東京・北沢タウンホール(13:00／17:00)
闘龍門■神奈川・相模原市立総合体育館(13:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
アルシオン■長岡・上田市民体育館(14:00)
みちのく■岩手・岩手県営体育館(15:00)

ノア■福島・
全日本■岐阜
SMACK GIR
プレミアムチ

7 TUE.

ノア■福島・
K-DOJO■千

9 THU.

全日本■高知
ノア■東京・
K-DOJO■千
DDT■東京・

10 FRI.

全日本■大阪
大阪■大阪・N
JWP■東京・

11 SAT.

ノア■東京・
大阪■大阪・
K－1WORLD
アルシオン■
パンクラス■
NEO■東京・
K-DOJO■千

12 SUN.

全日本■東京
大阪■大阪・
ORG■東京・
ノア■栃木・
NEO■東京・

14 TUE.

ノア■富山・
みちのく■福岡
K-DOJO■千
活き活き塾■

15 WED.

みちのく■福岡

16 THU.

ノア■青森・
みちのく■鹿児
K-DOJO■千
アルシオン■
DDT■東京・c

17 FRI.

ノア■北海道・
アルシオン■

18 SAT.

大阪■大阪・
GAEA■静岡・
みちのく■大分
新日本■神奈
闘龍門■三重・